

平成 2 5 年度

市 政 年 報

栃 木 市

ご あ い さ つ



先の市長選挙におきまして、市民の皆様のご信任を賜り、引き続き市政をお預かりすることとなりました。今後とも全力で、新しい「栃木市」のまちづくりに取り組み、市民の皆様のご期待に応えられますよう精進して参ります。

さて、新生「栃木市」誕生から5年目を迎え、去る4月に岩舟町との合併も無事成立して、新しい栃木市の姿は完成しました。

これまでの歩みを振り返ってみますと、下都賀総合病院の新築建替え問題や、福田屋百貨店栃木店の撤退に伴う市役所の移転及び1階への商業施設入店の問題、渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録の問題等の対応に奔走する日々でありましたが、市議会をはじめ関係者の皆様のご協力と、市民の皆様のご理解をいただき、何とか乗り越えることができました。

2期目となります市政運営の基本は、昨年度からスタートした栃木市総合計画となりますが、本市を次のステージへと導き、更にステップアップさせていきたいという思いから作成した私のマニフェスト【栃木クリエイト宣言 第2章】を加えまして、各地域の均衡ある発展と、産業の振興や働く世代の定住増加、福祉の充実に向けてのまちづくりに全力で取り組む覚悟であります。

また、人口規模が16万人を数える県内3位の都市となった今日、これまで以上に「オール栃木」として一体感の醸成に努めるとともに、まちの個性を磨き上げ、市民の皆様が本市の未来に夢を描くことができるような複合文化都市の実現を目指して参ります。

結びに、市議会をはじめ、市民の皆様のご理解と更なるご支援を賜りますよう心からお願いを申し上げます。平成25年度市政年報の発行に当たってのごあいさつとさせていただきます。

平成26年8月

栃木市長 鈴木俊美



第1回栃木市民スポーツフェスティバル



都賀分署水槽付ポンプ車



第1回栃木市ウォーキング大会



女性消防団 通常点検分列行進



新庁舎開庁式



マスコットキャラクター とち介



なつこい Sound Stage OHIRA2013



光と音のページェント点灯式



O157 号線開通式



渡良瀬遊水地ロードバイクセミナー



逃走王



ハートランド号



グリーンツーリズム事業ジャガイモ収穫体験



階段とデッキが改修された「つがの里桜」



都賀聖地公園整備事業（水路）



にしかた子ども夏まつり



市道 N1009 号線法面補修工事



西方地域防災訓練



目 次

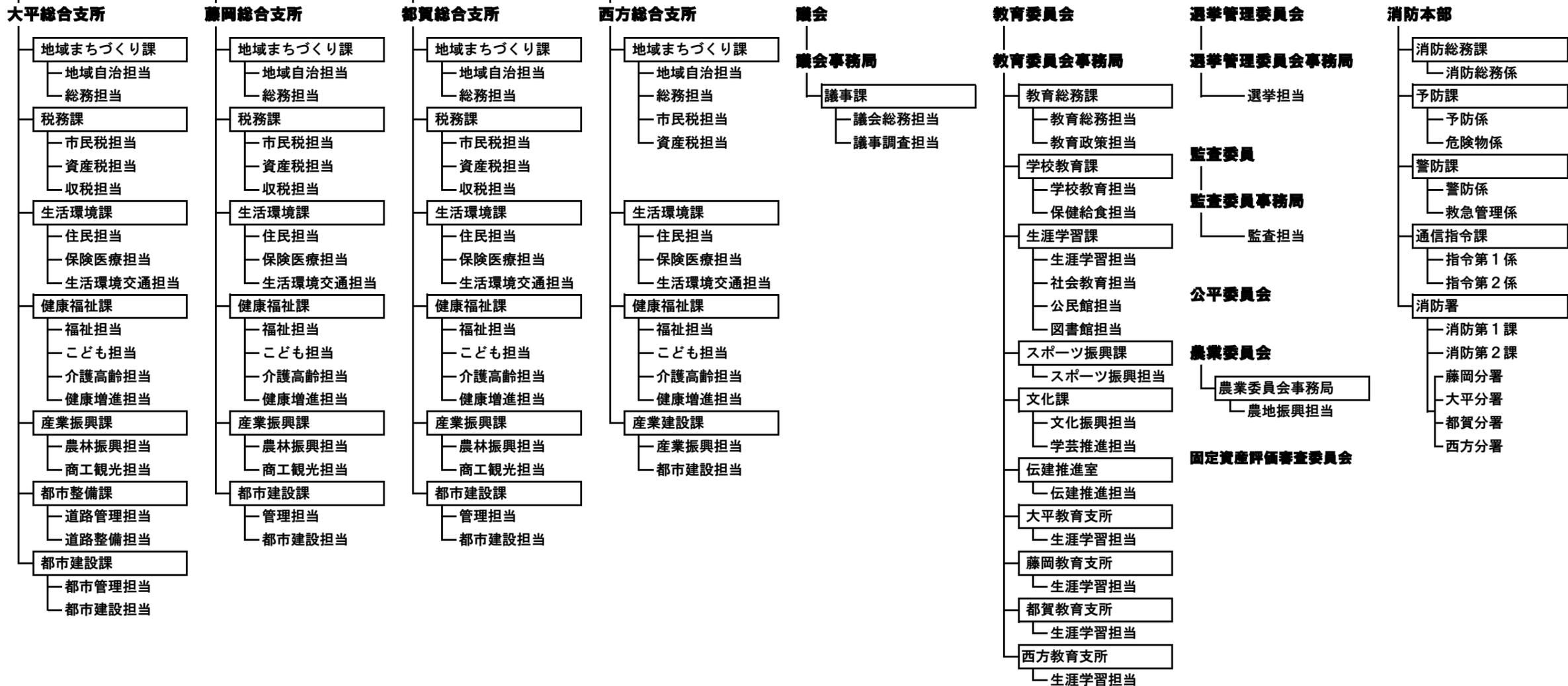
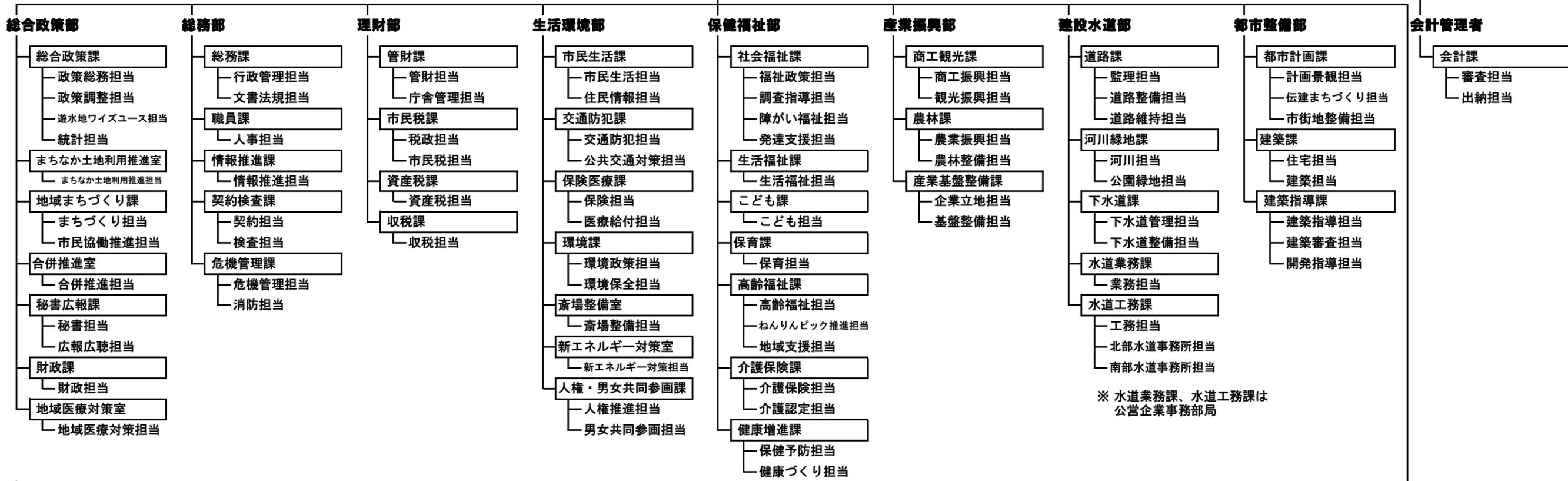
組 織 機 構 図

第1章 総合政策部	
第1節 総合政策課	1
第2節 まちなか土地利用推進室	15
第3節 地域まちづくり課	19
第4節 合併推進室	29
第5節 秘書広報課	31
第6節 財政課	38
第7節 地域医療対策室	45
第2章 総務部	
第1節 総務課	47
第2節 職員課	69
第3節 情報推進課	79
第4節 契約検査課	82
第5節 危機管理課	86
第3章 理財部	
第1節 管財課	102
第2節 市民税課	107
第3節 資産税課	116
第4節 収税課	119
第4章 生活環境部	
第1節 市民生活課	125
第2節 交通防犯課	141
第3節 保険医療課	149
第4節 環境課	159
第5節 斎場整備室	169
第6節 新エネルギー対策室	171
第7節 人権・男女共同参画課	173
第5章 保健福祉部	
第1節 社会福祉課	194
第2節 生活福祉課	211
第3節 こども課	215
第4節 保育課	230
第5節 高齢福祉課	242
第6節 介護保険課	260
第7節 健康増進課	263
第6章 産業振興部	
第1節 商工観光課	282
第2節 農林課	311
第3節 産業基盤整備課	328
第7章 建設水道部	
第1節 道路課	333
第2節 河川緑地課	341
第3節 下水道課	353
第4節 水道業務課	369
第5節 水道工務課	372
第8章 都市整備部	
第1節 都市計画課	381
第2節 建築課	387
第3節 建築指導課	392

第9章	大平総合支所	
第1節	地域まちづくり課	397
第2節	税務課	409
第3節	生活環境課	413
第4節	健康福祉課	424
第5節	産業振興課	453
第6節	都市整備課	462
第7節	都市建設課	466
第10章	藤岡総合支所	
第1節	地域まちづくり課	472
第2節	税務課	484
第3節	生活環境課	488
第4節	健康福祉課	501
第5節	産業振興課	523
第6節	都市建設課	533
第11章	都賀総合支所	
第1節	地域まちづくり課	539
第2節	税務課	548
第3節	生活環境課	552
第4節	健康福祉課	563
第5節	産業振興課	585
第6節	都市建設課	594
第12章	西方総合支所	
第1節	地域まちづくり課	598
第2節	生活環境課	609
第3節	健康福祉課	620
第4節	産業建設課	641
第13章	会計課	650
第14章	議会事務局	
第1節	議事課	663
第15章	教育委員会事務局	
第1節	教育総務課	683
第2節	学校教育課	690
第3節	生涯学習課	716
第4節	スポーツ振興課	782
第5節	文化課	798
第6節	伝建推進室	809
第7節	大平教育支所	812
第8節	藤岡教育支所	820
第9節	都賀教育支所	827
第10節	西方教育支所	837
第16章	選挙管理委員会事務局	844
第17章	監査委員事務局	856
第18章	公平委員会	860
第19章	農業委員会事務局	861
第20章	固定資産評価審査委員会	873
第21章	消防本部	
第1節	消防総務課	874
第2節	予防課	879
第3節	警防課	884
第4節	通信指令課	889
第5節	消防署	892

市長

副市長



第 1 章 総合政策部

第 1 節 総合政策課

〔総括概要〕

総合政策課の主な分掌事務は、市政の総合的企画及び調整関係、広域行政関係、土地利用・エネルギー対策等の調整関係、国際国内交流事業関係、渡良瀬遊水地関係及び各種の統計関係である。

総合計画については、市民代表による栃木市総合計画策定懇談会をはじめとする各策定体制により、基本構想・基本計画を決定のうえ、平成24年12月栃木市議会定例会による議決を経て、栃木市総合計画を策定した。平成25年度においては、総合計画の進捗管理を行うため、新しい行政評価制度導入に向けた検討・準備を行った。

庁議、部長会議、政策会議等については、栃木市の施策の方向性の決定、重要案件の審議、全庁的な意見調整及び協議が必要な事案の審議を行う場として、定例的に会議を開催した。

国際交流事業については、まず、中国金華市に対しては、同市からの小学生訪問団2団を受け入れた。次に、米国エバンズビル市に対しては、同市長が栃木市を訪問予定であったが、先方の都合により中止となった。このほか、市内中学2年生を対象とした中学生海外派遣事業を実施した。

国内交流事業については、栃木市の産業と物産展に北海道滝川市が出展したほか、東京都中央区との交流を推進した。

渡良瀬遊水地関係については、まず渡良瀬遊水地に係る「企画・調整」として、渡良瀬遊水地を仮想の国「ハートランド」と位置づけた「ハートランド構想」を発表し、渡良瀬遊水地の基本計画「ハートランドプラン」策定に向けた準備を行った。また渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議を開催し庁内の意見や事業の調整をするとともに、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会などの庁外の各種会議に参加し、他自治体などと連携、調整を行った。次に渡良瀬遊水地の普及啓発として、「講演会・パネルディスカッションの開催」、「普及啓発用品の制作」、「パネル等の巡回展の開催」、「PRブースの設置」など、幅広い層の方に対して遊水地に親しみを持っていただけるようなPR事業を行った。

統計関係では、住宅・土地統計調査、工業統計調査及び学校基本調査の基幹統計調査のほか、県単統計調査として毎月人口統計調査を実施した。また、平成26年版県民手帳の予約受付及び配付を行った。

政策総務担当

- 1 栃木県南部水資源開発促進協議会（3市3町：小山市、栃木市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町）

栃木県における水資源の総合的調査検討と思川開発事業促進を図ることを目的として、

栃木県南部水資源開発促進協議会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月19日（水）	平成24年度決算監査	栃木市役所
6月25日（火）	総会	道の駅思川
8月28日（水）	幹事会	小山市役所
10月10日（木）	要望活動	国土交通本省ほか

2 国際交流関係

(1) 友好・姉妹都市との交流

ア 金華市関係

金華市小学生訪問団を2団受け入れた。

(ア) 第1団

- ・実施期間 7月1日（月）～6日（土）
※栃木市受入期間 7月3日（水）～4日（木）
- ・参加者 小学生42人、教員6人、外事弁公室通訳1人
- ・訪日校 金華市環城小学校、金華師範附属小教育集团婺城小学校、
武義県壺山小学校
- ・交流校 大宮北小学校、国府北小学校

(イ) 第2団

- ・実施期間 7月9日（火）～14日（日）
※栃木市受入期間 7月11日（木）～13日（土）
- ・参加者 小学生36人、教員6人、外事弁公室通訳1人
- ・訪日校 義烏市実験小学校、東陽市吳寧第五小学校
- ・交流校 寺尾中央小学校、大平中央小学校

イ エバンズビル市関係

9月7日に、エバンズビル市長が栃木市を訪問する予定であったが、先方の都合により中止となった。

(2) 在住外国人支援事業

栃木市国際交流協会及び市役所において、外国人生活相談を受け付けた。

・相談内容内訳

相談内容	件数(件)
福祉・医療費・生活費	59
学校教育	59
税金・年金・保険	25
医療・病院・心理	23
住宅	19
その他	327
合 計	512

3 中学生海外派遣事業

本市の次代を担う中学生を海外に派遣することにより、外国の自然、文化及び社会に接する体験を通して、国際理解及び国際感覚の基礎を培い、併せて、本市の国際交流を将来に渡り率先して推進していく人材を育成することを目的として、中学生海外派遣事業を実施した。

- ・派遣先 オーストラリア ニューサウスウェールズ州 シドニー市
- ・派遣期間 8月16日(金)～23日(金)
- ・派遣人数 中学2年生 28人

{
 応募者 84人
 1次選考(面接) : 6月8日(土)実施
 2次選考(抽選) : 6月16日(日)実施

引率者 2人

(1) 事業概要

ア 事前研修

実施日	場 所	内 容	講師等
6月16日(日) 抽選会後	市役所正庁	事前研修日程説明 負担金の納入・旅券申請説明	市職員
7月24日(水)	市役所正庁	海外研修日程説明(保険の内容説明)、携行品、心構え、マナー等現地での注意事項、レンタルスーツケースの申し込みについて	旅行会社
		自己紹介、班編成(ホームステイ)について	市職員
7月30日(火)	市役所正庁	英会話研修 ホームステイ及び学校での自己紹介・栃木の紹介ができるようにする。	市職員
8月2日(金)	市民会館	英会話研修 ホームステイ及び学校での自己紹介・栃木の紹介ができるようにする。	市職員
8月9日(金)	市役所正庁	壮行会(終了後記念写真撮影) ・出席者 市長、教育長、総合政策部長 教育部長、派遣生徒、保護者 ・内 容 市長等挨拶、代表者挨拶	市職員
		最終確認 出入国手続、服装、持参物、外貨の使い方	旅行会社

イ 海外研修

期 日	内 容
8月16日(金)	栃木市発

8月17日(土)	オーストラリア シドニーへ到着 ブルーマウンテンを見学 ホストファミリーと対面
8月18日(日)	ホストファミリーと1日行動
8月19日(月)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ ウェルカムパーティ、英語レッスン、文化交流等 授業終了後、ホームステイ先へ
8月20日(火)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ 英語レッスン、文化交流等 授業終了後、ホームステイ先へ
8月21日(水)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ 英語レッスン、文化交流、フェアウェルパーティ等 授業終了後、ホームステイ先へ
8月22日(木)	ホームステイ先から Covenant Christian School へ シドニー市内見学 ボンダイビーチ、ミセスマッコリー岬、オペラハウス、ロックス地区等 オーストラリア シドニーを出発
8月23日(金)	栃木市着

ウ 事後研修

実施日	場 所	内 容
9月20日(金)	市民会館	帰国報告会練習
9月25日(水)	市民会館	生徒達による帰国報告会 ・出席者 市長、教育長、総合政策部長、総合政策課長、 教育部長、学校教育課長、派遣生徒、保護者 ・内 容 グループ単位による訪問時の感想等の発表

4 国内交流関係

(1) 北海道滝川市

友好親善都市である北海道滝川市と交流を行った。

第36回栃木市の産業と物産展

- ・実施日 11月2日(土)、3日(日)
- ・会 場 蔵の街第一駐車場
- ・訪問者 滝川市職員1人 ほか 参加事業所 1社
- ・内 容 物産販売、観光PR

(2) 東京都中央区

本市の山車が名橋日本橋創架400年記念パレードへ参加したことがきっかけとなり、東京都中央区との交流が始まった。

ア 第24回中央区大江戸まつり盆おどり大会

- ・実施日 8月23日(金)、24日(土)

- ・会 場 中央区立浜町公園
 - ・参加者 ひめ倶楽部、日向野商店、みそ工房蔵、栃木市観光協会延べ12人
商工観光課・農林課・大平産業振興課より職員延べ16人
 - ・内 容 物産販売、観光PR
- イ 東京湾大華火祭交流都市懇談会
- ・実施日 8月10日（土）
 - ・会 場 銀座キャピタルホテル
 - ・参加者 総合政策部1人、議員1人

5 両毛線整備促進期成同盟会（9市1町 高崎市、前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、足利市、佐野市、栃木市、小山市、岩舟町）

両毛線整備促進及び列車増発を図るため、両毛線整備促進期成同盟会による活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月3日（月）	幹事会	桐生市役所
7月1日（月）	総会	桐生市市民文化会館
11月11日（月）	J R 両毛線整備促進要望活動	J R 東日本高崎支社
11月20日（水）	視察研修	高崎駅・新前橋駅

6 東武日光・鬼怒川線沿線活性化連絡協議会（3市1町 栃木市、鹿沼市、日光市、岩舟町）

東武日光・鬼怒川線沿線自治体の連携と交流を深め、東武鉄道を利用した沿線自治体の振興を図る東武日光・鬼怒川線沿線活性化連絡協議会の活動に参加した。

(1) 活動内容

実施日	内 容	場 所
5月23日（木）	幹事会	鹿沼市役所
6月27日（木）	総会	鹿沼市役所
3月19日（水）	臨時総会	栃木市役所

(2) 「沿線情報誌」の制作

新たな視点による事業展開として、鉄道ファンを対象とした、あるいは鉄道ファンならではのコンテンツを掲載した情報誌を沿線住民の鉄道ファンにより作成し、新たな利用客の増加、新たな地域資源の発掘とその活用による沿線地域の活性化、沿線住民の人材活用と交流促進を目指すため、駅前情報誌プロジェクトチームを組織した。沿線情報誌は、平成26年度発行予定。

7 東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会（8市 結城市、筑西市、足利市、栃木市、佐野市、小山市、真岡市、下野市）

小山駅に接続する宇都宮線、両毛線、水戸線沿線地域の発展と地域住民の利便性の向

上を図る東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月28日（金）	幹事会	小山市役所
7月11日（木）	総会（文書総会）	—
8月28日（水）	要望活動	J R 東日本株式会社 本社

- 8 北関東・新潟地域連携軸推進協議会（15市5町 新潟市、加茂市、長岡市、柏崎市、湯沢町、沼田市、渋川市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、玉村町、みなかみ町、足利市、佐野市、岩舟町、小山市、栃木市、水戸市、茨城町、ひたちなか市）

北関東及び新潟地域との連携を図るため、北関東・新潟地域連携軸推進協議会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
5月24日（金）	総会	高崎市役所
10月27日（日）	パンフレット提供	水戸市まちなかフェスティバル 「物産展」
1月15日（水）	担当課長会議・視察研修	加茂市

政策調整担当

1 栃木市総合計画

本市の自治の最高規範である「栃木市自治基本条例」の規定により、総合計画を策定し、市の最上位計画として位置付け、総合的な行政運営を行っていくこととした。

計画の策定にあたっては、合併後の新市のまちづくりの基本方針等を明らかにした「新市まちづくり計画」を踏まえ、将来目指すべき都市像を設定し、それに向けて地域の特性を生かしつつ、早期に市民の一体感を醸成するよう努めた。

また、市民アンケートや策定懇談会等の市民の声を計画に反映する仕組みにより、基本構想・基本計画を策定し、平成24年12月に栃木市議会による議決を経て、栃木市総合計画を策定した。

平成25年度においては、総合計画の進捗管理を行う体制として、市民による外部評価を含めた新しい行政評価制度導入に向けて検討・準備を行った。

2 広域行政事務組合（1市1町 栃木市、岩舟町）

栃木地区広域行政事務事業推進のため、各種会議等に参加した。

(1) 各種会議

会 議	回数（回）
正副管理者会議	3
企画・財政・衛生担当部課長合同会議	1

(2) 主な業務及び負担割合

主な業務	本市負担割合(%)
総務 栃木市、岩舟町	87.49
ごみ 栃木市、岩舟町	90.74

3 栃木県南部地方拠点都市地域整備推進協議会（5市2町 足利市、栃木市、佐野市、小山市、下野市、野木町、岩舟町）

地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律に基づく地域整備のための基本計画及び整備事業の推進に資することを目的として、次の事業を実施した。

開催日	内 容	場 所
7月22日（月）	幹事会	栃木市役所
9月12日（木）	総 会（文書総会）	—

4 庁議

市長が主宰し、市政の基本方針等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 16回（うち、臨時庁議2回、定例庁議14回）
- ・内 容 審議事項 67件
報告事項 22件
連絡事項 2件

5 部長会議

副市長が主宰し、重要な事業等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 12回
- ・内 容 審議事項 57件
報告事項 6件
連絡事項 5件

6 幹事課長会議

総合政策部長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

- ・開催回数 12回
- ・内 容 審議事項 74件
報告事項 7件
連絡事項 5件

7 政策会議

市長が主宰し、総合計画、施策評価、予算編成方針等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 13回（うち、臨時政策会議1回、定例政策会議12回）
- ・内 容 審議事項 21件

報告事項	4件
連絡事項	1件

8 政策調整会議

総合政策部長が主宰し、政策会議附議事項のうち調整を必要とする事項等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 8回
- ・内 容 審議事項 13件

9 土地利用対策

本市の総合的かつ計画的な土地利用を図るため、次の事務処理を行った。なお、平成25年度は、栃木市土地利用対策委員会の開催はなし。

- ・意見照会 (単位：件)

採取計画認可申請に係る意見	5
廃棄物処理施設設置等事前協議書に係る意見	1
公有地の拡大の推進に関する法律第4条第1項の規定に基づく土地有償譲渡の届出書に係る意見	4
鉱業法第24条による協議に係る意見	1
国土利用計画法第23条第1項の規定に基づく届出書に係る意見	1
太陽光発電設置に係る意見	20
計	32

10 公共施設のあり方

栃木市の所有する公共施設の効率的かつ効果的な配置、運営等に向けたあり方を長期的視点に立って検討するため、「栃木市の公共施設のあり方に関するガイドライン」の検討を開始した。

- (1) 栃木市の公共施設のあり方に関するガイドライン策定検討部会の設置
- (2) 栃木市の公共施設のあり方に関するガイドライン策定検討部会の開催
 - ・開催日 9月20日(金)
- (3) 施設カルテの作成着手
 - ・対象施設棟数 562

11 土地開発基金に関すること

- (1) 基金の額 (単位：円)

平成24年度末現在高	平成25年度中増減高	平成25年度末現在高
60,113,588	4,319	60,117,907

(2) 運用の状況

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
貸付金	-	-	-
現 金	60,113,588	4,319	60,117,907
計	60,113,588	4,319	60,117,907

12 栃木市土地開発公社に関すること

公有地拡大の推進に関する法律第19条に基づき、オリン晃電社工場跡地購入問題に伴う対応について、元理事長と土地の売主に対し損害賠償請求を行うよう栃木市土地開発公社に業務命令を発した。

これを受け土地開発公社は、両者に損害賠償請求を求めていたが期日までに応じなかったため、平成24年1月31日、宇都宮地方裁判所に両者を提訴した。平成25年度末時点で結審せず。

・経過

内 容	回数（回）
口頭弁論	2
準備的口頭弁論	5

13 サイクリングロード整備に関すること

自転車というツールを用いた観光情報を新たにまとめ、市内の観光スポットを周遊するコースを掲載したサイクリングマップを作成し、観光資源の活用に努めた。

また、快適なサイクリングをしていただくため、スポーツ自転車用の駐輪ラックと、空気入れやパンク修理等が行える簡易な工具のセットをコース上の各拠点に配備することで、サイクリング環境を整備した。

内 容	数 量
サイクリングマップ	10,000部
駐輪器具および工具セット	11セット

遊水地ワイズユース担当

1 渡良瀬遊水地にかかる企画・調整

(1) ハートランド構想・ハートランドプラン

渡良瀬遊水地を仮想の国「ハートランド」として位置づけ、あらゆる世代の人々が渡良瀬遊水地に関することについて楽しみながら分かり易く理解できるようなイメージストーリーを持たせ、それに付随させた事業を展開していくことで渡良瀬遊水地に親しみを感じ、また来訪していただけるように「ハートランド構想」を発表した。

また、ハートランド構想を踏まえ、渡良瀬遊水地を活かしたまちづくりを展開し、ラムサール条約登録湿地の名にふさわしい自然環境の保全を図るため、渡良瀬遊水地の基本計画として平成26年度に策定する「渡良瀬遊水地ハートランドプラン」の準備

作業を行い、ハートランドプラン専門者会議準備会を開催した。

(2) 渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議

渡良瀬遊水地の事業について、庁内各課が連携を図りながら全庁的に取り組むため、渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議を設置した。会議は庁内関係部署18課の課長級職員及びチームリーダーで構成し、「治水・防災」、「環境保全」、「地域振興」、「交流・習」の4つの部会を設け、遊水地に関する各課間の事業調整を行った。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月28日（金）	第1回渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議・部会合同会議	市役所
9月26日（木）	第1回部会代表者会議	大平総合支所
12月25日（水）	第2回渡良瀬遊水地庁内連絡調整会議・部会合同会議	藤岡総合支所
1月28日（火）	第2回部会代表者会議	藤岡総合支所

(3) 各種事業支援

藤岡教育支所所管の渡良瀬遊水地ボランティア養成講座、藤岡総合支所産業振興課所管の熱気球購入事業などの庁内各課事業について、また渡良瀬ロックフェスティバル2013、WATARASE orgabits EKIDEN 2013、その他ハート型グッズの制作など各団体主催の渡良瀬遊水地およびハートランド構想に関連する事業について支援を行った。

(4) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において3年に1度開催される「ラムサール条約登録湿地関係市町村長会議」に市長が出席し、平成26年度～平成28年度の間、栃木市長が監事として役員に加わることが議決された。

- ・実施日 11月1日（金）
- ・会場 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ（沖縄県那覇市）
- ・参加市町村 ラムサール条約登録湿地49箇所のうち28箇所33市町村

(5) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

平成25年度より、渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会、治水団体、利用者団体、環境保護団体など37の構成員を以て、各団体の情報共有・意見交換の場として「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」が発足した。平成25年8月より2年間小山市長が会長、栃木市長、古河市長、野木町長、板倉町長、加須市長が副会長となった。なお、会長は栃木市長と小山市長で2年交代することとなった。また、3月には新規構成員の公募を行い、新たに7団体の申込みがあった。

第1回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

- ・実施日 8月2日（金）
- ・会場 国土交通省利根川上流河川事務所 大会議室
- ・参加団体数 37団体

(6) 要望活動

8月、国土交通省利根川上流河川事務所長宛に、渡良瀬遊水地に関連する7項目につ

いて、「渡良瀬遊水地に関する要望書」として提出した。

2 渡良瀬遊水地普及啓発

(1) 講演会・パネルディスカッションの開催

渡良瀬遊水地及び栃木市環境基本計画の普及啓発に資するため、講演会・パネルディスカッションを環境課と連携して開催した。

栃木市環境基本計画普及講演会 「人と自然のふれあい」

- ・実施日 1月13日（月）
- ・会場 栃木文化会館 小ホール
- ・来場者数 409人
- ・内容

講演会 自然を“手入れ”する大切さ ～自然とどう付き合うか～

・講師

養老孟司氏 東京大学名誉教授

パネルディスカッション 人と自然のふれあい～渡良瀬遊水地を通して～

・パネリスト

養老孟司氏

須見徹太郎氏 国土交通省利根川上流河川事務所 所長

赤塚朋子氏 宇都宮大学教育学部教授・環境基本計画策定委員長

・コーディネーター

鈴木俊美 市長

(2) 渡良瀬遊水地普及啓発用品の制作

渡良瀬遊水地の周知を図るため、以下の用品を制作し、イベントなどで活用した。

ア 渡良瀬遊水地PR用チラシ・ポスター制作

渡良瀬遊水地をPRするため、チラシ及びポスターを制作した。制作したチラシは各種イベント時に配布、ポスターは各種イベント時に掲示および希望者への配布を行った。

- ・制作枚数 チラシ（A4版） 10,000枚
ポスター（A1/B1版） 350枚/50枚

イ 渡良瀬遊水地PR映像制作

渡良瀬遊水地をPRするため、公共施設や各種イベント会場など様々な場所で鑑賞できるヒーリングDVDを制作した。

- ・仕様 時間…約25分

BGMに合わせて渡良瀬遊水地の写真をスライド形式、かつ動画演出を用いて効果的に見せるもの。写真は「渡良瀬遊水地フォトコンテスト」で入選したもの等を使用。また、BGMはオリジナルのもので制作。

コピー配布可。

ウ 渡良瀬遊水地PR用クリアファイル制作

渡良瀬遊水地をPRするため、各イベント等で配布するクリアファイルを制作した。

- ・仕様 A4版（デザイン2種類）、各7,500枚

エ ヨシ紙封筒の制作

渡良瀬遊水地産ヨシが30%含まれたヨシ紙の封筒を制作、利用を開始した。

- ・仕様 長3/角2（デザインは同一で4種類）

デザインは、封筒下部に渡良瀬遊水地の四季折々の写真と簡単なコメントを加えたもの。

(3) 「渡良瀬遊水地を好きになってもらう月間～栃木市のビッグハートがここにある！～」の開催

渡良瀬遊水地の周知を図るため、渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日に合わせ、市内各地域の庁舎や公民館などにPRブースを設置し、パネルを展示するとともにチラシの配布を行った。

ア 栃木地域

- ・実施日 7月1日（月）～5日（金）
- ・会場 本庁舎1階ロビー

イ 都賀地域

- ・実施日 7月8日（月）～12日（金）
- ・会場 都賀公民館

ウ 大平地域

- ・実施日 7月16日（火）～19日（金）
- ・会場 大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）

エ 西方地域

- ・実施日 7月22日（月）～26日（金）
- ・会場 西方総合支所

(4) エコライフ・フェア2013「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」へ出展

渡良瀬遊水地の普及啓発に資するため、環境省主催『エコライフ・フェア2013「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」』に職員2人を派遣し、2日間に渡るPR活動を行った。ポスター掲示及びチラシ設置の他、本市藤岡地域産のコシヒカリ1合100袋の配布も併せて実施した。

- ・実施日 6月1日（土）～2日（日）
- ・会場 代々木公園（東京都渋谷区）
- ・来場者数 78,000人（2日間合計、本部集計）

(5) 渡良瀬遊水地PR活動

渡良瀬遊水地の周知を図るため、各イベントで普及啓発ブースを設置し、パネル展示やチラシ配布等を行い、PR活動を行った。

ア みずウォークin渡良瀬遊水地2013

- ・実施日 4月21日（日）
- ・会場 藤岡スポーツふれあいセンター

イ Eボートレース2013渡良瀬大会

- ・実施日 8月24日（土）

- ・会 場 渡良瀬貯水池（谷中湖）
- ウ 渡良瀬遊水地フェスティバル2013
 - ・実 施 日 9月8日（日）
 - ・会 場 渡良瀬遊水地子供広場ゾーン
- エ 栃木市ウォーキング大会
 - ・実 施 日 11月3日（日）
 - ・会 場 藤岡遊水池会館駐車場
- オ 東武鉄道ハイキング
 - ・実 施 日 3月8日（土）
 - ・会 場 藤岡遊水池会館駐車場

(6) ヨシズの購入

渡良瀬遊水地の代表的な植物であるヨシを用いた地元産ヨシズを生きた教材とし、市内各小中学校の児童生徒がヨシズに触れ、省エネルギーや自然保護など環境について学ぶ機会を創出するために購入し、配布した。各小中学校への配布の調整及び事後検証については、教育委員会教育総務課が窓口となり、連携して行うこととした。

- ・規 格 高さ 2.7m×幅 2.7m(9 尺×9 尺) 80 枚
高さ 2.7m×幅 1.8m(9 尺×6 尺) 40 枚

統計担当

1 基幹統計調査

(1) 学校基本調査（文部科学省）

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項（学校数、学級数、在学者数、教職員数、施設等）を明らかにするため、調査を実施した。

- ・調査期日 平成25年5月1日
- ・調査校

区 分	対象数
小学校	27校
中学校	14校
幼稚園	16園
専修学校	4校
各種学校	4校

(2) 住宅・土地統計調査

住宅・土地関連諸施策の基礎資料を得るため、住宅・土地の保有状況、世帯の居住状況等の調査を実施した。（総務省）

- ・調査期日 平成25年10月1日
- ・調査対象 総務大臣が指定した調査区内の住宅等
- ・調査区数 174調査区
- ・調 査 員 72人

- ・指導員 12人

(3) 工業統計調査

工業の実態を明らかにするため、製造業に属する事業所を対象として、事業所数・従業員数・出荷額等の調査を実施した。（経済産業省）

- ・調査期日 平成25年12月31日
- ・調査対象 市内の製造業を主とする事業所
- ・調査区数 210調査区
- ・調査員 48人
- ・指導員 2人

2 県単統計調査

栃木県毎月人口調査

国勢調査における県下の人口と世帯数を推計し、その動向を明らかにするため、市町村別人口と世帯数（毎月1日現在）及び年齢別人口（10月1日現在）を推計するもので、市民生活課の資料により本市における毎月の出生・死亡・転入・転出者数及び世帯の増減数を加減し推計した人口調査報告書を作成し報告した。

3 その他の事業

(1) 平成26年版県民手帳の予約受付及び配付

県統計協会からの依頼を受け、県民手帳の予約受付をし、希望者に配付した。また、市内コンビニエンスストア（セブンイレブン・ローソン）及び一部書店にて販売される記事を広報とちぎに掲載し、一般の方へ周知した。

- ・大型版 180冊
- ・ポケット版 241冊

(2) 統計調査員確保対策事業

指定統計調査を円滑に行うため、県の指導の下、統計調査協力員を確保し、統計調査協力員の資質向上を図るため統計調査員による研修会への参加及び栃木県統計大会への参加等を行った。

- ・統計調査協力員数 463人

第2節 まちなか土地利用推進室

〔総括概要〕

まちなか土地利用推進室の主な分掌事務は、新庁舎の整備及び栃木地域中心市街地における大規模遊休地等の土地利用方針等の検討などである。

新庁舎の整備については、旧福田屋百貨店栃木店を新庁舎とするため、建築、電気設備、機械設備、立体駐車場の改修工事等を行った。

主要工事完了後の1月には、旧庁舎から新庁舎への引越し作業を行い、2月10日に新庁舎（新庁舎2階以上の行政施設）を開庁した。

新庁舎1階については、株式会社東武宇都宮百貨店を商業施設運営事業者として決定し、3月16日に開店（東武宇都宮百貨店栃木店）した。

3月28日には、栃木文化会館において、新庁舎完成記念式典を実施した。

また、中心市街地における大規模遊休地等については、今後の土地利用方針等の検討を行った。

まちなか土地利用推進担当

1 市庁舎整備事業

(1) 市庁舎整備検討委員会

新庁舎の整備に関し、庁内での検討及び調整等を行うため、市庁舎整備検討委員会を開催した。また、具体的な検討を行うため、検討部会を開催した。

- ・委員数 19人
- ・委員長 副市長
- ・開催状況 第1回 4月 3日(水) 第2回 5月23日(木)
第3回 7月11日(木) 第4回 11月19日(火)

(2) 新庁舎整備に係る工事等

旧福田屋百貨店栃木店を新庁舎とするため、主に次の改修工事等を実施した。

(単位:円)

工事等名	事業者名	請負金額	備考
建築工事	舘野・牧田 特定建設工事共同企業体	896,889,000	H24・H25 継続費
電気設備工事	幸和・大興 特定建設工事共同企業体	641,613,000	H24・H25 継続費
機械設備工事	トリタ・日向野 特定建設工事共同企業体	955,500,000	H24・H25 継続費
立体駐車場工事	栃木アンカー工業(株)	122,052,000	H24・H25 継続費
議場家具等工事	日向野建設(株)	94,080,000	

サイン工事	清田建設工業(株)	53,655,000	
風力発電設備工事	永山電機(株)	23,089,500	
工事監理業務委託	(株)酒井建築設計事務所	12,474,000	H24・H25 継続費

(3) 新庁舎への移転

旧庁舎から新庁舎への移転作業を実施し、新庁舎を開庁した。

ア 庁舎移転の流れ

期 間	内 容
1月 6日(月)	職員説明会
1月24日(金)～	再利用する机・椅子等の運搬
1月31日(金)～	新庁舎3階以上の課等の移転・業務準備
2月 3日(月)	新庁舎3階以上業務開始
2月 7日(金)～	新庁舎2階の課等の移転・業務準備
2月10日(月)	開庁・新庁舎全業務開始

イ 移転に係る業務委託

(単位：円)

業 務 名	事 業 者 名	請負金額	備 考
市庁舎移転統括 監理業務委託	コクヨ北関東販売(株)	2,900,100	H24・H25 継続費
庁舎移転業務委託	(有)県南運輸	9,518,250	

ウ 移転に伴う主な備品の購入

(単位：円)

品 目	相 手 方 名	購入金額
収納関係	(有)栃木大気堂	25,777,710
机・椅子関係	(有)栃木大気堂	14,920,395
会議室関係	(有)栃木大気堂	10,213,350
待合ロビー・議会執行部 応接等・その他関係	(株)カシワヤ	21,931,963

(4) 新庁舎1階整備に係る諸手続

新庁舎1階について、商業施設として使用するため、次のとおり諸手続を行った。

ア 商業施設運営事業者の決定

・事業者名 株式会社 東武宇都宮百貨店（宇都宮市宮園町5番4号）

イ 整備に係る業務委託

(単位：円)

業 務 名	事 業 者 名	請負金額
1階整備工事委託	(株)東武宇都宮百貨店	997,080,000
1階設計・監理業務委託	(株)東武宇都宮百貨店	58,128,000

ウ 大規模小売店舗立地法関係

・届出日 11月1日(金)

・住民説明会 12月21日(土) 参加者数 62人

エ 賃貸借契約

- ・契約締結日 2月28日(金)
- ・賃貸借期間 2014年3月15日～2024年3月14日

オ 商業施設の開店

- ・開店日 3月16日(日)
- ・店舗名 東武宇都宮百貨店栃木店

(5) 式典関係

ア 閉庁式(旧庁舎)

- ・日時 2月7日(金)午後5時～
- ・場所 旧庁舎正庁
- ・参加者 市議会議員、市職員(部長等)

イ 開庁式(新庁舎)

- ・日時 2月10日(月)午前8時10分～
- ・場所 新庁舎東側出入口前
- ・参加者 約200人

ウ 新庁舎完成記念式典及びパレード

(ア) 完成記念式典

- ・日時 3月28日(金)午後2時～
- ・場所 栃木文化会館大ホール
- ・参加者 約800人

(イ) 完成記念パレード

- ・日時 3月28日(金) 午後3時45分～
- ・場所 とちぎ大通り(山車会館前～新庁舎前)
- ・参加者 約3,000人

2 まちなか土地利用調査

栃木地域の中心市街地における大規模遊休地等について、今後の土地利用方針等の検討を行った。

(1) 調査対象施設地

施設地名	面積(m ²)	用途地域
栃木警察署跡地	約 5,333	商業地域
栃木駅前市有地	約 4,322	商業地域
栃木中央小学校跡地	約 14,545	第1種住居専用地域
栃木市役所旧庁舎敷地	約 8,000	第1種住居専用地域
市民会館敷地	約 3,803	第1種住居専用地域
下都賀総合病院(民有地)	約 16,602	第1種住居専用地域

(2) まちなか土地利用検討委員会

学識経験者や関係団体等の意見等を伺うため、まちなか土地利用検討委員会を開催した。

- ・委員数 14人

- ・委員長 永井 護氏（宇都宮大学名誉教授）
- ・開催日 7月4日（木）

第3節 地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域自治の推進、地域自治区の連絡及び調整、自治会との連絡調整、地域のまちづくり、市民活動の推進である。

地域自治の推進については、現在の地域自治区制度が平成27年3月31日で終了することから、平成24年度に引き続き、栃木市地域自治制度検討委員会及び同検討部会において新たな地域自治制度について検討を行うとともに、同委員会からの報告に基づき、栃木市新たな地域自治制度基本構想をとりまとめた。

地域自治区の連絡及び調整関係については、栃木市地域自治区地域協議会連絡会を開催し、地域協議会の活動等に関する連絡調整等を行った。また、地域協議会委員の任期が平成25年3月31日をもって満了したことに伴い、平成25年4月1日から平成27年3月31日までを任期とする地域協議会委員の委嘱状交付式を実施した。

地域のまちづくり関係については、平成24年度に引き続き、栃木市栃木地域まちづくり検討委員会により、栃木地域の資源や特性を活かしたまちづくりを推進するための調査研究を行った。

自治会については、栃木、大平、藤岡、都賀及び西方地域における自治会連合組織の強化を図るため、平成25年5月に発足した栃木市自治会連合会の事務局として、自治会運営の円滑化を図った。

市民活動の推進については、市民活動推進の拠点であるとちぎ市民活動推進センター「くらら」において、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を行うとともに、庁内における市民との協働を推進するため、全課に市民協働推進員を設置し、研修会等を開催した。

また、市民団体の主体的、公益的な市民活動を支援することを目的に、市民協働まちづくりファンド(基金)を設け、NPO団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化をさらに促進するため、市民活動推進補助金“とちぎ夢ファーレ”事業を実施した。

さらに、市民自らが毎年テーマを掲げ、企画運営する「とちぎ協働まつり」を、実行委員会との共催により開催した。

また、NPO等、企業及び行政が協働し、地域課題の解決に取り組む地域版プラットフォーム事業として、新市の一体感の醸成事業を実施した。

まちづくり担当

1 地域自治の推進

(1) 栃木市地域自治制度検討委員会

現在の地域自治区制度が平成27年3月31日をもって終了することから、その後の新たな地域自治制度の構築に関する事項を検討するため、栃木市地域自治制度検討委員会を設置した。

- ・任 期 平成 24 年 8 月 7 日～平成 27 年 3 月 31 日
- ・委 員 数 15 人（うち、オブザーバー1 人）
- ・委 員 長 児玉博昭（白鷗大学法学部教授）
- ・副委員長 田中久己（藤岡町地域協議会会長）
- ・会議開催状況（第 1 回～第 4 回は平成 24 年度に実施済み）
 - 第 5 回 4 月 30 日（火）
 - ・地域自治制度を支援する予算について
 - 第 6 回 7 月 5 日（金）
 - ・地域自治制度を支援する予算について
 - ・地域行政機関について
 - 第 7 回 8 月 19 日（月）
 - ・新たな地域自治制度を担保する法制度等について
 - ・住民代表組織の名称について
 - ・検討結果報告書について
 - 第 8 回 2 月 5 日（水）
 - ・パブリックコメント等の結果及び意見への対応について
 - ・栃木市新たな地域自治制度基本構想（案）について

(2) 栃木市地域自治制度検討部会

栃木市地域自治制度検討委員会において新たな地域自治制度の構築に関する事項を検討するに当たり、地域自治制度に関する調査研究及び検討を行うため、栃木市地域自治制度検討部会を設置した。

- ・委員数 19 人（うち、オブザーバー2 人）
- ・部会長 赤羽根正夫（総合政策部長）
- ・副部会長 和久井弘之（総務部長）
- ・会議開催状況（第 1 回～第 10 回は平成 24 年度に実施）
 - 第 11 回 4 月 17 日（水）
 - 第 12 回 5 月 21 日（火）
 - 第 13 回 6 月 20 日（木）
 - 第 14 回 7 月 29 日（月）
 - 第 15 回 8 月 7 日（水）
 - 第 16 回 1 月 20 日（月）

(3) 栃木新たな地域自治制度基本構想（素案）にかかるパブリックコメント

栃木市地域自治制度検討委員会から提出された検討結果報告書に基づき、栃木市新たな地域自治制度基本構想を策定するに当たり、パブリックコメントを実施した。

- ・実施期間 11 月 20 日（水）～12 月 20 日（金）
- ・資料の公表 広報とちぎ12月号及び市ホームページにパブリックコメント実施記事を掲載するとともに、市ホームページ、市政情報センター、総合政策部地域まちづくり課及び各総合支所地域まちづくり課並びに栃木地域内の各支所及び出張所にて閲覧を実施した。
- ・意見の提出状況 1 件

2 地域自治区の連絡及び調整

(1) 栃木市地域自治区地域協議会連絡会

各地域協議会の正副会長及び地域自治区長を構成員とする栃木市地域自治区地域協議会連絡会により、地域協議会の活動等に関する調整及び連絡を行った。

会 長	安生 孝章（都賀町地域協議会会長）
副会長	和賀井政雄（西方町地域協議会会長）
副会長	柴田 保男（大平町地域協議会会長）
副会長	田中 久己（藤岡町地域協議会会長）

(2) 栃木市地域自治交流会

地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会間の情報共有化と地域間の交流を促進し、地域のまちづくり活動の活性化を図るため、栃木市地域自治区地域協議会連絡会及び栃木市栃木地域まちづくり検討委員会の共催による地域自治交流会を実施した。

- ・実施日 8月31日（土）
- ・会 場 都賀公民館
- ・参加者 地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会委員 60人
- ・内 容 平成25年度意見書の提出
委員同士の意見交換及び発表
（意見交換テーマ）
 - ・委員として感じる各地域の課題と地域活性化の事例について
 - ・里山を活かした地域づくりとグリーンツーリズムの導入について
 - ・人材育成と発掘、女性・若者の積極的参加について
 - ・地域住民のまちづくりに対する意欲・関心の喚起について
 - ・高齢社会の地域ぐるみ「まちづくり活動」の展開について

(3) 地域協議会委員選任に関する事務

平成22年7月26日付で選任した大平町、藤岡町及び都賀町地域協議会委員並びに平成23年11月9日付で選任した西方町地域協議会委員の任期が、平成25年3月31日で満了したことに伴い、平成25年4月1日から平成27年3月31日までを任期とする地域協議会委員に対する委嘱状交付式を実施し、委嘱状交付、市長講話及び地域自治制度に関する説明を行った。

- ・期日 4月8日（月）
- ・会場 栃木保健福祉センター大会議室

(4) 地域協議会等から提出された意見書の処理

地域協議会及び栃木地域まちづくり検討委員会から提出された意見書に関して、関係部局間で連携を図りながら回答書を作成し、地域協議会等へ送付した。

ア 意見書提出日 8月31日（土）

イ 意見書の件数及び事項

(ア) 大平町地域協議会 4件

- ・学校施設の安全対策について

- ・大平地域公立学校施設の充実について
 - ・現代社会の変化に伴う教育環境の整備について
 - ・通学路の安全確保について
- (イ) 藤岡町地域協議会 5件
- ・小、中学校の空調設備（エアコン）の設置について
 - ・藤岡図書館、及び藤岡歴史民俗資料館周辺通路のバリアフリーの改善について
 - ・藤岡地域の地区公民館の耐震化について
 - ・自然災害に対する安全・安心な生活環境整備について
 - ・佐野藤岡 I C を中心とした産業基盤整備の早急な具現化へ
- (ウ) 都賀町地域協議会 3件
- ・栃木市北部地域における健康福祉施設の設置について
 - ・獣害対策について
 - ・つがの里の P R 及び周辺整備について
- (エ) 西方町地域協議会 2件
- ・都賀西方パーキングエリアへのスマートインターチェンジの早期実現に向けた誘致活動の推進について
 - ・学童保育施設の環境改善について
- (オ) 栃木市栃木地域まちづくり検討委員会 5件
- ・観光資源の開発や施策の推進について
 - ・中心市街地の活性化について
 - ・局地的に進む高齢化への対応について
 - ・地場産業の育成について
 - ・健康のまちづくりについて（むし歯のないとちぎ、日本一を目指す。）

3 平成 25 年度栃木市地域まちづくり講演会

将来を見据えて後継者やトップを支える No.2 を育てることの必要性及びその育て方を学ぶこと。また、地域の第一線で社会貢献活動等にはげんでいる若者の取り組みを知るとともに、まちづくりに積極的に取り組む幅広い年齢層の人々が交流することにより、市内における地域づくりの新たなネットワークを創ることを目的として、講演会を実施する予定であったが、大雪のため中止となった。

- ・実施予定日 2月15日（土）
- ・会場 国府公民館
- ・参加予定人数 約80人
- ・構成

講演	講師 セレンディピティ(株) 浅見 広明氏
	演題 「自分と同じ考え方の人材を育てるには」
	～わたしたちの組織力を強化していくために～
事例発表	マチナカプロジェクトの取り組み
	一般社団法人栃木青年会議所の取り組み
交流会	若者の活動紹介（ポスターセッション）

映画上映 「しもつかれガール」

4 栃木市栃木地域まちづくり検討委員会

栃木地域のまちづくりの課題について調査研究し、市に対して意見を述べることにより、栃木地域の資源や特性を活かしたまちづくりを推進するため、栃木市栃木地域まちづくり検討委員会を設置した。

- ・任 期 平成 24 年 4 月 18 日～平成 27 年 3 月 31 日
- ・委 員 数 30 人
- ・委 員 長 内藤弘司
- ・副委員長 岸 貞吉
- ・会議開催状況 第 1 回 4 月 18 日 (木)
第 2 回 5 月 30 日 (木)
第 3 回 7 月 17 日 (水)
第 4 回 7 月 31 日 (水)
第 5 回 8 月 26 日 (月)
第 6 回 11 月 18 日 (月)
第 7 回 12 月 18 日 (水)
第 8 回 1 月 29 日 (水)
第 9 回 2 月 24 日 (月)
第 10 回 3 月 24 日 (月)
- ・先進地視察 実施日 9 月 24 日 (火)～25 日 (水)
視察地 長野県小布施町・長野市松代町
テーマ 「小布施の歴史やまちづくりの経緯について」
「地域資源を活かしたまちづくり・地域づくり」
- ・意見書の提出 観光資源の開発や施策の推進について
中心市街地の活性化について
局地的に進む高齢化への対応について
地場産業の育成について
健康のまちづくりについて(むし歯のないとちぎ、日本一を目指す。)

5 自治会関係

市全域の自治会相互の連絡調整を図り、地域間の情報を交換するとともに、自治会組織の強化を図るため、栃木市自治会連絡協議会の事務局として運営を支援してきたが、平成 25 年 5 月 23 日に、16 地区 392 自治会が加入する栃木市自治会連合会が発足した。

栃木市自治会連合会の事務局として、地域住民の福祉の向上に寄与することを目的とした各種活動を助成し、市政への協力を得るための連絡を行うとともに、同連合会主催のまちづくり懇談会を支援した。

(1) 自治会活動の推進

ア 単位自治会の把握

次年度自治会長名簿の取りまとめ

- ・期 間 平成 26 年 2 月～5 月
- ・対 象 173 自治会（栃木地域）

イ 自治会報償金の支出

- ・各単位自治会の世帯数調査（基準日 10 月 1 日現在）
- ・報償金の支出
2 月 26 日 支払い 392 件

(2) 栃木市自治会連合会【栃木地域】（事務局）

ア 組織構成

- ・組 織 栃木地域の 12 地区、174 単位自治会が加入
会長 1 人、副会長 3 人、監事 2 人（総会で選出、任期 2 年）
理事 9 人（地区自治会連合会長）うち会計 2 人を会長が任命

イ 解散総会

- ・実施日 4 月 22 日（月）
- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・出席者 92 人
- ・内 容 平成 24 年度事業報告、収支決算報告について
規約の一部改正について
栃木市自治会連合会【栃木地域】の解散について
財産の処分について

(3) 栃木市自治会連絡協議会（事務局）

ア 組織構成

- ・組 織 地域連合会（栃木、大平、藤岡、都賀、西方）をもって組織
- ・役 員 地域連合会から理事を各 4 人ずつ選出（任期 1 年）
会長 1 人、副会長 4 人（理事のうちから互選で定める）、
監事 2 人（理事のうちから会長が指名する）

イ 会議等

(ア) 理事会

- ・実施日 5 月 8 日（水）
- ・内 容 栃木市自治会連合会設立総会資料の確認について
栃木市自治会連合会設立総会における役割分担について
栃木市自治会連合会役員を選出について

(イ) 解散総会

- ・実施日 5 月 8 日（水）
- ・会 場 市役所
- ・内 容 平成 24 年度事業報告、収支決算報告について
栃木市自治会連絡協議会の解散について
財産の処分について

(4) 栃木市自治会連合会（事務局）

ア 組織構成

- ・組 織 市内全地域の 16 地区、392 単位自治会が加入

- ・役員 会長 1 人、副会長 4 人、会計 2 人、監事 2 人、理事 18 人
(総会にて決定、任期 2 年)

イ 会議等

(7) 設立総会・自治会功労者表彰式

- ・実施日 5 月 23 日 (木)
- ・会場 栃木文化会館
- ・出席者 253 人
- ・内容 設立趣意について
規約、旅費支給規程、弔意規程、表彰規程について
役員を選任について
平成 25 年度事業計画、収支予算について
功労者表彰式 (特別功労者表彰 17 人、功労者表彰 28 人)

(イ) 役員会

第 1 回	6 月 27 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度の予定について ・まちづくり懇談会ふれあいトークについて
第 2 回	9 月 30 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉計画策定に関する自治会連合会の取り組みについて ・役員視察研修会について
第 3 回	11 月 11 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな地域自治制度基本構想 (素案) について ・自治会加入チラシについて ・自治会活動の手引きについて
第 4 回	1 月 31 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・規約の一部改正について ・平成 26 年度行事予定について (岩舟地域自治会連合会から代表者 3 名出席)
第 5 回	3 月 19 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・功労者表彰について ・平成 26 年度収支予算について (岩舟地域自治会連合会から代表者 4 名出席)

(ウ) まちづくり懇談会 (栃木地域)

8 月 2 日 (金)	第 6 地区コミュニティセンター (栃木第 6・7 地区)
8 月 8 日 (木)	第 4 地区コミュニティセンター (栃木第 2・3・4 地区)
8 月 9 日 (金)	吹上公民館 (吹上・寺尾地区)
8 月 19 日 (月)	第 5 地区コミュニティセンター (栃木第 1・5 地区)
8 月 21 日 (水)	皆川公民館 (皆川地区)
8 月 23 日 (金)	国府公民館 (大宮・国府地区)

(エ) 役員視察研修

- ・実施日 10 月 18 日 (金)、19 日 (土)
- ・視察地 埼玉県川越市
- ・内容 全国自治会連合会埼玉県川越大会への参加
・講演会「住民主体のまちづくり」

・協働のまちづくり実践報告会

・出席者 自治会連合会役員 12人

(オ) 栃木県自治会連合会事業への参加

・参加事業 常任理事会・定期総会（鹿沼市ニューサンピア栃木）
先進都市視察研修（群馬県前橋市）
会長研修大会（さくら市氏家公民館）
県南ブロック会議（栃木グランドホテル）

(カ) 新春賀詞交歓会

・実施日 1月7日（火）
・会場 サンプラザ
・主催団体 当連合会、市、市議会、商工会議所、下野農業協同組合
ほか5団体

市民協働推進担当

1 市民活動の推進

市民による営利を目的としない社会貢献活動を支援するため、次の事業を行った。

(1) 市民活動推進センター

とちぎ市民活動推進センター「くらら」の管理運営を、指定管理者制度により特定非営利活動法人ハイジに委託し、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を実施した。

ア 登録数

・団体 249団体

イ 運営委員会の開催

実施日	場所	出席者（人）
8月12日（月）	市役所 第5会議室	11
3月13日（木）	市民活動推進センター	10

ウ 利用状況

来館者（人）	会議室使用		作業室使用（人）	相談件数（件）	印刷回数（回）
	団体数	人数			
19,086	548	5,921	1,733	252	789

エ ホームページ閲覧 5,922件

オ 情報紙発行 毎月 2,000部発行

カ 広報とちぎ（2月号）へ情報紙折込み 全戸配布

(2) 特定非営利活動法人の認証等

栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき、平成19年度から権限移譲を受け、特定非営利活動促進法及び県の特定非営利活動促進法施行条例に基づく特定非営利活動法人の設立、解散または合併の認証等の事務を行っている。

取扱件数

(単位：件)

設立	解散	定款変更	役員変更受付	事業報告書等受付
1	—	6	6	25

(3) 市民協働推進員の設置及び研修会等の開催

庁内における市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置するとともに、行政と市民との協働に関する意識の更なる向上を目指し、研修会等を開催した。

協働推進研修会

対象者	実施日	場所	出席者（人）
職員	5月17日（金）	大平公民館	60
市民・職員	1月29日（水）	皆川公民館	74

(4) 市民活動支援事業

NPO団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化をさらに促進するため、市民協働まちづくりファンド（基金）を設け、主体的・公益的な活動を行う市民団体に市民活動推進事業費補助金“とちぎ夢ファーレ”事業により活動経費の一部を助成した。

- ・助成団体数 42団体
- ・助成総額 6,285,000円
- ・寄附件数 9件

ファンド（基金）への積立て

種別	金額（円）
市民・企業からの寄附金	1,630,316
積立金利子	1,086
市の積立金	1,630,316
合計	3,261,718

(5) とちぎ協働まつり

「みんなでつくる明るい豊かなまちづくり」を理念として、協働の活性化・推進を目的に、さまざまな市民が集い、毎年テーマを掲げ、市民自ら作り上げていくイベントとして、「とちぎ協働まつり 2013」を、とちぎ協働まつり実行委員会との共催により開催した。

- ・実施日 10月27日（日）
- ・会場 総合運動公園
- ・テーマ 軌跡（きせき）
- ・来場者 20,000人

2 市民総合賠償補償保険制度の実施

市民総合賠償補償保険制度とは、市が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び市の業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を総合的に補てんする賠償責任保険並びに市が主催する行事等に参加している住民の急激かつ偶然な外来の事故について、法律上の損害賠償責任の有無に関係なく、市が支払う補償金（見舞金）

を補てんする補償保険により構成されている制度であり、全国市長会が加入市を被保険者とする団体保険契約を損害保険会社と締結して実施した。

保険の種類	支払件数(件)	支払金額(円)
損害賠償請求	—	—
補償金	2	690,000

3 市民活動補償制度の実施

市民活動補償制度とは、栃木市民で市民により自主的に構成された市民団体やその指導者が行う地域住民活動、青少年育成活動、社会福祉・社会奉仕活動、社会教育活動等で、本来の職場を離れて基本的に無報酬で行う継続的、計画的及び臨時的な実践活動中の事故について、指導者が賠償責任を負う場合の損害を補てんする賠償責任保険並びに指導者等や参加者が活動中に発生した急激かつ偶然な外来の事故について補償するために、市が保険会社と傷害保険を締結し実施した。

保険の種類	支払件数(件)	支払金額(円)
損害賠償請求	—	—
補償金	—	—

4 地域版プラットフォーム事業

NPO等(NPO法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、学校法人、地縁組織、協同組合等)、企業、行政を含むメンバーでプラットフォームを構成し次の事業を実施した。

(1) 新市の一体感の醸成事業

合併後の新市において、多くの市民にそれぞれの地域の魅力を知ってもらうため、各地域を訪れて地域資源の再発見をする事業および小学生を対象に市の良さを知り発信する人材を育てる事業を実施した。

ア 栃木のとちぎ交流事業

コース	実施日	テーマ等	参加者数(人)
第1回【大人向け】	6月27日(木)	各地域の資源を再発見	47
第2回【子供向け】	10月5日(土)	各地域の資源を再発見	6

イ めざせ!とちぎふるさと子ども観光大使事業

コース	実施日	内容	参加者数(人)
第1回【都賀地域】	6月15日(土)	大柿の里山を体験しよう	小学生13
第2回【栃木地域】	8月10日(土)	下野国庁跡と大神神社で俳句体験	小学生16
第3回【大平地域】	9月14日(土)	戸長屋敷で大平の歴史を学ぼう	小学生15
第4回【栃木地域】	10月12日(土)	蔵の街を歩いて歴史を学ぼう	小学生11
第5回【藤岡地域】	12月7日(土)	伝統工芸品、新波の提灯作りを学ぼう	小学生16
第6回【西方地域】	1月25日(土)	河童伝説と西方の文化財を学ぼう	小学生10
第7回【認定式】	3月9日(日)	とちぎふるさと子ども観光大使神明宮教室及び認定証授与式	小学生19 (認定者:19)

第4節 合併推進室

〔総括概要〕

合併推進室の主な分掌事務は、栃木市・大平町・藤岡町・都賀町合併協議会及び栃木市・西方町合併協議会において「合併後」に再編等とされた事務事業の調整状況の把握、事後処理に関すること及びその他合併に関することである。

「合併後」に再編等としている事務事業の調整状況を照会し、その結果について、地域協議会等において報告後、市ホームページ等を活用し、市民への周知を図った。

市町村合併については、6月19日の栃木県知事による廃置分合の決定に続き、8月23日付けの官報で、栃木市と岩舟町の合併が総務大臣により告示されたことから、合併に関する一連の法手続きが完了し、平成26年4月5日に岩舟町を編入することが法律上確定した。

また、栃木市・岩舟町合併協議会は、第12回合併協議会から第14回合併協議会まで計3回の合併協議会を開催し、合併協定項目等の調整結果について確認を行い、平成26年3月31日をもって解散した。

合併推進担当

1 合併調整管理事業

(1) 「合併後」再編等とされた事務事業数の内、平成25年度以降の調整状況（単位：事業）

区 分	Aランク	Bランク	Cランク	計
事務事業総数	38	22	19	79
25年度中に調整済み	18	8	3	29
26年度中に調整予定	20	14	16	50

(2) ホームページでの広報（新市で進めている主な事務調整の経過のお知らせ）

- ・掲載回数 2回（5月及び3月掲載）

2 栃木市・岩舟町合併協議会

栃木市・岩舟町合併協議会の事務局として行った主な事務は、次のとおりである。

(1) 協議会開催

ア 第12回合併協議会

- ・開催日 7月29日（月）
- ・場 所 岩舟町健康福祉センター 検診室
- ・報告事項 平成25年度合併協議会予算の専決処分について
合併協定項目の具体的な調整結果について
合併協定項目以外の主な調整結果について
合併に係る啓発用品等について
- ・審議事項 平成24年度合併協議会歳入歳出決算について

平成25年度合併協議会補正予算について
平成25年度合併協議会事業計画について

イ 第13回合併協議会

- ・開催日 11月25日（月）
- ・場所 国府公民館 大交流室
- ・報告事項 合併協定項目の具体的な調整結果について
合併協定項目以外の主な調整結果について
例規整備の進捗状況について
- ・審議事項 平成25年度合併協議会補正予算について

ウ 第14回合併協議会

- ・開催日 1月22日（水）
- ・場所 栃木保健福祉センター 大会議室
- ・報告事項 合併協定項目の具体的な調整結果について
平成25年度合併協議会歳入歳出決算見込みについて
- ・審議事項 合併協議会の廃止について

(2) 協議会廃止の経過

2月24日（月）	廃止議案可決 廃止協議書に調印
2月28日（金）	合併協議会廃止の告示
3月17日（月）	県知事に廃止の届出
3月31日（月）	栃木市・岩舟町合併協議会廃止

(3) 合併啓発

- ・懸垂幕、横断幕 7枚
- ・のぼり旗 110本
- ・ポケットティッシュ 20,000個
- ・小中学生向け合併啓発リーフレット（A4版見開き4ページ） 14,300枚

(4) 暮らしのガイドブック

合併前の岩舟町住民を対象に、合併後の新市の組織、公共施設、制度変更等の情報を掲載し、配布。A4版、92ページ、6,000部。

(5) 広報関係

ア ホームページ記事掲載

「栃木市・岩舟町合併協議会」

イ 新聞広告

下野新聞へ新しい「栃木市」誕生広告を掲載

第5節 秘書広報課

〔総括概要〕

秘書広報課の主な分掌事務は、秘書関係及び広報広聴関係業務である。

秘書関係業務については、市長のトップマネジメントが十分発揮できるよう秘書機能の充実に努めたほか、市政功労者等の表彰や市内各団体等との円滑な交流推進を図るための新春賀詞交歓会などを、関係団体等の協力の下実施した。

広報業務については、市民への市政情報の提供及び市外に向けての情報発信を目的として、広報紙の発行、公式ホームページ等の活用、報道機関への情報提供等、積極的な広報活動を展開した。

広報紙については、見やすく、親しみやすいA3判で、毎月1回発行した。また、ホームページに加えてSNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した広報活動として、公式ツイッター及び公式フェイスブックによる広報を行った。

広聴業務については、まちづくり懇談会ふれあいトーク、市民討議会、市長へのアイデア直通便などを実施し、市政に関する意見・提案を広く求めた。

栃木市マスコットキャラクター制定業務については、11名の委員で構成する選定委員会を設置し、全国にデザインを公募した結果1,675点の作品の応募があった。4回の選定委員会を行い、また市内及び旧岩舟町の小中学生にアンケート調査を行ったうえで、栃木市マスコットキャラクター「とち介」を決定した。

秘書担当

1 市長のホームページの管理

- ・市長のメッセージの更新 年4回（春夏秋冬）
- ・市長の主な動きの更新 月1回（各月ごとにその翌月に写真で紹介）
- ・市長の交際費支出状況の更新 月1回（各月ごとにその翌月1日頃）

2 下野新聞社への市長日程の提供

毎週水曜日に次週の市長日程の抜粋を報告した。

3 表彰

市政功労者、徳行者及び市民栄誉賞受賞者の表彰式を開催した。

- ・実施日 11月20日（水）
- ・場 所 市役所 正庁
- ・市政功労者表彰（敬称略）

表彰条例第3条第1項による表彰（各種委員等における永年在職者）

母子保健推進員	在職20年	7か月	加藤久江
学校医	在職20年	7か月	小山照夫
学校歯科医	在職20年	7か月	早乙女雅彦

学校医	在職 20年 7か月	野田 雅行
学校歯科医	在職 20年 7か月	林 隆弘
学校医	在職 20年 7か月	船越 由美子
学校歯科医	在職 20年 7か月	増山 久一
少年補導員	在職 20年 7か月	板垣 彰
少年補導員	在職 20年 7か月	岸 悦子
少年補導員	在職 20年 7か月	斎藤 道人
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	荒川 咲子
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	熊倉 由紀子
農業委員	在職 11年	影山 和夫
自治会長	在職 1年	
農業委員	在職 12年 4か月	中野 林藏

・徳行者表彰（敬称略）

表彰条例第4条第1項による表彰

徳行	飯塚 万里
徳行	石川 常四郎
徳行	大杉 清一
徳行	長谷川 恵子
徳行	深澤 富子

・市民栄誉賞表彰（敬称略）

表彰条例第5条による表彰

市民栄誉賞（全国高校総体陸上競技男子走り高跳び優勝）

中島 大輔

4 新春賀詞交歓会

・実施日 1月7日（火）

・場所 サンプラザ

・主催団体 市・市議会・栃木商工会議所・大平町商工会・藤岡町商工会
都賀町商工会・西方商工会・下野農業協同組合・上都賀農業協同組合
栃木市自治会連絡協議会

・参加者数 388人

〔 栃木市181人、市議会32人、商工会議所86人、
商工会28人（大平12人、藤岡7人、都賀6人、西方3人）
J Aしもつけ47人、J Aかみつが2人、自治会関係12人 〕

広報広聴担当

1 広報関係

(1) 広報紙等による広報

市政全般について掲載した広報紙を発行し、市政のPRに努めた。

広報とちぎ

- ・発行部数 5月号～4月号 毎月1回 47,500部
- ・仕様 A3判2つ折り

号	ページ数		号	ページ数		号	ページ数	
	4色	2色		4色	2色		4色	2色
37(5月号)	4	12	41(9月号)	4	12	45(1月号)	4	12
38(6月号)	4	12	42(10月号)	4	12	46(2月号)	4	12
39(7月号)	4	12	43(11月号)	4	12	47(3月号)	4	12
40(8月号)	4	12	44(12月号)	4	12	48(4月号)	4	12

(2) 視聴覚障がい者等への広報

ア 広報とちぎ点字版

- ・発行回数 定期6回（2か月に1回）
- ・発行部数 29部
- ・仕様 B5判点字用紙（約30ページ）

イ 声の広報とちぎ

朗読ボランティアあかり及び朗読グループいずみの協力を得て発行

- ・発行回数 毎月1回 年間12回
- ・発行時期 広報とちぎ発行日～数日後（カセット・CD）

(3) ホームページによる広報

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、公式ホームページを開設し、市政情報やイベント、観光案内、生活ガイド等の情報を積極的に市内外に発信し、広報活動のより一層の充実に努めた。

- ・アクセス件数（ページビュー数）3,850,582件

(4) SNSを活用した広報

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報を行った。

市ホームページのトップページに公式ツイッターと公式フェイスブックのバナーを設け、簡単にアクセスできるようにした。

投稿内容は、行政情報、観光情報、災害情報（気象警報発令時に注意喚起）等。

- ・投稿数 フェイスブック479件 ツイッター462件

(5) テレビ・ラジオ等による広報

ア CATVコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政情報等について、ケーブルテレビ(株)に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル111チャンネル）で放送した。

主な番組

- ・自治体広報番組「栃木市からこんにちは」
20分番組で、3月24日（月）から30日（日）の間放送した。

・生活文字情報

文字スクロールによる生活情報で、毎週月・水・金曜日に12分間放送した。

（1日6回）

・エリア便

イベント等の告知情報で、毎週月・火・水曜日に1分前後放送した。

・新春特別番組「新年のご挨拶 栃木市」

10分番組で、1月1日（水）から5日（日）の間放送した。

イ とちぎテレビ

市政のPRを行うため、（株）とちぎテレビに番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

・新春特別番組「2014年 わが街発！」

30分番組のうち10分間で、1月1日（水）、3日（金）に放送した。

ウ 栃木放送（C R T）

市政のPRを行うため、（株）栃木放送に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

・新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」

10分番組で、1月1日（水）、2日（木）に放送した。

エ エフエム栃木

本市のイメージアップや観光への誘客を図るために、市政のPR及び市内の各種行事等の情報を県内全域に発信する市の広報番組の製作を（株）エフエム栃木に委託した。

・「MY CITY とちぎFM」

生放送で、毎週月曜日に30分間放送した。

・新春特別番組「新春市長インタビュー」

10分番組で、1月7日（火）に放送した。

(6) 報道機関等への情報提供

ア 記者会見

・定例記者会見 毎月1回

・予算記者会見 年1回

・臨時記者会見 随時(2回)

※その他の報道機関へは、定例・臨時記者会見資料を随時提供

イ 市政情報の提供（F A Xにより随時）

・情報提供件数 462件

(7) 広報活動推進員による活動

各課で1名広報活動推進員を選任し、広報活動の円滑な事務を行うための研修を行った。

・実施日 7月26日（金）参加者95人（広報活動推進員、各課長）

・テーマ「新聞紙面で紹介したくなる行政情報とは何か」

・講師 朝日新聞社栃木支局長 平井隆昭記者

(8) 栃木市ふるさと大使

本市の魅力を広く効果的に情報発信することと、本市の知名度及びイメージの向上並びに市民の一体感及び郷土愛を醸成することを目的とした「栃木市ふるさと大使制度」を設け、栃木市にゆかりのある方に委嘱している。（平成24年度から任期2年）

栃木市ふるさと大使 8人（澤村拓一氏、春風亭柳橋氏、寺内崇幸氏、富田晋伍氏
山田五郎氏、山田昌彦氏、吉川真氏、渡辺俊介氏）
1団体（栃木ウーヴァFC）

2 広聴関係

(1) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市長をはじめとする市執行部が、市民の市政に対する意見・提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映することを目的に実施した。

また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図ることができた。

・栃木地域

実施日	出席者（人）	会場
8月 2日（金）	103	第6地区コミュニティセンター
8月 8日（木）	70	第4地区コミュニティセンター
8月 9日（金）	105	吹上公民館
8月19日（月）	79	第5地区コミュニティセンター
8月21日（水）	78	皆川公民館
8月23日（金）	81	国府公民館

・大平地域

実施日	出席者（人）	会場
7月25日（木）	73	大平南地区公民館
7月26日（金）	85	大平西地区公民館
8月 1日（木）	109	大平東地区公民館

・藤岡地域

実施日	出席者（人）	会場
10月 2日（水）	55	部屋地区公民館
10月 3日（木）	53	藤岡遊水池会館
10月 4日（金）	55	赤麻地区公民館
10月 7日（月）	52	三鴨地区公民館

・都賀地域

実施日	出席者（人）	会場
7月 2日（火）	51	合戦場小学校体育館
7月 9日（火）	43	家中小学校体育館
7月12日（金）	55	赤津小学校体育館

・西方地域

実施日	出席者（人）	会場
7月 11日（木）	70	西方総合文化体育館
7月 12日（金）	59	西方保健センター

7月17日(水)	55	真名子夢ホール
----------	----	---------

(2) 市民討議会

無作為に抽出した市民1,000人を対象に参加を促し、(一社)栃木青年会議所との共催により、とちぎ市民討議会2013を開催した。

- ・実施日 7月28日(日)
- ・場 所 市役所 正庁
- ・参加者 23人
- ・テーマ 「地域公共交通の利用促進について」
 - ①あなたの感じる「ふれあいバス」の良い点・悪い点
 - ②あなたの考える「ふれあいバス」の利用促進について

(3) 市長へのアイデア直通便

市民から、市政に対する幅広いアイデアや意見・提案等をうかがい、施策に反映させるとともに、市民との協働・共生のまちづくりに資するため、広報とちぎに料金受取人払いの「市長へのアイデア直通便」を掲載し、投書受付を実施した。

- ・受付通数 36通(提案件数 57件)

(4) 市政メール箱(電子メール)

インターネットを利用した広聴活動として、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を設け、投書受付を実施した。

- ・投書件数 127件

(5) 投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

- ・投書件数 26件

(6) 市政に関する意見の郵送及びFAXの受付

- ・投書件数 28件

(7) 来庁やお電話による市政に関するご意見の受付

- ・ご意見数 27件

(8) パブリックコメント

重要な施策の策定の過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参画を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、パブリックコメント(市民意見提出制度)を実施した。

- ・実施件数 11件

3 マスコットキャラクター制定業務関係

(1) 選定委員会

栃木市マスコットキャラクター選定委員会要綱を制定し、11名の選定委員を委嘱した。

委員長	宇都宮大学教育学部	教授	陣内雄次	氏
副委員長	文星芸術大学	准教授	細田秀明	氏
委員	文星芸術大学	教授	ちばてつや	氏
委員	栃木市地区観光協会連絡協議会	副会長	片柳登	氏

委員	下野新聞社	栃木支局長	久保正洋	氏
委員	ケーブルテレビ（株）	代表取締役	高田光浩	氏
委員	（一社）栃木青年会議所	副理事長	小島圭介	氏
委員	栃木市民活動推進センター	くらら利用者協議会	小林桂子	氏
委員	大学生		大塚憲司	氏
委員	高校生		小暮真弥	氏
委員	高校生		西 清花	氏

(2) デザイン公募

9月20日（金）から11月30日（土）まで、全国にデザインを公募し、1,675点の作品の応募があった。

(3) 栃木市マスコットキャラクター選定委員会

第1回 8月6日（火）午後7時～

- ・委員長、副委員長の選出
- ・栃木市マスコットキャラクターの選定（概要）について
- ・栃木市マスコットキャラクター募集要項について

第2回 8月27日（火）午後7時～

- ・栃木市マスコットキャラクター募集要項について（確認）
- ・栃木市マスコットキャラクター募集チラシ（案）について

第3回 12月7日（土）午後1時～

- ・第1次選定
- ・第2次選定
- ・結果発表

第4回 1月29日（水）午後7時～

- ・小中学生によるアンケート調査の結果発表（事務局）
- ・最終選定

(4) 最優秀賞・優秀賞・ちばてつや賞

最優秀賞	とち介（とちすけ）	杉原 由希子	東京都練馬区
優秀賞	うずまる	渡部 遼	栃木市今泉町
優秀賞	くらのまちこちゃん	水越 茜	茨城県土浦市
優秀賞	うたまるん	越川 かえで	神奈川県逗子市
優秀賞	Mr. CLUTCH（ミスタークラッチ）	上島 弘祥	栃木市野中町
優秀賞	とちち	菊地 咲貴	東京都港区
ちばてつや賞	くらにゃん	梅山 侑暉	栃木市沼和田町
ちばてつや賞	ナマズンズン	小島 愛加	栃木市泉川町
ちばてつや賞	とっとくん	関 風輝	下都賀郡岩舟町

(5) 栃木市マスコットキャラクター発表

3月28日（金）栃木文化会館大ホールにてデザイン及び着ぐるみの発表と入賞者の表彰を行った。

第6節 財政課

〔総括概要〕

平成25年度の当初予算については、栃木市総合計画基本計画の7つの基本方針に基づき各種施策の推進を図るとともに、岩舟町の合併に向けた準備の着実な推進、さらには、緊急的な課題に対応したものであった。また、限られた財源の効率的・効果的な活用に努めつつ、多種多様な行政需要への的確な対応、さらには、国の補助制度の活用による財源確保に努めるため、10次にわたる補正予算を編成するなど、臨機応変に対応した。

一方で、財政の透明性の確保や市民への説明責任を果たすため、「予算のあらまし」を全世帯に配付するとともに、ホームページに当初予算の編成過程や決算等の情報を掲載した。

平成26年度の当初予算については、栃木市総合計画に掲げる将来像の実現に向けた各種施策の推進を図ること、岩舟町との合併後初年度の予算となることを念頭に、総合計画への貢献度及び実効性の高い事業に予算を重点的に配分するとともに、各地域における市民サービス及び市民負担の均衡を図るよう予算編成を行った。

財政担当

1 平成25年度歳入歳出予算

(1) 一般会計

(単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成25年 3月22日	—	57,890,000
専決処分補正第1号	4月26日	12,998	57,902,998
補正第 2号	6月27日	213,717	58,116,715
〃 3号	9月27日	1,147,296	59,264,011
〃 4号	9月 6日	38,388	59,302,399
〃 5号	9月20日	547,000	59,849,399
〃 6号	12月19日	△433,050	59,416,349
専決処分補正第7号	平成26年 1月20日	606,600	60,022,949
〃 8号	2月18日	106,515	60,129,464
補正 第9号	3月20日	△790,207	59,339,257
〃 第10号	3月20日	10,000	59,349,257

(2) 特別会計

ア 国民健康保険

(単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成25年 3月22日	—	17,007,200
補正第 1号	12月19日	63,991	17,071,191

” 2号	平成26年 3月20日	65,665	17,136,856
------	-------------	--------	------------

イ 後期高齢者医療 (単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成25年 3月22日	—	1,448,400
補正第 1号	12月19日	16,940	1,465,340
” 2号	平成26年 3月20日	△10,180	1,455,160

ウ 介護保険 (保険事業勘定) (単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成25年 3月22日	—	10,692,400
補正第 1号	9月27日	918	10,693,318
” 2号	12月19日	245,280	10,938,598
” 3号	平成26年 3月20日	4,119	10,942,717

エ 介護保険 (介護サービス事業勘定) (単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成25年 3月22日	—	44,600
補正第 1号	12月19日	△2,669	41,931

オ 下水道 (単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成25年 3月22日	—	4,211,600
補正第 1号	9月27日	2,200	4,213,800
” 2号	12月19日	△14,108	4,199,692
” 3号	平成26年 3月20日	△113,420	4,086,272

カ 農業集落排水 (単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成25年 3月22日	—	343,000
補正第 1号	12月19日	△240	342,760
” 2号	平成26年 3月20日	—	342,760

キ JR大平下駅前土地区画整理 (単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成25年 3月22日	—	25,000
補正第 1号	平成26年 3月20日	16,000	41,000

ク 医療福祉モール (単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成25年 3月22日	—	5,340
補正第 1号	9月27日	—	5,340

ケ 中根産業団地

(単位：千円)

区 分	議決等年月日	補 正 額	累 計
当 初 予 算	平成25年 3月22日	—	161
補正第 1号	9月27日	57,255	57,416
〃 2号	平成26年 3月20日	1	57,417

(3) 水道事業会計

(単位：千円)

区 分	議決等 年月日	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
		収 入	支 出	収 入	支 出
当 初 予 算	平成25年3月22日	2,243,802	2,235,070	367,803	1,610,479
計		2,243,802	2,235,070	367,803	1,610,479

2 平成25年度決算状況

(1) 一般会計及び特別会計

(単位：千円)

区 分	予算現額	決算額			翌年度へ繰越 すべき財源	実質収支額
		歳 入	歳 出	差引額		
一 般 会 計	60,414,206	60,313,598	56,290,613	4,022,985	335,271	3,687,714
国民健康保険特別会計	17,136,856	16,651,967	16,507,849	144,118	—	144,118
後期高齢者医療 特別会計	1,455,160	1,452,580	1,437,732	14,848	—	14,848
介護保険特別会計 (保険事業勘定)	10,942,717	10,960,212	10,625,249	334,963	—	334,963
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	41,931	40,734	40,338	396	—	396
下水道特別会計	4,102,609	4,054,416	3,929,247	125,169	19,955	105,214
農業集落排水 特別会計	342,760	344,688	328,434	16,254	—	16,254
J R大平下駅前土地 区画整理特別会計	41,000	41,165	40,684	481	—	481
医療福祉モール 特別会計	5,340	5,569	5,312	257	—	257
中根産業団地 特別会計	57,417	57,417	57,417	—	—	—
計	94,539,996	93,922,346	89,262,875	4,659,471	355,226	4,304,245

(2) 水道事業会計

(単位：千円)

区 分	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	収 入	支 出	収 入	支 出
予算額	2,243,802	2,235,070	367,803	1,610,479
決算額	2,237,589	1,969,692	368,591	1,435,405
決算額-予算額	△6,213		788	
繰越額		—		—
不用額		265,378		175,074

3 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の収入額 (単位：千円)

区 分	交付月	期 間	交 付 額	
地方譲与税	6月	平成25年 3月～ 5月	46,092	
	11月	〃 6月～ 10月	58,716	
	3月	〃 11月～平成26年 2月	54,463	
	計			159,271
	6月	平成25年 2月～ 4月	104,286	
	11月	〃 5月～ 9月	148,214	
	3月	〃 10月～平成26年 1月	109,538	
	計			362,038
	6月	平成25年 3月～ 5月	0	
	11月	〃 6月～ 10月	0	
	3月	〃 11月～平成26年 2月	0	
	計 (千円未満部分を足し合せた額を切り上げ)			1
	小 計			521,310
利子割交付金	8月	平成25年 3月～ 7月	13,329	
	12月	〃 8月～ 11月	10,909	
	3月	〃 12月～平成26年 2月	8,411	
	計			32,649
配当割交付金	8月	平成25年 3月～ 7月	9,722	
	12月	〃 8月～ 11月	1,820	
	3月	〃 12月～平成26年 2月	51,404	
	計			62,946
株式等譲渡所得割交付金	3月	平成25年 3月～平成26年 2月	101,319	

地方消費税 交付金	6月	平成25年	2月～	4月	337,134
	9月	〃	5月～	7月	456,536
	12月	〃	8月～	10月	211,371
	3月	〃	11月～平成26年	1月	363,447
	計				1,368,488
ゴルフ場利用税 交付金	8月	平成25年	3月～	7月	161,048
	12月	〃	8月～	11月	122,371
	3月	〃	12月～平成26年	2月	91,216
	計				374,635
自動車取得税 交付金	8月	平成25年	4月～	7月	51,664
	12月	〃	8月～	11月	51,498
	3月	〃	12月～平成26年	3月	55,341
	計				158,503
地方特例交付金	4月				46,063
	9月				46,517
	計				92,580
交通安全対策 特別交付金	9月	平成25年	3月～	8月	11,589
	3月	〃	9月～平成26年	2月	9,899
	計				21,488
合 計					2,733,918

4 地方交付税

(1) 算定額 (単位：千円)

区 分	平成25年度算定額
基準財政需要額 ①	22,009,424
基準財政収入額 ②	15,928,538
交付基準額 ③ (①－②)	6,080,886
錯誤額・調整額 ④	16,373
普通交付税 ⑤	8,798,454
特別交付税 ⑥	1,309,182
合 計 (⑤＋⑥)	10,107,636

※平成25年度算定額の ①～③：一本算定による算定額

※平成25年度算定額の ⑤：合併算定替による算定額

(2) 収入額

(単位：千円)

区 分	交 付 月	交 付 額	区 分	交 付 月	交 付 額
普通交付税	4月	2,150,689	特別交付税	9月(震災復興特別交付税)	4,867
	6月	2,150,689		12月	268,973
	9月	2,240,352		3月	1,035,289
	11月	2,240,351		3月(震災復興特別交付税)	53
	3月(追加交付)	16,373			
小 計		8,798,454	小 計		1,309,182
合 計			合 計		10,107,636

5 市債の状況(一般会計)

(単位：千円)

名称(予算書の起債の目的)	借入額	年利率(%)	借入先
市庁舎整備事業	789,200	0.19	足利小山信用金庫
	1,511,600	0.14	足利銀行
	700	0.15	足利銀行
防犯灯LED化事業	215,800	0.15	足利銀行
こども発達支援センター整備事業	43,200	0.15	足利銀行
児童福祉施設整備事業	8,400	0.15	足利銀行
農道整備事業	26,700	0.29	足利銀行
道路維持事業	10,400	0.29	足利銀行
	138,000	0.29	足利銀行
	13,200	0.29	足利銀行
	125,100	0.29	足利銀行
	11,100	0.29	足利銀行
道路新設改良事業	84,000	0.29	足利銀行
	177,000	0.29	足利銀行
	386,600	0.29	足利銀行
	21,100	0.29	足利銀行
	46,600	0.29	足利銀行
橋りょう維持事業	8,200	0.29	足利銀行
	22,700	0.29	足利銀行
橋りょう新設改良事業	18,700	0.29	足利銀行
	1,700	0.29	足利銀行
河川等整備事業	69,000	0.15	足利銀行
	4,800	0.40	地方公共団体金融機構
街路事業	8,600	0.15	足利銀行
公園整備事業	32,000	0.15	足利銀行

まちづくり事業（公園）	50,800	0.29	足利銀行
公営住宅改修事業	15,100	0.40	地方公共団体金融機構
消防施設整備事業	10,900	0.10	全国市有物件災害共済会
	32,100	0.15	足利銀行
	19,700	0.10	全国市有物件災害共済会
	67,000	0.15	足利銀行
防災基盤整備事業	82,400	0.15	足利銀行
小学校施設整備事業	68,700	0.40	地方公共団体金融機構
	103,400	0.29	足利銀行
	104,300	0.29	足利銀行
	99,900	0.40	地方公共団体金融機構
	73,200	0.40	地方公共団体金融機構
中学校施設整備事業	31,700	0.40	地方公共団体金融機構
まちづくり事業（体育施設）	9,600	0.29	足利銀行
大平学校給食センター整備事業	168,700	0.29	足利銀行
県指定文化財取得事業	12,600	0.29	足利銀行
臨時財政対策債	1,527,700	0.60	財務省
	1,499,900	0.27	栃木信用金庫
合計	7,769,000		

6 財政状況の公表

告示番号	告示年月日	内 容
第211号	平成25年6月21日	平成24年度予算執行状況等
第439号	〃 12月27日	平成25年度予算執行状況及び平成24年度決算状況等

7 水道事業業務状況の公表

告示番号	告示年月日	内 容
第212号	平成25年6月21日	平成24年度下半期分
第440号	〃 12月27日	平成25年度上半期分

第7節 地域医療対策室

〔総括概要〕

地域医療対策室の主な分掌事務は、地域医療再生対策に関する事務である。

地域医療対策基金積立事業については、市民の保健福祉の増進、地域医療の充実及び強化を図る事業の財源に充てるための基金を設置し、設置目的事業への充当と、利子収入等の積立てを行った。

栃木地区病院統合再編事業については、栃木地区の3病院（下都賀郡市医師会病院、下都賀総合病院、とちの木病院）の統合再編の取組（とちぎメディカルセンター構想）に対して支援を行い、4月1日に一般財団法人とちぎメディカルセンターが設立され、3病院の経営はこの新法人に移行された。新法人は、今後、施設整備等を進め、平成28年4月には新しい医療体制での診療を目指して行くが、市も積極的に支援を行い新法人と連携を図りながら、地元説明会等の開催や、第1病院（仮称）建設用地の造成工事を実施した。

地域医療対策担当

1 地域医療対策基金積立事業 （単位：円）

平成24年度末現在高	積立金額	繰出金額	平成25年度末現在高
1,793,921,989	504,098,494	△877,702,178	1,420,318,305

2 栃木地区病院統合再編事業

(1) 栃木市地域医療確保対策本部会議の開催

栃木地区医療圏が抱える喫緊の課題に全庁を挙げて迅速に対応するため、栃木市地域医療確保対策本部会議を開催した。

開催日	議題
5月23日（木）	とちぎメディカルセンターについて （第1病院（仮称）建設用地の取扱い及び新法人の組織）
7月11日（木）	とちぎメディカルセンターについて （第1病院（仮称）基本設計の進捗状況）
10月10日（木）	とちぎメディカルセンターについて （事業費の見直し及び第2病院（仮称）基本設計の進捗状況）
10月25日（金）	とちぎメディカルセンター第1病院（仮称）建設用地の取扱いについて
3月12日（水）	とちぎメディカルセンターについて （第3施設（仮称）基本設計の進捗状況）

(2) 議会への説明

とちぎメディカルセンター施設整備等の進捗について議員研究会で説明を行った。

開催日	議題
6月7日(金)	とちぎメディカルセンターについて (第1病院(仮称)建設用地の取扱い及び新法人の組織)
7月12日(金)	とちぎメディカルセンターについて (第1病院(仮称)基本設計の進捗状況)
10月24日(木)	とちぎメディカルセンターについて (事業費の見直し及び第2病院(仮称)基本設計の進捗状況)
3月20日(木)	とちぎメディカルセンターについて (第3施設(仮称)基本設計の進捗状況)

(3) 市民説明会の開催

地域医療の現状やとちぎメディカルセンターの概要及び第1病院(仮称)の建設に伴う周辺整備について説明会を開催し、市民の意見を聴取した。

開催日	会場	対象者	参加者数(人)
7月22日(月)	上牛久公民館	第1病院(仮称)建設用地周辺居住者	33
8月7日(水)	栃木第三地区コミュニティセンター		19
9月15日(日)	栃木文化会館小ホール	市民	100

(4) 広報とちぎへの掲載

3病院の統合再編の進捗状況や地域医療に関する情報を広報とちぎへ掲載し、市民への周知を図った。

掲載時期	記事内容
4月号	とちぎメディカルセンターについて (4月以降の医療体制のイメージ)
5月号	地域医療対策基金について
6月号	とちぎメディカルセンターについて (一般財団法人とちぎメディカルセンターの設立)
8月号	とちぎメディカルセンターについて (3人の代表理事へのインタビュー)
9月号	とちぎメディカルセンター市民説明会の開催について
10月号	とちぎメディカルセンターについて (第1病院(仮称)基本設計の概要)
2月号	地域医療対策基金について

(5) とちぎメディカルセンター第1病院(仮称)建設用地造成工事の実施

当該建設用地は、地域医療の中核を担う新病院の早期開院を支援するため、市が用地を確保し造成工事を行った後、一般財団法人とちぎメディカルセンターへ引き継ぎを行った。

(造成工事概要) 請負金額 9,471,000円

工期 9月6日から1月31日

第2章 総務部

第1節 総務課

〔総括概要〕

総務課の主な分掌事務は、組織機構、行政区域、事務の合理化、行政改革、指定管理者、情報公開、個人情報保護、文書管理、条例規則の制定改廃、市議会との連絡調整である。

平成25年度は、重点事業として、組織機構の見直し、自治基本条例の推進、非核平和事業、指定管理者の管理状況評価、文書管理事務の統一、情報公開及び個人情報保護制度の適切な運用に努めた。

主な事務事業の実施状況については、次のとおりである。

組織機構については、効率的な行財政運営を実現し、なおかつ市民ニーズに的確に対応した市民目線の分かりやすい組織機構の確立を目指し、全部課長のヒアリングを経て、政策会議等において審議検討を行い、見直しを実施した。

行政改革については、平成24年度に策定した行政改革大綱・財政自立計画に基づき、実施計画の進行管理に努め、行財政の健全化に向けた取組みを行った。

自治基本条例については、同条例に基づく栃木市市民会議を10月に設置した。

指定管理者制度については、すべての制度導入施設について管理状況評価を行い、評価結果をホームページにおいて公表した。

また、8施設の指定管理者の選定について、栃木市指定管理者選定委員会に諮問し選定を行った。

非核平和事業では、平成24年3月の非核平和都市宣言を基に、原爆パネル展及び戦争体験を聞く会等の啓発事業を実施し、また、広島平和記念式典に中学生を派遣した。

職員提案については、すべての職員が気軽に提案できる組織風土、職場環境を整備すること等を目的として、栃木市職員提案制度「市長ホットライン」実施要項により職員から提案を募集した。

情報公開及び個人情報保護については、「栃木市情報公開条例」や「栃木市個人情報保護条例」の円滑な運用に努めた。また、情報公開・個人情報保護審査会を開催し、4件の事案を審査した。

文書管理については、文書の収受、配布、発送の迅速かつ的確な処理を行うとともに、新たな文書ファイリング方式の導入及び栃木市文書管理マニュアルの制定により、本庁、総合支所及び消防本部ごとに異なっていた文書管理事務を統一し、文書管理の適正な運用に努めた。

市議会については、定例会及び臨時会を5回招集し、197件の議案等を提出した。

また、条例、規則及び訓令については、196件の制定改廃を行った。なお、例規集については平成22年11月からデータベース化し、パソコンでの検索を可能とした。

1 組織機構の見直し

(1) 平成26年4月に実施するため平成25年度に検討した見直しの方針

行政改革大綱・財政自立計画の確実な推進のため、取組事項全85項目を所管課の分掌事務に明記した。

また、岩舟町の編入に伴い、岩舟総合支所を新設し、地域まちづくり課、税務課、生活環境課、健康福祉課、産業振興課及び都市建設課を置いた。

(2) 平成26年4月に実施するため、平成25年度に検討した各部等の見直し内容

ア 総合政策部

- ・合併推進室を廃止し、同室の分掌事務を総合政策課に引き継いだ。
- ・地域医療対策室を保健福祉部へ移管した。

イ 総務部

- ・危機管理課消防担当を廃止し、消防本部との連絡調整に関する分掌事務を同課危機管理担当に、非常備消防その他の分掌事務を消防本部に移管した。

ウ 生活環境部

- ・栃木地区広域行政事務組合の解散に伴い、環境課にクリーンプラザ担当を置き、とちぎクリーンプラザに関する分掌事務を所掌することとした。

エ 保健福祉部

- ・社会福祉課発達支援担当を同課こどもサポートセンター担当に改め、子どもの発達支援に関する分掌事務を一元化した。
- ・こども課こども担当に、児童福祉その他子育て支援に関する分掌事務を一元化した。
- ・認可外保育施設との連絡に関する分掌事務をこども課から保育課に移管した。
- ・健康増進課保健予防担当に救急医療に関する分掌事務を一元化した。
- ・地域医療対策室を総合政策部から移管した。

オ 建設水道部

- ・下水道課下水道管理担当及び下水道整備担当の分掌事務を見直し、各担当の分掌事務を整理した。
- ・水道工務課北部水道事務所担当及び南部水道事務所担当の分掌事務を整理し、一部を水道業務課及び水道工務課に移管した。

カ 都市整備部

- ・建築課住宅担当市営住宅チームを廃止した。

キ 各総合支所

- ・地域まちづくり課分掌事務のうち、消防団方面隊に関する分掌事務を消防本部に一元化した。
- ・健康福祉課こども担当を保健福祉部こども課に移管し、児童福祉その他子育て支援に関する分掌事務を一元化した。

ク 教育委員会事務局

- ・学校教育課保健給食担当中、大平・藤岡・都賀学校給食センターチームを学校

給食チームに統合した。

- ・図書館担当の分掌事務を社会教育担当に移管し、図書館担当を廃止した。
- ・文化課学芸推進担当を美術館担当に改めた。

ケ 農業委員会事務局

- ・農業委員会事務局長を部長相当職とし、同事務局に事務局次長を置いた。

コ 消防本部

- ・消防総務課に消防団係を置き、非常備消防施設その他の事務を消防本部消防総務課に一元化した。
- ・栃木市消防署に岩舟分署を置き、同分署に第1係及び第2係を置いた。

2 市政年報

平成24年度の栃木市政の概要を収録した市政年報を作成した。

配布部数

配布先	冊子版 (冊)	CD版 (枚)	配布先	冊子版 (冊)	CD版 (枚)
市議会議員	34	-	市長、副市長、教育長	3	-
各 地 域 自 治 区 区 長	4	-	総務課	3	3
情報推進課	-	1	議事課	1	-
各総合支所(幹事課)	4	-	生涯学習課	6	-
図書館	5	-	監査委員事務局	1	-
			合 計	61	4

3 地縁による団体の法人認可

地縁による団体（自治会等）が不動産等に関する権利等を保有するための法人格を付与する認可等を行った。

(1) 認可地縁団体登録

地縁による団体の法人認可登録件数

75団体（栃木地域 44団体、大平地域 5団体、藤岡地域 23団体、都賀地域 3団体）

(2) 認可地縁団体印鑑登録

認可地縁団体の印鑑登録件数

58団体（栃木地域 43団体、大平地域 4団体、藤岡地域 11団体）

(3) 各種申請状況

（単位：件）

申 請	件数	申 請	件数
認可申請	1	規約変更認可申請	1
印鑑登録申請	1	告示事項証明申請	3
告示事項変更申請	5	印鑑登録証明申請	2

4 行政改革

行政改革大綱・財政自立計画に基づき、実施計画の進行管理に努めた。

また、12月及び2月の市民会議において、行政改革大綱・財政自立計画並びに実施計画について説明を行った。

5 指定管理者制度

(1) 指定管理者選定委員会の開催

開催日	内 容
6月19日（水）	制度説明等
8月20日（火）	管理状況評価（現地調査及びヒアリング）
9月20日（金）	指定管理者選定ヒアリング（第2部会）
9月25日（水）	指定管理者選定ヒアリング（第1部会）
10月11日（金）	指定管理者候補者（案）の選定（第1部会） 指定管理者候補者（案）の選定（第2部会） 指定管理者候補者（案）の選定（委員会）

※平成25年度は、委員の人数を増やし、選定委員会に部会を設け、指定管理者の選定を実施

(2) 選定委員会による管理状況評価（3次評価）を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称	評価
1	大平高齢者デイサービスセンターまゆみ	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	B
2	大平地域福祉センター（ふるさとふれあい館）	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	B
3	大平地域活動支援センター（ほほえみ館）	社会福祉法人すぎのこ会	B
4	勤労者総合福祉センター	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	A
5	出流ふれあいの森	みかも森林組合	B

※評価はA・B・C・Dの4段階評価

※上記施設以外は、指定管理者による自己評価（1次評価）及び施設所管課による評価（2次評価）を実施

(3) 公募により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称	備考
1	栃木市総合運動公園	株式会社メディカルフィットネスとちの木	
2	栃木市営住宅及び栃木市特定公共賃貸住宅	共同事業体栃木市公営住宅管理センター	新規
3	道の駅にしかた	道の駅にしかた管理運営グループ	新規

4	栃木市いまいずみ児童館	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	複合施設
5	栃木市老人福祉センター泉寿園		
6	栃木市そのべ児童館	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	複合施設
7	栃木市老人福祉センター長寿園		
8	栃木市老人福祉センター福寿園	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	

(4) 公募外により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称	備考
1	栃木市藤岡地域活動支援センター	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	
2	栃木市都賀地域活動支援センター	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	
3	栃木市都賀老人デイサービスセンター 藤糸荘	社会福祉法人都賀の里	

6 自治基本条例

自治の基本理念及び基本原則や行政運営のルールを定めた自治基本条例の効果的な運用を図るため関連例規等の整備を行った。

また、広く市民への周知を図るため、ホームページにおいての情報提供のほか、市内で開催されたイベントにおいて周知活動を行った。

(1) 自治基本条例関連例規等の整備

No.	自治基本条例の関連条文	制定した例規等	制定年度
1	第27条第5項	栃木市審議会等の設置及び運営に関するガイドライン	24
2	第33条	栃木市個別外部監査契約に基づく監査に関する条例	24
3	第33条	栃木市個別外部監査契約を締結しようとする相手方の資格を証する書面等の閲覧に関する規則	24
4	第44条	栃木市市民会議条例 (栃木市市民会議の設置)	25

(2) 周知活動（パンフレットの配布等）

ア とちぎ協働まつり2013

- ・実施日 10月27日（日）午前9時～午後4時
- ・場所 栃木市総合運動公園
- ・対象者数 約500人

イ 第18回ふるさとまつり

- ・実施日 11月2日（土）・3日（日） 両日 午前10時30分～午後4時
- ・場 所 栃木大通り
- ・対象者数 約200人

7 栃木市市民会議

栃木市自治基本条例の実効性を高めるとともに適切な運用を図るため、同条例第44条に基づく栃木市市民会議を設置した。委員の構成は、公募22名、関係団体の代表者25名、学識経験者5名、市職員2名の計54名である。

(1) 栃木市市民会議の設置

市民会議の設置に当たり公募委員の募集を行った。応募者数が、予定した委員定数を超えた地域については、公開抽選会を実施した。

ア 公募委員募集（広報とちぎ8月号へ募集要項折込）

・応募状況 (単位：人)

地域名	栃木	大平	藤岡	都賀	西方
応募者数	37	10	3	4	2

イ 抽選会の実施

- ・実施日時 10月9日（水）午後3時～午後3時30分
- ・会 場 市役所別館第2会議室
- ・対象地域 栃木、大平、都賀

(2) 会議の開催

実施日及び会場	会議の名称	参加者数 (人)	主な議案等
10月9日（水） 栃木保健福祉センター検診ホール	第1回全体会	45	・委嘱状交付 ・役員選出、平成25年度事業計画について等
12月18日（水） 市役所正庁	第2回全体会	42	・栃木市自治基本条例について ・栃木市総合計画について
2月17日（月） 市役所正庁	第3回全体会	45	・行革大綱 財政自立計画について ・部会の運営について

8 行政区域

(1) 行政区域の変更

字の区域の変更

ア 小山栃木都市計画事業JR大平下駅前土地区画整理事業に伴う字の区域変更

小山栃木都市計画事業JR大平下駅前土地区画整理事業の施行に伴い、現況に符合しない字の区域が生じたことから、当該地区の字の区域の変更を実施した。

- ・決定書告示日 10月8日（火）

- ・効力発生日 換地処分公告のあった日の翌日
- ・対象区域 大平町富田字城ノ内の一部を大平町富田字田宿に変更、大平町富田字田宿の一部を大平町富田字石川並びに大平町富田字上沼に変更、大平町富田字上沼の一部を大平町富田字石川に変更、大平町富田字新町の一部を大平町富田字上沼に変更、大平町富田字峰前の一部を大平町富田字石川に変更。

9 非核平和事業

(1) 原爆パネル展

ア 開催状況

開催期間	会場	来場者数(人)
7月3日(水)～9日(火)	都賀公民館 ロビー	117
7月11日(木)～16日(火)	西方総合文化体育館 ロビー	43
7月25日(木)～31日(水)	藤岡公民館 ロビー	39
8月1日(木)～6日(火)	栃木文化会館 展示室	233
8月3日(土)～15日(木)	大平公民館 2F廊下	85
合 計		517

※来場者数：栃木文化会館以外の会場は折鶴回収数

イ 展示内容

- (ア) 原爆投下後の惨状を収めた写真パネル等
- (イ) 各会場に折鶴作製スペースを設置
(393羽回収、平成25年度広島派遣にて原爆の子の像に奉納予定)
- (ウ) 栃木文化会館では、【「戦争」に関する企画展示】を合わせて開催
 - ・原爆の図複製パネル展示
 (原爆の図 第1部 幽霊 / 第8部 救出 / 第11部 母子像)
 丸木位里・丸木俊 作 原爆の図丸木美術館より借用)
 - ・陸軍軍服、千人針、防空頭巾等の実物資料展示(埼玉県平和資料館より借用)
 - ・戦争に関するDVDの放映

(2) 戦争体験を聞く会

戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識する機会として、戦地に出征した方や空襲を経験した地元の方に戦時中の貴重な体験を話していただいた。

	開催日時	会場	来場者数(人)
第1回	7月6日(土) 午前10時～	都賀公民館 講堂	53
第2回	7月13日(土) 午前10時～	西方総合文化体育館 研修室	61
第3回	7月27日(土) 午前10時～	藤岡公民館 大会議室	59
第4回	8月3日(土) 午前10時～	栃木文化会館 展示室	102
第5回	8月10日(土) 午前10時～	大平公民館 第1・2会議室	62
合 計			337

(3) 広島平和記念式典中学生派遣

- ・派遣団員 市立中学校2年生男女各1人ずつ 計26人
- ・随行 派遣団長、学校教育課職員1人及び総務課職員2人 計4名

	開催日時	会場	内容
説明会	6月28日(金)18時～	市役所 正庁	団長挨拶 自己紹介 事業内容・行程等説明
事前学習会	6月28日(金)説明会終了後	市役所 正庁	広島への原爆投下等に関する 事前学習
壮行会	7月29日(月)18時～	市役所 正庁	市長、教育長挨拶 団員代表挨拶 記念撮影
広島派遣	8月5日(月)～7日(水)	—	広島市原爆死没者慰霊式・平 和祈念式参列 広島平和記念資料館・平和記 念公園見学 元安川灯籠流し 被爆体験講話受講 ほか
報告会準備・ リハーサル	8月18日(日)9時～	市役所 正庁	報告会の準備・リハーサル
報告会	8月29日(木)18時～	市役所 正庁	研修内容の発表 講評(副市長)

10 職員提案

すべての職員が気軽に提案できる組織風土、職場環境を整備すること等を目的として、
栃木市職員提案制度「市長ホットライン」実施要項に基づき、職員から提案を募集した。
また、7名の職員より7件の提案があり、うち6件の提案について採用された。

(1) 提案分野及び件数

- ・市の政策、施策に関する分野 4件
- ・市の業務の改善に関する分野 2件
- ・組織や職場環境に関する分野 1件
- ・市長が特定の課題を設け提案を求める分野 -件

(2) 採用された提案

- ・「FB良品」を使った「とちぎ小江戸ブランド」商品の戦略的PRと販売
- ・栃木市ゆるきゃらを市民に親しみやすいものにする
- ・ハートランドレスキュー隊の創設
～渡良瀬遊水地水面利用者に関する安全対策について～
- ・「会議室情報」見える化プロジェクト
- ・職員名簿に課の集合写真を掲載する。『顔と名前の職員名簿』の作成

- ・本庁 2 階のキッズスペースの設置について

文書法規担当

1 情報公開・個人情報保護関係

(1) 市政情報センター及び市政情報コーナーの設置

情報公開の総合窓口として市役所 3 階（新庁舎移転後は 4 階）に設置した市政情報センターにおいて、市民の相談に応じるほか、各種行政資料を常時公開するとともに、各公民館の図書コーナーにも市政情報コーナーを設け、各種行政資料を常時公開した。

(2) 市民への P R の実施

情報公開制度及び個人情報保護制度の案内について、市ホームページに掲載した。

(3) 実施状況

平成 25 年度には、情報公開請求が 47 件、個人情報開示請求が 26 件あり、状況は次のとおりである。

- ・請求件数及び公開等の決定状況（単位：件）

情報公開 請求件数	公開等の決定状況		
	公開	部分公開	非公開
47	12	23	12

個人情報開示 請求件数	開示等の決定状況		
	開示	部分開示	非開示
26	7	7	12

(4) 審査会開催状況

情報公開・個人情報保護審査会

実施日	議題
5 月 29 日（水）	・情報公開・個人情報保護制度の運用状況について（報告） ・集団検診モデル事業におけるインターネット予約受付の実施について
1 月 23 日（木）	・市内各駅への防犯カメラシステム設置について ・防犯カメラシステムの設置及び運用について

(5) 個人情報取扱事務の登録

栃木市個人情報保護条例第 6 条の規定に基づく個人情報取扱事務の登録を行った。

ア 個人情報取扱事務の登録件数 1,497 件

イ 個人情報取扱事務登録に関する庁内説明会の実施

実施期間	1 月 14 日（火）×2 回・2 月 6 日（木）×1 回・2 月 7 日（金）×1 回
受講者数	172 人

2 告示

- ・件数 497 件

3 栃木市公報の発行

- ・年 12 回発行 第 37 号（4 月 15 日）～第 48 号（3 月 15 日）

4 文書管理関係

(1) 文書ファイリング方式の統一

全庁的に統一された文書管理の運用を図るため、新たな文書ファイリング方式を導入した。

- ・導入時期 新庁舎移転時（2月10日から。総合支所及び消防本部においては平成26年4月1日から。）
- ・文書ファイリング方式 キャビネット方式（キャビネットを購入することができない部署においては「ボックスファイリング方式」）

(2) 栃木市文書管理マニュアルの制定

全庁的に統一された文書管理の運用を行うに当たり、その基準となる「栃木市文書管理マニュアル」を12月に制定した。

(3) 歴史公文書等の選別に関するガイドラインの制定

保存期間が満了した公文書等を歴史公文書等として選別する際の基準となる「歴史公文書等の選別に関するガイドライン」を制定した。

- ・制定日 6月1日（土）

(4) 文書管理研究会及び文書管理システム導入検討部会の開催

ア 文書管理研究会

実施日	議題
4月26日（金）	・文書ファイリング方式の統一について ・歴史公文書等の選別収集基準ガイドラインについて
11月19日（火）	・文書管理マニュアルの検討について

イ 文書管理システム導入検討部会

実施日	議題
5月7日（火）	・文書ファイリング方式の統一について ・歴史公文書等の選別収集基準ガイドラインについて
12月2日（月）	・文書管理マニュアルの検討について

(5) 文書管理マニュアルに関する説明会の実施

実施期間	1月14日（火）×2回・1月27日（月）×2回・1月28日（火）×1回・2月6日（木）×1回・2月7日（金）×1回
受講者数	244人

(6) 文書の引継ぎ及び廃棄

保存年限が満了した文書が収納されているファイルを書庫へ引き継ぎ、及び廃棄し、引継ぎファイル一覧（引継リスト）及び廃棄ファイル一覧（廃棄リスト）を作成した。（本庁のみ）

ア 文書の引継ぎ

- ・引継ファイル件数 5,603件

イ 文書の廃棄

- ・廃棄ファイル件数 2,099 件

ウ 廃棄文書一斉回収の実施

- ・第 1 回 12 月 25 日（水）
- ・第 2 回 1 月 20 日（月）

(7) 文書取扱件数 (単位：件)

区 分	郵便文書	県文書使送車による県庁からの文書	合計
收受文書	188,497	6,431	194,928
発送文書	860,579	2,129	862,708

5 文書印刷

- (1) 印刷機年間利用枚数 2,704,055 枚
- (2) コピー機年間利用枚数 5,704,529 枚
- (3) カラーコピー機年間利用枚数 85,453 枚

6 市議会関係

招 集 日	会議別	提 出 議 案 等
6 月 7 日(金)	定例会	議案第 67 号～議案第 78 号 報告第 4 号～報告第 11 号
8 月 30 日(金)	定例会	議案第 79 号～議案第 105 号 報告第 12 号～報告第 17 号 認定第 1 号～認定第 11 号
10 月 28 日(月)	臨時会	議案第 106 号～議案第 112 号
11 月 29 日(金)	定例会	議案第 113 号～議案第 169 号 報告第 18 号～報告第 20 号
2 月 24 日(月)	定例会	議案第 1 号～議案第 61 号 報告第 1 号～報告第 5 号

7 条例、規則等の審査、制定及び改廃

(1) 例規審査委員会

本市において制定する条例等の適正を期するため、条例等を審査し、立案を指導助言する栃木市例規審査委員会を開催した。

- ・委員会の開催 28 回
- ・審議件数 454 件

(2) 法令の制定・改廃等に伴い、本市の条例・規則等を整備した。(番号は暦年)

ア 条例

番号	題 名	公布年月日	施行年月日
32	栃木市市民会議条例	平成 25 年 6 月 28 日	平成 25 年 7 月 1 日
33	栃木市特別職の職員で非常勤のもの	平成 25 年 6 月 28 日	平成 25 年 7 月 1 日

	報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		
34	栃木市子ども・子育て会議条例	平成25年6月28日	平成25年7月1日
35	栃木市職員の給与の臨時特例に関する条例	平成25年6月28日	平成25年7月1日
36	栃木市税条例の一部を改正する条例	平成25年10月1日	平成25年10月1日
37	栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例	平成25年10月1日	平成25年10月1日
38	栃木市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部を改正する条例	平成25年10月1日	平成26年1月1日
39	栃木市高齢者デイサービスセンター条例の一部を改正する条例	平成25年10月1日	平成25年10月1日
40	栃木市介護保険条例の一部を改正する条例	平成25年10月1日	平成26年1月1日
41	栃木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	平成25年10月1日	平成25年10月1日
42	栃木市議会議員の選挙区の設置及び選挙区において選挙すべき議員の数を定める条例	平成25年11月1日	平成26年4月5日
43	岩舟町の編入に伴う生活環境部関係条例の整備に関する条例	平成25年12月2日	平成26年4月5日
44	岩舟町の編入に伴う保健福祉部関係条例の整備に関する条例	平成25年12月2日	平成26年4月5日
45	栃木市手数料条例の一部を改正する条例	平成25年12月2日	平成26年4月5日
46	栃木市再生可能エネルギー普及促進基金条例	平成25年12月20日	平成25年12月20日
47	栃木市部設置条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
48	栃木市青少年育成センター条例等の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年2月10日
49	栃木市職員の修学部分休業に関する条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
50	栃木市職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
51	栃木市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年1月1日

52	栃木市消費生活センター条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年2月10日
53	栃木市障がい福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成25年12月20日
54	栃木市指定障がい福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成25年12月20日
55	栃木市地域子育て支援センター条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成25年12月20日
56	栃木市保育所条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成25年12月20日
57	栃木市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
58	栃木市下水道条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
59	栃木市農業集落排水処理施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
60	栃木市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月5日
61	栃木市水道事業給水条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
62	栃木市営住宅条例及び栃木市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
63	道の駅にしかた条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
64	栃木市立学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
65	栃木市社会教育委員の定数及び任期に関する条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
66	栃木市集会所条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月5日
67	栃木市公民館条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月5日
68	栃木市体育施設条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月5日
69	栃木市立小中学校施設の開放に関する使用料条例の一部を改正する条例	平成25年12月20日	平成26年4月5日
70	とちぎ蔵の街美術館条例の一部を改正	平成25年12月20日	平成26年4月1日

	する条例		
71	栃木市議会政治倫理条例	平成25年12月20日	平成26年4月1日
1	岩舟町の編入に伴う総合政策部関係条例の整備に関する条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
2	岩舟町の編入に伴う総務部関係条例の整備に関する条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
3	岩舟町の編入に伴う理財部関係条例の整備に関する条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
4	栃木市小野寺地区市有林管理基金条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
5	岩舟町の編入に伴う生活環境部関係条例の整備に関する条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
6	栃木市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
7	栃木市廃棄物処理施設条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
8	岩舟町の編入に伴う保健福祉部関係条例の整備に関する条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
9	栃木市小野寺ふれあい館条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
10	岩舟町の編入に伴う産業振興部関係条例の整備に関する条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
11	栃木市農村公園条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
12	栃木市農業振興むらづくり施設条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
13	栃木市ルネッサンスセンター条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
14	岩舟町の編入に伴う建設水道部関係条例の整備に関する条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
15	岩舟町の編入に伴う都市整備部関係条例の整備に関する条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
16	栃木市議会委員会条例	平成26年2月26日	平成26年4月5日
17	栃木市こどもサポートセンター条例	平成26年3月20日	平成26年5月1日
18	栃木市歯及び口腔の健康づくり推進条例	平成26年3月20日	平成26年4月1日
19	栃木市予防接種委員会条例	平成26年3月20日	平成26年3月20日
20	栃木市寺尾ふれあい広場条例	平成26年3月20日	平成26年4月1日
21	栃木市健康福祉センター条例	平成26年3月20日	平成26年4月5日
22	栃木市特別会計条例の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年4月1日
23	栃木市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年3月20日
24	栃木市行政財産使用料条例の一部を改	平成26年3月20日	平成26年4月1日

	正する条例		
25	栃木市暴力団排除条例の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年3月20日
26	栃木市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年4月1日
27	栃木市保護費即時払基金条例の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年4月1日
28	栃木市準用河川占用料徴収条例の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年4月1日
29	栃木市公園条例の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年4月1日
30	栃木市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年3月20日
31	栃木市義務教育施設整備基金条例等の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年4月5日
32	栃木市手数料条例の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年4月1日
33	栃木市火災予防条例の一部を改正する条例	平成26年3月20日	平成26年4月1日
34	小山栃木都市計画事業JR大平下駅前区画整理事業施行に関する条例を廃止する条例	平成26年3月20日	平成26年4月1日
35	栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	平成26年3月31日	平成26年4月1日
36	栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例	平成26年3月31日	平成26年4月1日

イ 規則

番号	題 名	公布年月日	施行年月日
30	栃木市新型インフルエンザ等対策本部条例の施行期日を定める規則	平成25年4月13日	平成25年4月13日
31	栃木市予防接種に関する規則の一部を改正する規則	平成25年5月17日	平成25年5月17日
32	つがの里ふるさとセンター条例施行規則を廃止する規則	平成25年5月20日	平成25年5月20日
33	栃木市職員の管理職員特別勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	平成25年6月26日	平成25年6月26日
34	栃木市技能労務職員の給与に関する規則及び栃木市職員の管理職手当支給に	平成25年6月28日	平成25年7月1日

	関する規則の一部を改正する規則		
35	栃木市市民会議条例施行規則	平成25年7月1日	平成25年7月1日
36	栃木市保育所等の設置認可等事務取扱規則	平成25年7月8日	平成25年7月8日
37	栃木市母子保健法施行細則	平成25年7月11日	平成25年7月11日
38	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則	平成25年7月19日	平成25年7月19日
39	栃木市営住宅条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年7月29日	平成25年9月1日
40	栃木市下水道排水設備指定工事店規則の一部を改正する規則	平成25年7月31日	平成25年7月31日
41	大平町産業振興奨励事業審査会規則を廃止する規則	平成25年8月2日	平成25年8月2日
42	栃木市過誤納返還金交付規則及び栃木市個人住民税特別返還金支払規則の一部を改正する規則	平成25年8月21日	平成26年1月1日
43	栃木市基準該当居宅サービス事業者の登録に関する規則の一部を改正する規則	平成25年9月25日	平成25年9月25日
44	栃木市職員の通勤手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	平成25年10月3日	平成25年10月3日
45	栃木市職員の住居手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	平成25年10月3日	平成25年10月3日
46	栃木市職員の単身赴任手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	平成25年10月3日	平成25年10月3日
47	栃木市保育所管理規則の一部を改正する規則	平成25年10月31日	平成25年10月31日
48	栃木市学童保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年11月5日	平成25年11月5日
49	栃木市税条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年11月13日	平成25年12月1日
50	栃木市税に関する文書の様式を定める規則の一部を改正する規則	平成25年11月13日	平成26年1月1日
51	栃木市予防接種事故災害補償規則の一部を改正する規則	平成25年11月28日	平成25年11月28日
52	栃木市予防接種嘱託医設置規則等の一部を改正する規則	平成25年12月9日	平成26年4月5日
53	栃木市建設工事等執行規則の一部を改正する規則	平成25年12月12日	平成26年4月5日

54	栃木市営住宅条例施行規則及び栃木市特定公共賃貸住宅条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年12月20日	平成26年4月1日
55	栃木市営住宅条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年12月20日	平成26年4月5日
56	栃木市職員の育児休業等に関する規則の一部を改正する規則	平成25年12月25日	平成26年1月1日
57	栃木市ひとり親家庭医療費助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年12月26日	平成26年1月3日
58	生活保護法施行細則及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律施行細則の一部を改正する規則	平成25年12月27日	平成26年2月10日
59	栃木市学童保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成25年12月27日	平成26年4月1日
1	栃木市行政組織規則等の一部を改正する規則	平成26年1月21日	平成26年4月1日
2	栃木市介護保険規則等の一部を改正する規則	平成26年1月29日	平成26年4月5日
3	特定非営利活動促進法施行条例施行規則等の一部を改正する規則	平成26年2月4日	平成26年4月5日
4	栃木市母子保健法施行細則の一部を改正する規則	平成26年2月6日	平成26年4月5日
5	栃木市庁舎管理規則の一部を改正する規則	平成26年2月7日	平成26年4月5日
6	栃木市老人福祉法施行細則及び栃木市寝たきり老人等介護手当支給条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年2月21日	平成26年4月5日
7	栃木市保育所管理規則及び栃木市保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年2月25日	平成26年4月1日
8	栃木市国民健康保険税に関する文書の様式を定める規則等の一部を改正する規則	平成26年2月25日	平成26年4月5日
9	藤岡町社会福祉委員会規則を廃止する規則	平成26年2月26日	平成26年2月26日
10	栃木市職員任用規則等の一部を改正する規則	平成26年2月28日	平成26年4月5日
11	栃木市行政手続条例施行規則等の一部	平成26年3月3日	平成26年4月5日

	を改正する規則		
12	栃木市財務規則の一部を改正する規則	平成26年3月3日	平成26年4月5日
13	栃木市補助金等交付規則の一部を改正する規則	平成26年3月3日	平成26年4月5日
14	栃木市土砂等の埋立等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月3日	平成26年4月5日
15	栃木市墓地、埋葬等に関する法律施行細則の一部を改正する規則	平成26年3月3日	平成26年4月5日
16	栃木市狂犬病予防法施行細則の一部を改正する規則	平成26年3月5日	平成26年4月5日
17	栃木市環境審議会規則の一部を改正する規則	平成26年3月5日	平成26年4月5日
18	栃木市小野寺ふれあい館条例施行規則	平成26年3月5日	平成26年4月5日
19	栃木市印鑑条例施行規則及び栃木市自動車の臨時運行の許可に関する規則の一部を改正する規則	平成26年3月5日	平成26年4月5日
20	栃木市水道事業給水条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月6日	平成26年4月5日
21	栃木市特定疾患介護手当支給条例施行規則等の一部を改正する規則	平成26年3月7日	平成26年4月5日
22	栃木市社会福祉法人等の助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月7日	平成26年4月1日
23	岩舟町中小企業経営近代化資金利子補給金交付規則の執行に伴う経過措置に関する規則	平成26年3月11日	平成26年4月5日
24	栃木市道路占用料徴収条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月13日	平成26年4月5日
25	栃木市法定外公共物管理条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月11日	平成26年4月5日
26	栃木市保育所等の設置認可等事務取扱規則の一部を改正する規則	平成26年3月14日	平成26年4月5日
27	生活保護法施行細則の一部を改正する規則	平成26年3月14日	平成26年4月5日
28	栃木市行旅病人及び行旅死亡人取扱規則の一部を改正する規則	平成26年3月14日	平成26年4月5日
29	栃木市消防本部消防職員委員会に関する規則の一部を改正する規則	平成26年3月17日	平成26年4月1日
30	栃木市下水道条例施行規則等の一部を	平成26年3月18日	平成26年4月5日

	改正する規則		
31	栃木市中小企業者に対する融資に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月18日	平成26年4月5日
32	栃木市地域子育て支援センター条例施行規則及び栃木市遺児手当支給条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月20日	平成26年4月5日
33	栃木市子ども手当事務処理規則及び栃木市児童手当事務取扱規則の一部を改正する規則	平成26年3月20日	平成26年4月5日
34	栃木市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月24日	平成26年4月5日
35	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月24日	平成26年4月5日
36	栃木市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例施行規則	平成26年3月24日	平成26年4月5日
37	栃木市廃棄物処理施設条例施行規則	平成26年3月24日	平成26年4月5日
38	栃木市税条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月24日	平成26年4月1日
39	栃木市農業振興むらづくり施設条例施行規則	平成26年3月25日	平成26年4月5日
40	栃木市農産物加工所条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月25日	平成26年4月5日
41	栃木市土地改良事業補助金交付規則の一部を改正する規則	平成26年3月25日	平成26年4月5日
42	栃木市火災予防条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月26日	平成26年4月1日
43	栃木市健康福祉センター条例施行規則	平成26年3月27日	平成26年4月5日
44	栃木市入学資金融資規則の一部を改正する規則	平成26年3月27日	平成26年4月5日
45	栃木市財務規則の一部を改正する規則	平成26年3月28日	平成26年4月30日
46	栃木市立幼稚園保育料の減免に関する規則	平成26年3月28日	平成26年4月1日
47	栃木市開発登録簿閲覧規則の一部を改正する規則	平成26年3月28日	平成26年4月5日
48	土地譲渡益重課制度に係る優良宅地及び優良住宅認定事務に関する規則の一部を改正する規則	平成26年3月28日	平成26年4月5日
49	小山栃木都市計画事業JR大平下駅前	平成26年3月28日	平成26年4月1日

	土地区画整理審議会規則及び小山栃木都市計画事業JR大平下駅前土地区画整理事業の保留地処分に関する規則を廃止する規則		
50	栃木市学童保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月31日	平成26年4月1日
51	栃木市職員の退職の理由の記録に関する規則	平成26年3月31日	平成26年4月1日
52	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行細則等の一部を改正する規則	平成26年3月31日	平成26年4月1日
53	栃木市自転車等の放置防止に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月31日	平成26年4月1日
54	栃木市交通安全に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成26年3月31日	平成26年4月5日

ウ 訓令

番号	題 名	公布年月日	施行年月日
13	栃木市土地利用対策委員会設置要綱の一部を改正する要綱	平成25年4月19日	平成25年4月19日
14	栃木市庁議等規程の一部を改正する規程	平成25年5月1日	平成25年5月1日
15	栃木市危機管理対策会議規程	平成25年5月16日	平成25年5月16日
16	栃木市社会福祉法人認可等審査会設置規程	平成25年7月8日	平成25年7月8日
17	栃木市浄化槽指導要綱の一部を改正する要綱	平成25年7月31日	平成25年7月31日
18	栃木市技能労務職員の任用等に関する規定の一部を改正する規程	平成25年10月21日	平成25年10月21日
19	栃木市嘱託員の任用等に関する要綱の一部を改正する要綱	平成25年10月28日	平成26年1月1日
20	栃木市保育所広域入所実施要綱の一部を改正する要綱	平成25年11月25日	平成26年4月5日
21	栃木市栃木地域包括支援センター介護予防支援事業運営規定の一部を改正する規程	平成25年12月2日	平成26年2月10日
22	栃木市物品購入等契約事務取扱規程の一部を改正する規程	平成25年12月12日	平成26年4月5日
23	栃木市建設工事等請負者選考委員会規程の一部を改正する規程	平成25年12月12日	平成26年4月5日

24	栃木市入札適正化委員会運営要領の一部を改正する要領	平成25年12月12日	平成26年4月5日
25	栃木市非常勤職員等の任用等に関する要綱の一部を改正する要綱	平成25年12月25日	平成26年1月1日
26	栃木市職員服務規程の一部を改正する規程	平成25年12月25日	平成26年2月10日
27	栃木市文書取扱規程の一部を改正する規程	平成25年12月25日	平成26年4月5日
28	栃木市公印規程の一部を改正する規程	平成25年12月25日	平成26年4月5日
29	栃木市岩舟町宮の下簡易郵便局事務取扱員設置規程	平成25年12月25日	平成26年4月5日
30	栃木市戸籍事務取扱規程の一部を改正する規程	平成25年12月26日	平成26年4月5日
1	栃木市庁議等規程の一部を改正する規程	平成26年1月21日	平成26年4月1日
2	栃木市消防用無線局管理運用規程を廃止する規程	平成26年1月21日	平成26年4月1日
3	栃木市新型インフルエンザ等対策本部に関する規程	平成26年1月31日	平成26年1月31日
4	栃木市新型インフルエンザ健康危機管理対策委員会設置要綱の一部を改正する要綱	平成26年1月31日	平成26年1月31日
5	都賀町ごみ減量・リサイクル支援事業補助金交付要綱を廃止する要綱	平成26年2月3日	平成26年2月3日
6	栃木市地域自治区の区長の任用等に関する要綱の一部を改正する要綱	平成26年2月4日	平成26年4月5日
7	栃木市職員の勤務時間に関する規程の一部を改正する規程	平成26年2月17日	平成26年4月1日
8	栃木市都賀地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程の一部を改正する規程	平成26年2月19日	平成26年4月1日
9	都賀町生きがい活動支援通所支援事業実施要綱を廃止する要綱	平成26年2月19日	平成26年4月1日
10	栃木市岩舟地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程	平成26年2月21日	平成26年4月5日
11	栃木市職員の勤務時間に関する規程等の一部を改正する規程	平成26年2月28日	平成26年4月5日
12	栃木市社会福祉法人認可等審査会設置規程の一部を改正する規程	平成26年3月14日	平成26年4月5日

13	栃木市浄化槽指導要綱及び栃木市下水道排水設備指定工事店等の違反行為に対する処分に関する要綱の一部を改正する要綱	平成26年3月17日	平成26年4月5日
14	栃木市職員旧姓使用取扱規程	平成26年3月27日	平成26年4月1日
15	栃木市新型インフルエンザ等対策本部に関する規程の一部を改正する規程	平成26年3月31日	平成26年4月5日
16	栃木市新型インフルエンザ等健康危機管理対策委員会規程の一部を改正する規程	平成26年3月31日	平成26年4月5日
17	栃木市職員の退職勸奨に関する要綱を廃止する要綱	平成26年3月31日	平成26年4月1日
18	栃木市交通教育指導員及び交通指導員の服制等に関する規程の一部を改正する規程	平成26年3月31日	平成26年4月5日

8 顧問弁護士

市長その他市の執行機関の相談に応じ、行政執行上の問題について顧問弁護士(1人)から意見、助言等を受けた。

- ・相談件数 2件

9 法務指導員（弁護士）

市長その他市の執行機関の相談に応じ、行政執行上の問題について庁内弁護士から意見、助言等を受けた。

- ・相談件数 40件

第2節 職員課

〔総括概要〕

職員課の主たる分掌事務は、人事関係、職員研修関係及び職員厚生関係業務である。

職員の人事については、総合計画の将来都市像の実現に向け、栃木市の職員としての一体感の醸成を図りながら、個々の職員が意欲をもって、その能力を最大限発揮できるよう、「適材適所の配置」、「女性・若手職員の登用」、「人材育成」の視点から、本庁・総合支所間、また、各総合支所間の人事異動を積極的に行った。

職員研修については、職員の意識改革及び資質と能力の向上を目的として、全職員を対象に各種研修を計画的に実施した。

職員厚生事業については、職員厚生会を主体として各種事業を実施した。また、職員の安全衛生管理については、栃木市安全衛生管理委員会で協議していただくとともに、各種健康診断等を実施した。

人事担当

1 職員数

(1) 部局別職員数 (4月1日現在 単位：人)

区 分	職員数	男	女
市長の事務部局の職員	847	511	336
議会の事務部局の職員	9	7	2
選挙管理委員会の事務部局の職員	3	2	1
監査委員の事務部局の職員	4	2	2
公平委員会の事務部局の職員	-	-	-
教育委員会の事務部局の職員	199	132	67
農業委員会の事務部局の職員	9	6	3
企業職員	26	21	5
消防職員(※)	166	164	2
計	1,263	845	418

※消防職員の人事に関しては消防本部消防総務課を参照

(2) 級別職員数(教育長、消防吏員を除く)

ア 行政職給料表

(単位：人)

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
男	19	118	85	98	139	49	59	46	613
女	-	14	29	54	138	33	74	42	384
計	19	132	114	152	277	82	133	88	997

イ 技能労務職給料表 (単位：人)

区分	5級	4級	3級	2級	1級	計
男	39	17	10	1	-	67
女	17	9	-	-	-	26
計	56	26	10	1	-	93

ウ 市費負担教職員給料表 (単位：人)

区分	1級
男	1
女	5
計	6

(3) 職種別職員数(教育長を除く) (単位：人)

区分	事務	技術	技労	消防	計
男	526	87	67	164	844
女	339	51	26	2	418
計	865	138	93	166	1,262

2 人事

(1) 行政委員の就任

職名	氏名	就任年月日
固定資産評価審査委員会委員	諏訪 晃	平成 25 年 5 月 18 日
	町田 郁夫	平成 25 年 5 月 18 日
	三柴 力夫	平成 25 年 5 月 18 日
	柏倉 喜三久	平成 25 年 5 月 18 日
教育委員会委員	福島 鉄典	平成 25 年 5 月 19 日
監査委員	大出 孝幸	平成 25 年 6 月 7 日
農業委員会委員	横田 文男	平成 25 年 6 月 1 日
	柏崎 一美	平成 25 年 6 月 1 日
農業委員会委員	条谷 一郎	平成 25 年 7 月 20 日
	横田 文男	平成 25 年 7 月 20 日
	篠崎 通男	平成 25 年 7 月 20 日
	宇賀神 一夫	平成 25 年 7 月 20 日
	柏崎 一美	平成 25 年 7 月 20 日
	岸 シヅエ	平成 25 年 7 月 20 日
	毛塚 玲子	平成 25 年 7 月 20 日
	渡辺 計子	平成 25 年 7 月 20 日
手塚 政子	平成 25 年 7 月 20 日	

(2) 職員の採用

(単位：人)

職 種	人 員	男	女
一 般 事 務	23	16	7
保 健 師	3	-	3
保育士（幼稚園教諭）	5	1	4
土 木	4	3	1
建 築	3	3	-
管 理 栄 養 士	3	-	3
小 計	41	23	18
国・県等からの採用職員	5	2	3
合 計	46	25	21

(3) 職員の退職

(単位：人)

職 種	人 員
行 政 職	47
技 能 労 務 職	9
計	56

(4) 職員採用試験の実施状況

ア 一般行政職職員採用試験

・試験実施状況

実施日	内 容
9月22日(日)	第一次試験（筆記試験）実施
10月18日(金)	第二次試験（適性、作文）実施
10月19日(土)、20日(日)	第二次試験（集団面接試験）実施
11月21日(木)、22日(金)	第三次試験（個別面接試験）実施

・受験状況

区 分	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数(人)			倍率 (倍)
			男	女	計	
一 般 事 務	232	188	12	12	24	7.8
保育士(幼稚園教諭)	22	20	-	5	5	4.0
土 木	7	7	4	-	4	1.8
建 築	11	10	2	1	3	3.3
学芸員(歴史)	7	5	1	-	1	5.0

イ 身体障がい者を対象とする職員採用試験

・試験実施状況

実施日	内 容
9月22日(日)	第一次試験（筆記試験）実施
10月18日(金)	第二次試験（適性、作文）実施
10月21日(月)	第二次試験（個別面接試験）実施

・受験状況

区分	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数(人)			倍率 (倍)
			男	女	計	
一般事務	3	2	1	1	2	1.0

3 職員研修

(1) 一般研修

ア 栃木市主催単独自主研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
4月2日(火)、3日(水)、 4日(木)	新採用職員研修	新採用職員	41
5月23日(木)	実務研修 財務会計事務	主事・技師級の指名し た職員及び希望者	37
7月31日(水)、 8月1日(木)、2日(金)	人事評価制度評価者研修	管理監督職員	179
10月29日(火)	非常勤職員研修	非常勤職員	18
10月30日(水)	技能労務職員研修	技能労務職員	70
11月19日(火)	コンプライアンス研修	主任	85
12月3日(火)	おもてなし研修	主事	151
12月12日(木)、19日(木)、 24日(火)	交通安全教室	全職員	627
12月18日(水)	すぐやる研修	係長	79
12月20日(金)	人権研修会並びに人権啓 発職場推進員研修	人権啓発職場推進員	80

イ 栃木地区職員研修協議会主催広域自主研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
4月8日(月)～11日(木) 5月21日(火)、22日(水)	新採用職員前期研修	新採用職員	41
5月9日(木)、10日(金)	接遇研修	主事・技師級	36
5月15日(水)～17日(金)	行政法講座	主査以下	17
5月28日(火)、29日(水)	ディベート研修	主査・主任級	17
6月5日(水)、6日(木)	民法講座	主査以下	28
6月18日(火)、19日(水)	経営管理研修	課長級	15
6月21日(金) 9月6日(金) 11月8日(金)ほか3日	政策課題立案研修	主査級	18
7月2日(火)～5日(金) 10月22日(火)～25日(金)	初級職員研修	主事・技師級	34
7月11日(木)、12日(金)	マネジメント研修	主幹・課長補佐級	15

7月17日(水)	メンタルヘルスケア研修	係長級	17
7月25日(木)、26日(金)	政策形成研修	主査級	20
9月3日(火)	段取り力研修	主任以下	18
9月18日(水)、19日(木)	問題解決研修	主任・主事級	27
9月25日(水)、26日(木)	交渉力研修	主査級	24
10月7日(月)～11日(金)	新採用職員後期研修	新採用職員	41

ウ 栃木県市町村振興協会主催市町村広域研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
5月29日(水)～31日(金)	管理監督者研修 (地方自治制度指導者養成講座)	地方公務員制度研修 の指導者候補職員	1
6月11日(火)	管理監督者研修 (クレーム対応力講座)	係長級	1
6月20日(木)、21日(金)	管理監督者研修 (ファシリテーション講座)	係長級	1
6月24日(月) 7月22日(月)	管理監督者研修 (自治体職員広聴広報向上講座)	全職員	3
6月27日(木)、28日(金)	管理監督者研修 (職場リーダー研修)	係長級	1
7月3日(水)	管理監督者研修 (パワーハラスメント防止講座)	課長・係長級	1
7月9日(火)	管理監督者研修 (メンタルヘルス講座)	係長級	1
7月9日(火)、10日(水)	一般職員研修 (接遇レベルアップ講座①)	主事・技師級	13
7月23日(火)、24日(水)	一般職員研修 (接遇レベルアップ講座②)	主事・技師級	22
7月25日(木)、26日(金)	管理監督者研修 (トピック講座)	係長級	1
8月1日(木)、2日(金)	管理監督者研修 (政策法務実践講座)	係長級	1
8月8日(木)、9日(金)	管理監督者研修 (民法講座①)	課長・係長級	1
8月21日(水)	管理監督者研修 (戦略経営講座)	課長級	1
8月22日(木)、23日(金)	管理監督者研修 (民法講座②)	課長・係長級	1
9月11日(水)、12日(木)	一般職員研修 (法務基礎養成講座)	主査級	24

9月19日(木)、20日(金)	管理監督者研修 (プレゼンテーション講座)	係長級	1
10月18日(金)	管理監督者研修 (組織内リスク管理講座)	課長級	1
11月11日(月)	管理監督者研修 (タイムマネジメント講座)	係長級	1
11月14日(木)、15日(金)	管理監督者研修 (メンタルヘルスケア講座)	課長・係長級	1

エ 栃木県主催市町村広域研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
7月9日(火)、10日(水)	県・市町村職員合同研修 (政策形成能力向上講座)	主任級	1
9月26日(木)、27日(金)	県・市町村職員合同研修 (企画力研修)	主任級	2
10月17日(木)、18日(金)	県・市町村職員合同研修 (情報力研修)	主任級	1
1月23日(木)、24日(金)	県・市町村職員合同研修 (クレーム対応力研修)	係長級以下	1

(2) 派遣研修

実施日	研修内容	派遣先	派遣者数(人)
5月13日(月)、14日(火)	行政管理講座 (情報公開制度検討講座)	日本経営協会 (NOMA)	1
5月20日(月)、21日(火)	行政管理講座 (新任担当者のための法令事務)	〃	1
6月4日(火)、5日(水)	行政管理講座 (地方公共団体における文書管理の実務)	〃	1
6月13日(木)、14日(金)	行政管理講座 (財務担当者のための財政実務基本講座)	〃	1
6月26日(水)～28日(金)	建築確認実務	全国建設研修 センター	1
7月1日(月)～5日(金)	開発許可 (開発許可事務の基礎)	〃	1
7月2日(火)、10日(水)	専門実務研修課程 (政策企画)	市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)	1
7月8日(月)、9日(火)	行政管理講座 (地方自治体の政策法務実務講座)	日本経営協会 (NOMA)	1
7月9日(火)～12日(金)	開発許可 (的確な許可・指導)	全国建設研修 センター	1

7月12日(金)	行政管理講座 (地方自治体における指定管理者制度の運用実務)	日本経営協会 (NOMA)	1
7月16日(火)、17日(水)	行政管理講座 (個人住民税をめぐる課税の実務)	〃	1
7月18日(木)、19日(金)	行政管理講座 (地方自治体における予算編成と執行管理のすすめ方)	〃	1
8月1日(木)、2日(金)	行政管理講座 (議会広報紙(誌)編集の基本と「読まれる」紙面の作り方)	〃	1
8月22日(木)、23日(金)	行政管理講座 (条例規則担当者のための法令実務講座)	〃	1
8月22日(木)、23日(金)	行政管理講座 (地方自治体のための債権管理セミナー)	〃	1
7月9日(火)～12日(金)	開発許可 (的確な許可・指導)	全国建設研修 センター	1
8月26日(月)～30日(金)	建築RC構造	〃	1
9月2日(月)、3日(火)	行政管理講座 (地方税における相続をめぐる諸問題とトラブル対策)	日本経営協会 (NOMA)	1
9月18日(水)、20日(金)	専門実務研修課程 (資金調達戦略の基本)	市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)	1
9月19日(木)、20日(金)	行政管理講座 (自治体における訴訟手続と訴訟実務)	日本経営協会 (NOMA)	1
9月25日(水)～10月3日(木)	専門実務研修課程 (情報公開と個人情報保護)	市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)	1
9月30日(月)～10月4日(金)	公共建築工事積算	全国建設研修 センター	1
10月3日(木)、4日(金)	行政管理講座 (実例演習による住民税課税事務(中級))	日本経営協会 (NOMA)	1
10月17日(木)、18日(金)	行政管理講座 (土地開発公社の適正な会計処理)	〃	1
11月5日(火)、6日(水)	行政管理講座 (外国人に関する課税実務)	〃	1
11月7日(木)、8日(金)	行政管理講座 (公共用地取得事務(補償編))	〃	1
12月2日(月)、3日(火)	行政管理講座 (土地区画整理完了実務(登記・清算事務))	〃	1
1月9日(木)、10日(金)	行政管理講座 (第19回選挙管理事務の実務講座)	〃	1

1月20日(月)、21日(火)	行政管理講座 (ニュー・パブリック・ガバナンス(NPG)の基礎と自治体経営改革のあり方)	日本経営協会 (NOMA)	1
-----------------	---	------------------	---

(3) 人材育成視察研修

実施日	研修内容	派遣者数(人)
5月23日(木)	新任保育士研修会	4
6月5日(水)	主任保育士研修会	6
8月1日(木)	下水道展併催企画災害時のトイレと下水道ワークショップ	15
10月11日(金)、12日(土)	日本女性会議2013あなん	1
10月24日(木)	資金調達入門研修	2
10月30日(水)	法制執務実践セミナー	1
10月30日(水)～11月1日(金)	地域づくり人育成講座	2
3月25日(火)	公共施設更新問題先進地視察	1

(4) その他派遣研修

実施日	研修内容	派遣先	派遣者数(人)
4月1日(月)～3月31日 (月)	県派遣研修	栃木県県土整備部都市計画課	1
		栃木県栃木県税事務所	1

(5) 通信教育

職員が、自主的に通信教育を受講することにより、自己の能力開発・向上を図ることを目的とし、通信教育研修を行った。

- ・対象者 全職員(希望者)
- ・期間 6か月
- ・修了者 3人

4 職員厚生

(1) 安全衛生管理関係

健康診断の実施状況

検診名	対象者	受診者数(人)
一般健康診断	全職員	459
胃がん検診	〃	210
肺がん検診(胸部X線撮影)	〃	438
大腸がん検診	〃	363
前立腺がん検診	50歳以上	60
乳がん検診	30歳以上	172
子宮頸がん検診	20歳以上	166
人間(脳)ドック	30歳以上	544

(2) 市職員厚生会関係

ア 掛金事業

(ア) 厚生給付事業

区 分	件数(件)	金額(円)
病気見舞金	9	45,000
弔 慰 金	32	390,000
災害見舞金	-	-
褒章祝金	1	50,000
合 計	42	485,000

(イ) 各種厚生事業

区 分	件数(件)	金額(円)
旅行等助成金	18	27,000
イベント等参加経費補助	3	12,924
親睦交流会補助	3	510,000

イ 負担金事業

(ア) 健康増進事業

- ・メンタルヘルスチェック委託 1回
- ・人間ドック受診補助 9人

(イ) 福利厚生事業

- ・ライフプランセミナー 1回

(3) 栃木県市町村職員共済組合関係

ア 組合員数 1,259人

イ 貸付事業

普通貸付	3件	2,060,000円
特別貸付	1件	2,080,000円
計	4件	4,140,000円

ウ 遺族付加年金加入者数 734人

(4) その他

ア 全国市長会任意共済加入状況

- ・加入者数 58人

イ 全国市長会個人年金共済加入状況

- ・加入者数 306人

ウ 全国都市職員災害共済会火災共済加入状況

- ・加入者数 167人

エ 全国都市職員災害共済会自動車共済加入状況

種 類	契約台数(台)
普通及び小型乗用車	102
軽四輪自動車	46
自動二輪車	16

オ 財形貯蓄

- ・加入実人員 788人
- ・加入率 62.2%

・積立額

毎月	10,985,000円
6月賞与	27,191,000円
12月賞与	28,614,000円

5 公務災害

(1) 公務災害認定

ア 地方公務員災害補償法対応 3件

イ 栃木市議会の議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例対応 1件

(2) 通勤災害認定 - 件

6 退隠料及び扶助料

退隠料受給者	-	-
扶助料受給者	2人	1,889,600円

第3節 情報推進課

〔総括概要〕

情報推進課の主な分掌事務は情報化施策、行政情報化の推進、地域情報化の推進、情報システム及びネットワークの管理運営、情報セキュリティ対策等である。

平成25年度は、重点事業として、行政情報化の推進や情報セキュリティ対策に努めたほか、平成26年2月の庁舎移転に伴う新庁舎におけるネットワーク構築、及び平成26年4月の岩舟町との合併に伴うネットワーク統合の準備を行った。

主な事務事業の実施状況については、次のとおりである。

情報システム及びネットワークの管理運営では、総合行政ネットワークの仕様変更に合わせて、保守費用の抑制を念頭に置き、機器を更新した。

情報セキュリティ対策では、平成26年4月にサポートが終了するウィンドウズXPのパソコンの更新を行った。庁内ネットワークに接続するパソコンについては、平成22年度以降は次世代ウィンドウズを搭載したものを導入することとしていたため、円滑に更新することができた。

行政情報化の推進では、上記更新に合わせて、パソコン230台を導入した。

情報推進担当

1 パソコンの整備状況 (単位：台)

部 名	課 名	パソコン配備台数
市長、副市長、教育長		3
総合政策部	総合政策課	15
	まちなか土地利用推進室	4
	地域まちづくり課	6
	合併推進室	6
	秘書広報課	11
	財政課	10
	地域医療対策室	4
総務部	総務課	16
	職員課	17
	情報推進課	13
	契約検査課	11
	危機管理課	8
理財部	管財課	21
	市民税課	9
	資産税課	8
	収税課	13

生活環境部	市民生活課	19
	交通防犯課	11
	保険医療課	18
	環境課	14
	斎場整備室	3
	新エネルギー対策室	3
	人権・男女共同参画課	10
保健福祉部	社会福祉課	40
	生活福祉課	19
	こども課	23
	保育課	35
	高齢福祉課	30
	介護保険課	25
	健康増進課	32
産業振興部	商工観光課	18
	農林課	18
	産業基盤整備課	6
建設水道部	道路課	22
	河川緑地課	10
	下水道課	28
	水道業務課	11
	水道工務課	16
都市整備部	都市計画課	12
	建築課	16
	建築指導課	16
会計課		14
議会事務局	議事課	15
教育委員会	教育総務課	40
	学校教育課	32
	生涯学習課	46
	スポーツ振興課	7
	文化課	10
	伝建推進室	3
選挙管理委員会事務局		7
監査委員事務局		4
農業委員会事務局		10
消防本部及び消防署		73
合計		891

2 電算処理業務の委託契約

平成25年度の電算処理委託契約を、(株)TKCと締結した。

課 名	業 務 名
市民税課	住民税 軽自動車税 国民健康保険税
資産税課	固定資産税
収税課	収税消込
市民生活課	住民情報管理
保険医療課	後期高齢者医療 医療費助成
こども課	児童手当 児童扶養手当
介護保険課	介護保険
健康増進課	健康管理
農業委員会事務局	農業行政

第4節 契約検査課

〔総括概要〕

各総合支所で執行していた建設工事、建設工事関連業務委託及び物品購入の入札・契約事務を本庁に集約し、指名業者の選考から、契約の相手方の決定までの事務を一元的に行った。また、入札・契約事務の透明性の向上や、公正な競争の促進を図るため、入札・契約制度の改善に取り組み、予定価格500万円以上の建設工事及び建設工事関連業務委託等の入札を電子入札に切り替えた。また、平成26年4月の岩舟町合併に伴い、岩舟町内業者対象の入札制度説明会と電子入札実証実験を実施した。

検査業務では、検査規程に基づき発注工事が契約内容どおりに適正に履行されたか、また、技術的な面から工事の施工状況や施工体制・安全対策等について検査を実施した。

契約担当

1 契約件数

原則として130万円以上の建設工事、50万円以上の工事関連業務委託及び総額80万円以上の建設資材・物品の購入、単品で50万円以上の物品購入並びに総額50万円以上の印刷物について入札を執行した。なお、予定価格500万円以上の建設工事及び工事関連業務委託等の入札については、電子入札を導入した。

・入札状況

(単位：件)

入札内容	電子入札		郵便入札	持参入札	計
	一般競争	指名競争	指名競争	指名競争	
建設工事	195	-	71	-	266
工事関連業務委託	-	35	123	-	158
物品購入(建設資材含む)	-	-	5	44	49
印刷物	-	-	-	10	10
計	195	35	199	54	483

2 見積合せ件数

3万円以上50万円未満の印刷物について見積合せを実施した。

・件数 208件

3 建設工事等請負者選考委員会

事後審査型条件付き一般競争入札により執行する建設工事の入札参加資格要件の設定、予定価格1,000万円以上の工事関連業務委託、建設資材購入の指名業者選考について審

議した。

- ・開催回数 16回
- ・審議件数 219件

4 物品購入等業者選考委員会

予定価格1,000万円以上の物品購入・役務提供の指名業者選考について審議した。

- ・開催回数 12回
- ・審議件数 79件

5 入札参加資格者登録

平成26年度追加分として入札参加資格審査申請のあった者について、資格審査委員会に諮った上、登録を行った。

- ・平成26年度入札参加資格者追加登録数 (単位：社)

建設工事	15
工事関連業務委託	9
物品・役務	92
計	116

6 小規模工事等契約希望者登録

契約予定金額が50万円以下の小規模な工事の受注を希望する業者の追加登録を行った。

- ・登録業者追加数 12社
- ・工種登録業者追加数 23工種 (単位：社)

土木	建築	大工	左官	とび土工	石	屋根	電気	管	タイル	鋼構造物	鉄筋	舗装	浚渫
3	2	1	1	3	-	-	2	1	1	-	-	-	-
板金	ガラス	塗装	防水	内装仕上	機械器具設置	熱絶縁	電気通信	造園	建具	さく井	消防施設	清掃施設	その他
-	1	2	-	2	1	-	-	-	1	-	-	1	1

7 小規模物品等契約希望者登録

契約予定金額が50万円以下の小規模な物品の納入を希望する業者の追加登録を行った。

- ・登録業者追加数 38社
- ・業種別登録業者追加数 70業種 (単位：社)

事務用品	日用品	教育用品	車両	電気器具	機械器具	精密機器	薬品・医療器具	印刷
2	26	1	16	4	1	-	3	1
燃料・ガス	消防保安用品	その他物品	建設資材等	施設管理	給食	広告	その他役務	/
3	-	6	2	-	2	1	2	

8 岩舟町合併に伴う入札制度説明会及び電子入札の実証実験の実施

(1) 栃木市の入札制度の説明・周知

平成26年度の合併に伴い、岩舟町内の入札参加資格者を対象に、入札制度の説明会を開催するとともに、適宜、通知及び資料の送付により説明・周知を行った。

- ・開催日 10月11日（金）、11月22日（金）
- ・会場 岩舟町健康福祉センター（遊楽々館）

(2) 電子入札及び郵便入札の実証実験

下記のとおり、実際に電子入札と郵便入札で実証実験（模擬入札）を行った。

- ・実施日程 12月3日（火）から12月12日（木）
- ・電子入札 建設工事の事後審査型条件付き一般競争入札 2件
測量・建設コンサルタント業務の指名競争入札 1件
- ・郵便入札 建設工事の指名競争入札 1件
- ・参加業者 37社

9 入札・契約制度の改善

(1) 入札適正化委員会の開催

建設工事に係る入札・契約の適正化を図るため、学識経験者4人で構成する入札適正化委員会を設置し、2回開催した。入札契約制度の一部改正の報告、入札を執行した建設工事のうち、委員が抽出した案件に関して、一般競争入札の参加資格設定の経緯、指名競争入札の指名の経緯等に係る審議を行った。また、入札契約制度について報告、意見聴取を行った。

- ・第1回目 11月1日（金）、審議対象：2月～9月入札執行分
- ・第2回目 3月18日（火）、審議対象：10月～1月入札執行分

検査担当

1 工事検査

平成25年度に完成した請負額500万円以上の建設工事について、次のとおり実施した。
完成検査

・主管課別検査件数

事業主管課	検査件数（件）	工事担当課及び担当件数（件）
まちなか土地利用推進室	7	建築課 7
地域医療対策室	1	
情報推進課	2	建築課 2
危機管理課	5	建築課 1
交通防犯課	7	建築課 7
環境課	1	
新エネルギー対策室	1	建築課 1

こども課	2	建築課 2
高齢福祉課	1	道路課 1
農 林 課	4	
道 路 課	22	
河川緑地課	6	建築課 1
下水道課	32	
水道工務課	37	
建築課	2	
大平総合支所産業振興課	2	
〃 都市整備課	6	
〃 都市建設課	3	
藤岡総合支所都市建設課	11	
都賀総合支所生活環境課	1	都賀総合支所都市建設課 1
〃 都市建設課	12	
西方総合支所産業建設課	3	
教育総務課	23	建築課 22
学校教育課	2	建築課 2
文化課	2	建築課 2
都賀教育支所	3	建築課 2 都賀総合支所都市建設課 1
計	198	

・工種別検査件数

(単位：件)

工 種	土 木	建 築	舗 装	管	電 気	水 道	その他	計
件 数	71	29	31	9	17	30	11	198

2 優良建設業者表彰

市が発注した建設工事のうち、平成24年度に完成した請負金額が500万円以上の建設工事を優秀な成績で完成した建設業者を、優良建設業者として表彰した。

- ・開 催 日 10月2日（水）
- ・会 場 栃木市国府公民館大交流室
- ・対象業者数 16業者、1特定建設工事共同企業体
- ・対象工事数 24件
- ・対象工種数 土木11件、建築3件、舗装6件、電気1件、水道施設3件

第5節 危機管理課

〔総括概要〕

危機管理課の主な分掌事務は、地域防災計画（水防計画を含む。）及び防災対策、災害対策本部、消防団、自衛官募集事務である。

地域防災計画・水防計画については、3月に栃木市防災会議により修正した。

防災対策については、各地域において防災訓練を実施し、市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化を図った。また、防災ハザードマップを作成し、3月に各戸配布した。

消防団については、全体事業として通常点検を実施するとともに、栃木方面隊の事務局として大火防止消防訓練など各種事業を実施した。また、消防ポンプ自動車を2台購入し、栃木方面隊第7分団、都賀方面隊第2分団の車両を更新した。また、消防指揮連絡車を1台購入し、都賀方面隊本部分団の車両を更新した。

消防団の活性化を図るため、女性分団を新設し、女性団員を採用するとともに、上級救命講習の受講、初期消火訓練を実施した。

国民保護については、国民保護計画を栃木市国民保護協議会において審議し、3月に修正した。

自衛官募集事務については、防衛省自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所と協力し、自衛官募集や自衛隊父兄会に関する事務を行った。

危機管理担当

1 地域防災計画（水防計画を含む。）及び防災対策

(1) 地域防災計画（水防計画を含む。）

地域防災計画・水防計画については、災害対策基本法の改正等に伴い、3月に栃木市防災会議により修正した。

・防災会議委員（任期：平成24年12月1日～平成26年11月30日）

	機関名	役職
会長	栃木市	市長
委員	関東農政局宇都宮地域センター	センター長
〃	関東地方整備局利根川上流河川事務所藤岡出張所	所長
〃	関東地方整備局渡良瀬川河川事務所佐野河川出張所	出張所長
〃	陸上自衛隊第12特科隊	第1中隊長
〃	栃木土木事務所	所長
〃	県南健康福祉センター	参事兼所長
〃	下都賀農業振興事務所	所長
〃	栃木警察署	署長
〃	栃木市消防団	団長

委員	栃木市医師会	理事
〃	東日本旅客鉄道株式会社高崎支社	室長
〃	東京電力株式会社栃木南支社	支社長
〃	東日本電信電話株式会社栃木支店	設備部長
〃	栃木郵便局	局長
〃	東武鉄道株式会社新栃木駅	駅長
〃	関東自動車株式会社佐野営業所栃木出張所	所長
〃	ケーブルテレビ株式会社	代表取締役
〃	栃木市女性団体連絡協議会	副会長
〃	栃木市婦人防火クラブ連合会	会長
〃	栃木市老人クラブ連合会	監査
〃	栃木市身体障害者福祉会連合会	会長
〃	箱森中央防災会	会長
〃	公募による者	—
〃	公募による者	—
〃	栃木市社会福祉協議会	会長
〃	栃木市自治会連合会	理事
〃	特定非営利活動法人ハイジ	理事
〃	栃木市教育委員会	教育長
〃	栃木市消防本部	消防長
〃	栃木市	副市長
〃	栃木市	危機管理監
〃	栃木市	総合政策部長
〃	栃木市	総務部長
〃	栃木市	理財部長
〃	栃木市	生活環境部長
〃	栃木市	保健福祉部長
〃	栃木市	産業振興部長
〃	栃木市	建設水道部長
〃	栃木市	都市整備部長
〃	栃木市議会事務局	事務局長

・防災会議の開催

開催日	会場
3月24日(月)	市役所正庁A

(2) 防災備蓄倉庫

設置	位置
栃木保健福祉センター倉庫	今泉町2-1-40
総合体育館(倉庫)	川原田町760

栃木市立皆川中学校体育館	皆川城内町 1856
大宮公民館	大宮町 422-1
老人福祉センター福寿園	千塚町 210
寺尾公民館	梅沢町 1183
国府公民館	惣社町 228-1
出流ふれあいの森	出流町 417

(3) 主な各種災害時用備蓄品等内訳

項 目	備 蓄 数
非 常 食	36,200食
非常用飲料水	14,200ℓ
毛 布	4,000枚

(4) 孤立集落応急対策

災害時の孤立可能性等地区の通信の途絶を解消するため、衛星携帯電話及び発電機の貸与により、通信体制の確保を図った。

- ・孤立可能性等地区……3地区

(5) 災害時応援協定

大規模災害の発生に備え、応急対策活動、復旧復興活動に関する人的・物的支援について、他の自治体や民間企業、関係機関との間で災害時応援協定を締結した。

協定の名称	締結先	締結日
災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定	株式会社アクティオ	5月29日
災害時における救援物資の提供協力に関する協定	株式会社伊藤園	5月29日
廃棄物と環境を考える協議会加盟団体災害時相互応援協定	廃棄物と環境を考える協議会構成市町村	7月12日
災害ボランティアセンター設置等に関する協定	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	7月31日
災害時における飲料供給に関する協定	サントリーフーズ株式会社	11月13日
災害時における生活物資の供給協力に関する協定	ジャパンソルト株式会社	12月13日
災害時における物資提供に関する協定	株式会社ヤオハン	1月30日

(6) 被災者住宅復旧支援事業費補助金

自然災害により住宅に被害を受けた者に、その被災住宅の復旧費用の一部を補助することにより、被災者の住宅の早期復旧を促進し、被災者の生活再建を支援した。

- ・一部損壊世帯……6件

2 防災訓練

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化並びに職員の災害応急対策の迅速化を図ることを目的とし、各地域において防災訓練を実施した。

(1) 栃木地域

- ・実施日 10月6日(日) ※雨天のため中止
- ・会場 栃木市立栃木中央小学校
- ・参加団体 栃木市消防本部、栃木市消防署
 栃木市消防団
 自治会(湊町、富士見町、入舟町一丁目、入舟町二丁目、入舟町三丁目、祝町、柳橋町、錦町)
 自主防災組織(泉町自主防災会、旭町三丁目自治会自主防災会)
 民生委員
 栃木市婦人防火クラブ
 栃木市地区赤十字奉仕団
 災害応援協定事業者(イオンリテール(株)イオン栃木店、とちぎコープ生活協同組合、ケーブルテレビ(株))
 NTTドコモ、JARL 栃木太平山04クラブ、栃木県警察犬訓練所、自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所
 栃木市立栃木中央小学校
 栃木市国際交流協会

(2) 大平地域

- ・実施日 9月22日(日)
- ・会場 栃木市立大平西小学校
- ・参加団体 栃木市消防本部、栃木市消防署
 栃木警察署
 栃木県消防防災航空隊
 栃木市消防団
 自治会(富田第1、富田第2、富田第3、富田第4、富田第6、富田第7)
 栃木市立大平西小学校
 栃木市交通指導員
 民生委員
 大平町女性防火クラブ
 日本赤十字社栃木市地区大平奉仕団
 公益財団法人日本公衆電話会
- ・参加人数 460人

(3) 藤岡地域

- 国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所と共催
- ・実施日 6月8日(土)
 - ・会場 道の駅みかも
 - ・参加団体 国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所
 道の駅みかも
 栃木市消防本部、栃木市消防署
 栃木警察署
 栃木県消防防災航空隊

栃木市消防団

自治会（本郷西、新井本郷、東幡張、西幡張、中居、大田和東、大田和西、太田北、太田南）

栃木市地域防災活動推進員

栃木市交通指導員

民生委員

栃木市藤岡女性団体連絡協議会

日本赤十字社栃木市地区藤岡奉仕団

災害応援協定事業者（イオンリテール(株)イオン栃木店、とちぎコープ生活協同組合、(株)伊藤園、株式会社アクティオ）

N T T ドコモ、公益財団法人日本公衆電話会

・参加人数 410 人

(4) 都賀地域

・実施日 2月22日（土）

・会場 栃木市立合戦場小学校

・参加団体 栃木市消防本部、栃木市消防署

陸上自衛隊第12特科隊

栃木警察署

栃木県消防防災航空隊

栃木市消防団

自治会（合戦場、平川、升塚、下新田）

栃木市地域防災活動推進員

栃木市立合戦場小学校

栃木市交通指導員

民生委員

都賀婦人防火クラブ

日本赤十字社栃木市地区都賀地域赤十字奉仕団

災害応援協定事業者（ケーブルテレビ(株)、ジャパンソルト(株)）

自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所

・参加人数 440 人

(5) 西方地域

土砂災害防災訓練を兼ねて実施

・実施日 3月9日（日）

・会場 真名子小学校

・参加団体 栃木市消防本部、栃木市消防署

陸上自衛隊第12特科隊

栃木土木事務所

栃木警察署

栃木県消防防災航空隊

栃木市消防団

栃木市消防団女性分団
自治会（根子屋、水木、岡、男丸、真上、小沼、小沼北、向宿、反町）
栃木市立真名子小学校
栃木市交通指導員
民生委員
栃木市西方婦人防火クラブ
日本赤十字社栃木市地区西方地域赤十字奉仕団
西方病院
災害応援協定事業者（サントリーフーズ(株)、(株)ヤオハン）
自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所

・参加人数 500人

3 防災無線等

(1) 移動系防災行政無線

移動系防災行政無線については、西方地域への拡張工事を行った。また、新庁舎整備に伴い、旧庁舎から移動系防災行政無線設備の移設工事を行った。

また、移動系防災行政無線が設置されている施設担当者と防災行政無線定期通信訓練を毎月実施した。

(2) 同報系防災行政無線

同報系防災行政無線については、整備のための設計を行った。

(3) コミュニティFM

コミュニティFMについては、整備のための設計を行った。

(4) 全国瞬時警報システム（Jアラート）

全国瞬時警報システム（Jアラート）については、自動起動装置を整備し、ケーブルテレビ、エリアメール等の既存の情報伝達手段を通して、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を発報することにより、緊急時の情報伝達体制を強化した。

4 自主防災組織

自主防災組織として、4月に高取自治会自主防災会が設立され、また、泉町自主防災会が再結成され、6月に旭町三丁目自治会自主防災会が、9月に水木自主防災会が設立された。

5 土砂災害防止関係

5月に栃木土木事務所と土砂災害の危険箇所を現地調査し、6月に栃木土木事務所及び栃木消防署と土砂災害危険箇所及び施設の合同点検を実施し、3月に栃木土木事務所と協力し、土砂災害防災訓練を兼ねて防災訓練を実施した。

また、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を記載した防災ハザードマップを作成した。

6 国民保護に関すること

国民保護計画を栃木市国民保護協議会において審議し、3月に修正した。

・国民保護協議会委員（任期：平成24年12月1日～平成26年11月30日）

	機関名	役職
会長	栃木市	市長
委員	関東農政局宇都宮地域センター	センター長
〃	関東地方整備局利根川上流河川事務所藤岡出張所	所長
〃	関東地方整備局渡良瀬川河川事務所佐野河川出張所	出張所長
〃	陸上自衛隊第12特科隊	第1中隊長
〃	栃木土木事務所	所長
〃	県南健康福祉センター	参事兼所長
〃	下都賀農業振興事務所	所長
〃	栃木警察署	署長
〃	栃木市消防団	団長
〃	栃木市医師会	理事
〃	東日本旅客鉄道株式会社高崎支社	室長
〃	東京電力株式会社栃木南支社	支社長
〃	東日本電信電話株式会社栃木支店	設備部長
〃	栃木郵便局	局長
〃	東武鉄道株式会社新栃木	駅長
〃	関東自動車株式会社佐野営業所栃木出張所	所長
〃	ケーブルテレビ株式会社	代表取締役
〃	栃木市教育委員会	教育長
〃	栃木市消防本部	消防長
〃	栃木市	副市長
〃	栃木市	危機管理監
〃	栃木市	総合政策部長
〃	栃木市	総務部長
〃	栃木市	理財部長
〃	栃木市	生活環境部長
〃	栃木市	保健福祉部長
〃	栃木市	産業振興部長
〃	栃木市	建設水道部長
〃	栃木市	都市整備部長
〃	栃木市議会事務局	事務局長

・国民保護協議会の開催

開催日	会場
3月24日（月）	市役所正庁A

7 り災証明書

平成 23 年 3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震並びに 5 月 7 日の強風、6 月 22 日の突風、10 月 16 日～17 日の台風第 26 号及び 2 月 14 日からの大雪に伴う被災住家などの被害認定を行い、り災証明書を発行した。

(1) 平成 23 年 3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震によるり災証明書発行件数

(ただし、平成 25 年度までの累計)

ア 住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	2	1,063	1,065

イ 非住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	2	300	302

(2) 5 月 7 日の強風によるり災証明書発行件数

ア 住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	-	-	-

イ 非住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	-	1	1

(3) 6 月 22 日の突風によるり災証明書発行件数

ア 住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	-	2	2

イ 非住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	-	-	-

(4) 10 月 16 日～17 日の台風第 26 号によるり災証明書発行件数

ア 住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	-	7	7

イ 非住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	-	1	1

(5) 2 月 14 日からの大雪によるり災証明書発行件数

ア 住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	-	10	10

イ 非住家 (単位：件)

全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
-	-	23	23

8 災害履歴

(1) 6月22日の突風による被害

藤田町、今泉町及び宮田町で突風が発生し、住家等の屋根瓦のめくれ等の被害が発生した。

- ・住家被害：一部損壊 6 棟

(2) 10月16日～17日の台風第26号による被害

- ・住家被害：一部損壊 8 棟
- ・市有施設被害：部屋保育園の屋根破損等 9 件

(3) 2月14日からの大雪による被害

- ・負傷者：6名（重症者1名、中等症者3名、軽症者2名）
- ・住家被害：一部損壊 10 棟
- ・非住家：一部損壊 44 件

9 自衛官募集事務

(1) 自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

- ・入隊入校者数 6 人

(2) 自衛隊父兄会

栃木市自衛隊父兄会の事務局として、父兄会活動を支援した。

- ・総会

開催日	会場	議題
4月24日（水）	市役所別館 第2会議室	(1) 平成24年度事業報告及び収支決算報告について (2) 平成24年度監査報告について (3) 栃木市自衛隊父兄会会則の改正（案）について (4) 平成25年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について

- ・役員会

開催日	会場	議題
2月24日（月）	市役所 501 会議室	(1) 入隊入校者激励会について (2) 平成26年度総会について

また、栃木市自衛隊父兄会栃木分会、大平分会、藤岡分会、都賀分会及び西方分会の事務局として、父兄会活動を支援した。

10 放射線測定事業

(1) モニタリングポスト

設置場所	設置場所の住所	測定高さ (m)
市役所	万町 9-25	1
西方総合支所	西方町本城 1	1

(2) 放射線測定器の配備状況

・シンチレーションサーベイメータ

型番：株式会社堀場製作所 PA-1000

部課名		台数	備考
本 庁	環 境 課	4	一般貸出し用 3 台
	保 育 課	11	市内の公私立の保育園・幼稚園 10 台
	教育総務課	15	市内の公私立の小中学校 14 台
	河川緑地課	2	
	危機管理課	3	
大平総合支所	生活環境課	1	
	健康福祉課	1	
藤岡総合支所	生活環境課	1	
	健康福祉課	1	
都賀総合支所	生活環境課	1	
	健康福祉課	1	
西方総合支所	生活環境課	1	
	健康福祉課	1	
そ の 他	—	2	大平総合支所都市建設課・藤岡総合支所都市建設課兼用 1 台 都賀総合支所都市建設課・西方総合支所産業建設課兼用 1 台

・エネルギー補償型シンチレーションサーベイメータ

型番：日立アロカメディカル株式会社 TCS-172B

部課名		台数	備考
本 庁	危機管理課	1	

・食品用放射能濃度測定器

型番：EMF ジャパン株式会社 EMF 211 型ガンマ線スペクトロメータ

部課名		台数	備考
本 庁	学校教育課	1	

11 東日本大震災に伴う避難状況管理

(1) 在宅避難者登録制度（全国避難者情報システム）

東日本大震災に伴い、県外から市内の避難所以外に避難している避難者に対して各種情報提供を行うために、申出に基づき避難者情報を登録した。

ア 登録申出及び変更届出受付状況

在宅避難者登録申出・・・・・・・・・・92件

在宅避難者登録事項変更届・・・・41件

イ 避難者一覧

・避難先別

(単位：人)

区 分	市営住宅	雇用促進	親戚・知人等	小計
栃木地域	1	37	49	87
大平地域	-	9	16	25
藤岡地域	3	-	12	15
都賀地域	-	-	14	14
西方地域	-	-	4	4
合 計	4	46	95	145

※親戚・知人等には、民間アパートを含む。

・避難元別

(単位：人)

県名	市町村名	避難者数
福島県(6市4町1村)	福島市	6
	郡山市	7
	いわき市	6
	田村市	1
	伊達市	5
	南相馬市	43
	富岡町	30
	川内村	2
	大熊町	7
	双葉町	2
	浪江町	30
	小 計	
宮城県(2市1町)	仙台市	1
	大崎市	2
	山元町	2
小 計		5
岩手県(1市)	大船渡市	1
小 計		1
合 計		145

(2) 原発避難者特例法関係

東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律に基づき、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、通常の行政サービスの提供が困難な指定市町村から非難している住民に対して、特例事務として指定市町村に代わって特定の行政サービ

スを提供した。

- ・対象者 125人
- ・指定市町村

福島県	市	いわき市、田村市、南相馬市
	町	川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
	村	川内村、葛尾村、飯館村

- ・特例事務

分野	根拠法令	事務
医療・ 福祉関係	介護保険法	要介護認定等に関する事務
	介護保険法	介護予防等のための地域支援事業に関する事務
	老人福祉法	養護老人ホーム等への入所措置に関する事務
	児童福祉法	保育所入所に関する事務
	予防接種法	予防接種に関する事務
	児童扶養手当法	児童扶養手当に関する事務
	特別児童扶養手当等の支給に関する法律	特別児童扶養手当等に関する事務
	母子保健法	乳幼児、妊産婦等への健康診査、保健指導に関する事務
	障害者自立支援法	障害者、障害児への介護給付費等の支給決定に関する事務
教育関係	学校教育法、学校保健安全法	児童生徒の就学等に関する事務
	学校教育法、学校保健安全法	義務教育段階の就学援助に関する事務

消防担当

1 消防団の活動状況

(1) 栃木市・野木町合同水防演習

- ・実施日 6月23日(日)
- ・場所 渡良瀬運動公園堤

(2) 栃木方面隊夏季点検

- ・実施日 7月7日(日)
- ・場所 総合運動公園多目的広場

(3) 通常点検

- ・実施日 11月10日(日)
- ・場所 総合運動公園多目的広場
とちぎ蔵の街大通り(分列行進)

(4) 栃木方面隊大火防止消防訓練

- ・実施日 2月23日(日)
- ・場所 栃木県立栃木農業高等学校

(5) 団本部会議

開催日	場 所
5月9日(木)	市役所第5会議室
8月9日(金)	市役所第5会議室
9月27日(金)	市役所第5会議室
1月17日(金)	サンプラザ

(6) 栃木方面隊分団長会議

開催日	場 所
6月7日(金)	消防署会議室
9月6日(金)	消防署会議室
10月1日(火)	消防署会議室
1月24日(金)	消防署会議室

(7) 女性分団活動

開催日	内 容	場 所
7月28日(日)	第1回研修会	消防署会議室
8月25日(日)	第2回研修会	消防署会議室
11月24日(日)	初期消火訓練	かかしの里野球場
1月19日(日)	上級救命講習	消防署会議室
2月9日(日)	上級救命講習	消防署会議室
2月16日(日)	上級救命講習	消防署会議室

2 各種団体の運営支援

栃木市婦人防火クラブ連絡協議会の事務局として、また、栃木市栃木消防協力会の運営の支援を行った。

3 消防団の現状

(1) 配置人員

ア 栃木市消防団員

()の数字は内数 (単位:人)

方面隊名	職名	団長	副団長 (方面 隊長)	副団長 (方面隊 副隊長)	分団長	副分 団長	部長	班長	団員	計
	団本部	定員	1	5	10	-	-	-	-	-
実員		1	5	10	-	-	-	-	-	16
女性分団	定員	-	-	-	1	1	1	2	15	20
	実員	-	-	-	-	-	-	-	12	12
栃 木	定員	-	(1)	(2)	13	13	37	102	342	507(510)
	実員	-	(1)	(2)	13	13	37	102	321	486(489)
大 平	定員	-	(1)	(2)	4	4	14	14	136	172(175)

	実 員	-	(1)	(2)	4	4	14	14	136	172(175)
藤 岡	定 員	-	(1)	(2)	5	5	9	9	116	144(147)
	実 員	-	(1)	(2)	5	5	9	9	116	144(147)
都 賀	定 員	-	(1)	(2)	5	5	7	13	68	98(101)
	実 員	-	(1)	(2)	5	5	7	13	68	98(101)
西 方	定 員	-	(1)	(2)	5	5	8	14	88	120(123)
	実 員	-	(1)	(2)	5	5	8	14	74	106(109)
合 計	定 員	1	5(5)	10(10)	33	33	76	154	765	1,077
	実 員	1	5(5)	10(10)	32	32	75	152	727	1,034

備考 副団長(方面隊長・方面隊副隊長)は、各方面隊正副隊長を兼任する。

イ 栃木方面隊

()の数字は内数 (単位:人)

分団別	職名	副団長	方面隊長	方面隊副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部分団	定 員	3	(1)	(2)	1	1	2	4	4	15
	実 員	3	(1)	(2)	1	1	2	4	3	14
第1分団	定 員	-	-	-	1	1	2	5	12	21
	実 員	-	-	-	1	1	2	5	11	20
第2分団	定 員	-	-	-	1	1	2	5	15	24
	実 員	-	-	-	1	1	2	5	13	22
第3分団	定 員	-	-	-	1	1	2	5	12	21
	実 員	-	-	-	1	1	2	5	8	17
第4分団	定 員	-	-	-	1	1	2	5	16	25
	実 員	-	-	-	1	1	2	5	11	20
第5分団	定 員	-	-	-	1	1	2	5	16	25
	実 員	-	-	-	1	1	2	5	16	25
第6分団	定 員	-	-	-	1	1	2	5	24	33
	実 員	-	-	-	1	1	2	5	24	33
第7分団	定 員	-	-	-	1	1	2	5	12	21
	実 員	-	-	-	1	1	2	5	11	20
第8分団	定 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62
	実 員	-	-	-	1	1	4	12	40	58
第9分団	定 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62
	実 員	-	-	-	1	1	4	12	41	59
第10分団	定 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62
	実 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62
第11分団	定 員	-	-	-	1	1	5	15	55	77
	実 員	-	-	-	1	1	5	15	55	77
第12分団	定 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62

	実 員	-	-	-	1	1	4	12	44	62
合 計	定 員	3	(1)	(2)	13	13	37	102	342	510
	実 員	3	(1)	(2)	13	13	37	102	321	489

(2) 消防車等の態勢

ア 消防団

(単位：台)

種別 方面隊名	消防ポンプ 自動車	小型動力ポンプ 付積載車	指揮連絡車	計
栃 木	21	7	2	30
大 平	13	-	2	15
藤 岡	4	4	1	9
都 賀	4	2	1	7
西 方	2	6	1	9
計	44	19	7	70

イ 栃木方面隊

区分 分団・部		種 別	車 名	年 式	備 考
本 部 分 団		指 揮 車	トヨタ	平成15年	
		指 揮 連 絡 車	トヨタ	平成25年	
第1分団		普通ポンプ車	いすゞ	平成14年	
第2分団		〃	トヨタ	平成16年	
第3分団		〃	いすゞ	平成13年	
第4分団		〃	トヨタ	平成22年	
第5分団		〃	日 野	平成24年	
第6分団		〃	いすゞ	平成24年	
第7分団		普通ポンプ車	いすゞ	平成25年	更新
第 8 分 団	第1部	〃	日 野	平成23年	
	第2部	〃	いすゞ	平成11年	
	第3部	〃	〃	平成13年	
	第4部	〃	〃	平成21年	
第 9 分 団	第1部	〃	〃	平成21年	
	第2部	〃	〃	平成23年	
	第3部	〃	日 野	平成24年	
	第4部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成20年	
積 載 車		いすゞ	平成20年		
第 10 分 団	第1部	普通ポンプ車	〃	平成20年	
	第2部	〃	日 野	平成24年	
	第3部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成14年	
		積 載 車	いすゞ	平成14年	
	第4部	普通ポンプ車	〃	平成8年	
第1部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成14年		

第 11 分 団		積 載 車	い す ゞ	平成14年	
	第2部	普通ポンプ車	〃	平成11年	
	第3部	〃	トヨタ	平成22年	
	第4部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成19年	
		積 載 車	トヨタ	平成19年	
	第5部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成17年	
積 載 車		い す ゞ	平成17年		
第 12 分 団	第1部	普通ポンプ車	日 野	平成19年	
	第2部	〃	い す ゞ	平成24年	
	第3部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成13年	
		積 載 車	い す ゞ	平成13年	
	第4部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成17年	
		積 載 車	い す ゞ	平成17年	

第 3 章 理財部

第 1 節 管財課

〔総括概要〕

管財課の主な分掌事務は普通財産の調査、管理及び処分に関する事務、財産区及び財産区議会に関する事務、庁舎、附属施設及び自動車等の管理に関することである。

普通財産の貸付については、事業用定期借地権を設定し貸付を行うなど、未利用市有地の有効活用に努め、市内及び東京都内の土地について、43 件、合計面積 25,251.93 m²の有償貸付を行った。

普通財産の処分については、未利用市有地等の売却を積極的に行い、未利用市有地等 32 件、合計面積 6,294.52 m²を合計金額 106,534,327 円で売却した。

また、大澤基金、皆川地区振興基金、土地総合調整基金については、設置目的事業への充当と、利子収入等の積立てを行い、確実かつ有利な方法による基金運用に努めた。

寺尾財産区では、11 月 8 日に寺尾財産区議会定例会を開催し、平成 24 年度寺尾財産区特別会計歳入歳出決算を審議した。また、3 月 14 日の定例会にて、平成 26 年度寺尾財産区特別会計予算を審議した。

庁舎等の管理については、ビル管理法に基づく害虫駆除や大掃除、庁舎内の各種管理業務委託、維持補修工事等を実施し、良好な環境づくりを行った。

また、老朽化した市有車（災害支援車 1 台、消防車 2 台）をインターネット公有財産売却システムを利用し売却したほか、行政財産（建物、敷地）の一部を、入札等で選定した自動販売機、証明写真機、広告付庁舎案内看板等の各設置事業者に貸付をし、自主財源の確保に努めた。

管財担当

1 普通財産の貸付

区 分	件数(件)	面 積(m ²)	収入金額(円)
市内市有地(旭町 ほか)	22	22,020.01	24,355,578
都内市有地(渋谷区、大田区)	21	3,231.92	11,680,723
合 計	43	25,251.93	36,036,301

2 普通財産の処分

区 分	件数(件)	面 積(m ²)	売却価格(円)
普通財産(公売・随意契約)	4	3,499.59	94,551,000
旧道水路敷(用途廃止)	28	2,794.93	11,983,327

合 計	32	6,294.52	106,534,327
-----	----	----------	-------------

3 都内市有地(大澤財産)処分状況 (単位：㎡)

寄附受入面積	地積更正等	平成24年度末までの処分	平成25年度中の処分	平成25年度末の保有面積
7,928.44	7,928.72	4,659.98	184.82	3,083.92

4 大澤基金に関すること (単位：円)

平成24年度末現在高	平成25年度中増減高	平成25年度末現在高
774,821,281	53,319,248	828,140,529

5 土地総合調整基金に関すること (単位：円)

平成24年度末現在高	平成25年度中増減高	平成25年度末現在高
145,206,222	97,863,000	243,069,222

6 皆川地区振興基金に関すること (単位：円)

平成24年度末現在高	平成25年度中増減高	平成25年度末現在高
29,284,354	△318,404	28,965,950

7 財産区関係

(1) 財産区議会の招集

寺尾財産区議会

招集年月日	会 議 別	提 案 議 案 等
11月8日(金)	定例会	認定第1号
3月14日(金)	定例会	議案第1号

(2) 平成25年度財産区特別会計歳入歳出決算

寺尾財産区特別会計

(単位：円)

歳 入	予 算 現 額	収 入 済 額
	260,154,000	260,486,797
歳 出	予 算 現 額	支 出 済 額
	260,154,000	258,899,036
差 引 残 額		1,587,761

(3) 寺尾財産区有山林貸付状況

貸付件数(件)	面 積 (㎡)	収 入 金 額 (円)
4	371,343	25,754,716

(4) 寺尾財産区運営基金状況 (単位：円)

平成24年度末現在高	平成25年度中増減高	平成25年度末現在高
322,968,696	△207,747,000	115,221,696

庁舎管理担当

- 1 施設点検報告等に基づく職員による不具合箇所修繕状況
 トイレ補修、調理台溶接修理、学校遊具補修等 190件

- 2 本庁舎内の業務委託

業 務 名	委託金額 (円)
市庁舎清掃業務委託	2,815,314
市庁舎宿直警備業務委託	5,850,921
市庁舎受付等業務委託	3,309,495
庁舎電話交換設備保守業務委託	1,041,621
その他業務委託件数 7件	1,272,025

- 3 本庁舎内の修繕工事等

工 事 名	工事金額 (円)
庁用器材解体及び撤去工事	126,000
道路標識修正板設置工事	504,000
案内看板新設・撤去工事	126,000
その他業務委託件数 12件	616,560

- 4 新庁舎内の業務委託

業 務 名	委託金額 (円)
本庁舎清掃業務委託	747,306
本庁舎宿直・警備等業務委託	6,244,498
本庁舎受付等業務委託	1,034,250
本庁舎電話交換設備保守点検業務委託	231,000
本庁舎設備・環境管理業務委託	4,106,550
その他業務委託件数 7件	1,545,523

- 5 主な備品売却状況

(インターネット公有財産売却システムを活用した官公庁オークションの実績)

品 名 等	金 額 (円)
災害支援車	695,907
消防車 (ニッサン)	550,000
消防車 (ニッサン)	550,000

- 6 庁舎の有効活用状況

(1) 庁舎貸付状況

貸付物件	貸付収入(円)
自動販売機(本庁舎・別館・第2別館・福祉庁舎計7台)	3,626,155
証明写真機(本庁舎・新庁舎計2台)	150,108
広告付庁舎案内看板(本庁舎・新庁舎計2台)	256,568
新庁舎1階商業施設貸付収入	1,946,812

(2) 自動販売機入札実施状況

地域	入札実施台数(台)	最高貸付料率(%)
栃木	16	48.2
大平	2	46.0
西方	1	25.0

7 市有建物損害共済委託状況

全国市有物件災害共済会

- ・件数 473件
- ・共済責任額 5,069,742万円
- ・共済分担金 5,782,650円

8 共用車管理状況

区分	数量(台)
普通乗合(大型バス 51人乗)	1
普通乗合(中型バス 37人乗)	1
普通乗用	4
小型乗用	5
軽乗用	5
小型貨物	17
軽貨物	8

9 市有自動車損害共済委託状況

全国市有物件災害共済会

- ・件数 自動車 357台
バイク 35台
- ・共済分担金 5,305,663円
- ・契約内容(自動車等) 対物 1事故につき 500万円
対人 1人につき 無制限

10 自動車損害賠償責任保険加入状況

- ・保険契約台数 203台

・保険料 3,189,100円

11 その他

・特定電気事業者（PPS）との電力需給契約

(1) 9月30日まで

グループ1（庁舎、出張所等8施設） PPS業者：丸紅（株）

グループ2（小・中学校33施設） PPS業者：伊藤忠エネックス（株）

グループ3（その他の教育・行政施設29施設） PPS業者：丸紅（株）

(2) 10月1日から

グループ1（福祉庁舎等7施設） PPS業者：丸紅（株）

グループ2（小・中学校33施設） PPS業者：ダイヤモンドパワー（株）

グループ3（その他の教育・行政施設28施設） PPS業者：丸紅（株）

第2節 市民税課

〔総括概要〕

我が国の経済は、政府の経済政策を背景にした株高や円安、東京オリンピックの開催決定等が好材料となり、大企業を中心に賃金の上昇や設備投資の増加、個人消費の拡大などが聞こえ始めており、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大につなげようとする動きが現れ、景気回復に明るい兆しが見えてきている。しかし、新興国の景気減速、国の財政再建等景気減速の要因となる問題等も多々あり、地方での回復感が得られないなどまだまだ予断を許さない状況である。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下にあり、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。また、保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

税政担当

1 調定額

(単位：千円)

税目 \ 区分	本年度	前年度
市民税	9,376,571	8,733,492
軽自動車税	298,123	293,638
市たばこ税	1,076,237	971,545
鉱産税	3,279	3,287
入湯税	12,851	12,966
国民健康保険税	5,900,878	6,064,284
後期高齢者医療保険料	1,046,727	1,015,138
介護保険料	2,043,872	1,965,254

2 賦課状況

(1) 軽自動車税（4月1日現在）

区 分 車 種		総台数 (台)	課税外台数(台)		課税台数 (台)	税 額 (千円)		
			非課税	減免				
原 動 機 付 自 転 車	50cc以下	6,623	53	4	6,566	6,566		
	51cc～90cc	505	4	—	501	601		
	91cc～125cc	513	10	—	503	805		
	ミニカー	127	—	—	127	318		
	小 計	7,768	67	4	7,697	8,290		
軽 自 動 車 及 び 小 型 特 殊 自 動 車	軽 自 動 車	二輪車	1,764	3	—	1,761	4,226	
		三輪車	1	—	—	1	3	
	四 輪 以 上	乗 用	自家用	27,029	60	409	26,560	191,232
			営業用	10	—	3	7	39
		貨 物	自家用	11,895	64	141	11,690	46,760
			営業用	190	—	—	190	570
	小 型 特 殊	農耕作業用	6,977	9	—	6,968	11,149	
		フォークリフト等	358	2	—	356	1,673	
	小 計		48,224	138	553	47,533	255,652	
	二輪の小型自動車		2,345	20	—	2,325	9,300	
合 計		58,337	225	557	57,555	273,242		

(2) 市たばこ税

区 分	課税標準数量(本)	返還控除数量(本)	差引数量(本)	申告納付額(円)
一級品	197,135,726	776,570	196,359,156	1,055,291,000
旧三級品	8,483,760	4,259	8,479,501	20,946,306
合 計	205,619,486	780,829	204,838,657	1,076,237,306

(3) 鉱産税

区 分	数量(t)	価格(円)	課税標準額(千円)	税額(円)
石灰石 第1類	43,102	12,930,600	-	-
ドロマイト	225,599	90,239,600		
石灰石 第2類	707,316	176,829,000		
珪 石	96,264	48,132,000		
合 計	1,072,281	328,131,200	328,115	3,279,400

(4) 入湯税

区 分	税率(円/人)	人数(人)	税額(円)
日帰り	50	252,286	12,614,300
宿 泊	150	1,575	236,250
合 計	-	253,861	12,850,550

3 諸証明等の交付（栃木地域分）

区 分	件・冊・枚数		摘 要
	有 料	無料(公用等)	
諸 証 明	22,753	1,541	<ul style="list-style-type: none"> ・納税、所得及びその他の証明 1件につき200円 ・土地及び建物の評価証明 1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし 1件増すごとに100円を加算する。 ・住宅用家屋証明 1件につき1,300円
公簿閲覧	2,094	2,240	<ul style="list-style-type: none"> ・資産台帳の閲覧 1冊につき200円 ・公簿等の写し 1枚につき200円
計	24,847	3,781	

市民税担当

1 個人市民税賦課状況（7月1日現在）

(1) 所得区分別市民税額調

（単位：千円）

区 分	金 額	所 得 区 分 別 金 額					
		給 与	営 業	農 業	そ の 他	分 離 譲 渡	
所得金額	175,996,195	147,772,993	7,007,914	1,810,497	16,640,314	2,764,477	
所 得 控 除 額	雑 損	16,499	9,424	247	2,072	4,756	—
	医 療 費	1,275,979	713,809	75,618	41,380	400,030	45,142
	社会保険料	29,155,566	25,511,471	1,005,292	286,437	2,125,735	226,631
	小規模企業共済等掛金	414,436	225,322	129,739	5,070	39,969	14,336
	生命保険料	1,981,786	1,689,732	84,015	18,408	174,518	15,113
	地震保険料	82,025	53,463	5,066	5,488	16,368	1,640
	障 害 者	585,520	362,880	27,160	13,220	170,080	12,180
	寡 婦	274,900	219,060	7,540	1,300	42,460	4,540
	寡 夫	47,840	41,080	3,640	—	2,600	520
	勤労学生	1,820	1,820	—	—	—	—
	配 偶 者	5,308,720	3,673,680	146,870	28,720	1,415,380	44,070
	配偶者特別	363,740	281,350	18,070	1,610	59,570	3,140
	扶 養	5,866,610	5,057,810	333,850	125,420	290,770	58,760
	同居特別障害者	138,230	102,580	7,820	4,140	20,930	2,760
	基 礎	20,738,520	16,633,650	769,230	176,880	3,005,970	152,790
	計	66,252,191	54,577,131	2,614,157	710,145	7,769,136	581,622

課税標準額	111,775,848	93,195,862	4,393,757	1,100,352	8,871,178	4,214,699	
税額	算出税額	6,645,327	5,589,785	263,533	66,897	532,775	192,337
	調整控除額	138,298	106,097	5,818	1,601	23,892	890
	配当控除額	4,771	1,524	18	20	2,940	269
	住宅借入金等特別税額控除	91,811	88,570	2,532	76	519	114
	寄附金税額控除	2,617	1,117	282	20	795	403
	外国税額控除	—	—	—	—	—	—
	税額調整額	1,226	1,043	64	—	119	—
	配当割額等控除額	3,241	615	52	6	1,578	990
	減免税額	2	2	—	—	—	—
	所得割額	6,402,060	5,390,512	254,735	65,174	502,807	188,832
	均等割額	210,261	163,686	8,910	2,124	35,541	—
	市民税額合計	6,612,321	5,554,198	263,645	67,298	538,348	188,832
	市民税負担割合(%)	100	84.0	4.0	1.0	8.1	2.9
納税義務者数(人)	70,550	54,562	2,970	708	11,847	463	
所得割人数(人)	63,293	50,547	2,344	538	9,415	449	

(2) 課税標準額段階別市民税所得割額調

課税標準額の段階	納税義務者数(人)	所得金額(千円)	課税標準額(千円)	算出税額(千円)	所得割額(千円)
10万円以下	2,935	1,875,175	1,059,238	34,876	31,308
10万円を超え100万円以下	23,142	31,375,373	13,152,360	778,156	712,293
100 # 200 #	18,708	45,736,217	27,265,020	1,627,503	1,532,695
200 # 300 #	9,034	33,942,510	22,209,156	1,329,153	1,276,904
300 # 400 #	4,835	24,239,060	16,762,096	1,001,331	988,471
400 # 550 #	2,525	16,026,700	11,655,039	697,498	692,897
550 # 700 #	711	5,707,518	4,385,109	262,198	260,598
700 # 1,000 #	441	4,464,893	3,635,147	217,408	216,134
1,000万円を超える金額	513	12,628,749	11,652,683	697,204	690,760
合計	62,844	175,996,195	111,775,848	6,645,327	6,402,060

※ 「課税標準額の段階」には分離譲渡所得は含まれない。

(3) 課税標準額段階別控除対象配偶者、扶養控除及び事業専従者に関する調 (単位:人)

課税標準額の段階	控除対象配偶者		扶養控除人員	扶養控除人員の内訳			事業専従者	
	うち老人配偶者			老人扶養	同居老親扶養	その他の扶養	青色	白色
1万円以下の金額	46	19	44	4	19	21	8	—
1万円を超え2万円以下	23	9	38	3	12	23	5	—
2 # 3 #	33	10	43	2	16	25	5	—
3 # 4 #	24	6	32	3	16	13	11	5

4	5	33	12	32	3	16	13	14	1
5	6	35	14	36	—	14	22	37	16
6	7	37	10	19	1	10	8	26	4
7	8	47	12	40	3	14	23	26	16
8	9	31	13	35	—	18	17	110	34
9	10	38	12	48	3	29	16	107	22
10	15	224	66	205	17	79	109	77	24
15	20	257	100	216	19	77	120	152	35
20	25	258	109	229	16	94	119	132	29
25	30	251	95	237	23	94	120	114	27
30	40	597	203	478	18	176	284	240	39
40	60	1,141	356	913	46	325	542	158	19
60	80	1,200	311	997	46	364	587	117	21
80	120	2,102	415	1,603	79	552	972	56	9
120	160	1,780	191	1,476	67	463	946	51	4
160	200	1,573	74	1,314	53	420	841	49	2
200万円を超える金額		6,029	128	6,802	366	1,871	4,565	30	1
合 計		15,759	2,165	14,837	772	4,679	9,386	1,525	308

2 法人市民税賦課状況
均等割別納税義務者数

区 分		均等割額(千円)	法人数(人)
資 本 金 の 額 等	① 1千万円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	60	2,749
	② 1千万円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	144	30
	③ 1千万円を超え1億円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	156	494
	④ 1千万円を超え1億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	180	50
	⑤ 1億円を超え10億円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	192	92
	⑥ 1億円を超え10億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	480	24
	⑦ 10億円を超え、市内の従業者数が50人以下の法人	492	139
	⑧ 10億円を超え50億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	2,100	6
	⑨ 50億円を超え、市内の従業者数が50人を超える法人	3,600	27
合 計			3,611

3 国民健康保険税賦課状況（7月1日現在）

(1) 医療保険分の状況

ア 税率及び課税内訳

- ・賦課限度額 500,000円
- ・所得割 6.6/100

- ・資産割 14/100
- ・均等割 24,000円
- ・平等割 23,500円
- ・課税内訳

区分	所得割 (人)	資産割 (人)	均等割 (人)	平等割 (世帯)
一般世帯	17,222	14,135	40,083	22,094
退職世帯	1,589	1,460	2,639	1,225
計	18,811	15,595	42,722	23,319

イ 軽減世帯及び限度額世帯 (単位：世帯)

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	5,128	1,102	2,729	8,959	623
退職世帯	192	53	208	453	10
計	5,320	1,155	2,937	9,412	633

ウ 調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	22,094	40,083	2,779,607,035	125,808	69,346
退職世帯	1,225	2,639	202,531,665	165,332	76,746
合計	23,319	42,722	2,982,138,700	127,885	69,803

(2) 後期高齢者支援金分の状況

ア 税率及び課税内訳

- ・賦課限度額 130,000円
- ・所得割 2/100
- ・資産割 3/100
- ・均等割 5,000円
- ・平等割 4,500円
- ・課税内訳

区分	所得割 (人)	資産割 (人)	均等割 (人)	平等割 (世帯)
一般世帯	17,222	14,135	40,083	22,094
退職世帯	1,589	1,460	2,639	1,225
計	18,811	15,595	42,722	23,319

イ 軽減世帯及び限度額世帯 (単位：世帯)

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	5,128	1,102	2,729	8,959	717

退職世帯	192	53	208	453	10
計	5,320	1,155	2,937	9,412	727

ウ 調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	22,094	40,083	702,895,527	31,814	17,536
退職世帯	1,225	2,639	51,908,873	42,375	19,670
合計	23,319	42,722	754,804,400	32,369	17,668

(3) 介護保険分の状況

ア 税率及び課税内訳

- ・賦課限度額 100,000円
- ・所得割 1.5/100
- ・資産割 3/100
- ・均等割 7,000円
- ・平等割 5,000円
- ・課税内訳

区分	所得割(人)	資産割(人)	均等割(人)	平等割(世帯)
一般世帯	6,757	5,077	13,416	10,615
退職世帯	1,147	1,077	1,937	1,336
計	7,904	6,154	15,353	11,951

イ 軽減世帯及び限度額世帯

(単位：世帯)

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	2,087	555	1,063	3,705	389
退職世帯	175	67	231	473	16
計	2,262	622	1,294	4,178	405

ウ 調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	10,615	13,416	290,561,654	27,373	21,658
退職世帯	1,336	1,937	44,348,446	33,195	22,895
合計	11,951	15,353	334,910,100	28,024	21,814

(4) 国民健康保険税調定額

区分	世帯数(世帯)	調定額(円)
普通徴収対象世帯	21,156	3,698,495,400
特別徴収対象世帯	4,233	373,357,800
合計	25,389	4,071,853,200

4 後期高齢者医療保険料賦課状況（7月1日現在）

(1) 後期高齢者医療保険料の算定料率

- ・ 賦課限度額 550,000円
- ・ 所得割 8.54/100
- ・ 均等割 42,000円

均等割低所得者軽減額（円）			
9割軽減	8.5割軽減	5割軽減	2割軽減
37,800	35,700	21,000	8,400

(2) 保険料軽減区分別被保険者数

区分	内容	被保険者数（人）	
		普通徴収	特別徴収
一般	(所得-33万円) × 8.54% + 42,000円	1,339	6,432
9割軽減	世帯の合計所得が33万円以下のうち、世帯内の被保険者全員が年金収入80万円以下。（その他所得がない場合）均等割額が9割軽減。	334	3,084
8.5割軽減	世帯の合計所得が33万円以下。 均等割額が8.5割軽減。	172	2,479
5割軽減	世帯の合計所得が33万円 + {24.5万円 × 被保険者数(世帯主を除く)} 以下。均等割額が5割軽減。	37	481
2割軽減	世帯の合計所得が33万円 + (35万円 × 被保険者数) 以下。均等割額が2割軽減。	105	1,277
被用者保険の被扶養者軽減	所得割額が免除、均等割額が9割軽減。	209	3,107
計		2,196	16,860

(3) 後期高齢者医療保険料調定額

区分	被保険者（人）	調定額（円）
普通徴収対象者	2,196	305,479,100
特別徴収対象者	16,860	716,731,100
合計	19,056	1,022,210,200

5 介護保険料賦課状況（7月1日現在）

(1) 介護保険料段階別保険料等

段階	対象者	被保険者数（人）		年間保険料（円）
		普通徴収	特別徴収	
第1段階	・ 老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市民税非課税の方 ・ 生活保護の受給者	322	253	24,800
第2段階	・ 世帯全員が市民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	410	4,853	24,800
特例第3段階	・ 世帯全員が市民税非課税で前年の課税年金収入額と	40	1,884	34,300

	合計所得金額の合計が120万円以下の方			
第3段階	・世帯全員が市民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が120万円を超える方	35	1,716	39,600
特例第4段階	・市民税が課税されている世帯員がいるが本人は市民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	689	8,370	44,900
第4段階	・市民税が課税されている世帯員がいるが本人は市民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超える方	78	5,331	52,800
第5段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が125万円以下の方	337	5,723	63,400
第6段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が125万円を超え200万円未満の方	224	4,115	68,600
第7段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が200万円以上400万円未満の方	185	2,582	79,200
第8段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が400万円以上600万円未満の方	45	443	92,400
第9段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が600万円以上の方	52	441	105,600
計		2,417	35,711	

(2) 介護保険料調定額

区分	被保険者数(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	2,417	131,170,300
特別徴収対象者	35,711	1,837,847,500
合計	38,128	1,969,017,800

第3節 資産税課

〔総括概要〕

我が国の経済は、政府の経済政策を背景にした株高や円安、東京オリンピックの開催決定等が好材料となり、大企業を中心に賃金の上昇や設備投資の増加、個人消費の拡大などが聞こえ始めており、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大につなげようとする動きが現れ、景気回復に明るい兆しが見えてきている。しかし、新興国の景気減速、国の財政再建等景気減速の要因となる問題等も多々あり、地方での回復感が得られないなどまだまだ予断を許さない状況である。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下にあり、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、次期評価替え業務の民間委託や地図情報システムの整備を行うといった、効率的な課税体制の確立に努めた。

また、税務通知書等に基づく現地調査を通して、新增築・滅失家屋や土地利用の現況把握に努めるとともに、償却資産未申告事業者に対する催告等の申告指導を継続して行った。

資産税担当

1 調定額 (単位：千円)

税目 \ 区分	本年度	前年度
固定資産税	9,732,895	9,846,140
特別土地保有税	3,218	3,218
都市計画税	970,961	990,269

2 固定資産税評価状況 (平成25年1月1日現在)

(1) 土地

地目		筆数(筆)	地積(m ²)	決定価格(千円)
田	一般田	51,115	71,159,009	8,077,389
	宅地介在田等	4,633	3,161,927	28,179,239

畑	一般畑	23,169	13,619,299	844,700
	宅地介在畑等	3,029	1,432,234	13,408,766
宅	地	120,484	33,237,632	449,019,640
鉱	泉地	2	4	443
池	沼	257	119,007	4,552
山	林	18,118	39,636,485	2,836,966
牧	場	13	6,751	317
原	野	2,838	660,897	11,530
雑	種地	22,983	18,947,415	49,061,923
合	計	246,641	181,980,660	551,445,465

(2) 家屋

ア 木造家屋

種類	棟数(棟)	床面積(㎡)	決定価格(千円)	
専用住宅	49,409	4,576,843	122,112,949	
共同住宅・寄宿舎	752	157,187	5,255,210	
併用住宅	3,853	406,373	6,066,966	
農家住宅	2,144	243,410	565,860	
旅館・料亭・ホテル	64	4,958	47,613	
事務所・銀行・店舗	1,544	108,260	2,473,732	
劇場・病院	78	11,554	340,183	
公衆浴場	11	1,615	51,913	
工場・倉庫	1,282	110,514	413,332	
土蔵	1,738	90,854	116,325	
付属家	22,887	904,686	3,139,263	
合	計	83,762	6,616,254	140,583,346

イ 非木造家屋

種 類	棟 数 (棟)	床 面 積 (㎡)	決定価格 (千円)
事 務 所 ・ 店 舗 百 貨 店 ・ 銀 行	1,760	643,701	34,842,073
住 宅 ・ ア パ ー ト	6,714	1,126,653	40,643,784
病 院 ・ ホ テ ル	126	82,644	6,377,079
工 場 ・ 倉 庫 ・ 市 場	5,231	2,181,783	48,468,667
そ の 他	9,604	601,357	5,451,494
合 計	23,435	4,636,138	135,783,097

(3) 償却資産 (単位：千円)

区 分	決 定 価 格	課税標準額	
市 長 し が た 価 も 格 の 等 を 決 定	構 築 物	15,350,937	15,222,944
	機 械 及 び 装 置	62,588,051	62,409,411
	船 舶	250	250
	航 空 機	-	-
	車 両 及 び 運 搬 具	690,566	690,566
	工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	11,913,355	11,909,453
	小 計	90,543,159	90,232,624
総務大臣が価格等を 決定し配分したもの	31,896,898	30,849,473	
県知事が価格等を 決定し配分したもの	-	-	
小 計	31,896,898	30,849,473	
合 計	122,440,057	121,082,097	

第4節 収税課

〔総括概要〕

我が国の経済は、政府の経済政策を背景にした株高や円安、東京オリンピックの開催決定等が好材料となり、大企業を中心に賃金の上昇や設備投資の増加、個人消費の拡大などが聞こえ始めており、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大につなげようとする動きが現れ、景気回復に明るい兆しが見えてきている。しかし、新興国の景気減速、国の財政再建等景気減速の要因となる問題等も多々あり、地方での回復感が得られないなどまだまだ予断を許さない状況である。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下であり、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通しての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行うとともに、電話催告員による現年度滞納者への電話催告も行い、加えて全庁的な取組として課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保巡回訪問催告、休日夜間納税相談窓口の開設など、税込確保へ向けた取組を展開した。

また、市の債権を適正に管理回収するため、債権管理に関する職員研修や弁護士による法律相談を実施するとともに、栃木市債権回収対策本部会議を開催し、未収債権の回収計画の策定を行った。

収税担当

1 市税等徴収状況

市税等徴収状況については【別表】市税等徴収状況のとおり。

2 不納欠損

税 目	件 数 (件)	金 額 (円)
市 税	8,667	169,985,150
国民健康保険税	9,577	194,442,225
介護保険料	2,249	12,266,900
後期高齢者医療保険料	197	1,150,500
計	20,690	377,844,775

3 執行停止

税 目	件 数 (件)	金 額 (円)
市 税	8,879	164,395,504
国民健康保険税	10,308	198,334,688
介護保険料	2,428	13,328,360
後期高齢者医療保険料	230	1,297,200
計	21,845	377,355,752

4 差押（参加差押含む）（上段：市全体/下段：栃木地域）

（単位：件）

差 押 物 件	年度当初	差 押	解 除	年 度 末
不 動 産	158	17	7	168
	133	16	7	142
自 動 車	8	2	4	6
	6	2	3	5
電話加入権	7	0	1	6
	7	0	1	6
債権その他	208	602	489	321
	145	461	351	255
計	381	621	501	501
	291	479	362	408

5 交付要求（上段：市全体/下段：栃木地域）（単位：件）

年度当初	要 求	終 結	年 度 末
82	70	62	90
43	52	33	62

6 督促状発送状況（単位：件）

税 目	件 数
市 税	49,955
国 民 健 康 保 険 税	37,438
介 護 保 険 料	6,710
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	2,530
計	96,633

7 催告書発送及び納付状況（上段：市全体/下段：栃木地域）

月 日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月12日（金）	1,960	1,410	23,625,904
	1,212	—	—
6月21日（金）	4,736	1,659	25,900,927
	3,497	—	—
10月25日（金）	3,883	1,505	31,665,009
	2,449	—	—
1月24日（金）	2,485	1,448	27,975,775
	1,458	—	—
計	13,064	6,022	109,167,615
	8,616	—	—

8 口座振替状況

税 目	件 数（件）	金 額（円）
市 ・ 県 民 税	20,367	1,073,131,962
固定資産税・都市計画税	64,742	3,367,930,900
軽 自 動 車 税	13,061	63,450,500
国 民 健 康 保 険 税	48,190	1,501,423,700
介 護 保 険 料	3,006	23,008,039
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	8,347	171,276,900
計	157,713	6,200,222,001

9 休日納税相談窓口（上段：市全体/下段：栃木地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実 施 日	納付件数(件)	納 付 額 (円)
第1回	4月20日(土)	58	903,400
		53	836,600
第2回	6月30日(日)	66	581,800
		31	248,200
第3回	11月2日(土)	62	972,200
		51	814,900
第4回	2月2日(日)	116	2,832,000
		61	1,787,000
計		302	5,289,400
		196	3,686,700

10 市税等収納員による徴収事業（上段：市全体/下段：栃木地域）

市税等の徴収率向上のため、市税等収納員8人による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数(件)	徴収金額(円)	口座振替(件)	納付指導(件)
6,951	212,305,180	68	3,485
3,361	119,073,171	34	1,075

11 市税等徴収強化事業（上段：市全体/下段：栃木地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員及び関係課職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間 12月6日(金)～20日(金)

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
1,342	147	4,829,420
720	37	561,200

12 市税等徴収指導員設置事業

職員のスキルアップや人材の育成を図ることにより円滑な滞納処分を実施するため、徴収指導員による直接指導助言や、滞納整理に関する研修を実施した。

・徴収指導員 税理士 宮川昌俊氏

・実施状況

開催日	会 場	内 容	参加人数(人)
5月1日(水)	市役所本庁舎 第5会議室	納税者との接し方等について	14

7月 3日（水）	大平総合支所 大会議室	財産調査と差押え（1）	11
9月 3日（火）	市役所本庁舎 正庁C、D	財産調査と差押え（2）	5
10月 7日（月）	藤岡総合支所 別館会議室	納税事務の拡張	7
11月 8日（金）	藤岡総合支所 別館会議室	差押え実務	6
12月13日（金）	市役所本庁舎 収税課	徴収指導員による指導助言	6

13 債権管理職員研修の実施

債権管理に関する正確な法知識を習得することにより、職員のスキルアップを図るため、研修を実施した。

- ・ 講 師 弁護士 須田徹氏
- ・ 実施状況

実施日	会 場	内 容	参加人数（人）
8月 27日（火）	市役所本庁舎 第5会議室	自治体の債権管理について（基本的事項）	16
11月 26日（火）	皆川公民館	債権回収における法的手続の実務	13

14 弁護士法律（メール）相談の実施

債権に関する法律上の問題や実務上の問題の解決を図るため、自治体の債権管理に精通した弁護士に委託して、メールによる法律相談を実施した。

- ・ 相談件数 4件

15 栃木市債権回収対策本部会議の開催

市の保有する債権の適切な管理と、市税をはじめとする自主財源の確保のため、副市長を本部長とし、各部長を本部員とする「栃木市債権回収対策本部」を開催し、未収債権の回収計画の策定や債権管理の総合調整を行った。

実施日	内 容	会 場
6月 26日（水）	(1) 債権について (2) 債権の管理回収施策について	市役所本庁舎 正庁C、D
3月 25日（火）	(1) 平成25年度分債権放棄案件の審議について (2) 平成25年度分不納欠損報告について (3) 平成26年度債権管理事業計画について (4) 平成26年度債権管理プランについて	市役所本庁舎 正庁B

第4章 生活環境部

第1節 市民生活課

〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次の業務を行った。

市民相談業務については、市の仕事や日常生活での困りごとに関する相談や助言、相談先の案内などを実施した。また、総合相談を開設し、相談業務の利便性を図りながら、弁護士相談等によって市民生活に係る問題の解決促進を図った。

消費者行政については、より豊かで安全・安心な消費生活を送るための情報提供や、悪質商法等に対する啓発を行うとともに、消費生活センター相談員による出前講座を、消費者団体や一般消費者を対象に実施した。消費者問題解決の手法等を相談業務に役立てるため、国や県主催の研修会に参加し、消費生活相談員のスキルアップを図った。さらに、「栃木市消費生活条例」の理念を具体的かつ計画的に推進するための基本的な計画として、「栃木市消費生活基本計画」を策定した。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付及び記載、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付、入管法上の在留資格をもって中長期在留する外国人に関する住居地届出事務を行った。また、住民票の写し等の不正請求や不正取得による個人の権利の侵害を防ぐため、「登録型本人通知制度」を実施している。

新たな取り組みとして、市民の慶事に祝意を表し、幸せな家庭を築いてもらうことを願うとともに、栃木市への愛着を深め、これからも住み続けたいと思っていただくための一助として、4月1日から市民の出生・婚姻時に記念品贈呈を開始した。また、市民の利便性を考慮し、証明書（住民票の写し・印鑑登録証明書）のコンビニ交付を、5月15日から開始した。さらに、2月10日の庁舎移転に合わせ窓口受付システムを導入した。

市民生活担当

1 市民相談関係

市政に対する意見、要望、苦情を聴くとともに、国・県の相談機関と相互に協力して市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

・各種相談状況

相談	場所	開設状況	件数(件)
市民相談	市役所 市民相談室	常時開設	930
総合相談	市役所正庁、	毎月第2、4金曜日	288 (内弁護士相談 233)

	そのほか		
行政相談	市役所 市民相談室等	常時開設	22

2 消費者行政の推進

経済社会全体の情報化、国際化、規制緩和の進展を背景に、消費者を取り巻く環境は、著しく変化しており、また、消費者のニーズも多様化、高度化し、多面的な広がりを見せている。消費者が安全で合理的な消費生活を送るために情報提供、相談業務や啓発事業を実施した。さらに、「市民の消費生活の安定と向上」を基本目標とし、その目標の達成に向け、具体的に施策を推進していくための「栃木市消費生活基本計画」を策定した。

福島第一原子力発電所の事故を受け、放射性物質汚染の不安がある消費者からの相談に対し、安全・安心の確保を目的とした食品中の放射性物質簡易検査を、昨年度に引き続き実施した。

(1) 消費生活センター事業

市民会館3階（3月20日から入舟庁舎1階に移転）に消費生活センターを常時開設し、国民生活センター・栃木県消費生活センターと連動した全国消費生活情報ネットワーク・システムにより、相談業務の拡充と迅速な情報提供を図り、消費者啓発、苦情相談等の解決に当たった。

ア 消費生活相談員による苦情生活相談

消費生活相談員5人により消費生活に関する苦情相談、生活相談を行い、問題解決に当たった。また、パンフレット配布等を行い、消費者啓発に努めた。

(ア) 相談件数の推移

相談内容	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
苦情相談	807	94.1	809	91.5	807	90.4
(内架空請求)	8		40		63	
(内不当請求)	75		61		11	
問合せ	51	5.9	75	8.5	86	9.6
計	858	100.0	884	100.0	893	100.0

(イ) 商品・役務別相談件数

相談の種別		平成24年度(件)	平成25年度(件)	前年比(%)
苦情 相談	商品一般	25	36	144.0
	食料品	53	80	150.9
	住居品	29	42	144.8
	光熱水費	12	18	150.0
	被服品	23	53	230.4
	保健衛生品	10	22	220.0
	教養娯楽品	61	83	136.0

車両、乗物	33	14	42.4
土地、建物、設備	77	75	97.4
他の商品	4	2	50.0
役務一般	2	1	50.0
金融、保険サービス	139	143	102.8
運輸、通信サービス	181	139	76.7
教育サービス	3	6	200.0
教養、娯楽サービス	46	18	39.1
保健、福祉サービス	27	31	114.8
他の役務	27	27	100.0
内職、副業、相場	9	6	66.6
他の行政サービス	28	3	10.7
他の相談	20	8	40.0
計	809	807	99.7
生活相談	75	86	114.6
合計	884	893	101.0

(ウ) 販売購入形態件数

	平成24年度（件）		平成25年度（件）		前年比（％）	
		うち苦情相談		うち苦情相談		うち苦情相談
店舗購入	245	238	233	229	95.1	96.2
訪問販売	121	121	136	134	112.3	110.7
通信販売	224	223	208	207	92.8	92.8
訪問購入			14	14		
マルチ・マルチまがい	5	5	4	4	80.0	80.0
電話勧誘販売	113	112	131	130	115.0	116.0
ネガティブ・オプション	5	5	4	4	80.0	80.0
その他無店舗	2	1	7	7	350.0	700.0
不明・無関係	169	104	156	78	92.3	75.0
合計	884	809	893	807	101.0	99.7

イ 消費生活講座講師派遣

各自治会への出前講座や高齢者教室等において講座を実施した。

- ・延べ実施回数 21回
- ・延べ参加者数 376人

ウ 「消費者月間」関連事業の実施

(ア) 啓発パネル展示

- ・実施期間 5月1日（水）～31日（金）
- ・場 所 市役所ロビー
- ・観 覧 者 約1,000人

(イ) 街頭啓発

市内消費者団体と協力し、悪質商法等に関するチラシ、啓発物資を市内店舗にて配布

・実施状況

実施日	実施店舗
5月10日（金）	イオン栃木店、ヤオハンアイム店、ヨークベニマル栃木祝町店、コープ栃木店
5月14日（火）	とりせん大平店、ベイシア大平モール店、ヤオハンNEW大平店、とりせん藤岡店
5月25日（土）	ヤオハン城内店、とりせん栃木店、フジマート都賀店、スーパーオータニ西方店

(2) 消費者問題研修会の実施

消費者トラブルが複雑化、高度化する中、市民が被害にあわないための消費者問題解決の手法や課題について認識を深める為に、相談員・市職員・市民を対象とした研修会を開催した。

- ・対象者 消費生活センター相談員、市職員、消費者団体、市民
- ・実施日 3月17日（月）
- ・場 所 栃木保健福祉センター
- ・参加者 35人

(3) 消費者教育研修会の実施

消費生活への関心を深め、地域の消費者リーダー的役割を担う消費者を育成するため消費者教育研修会を実施した。

- ・実施日 1月28日（火）
- ・場 所 （株）染めQテクノロジー工場、キューピー（株）五霞工場
- ・参加者 21人

(4) 消費生活展の実施

「かしこく生きる～自立した消費者になるために～」のテーマで「第4回栃木市消費生活展」を、とちぎ市民環境まつりと共同で開催し、暮らしに役立つ知識、消費生活に関する情報を消費者団体等が展示、発表した。

- ・実施日 11月9日（土）
- ・場 所 市民会館
- ・来場者数 約1,000人
- ・出展協力団体等 栃木県計量協会、関東農政局宇都宮地域センター、イオンリテール(株)イオン栃木店、栃木県金融広報委員会、製品評価技術基盤機構製品安全センター燃焼技術センター、栃木県看護協会栃木地区支部、関東電気保安協会下野事業所、栃木市消費者友の会、栃木県消費生活リーダー連絡協議会栃木支部、栃木市（消費生活センター、下水道課）

(5) 家庭用品品質表示法及び消費生活用製品安全法に係る立入検査の実施

- ・家庭用品品質表示法による立入検査実施店 8店

- ・家庭用品品質表示法に係る検査点数 4,175点
- ・消費生活用製品安全法による立入検査実施店 4店
うち、消費生活用製品安全法に基づく長期使用製品安全点検制度に係る立入検査1店
- ・消費生活用製品安全法に係る検査点数 642点

(6) 食品中の放射性物質簡易検査の実施

市内に住所を有する消費者に対し、簡易型ガンマ線スペクトロメーターを用いて、食品および農作物（自家消費野菜）の放射性物質簡易検査を行った。

- ・検査件数 22件

住民情報担当

1 戸籍事務

(1) 本籍数及び戸籍人口

- ・本籍数 65,489件
- ・本籍人口 161,204人

(2) 戸籍届出事件数（市全体）

（単位：件）

事 件 の 種 類	総数	届 出			他市町村 から送付
		計	本籍人届出	非本籍人届出	
出 生	1,379	963	712	251	416
国籍留保	7	-	-	-	7
認 知	26	15	15	-	11
養子縁組	146	79	78	1	67
養子離縁	40	27	27	-	13
法73条の2、法69条の2	4	4	4	-	-
婚 姻	1,672	593	524	69	1,079
離 婚	381	240	227	13	141
法77条の2、法75条の2	118	77	75	2	41
親権、後見、後見監督、保佐	10	8	7	1	2
死 亡	1,937	1,668	1,512	156	269
失 踪	4	2	2	-	2
復 氏	4	2	2	-	2
姻族関係終了	4	1	1	-	3
相続人排除	-	-	-	-	-
入 籍	304	212	200	12	92
分 籍	19	10	10	-	9

国籍取得	3	-	-	-	3	
帰化	-	-	-	-	-	
国籍喪失	-	-	-	-	-	
国籍選択	4	2	2	-	2	
外国国籍喪失	-	-	-	-	-	
氏の変更	16	11	9	2	5	
名の変更	9	7	7	-	2	
転籍	590	353	353	-	237	
就籍	-	-	-	-	-	
訂正・更正	市町村長職権	106	90	90	-	16
	法24条2項	1	1	1	-	-
	法113条等	2	2	2	-	-
	法116条	2	1	1	-	1
	続柄の記載更正	4	3	3	-	1
	計	115	97	97	-	18
追完	2	2	-	2	-	
その他	1	-	-	-	1	
不受理申出	24	14	13	1	10	
合計	6,819	4,387	3,877	510	2,432	

(3) 戸籍処理件数 (単位：件)

処 理 内 容	件 数	処 理 内 容	件 数
新戸籍編製	1,042	戸籍の再製・補完	-
戸籍全部消除	1,099	その他	6
違反通知	-	計	2,147

(4) 相続税法第58条による事務処理件数

・総該当者数 1,522 件

2 身分関係事務

(1) 犯罪関係処理件数 (単位：件)

既決犯罪通知	194	仮釈放期間満了通知	14
他市町村からの民刑事項通知	23	刑執行猶予言渡取消通知	8
自由刑執行終了通知	22	その他	-
財産刑執行終了通知	16	計	277

(2) 身上調査照会件数 (単位：件)

警 察 署	1,487	そ の 他	650
検 察 庁	254	計	2,391

3 人口動態事務

人口動態調査票作成件数 (単位：件)

種 別	件 数	種 別	件 数
婚 姻	605	出 生	970(男481、女489)
離 婚	240	死 亡	1,667(男867、女799、不詳1)
死 産	30	計	3,512

4 中長期在留者住居地届出等事務

対象は入管法上の在留資格をもって中長期在留する外国人に関する事務。

(1) 在留資格別人口 (市全体) (単位：人)

在留資格	人 員		
	16歳未満	16歳以上	合 計
投資・経営	-	13	13
教育	-	10	10
技術	-	9	9
人文知識・国際業務	-	57	57
企業内転勤	-	2	2
技能	-	19	19
技能実習1号イ	-	9	9
技能実習1号ロ	-	70	70
技能実習2号イ	-	5	5
技能実習2号ロ	-	112	112
留学	-	258	258
研修	-	1	1
家族滞在	20	52	72
特定活動	-	261	261
日本人の配偶者等	3	144	147
永住者の配偶者等	10	29	39
定住者	67	269	336
永住者	119	703	822
特別永住者	2	54	56
仮滞在許可者	-	2	2
出生による経過滞在者	1		1
計	222	2,079	2,301

(2) 国籍別外国人登録人員（市全体） 3月31日現在

（単位：人）

国籍	人員		
	16歳未満	16歳以上	合計
アフガニスタン	3	10	13
アルゼンチン	2	9	11
オーストラリア	-	1	1
ボリビア	-	12	12
ブラジル	8	73	81
ミャンマー連邦	-	72	72
カナダ	-	5	5
スリランカ	5	56	61
コロンビア	2	5	7
中国	23	328	351
ギニア	-	1	1
ホンジュラス	1	2	3
インド	1	25	26
インドネシア	-	30	30
イラン	-	6	6
アイルランド	-	1	1
ジャマイカ	-	1	1
朝鮮	-	7	7
韓国	2	76	78
マレーシア	-	5	5
メキシコ	-	1	1
モンゴル	2	14	16
ネパール	10	442	452
オランダ	1	2	3
ナイジェリア	-	6	6
パキスタン	12	44	56
パラグアイ	-	2	2
ペルー	81	345	426
フィリピン	55	306	361
スペイン	-	1	1
タイ	-	78	78
トルコ	-	1	1
英国	2	9	11
アメリカ合衆国	2	15	17
ベネズエラ	-	1	1
サモア	-	1	1

バングラデシュ	8	37	45
ベトナム	-	27	27
ドイツ	-	2	2
ロシア連邦	-	3	3
ベラルーシ	-	1	1
カザフスタン	-	1	1
ウクライナ	-	1	1
ウズベキスタン	-	1	1
台湾	-	13	13
無国籍	2	-	2
計	222	2,079	2,301

(3) 各種申請書受理件数（市全体）

ア 中長期在留者

（単位：件）

件名	件数	件名	件数
新規上陸後の住居地届出	250	住居地の変更届出（転入）	540
資格変更等に伴う住居地の届出	57	住居地の変更届出（転居）	391
		計	1,238

イ 特別永住者

（単位：件）

件名	件数	件名	件数
住居地の届出	-	住居地の変更届出（転居）	3
住居地の変更届出（転入）	5	計	8

ウ その他の事務取扱件数

（単位：件）

件名	件数	件名	件数
特別永住者証明書の交付	5	市町村通知	1,686
法務省通知	1,462	計	3,153

5 登録型本人通知制度

住民票の写し等の不正請求や不正取得による個人の権利の侵害を防ぐため、住民票の写し等を本人の代理人や第三者に交付した時に、事前に登録した方に交付したことをお知らせする制度。

(1) 各種申請書受理件数（市全体）

登録申請（件）	変更申請（件）	お知らせ通知発送（件）
20	1	12

(2) 登録者総数 106名

6 窓口事務（本庁市民生活課）

(1) 窓口届出処理件数

（単位：件）

処理事項	件数	処理事項	件数
戸籍届	3,418	死体埋火葬許可	19
住民異動届	7,508	（栃木市斎場利用なし）	

計		10,926	死胎埋火葬許可	-
印鑑	登録	3,072	(栃木市斎場利用なし)	
	廃止	1,282	死産届	23
計		4,354	計	42
			合計	15,322

(2) 謄抄本証明書等交付件数

種 別		件数(件)	金額(円)	種 別		件数(件)	金額(円)
戸 籍	全部事項証明	10,989	4,945,050	住 民 票	世帯全員	13,282	2,656,400
	個人事項証明	2,673	1,202,850		個 人	24,640	4,928,000
	除籍謄本	12,318	9,238,500		証 明	801	160,200
	除籍抄本	97	72,750		閲 覧	51	10,200
	戸籍証明	116	40,600		年金現況証明	1	-
	受理証明	194	76,300		戸籍の附票	1,959	391,800
	廃棄証明	8	-		公 用	4,696	-
	出産証明	5	-		広 域	28	5,600
	不受理証明	-	-		住基カード(有料)	38	19,000
	公 用	5,863	-		住基カード(無料)	589	-
	計	32,263	15,576,050		計	46,085	8,171,200
	証 明 書	印鑑証明	18,804		3,760,800	そ の 他	印鑑登録
諸証明		332	66,400	印鑑登録廃止	1,282		-
身分証明		624	124,800	臨時運行許可証	783		587,250
住居表示証明		107	-	労基証明	8		-
公 用		28	-	人口統計	7		-
選挙証明		-	-	公的個人認証	240		117,500
計		19,895	3,952,000	計	5,392		1,319,150
合 計			103,635 件		29,018,400 円		

(3) 斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種 類	区 分		件 数 (件)		金 額 (円)
斎 場	市 内	大 人	1,286	1,303	-
		小 人	3		
		死産児	14		
	市 外	大 人	80	81	1,447,000
		小 人	-		
		死産児	1		
エ ナ		-	-	-	
計			1,384	1,447,000	
霊きゅう車	往 路		1,122	5,110,000	
	帰 路		999	1,494,000	
計			2,121	6,604,000	

待 合 室	市 内	1,201	3,597,000
	市 外	68	408,000
計		1,269	4,005,000
合 計		4,774	12,056,000

(4) (1)～(3)のうち延長窓口処理件数 (単位：件)

種 別	件 数
戸籍謄抄本交付	794
住民票写し交付	1,772
印鑑登録証明書交付	1,097
印鑑登録	366
戸籍届	179
住民異動届	481
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	31
臨時運行許可証交付	32
窓口及び電話による相談、問合わせ等	907
合 計	5,659

(5) 慶事記念品贈呈 (市全体) (単位：件)

種 別	件 数
出生記念品	945
婚姻記念品	571
合 計	1,516

*平成25年度は木製の写真立てを贈呈 (婚姻には小冊子「くらしの豆知識」を付加)

7 支所・出張所発行件数 (単位：件)

種 別	件 数				
	国府	寺尾	大宮	皆川	吹上
戸籍謄抄本等交付	692	339	474	214	474
住民票写し等交付	1,295	615	1,536	468	1,285
印鑑登録証明書交付	1,142	509	1,398	482	1,155
印鑑登録	89	32	72	18	71
印鑑登録廃止	27	16	0	11	2
諸証明交付	18	10	45	7	28
合 計	3,263	1,521	3,525	1,200	3,015

8 自動交付機発行件数

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
住民票写し交付	2,086	417,200
印鑑登録証明書交付	4,081	816,200

9 コンビニ交付発行件数

種 別	件 数 (件)	金 額 (円)
住民票写し交付	313	56,340
印鑑登録証明書交付	247	44,460

10 郵便申請月別件数 (戸籍謄抄本、住民票等) (単位：件)

月	件数	月	件数	月	件数	月	件数
4月	1,122	7月	1,265	10月	1,391	1月	1,452
5月	1,099	8月	1,190	11月	1,229	2月	1,253
6月	1,090	9月	1,361	12月	1,324	3月	1,271
合 計				15,047			

11 住民基本台帳事務 (市全体)

(1) 世帯数及び人口

区 分	人 口 (人)			世帯数
	男	女	計	
平成25年3月末日現在	72,335	74,332	146,667	54,334
平成26年3月末日現在	72,229	74,227	146,456	55,131
比 較	△106	△105	△211	797

ア 栃木地区

町名	人口 (人)			世帯数	町名	人口 (人)			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
万町	444	480	924	406	今泉町2丁目	527	525	1052	448
倭町	138	159	297	129	仲仕上町	137	131	268	87
旭町	579	567	1,146	508	藤田町	67	74	141	44
室町	155	170	325	135	久保田町	49	53	102	33
城内町1丁目	330	326	656	291	宮田町	32	32	64	22
城内町2丁目	2,044	2,090	4,134	1,699	高谷町	47	46	93	27
神田町	517	599	1,116	445	樋ノ口町	419	458	877	364
本町	563	610	1,173	517	皆川城内町	668	708	1,376	489
日ノ出町	553	574	1,127	476	柏倉町	220	224	444	130
沼和田町	1,426	1,449	2,875	1,225	小野口町	164	134	298	101
河合町	110	119	229	93	志鳥町	98	97	195	52
片柳町1丁目	866	922	1,788	756	岩出町	62	75	137	48
片柳町2丁目	762	750	1,512	630	大皆川町	154	158	312	109
片柳町3丁目	58	63	121	47	泉川町	288	298	586	232
片柳町4丁目	336	329	665	283	新井町	561	596	1,157	450

片柳町5丁目	292	295	587	241	吹上町	682	700	1,382	481
湊町	212	243	455	218	細堀町	79	86	165	48
富士見町	303	353	656	328	木野地町	235	217	452	144
境町	511	572	1,083	452	川原田町	1,903	2,041	3,944	1,593
平井町	1,182	1,232	2,414	1,006	野中町	852	836	1,688	610
菌部町1丁目	556	602	1,158	527	宮町	225	205	430	133
菌部町2丁目	698	741	1,439	551	千塚町	230	267	497	158
菌部町3丁目	262	247	509	195	大森町	456	476	932	326
菌部町4丁目	384	390	774	287	仲方町	111	101	212	77
入舟町	214	228	442	196	梓町	107	125	232	147
祝町	357	400	757	315	尻内町	340	345	685	234
柳橋町	829	889	1,718	704	梅沢町	367	427	794	272
箱森町	2,536	2,683	5,219	1,985	大久保町	113	113	226	85
小平町	391	410	801	302	鍋山町	519	545	1,064	381
錦町	280	316	596	249	星野町	130	130	260	89
嘉右衛門町	322	331	653	265	出流町	60	52	112	47
泉町	379	410	789	341	惣社町	705	796	1,501	600
大町	855	878	1,733	694	柳原町	45	47	92	37
昭和町	117	125	242	99	大光寺町	195	205	400	127
大宮町	3,493	3,680	7,173	2,643	田村町	246	260	506	278
平柳町1丁目	804	849	1,653	686	寄居町	183	183	366	118
平柳町2丁目	748	750	1,498	674	国府町	531	522	1,053	339
平柳町3丁目	597	667	1,264	519	大塚町	1,036	1,041	2,077	698
今泉町1丁目	1,101	1,112	2,213	868	合計	39,147	40,939	80,086	31,643

イ 大平地区

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
富田	3,963	3,753	7,716	3,058	下高島	149	152	301	92
西山田	594	557	1,151	367	上高島	199	235	434	167
下皆川	778	743	1,521	576	北武井	259	256	515	182
横堀	286	304	590	175	新	1,949	2,051	4,000	1,488
牛久	339	367	706	270	西野田	1,581	1,558	3,139	1,164
川連	296	281	577	211	榎本	358	387	745	256
土与	177	175	352	114	西水代	2,175	2,142	4,317	1,609
蔵井	545	620	1,165	423	伯仲	516	444	960	356
真弓	860	847	1,707	610	合計	15,024	14,872	29,896	11,118

ウ 藤岡地区

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
部屋	347	385	732	215	藤岡	2,933	3,036	5,969	2,264
新波	188	169	357	120	下宮	14	16	30	13
石川	84	81	165	53	内野	1	1	2	1
帯刀	49	45	94	34	赤麻	906	917	1,823	583
緑川	60	58	118	29	大前	969	966	1,935	659
西前原	40	31	71	23	甲	739	784	1,523	488
蛭沼	267	280	547	173	都賀	581	555	1,136	376
富吉	250	246	496	183	大田和	151	170	321	105
中根	280	318	598	224	太田	339	340	679	214
					合計	8,198	8,398	16,596	5,757

エ 都賀地区

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
合戦場	1,338	1,384	2,722	983	臼久保	89	74	163	71
平川	867	885	1,752	617	大橋	174	192	366	131
升塚	423	413	836	271	富張	320	328	648	191
家中	2,009	2,006	4,015	1,342	深沢	192	185	377	108
原宿	341	355	696	228	大柿	398	422	820	254
木	454	458	912	275	合計	6,605	6,702	13,307	4,471

オ 西方地区

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
金崎	816	903	1,719	609	金井	679	641	1,320	428
本城	364	341	705	213	本郷	367	362	729	233
元	423	459	882	283	真名子	579	610	1,189	376
					合計	3,228	3,316	6,544	2,142

(2) 処理件数

ア 住民票記載等件数

種 類	件 数 (件)	人口増（人）			人口減（人）			
		男	女	計	男	女	計	
届	転入届	2,903	2,022	1,944	3,966	-	-	-
	転居届	2,273	-	-	-	-	-	-
	転出届	2,879	-	-	-	1,832	1,716	3,548
	転出取消	14	10	9	19	-	-	-
	帰化届	-	-	-	-	-	-	-

出	国籍取得	-	-	-	-	-	-	-
	変更届	1,963	-	-	-	-	-	-
	主変更	1,026	-	-	-	-	-	-
	世帯分離	222	-	-	-	-	-	-
	世帯合併	86	-	-	-	-	-	-
職	出生	945	475	478	953	-	-	-
	死亡	1,697	-	-	-	870	827	1,697
	職権記載	1	1	-	1	-	-	-
	職権消除	136	-	-	-	97	54	151
	回復	33	23	13	36	-	-	-
	職権訂正	3,315	194	188	382	194	188	382
権	抹消	-	-	-	-	-	-	-
	追加	46	35	17	52	-	-	-
通 知 書	転入通知	2,718	-	-	-	-	-	-
	記載事項の 変更通知	365	-	-	-	-	-	-

イ 戸籍の附票記載等件数

(単位：件)

種 類	異動届書	戸籍届書	通知書	計
記 載	-	2,436	-	2,436
消 除	-	3,459	-	3,459
修 正	6,272	-	4,361	10,633
合 計	6,272	5,895	4,361	16,528

ウ 住民票及び附票の作成、除票の作成 (単位：件)

種 類	作 成	除 票
住 民 票	3,895	4,712
附 票	1,033	984
合 計	4,928	5,696

(3) 住居表示事務

(単位：件)

家屋新築届による付番	278
付番申出による付番	4
その他変更申出	10
建物廃棄による付番廃止	-
合計	292

12 年齢階層別人口統計 (市全体)

年齢 (歳)	男 (人)	女 (人)	人口 (人)	比率 (%)
0~4	2,633	2,553	5,186	3.5
5~9	3,093	2,865	5,958	4.1

10～14	3,447	3,367	6,814	4.7
15～19	3,403	3,351	6,754	4.6
20～24	3,606	3,352	6,958	4.8
25～29	3,742	3,509	7,251	5.0
30～34	4,261	3,851	8,112	5.5
35～39	5,138	4,589	9,727	6.6
40～44	5,463	4,980	10,443	7.1
45～49	4,587	4,358	8,945	6.1
50～54	4,337	4,184	8,521	5.8
55～59	5,013	5,004	10,017	6.8
60～64	6,248	6,208	12,456	8.5
65～69	5,565	5,471	11,036	7.5
70～74	4,454	4,740	9,194	6.3
75～79	3,211	3,940	7,151	4.9
80～84	2,219	3,533	5,752	3.9
85～89	1,331	2,808	4,139	2.8
90～94	376	1,186	1,562	1.1
95～99	70	316	386	0.3
100～	4	62	66	0.1
合 計	72,201	74,227	146,428	100

(小数第二位 四捨五入)

13 一般旅券申請・交付件数

(単位:件)

	本 庁		大 平		藤 岡		都 賀		西 方		計	
	申請	交付	申請	交付	申請	交付	申請	交付	申請	交付	申請	交付
4月	108	122	30	30	18	23	4	3	15	10	175	188
5月	145	121	38	31	17	16	5	5	4	5	209	178
6月	159	151	27	31	27	23	14	11	5	3	232	219
7月	174	163	41	36	26	20	17	15	10	5	268	239
8月	189	188	58	61	30	38	18	17	3	12	298	316
9月	122	116	28	33	19	19	8	11	4	2	181	181
10月	128	145	34	34	19	16	15	14	7	7	203	216
11月	92	83	41	38	21	15	5	6	6	2	165	144
12月	112	101	24	29	17	23	8	4	4	6	165	163
1月	196	178	64	45	31	25	10	10	8	10	309	268
2月	162	164	26	42	21	17	6	11	6	4	221	238
3月	144	141	40	29	14	21	6	6	2	3	206	200
計	1,731	1,673	451	439	260	256	116	113	74	69	2,632	2,550

第2節 交通防犯課

〔総括概要〕

交通防犯課では安全・安心な暮らしの確保、快適で利便性の高い暮らしの実現のため次の事業を行った。

交通安全の推進については、四季の交通安全運動を強力に推進するとともに、交通安全市民大会を開催し、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯業務においては、市内の防犯灯のLED化事業、防犯カメラの運用、防犯パトロールを実施し、安心安全な市民生活の確保に努めた。

地域公共交通の確保については、高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消を図るため、平成22年度に策定した栃木市地域公共交通総合連携計画に基づき、蔵タク及びふれあいバスの試行運行を実施した。

また、老人福祉センターの利用促進及び福祉バスの廃止を受けて老人福祉センター利用者の利便性の確保のため、老人福祉センター等利用者団体送迎事業を実施した。

交通防犯担当

1 交通安全関係

市民一人ひとりが交通ルールを遵守し、交通マナーの一層の向上に努め、交通事故防止を図るため、交通安全運動の推進や交通安全市民大会、交通安全教室などを実施した。

なお、市内の交通事故発生件数は、449件、死者数は7人、負傷者数は545人であった。

(1) 交通安全運動等

ア 春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、交通安全教室の開催。

・実施期間 4月6日（土）～15日（月）

交通安全ゲートボール大会

・実施日 4月22日（月）

・場所 総合運動公園

・参加者 129人

イ 高齢者交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、交通安全教室の開催。

・実施期間 5月11日（土）～20日（月）

ウ 暴走族等根絶推進強化月間

公共施設窓口及び市ホームページによる周知。

・実施期間 6月1日（土）～30日（日）

エ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙による広報、のぼり旗及び立看板掲出、交通安全教室の開催。

- ・実施期間 9月21日（土）～30日（月）

オ 交通安全市民大会

小学生による交通安全作文、大会宣言などを行った。

- ・実施日 9月28（土）
- ・場 所 栃木文化会館
- ・参加者 約800人

カ 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車及び広報紙等による広報、交通安全教室の開催。

- ・実施期間 12月11日（水）～31日（火）

(2) 交通安全教室の開催

対 象 者	回数（回）	参加者数（人）
幼児（父兄含む）	3	318
小中学校児童・生徒（父兄含む）	7	1,114
高 齢 者	15	527
複 合 ・ そ の 他	4	216
合 計	29	2,175

(3) 交通安全こども自転車大会

第42回交通安全こども自転車大会栃木地区大会

- ・実施日 6月13日（木）
- ・会 場 栃木第四小学校
- ・出場校 栃木第四小学校チーム（7校7チーム参加中優勝）

(4) その他の交通安全対策

ア 交通指導員の設置（栃木地域）

- ・委嘱人数 34人

イ 栃木駅周辺、新栃木駅周辺及び野州平川駅周辺等の放置自転車の撤去を実施
撤去実績

実施月	台数(台)	実施月	台数(台)
5月	1	8月	67
6月	22	1月	9
7月	129	合計	228

2 防犯関係

市民の安全、安心を確保するため、防犯灯のLED化や栃木駅及びその周辺における犯罪の抑止を図るための防犯カメラの運用、防犯パトロール等を実施した。

(1) 防犯灯の設置

区 分		設置灯数（灯）
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	250
改修工事	移設、撤去	29
交換工事	L E D 電灯への交換	9,699
合計		9,978

(2) 防犯カメラの運用

設置状況

設置場所	台数(台)
駅北口	2
駅南口	2
南北連絡通路	2

(3) 防犯活動

栃木警察署管内1市2町で組織する栃木地区防犯協会（本市が事務局）において実施した次の事業に参画した。

- ・会議等
- ・地域安全運動、青少年非行防止活動、広報啓発活動等の実施

(4) 防犯パトロール

栃木市駅前広場等迷惑行為防止条例に基づき、市民や来訪者が利用する駅の安全で快適な環境の実現を図るため、警察、学校、防犯関係団体と積極的に連携し、随時、パトロールを実施した。特に、4月から7月までを重点対策期間と定め、迷惑行為防止対策を強力に推進した。

公共交通対策担当

1 蔵タク運行事業

平成22年度に策定した栃木市地域公共交通総合連携計画に基づき、高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消を図るため、市内全域で蔵タクの試行運行を実施した。

(1) 蔵タク利用登録者数

13,620人

(2) 蔵タク利用状況

月	利 用 状 況			収入総額 (円)
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人/日)	
4	5,051	21	240.5	1,122,550
5	4,848	21	230.9	1,070,900
6	4,579	20	229.0	1,035,100
7	5,247	22	238.5	1,132,700
8	4,748	22	215.8	1,038,500
9	4,584	19	241.3	1,007,050

10	4,986	22	226.6	1,088,050
11	4,604	20	230.2	1,009,500
12	4,495	19	236.6	1,016,100
1	4,140	19	217.9	882,300
2	4,256	19	224.0	972,400
3	4,496	20	224.8	965,300
合計	56,034	244	229.6	12,340,450
月平均	4,670			1,028,371

2 ふれあいバス運行事業

平成 22 年度に策定した栃木市地域公共交通総合連携計画に基づき、蔵タクでは利用が困難な、定時性を追及する「通勤・通学・観光」の足を確保するとともに、地域間交流の促進による商業や観光の地域活性化の一翼を担い、新生栃木市の一体感の醸成に資するため、地域間を結ぶ定時定路線運行のふれあいバスの試行運行を実施した。

ふれあいバス利用状況

(1) 寺尾線

月	利 用 状 況			収入総額 (円)
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人/日)	
4	3,624	30	120.8	809,359
5	3,810	31	122.9	463,333
6	3,594	30	119.8	587,722
7	3,587	31	115.7	480,693
8	3,264	31	105.3	698,347
9	3,743	30	124.8	478,502
10	3,698	31	119.3	456,077
11	3,561	30	118.7	635,837
12	3,520	31	113.5	338,110
1	3,381	31	109.1	621,663
2	3,273	27	121.2	429,244
3	3,917	31	126.4	569,754
合計	42,972	364	118.1	6,568,641
月平均	3,581			547,387

(2) 市街地循環線

月	利 用 状 況			収入総額 (円)
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人/日)	
4	1,538	30	51.3	140,240
5	1,997	31	64.4	178,600
6	1,696	30	56.5	141,300

7	1,733	31	55.9	160,440
8	1,666	31	53.7	139,900
9	1,574	30	52.5	135,500
10	1,603	31	51.7	147,940
11	1,484	30	49.5	131,500
12	1,434	31	46.3	119,050
1	1,313	31	42.4	116,790
2	1,352	28	48.3	114,500
3	1,656	31	53.4	142,100
合計	19,046	365	52.2	1,667,860
月平均	1,587			138,988

(3) 市街地北部循環線

月	利 用 状 況			収入総額 (円)
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人/日)	
4	2,577	30	85.9	235,600
5	3,164	31	102.1	287,050
6	2,606	30	86.9	229,500
7	2,615	31	84.4	237,600
8	3,354	31	108.2	297,550
9	2,823	30	94.1	254,000
10	2,711	31	87.5	243,150
11	2,813	30	93.8	253,650
12	2,751	31	88.7	248,650
1	3,015	31	97.3	270,100
2	2,365	28	84.5	216,400
3	3,190	31	102.9	283,700
合計	33,984	365	93.1	3,056,950
月平均	2,832			254,746

(4) 部屋線

月	利 用 状 況			収入総額 (円)
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人/日)	
4	3,526	30	117.5	501,570
5	3,649	31	117.7	423,750
6	3,546	30	118.2	426,800
7	3,385	31	109.2	438,240
8	3,125	31	100.8	397,100
9	3,449	30	115.0	428,350
10	3,537	31	114.1	466,440

11	3,474	30	115.8	405,250
12	3,397	31	109.6	422,150
1	3,111	31	100.4	423,770
2	3,175	27	117.6	401,700
3	3,375	31	108.9	411,200
合計	40,749	364	111.9	5,146,320
月平均	3,396			428,860

(5) 真名子線

月	利 用 状 況			収入総額 (円)
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人/日)	
4	1,562	30	52.1	263,509
5	1,410	31	45.5	162,774
6	1,423	30	47.4	238,186
7	1,563	31	50.4	217,048
8	1,507	31	48.6	236,780
9	1,431	30	47.7	174,556
10	1,509	31	48.7	232,316
11	1,486	30	49.5	234,324
12	1,460	31	47.1	127,486
1	1,428	31	46.1	267,441
2	1,305	27	48.3	182,266
3	1,394	31	45.0	176,151
合計	17,478	364	48.0	2,512,837
月平均	1,457			209,403

(6) 金崎線

月	利 用 状 況			収入総額 (円)
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人/日)	
4	504	30	16.8	78,000
5	545	31	17.6	81,150
6	551	30	18.4	86,500
7	534	31	17.2	79,900
8	530	31	17.1	77,960
9	578	30	19.3	83,800
10	648	31	20.9	95,350
11	526	30	17.5	75,800
12	470	31	15.2	77,000
1	500	31	16.1	88,650
2	581	28	20.8	111,650

3	685	31	22.1	97,100
合計	6,652	365	18.2	1,032,860
月平均	554			86,072

(7) 大宮国府線

月	利 用 状 況			収入総額 (円)
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人/日)	
4	511	30	17.0	66,200
5	604	31	19.5	69,550
6	647	30	21.6	79,450
7	696	31	22.5	71,200
8	677	31	21.8	76,900
9	650	30	21.7	76,900
10	720	31	23.2	89,900
11	600	30	20.0	70,400
12	644	31	20.8	74,250
1	503	31	16.2	58,500
2	561	27	20.8	66,200
3	665	31	21.5	79,250
合計	7,478	364	20.5	878,700
月平均	623			73,225

(8) 皆川樋ノ口線

月	利 用 状 況			収入総額 (円)
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人/日)	
4	780	30	26.0	106,382
5	786	31	25.4	91,453
6	944	30	31.5	143,242
7	930	31	30.0	111,599
8	763	31	24.6	114,133
9	920	30	30.7	118,392
10	787	31	25.4	102,247
11	733	30	24.4	115,389
12	1094	31	35.3	105,734
1	997	31	32.2	175,196
2	1078	27	39.9	130,110
3	960	31	31.0	127,485
合計	10,772	364	29.6	1,441,362
月平均	898			120,114

(9) 藤岡線

月	利 用 状 況			収入総額 (円)
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人/日)	
4	1,311	30	43.7	215,450
5	1,470	31	47.4	231,350
6	1,352	30	45.1	207,400
7	1,294	31	41.7	207,300
8	1,151	31	37.1	180,360
9	1,124	30	37.5	159,950
10	1,426	31	46.0	188,450
11	1,357	30	45.2	173,250
12	1,359	31	43.8	167,300
1	1,156	31	37.3	165,750
2	1,112	28	39.7	159,050
3	1,489	31	48.0	205,700
合計	15,601	365	42.7	2,261,310
月平均	1,300			188,443

3 老人福祉センター等利用者団体送迎事業

老人福祉センターの利用促進及び福祉バスの廃止を受けて老人福祉センター利用者の利便性の確保のため、老人福祉センター等利用者団体送迎事業を実施した。

団体送迎利用状況

月	利 用 状 況	
	利用件数(件)	利用人数(人)
4	4	73
5	4	68
6	2	40
7	9	166
8	-	-
9	7	129
10	7	143
11	3	48
12	9	140
1	8	123
2	4	55
3	7	137
合計	64	1,122

第3節 保険医療課

〔総括概要〕

急速な少子高齢化の進展の中、国民皆保険を堅持し、医療保険制度を将来にわたって安定的で持続可能なものとしていくため、医療費適正化事業の総合的な推進、後期高齢者医療制度、保険者に義務付けられた特定健診・保健指導等の取組が進められている。

そのような状況の下、保険医療課では、国民健康保険事業、各種医療費助成事業、後期高齢者医療事業及び国民年金事業など、地域住民の医療の確保と健康の保持・増進を目指して、「いきいきと健康に暮らし続けられるまちづくり」を推進した。

国民健康保険事業においては、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査・保健指導事業、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業、医療費の適正化対策としてのレセプト点検事業などを積極的に推進した。

また、栃木市国民健康保険財政健全化計画に基づいて国民健康保険税の収納率向上に努めるとともに、ジェネリック医薬品希望カードの配布や医療費差額通知を送付するなど医療費適正化の推進を図り、国保財政の健全化に努めた。

各種医療費助成事業においては、市民の保健の向上と福祉の増進を図るために、重度心身障がい者、こども、妊産婦及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。

特に、こども医療については、子育て支援の観点から平成25年4月より、市独自に現物給付対象者を小学6年生までに拡大した。

また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担軽減を図るため、保険適用外治療費の一部を助成するとともに、平成25年4月1日から不育症治療を受けている夫婦に対しても、経済的負担軽減を図るため、保険適用外治療費の一部の助成を開始した。

後期高齢者医療事業においては、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか生活習慣病の早期発見・早期治療につなげるための健康診査事業を実施するとともに、後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

国民年金事業においては、法定受託事務として各種届出の受理・進達等を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

保険担当

1 国民健康保険被保険者等の状況

(1) 世帯数及び被保険者数

区分	前年度末現在	本年度中増減	本年度末現在	年間平均	年度末加入率
世帯数	23,489 世帯	31 世帯	23,520 世帯	23,624 世帯	42.8 %
被保険者数	43,240 人	△536 人	42,704 人	43,234 人	29.1 %

※年間平均 国保資格者数は毎月変動するため、毎月末数を合算し12で除したものの。

※年間平均世帯数内訳 一般被保険者：22,447世帯 退職被保険者：1,757世帯
(一般・退職の複合世帯：580世帯)

※年間平均被保険者数内訳 一般被保険者：40,690人 退職被保険者：2,544人

※年度末加入率 栃木市の人口と世帯数に対して国保加入者の割合。

(2) 退職被保険者等の適用状況

退職被保険者数	扶養者数	計 (A)	被保険者数(B)	退職被保険者等の割合(A)/(B)
1,584 人	597 人	2,181 人	42,704 人	5.1 %

2 国民健康保険運営協議会

(1) 国保運営協議会協議事項

年月日	協議事項	協議事項の処理
7月24日 (水)	1 平成25年度事業計画(案)について	原案どおり承認
	2 市長の専決処分について(栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案どおり承認
	3 保険事業に係る今年度の取り組み状況について(保健事業に係る今年度の実施に関する計画)	原案どおり承認
	4 ジェネリック医薬品の希望カードの配布について	原案どおり承認
2月17日 (月)	1 平成26年度栃木市国民健康保険特別会計予算(案)について	原案どおり承認
	2 栃木市国民健康保険財政健全化計画の進捗状況について	原案どおり承認

(2) 国保運営協議会委員定数 18人 (単位:人)

区分	被保険者代表	保険医・薬剤師代表	公益代表
人数	6	6	6

3 保険給付状況

(1) 療養給付費

区分	件数(件)	費用額(円)	保険者負担分(円)	一部負担金(円)	他法負担分(円)	
					他法優先	国保優先
一般分	602,557	12,296,616,725	8,943,390,294	2,943,249,186	-	409,977,245
退職者分	42,416	870,483,283	608,654,328	250,803,232	-	11,025,723
計	644,973	13,167,100,008	9,552,044,622	3,194,052,418	-	421,002,968

(注1) 平成25年3月～平成26年2月診療の12か月分の療養給付費である。

(注2) 入院時食事療養費、生活療養費標準負担額差額代は含まれていない。

(2) 療養費

区分	件数(件)	費用額(円)	保険者負担分(円)	一部負担金 (円)	他法負担分(円)	
					他法優先	国保優先
一般分	13,451	138,440,351	101,161,690	33,175,483	-	4,103,178
退職者分	877	8,522,776	5,965,760	2,557,016	-	-
計	14,328	146,963,127	107,127,450	35,732,499	-	4,103,178

(3) 高額療養費

区分	件数(件)	支給額(円)
一般分	16,857	1,109,113,966
退職者分	902	90,202,897
計	17,759	1,199,316,863

(4) 高額介護合算療養費

区分	件数(件)	支給額(円)
一般分	12	341,122
退職者分	1	90,505
計	13	431,627

(5) その他の給付

区 分	件数(件)	支給額(円)	備 考
出産育児一時金	147	61,967,900	産科医療保障制度対象出産の場合1件当たり42万円、対象外出産の場合1件当たり39万円
葬 祭 費	269	13,450,000	1件当たり5万円
計	416	75,417,900	

4 医療費総費用額（療養給付費・療養費）の状況

区分	総件数(件)	総費用額(円)	1件当たり 費用額(円)	1人当たり 費用額(円)	1世帯当たり 費用額(円)
一般	616,008	12,435,057,076	20,187	305,605	553,974
退職	43,293	879,006,056	20,304	345,521	500,288
計	659,301	13,314,063,132	20,194	307,954	563,582

※1件当たり費用額 総費用額を総件数で除したものの。

※1人当たり費用額 総費用額を1(1)に記載の年間平均被保険者数で除したものの。

※1世帯当たり費用額 総費用額を1(1)に記載の年間平均世帯数で除したものの。

5 月別の療養給付費保険者負担分（単位：円）

年度 月	平成24年度	平成25年度
3	795,692,567	809,829,863
4	752,806,177	776,596,869

5	790,430,713	786,637,785
6	791,066,192	796,484,463
7	803,978,551	830,313,674
8	756,514,742	797,408,937
9	740,173,052	813,111,320
10	840,489,730	832,719,586
11	788,975,036	796,231,968
12	800,420,794	764,475,738
1	776,300,570	791,088,433
2	755,813,881	757,145,986
計	9,392,662,005	9,552,044,622

(注)一般被保険者分と退職被保険者分の合算分

6 老人保健拠出金の状況 (単位：円)

医療費拠出金	事務費拠出金	計
-	91,282	91,282

7 介護給付費納付金の状況

第2号被保険者数(人)	介護給付費納付金(円)
15,741	978,830,843

(注)第2号被保険者数は、40歳以上65歳未満の国保被保険者数

8 高額医療費共同事業医療費拠出金と交付金の状況 (単位：円)

拠出金(A)	交付金(B)	差引交付金の増減額(B)-(A)
344,088,840	394,054,327	49,965,487

9 保険財政共同安定化事業拠出金と交付金の状況 (単位：円)

拠出金(A)	交付金(B)	差引交付金の増減額(B)-(A)
1,433,994,237	1,479,382,824	45,388,587

(注)1件30万以上の医療費が対象。

10 人間ドック検診状況

実施人数(人)	備考
一般 602	1人当たり費用額の1/2に相当する額を助成する。
脳 131	
宿泊 60	

11 医療費通知実施状況

回数	対象月	件数（件）		発送月
		全 体	本庁分	
1	平成 24 年 12 月・平成 25 年 1 月診療分	19,035	10,567	6 月
2	平成 25 年 2・3 月診療分	19,077	10,636	8 月
3	平成 25 年 4・5 月診療分	18,989	10,520	10 月
4	平成 25 年 6・7 月診療分	18,996	10,575	12 月
5	平成 25 年 8・9 月診療分	18,729	10,391	2 月
6	平成 25 年 10・11 月診療分	18,916	10,493	3 月
計		113,742	63,182	

12 国民年金適用関係

(1) 国民年金被保険者数

区 分	人 数（人）
第 1 号 被 保 険 者	20,372
第 3 号 被 保 険 者	10,094
計	30,466

(2) 国民年金関係諸届の受理件数 (単位：件)

種 別	全 体	本庁分	種 別	全 体	本庁分
新規取得届	993	593	転居届	811	577
新規取得申出	-	-	氏名変更届	290	220
再取得届	1,946	1,104	訂正・取消・不在	31	3
再取得申出	22	13	転出届	1,039	662
付加年金取得届	72	37	法定免除該当届	140	89
付加年金喪失届	4	1	法定免除消滅届	26	15
資格喪失届	916	500	手帳再交付届	91	49
資格喪失申出	13	11	種別変更届	532	290
死亡届	90	74	そ の 他	90	31
転入届	892	609	計	7,998	4,878

13 国民年金保険料免除関係

(1) 免除者数

種 別	被保険者数（人）
法 定 免 除	1,322
申 請 免 除（全額免除）	2,458
〃（3/4免除）	313
〃（半額免除）	229

” (1 / 4 免除)	174
若年者納付猶予	518
学生納付特例	1,965
計	6,979

(2) 免除申請受付件数 (単位：件)

種 類	全 体	本庁分
免除・納付猶予申請	4,034	2,352
学生納付特例申請	1,085	818

14 国民年金請求受理件数 (単位：件)

給付種類	全 体	本庁分
老齢基礎年金	58	25
障害基礎年金	74	40
遺族基礎年金	4	3
寡婦年金	1	1
死亡一時金	30	15
未支給年金	232	30
老齢福祉年金	1	-
計	400	114

15 福祉年金関係受理件数 (単位：件)

種 類	老 齢	障 害	計
定時届	1	1,170	1,171
諸届	-	-	-
計	1	1,170	1,171

16 年金相談窓口関係

月平均相談件数 (単位：件)

相談の内訳	全体	本庁
来訪相談	505	364
電話相談	151	123
文書相談	4	4
計	660	491

医療給付担当

1 重度心身障がい者医療費助成

重度心身障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、身体障害者手帳の交付を受

けた1級又は2級の人、3級又は4級でIQ（知能指数）50以下の人並びに療育手帳の交付を受けたA1又はA2又はIQ35以下の人の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況 【別表1】 重度心身障がい者医療費助成支給状況参照

・障がい別登録人員 (単位：人)

障がいの程度	登録人員	
	24年度末現在(25.3.31)	25年度末現在(26.3.31)
身体の障がい1級の者	1,590 (879)	1,585 (861)
身体の障がい2級の者	878 (508)	863 (498)
IQが35以下の知的障がい者	317 (17)	302 (17)
身体の障がい3～4級でIQが50以下の重複障がい者	13 (-)	13 (-)
合計	2,798 (1,404)	2,763 (1,376)

※ () 内の数は、後期高齢医療該当者である。

2 こども医療費助成

子どもの疾病の早期発見と治療を促し、子どもの健やかな成長と発育を図るため、出生した日から中学校3年修了時までの子どもの医療費（保険診療自己負担分）をその保護者に助成した。

・支給状況 【別表2】 こども医療費助成支給状況参照

3 妊産婦医療費助成

妊産婦の疾病の早期発見と治療を促進して母子保健の向上を図るため、妊娠の届出(母子健康手帳の交付)月の初日から出産した月の翌月の末日までの妊産婦の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況 【別表3】 妊産婦医療費助成支給状況参照

4 ひとり親家庭医療費助成

ひとり親家庭の親と子の心身の健康の保持及び福祉の増進を図るため、18歳未満の児童のいるひとり親家庭の親と子等（父母のない18歳未満の児童を現に扶養している配偶者のない人及び児童を含む。）で児童扶養手当法の所得制限額未満の人の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況 【別表4】 ひとり親家庭医療費助成支給状況参照

5 各種医療費助成対象者数（受給資格者証交付数） (単位：人)

種別	24年度末現在(25.3.31)	新規(交付)	資格喪失	25年度末現在(26.3.31)
重度心身障がい者医療費助成	2,798	200	235	2,763
こども医療費助成	18,363	1,818	1,350	18,831
妊産婦医療費助成	1,665	1,008	1,048	1,625
ひとり親家庭医療費助成	2,917	260	1,294	1,883
計	25,743	3,286	3,927	25,102

6 不妊治療費補助金

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額（10万円を限度に通算5回）を補助した。

補助件数（件）	102
治療費総額（円）	32,535,435
補助金総額（円）	6,819,200

7 不育症治療費補助金

不育症治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から他の制度による給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額（1年度30万円を限度）を補助した。

補助件数（件）	1
治療費総額（円）	79,090
補助金総額（円）	39,500

8 後期高齢者医療制度

平成20年4月1日から老人保健制度に替わり、栃木県後期高齢者医療広域連合を運営主体とする後期高齢者医療制度が開始されており、市の窓口では資格及び給付関係の申請受付等を行った。

(1) 被保険者数 平成26年2月28日現在（単位：人）

被保険者数			障害認定者数（再掲）		
男	女	合計	男	女	合計
7,400	11,828	19,228	289	202	491

※障害認定者 一定の障害のある65歳以上75歳未満の方

(2) 各種申請書等受付件数（単位：件）

申請書種類	件数
資格関係届出	2,655
高額療養費申請	1,276
その他の療養費申請	1,686
葬祭費申請	1,215
被保険者証等再交付申請	1,079
合計	7,911

(3) 健康診査受診状況

受診者数（人）	4,498
健診委託料（円）	32,033,300

【別表1】重度心身障がい者医療費助成支給状況

保険の種別	区分	登録人員 (人)	助成件数 (件)	医療費総額(円)	一部負担金額(円)	控除額(円)			支給額(円)
						高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	
国民健康保険		865	16,900	1,400,747,753	109,605,408	15,375,913	-	-	94,229,495
	社会保険	527	8,999	678,188,990	58,931,764	5,902,801	4,165,598	-	48,863,365
後期高齢者医療		1,371	25,632	1,920,105,367	93,632,338	12,135,790	-	-	81,496,548
	合計	2,763	51,531	3,999,042,110	262,169,510	33,414,504	4,165,598	-	224,589,408

【別表2】こども医療費助成支給状況

保険の種別	区分	登録人員 (人)	助成件数 (件)	医療費総額(円)	一部負担金額 (円)	控除額(円)			支給額(円)
						高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	
3歳未満	国民健康保険		12,205	110,544,790	19,998,464	72,828	-	-	19,925,636
	社会保険	2,986	52,322	487,883,740	89,275,705	60,365	46,500	-	89,168,840
	計		64,527	598,428,530	109,274,169	133,193	46,500	-	109,094,476
3歳以上	国民健康保険		37,809	283,890,460	65,730,473	865,986	-	-	64,864,487
	社会保険	15,845	182,618	1,238,769,520	308,656,532	1,191,582	1,537,695	-	305,927,255
	計		220,427	1,522,659,980	374,387,005	2,057,568	1,537,695	-	370,791,742
合計		18,831	284,954	2,121,088,510	483,661,174	2,190,761	1,584,195	-	479,886,218

【別表3】妊産婦医療費助成支給状況

保険の種類	区分	登録人員 (人)	助成件数 (件)	医療費総額 (円)	一部負担金額 (円)	控除額(円)			支給額(円)	
						高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額		
国民健康保険		282	1,129	34,246,060	7,426,283	1,006,734	-	-	1,006,734	6,419,549
社会保険		1,343	6,208	147,073,540	34,595,561	3,549,826	1,779,711	-	5,329,537	29,266,024
合計		1,625	7,337	181,319,600	42,021,844	4,556,560	1,779,711	-	6,336,271	35,685,573

【別表4】ひとり親家庭医療費助成支給状況

保険の種類	区分	登録人員	助成件数 (件)	医療費総額 (円)	一部負担金額 (円)	控除額(円)			支給額(円)	
						高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額		
国民健康保険		570世帯 892人	7,815	77,656,370	20,241,933	1,248,840	-	-	1,248,840	18,993,093
社会保険		595世帯 991人	8,880	73,134,960	20,800,498	626,759	75,000	-	701,759	20,098,739
合計		1,165世帯 1,883人	16,695	150,791,330	41,042,431	1,875,599	75,000	-	1,950,599	39,091,832

第4節 環境課

〔総括概要〕

今日の環境問題は、ごみの不法投棄・野外焼却、河川や土壌の汚染、騒音、悪臭の問題など、市民の日常生活に直接関わるものから、地球温暖化、自然破壊による生物多様性の減少など、人類への影響のみならず、地球上の生命の生存そのものを脅かすものまで、複雑・多岐で深刻な課題を抱えており、その解決のためには、地域はもとより、全世界を挙げた取組を進めることが求められている。

これらの課題等に対応し、環境行政の円滑で積極的な推進を図るため、環境課においては、2担当3チームの体制により事務を推進している。

具体的な取組として、環境政策担当では、平成23年度に施行した環境基本条例に基づき市民、事業者、市が、それぞれの責務を自覚し、行動し、相互に協力し、一体となって「環境都市とちぎ」を目指して取組を進めていくため「環境基本計画」を策定した。

また、「環境基本計画」を普及させるため、重点的に取り組む課題として掲げた「渡良瀬遊水地をはじめとした水辺と、森林・里地里山の保全・活用」を題材として総合政策課ワイズユース担当と共同し講演会を実施した。

また、資源循環型の社会づくりを目指し、家庭から出る生ごみの自家処理を進めるための補助事業を推進したほか、レジ袋の削減を推進するため、大型食品スーパーを所有する事業者6社と協定を締結し主に地球温暖化問題やごみ減量・リサイクル等についての啓発や、出前講座をはじめとする環境学習の推進に努めた。

環境保全担当では、栃木市斎場の運営について、平成23年12月22日公募型プロポーザル方式により指定管理者を選定し、平成24年度から平成28年度までの5年間の指定管理者制度を導入した。

また、公害対策については、県からの権限移譲に対応しつつ、県と連携して公害発生原因者への指導等を行うとともに、土砂等の埋立てによる土壌汚染と災害の発生防止を図ったほか、聖地公園及び市有墓地の円滑な管理・運営に努めた。

また、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、栃木市全域に地域クリーン推進員を配置し、生活環境や公衆衛生の向上のため市民意識の啓発推進に努めたほか、自治会等による清掃活動への協力、不法投棄監視員による域内のパトロールおよび不法投棄ごみの回収等を行った。

環境政策担当

1 栃木市役所エコオフィス推進実行計画

地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画として策定した栃木市役所エコオフィス推進実行計画の庁内周知のため、エコ推進員を選任し、研修会を実施した。

- ・計画期間 平成23年度～平成27年度
- ・計画目標 平成22年度と比較し、温室効果ガス排出量や燃料使用量等を5%以上削減する。
- ・研修実施状況

実施日	場 所	参加人数
12月26日(木) 1月16日(木)	西方総合文化体育館	107人

2 環境基本計画普及事業

環境基本計画の重点課題として「渡良瀬遊水地をはじめとした水辺と、森林・里地里山の保全・活用」を掲げており、また、平成24年度にはラムサール条約登録湿地となったことから、環境の啓発と渡良瀬遊水地の周知のため講演会及びパネルディスカッションを実施した。

- ・日 時 1月13日(月・祝) 午前10時～
- ・場 所 栃木文化会館
- ・講 師 東京大学名誉教授 養老 孟司氏
- ・パネリスト 東京大学名誉教授 養老 孟司氏
宇都宮大学教授 赤塚 朋子氏
利根川上流河川事務所長 須見 徹太郎氏
- ・コーディネーター 栃木市長 鈴木俊美
- ・内 容 講演「自然を手入れする大切さ」
パネルディスカッション「人と自然の上手な関係」
- ・参加人数 409人

3 環境基礎調査事業

(1) 河川等水質調査

市内を流れる河川等について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査河川 瀬戸ヶ原用水、清水川、永野川、巴波川、荒川、杳冷川、県庁堀川、赤津川、猿渕川、江川、蓮花川、旧渡良瀬川、市内用水
- ・調査期間 通年
- ・調査項目 pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数、全窒素、全リン、全クロム、COD

(2) 巴波川流入支川水質調査

巴波川に流入する支川について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 15地点

巴波川上流、旧巴波川、荒川、旧赤津川、嘉右衛門橋上側溝
常盤橋上側溝、県庁掘北、県庁掘南、清水川、清水川分流
開明橋下側溝、新橋上側溝、杳冷川（新橋上流）
県営城内町住宅南東、愛宕橋南右岸

- ・調査月日 10月25日（金）～11月22日（金）
- ・調査回数 1日4回（午前9時、午後1時、午後4時、午後7時）
- ・調査項目 BOD、SS、pH、流量

(3) 地下水水質調査

市内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 市内30か所
- ・調査月日 3月12日（水）
- ・調査項目 全26項目

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀
PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、
1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、
1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン
トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン
1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ
ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

4 環境学習・啓発活動事業

(1) とちぎ市民環境まつりの開催

市における環境の現状と、環境に関する市民の先進的な取組を知らせることで、環境問題に対し、市民、事業者及び市が一体となって取り組み、市民一人ひとりの意識の高揚を図るため、とちぎ市民環境まつりを開催した。

- ・実施日 11月9日（土）午前10時～午後2時30分
- ・会場 市民会館
- ・主催 栃木市、栃木市女性団体連絡協議会
- ・開催内容 市民、企業、学生、行政機関による各種展示
- ・来場者 約1,000人

(2) 親と子の水辺教室の開催

市内の自然環境、特に河川の水質を守ることについての意識、関心を高めるとともに、親と子が協力し、ふれあいながら学べる体験学習の場を提供するため、親と子の水辺教室を開催した。

- ・実施日 8月3日（土）、4日（日） 午前9時～
- ・会場 永野川緑地公園パークセンター
- ・対象 市内小学校4年生から6年生までの児童及びその保護者
- ・講師 環境省登録環境カウンセラー
- ・参加者数 42人（8月3日の部 23人、8月4日の部 19人）

(3) 環境講座

市民団体、グループ、小中学校などの要請により、環境課職員が講師としてその会場に出向き、地球温暖化防止、ごみ減量・リサイクル、水質、廃油石けん作りなどの講義や説明等を行った。

- ・実施回数 13回
- ・参加者数 341人

5 ごみ減量化対策事業

(1) コンポスト容器の普及

生ごみの減量化を目的として、コンポスト容器の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

- ・申込基数 24基
- ・補助額 87,200円

(2) 機械式生ごみ処理機の普及

生ごみの減量化を目的として、機械式生ごみ処理機の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

- ・申込件数 16件
- ・補助額 320,000円

(3) 堆肥化促進剤の普及

生ごみの減量化を目的として、堆肥化促進剤の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

- ・申込件数 1件
- ・補助額 2,800円

(4) バイオ式生ごみ処理機

ごみの減量化事業の一つとして、生ごみを堆肥化するバイオ式生ごみ処理機を、栃木第三小学校、栃木第四小学校、栃木第五小学校、千塚小学校に導入している。

処理後にできた堆肥については、学校の花壇等で肥料として活用している。

また、余剰分については環境課で引き取り、市民への無料配布、協働まつり及びとちぎ市民環境まつりにおいて来場者への無料配布を行った。

- ・生ごみ処理量 11,510kg

(5) 資源物回収団体活動報償金

資源物回収を行う団体に対し、500キロ以上につきキロ3円（上限10万円）の報償金を交付し資源物回収活動の推進を行った。

- ・75団体 1,352,481キログラム

6 レジ袋削減の取組

地球温暖化防止対策の一環として、レジ袋削減の推進を図るため、商工団体、消費者団体、事業者及び行政で構成する栃木市レジ袋削減推進協議会を組織し、協議会会議を開催した。

また、栃木市のレジ袋削減推進協定にむけて各事業者と協働で取り組むため事業者と

の会議を行い協定の締結へと事業を進めた。

協議会ではレジ袋削減の取り組みとして3Rポスターの募集とマイバッグキャンペーンを実施した。

栃木市レジ袋削減推進協議会事業者会議（4月、7月）

栃木市レジ袋削減推進協議会（10月）

- ・実施日 10月16日（水）
- ・場 所 大平総合支所 別館3階 大会議室

栃木市レジ袋削減推進協定締結式

- ・実施日 1月30日（木）
- ・場 所 市役所 第5会議室
- ・締結事業者 イオンリテール(株)、(株)オータニ、とちぎコープ生活協同組合、
プラッツおおひら、(株)ベイシア、(株)ヤオハン

マイバッグキャンペーン

- ・10月15日～27日（1000個）
イオン栃木店、オータニ西方店、コープ栃木店、とりせん（大平店、藤岡店）、フジマート都賀店、ベイシア大平モール店、ヨークベニマル祝町店、ヤオハン（アイム店、大平店）
- ・各店舗マイバッグ配布100個
- ・無料配布中止店舗に対するマイバッグキャンペーン協力（600個）
イオン栃木店（平成25年11月1日から無料配布中止）
コープ栃木店（平成26年2月24日から無料配布中止）
ベイシア大平モール店（平成26年3月1日から無料配布中止）

7 狂犬病予防業務（栃木地域）

(1) 犬の登録（単位：頭）

新規登録数	登録抹消数	登録総数
302	206	5,000

(2) 狂犬病予防注射

ア 第1次集合注射

- ・実施期間 4月9日（火）～20日（土）
- ・実施会場 地域内29会場
- ・実施数 1,185頭

イ 第2次集合注射

- ・実施期間 10月13日（日）、14日（月）
- ・実施会場 地域内9会場
- ・実施数 293頭

ウ 個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 1,674頭

環境保全担当

1 斎場・霊きゅう車使用状況 (単位：件)

区 分	斎 場				霊きゅう車
	大 人	小 人	死産児	計	
市 内	1,332	5	17	1,354	1,173
市 外	120	0	0	120	25
計	1,452	5	17	1,474	1,198

2 改葬許可件数

・88件

3 動力噴霧機・草刈機貸出状況

自治会に対し、衛生害虫駆除のための動力噴霧機の貸出しを行った。また、市民及び自治会に対し病害虫発生の源となる雑草を刈るための草刈機の貸出しを行った。

・動力噴霧機 貸出回数 延べ 20台
 ・草 刈 機 貸出回数 延べ 162台
 刈払面積 延べ 59,965㎡

4 聖地公園墓所使用許可状況 (単位：区画)

種別及び面積	造 成 数	許 可 数
第1種（芝生墓所）5㎡	177	177
第2種（芝生墓所）6㎡	168	168
第3種（芝生墓所）5㎡	344	344
第4種（一般墓所）5㎡	152	152
第5種（芝生墓所）5㎡	555	554
第6種（芝生墓所）5㎡	198	198
第7種（芝生墓所）5㎡	600	592
第8種（一般墓所）5㎡	88	80
計	2,282	2,265

5 公害関係

(1) 大気関係

ア 光化学スモッグ注意報発令状況 (単位：回)

発令月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
発令回数	—	—	—	1	2	—	3

イ 大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

(単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	4	5	—	3
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	—	—	—

(2) 水質関係

ア 地下水汚染地区の定期モニタリング調査

過去の地下水汚染状況の推移を監視するため、城内町2丁目周辺のテトラクロロエチレン汚染地区の1か所と木野地町、川原田町周辺のトリクロロエチレン汚染地区で2か所の井戸を選定し、地下水の水質調査を継続的に実施した。

- ・調査回数 年4回
- ・調査実施月 8、10、12、2月

イ 水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	6	20	30	1
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	—	1	—

(3) 騒音関係

ア 自動車騒音常時監視業務

栃木県より平成24年4月から権限移譲を受けたもので地域の騒音暴露状況を経年的に統計立て監視業務を実施して環境省（環境大臣宛）に報告を行うもの。

栃木市は県からのデータを基に110か所の道路区間を5年間に分けて自動車騒音常時監視業務を実施する。本年は19か所の業務を実施した。

イ 騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	1	3	1	—	12
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	7	1	—	1

(4) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	1	1	1	—	9
栃木県環境保全条例に基づく届出	—	7	1	—	1

(5) その他

ア 公害苦情受付件

(単位：件)

大 気	水 質	騒 音	振 動	悪 臭	土 壤	その他	合 計
48	15	8	—	8	—	1	80

イ 栃木市ゴルフ場環境保全対策連絡協議会

総会において各会員へ決算報告及び事業計画を説明。例会においては次年度の総会にかける議案の説明と環境保全に関する研修会を行った。

区 分	開催日	開催場所
総 会	7月30日（火）	アゼリアヒルズカントリークラブ
例会・研修会	3月18日（火）	栃木カントリークラブ

ウ 鍋山地区環境整備懇談会

鍋山地区の粉じん公害問題解決のため、8月29日（木）に地元自治会代表と石灰企業各社立会いのもと現地調査を実施し、石灰企業各社に対して改善を要望した。

また、10月30日（水）に懇談会を開催し、地元要望事項について石灰企業各社と協議した。

エ 土壌汚染等の防止

土砂等の埋立て等による土砂汚染や無秩序な埋立て等に伴う災害の発生を未然に防止し、市民生活の安全と生活環境の保全を図った。

- ・土砂等の埋立て等事業許可件数 7件

6 地域クリーン推進員事業

地域クリーン推進員連合会の協力を得て、衛生害虫の駆除や、美化キャンペーン等を実施した。

- ・委嘱状況 地域クリーン推進員 394人

(栃木：173人、大平：46人、藤岡：104人、都賀：32人、西方：39人)

7 一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみは月2回、資源物のうち、紙類は月1回、空カン・空ビン、ペットボトル・食品用トレイは月2回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

また、休日・祝日等の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1) ごみ収集搬入量

(単位：t)

もやすごみ	もやさないごみ	資 源 物			粗大ごみ	合 計
		紙 類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
23,630.84	1,728.87	2,067.54	962.06	332.75	411.72	29,133.78

(2) もやすごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	合 計
478.07	15,176.45	7,976.32	23,630.84

(3) もやさないごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	合 計
30.55	1,378.29	320.03	1,728.87

(4) 資源物の収集搬入状況 (単位：t)

種 類	直 営	委 託	直接搬入	合 計
紙 類	14.15	2,053.39	-	2,067.54
空カン・空ビン	0.07	952.42	9.57	962.06
ペットボトル・トレイ	-	329.33	3.42	332.75
合 計	14.22	3,335.14	12.99	3,362.35

(5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	減 免	合 計
13.75	30.95	359.50	7.52	411.72

(6) 休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合 計
1	50	31	82

(7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量 (単位：k1)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合 計
3,361.32	11,784.14	15,145.46

8 環境美化対策事業

(1) 環境美化キャンペーンの実施

市民や事業者の方々と相互に協力し、一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

- ・実施日 4月13日(土) 午前9時～
- ・場 所 渡良瀬遊水地周辺
- ・内 容 ごみ拾い
- ・参加人数 約100人

(2) 市役所周辺清掃活動

市役所周辺の環境美化及び職員の美化活動の拡大を図るため、毎月初めに市職員のボランティアによる清掃活動を行った。

9 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、廃棄

物・土砂等埋立監視員を設置し、市内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

(1) 地区別不法投棄物回収件数

(単位：件)

区分 地区	生活系 廃棄物	家電 4品目	電化 製品	粗大 ごみ	産業 廃棄物	その他	計
栃木	54	13	4	41	-	13	125
大宮	34	5	5	29	3	5	81
皆川	25	10	8	6	1	4	54
吹上	24	6	4	13	-	12	59
寺尾	10	12	1	3	2	5	33
国府	44	18	11	16	3	13	105
計	191	64	33	108	9	52	457

※生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計

(2) 不法投棄調査件数

・ 17件（うち不法投棄者等指導 3件）

第5節 斎場整備室

〔総括概要〕

栃木市斎場は、昭和29年に日ノ出町から平井町に移転した後、昭和54年に施設を改築し、現在に至っている。

火葬設備は、市民生活に不可欠な都市施設であり、その機能は絶えることなく維持する必要がある。しかし、市町合併や人口構造の変化等により、今後火葬件数が増加し、現在の施設規模では対応できなくなることが予想されるほか、現施設は建築後約35年が経過し、老朽化が進んでいることから、斎場の再整備を行うこととした。

斎場再整備の円滑かつ積極的な推進を図るため、平成24年7月に斎場整備室を設置し、1担当1チームの体制により事務を推進している。

事業を進めるに当たっては、斎場再整備に係る基本構想・基本計画を策定した後、建設地を決定し、基本・実施設計や工事の実施等へ進むこととした。

今年度は、栃木市斎場再整備検討委員会等で協議を行い、より具体的な施設構成を定める基本計画（案）を作成した。また、今後実施予定の候補地選定作業のため、業務委託契約を締結し、候補地評価の基礎資料を作成した。

斎場整備担当

1 栃木市斎場再整備事業に伴う候補地選定等技術支援業務委託

斎場再整備を円滑に進めるため、業務委託を行い、候補地選定作業時に必要となる基礎資料を作成した。

- ・委託業務名 栃木市斎場再整備事業に伴う候補地選定等技術支援業務
- ・契約日 9月11日
- ・相手方 (株)日本環境工学設計事務所
- ・委託金額 1,890,000円

2 栃木市斎場再整備検討委員会

斎場再整備事業を進める上で、広く市民の意見を求めるため、栃木市斎場再整備検討委員会において、基本計画（案）の内容について検討を行った。

(1) 構成（計17人）

学識経験者1人、各地域協議会4人、栃木地域まちづくり検討委員会1人、公共的団体代表者5人（自治会連合会、民生委員児童委員協議会連合会、女性団体連絡会、老人クラブ連合会、PTA連合会）、公募3人、市職員1人（生活環境部長）、市民活動団体1人、葬祭事業者1人

(2) 会議等開催状況

区 分	開催日	主な協議内容
第 6 回 先進地視察	5月20日(月)	議題：諸室面積に関する検討 視察先：悠久の丘（宇都宮市）、日光聖苑（日光市）
第 7 回	6月19日(水)	諸室面積・火葬炉設置等に係る検討
第 8 回	7月17日(水)	式場・ペット炉等に係る検討
第 9 回	8月19日(月)	自主公害防止目標値・整備手法等に係る検討
第 10 回	9月17日(火)	霊柩車等に係る検討
第 11 回	11月22日(金)	基本計画（案）の最終確認
先進地視察	1月27日(月)	厚木市斎場（神奈川県厚木市）
第 12 回	3月17日(月)	パブリックコメント意見書の提出状況報告

3 庁内組織

(1) 栃木市斎場再整備検討部会

- ・構成 生活環境部長、関係課長21人（斎場整備室長含む）、
岩舟町職員2人（オブザーバー）
- ・開催状況

区 分	開催日	主な協議内容
第 7 回	6月 5日(水)	諸室面積・火葬炉設置等に係る検討
第 8 回	7月 9日(火)	式場・ペット炉等に係る検討
第 9 回	8月 5日(月)	自主公害防止目標値・整備手法等に係る検討
第 10 回	9月11日(水)	霊柩車等に係る検討
第 11 回	10月21日(月)	基本計画（案）の最終確認
第 12 回	3月 7日(金)	パブリックコメント意見書の提出状況報告

(2) 栃木市斎場再整備作業部会

- ・構成 斎場整備室長、関係課19課の担当者
- ・開催状況

区 分	開催日	主な協議内容
第 7 回	5月27日(月)	諸室面積・火葬炉設置等に係る検討
第 8 回	7月 2日(火)	式場・ペット炉等に係る検討
第 9 回	7月29日(月)	自主公害防止目標値・整備手法等に係る検討
第 10 回	8月29日(木)	霊柩車等に係る検討

4 栃木市斎場再整備基本計画（案）に係るパブリックコメントの実施

- ・実施期間 12月25日（水）から1月24日（金）までの1か月間

第6節 新エネルギー対策室

〔総括概要〕

限られた資源である化石燃料（石油・石炭・天然ガス等）を原料とする従来型エネルギーへの依存を低減し、環境にやさしくエネルギーの地産地消も見込める再生可能エネルギー（太陽光・水力・風力・バイオマス等）の普及拡大を推進していく必要がある。

新エネルギー対策室では、特に年間の日照時間に恵まれている地域特性を生かし、太陽光発電の導入等に積極的に取り組んだ。

具体的などころでは市民に対する住宅用太陽光発電システム設置費の一部補助を行ったほか、大型の太陽光発電設備を設置するため市有施設の屋根貸出しを実施した。

また、環境に負荷のない電気自動車の普及促進を図るため、充電設備の整備を行った。

新エネルギー対策担当

1 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

地球温暖化防止対策の一環として、住宅用太陽光発電システム設置費に対し一部補助を行った。

- ・補助基本額 発電容量1kw当たり 25,000円
- ・限度額 4kw 100,000円
- ・補助件数 569件
- ・補助総額 53,824,000円
- ・総発電容量 2,623kw

2 市有施設屋根貸出事業

民間活力を利用した太陽光発電の推進を図るため、国の固定価格買取制度（全量買取）を活用し、電気を供給しようとする事業者に対し公共施設の屋根貸出しを行った。

- ・事業者 栃木メガソーラー株式会社
- ・貸出施設

	施設名		施設名
1	吹上小学校	6	寺尾中学校
2	栃木東中学校	7	赤津小学校
3	栃木南中学校	8	家中小学校
4	皆川中学校	9	合戦場小学校
5	吹上中学校		

また、再生可能エネルギーの普及促進を図ることを目的に新たに基金を設置し、施設使用料収入相当分の積立てを行った。

- ・再生可能エネルギー普及促進基金 1,011,000円

3 新エネルギー普及事業

電気自動車の普及を促進するため、公共施設へ充電設備を設置した。

- ・急速充電器 道の駅にしかた 1基
設置事業費 8,746,500円

4 再生可能エネルギー導入支援事業

再生可能エネルギー（太陽光・バイオマス・小水力・風力等）による発電に関しては、複雑多岐にわたる関連法規の整理を関係課と連携して行い、事前協議等における手続きを新エネルギー対策室で一括して行い、事業者の利便性を図るとともに、再生可能エネルギーの導入拡大を推進した。

- ・太陽光発電所設置事前協議件数 26件
- ・計画発電容量 11,335kw

第7節 人権・男女共同参画課

〔総括概要〕

人権・男女共同参画課の主な分掌事務は、人権問題、人権啓発、人権擁護委員、人権関係機関及び人権関係団体に関すること、男女共同参画の推進・啓発、女性団体に関すること、大平隣保館、厚生センターの管理運営及び隣保館相談事業等に関することである。

主な事務事業の実施状況については、次のとおりである。

人権啓発活動については、特に人権擁護委員と連携を図り、市民の中に潜在的に存在するあらゆる差別や偏見を根絶し、一人ひとりがすべての人権問題の解決を自らの課題として受け止め、人権意識の高揚が図られるよう積極的に活動を推進し、各種啓発事業を実施した。

また、人権講演会や研修会、出前講座等の人権教育啓発推進事業を実施し、啓発活動の充実を図った。

なお、人権教育・啓発をさらに推進し、人権に関する課題の解消を目指すための計画として「栃木市人権施策推進プラン（平成26年度～平成30年度）」を策定した。

男女共同参画の推進については「とちぎ市男女共同参画プラン（平成25年度～平成29年度）」の周知に努め、「男女共生大学」の開設や女性団体等の育成支援などを行った。また、男女共同参画地域推進員と協働で「男女共同参画のつどい」の開催、「男女共同参画週間」の街頭啓発の実施、「ミニ市民のつどい」の開催など、男女平等意識の高揚を図った。

大平隣保館並びに厚生センターは、人権問題の活動拠点として、地域住民に対して生活上の各種相談事業や地域交流のための事業を実施した。また、大平隣保館での機関誌の発行、厚生センターでの啓発用ビデオの貸し出しなど、広く市民に対する人権意識の高揚に努めた。

人権推進担当

1 啓発事業

(1) 啓発活動の実施

ア 人権教育啓発推進事業委託実施状況

研修会等の名称	開催回数(回)	参加人数(人)	関係課等
特定職業従事者(消防職員)人権研修会	1	28	消防本部
人権連続講座(市職員対象)	4	207	全課
人権問題研修会並びに人権問題職場啓発推進員研修会	1	74	職員課
要保護児童対策地域協議会人権講演会	1	24	こども課

介護講演会	1	49	社会福祉協議会
民生委員研修会	1	32	西方 健康福祉課
女性団体研修会（大平地域）	1	28	
女性団体研修会（藤岡地域）	1	63	
地域女性会研修会（都賀地域）	1	26	都賀教育支所

イ 人権研修会各課開催状況

研修会等の名称	開催回数(回)	参加人数(人)	担当課
学校人権教育研修会	2	80	学校教育課
女性学級	4	198	生涯学習課
高齢者教室	3	128	生涯学習課

(2) 「栃木県人権教育・啓発推進県民運動強調月間」（8月）における市民啓発

ア 藤岡地域の事業所に対し、人権擁護委員と職場訪問をして企業啓発をし、啓発物品を配布した。

- ・実施日 7月26日（金）
- ・参加日 人権擁護委員6人、職員2人
- ・配布物 啓発用うちわ、LEDライト 250セット

イ 「とちぎ蔵の街サマーフェスタ2013」において、人権擁護委員と街頭啓発を実施し、啓発物品の配布を行った。

- ・実施日 8月3日（土）
- ・参加者 人権擁護委員9人、職員3人
- ・配布物 啓発用うちわ 450枚

(3) 「人権週間」における市民啓発

12月4日（水）～10日（火）の「人権週間」において各種啓発活動を実施した。

ア 街頭啓発の実施

「人権週間」中、人権尊重思想の普及と高揚を図るため、街頭啓発を実施し、啓発物品の配布を行った。

(ア) 1日目

- ・実施日 12月4日（水）
- ・啓発場所 ヤオハンアイム店、イオン栃木店、ヨークベニマル栃木祝町店
- ・参加者 人権擁護委員8人、運動団体4人（部落解放同盟栃木市協議会、部落解放愛する会栃木市協議会）、宇都宮地方法務局栃木支局職員1人、市職員5人
- ・配布物 啓発物品（リーフレット、LEDライト、軍手、ティッシュ）450セット

(イ) 2日目

- ・実施日 12月8日（日）
- ・啓発場所 とりせん藤岡店

- ・参加者 人権擁護委員6人、市職員1人、藤岡町地域自治区長
- ・配布物 啓発物品（リーフレット、軍手） 300セット

イ 懸垂幕、横看板の掲出

市役所本庁舎に懸垂幕、足利銀行栃木支店に横看板を掲出した。

- ・実施期間 12月3日（火）～11日（水）
- ・看板イメージ

12月4日～10日	「人権週間」
育てよう	やさしい心と思いやり
	栃木市

(4) 「地域のイベント」における市民啓発

各地域で開催されるイベントにおいて街頭啓発を実施し啓発物品の配布を行った。

ア 藤岡ふくしまつり

- ・実施日 10月26日（土）
- ・啓発場所 藤岡公民館ほか
- ・参加者 人権擁護委員5人、市職員1人
- ・配布物 啓発物品（クリップ、LEDライト、ティッシュ） 250セット

イ まるまるまるごとつがまつり

- ・実施日 11月17日（日）
- ・啓発場所 都賀産文通り線
- ・参加者 人権擁護委員3人、市職員1人
- ・配布物 啓発物品（クリップ、ハンドタオル、LEDライト、リーフレット）
150セット

ウ ど田舎にしかたまつり

- ・実施日 12月1日（日）
- ・啓発場所 道の駅にしかた
- ・参加者 人権擁護委員3人、市職員2人
- ・配布物 啓発物品（軍手、LEDライト、リーフレット） 150セット

エ りんぼかんまつり

- ・実施日 3月9日（日）
- ・啓発場所 大平隣保館
- ・参加者 人権擁護委員1人、市職員4人
- ・配布物 啓発物品（LEDライト、ハンドタオル、リーフレット、人権マスコット人形） 200セット

(5) 「人権出前講座」の実施

学校や団体等へ職員が出向き、人権をテーマとした講座を行った。

実施日	学校・団体等	対象	参加者（人）
5月17日（金）	栃木自動車教習所	企業	21
5月28日（火）	根古谷寿クラブ	地域	15
5月29日（水）	大平女性団体連絡協議会	地域	28

8月 9日（金）	西野田ハーモニー	地 域	30
8月22日（木）	吹上公民館	地 域	12
10月30日（水）	吹上小学校	5年生	68
11月21日（木）	大平西小学校	6年生	58
11月26日（火）	大平隣保館	地 域	15
11月27日（水）	大宮北小学校	4年生	136
12月 5日（木）	栃木第四小学校	6年生	40
12月19日（木）	栃木中央小学校	6年生	97
3月 7日（金）	富田7自治会	地 域	15

2 人権を考える市民の集い

- ・実施日 11月30日（土）
- ・場 所 栃木文化会館（大ホール及びホワイエ）
- ・備 考 教育委員会と共催
- ・参加者 約500人
- ・人権問題講演会 オープニング 童謡合唱（童謡歌おう会）
講演 自分らしく生きる
講師 ノンフィクション作家 吉永みち子氏
- ・人権作品展 栃木人権擁護委員協議会主催 人権書道展2013年応募作品
栃木県子どもの人権ポスター原画コンテスト2013年応募作品
人権啓発物品の配布（LEDライト、クリアファイル、
ティッシュ、ボールペン） 500セット

3 人権擁護委員関係

(1) 人権相談所

各地域において定期の人権相談を実施したほか、特設相談を2回実施した。

- ・定期相談

地 域	実 施 日	会 場
栃木	毎月第2・第4金曜日	市役所正庁
大平	毎月第2火曜日	大平地域福祉センター
藤岡	偶数月第2水曜日	各地区公民館
都賀	毎月第4火曜日	都賀老人憩いの家
西方	毎月18日	西方保健センター

- ・特設相談

名 称	実施日	会 場
人権擁護委員 の日	6月 3日(月)	厚生センター・大平隣保館・ 都賀老人憩いの家・西方保健センター
	6月 4日(火)	藤岡公民館
人権週間	12月 4日(水)	厚生センター・藤岡公民館
	12月 5日(木)	大平隣保館
	12月10日(火)	都賀老人憩いの家・西方保健センター

(2) 人権週間

街頭啓発、小中学校・保育園等における人権講演会への講師としての参加等を行い、人権尊重思想の普及高揚を図った。

(3) 「人権の花」運動

人権思想の普及高揚のための啓発活動は、幼少期のころから行うことがより効果的であることから、「人権の花」運動を実施した。児童がお互いに協力して花を栽培し、その花をみんなに観賞してもらうことなどにより、児童の情操をより豊かにし、人権思想への理解促進を図った。

・贈呈式

実施日	実施校	参加者(人)
5月28日(火)	赤麻小学校	188
6月 3日(月)	西方小学校	284
6月12日(水)	大平西小学校	384
6月12日(水)	寺尾中央小学校	85
6月12日(水)	赤津小学校	148
6月17日(月)	千塚小学校	185
6月19日(水)	吹上小学校	338

(4) 人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い法務局から推薦の依頼を受け、候補者を選出し、議会の議決を経て推薦をした。

・推 薦 4人(再任4人)

4 同和対策関係事業の実施状況

(1) 民間団体との話合い

同和対策事業及び同和教育について、円滑な推進を図るため、民間2団体役員と随時協議を行った。

(2) 部落解放同盟からの要請対応

人権施策推進本部幹事会

・開催日 2月12日(水)

・会 場 大平公民館

・出席者 幹事(生活環境部長・教育部長・全課長)

- ・内 容 部落解放・人権行政確立のための要請書に係るスケジュール等について
2013年・2014年部落解放・人権行政確立のための要請書主旨説明について

5 「栃木市人権教育・啓発推進行動計画」の策定

(1) 第1回栃木市人権施策推進審議会

- ・開催日 10月1日（火）
- ・会 場 栃木市市民会館 児童室
- ・出席者 生活環境部長、人権・男女共同参画課長、担当職員及び人権施策推進審議会委員
- ・内 容 副会長の選出、「栃木市人権教育・啓発推進行動計画」の策定について

(2) 第2回栃木市人権施策推進審議会

- ・開催日 11月27日（水）
- ・会 場 栃木市市民会館 児童室
- ・出席者 生活環境部長、人権・男女共同参画課長、担当職員及び人権施策推進審議会委員
- ・内 容 「栃木市人権教育・啓発推進行動計画」の策定について

6 研修会等参加状況

研 修 会 等 名	期 日	場 所	参加者(人)
部落解放同盟栃木市協議会第4回総会	4月14日（日）	大平隣保館	20
栃木人権擁護委員協議会第一部会定期総会及び第1回研修会	4月19日（金）	ニューアプロニー	4
栃木人権擁護委員協議会定時総会	5月14日（火）	厚生センター	2
部落解放同盟栃木県連合会第41回定期大会	5月19日（日）	ゆうゆうプラザ	16
部落解放愛する会栃木県連合会第38回定期大会	6月 1日（土）	小山市文化センター	11
第10回栃木県人権研究集会	6月 1日（土）	とちぎ健康の森	14
平成25年度下都賀地区人権フォーラム	6月27日（木）	都賀文化会館	4
部落解放第45回東日本研究集会	7月 4日（木） 5日（金）	群馬県みなかみ町	2
部落解放愛する会栃木県連合会県連役員と担当行政職員との合同視察研究会	7月10日（水） ～ 12日（金）	長野県・新潟県・福島県	1
栃木・真岡人権啓発活動地域ネットワーク協議会	7月24日（水）	宇都宮地方法務局栃木支局	1
映画と講演の集い	8月21日（水）	栃木県総合文化センター	1
部落解放第58回関東女性集会	8月24日（土） 25日（日）	新潟県新発田市	2
人権センターとちぎフィールドワーク	9月13日（金）	日光市	1
部落解放同盟栃木市協議会「2013人権セミナー」	9月27日（金）	大平文化会館	10

2013年度人権センターとちぎ連続講座①～④	10月～1月	人権センターとちぎ(小山市)	4
部落解放愛する会二市一町合同視察研修会	10月2日(水) ～ 4日(金)	北海道白老町	2
栃木人権擁護委員協議会第一部会視察研修	10月9日(水)	群馬県太田市・富岡市	2
中学生の一日人権擁護委員	10月12日(土)	国府公民館	4
部落解放同盟栃木市協議会 2013年会員研修	10月15日(火) 16日(水)	神奈川県横浜市	5
部落解放研究第47回全国集会	11月6日(水) ～ 8日(金)	香川県高松市	2
部落解放愛する会栃木県連合会会員研修会	11月18日(月) 19日(火)	日光市	8
第65回全国人権・同和教育研究大会	11月23日(土) 24日(日)	徳島県徳島市	1
第15回栃木県ヒューマンライツセミナー	11月28日(木)	パルティ(宇都宮市)	16
世界人権宣言65周年記念東京集会	12月10日(火)	東京都千代田区	1
部落解放愛する会栃木県連合会女性部 役員研修会	12月11日(水) 12日(木)	千葉県酒々井町	2
部落解放同盟栃木県連合会2014年荊冠旗びらき	1月10日(金)	サンプラザ	9
第28回人権啓発研究集会	2月6日(木) 7日(金)	三重県津市	2
栃木人権擁護委員協議会第一部会研修会	2月21日(金)	厚生センター	2

7 大平隣保館事業

(1) 相談事業

ア 外国人相談

通訳を招き、日本語講座と併せて開設。

- ・実施日時 毎月第3土曜日 午後8時～10時
- ・実施回数 12回
- ・相談件数 1件

イ 年金相談

専門相談員を招き開設。

- ・実施日時 毎月第2火曜日 午前10時～12時
- ・実施回数 12回
- ・相談件数 10件

ウ 弁護士相談

弁護士を招き、予約制にて開設。

- ・実施日時 奇数月第3木曜日 午前10時～12時
- ・実施回数 6回

・相談件数 30件

エ 生活困りごと相談

大平隣保館にフリーダイヤルを設けて、職員による生活相談を随時行った。

・相談件数 15件

オ 内容別相談件数

項目	件数(件)	項目	件数(件)
生活相談	26	福祉相談	3
健康相談	2	医療年金相談	10
教育児童相談	-	職業相談	-
住宅相談	5	人権相談	7
市税等相談	1	環境衛生相談	2
計			56

(2) 啓発事業

ア 人権講演会（栃木市集会所・大平隣保館合同）

・実施日 12月10日（火）

・場 所 大平文化会館

・内 容 「人権コンサート」

講師 福島音楽療法研究所「Largo」代表 近藤美智子氏

・参加者 250人

イ 情報誌の発行

隣保館事業の周知と人権問題を広く啓発普及するため、人権教育啓発情報誌「こだま」を年3回発行し、市内全域に班内回覧した。

・情報誌発行状況 7月・11月・3月号

・発行部数 各6,500部（A4版 12頁）

ウ 児童生徒による人権作文集の発行

小中学生の人権意識の目覚めと高揚を目的に、人権に関する作文・標語・ポスター原画を児童生徒から募り、作文集「こころのまど」を発行した。

・作文集発行状況 平成26年3月号

・発行部数 600部（A4版 95頁）

(3) 地域交流事業

ア 野外研修事業

大平隣保館の利用者間の交流と親睦を深めるため、市有バスを使用して野外研修を行った。

研修先及び内容	実施日	参加者(人)
群馬県富岡市 施設見学・博物館観覧	6月14日（金）	28
	6月19日（水）	20
	6月27日（木）	27
	7月18日（木）	21

イ 隣保館主催教室

教室名	開催回数(回)	延べ参加者(人)
シルバー生き生き塾	8	129
日本語講座	36	100
健康セミナー	10	209
大正琴教室	6	55

ウ 夏休み親子体験教室

- ・実施日 8月7日(水)
- ・参加者 24人
- ・内容 「レザークラフト」によるキーホルダーの作成を親子で体験
- ・講師 山川一二三氏

エ 夏休み子どもお楽しみ劇場

- ・実施日 8月9日(金)
- ・参加者 60人
- ・内容 「おもしろ理科実験」、映画「フレンズ もののけ島のナキ」鑑賞
- ・講師 社会教育指導員 高岩初枝氏

オ りんぼかん書初め席書大会

- ・実施日 1月6日(月)
- ・参加者 44人(うち子ども22人)
- ・内容 園児から小学生を対象にした書初め
- ・講師 石原幸子氏

カ りんぼかんまつり

隣保館事業の成果発表と地域交流を目的に、部落解放同盟栃木市協議会及び大平町新第3・第4自治会の協賛にて、りんぼかんまつりを開催した。

- ・実施日時 3月9日(日) 9:30~15:00
- ・場所 大平隣保館
- ・来場者 約1,200人
- ・内容 自主グループによる作品の展示、実演、即売、実技発表会
協賛団体による各種模擬店、もちつき大会
人権擁護委員による人権啓発物品の配布
地元消防団による消防ポンプ車試乗会

キ 自主グループ活動

施設を定期利用する団体(自主グループ)による活動を通じて、地域交流を図った。

活動団体	利用件数	利用人数
32団体	747件	6,586人

(4) 地域福祉事業

事業名及び内容	開催回数(回)	延べ参加者(人)	備考
ふれあい交流会 高齢者の地域交流・健康維持事業等	12	201	

子育て支援研修会 「子どものやる気を引き出そう」 ～「魔法の質問」ってなあに?～	1	34	こども課地域子育て支援センターとおひらと共催
--	---	----	------------------------

(5) 栃木県隣保館連絡協議会並びに全国隣保館連絡協議会主催研修会等への参加

ア 栃木県隣保館連絡協議会

各種会議や研修会に参加した。

区 分	実施日	会場等
定期総会	4月11日(木)	鹿沼市
理事会	6月17日(月)	佐野市
	10月9日(水)	県外視察時車中
	2月17日(月)	佐野市
研修会	7月26日(金)	栃木市
	8月29日(木)	栃木市
	11月12日(火)	上三川町
県外研修会	10月9日(水)、10日(木)	神奈川県秦野市ほか
県連懇談会	5月22日(水)	佐野市

イ 全国隣保館連絡協議会

各種会議や研修会等へ参加した。

区 分	実施日	開催地
第50回全国隣保館職員東日本ブロック研修会	10月31日(木)、11月1日(金)	愛知県名古屋市

8 厚生センター事業

(1) 相談事業

項 目	件 数(件)	項 目	件 数(件)
生活相談	82	福祉相談	107
健康相談	9	医療年金相談	40
教育児童相談	2	職業相談	14
住宅相談	5	人権相談	4
市税等相談	2	環境衛生相談	-
計		265	

(2) 啓発事業

ア 啓発用ビデオの貸出し

各種研修会・講演会等において、人権問題を広く啓発普及するため、啓発用ビデオの貸出しを行った。また、啓発用ビデオを1本新規購入した。

- ・貸出状況 162件(延べ視聴者5,115人)
- ・購入ビデオ 「誇り—差別といじめは越えられる—」

イ 図書及び啓発資料の貸出し

人権問題、同和問題の啓発等に関する図書及び資料の貸出しを行った。

(3) 地域交流事業

ア 夏休み交流事業

- ・実施日 7月25日（木）
- ・参加者 127人
- ・内 容 マイプラネタリウム作り、バルーンアート、昼食、啓発物品等配布、
みんなで楽しむ「お話し会」、人が入れるシャボン玉体験

イ 冬休み交流事業

- ・実施日 12月26日（木）
- ・参加者 82人
- ・内 容 手作りすごろく、ビンゴ、昼食、啓発物品等配布、
人権啓発ビデオ上映「やさしいオオカミ」、ストップウォッチゲーム

ウ 読み聞かせ学習・発表会

(ア) 読み聞かせ体験講座 3回連続

- ・実施日 2月4日（火）、12日（水）、18日（火）
- ・場 所 厚生センター
- ・参加者 15人
- ・内 容 「さとのはる、やまのはる」
- ・協 力 読み聞かせボランティア「九輪草の会」

(イ) 読み聞かせ会

- 「ほんとあそぼう」おはなしの会
- ・実施日 2月16日（日）
 - ・場 所 厚生センター
 - ・参加者 67人
 - ・内 容 朗読とバルーンアート・切り紙遊び
「ひまわりのおか」「デンデンムシ」「木の祭り」
「さとのはる、やまのはる」
 - ・協 力 読み聞かせボランティア「九輪草の会」

エ 厚生センター自主講座

(ア) 第1回 布ぞうり作り（2日間連続講座）

- ・実施日 5月23日（木）9時30分～11時30分
5月24日（金）9時30分～11時30分
- ・場 所 厚生センター 和室
- ・参加者 延べ43人

(イ) 初めてのそば打ち教室【平成25年度から実施】

- ・実施日 9月24日（火）10時30分～14時00分
- ・場 所 厚生センター 調理室・和室
- ・参加者 10人

(ウ) 第1回 ひょうたんランプ作り【平成25年度から実施】

- ・実施日 10月25日（金）9時30分～12時00分

・場 所 厚生センター 集会室

・参加者 14人

(エ) 第2回 ひょうたんランプ作り【平成25年度から実施】

・実施日 10月29日(火)9時30分～12時00分

・場 所 厚生センター 集会室

・参加者 13人(第1回に参加できなかった方々)

(オ) 第2回 布ぞうり作り

・実施日 11月13日(水)13時00分～16時30分

・場 所 厚生センター 和室

・参加者 17人

オ 厚生センター地域交流研修会【平成25年度から実施】

・実施日 7月30日(火)

・参加者 28人

・視察先 障害者就労訓練施設及び児童発達支援センター(越谷市)ほか

(4) ボランティア団体等の活動支援

ア 登録団体への無償貸館

登録団体	貸出件数	利用人数
9団体	81件	1,010人

イ 読み聞かせ学習グループ「九輪草の会」の活動支援

朝の読み聞かせ	栃木第四小学校
	大宮北小学校
保育園訪問読み聞かせ	はこのもり保育園
	ぬまわだ保育園
要請による出張朗読	吹上地区高齢者学級

男女共同参画担当

1 各種委員会等への女性・若者(35歳未満)委員構成状況調査の実施

男女共同参画社会の形成に関する施策の推進状況を把握するため、庁内における女性と若者の委員会等への参画状況の調査を実施し、結果を全庁に配布すると共に、女性委員の割合が30%以下の委員会等へヒアリングを行い、女性の参画拡大に向けた取組を推進した。

(1) 女性委員の登用について

・委員会等の組織数 49組織

・構成人数 707人

・うち女性数 177人

・女性登用率 25.0%(4月1日現在)

(2) 若者(35歳未満)委員の登用について

・委員会等の組織数 49組織

- ・うち若者ありの組織数 5組織
- ・若者登用率 10.2% (4月1日現在)
- (3) 女性委員の登用状況ヒアリングの実施について
 - ・実施した委員会等の組織数 29組織
 - ・実施期間 11月6日(水)、11日(月)、12日(火)

2 男女共同参画プランの管理

- (1) 男女共同参画審議会の開催
 - ・開催日 8月9日(金)
 - ・会場 栃木市市民会館
 - ・内容 「とちぎ市男女共同参画プラン」の進行管理について
 - ・出席者数 12人

3 男女共同参画推進本部検討部会部会員研修会の実施

男女共同参画に関する意識啓発と理解を深めるため研修会を実施した。

- (1) 第1回研修会
 - ・実施日 5月23日(木) (男女共生大学第1回講座と兼ねる)
 - ・会場 栃木市市民会館
 - ・内容 「とちぎ市男女共同参画プラン」の説明 市職員
講話「とちぎ市がもし100人の村だったら・・・」
 - ・講師 とちぎ男女共同参画センター事業推進課
係長 高山美幸氏
 - ・出席者数 48人 (出席率60.0%)
- (2) 第2回研修会
 - ・実施日 9月26日(木) (男女共生大学第8回講座と兼ねる)
 - ・会場 栃木市市民会館
 - ・内容 講演 「落語で納得!歌ってスッキリ!男女共同参画ってこんな感じ」
講師 男女共同参画落語創作・口演家 阪本真一氏(千金亭値千金)
 - ・出席者数 41人 (出席率51.3%)
- (3) 第3回研修会
 - ・実施日 11月19日(火) (DV防止講演会と兼ねる)
 - ・会場 栃木市市民会館
 - ・内容 講演 「男女間のより良い関係を築き、DVを未然に防止するために」
講師 宇都宮文星短期大学教授 山口誓子氏
 - ・出席者数 57人 (出席率71.3%)

4 男女共同参画啓発事業

- (1) 男女共同参画週間事業

男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する理解を深め、男女共同参画社

会の形成の促進を図るため、パネル展の開催並びに広報紙への記事の掲載等を行った。

- ・実施日 6月21日（金）～30日（日）
- ・会場 市役所ロビー、市民会館ロビー
- ・内容 男女共同参画週間パネル展示
リーフレット配布

(2) 男女共同参画地域推進員の活動

ア 「ミニ市民のつどい」の開催

実施日	会場	内容	参加人員(人)
10月20日(日)	藤岡図書館	人権・男女共同参画研修会 おおひら男女共同参画をすすめる会による紙芝居 「ももこの大作戦」 人権ビデオ「鬼の子とゆきうさぎ」	15
12月7日(土)	平川公民館	平川自治会ミニ市民のつどい ビデオ鑑賞「気づくことがはじめての一步」	38

イ 男女共同参画週間の街頭啓発

- ・啓発物資の配布

実施日	会場	参加人員(人)
6月16日(日)	とりせん藤岡店	5
6月20日(木)	カインズモール、ベイシア大平店	3
6月20日(木)	とりせん大平店	3
6月25日(火)	イオン栃木店	8
6月25日(火)	ヨークベニマル栃木祝町店	4
6月27日(木)	フジマート都賀店	7

ウ 視察研修の開催

県内他団体における取組を参考として今後の啓発活動に役立て、本市の更なる男女共同参画の推進を図るため、栃木県女性団体連絡協議会、栃木県、公益財団法人とちぎ男女共同参画財団主催の「とちぎ県民のつどい」に参加した。

- ・実施日 6月23日（日）
- ・会場 パルティとちぎ男女共同参画センター
- ・内容 地域推進グループ・団体等の発表
記念式典
講演 「女性も男性も息苦しくない社会へ
～男女共同参画社会の今とこれから」
講師 和光大学教授 竹信三恵子氏
- ・参加人員 20人

エ 研修会の開催

男女共同参画地域推進員の資質の向上を図るため、「男女共同参画地域推進員研修会」を開催した。

- ・実施日 11月15日（金）

- ・会 場 栃木市市民会館
- ・内 容 説明 「とちぎ市男女共同参画プランについて」市職員
 講話 「とちぎ市がもし100人の村だったら
 ～未来を想像して新しい未来を創造しよう」
 講師 とちぎ男女共同参画センター事業推進課
 係長 高山美幸氏

・参加人員 23人

(3) 「とちぎ市男女共同参画のつどい」の開催

男女共同参画社会づくりを目指し、「とちぎ市男女共同参画のつどい」を開催した。

- ・実施日 6月29日（土）
- ・会 場 栃木市市民会館
- ・内 容 第1部 男女共同参画標語・写真コンテスト表彰、標語発表
 第2部 コンサート 「コール・ヴェリタと一緒に歌いましょう」
 出演者 女声合唱アンサンブル「コール・ヴェリタ」

・参加人員 132人

(4) 男女共同参画のつどいに併せての啓発事業

「男女共同参画」に関する標語と写真の募集を行い、表彰した。

区 分		応募数(点)	入 賞
標語	小学生の部	449	最優秀賞1点、優秀賞5点、優良賞10点、佳作20点
	一般の部	22	最優秀賞1点、優秀賞2点
写真		12	最優秀賞1点、優秀賞2点

(5) 北関東男女共同参画会議の参加

男女共同参画社会の実現を目指すため、群馬県・茨城県・栃木県の有志が一堂に会して学習し、共に連携して行動することを目的に開催された「第9回北関東男女共同参画会議inうつのみや ひと・紡ぐ・こころ男女共同参画～これからの地域と家庭の暮らしの中で～」に参加した。

- ・開催日 7月20日（土）
- ・会 場 宇都宮市男女共同参画推進センター
- ・参加人数 11人

記念講演 「住めば愉快だ宇都宮!～共に築くまちづくり～」宇都宮市長 佐藤栄氏	
分科会	第1分科会 リレー卓話「いきいきはつらつな人生を」
	第2分科会 「カルタで考える男女共同参画」～百人一首と宇都宮の関わり～
	第3分科会 「男女共同参画推進15年の歩み・地域と家庭の暮らしの中で」

(6) 男女共同参画推進事業の広報

市広報紙、市ホームページ、ケーブルテレビ、新聞による広報を行った。

5 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業の周知

内閣府では「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業」とし

て、長引く避難生活や原子力発電所の事故に伴う不安や悩み、配偶者等からの暴力（DV）などの相談を受けるため、『女性のための電話相談・ふくしま』を開設し、その窓口について市ホームページにおいて周知した。

6 栃木県次世代人材づくり事業への派遣

県民一人ひとりが地域や社会の担い手となり、力を発揮することができる「人づくり」を推進するため、人間性豊かで、地域に貢献する青年リーダー及び女性リーダーの育成を県と市町が共同で実施する次世代人材づくり事業への参加について、2人を派遣した。

- ・研修日程 7月20日（土）～2月1日（土）
- ・内容

区 分	実 施 形 態	実 施 日
基礎研修	青年・女性リーダー合同	7月20日（土）・8月3日（土）
応用研修	青年リーダー	8月24日（土）・9月14日（土）～15日（日） 10月～11月（2泊3日）・12月14日（土） 1月18日（土）
	女性リーダー	8月17日（土）・9月8日（日）・10月10日～12日（2泊3日）・11月10日（日）・12月15日（日） 1月18日（土）
研修成果発表会	青年・女性リーダー合同	2月1日（土）

7 日本女性会議への参加

市内の各女性団体等において活動している市民が、女性団体及びリーダーとしての役割や活動の現状を学ぶとともに、協調と連帯意識を持って、男女共同参画社会の実現に向けた活動を展開していくために、日本女性会議へ参加した。

- ・実施期間 10月11日（金）～13日（日）（3日間）
- ・開催地 徳島県阿南市
- ・参加者数 13人

8 男女共同参画広報紙の発行

男女共同参画について市民の理解と関心を深めるため、男女共同参画広報紙「きららとちぎ（第4号）」を、男女共同参画地域推進員を編集員として3月に発行し、市内全世帯に配付した。

9 男女共生大学の開設

男女共同参画社会の実現に向け、共に学び考え、それぞれの活動を通して、自分らしく生き生きと活躍、行動できる力を身につける人材を育成するため男女共生大学を開設した。

(1) 実施状況

受講者数 一般57人、特別8人 計65人

講座	実施日	講座内容	参加人員(人)
第1回	5月23日(木)	＊開講式 ＊「とちぎ市男女共同参画プラン」の説明 栃木市職員 ＊講話「未来を想像して新しい未来を創造しよう」 とちぎ男女共同参画センター 事業推進課係長 高山美幸氏	43
第2回	6月13日(木)	＊はつらつ健康教室 「エンジョイ・ザ・ボディ ～笑顔で楽しく体を動かす～ 健康運動指導士 原美穂子氏	31
第3回	6月29日(土)	公開講座 ＊とちぎ市男女共同参画のつどい ・第1部 男女共同参画標語・写真 コンテスト表彰及び標語発表 ・第2部 コンサート 女声合唱アンサンブル 「コール・ヴェリタ」	29
第4回	7月25日(木)	＊現地見学会 「明治の働く女性たちをたずねて」 富岡製糸場 こんにやく博物館	22
第5回	8月8日(木)	＊講話「“お互いさま”パワーで、地域を豊かに！」 ケアマネージャー 伊藤典子氏	23
第6回	8月22日(木)	＊楽習出前講座「女性を活かして活力ある国へ」～クイズとコトで楽しく考えましょう～ 佐野市 グループ・わっくる ＊しゃべり場	20
第7回	9月12日(木)	＊講話と調理実習 ヘルシー料理「免疫力アップの食事について」 管理栄養士 杉山敦子氏	24
第8回	9月26日(木)	＊落語で聴こう！ 「落語で納得！歌ってスッキリ！男女共同参画ってこんな感じ」 男女共同参画落語創作・口演家 埼玉県鶴ヶ島市職員 阪本真一氏 ＊閉講式・修了証書交付	33

(2) 運営ボランティアの活動

男女共生大学の受講生自らが大学の運営に主体的に携わることにより、男女共同参

画社会の実現に向けた人材育成を図った。

- ・運営ボランティア 7人
- ・活動の内容 講座の運営・記録・託児等、講座に関する役割を分担して行った。
- ・運営委員会の開催 年3回 学習プログラムや活動内容の検討ほか

10 DV防止講演会の開催

配偶者や恋人などの親密な関係にある間柄で行われる暴力「DV（ドメスティック・バイオレンス）」についての正しい知識を身に付け、問題に対する理解と認識を深めるためDV防止講演会を開催した。

- ・実施日 11月19日（火）（男女共同参画推進本部検討部会部会員研修会と兼ねる）
- ・出席者数 74人

11 出前講座の実施

実施日	会場			参加人員(人)
11月26日（火）	大平隣保館	おおひらシルバー生き生き塾 「なぜ今男女共同参画なのか？」 ～男女共同参画社会を目指して～	市男女共同参画 推進指導員	15
3月25日（火）	大平公民館	かなめの会 「なぜ今男女共同参画なのか？」 ～男女共同参画社会を目指して～	市男女共同参画 推進指導員	12

12 男女共同参画自主グループ活動支援

(1) 女性団体活動支援

ア 栃木市女性団体連絡会の活動支援

実施日	会場	事業名	参加人員(人)
7月11日（木）	栃木市市民会館	第1回栃木市女性団体連絡会役員会	7
9月11日（水）	栃木市市民会館	第2回栃木市女性団体連絡会役員会	7
10月30日（水）	出流、蔵の街、山本有三 ふるさと記念館ほか	栃木市女性団体連絡会交流会視察研修	37
2月26日（水）	栃木市市民会館	第3回栃木市女性団体連絡会役員会	7
3月4日（火）	栃木市市民会館	第4回栃木市女性団体連絡会役員会	7

イ 栃木市栃木女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会場	事業名	参加人員(人)
5月29日（水）	栃木市市民会館	定期総会 研修会「女性の視点から考える防災・減 災」講師：栃木県立学悠館高等学校 JRC(青少年赤十字)部顧問 大島喜美子 氏	72

6月 5日 (水)	那須塩原市ほか	視察研修会 株式会社パン・アキモトほか	39
7月11日 (木)	栃木市市民会館	第1回栃木市女性団体連絡会役員会	1
8月24日 (土)	栃木文化会館	研修会「サマーコンサート パートV」演奏：トリオ・クメタナ	300
9月11日 (水)	栃木市市民会館	第2回栃木市女性団体連絡会役員会	1
10月30日 (水)	出流、蔵の街、山本有三ふるさと記念館ほか	栃木市女性団体連絡会交流会視察研修	15
11月 9日 (土)	栃木市市民会館	とちぎ市民環境まつり 栃木市消費生活展	延べ 1,000
12月11日 (水)	大宮公民館	ボランティア基礎研修会 (日本赤十字社 栃木県支部)	34
2月26日 (水)	栃木市市民会館	第3回栃木市女性団体連絡会役員会	1
3月 4日 (火)	栃木市市民会館	第4回栃木市女性団体連絡会役員会	1

ウ 栃木市大平女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会 場	事 業 名	参加人員(人)
5月29日 (水)	大平隣保館	定期総会 研修会「組織機構の見直しについて」「人権講話」講師：栃木市人権・男女共同参画課職員	33
7月11日 (木)	栃木市市民会館	第1回栃木市女性団体連絡会役員会	2
9月11日 (水)	栃木市市民会館	第2回栃木市女性団体連絡会役員会	2
10月30日 (水)	出流、蔵の街、山本有三ふるさと記念館ほか	栃木市女性団体連絡会交流会視察研修	8
11月11日 (月)	大平隣保館	議員との懇談会	34
11月28日 (木)	那須町ほか	視察研修・道の駅那須高原友愛の森、藤城美術館ほか	23
12月12日 (木)	大平公民館	輝いて生きるみんなのつどい 「栃木県がもし100人の村だったら～少子高齢社会とワーク・ライフ・バランス」 講師：パルティとちぎ男女共同センター 芳村佳子氏	33
1月16日 (木)	大平隣保館	人権・男女共同参画研修会 「アサーティブ・コミュニケーションのすすめ」講師：I S・キャリア開発研究所代表岩船展子氏	28
2月26日 (水)	栃木市市民会館	第3回栃木市女性団体連絡会役員会	2
3月 4日 (火)	栃木市市民会館	第4回栃木市女性団体連絡会役員会	2

エ 栃木市藤岡女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会 場	事 業 名	参加人員(人)
4月 4日(木) ～ 7日(日)	藤岡公民館・藤岡遊水池 会館	渡良瀬バルーンレース2013朝食サービス	延べ32
4月21日(日)	渡良瀬遊水地	みずウォーク2013給水サービス	4
5月21日(火)	藤岡公民館	定期総会 研修会『市職員出前講座：簡単な予算の 話』講師：栃木市財政課職員	30
6月 8日(土)	道の駅みかも	防災訓練（炊き出し訓練）	5
6月10日(月)	宮城県石巻市ほか	視察研修会 石巻・復興支援と大川小学 校追悼ほか	38
7月11日(木)	栃木市市民会館	第1回栃木市女性団体連絡会役員会	2
9月11日(水)	栃木市市民会館	第2回栃木市女性団体連絡会役員会	2
10月30日(水)	出流、蔵の街、山本有三 ふるさと記念館ほか	栃木市女性団体連絡会交流会視察研修	9
1月16日(木)	藤岡公民館	人権・男女共同参画研修会 「アサーティブ・トレーニング（自分も 相手も大切にしたコミュニケーション）」 講師：アサーティブジャパン専属講師竹崎かずみ	63
2月26日(水)	栃木市市民会館	第3回栃木市女性団体連絡会役員会	2
3月 4日(火)	栃木市市民会館	第4回栃木市女性団体連絡会役員会	2

オ 栃木市都賀女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会 場	事 業 名	参加人員(人)
5月14日(火)	都賀公民館	定期総会	21
7月10日(水)	群馬県高崎市ほか	視察研修会・大塚製薬株式会社高崎工場 前橋文学館ほか	21
7月11日(木)	栃木市市民会館	第1回栃木市女性団体連絡会役員会	2
9月11日(水)	栃木市市民会館	第2回栃木市女性団体連絡会役員会	2
10月30日(水)	出流、蔵の街、山本有三 ふるさと記念館ほか	栃木市女性団体連絡会交流会視察研修	5
1月15日(水)	都賀公民館	研修会 ストレッチ体操 講師：羽田明子氏	35
2月26日(水)	栃木市市民会館	第3回栃木市女性団体連絡会役員会	2
3月 4日(火)	栃木市市民会館	第4回栃木市女性団体連絡会役員会	2

(2) おおひら男女共同参画をすすめる会（自主学习グループ）との協働啓発活動

ア 男女共同参画週間事業の啓発活動

(ア) おおひら男女共同参画の「つどい」の開催

男女共同参画社会づくりを目指し「おおひら男女共同参画のつどい」を開催した。

- ・実施日 6月22日（土）
- ・会場 大平文化会館
- ・内容 講話 「幸せは仕事と生活の調和から生まれる」
～ワーク・ライフ・バランス基礎講座～
講師 有限会社フェードイン代表 工藤敬子氏
寸劇と朗読 「ワーク・ライフ・バランス
～私と彼と仕事と恋愛～」
制作・出演 おおひら男女共同参画をすすめる会会員
おしゃべりティータイム
- ・参加人員 60人

(イ) パネル展示

男女共同参画週間パネルの展示、啓発物資及びリーフレットの配布を行った。

- ・実施期間 6月14日（金）～29日（土）
- ・場所 大平図書館

イ その他の活動

実施日	実施会場	内容	参加人数
4月17日（水）	大平総合支所	平成25年度総会	23
6月23日（日）	パルティ	男女共同参画社会を考える とちぎ県民のつどいに参加	8
7月5日（金）	藤城清治美術館・ 那須ガーデンアウトレット	1日研修	20

(3) 自主学習グループへの活動支援

自主学習グループに対して、会議室の提供、男女共同参画に関する情報提供、活動に対する指導・助言等を行った。

支援対象グループ

ういめんず・栃木、蔵の町子ファミリー、栃木市女性史研究会「あいの会」、
栃木市高齢社会を考える「パールの会」、きらきらの会

(4) 男女共同参画スタディーツアー栃木市参加者への活動支援

男女共同参画社会の実現を目指して、先進国を視察研修した「男女共同参画スタディーツアー」参加者の成果発表の場を提供した。

- ・実施日 3月6日（木）
- ・会場 栃木市市民会館
- ・内容 「男女共同参画スタディーツアー～デンマーク女性の生き方を探る旅～」
成果発表
- ・発表者 男女共同参画スタディーツアー栃木市参加者
- ・参加人員 16人

第5章 保健福祉部

第1節 社会福祉課

〔総括概要〕

社会福祉課における主な分掌事務は、法定・任意の福祉計画の策定、栃木市社会福祉協議会に関すること、福祉制度の見直しに関すること、民生委員児童委員に関すること、地域福祉の推進に関すること、日本赤十字社に関すること、災害救助や災害見舞等に関すること、障がい者福祉関係団体の育成指導に関すること、発達障がいを含む障がい児（者）の相談及び支援、理解のための普及及び啓発、関係機関との連絡調整に関することである。平成25年度からは、社会福祉法人の定款認可、社会福祉業務検査指導等の事務を栃木県知事から権限移譲を受けた。

福祉政策担当では、社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、栃木市社会福祉施策推進委員会を開催し、栃木市地域福祉計画（案）や栃木市障がい者等自立支援協議会等について審議を行った。

栃木特別支援学校の生徒が、職場体験を通して、働く際に必要な態度、技能、知識を身につけるために行う就業体験学習の受入れを実施した。

社会福祉法人栃木市社会福祉協議会の組織基盤や財政基盤の健全化を図り、市民から信頼される組織運営を推進するため、経営改善への取組を行った。

調査指導担当では、平成25年度から担当が新設され、これまで栃木県知事の所管であった社会福祉法人の定款認可、社会福祉事業の経営に係る指導監督等の事務を法令移譲により行った。

また、栃木県知事から栃木市長への特例移譲により、障がい福祉サービス事業者の指定、保育所の認可及び業務検査指導等の事務を県内一般市では初めて行った。

障がい福祉担当では、身体障害者手帳及び療育手帳の交付をはじめ、障がい者の生活上の困難を軽減するため、各種福祉サービスの提供や特別障がい者手当等の支給を行った。また、障がい者（児）を取り巻く環境の問題や生活・育成上の問題等について相談業務を行うとともに、関係機関と連携し、障がい者（児）に対する助言や指導を行った。障がい者（児）の自立した日常生活や社会生活の支援等を目的とした仕組みである「障害者総合支援法」による福祉サービスの提供においては、障がい者の自己決定権を尊重し、利用者の立場に立って、介護給付等の自立支援給付、移動支援及び日中一時支援等の地域生活支援事業に係る申請受理、障がい程度区分認定調査、障がい程度区分審査会運営及び支給決定を行うなど、適切な対応に努めた。

発達支援担当では、発達の遅れや心の成長に課題を持つ子どもたちに対し、専門的アセスメントのもと、関係機関との連携を図りながらライフステージに応じた継続的な相談支援活動を行った。

複数の関係機関職員が出席する支援協力ケース会議を開催して、関係課の共通理解を図り、支援方針や対応等の決定などを組織的に行った。また、特別な教育的支

援や配慮を必要としている園児や児童生徒について、発達支援担当の専門職が、保育園・幼稚園、小中学校を訪問し専門的アセスメントやそれに基づく効果的な支援の充実について協力した。

健康増進課所管の乳幼児健康診査や5歳児発達相談等に職員を派遣し、発達障がいを含む障がい児等を早期に療育の場につなげるなど、子どもの特性に応じた環境整備を図った。

平成21年度から、ことばの発達の遅れている幼児等にことばの指導等を行うため、未就学児ことばの教室を開始した。

保育園・幼稚園、小中学校等を始めとした、相談の入り口であり直接支援を行う関係者に対し研修を実施し、的確な対応の図れる体制作りのための人材育成に努めた。

福祉政策担当

1 社会福祉施策推進委員会の開催

社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、委員会を開催し、福祉に関する各計画等について審議した。

実施日	内 容
5月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市地域福祉計画の策定及びアンケート調査結果について ・ 栃木市障がい者等自立支援協議会について
10月18日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の概要について ・ 栃木市地域福祉計画策定にかかる地域懇談会結果について
1月31日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市地域福祉計画(案)について ・ 栃木市障がい者等自立支援協議会設置について
3月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画アンケート調査結果について ・ 栃木市地域福祉計画(案)について

2 法定・任意計画の策定

すべての人がいきいきと地域で生活できる社会づくりを実現しようとする「地域福祉計画」の策定を進めた。

3 障がい者就労支援

栃木特別支援学校の生徒に対し、実際の職場における就業体験を通して、卒業後の就労に向けての訓練に協力した。

4 身体障がい者福祉関係

(1) 障がい者体力増進事業関係

ア 体力回復トレーニング

- ・実施日 9月1日(日)
- ・場 所 アクアワールド茨城県大洗水族館ほか
- ・参加者 100人

イ 第9回栃木県障害者スポーツ大会

- ・実施日 9月29日(日)
- ・主会場 栃木県総合運動公園陸上競技場
- ・出場者 13人、1団体

ウ 第8回障がい者軽スポーツ大会

- ・実施日 3月2日(日)
- ・会 場 栃木勤労者体育センター
- ・参加者 54人

(2) 身体障がい者相談員の活動状況

身体障がい者の自立更生について、13人の相談員が相談指導に当たった。

5 知的障がい者(児)福祉関係

知的障がい者の自立更生について、14人の相談員が相談指導に当たった。

6 民生委員児童委員関係

任期満了による一斉改選が行われ、栃木地域において民生委員児童委員191人を新たに委嘱した。民生委員児童委員は、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員24人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況

(単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住 居	保健・医療・健康	仕 事	生活費
620	68	28	140	4	57
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
7	208	79	1,127	2,338	12.2

(2) 調査等状況

(単位：件)

調 査	証明事務	施設団体公的 機関との連絡	諸会合・行事 への参加	友愛訪問・安否 確認のための訪問	計	委員1人 当たり件数
7,010	229	4,597	16,381	26,433	54,650	286

7 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤募金(栃木地域)

目 標 額(円)	実 績 額(円)	達 成 率(%)
9,032,000	7,470,990	82.7

(2) 災害による救援品配布状況(栃木地域)

区 分	世帯数	人 数	毛 布	布 団	緊急セット
火 災	4世帯	11人	11枚	11組	5個

(3) 講習会等

- ・健康生活支援講習 2回
- ・災害時高齢者生活支援講習 1回
- ・救急法講習 1回
- ・幼児安全法講習 5回

8 災害見舞金給付状況

(単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	全壊件数	半壊件数	部分損壊	入院	火災死亡
15	4	4	-	3	14	-	1

調査指導担当

1 社会福祉法人等の申請及び届の受理件数

(1) 社会福祉法人

(単位：件)

	設立認可 申 請	定款変更	その他	合計
社会福祉法人	-	14	1	15

(2) 障がい福祉サービス事業者

(単位：件)

	指定申請	指定更新 申 請	変更届	休止・ 廃止届	合計
障がい福祉サー ビス事業者	8	7	76	4	95

(3) 保育所

(単位：件)

	設置認可 申 請	変更届	休止・ 廃止届	合計
保育所	-	-	1	1

(4) 一時預かり事業及び放課後児童健全育成事業

(単位：件)

	開始届	変更届	休止・ 廃止届	合計
一時預かり事業	-	5	-	5
放課後児童健全 育成事業	1	1	1	3

2 検査指導業務の実施

(単位：件)

	実地指導監査	書面指導監査	合計
社会福祉法人	9		9

障がい福祉サービス事業	10	17	27
保育所	9	13	22
一時預かり事業	5	3	8
放課後児童健全育成事業	10	21	31
認可外保育施設	11	3	14
合計	54	57	111

障がい福祉担当

1 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）（単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	新規交付者数
視覚障がい	316	14
聴覚・平衡障がい	684	33
音声・言語・そしゃく障がい	70	8
肢体不自由障がい	2,839	163
内部障がい	1,671	154
複合障がい	265	-
合計	5,845	372

2 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数）（単位：人）

区分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	46	35	209	184	474
中度（B1）	35	24	183	131	373
軽度（B2）	41	33	129	60	263
合計	122	92	521	375	1,110

3 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

ア 件数

（単位：件）

区分	身体障がい者			身体障がい児			
	交付	修理	合計	交付	修理	合計	
義肢	義手	2	1	3	-	-	-
	義足	9	7	16	-	-	-
装具	下肢	45	11	56	10	-	10
	靴型	16	2	18	4	-	4
	体幹	1	-	1	-	-	-

	上肢	-	-	-	-	-	-
座位保持装置		3	3	6	2	2	4
盲人安全つえ		8	-	8	1	-	1
義眼		1	-	1	-	-	-
眼鏡	矯正眼鏡	1	-	1	1	-	1
	遮光眼鏡	4	-	4	-	-	-
	弱視眼鏡	-	-	-	-	-	-
補聴器	高度難聴用ポケット型	1	4	5	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	37	28	65	-	-	-
	重度難聴用ポケット型	4	1	5	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	29	31	60	2	11	13
車いす	普通型	12	29	41	4	3	7
	その他	5	7	12	2	2	4
電動車いす		2	4	6	-	-	-
起立保持具		-	-	-	-	2	2
座位保持いす		-	-	-	-	-	-
歩行器		-	2	2	1	-	1
歩行補助つえ		3	-	3	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		1	-	1	-	-	-
特例補装具		-	-	-	-	-	-
合計		184	130	314	27	20	47

イ 費用

(単位：円)

区分	総額	区分	
		公費分	自己負担額分
身体障がい者	22,010,941	21,495,029	515,912
身体障がい児	4,369,714	4,138,567	231,147

※公費分の給付に加え、市単独の事業として自己負担額分についても助成を行った。

(2) 障がい者（児）等の日常生活用具の給付

ア 件数

(単位：件)

区分	障がい者等	障がい児	小児慢性特定疾患児
特殊寝台	2	-	-
特殊マット	1	-	-
床ずれ防止用具	1	-	-
特殊尿器	-	-	-
入浴担架	-	-	-
体位変換器	-	-	-

移 動 用 リ フ ト	3	-	-
訓 練 い す (児 の み)	-	1	-
訓 練 用 ベ ッ ド (児 の み)	-	-	-
入 浴 補 助 用 具	4	1	-
腰 掛 便 座	1	-	-
洗 浄 機 能 付 便 座	-	-	-
昇 降 機 能 付 便 座	-	-	-
歩 行 支 援 用 具	1	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	3	-	-
頭 部 保 護 帽	2	-	-
火 災 警 報 器	-	-	-
自 動 消 火 器	-	-	-
電 磁 調 理 器	1	-	-
歩行時間延長信号機用小型送信機	-	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-	-
透 析 液 加 温 器	4	-	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	1	1	-
電 気 式 た ん 吸 引 器	10	2	-
酸 素 ポ ン ベ 運 搬 車	-	-	-
盲 人 用 体 温 計	1	-	-
盲 人 用 体 重 計	2	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-	-
点 字 器	1	-	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	1	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	3	1	-
盲 人 用 時 計	5	-	-
聴覚障がい者用通信装置	3	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-	-
人 工 喉 頭	3	-	-
点 字 図 書	-	-	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	-	-	-

ス ト マ 用 装 具	2,897	-	-
紙 お む つ	694	196	-
収 尿 器	1	-	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	6	-	-
パ ル ス オ キ シ メ ー タ ー	-	-	1
車 い す	-	-	-
ク ー ル ベ ス ト	-	-	-
紫 外 線 カ ッ ト ク リ ー ム	-	-	-
合 計	3,651	202	1

イ 費用 (単位:円)

区 分	総 額
障 が い 者 等	36,017,015
障 が い 児	1,728,670
小児慢性特定疾患児	149,000

(3) 軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業

身体障害者手帳の交付の対象にならない軽度・中等度の難聴児の補聴器購入費等の一部を助成した。

ア 件数 (単位:件)

区 分		交 付	修 理	合 計
補 聴 器	軽度・中等度難聴用ポケット型	-	-	-
	軽度・中等度難聴用耳かけ型	-	1	1
	高度難聴用ポケット型	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	-	-	-
	重度難聴用ポケット型	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	-	-	-

イ 費用 (単位:円)

区分	総額		
		公費分	自己負担額分
軽度・中等度難聴児	18,540	12,360	6,180

※公費分の給付に加え、市単独の事業として自己負担額分についても助成を行った。

4 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

(1) 件数 (単位:件)

区 分	給付決定件数
音声・言語・そしゃく機能障がい	4

肢 体 不 自 由	6
心 臓 機 能 障 が い	69
腎 臓 機 能 障 が い	420
肝 臓 機 能 障 が い	3
免 疫 機 能 障 が い	14
合 計	516

(2) 費用 (単位：円)

総 額	国県負担金対象分	市単独助成分
172,201,997	171,147,254	1,054,743

5 身体障がい者の自立支援医療（育成医療）給付決定の状況

(1) 件数 (単位：件)

区 分	給付決定件数
視 覚 機 能 障 が い	1
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	18
肢 体 不 自 由	21
心 臓 機 能 障 が い	5
小 腸 機 能 障 が い	2
肝 臓 機 能 障 が い	1
そ の 他 機 能 障 が い	2
合 計	50

(2) 費用 (単位：円)

総 額	国県負担金対象分	県・市単独助成分
4,207,223	3,606,468	600,755

6 各種手当の状況

障がいに関する手当

種 別	受給者数（人）	支給額（円）
特 定 疾 患 者 介 護 手 当	959	33,618,000
特 別 障 が い 者 等 手 当	特 別 障 が い 者 手 当	120 38,539,360
	障 が い 児 福 祉 手 当	61 10,301,040
	福 祉 手 当 (経 過 的)	4 854,800
重 度 障 が い 児 支 援 手 当	121	3,972,000
特 別 児 童 扶 養 手 当	202	県で支給

7 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区 分		実施状況
交付者数		3,709人
	うち障がい者	825人
	高齢者	2,884人
交付枚数		45,240枚
利用枚数		31,477枚
利用率（利用枚数/交付枚数）		69.6%
助成額		15,739,500円

8 障がい者福祉関係

(1) 障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの利用状況

障害者自立支援給付費、地域生活支援事業により障がい福祉サービスを利用した障がい者の状況は次のとおりである。

ア 障害者自立支援給付費

サービスの種類	支給決定障がい者数(人)				給付額 (円)	備考	
	身体	知的	精神	計			
介護給付費	居宅介護	73	78	50	201	99,030,434	
	行動援護	1	4	-	5	273,377	
	同行援護	26	-	-	26	7,750,572	
	短期入所	51	86	3	140	45,818,226	
	重度訪問介護	1	-	-	1	2,093,178	
	療養介護	19	3	-	22	69,268,820	
	生活介護	121	216	10	347	781,711,311	
	重度障害者等包括支援	3	-	-	3	8,308,720	
	共同生活介護	7	50	13	70	95,212,591	
	施設入所支援	67	120	-	187	241,755,668	
	特定障害者特別給付費	-	-	-	-	32,532,963	
	高額障害福祉サービス費	-	-	-	-	471,884	
計	369	557	76	1,002	1,384,227,744		
訓練等給付費	共同生活援助	-	28	12	40	29,432,830	
	自立訓練	3	22	3	28	35,921,470	
	就労移行支援	3	29	7	39	64,797,735	

就労継続支援	30	164	92	286	373,608,961	
特定障害者特別給付費	-	-	-	-	10,957,683	
計	36	243	114	393	514,718,679	
相談支援給付費	144	322	102	568	18,116,282	
合計	549	1,122	292	1,963	1,917,062,705	

イ 地域生活支援事業

サービスの種類	利用決定障がい者数(人)				支出額 (円)
	身体	知的	精神	計	
成年後見制度利用支援事業	-	1	-	1	230,000
コミュニケーション支援事業	20	-	-	20	1,007,420
移動支援事業	43	95	34	172	11,779,019
訪問入浴サービス事業	3	-	-	3	1,887,500
更生訓練費及び就職支度金給付事業	1	4	-	5	157,800
日中一時支援事業	24	106	44	174	78,610,080
自動車改造費助成事業	5	-	-	5	434,649
自動車運転免許取得助成事業	1	-	-	1	90,000
合計	97	206	78	381	94,196,468

(2) 障がい程度区分審査会実施状況

障害者総合支援法に定める、介護給付費の支給に関する障がい程度区分の審査・判定及び市の障がい福祉サービス支給要否決定に当たって審査会委員が意見を述べることを目的として設置された審査会で24回開催された。実施状況は次のとおりである。

障がい 程度区分	身体		知的		精神		身体・知的		身体・精神		知的・精神		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1	4	7.1	4	4.2	6	18.8	-	-	1	20.0	-	-	15	7.0
2	13	23.2	13	13.5	15	46.9	1	4.5	1	20.0	1	33.3	44	20.6
3	8	14.3	16	16.7	8	25.0	4	18.2	-	-	1	33.3	37	17.3
4	11	19.6	21	21.9	1	3.1	2	9.1	-	-	-	-	35	16.4
5	9	16.1	17	17.7	1	3.1	3	13.6	-	-	1	33.3	31	14.5
6	11	19.6	25	26.0	1	3.1	12	54.5	3	60.0	-	-	52	24.3
計	56	100.0	96	100.0	32	100.0	22	100.0	5	100.0	3	100.0	214	100.0
平均 区分	3.73		4.14		2.34		4.95		4.20		3.33		3.84	

9 障がい児福祉関係

(1) 児童福祉法に基づく障害児通所支援の利用状況

平成24年4月の児童福祉法の改正に伴い、障害児通所支援給付費により障害児通所支援を利用した障がい児の状況は次のとおりである。

ア 障害児通所給付費

サービスの種類	利用決定障がい児数(人)	支出額(円)	備考
障害児相談支援	141	4,042,000	
児童発達支援	115	51,648,539	
放課後等デイサービス	110	75,618,508	
保育所等訪問支援	1	36,180	
医療型児童発達支援	1	21,762	
計	368	131,366,989	

(2) 障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの利用状況

障害者自立支援給付費、地域生活支援事業により障がい福祉サービスを利用した障がい児の状況は次のとおりである。

ア 障害者自立支援給付費

サービスの種類	支給決定障がい児数(人)	給付額(円)	備考
介護給付費	居宅介護	5	1,780,483
	行動援護	1	12,250
	短期入所	33	7,054,893
	計	39	8,847,626

イ 地域生活支援事業

サービスの種類	利用決定障がい児数(人)	支出額(円)	備考
コミュニケーション支援事業	-	-	
移動支援事業	2	-	
訪問入浴サービス事業	1	450,000	
日中一時支援事業	113	31,441,869	
計	116	31,891,869	

10 地域活動支援センター事業

障害者総合支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために実施した。

運営状況

(単位：人)

施設名	所在地	月平均通所者数	通所延べ人員
オープンハウスたんぽぽ	小平町6-11	167.4	2,009
さざなみの家	平柳町1-2-7	145.5	1,746

11 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	131	21.3
2 級	370	60.3
3 級	113	18.4
合 計	614	100.0

(2) 自立支援医療費(精神通院)受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、1,357人が受給した。

発達支援担当

1 支援協力ケース会議

支援協力ケース会議は隔週火曜日に開催した。

	平成 24 年度	平成 25 年度
開催数(回)	14	9
ケース数(件)	59	20

2 発達支援担当相談支援等業務状況

関係機関との横断的な連携を図り、乳幼児期・学齢期・青年期とそれぞれのライフステージに合わせた支援を継続的に実施した。臨床心理士等の専門職を配置し、保育園・幼稚園、小中学校等への巡回相談を行い、対応に配慮が必要なお子さんに対して効果的な支援方法の充実に協力することで、園や学校生活の安定を図った。

機関別巡回相談実績

(単位:回)

	平成 24 年度	平成 25 年度
幼稚園・保育園(民間)	52	83
市立保育園	47	59
小学校	234	86
中学校	49	9
適応指導教室	15	0
学童	—	2
合 計	397	239

3 健康診査等職員派遣状況

健康増進課所管の5歳児発達相談、乳幼児発達相談等に発達支援担当の職員(心理職、言語聴覚士等)を派遣し、子どもの行動観察、発達検査結果より受診児のアセスメント等を実施した。また、早期に療育の場につなげる等、子どもの発達の促進と保護者への相談指導等を実施した。

(1) 5歳児発達相談実施状況(面接、行動観察、個別相談)

- ・派遣回数 37回
- ・観察人数 211人
- ・心理職等派遣延べ人数 65人

(2) 乳幼児発達相談実施状況（保護者面接、発達検査、受診者のアセスメント）

- ・派遣回数 20回
- ・対象延べ人数 137人
- ・心理職等派遣延べ人数 68人

4 啓発活動及び研修状況

保育園・幼稚園、小中学校を始めとした関係機関等に対し発達障がいのある児童の基本的な理解や支援に対する研修を実施した。

支援協力者研修は、障がいや虐待等何らかの支援ニーズを抱える児童や家庭に対して、関係課が協力して支援を行うために、支援者の資質向上を図ることを目的に研修を実施した。

また、地域福祉について市民の理解を促進し、お互いを理解する心を育てる観点から障がい児者アートセミナーを開催した。

(1) 啓発活動（講演会等）参加

実施日	演 題 等	主 催
4月26日(金)	小中学校学校支援員研修会 「特別な支援を必要とする 児童・生徒の理解と支援」	学校教育課
5月21日(火)	栃木市ことばを育てる会 講演会 「子どもたちの今とこれから」	栃木市ことばを育てる会
6月12日(水) 7月3日(水) 10月9日(水) 11月6日(水) 2月12日(水)	ゆっくり学習会 「特別な教育的支援を必要とする児童生 徒の理解」 ①栃木市の支援体制②支援事例の紹介	学校教育課
4月3日(水) 6月25日(火) 7月22日(月) 7月24日(水) 7月31日(水) 8月2日(金)	校内研修 特別支援教育研修会 「発達障がいの理解と支援」 「落ち着きのない子どもたちへの支援」 「実践に活かす気になる子の支援」	寺尾南小学校 吹上中学校 三鴨小学校 藤岡小学校 国府南小学校 栃木第四小学校
8月5日(月)	栃木市特別支援教育研修会 「個別の検査の取扱い（田中ビネーVについて）」 「指導・支援のあり方について」	栃木県立栃木特別支援学校

7月4日(木)	栃木市家庭教育学級 「大人になること ～反抗期・不登校・非行の理解～」 「ペアレントトレーニングを活かした子育て」	生涯学習課
7月29日(月)	栃木市特別支援学級担任者夏期研修会 「発達検査等いろいろな情報から 子どもの発達のとらえ方について」	下都賀地区 特別支援教育研究協議会
12月12日(木)	学童指導員研修 「気になる子の理解と支援」	こども課
12月18日(水)	岩舟町教師の会 特別支援部会研修会 「LD児について 障がいを持つ児童生徒の保護者との関係の持ち方」	岩舟町教師の会
5月24日(金) 7月17日(水) 9月20日(金) 12月25日(水) 2月10日(月)	すくすく教室(子育て支援教室) 「子育てアドバイス」	健康増進課

(2) 発達障がい研修会

実施日	演題等	参加人数(人)	講師
9月11日(水) 9月25日(水) 10月9日(水) 10月23日(水) 11月13日(水) 11月27日(水) 12月11日(水) 12月25日(水)	市民研修 ペアレントトレーニング (全8回)	延べ81	明星大学 人文学部心理学科 准教授 竹内 康二氏

(3) 支援協力者研修

実施日	演題等	講師
5月29日(水)	「利用者のニーズや特性に合わせた 効果的な面接をするための技術を学ぶ」	目白大学 心理カウンセリング学科 准教授 高橋 稔氏
6月28日(金)	「虐待を受ける子どもを救うために ～自治医科大学とちぎ子ども医療センタ ーでの取り組み～」	自治医科大学 とちぎ子ども医療センター センター長 小児虐待対策委員会 委員長 相原 敏則氏
8月28日(水)	「医療機関との連携支援 ～医学的視点から考える家族支援～」	自治医科大学 とちぎ子ども医療センター

		こどもの心の診療科 星野 美幸氏
10月23日(水)	「幼稚園や保育園において特別な配慮を要する児童をもつ保護者の理解と支援 ～事例をとおして～」	明星大学 人文学部心理学科 准教授 竹内 康二氏
12月25日(水)	「診断名告知における現状と課題 ～医療、教育、福祉に求められるもの～」	柳川小児科医院 副院長 柳川 悦子 氏
2月26日(水)	「自閉症からの気づき… ～乳児期から高校、そしてこれから～」	NPO 法人 おひさまクラブ 伏見 依子 氏

(4) 検討会議

実施日	会議名	内容
1月21日(火)	支援事業課題検討会議	○こどもサポートセンターについて ○平成26年度相談支援協力者会議について

(5) 障がい児者アートセミナー

- ・実施日 10月5日(土)、6日(日) 午前10時～午後4時
- ・会場 藤岡文化会館
- ・来場者 112人
- ・実施内容 〈アート作品展〉
手織り工房「のろぼっけ」織り作家による「喜績織」作品展
〈講演会〉
E S P E R A N Z A - エスペランサーによるトークコンサート

5 未就学児ことばの教室

ことばやコミュニケーションに課題のある未就学児童を対象に、ことばの指導を行い言語発達の促進を図った。

	実人数(人)	延べ人数(人)	実施場所
栃木教室	53	887	栃木保健福祉センター、福祉庁舎
大平教室	24	532	大平ゆうゆうプラザ
藤岡教室	13	327	藤岡公民館
都賀教室	8	192	都賀保健センター
計	98	1,938	

※西方は、人数が少ないため都賀教室にて行っている。

6 いろどり教室(放課後等巡回指導教室)

集団生活で課題を持つ幼児・児童・生徒を対象に、社会性の獲得を目指したプログラムを専門スタッフと1対1で実施し集団への適応力を育むとともに、その経過を保護者、支援者と共有することで子どもの特徴に合わせた支援方法についての理解と啓発を図

り、その後の継続的支援を行った。

参加者数 (単位:人)

	平成 24 年度	平成 25 年度
未就学児	4	4
学齢児	65	101

7 こどもサポートクラブ

発達や心の成長に課題を持つ児童を対象に、地域での仲間づくりや自己実現を目的としたプログラムを市民ボランティア（こどもサポーター）協力のもと、いそどり教室からのステップアップとして、小集団のグループで行った。

	実施日	参加人数（人）	実施場所
サイエンスクラブ	10月30日（水）	46	栃木保健福祉センター
	12月4日（水）		
	2月19日（水）		
ビーズクラブ	11月6日（水）	22	栃木保健福祉センター
	11月27日（水）		
お裁縫クラブ	11月20日（水）	9	栃木保健福祉センター
フラワークラブ	12月18日（水）	13	栃木保健福祉センター
クッキングクラブ	12月26日（木）	28	大平ゆうゆうプラザ
	3月26日（水）		

第2節 生活福祉課

〔総括概要〕

昨今の世界的な経済不況や大震災等の影響で、経済・雇用環境が悪化するとともに、急速な高齢化の進展や核家族化の進行により、生活保護受給者が急増している状況の中、生活保護法、実施要領等関係法令を順守し生活困窮者に対して公平かつ適切な保護を心がけ、最低生活の保障と自立助長を図るとともに生活保護業務の組織的管理を推進し、生活保護の適正実施に努めた。

生活福祉担当

1 生活保護及び支援給付関係

(1) 被保護世帯数

ア 地区別状況

区分	総数	栃木	大平	藤岡	都賀	西方
世帯数	998	681	147	86	60	24
比率%	100	68.3	14.7	8.6	6.0	2.4

イ 世帯類型別状況

区分	総数	高齢者	障がい者	傷病者	母子	その他
世帯数	998	519	87	159	32	201
比率%	100	52.0	8.7	15.9	3.2	20.2

ウ 労働力類型別状況

区分	総数	世帯主 常用勤労者	世帯主 日雇労働者	世帯主 内職者	その他の 就労者	世帯員が 稼働	稼働者 なし
世帯数	998	30	48	7	3	21	889
比率%	100	3.0	4.8	0.7	0.3	2.1	89.1

(2) 生活保護新規相談及び開始・廃止ケースの状況

	新規ケースの処理状況					
	相談件数	申請件数	開始数	取下数	却下数	廃止件数
4月	54	11	9	—	3	10
5月	69	19	16	—	—	9
6月	58	14	12	—	1	7
7月	58	16	17	—	1	11
8月	47	10	5	1	3	6
9月	49	13	14	1	—	3

10月	62	11	13	—	—	12
11月	63	16	11	1	—	12
12月	43	5	6	1	—	7
1月	29	15	17	1	—	15
2月	45	8	3	1	—	5
3月	46	16	14	—	1	11
合計	623	154	137	6	9	108
月平均	52	13	11	1	1	9

(3) 保護施設入所者状況

生活保護法による保護施設の入所状況は次のとおりである。

- ・施設名 共生の杜（救護施設）
- ・入所者数 72人（年間延べ）

(4) 生活保護費等の支出状況

- ・支出状況 【別表1】生活保護費等の支出状況

(5) 中国残留邦人支援給付費の支出状況

- ・支出状況 【別表2】中国残留邦人支援給付費の支出状況

2 行旅死病人等取扱状況

取扱件数及び扶助費の支出額は次のとおりである。

区分	件数 (人)	支出額 (円)
行旅死亡人	1	233,422
行旅病人	2	48,227
行旅人	38	17,260
合計	41	298,909

(単位：円)

【別表1】生活保護費等の支出状況

月別	被保護		生	活	住	宅	教	育	介	護	医	療	出	産	生	業	葬	祭	保	設	合
	世帯数	人員																			
4月	967	1,300	50,828,268	20,034,026	895,790	5,235,346	75,231,184	-	726,982	-	321,200	916,479	153,868,075								
5月	973	1,298	50,381,265	20,063,119	773,980	5,128,163	86,242,979	-	332,846	-	403,000	982,020	164,225,572								
6月	976	1,297	50,315,263	19,788,881	1,315,915	4,969,403	78,652,650	-	234,950	-	186,400	982,020	156,662,082								
7月	986	1,313	51,005,676	19,919,951	810,030	5,078,111	76,015,583	-	298,140	-	-	982,020	154,295,911								
8月	980	1,303	52,272,221	20,402,435	490,800	4,614,847	78,986,892	-	328,330	-	-	982,020	158,077,545								
9月	988	1,313	51,705,478	19,952,686	789,110	5,625,225	80,333,633	-	261,120	-	357,822	982,020	160,007,094								
10月	998	1,321	53,651,716	20,521,401	760,950	5,591,203	81,515,033	-	260,370	-	91,000	982,020	163,373,693								
11月	997	1,313	57,207,934	20,698,824	754,900	4,890,948	68,147,321	-	252,210	-	10,500	982,020	152,944,657								
12月	991	1,303	67,770,471	21,254,558	754,900	5,006,431	75,395,307	-	237,100	-	441,224	982,020	171,842,011								
1月	1,001	1,319	57,630,090	20,637,106	750,800	4,507,815	77,268,956	-	507,703	-	211,612	982,020	162,496,102								
2月	989	1,310	56,616,178	20,873,873	769,620	3,397,443	84,449,219	-	235,260	-	534,129	982,020	167,857,742								
3月	998	1,324	54,999,960	20,728,646	826,080	6,322,626	83,592,818	733,020	289,590	1,058,154	1,038,660	169,589,554									
合計	11,844	15,714	654,384,520	244,875,506	9,692,875	60,367,561	945,831,575	733,020	3,964,601	3,615,041	11,775,339	1,935,240,038									
月平均	987	1,310	54,532,043	20,406,292	807,740	5,030,630	78,819,298	61,085	330,383	301,254	981,278	161,270,003									
扶助別構成比			33.8%	12.6%	0.5%	3.1%	48.9%	0.1%	0.2%	0.2%	0.6%	100.0%									

※ 保護率 9.26% [%(パーミル)：1000分の幾つであるかを表す語。1パーミルは1000分の1。(人口1,000人当たりの保護率)]

前年度比保護費 0.2%増

前年度比保護世帯数 4.8%増

前年度比保護人員 2.9%増

【別表2】中国残留邦人支援給付費の支出状況

(単位：円)

月別	支援給付人員		生活支援給付費	住居支援給付費	住宅支援給付費	医療支援給付費	介護支援給付費	出産支援給付費	産業支援給付費	生業支援給付費	葬業支援給付費	祭祀費	合計
	世帯数	人員											
4月	1	1	59,422	22,200	22,200	159,240	-	-	-	-	-	-	240,862
5月	1	1	59,422	22,200	22,200	200,060	34,118	-	-	-	-	-	315,800
6月	1	1	59,422	22,200	22,200	55,120	-	-	-	-	-	-	136,742
7月	1	1	59,422	22,200	22,200	80,600	30,000	-	-	-	-	-	192,222
8月	1	1	59,112	22,200	22,200	87,570	15,000	-	-	-	-	-	183,882
9月	1	1	59,112	22,200	22,200	29,380	15,000	-	-	-	-	-	125,692
10月	1	1	59,012	22,200	22,200	58,050	15,000	-	-	-	-	-	154,262
11月	1	1	63,972	22,200	22,200	27,770	15,000	-	-	-	-	-	128,942
12月	1	1	74,942	22,200	22,200	71,260	15,000	-	-	-	-	-	183,402
1月	1	1	63,872	22,200	22,200	29,510	15,000	-	-	-	-	-	130,582
2月	1	1	63,872	22,200	22,200	18,030	15,000	-	-	-	-	-	119,102
3月	1	1	63,872	22,200	22,200	54,600	15,000	-	-	-	-	-	155,672
合計	12	12	745,454	266,400	266,400	871,190	184,118	-	-	-	-	-	2,067,162
月平均	1	1	62,121	22,200	22,200	72,599	15,343	-	-	-	-	-	172,264
支援給付別構成比			36.1%	12.9%	12.9%	42.1%	8.9%	-	-	-	-	-	100.0%

第3節 こども課

〔総括概要〕

こども課では、少子化、核家族化の進展により、子育てが孤立し、子育てに不安や負担を感じている保護者を支援するため、子育てに関する相談業務や情報提供等を行った。

学童保育事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。

ファミリー・サポート・センターでは、仕事と育児の両立を図り、安心して働ける環境づくりを進めるため、地域における子育て支援機能の強化に努めた。

地域子育て支援センターでは、子育て家庭への育児支援を図るため、子育てに関する情報提供や育児不安等に関する相談支援を行った。また、保護者間の交流を図るとともに、親子・子ども同士が楽しく触れ合うことのできる事業を企画実施した。

児童館では、地域における子育て支援の拠点として、児童の健全育成を図るため、地域社会と連携しながら、子どもたちに健全な遊びや情報の提供を行った。

児童に関する手当等については、児童手当・児童扶養手当・遺児手当の支給を行うとともに、市単独事業として、第2子以降の児童の出生に対し、赤ちゃん誕生祝金の支給を行った。

児童の福祉については、家庭児童相談室で児童の家族関係の健全化や児童養育の適正化に努め、養育支援家庭訪問事業で児童虐待の防止に努めた。

ひとり親家庭の福祉については、相談業務等を通してひとり親家庭の抱えている問題を把握し、関係機関と連携し問題解決に努めたほか、経済的支援として母子寡婦福祉資金貸付の申請の受付等を行った。

要保護女子等については、「売春防止法」、「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律」に基づき、被害女性の保護及び自立支援を行った。

こども担当

1 学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を十分に受けることができない児童を対象とし、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として実施した。（栃木地域7小学校区内・11学童保育）

学童保育利用者数

（単位：人）

学年 学童保育名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
なかよし(栃木中央小)	11	7	18	9	8	17	8	8	16	28	23	51
ひまわり(栃木第三小)	14	8	22	4	5	9	1	9	10	19	22	41
しろのうち(栃木第四小)	3	3	6	3	3	6	4	4	8	10	10	20
杉の木(栃木第五小)	7	2	9	5	5	10	7	8	15	19	15	34
のびっこ(南小)	2	8	10	7	4	11	2	10	12	11	22	33
宮の子第1(大宮北小)	5	8	13	8	4	12	5	7	12	18	19	37
宮の子第2(大宮北小)	6	7	13	6	3	9	3	6	9	15	16	31
宮の子第3(大宮北小)	5	9	14	7	6	13	2	3	5	14	18	32
宮の子第4(大宮北小)	6	6	12	8	4	12	6	4	10	20	14	34
いとひば第1(吹上小)	3	5	8	3	1	4	7	10	17	13	16	29
いとひば第2(吹上小)	4	10	14	4	4	8	-	10	10	8	24	32
計	66	73	139	64	47	111	45	79	124	175	199	374

2 地域組織活動（母親クラブ）への支援

保護者等が組織し、児童館等を拠点に、会員相互の交流を深めながら世代間交流や児童養育に関する研修活動、児童の事故防止活動等を自主的に実施する母親クラブに対し、活動の支援・指導を行った。

組織名	活動場所	会員数(人)
市チャレンジ母親クラブ	いまいずみ児童館	41
栃木市母親クラブゆるく	大宮公民館	22
大平みなみ児童館母親クラブ	大平みなみ児童館	17

3 ファミリー・サポート・センター事業（栃木）

(1) 会員数の内訳（単位：人）

会員種別	会員数
育児依頼会員	657
育児提供会員	158

依頼・提供両会員	123
計	938

(2) 活動状況

(単位：件)

援助活動内容	活動件数
保育所・幼稚園への登園前の預かり及び送り	1,042
保育所・幼稚園への迎え及び帰宅後の預かり	829
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	-
学童保育前の預かり及び送り	77
学童の放課後の預かり	-
登校前の預かり及び送り	1
学童保育への迎え及び帰宅後の預かり	407
学童保育からの帰宅後の預かり	-
子どもの病気時の援助	36
子どもの習い事等の場合の援助	588
保育所・学校等休み時の援助	72
保育所等施設入所前の援助	-
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	146
保護者等の求職活動中の援助	-
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	-
保護者等の外出の場合の援助	67
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	-
他の子どもの用事の場合の援助	32
その他	91
合 計	3,388

4 ファミリー・サポート・センター事業（大平）

(1) 会員数の内訳

会員種別	会員数(人)
育児依頼会員	145
育児提供会員	57
依頼・提供両会員	19
計	221

(2) 活動状況

(単位：件)

援助活動内容	活動件数
保育所・幼稚園への登園前の預かり及び送り	-
保育所・幼稚園への迎え及び帰宅後の預かり	2
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	-
学童保育前の預かり及び送り	-

学童の放課後の預かり	-
登校前の預かり及び送り	104
学童保育への迎え及び帰宅後の預かり	121
学童保育からの帰宅後の預かり	2
子どもの病気時の援助	-
子どもの習い事等の場合の援助	-
保育所・学校等休み時の援助	-
保育所等施設入所前の援助	-
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	12
保護者等の求職活動中の援助	-
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	-
保護者等の外出の場合の援助	5
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	-
他の子どもの用事の場合の援助	5
その他	-
合 計	251

5 地域子育て支援センター

(1) 利用者数推移

(単位:人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
平成23年度	1,210	2,649	1,974	984	193	81	38	6,555	13,684
平成24年度	1,613	2,398	2,584	916	271	124	55	7,284	15,245
平成25年度	2,049	2,928	2,082	1,281	154	105	74	8,081	16,754

(2) 活動状況

ア 日常活動

- ・参加者 延べ16,754人
- ・実施内容 子育て情報提供、子育て情報交換、子育て相談

(ア) えほんタイム

- ・実施時間 午前11時～11時20分、午後4時～4時20分
- ・実施内容 歌、絵本、パネルシアター、紙芝居、わらべうた、手遊び、体操遊び

(イ) 園庭開放

- ・実施曜日 毎週月・水・金曜日
- ・実施時間 午前11時20分～正午

イ 定例活動

- ・実施回数 64回
- ・参加者 延べ3,924人

- ・実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、わらべうた、パネルシアター、紙芝居、絵本読み聞かせ、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施

- ・実施日時

区 分	実施日	開催時間
なかよしタイム	毎週水曜日	午前 10 時～11 時
プチなかよしタイム	月 1 回火曜日	午前 10 時～11 時
ほんわかタイム	月 1 回火曜日	午前 10 時～11 時

ウ 特別活動 (単位：人)

No	活 動 名	参加人数
1	絵本講座	34
2	おっばいの話 (2 回)	145
3	人形劇	97
4	運動会	105
5	クリスマス会	142
6	おたのしみ会	79
7	避難消火訓練 (2 回)	72
8	こいのぼり製作	89
9	七夕飾り製作	140
10	プール遊び	260
11	鬼のお面製作	108
12	お雛さま製作	130
13	ファミサポ講習会 (10 回)	563
14	「大平運動公園であそぼう」 (8 支援センター合同事業)	153
15	「わらべうた教室」 (8 支援センター合同事業)	91
合 計		2,208

エ 子育て相談

(単位：件)

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	44	43	1
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	15	15	-
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い ほか	11	11	-
健康に関すること	ほふく、歩行身体の発達、健康 ほか	16	14	2

ことばに関すること	発語が遅い、幼児語 ほか	10	9	1
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	34	34	-
そ の 他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	176	164	12
合 計		306	290	16

6 地域子育て支援センターおおひら

(1) 利用者数推移

(単位:人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合 計
平成23年度	704	619	541	274	1	-	2	2,276	4,417
平成24年度	705	437	471	147	11	7	7	1,948	3,733
平成25年度	831	414	369	71	9	4	-	1,918	3,616

(2) 活動状況

ア 定例活動

- ・実施日時 火曜日(月2~3回)(ころころ広場)午前10時30分~11時30分
- ・実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居・絵本読み聞かせ、体操遊び、親子工作、リズム遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。
- ・実施回数 24回
- ・参加者 延べ1,462人

イ 特別活動

(単位:人)

No	活 動 名	参加人数	No	活 動 名	参加人数
1	赤ちゃんサロン(22回)	980	10	南第2保育園との交流会(1回)	17
2	AED・CPR講習会	22	11	赤十字幼児安全法講習会	29
3	おもちゃライブラリー	42	12	子育て支援研修会(5回)	176
4	ベビーマッサージ(5回)	218	13	託児事業(10回)	89
5	絵本講習会(2回)	108	14	プチころころ(2回)	167
6	消防訓練	54	15	ふれあいタイム	11
7	西保育園との交流会(1回)	20	16	8支援センター合同行事	153
8	東保育園との交流会(1回)	6	17	託児ボランティア打ち合わせ会	12
9	南第1保育園との交流会(3回)	50	合 計		2,154

ウ 子育て相談

(単位:件)

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	12	12	-
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	-	-	-
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い ほか	2	2	-

健康に関すること	ほふく、歩行身体の発達、健康 ほか	13	12	1
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語 ほか	4	4	-
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	144	23	121
そ の 他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	408	158	250
合 計		583	211	372

7 地域子育て支援センターふじおか

(1) 利用者数推移

(単位：人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合 計
平成23年度	279	777	543	237	32	20	13	1,557	3,458
平成24年度	602	1,026	906	371	54	25	6	2,512	5,502
平成25年度	570	1,077	875	405	71	37	16	2,544	5,595

(2) 活動状況

ア 定例活動

わくわくタイム

- ・実施曜日 毎週金曜日
- ・実施時間 午前10時30分～11時30分
- ・実施内容 集団親子活動を行い、歌、ふれあい遊び、体操、季節の製作、紙芝居や絵本の読み聞かせ等毎回テーマを決めて実施。
- ・実施回数 34回
- ・参加者 延べ1,166人

イ 特別活動

(単位：人)

No	活 動 名	参加人数
1	親子ピクス	55
2	保育園との交流会(3回)	52
3	生活習慣病予防教室託児	26
4	親子ヨガ	28
5	クリスマス会	100
6	幼児安全法講習会託児	12
7	おたのしみ広場	51
8	絵本講座	42
9	お芋ほり	21
10	避難訓練	14
合 計		401

ウ 子育て相談

(単位：件)

相談内容	相談件数	相談方法		
		来所	電話	
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	6	6	-
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	4	4	-
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い ほか	8	8	-
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達、健康 ほか	4	3	1
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語 ほか	5	5	-
対人関係	他の子とのかかわり ほか	3	3	-
その他	性格、育児依頼、入園、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	11	11	-
合計		41	40	1

8 地域子育て支援センターつが

(1) 利用者数推移

(単位：人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
平成23年度	183	515	186	34	10	2	-	887	1,817
平成24年度	284	489	535	90	35	12	-	1,266	2,711
平成25年度	270	702	297	186	31	35	6	1,332	2,859

(2) 活動状況

ア 定例活動

すくすくタイム

- ・実施曜日 毎週木曜日
- ・実施時間 午前10時30分～11時30分
- ・実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。
- ・実施回数 51回
- ・参加者 延べ1,811人

イ 特別活動

(単位：人)

No	活動名	参加人数
1	栄養士の「ためになるお話」	34
2	親子エアロビクス	117
3	歯科衛生士の「お話と歯磨き指導」	26
4	助産師によるベビーマッサージ	64
5	親子リトミック	57

6	おはなし会	48
7	ギニア共和国伝統音楽ミニコンサート	31
8	親子で楽しむボールストレッチ	29
合 計		406

ウ 子育て相談

(単位：件)

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	37	37	-
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	16	16	-
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い ほか	6	6	-
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達、健康 ほか	13	13	-
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語 ほか	5	5	-
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	8	8	-
そ の 他	性格、育児依頼、入園、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	43	43	-
合 計		128	128	-

9 地域子育て支援センターにしかた

(1) 利用者数推移

(単位：人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合 計
平成23年度	19	135	122	112	3	-	-	355	746
平成24年度	57	160	146	121	2	2	-	425	913
平成25年度	124	204	220	22	2	1	-	539	1,112

(2) 活動状況

ア 定例活動

なかよしひろば

- ・実施日 月3～4回
- ・実施時間 午前10時30分～11時30分
- ・実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子製作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。
- ・実施回数 38回
- ・参加者 延べ688人

イ 特別活動 (単位：人)

No	活動名	参加人数
1	保健師の話（親子ふれあい遊び）	2
2	エプロンシアター 『いただきます ごちそうさま』	8
3	おはなしひろば(布絵本作り)	32
4	簡単手作りおもちゃを作ろう	35
5	大きくなったかな（カウプ指数測定）	15
6	簡単、おいしい、体も元気なおやつを作ろう	25
	合計	117

ウ 子育て相談 (単位：件)

相談内容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	3	3	-
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	-	-	-
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い ほか	1	1	-
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達、健康 ほか	1	1	-
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語 ほか	-	-	-
対人関係	他の子とのかかわり ほか	2	2	-
その他	性格、育児依頼、入園、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	5	5	-
合計		12	12	-

10 児童館

児童の健康を増進し、情操を豊かに育むことを目的とし、児童に対し遊びを通じた指導や情報提供、相談支援等を行うとともに、地域組織や地域住民と連携を図りながら、各種事業を実施した。

(1) はこのもり児童センター

ア 利用状況 (単位：人)

幼児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学生	高校生	大人	合計	開館日数	1日平均 利用人員
444	3,557	4,886	2,644	3,157	1,675	16,363	294	56

イ 事業実施状況 (単位：人)

事業名	参加人数	事業名	参加人数
工作教室（11回）	599	七夕飾り	15

エコ工作（1回）	36	夏祭り	65
科学遊び（1回）	43	水遊び	28
世代間交流（2回） ・ハッピーハロウィーン ・ナポリタンクッキング	60	マジックショー	35
		伝承遊び（お正月遊び）	28
子ども科学館から移動科学教室がやってくる	30	栃木県おりがみ作品展 作品作り	44
料理教室	17	移動動物園がやってくる	254
電気教室	16	合 計	1,270

(2) いまいずみ児童館

ア 利用状況

(単位：人)

幼児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学生 以上	大人	団体	合計	開館日数	1日平均 利用人員
4,784	1,263	1,230	471	4,033	859	12,640	294	43

イ 事業実施状況

(単位：人)

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ママといっしょ（36回）	1,384	やさい作り	18
スマイル・スマイル（8回）	459	児童館まつり	201
にこにこたいむ（8回）	359	観劇会	134
わくわくたいむ（8回）	175	バスツアー	20
リトミックワールド（5回）	182	冬休みスポーツ大会	14
こいのぼり作り（6回）	81	豆まき会	69
夏祭り	223	ひな人形作り（6回）	81
夏休み工作タイム	16	泉寿園との交流会 「カラオケ大会」	3
短冊を飾ろう（7回）	31	講話と子育て相談	12
		合 計	3,462

(3) そのべ児童館

ア 利用状況

(単位：人)

幼児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学生 以上	大人	団体	合計	開館日数	1日平均 利用人員
4,901	1,706	2,065	394	4,599	49	13,714	295	46

イ 事業実施状況

(単位：人)

事業名	参加人数	事業名	参加人数
0歳親子ピクス（6回）	267	水あそび（3回）	80
親子ピクス（5回）	162	手作り！スーパーボール	12
ぷちぷちひろば（11回）	442	敬老の日のプレゼント作り	18

のびのびひろば (11回)	546	こどもの日ヨーヨー祭り	14
おひさまクラブ (16回)	626	観劇会	113
ぺたぺた記念日 (20回)	1,539	ツリーの飾り付け	5
いちご狩り	28	新春福引き	47
七夕飾り作り	72	西部生きがいセンター祭り	129
夏まつり	302	スカイビューン	15
		合 計	4,417

(4) 大平みなみ児童館

ア 利用状況

(単位：人)

幼児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学生	高校生	大人	合計	開館日数	1日平均 利用人員
5,445	2,171	3,518	454	25	5,664	17,277	298	58

イ 事業実施状況

(単位：人)

事業名	参加人数	事業名	参加人数
オセロ大会 (3回)	35	クリスマスグッズ作り	28
幼児クラブ (54回)	1,620	クリスマスツリーオーナメント	56
こどもまつり	402	子どもクッキング (3回)	49
母の日のプレゼント作り	21	チャレンジ・ザ・ゲーム (5回)	98
父の日のプレゼント作り	19	ラッピング教室	6
七夕飾り作り	93	ハッピーくじ	179
		合 計	2,606

(5) 大平児童館

ア 利用状況

(単位：人)

幼児	小学校 1～3年	小学校 4～6年	中学生 以上	大人	団体	合計	開館日数	1日平均 利用人員
4,657	3,071	4,165	958	4,939	728	18,518	296	63

イ 事業実施状況

(単位：人)

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ぱくぱくクッキング (8回)	148	耳つぼダイエット講座 (5回)	51
プレゼント作り (2回)	16	ムーンカフェ	13
幼児クラブ (60回)	2,011	親子DIY教室	4
わいわい広場 (24回)	725	国際宇宙ステーション観測会	5
ダンス教室 (13回)	199	ハッカ油で虫除けスプレーを作ろう	5
実験遊び (4回)	31	流しそうめん	18
オセロ大会 (3回)	10	アロマセラピー講座	24
夏休み工作 (コズミックカレッジ)	35	上級者向け料理教室	4
夏休み野外研修	22	お灸治療体験	17

子どもフェスティバル	721	小児スキンタッチ	16
天体観測（22回）	188	キャラクターコンテスト2014	26
		合 計	4,289

11 児童に関する手当

種 別	受給者数（人）	新規認定件数（件）
児 童 手 当	10,681	977
児童扶養手当（うち父子家庭）	1,085(58)	125(6)
遺 児 手 当	54	6

12 赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に資することを目的に、18歳未満の児童を養育し、第2子以降のお子さんが誕生した保護者に祝金を支給した。

- ・支給額 6,590,000円
- ・支給状況

区 分	祝金の額（円）	支給件数（件）
第2子	10,000	371
第3子以降	20,000	144

13 赤ちゃんの駅登録事業

子育て家族が安心して外出できる環境づくりを進めることを目的に、平成23年8月、赤ちゃんの駅登録事業を開始した。

おむつ替えや授乳のため自由に利用することのできる施設を、赤ちゃんの駅として登録し、市民への周知を図った。

- ・赤ちゃんの駅登録数 63か所（公共施設48か所・民間施設15か所）

14 子育て応援企業登録事業

従業員の仕事と子育ての両立支援や、地域における子育て支援に取り組む（取り組もうとする）企業を、子育て応援企業として登録し、市民への周知を行った。

- ・子育て応援企業登録数 40企業

15 児童福祉関係

(1) 児童福祉施設措置児童数

（単位：人）

施 設 別	児 童 数		
	男	女	計
乳 児 施 設	-	2	2
児 童 養 護 施 設	9	5	14
児 童 自 立 支 援 施 設	2	-	2

知的障害児施設	6	-	6
自立援助施設	-	1	1
重度心身障害児施設	2	2	4
肢体不自由児施設	3	-	3
情緒障害児短期治療施設	-	1	1
里親委託	4	3	7
計	26	14	40

(2) 家庭児童相談室

家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭相談員3人により各種の相談指導を行った。

月別・相談区分別相談指導件数及び訪問回数

区分	性格・生活習慣	知能言語	学校生活等			非行	家族関係		環境福祉	心身障がい	その他	合計(件)	訪問回数(回)
			人間関係	不登校	その他		虐待	その他					
4月	-	1	10	93	1	-	24	4	205	73	15	426	139
5月	-	-	4	83	-	-	13	14	189	40	135	478	190
6月	-	-	-	90	1	-	10	8	171	55	261	596	336
7月	-	-	1	88	5	-	17	80	234	34	9	468	138
8月	14	-	-	47	2	-	22	1	158	47	16	307	108
9月	4	-	-	51	-	-	57	12	215	43	4	386	82
10月	2	-	-	104	2	-	50	22	169	26	1	376	113
11月	-	-	-	15	2	-	105	7	228	34	3	394	83
12月	2	-	-	24	-	-	85	21	283	29	10	454	115
1月	-	-	-	16	1	-	120	6	148	20	6	317	61
2月	-	-	-	8	-	-	58	7	288	27	1	389	99
3月	-	-	-	17	1	-	40	9	227	39	10	343	66
計	22	1	15	636	15	-	601	191	2,515	467	471	4,934	1,530

(3) 養育支援家庭訪問事業

児童虐待防止対策として養育支援家庭訪問事業支援員2人を配置し、児童の養育力不足のため支援を要する家庭に対し、家庭訪問等による育児・家事の援助を行った。

月別・ケース区分別訪問回数及び対応ケース数

区分	養育者の諸問題	虐待関係	家庭養育上の問題	施設等からの家庭復帰	心身上の諸問題	合計(回)	対応ケース数(件)
4月	31	4	-	10	-	45	15
5月	50	5	-	4	-	59	25
6月	54	1	-	3	-	58	20
7月	55	5	-	2	-	62	24
8月	43	2	-	3	-	48	20

9月	42	5	-	1	-	48	18
10月	52	21	-	2	-	75	24
11月	40	11	-	2	-	53	22
12月	40	15	-	2	-	57	24
1月	41	7	-	3	-	51	26
2月	34	7	-	2	-	43	20
3月	47	6	-	1	-	54	27
計	529	89	-	35	-	653	月平均 22

16 ひとり親家庭福祉関係

(1) 母子寡婦福祉資金貸付申請状況

種 類	件 数 (件)	金 額 (円)
修 学 資 金	11	13,069,000
就 学 支 度 資 金	14	5,556,000
修 業 資 金	5	2,993,000
就 職 支 度 資 金	-	-
技 能 習 得 資 金	-	-
生 活 資 金	3	927,000
転 宅 資 金	-	-
計	33	22,545,000

(2) 母子生活支援施設の利用状況

生活上の問題から保護を要する母子を母子生活支援施設に入所措置し、母子の福祉の向上を図った。

施 設	継 続	新規入所	退 所	25年度末時点での入所状況
県 内 (2 か所)	2 世帯	- 世帯	1 世帯	1 世帯
	4 人	- 人	2 人	2 人

第4節 保育課

〔総括概要〕

保育担当では、保護者が就労等の事由により家庭で保育することができない場合に、保育所へ預けるための入所手続き及び保育料に関する相談業務を行った。

保育所では、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、延長保育事業、一時預かり事業を実施、さらに特別支援保育事業、休日保育事業等の特別保育を実施し、児童福祉の向上を図り、併せて危機管理マニュアル等も更新し、職員の意識の高揚、保育の充実を図った。

また、「栃木市保育所整備基本計画」に基づき、本年度末で藤岡地域の赤麻保育園を閉園し、藤岡地域統合保育園の設計業務に着手し、整備事業の推進を図った。

さらに、子ども・子育て支援法により、“子ども・子育て会議”を設置するとともに、「栃木市子ども・子育て支援事業計画」を策定するため、子育てに関するニーズ調査を実施した。

幼稚園就園奨励費事業では、幼稚園に就園する園児の世帯の経済的負担軽減のため、保育料・入園料の減免措置に係る補助金を交付した。

保育担当

1 子ども・子育て会議の開催

本市の実情に合った子ども・子育て支援の施策の推進をしていくため、栃木市子ども・子育て会議を設置し、14名の委員を委嘱した。

会議名	実施日	内容
第1回 子ども・子育て会議	11月13日（水）	・子ども・子育て支援事業計画策定に向けてのニーズ調査について
第2回 子ども・子育て会議	2月25日（火）	・子ども・子育て支援事業計画策定に向けての区域の設定・量の見込みについて ・保育所整備基本計画の進捗状況について
第3回 子ども・子育て会議	3月26日（水）	・ニーズ調査の「量の見込み」について

2 子ども・子育て支援事業計画の策定

さまざまな子ども・子育て支援の充実を図るため、「子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、子ども・子育て支援に関するニーズ調査を行った。

3 保育所整備

「保育所整備基本計画」に基づき、保育所の整備事業の進捗を図った。

対象施設	整備の内容	整備の経過
三鴨保育園・赤麻保育園 部屋保育園・藤岡保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・4園を統合・公設公営 ・定員110名 ・設置場所：藤岡町赤麻地内 (旧赤麻保育園敷地) 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所の検討 (検討委員会を設置) ・基本設計の実施
ぬまわだ保育園 大平東保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・2園を統合・民設民営 ・定員110名 ・設置場所：大平町川連地内 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置運営事業者の公募

4 保育所第三者評価の実施

公立保育所の提供するサービスの質の向上と、利用者の選択支援のため、保育所及び利用者以外の公正・中立な第三者機関による専門的かつ客観的立場からの評価を行った。

・実施園 5園

はこのもり保育園・大平西保育園・藤岡保育園・都賀よつば保育園
西方なかよしこども園

5 幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金を交付した。

(1) 国庫補助事業交付額

- ・交付園 36園
- ・交付対象人数 2,057人
- ・交付額 232,476,800円

(2) 県補助事業交付額

- ・交付園 11園
- ・交付対象人数 33人
- ・交付額 3,508,000円

(3) 市単独補助事業幼稚園第三子以降支援特別補助金交付額

- ・交付園 16園
- ・交付対象人数 277人
- ・交付額 41,303,000円

(4) 市単独補助事業幼稚園就園奨励費国庫非該当世帯特別補助金交付額

- ・交付園 21園
- ・交付対象人数 252人
- ・交付額 1,512,000円

6 幼稚園教育助成補助事業

市内の私立幼稚園に対し、幼児教育振興のために補助金を交付した。

- ・交付対象 14園

・ 交付額 300,000円×14園 = 4,200,000円

7 幼稚園子育て支援事業費補助事業

市内の私立幼稚園に対し、子育て支援事業拡充のために補助金を交付した。

・ 交付対象 14園

・ 交付額 500,000円×14園 = 7,000,000円

8 幼稚園障がい児教育補助事業

私立幼稚園における障がい児教育の充実を図るため、障がい児が1人のみ就園する市内の幼稚園に対し補助金を交付した。

・ 交付対象 2園

・ 交付額 392,000円×2園 = 784,000円

9 幼保小連絡協議会交付金交付事業

幼稚園、保育園、小学校間の情報交換や授業交流等を推進し、園児や児童の実態や教育、保育内容等についての相互理解を深め、また教職員の資質向上を図り、連携を強化することを目的とする協議会の活動に対し、交付金を交付した。

・ 交付額 20,000円

10 保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭において児童を保育することができない場合、保護者に代わり保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、家庭環境の変化に対応し、子育て家庭の支援のため、乳幼児の保育所入所や保育料に関する相談等を行った。

(1) 保育所入所状況

ア 児童定員・異動状況

(単位:人)

区分	保育園名	定員	25年4月1日 入所児童数	途中入所 児童数	退所児童数	26年3月1日 入所児童数
公立	いまいずみ保育園	100	114	11	5	120
	いりふね保育園	45	47	9	-	56
	おおつか保育園	60	67	9	3	73
	はこのもり保育園	130	154	12	2	164
	そのべ保育園	60	60	4	2	62
	ぬまわだ保育園	60	56	10	5	61
	大平西保育園	60	52	17	5	64
	大平南第1保育園	50	51	3	-	54
	大平南第2保育園	35	37	4	1	40

	大平東保育園	40	40	8	4	44
	三鴨保育園	45	24	5	2	27
	赤麻保育園	45	27	6	-	33
	部屋保育園	60	21	3	1	23
	藤岡保育園	60	38	16	2	52
	都賀よつば保育園	120	120	12	2	130
	西方保育園	90	85	8	4	89
私立等	さくら保育園	235	282	31	7	306
	さくら第2保育園	40	47	1	-	48
	ひがしのもり保育園	60	74	7	1	80
	けやき保育園	150	163	14	4	173
	大平中央保育園	90	97	11	1	107
	ひかり保育園	90	78	7	4	81
	市外委託保育園	-	31	17	5	43
	合計	1,725	1,765	225	60	1,930

イ 階層別児童数（3月1日現在）

（単位：人）

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	9階層	計
公立	いまいずみ保育園	1	20	8	28	11	16	18	15	3	120
	いりふね保育園	2	6	8	17	4	11	4	4	-	56
	おおつか保育園	-	16	8	21	5	8	3	11	1	73
	はこのもり保育園	1	16	13	27	24	24	29	25	5	164
	そのべ保育園	-	15	9	25	3	5	1	3	1	62
	ぬまわだ保育園	3	14	13	16	4	6	1	4	-	61
	大平西保育園	-	12	8	13	5	11	7	6	2	64
	大平南第1保育園	2	6	7	5	3	7	12	10	2	54
	大平南第2保育園	-	9	8	7	6	5	4	1	-	40
	大平東保育園	2	2	7	11	12	2	1	7	-	44
	三鴨保育園	-	6	4	4	7	2	1	2	1	27
	赤麻保育園	-	6	3	8	3	6	3	3	1	33
	部屋保育園	-	1	1	10	1	3	3	4	-	23
	藤岡保育園	4	12	7	10	8	6	2	3	-	52
	都賀よつば保育園	2	17	11	31	13	28	10	18	-	130
西方保育園	-	8	13	23	20	11	6	8	-	89	
	さくら保育園	2	20	19	54	40	59	44	59	9	306
	さくら第2保育園	-	2	1	11	7	6	10	7	4	48
	ひがしのもり保育園	-	8	11	5	11	18	9	17	1	80

私立等	けやき保育園	-	14	21	44	26	26	21	19	2	173
	大平中央保育園	-	9	6	16	19	15	16	25	1	107
	ひかり保育園	-	13	9	11	15	6	13	8	6	81
	市外委託保育園	-	7	5	4	4	3	10	7	3	43
合計		19	239	200	401	251	284	228	266	42	1,930

※階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

※他市町からの受託者については、市は運営委託費を受託者居住市町へ請求しており
保護者からの保育料が発生しないため含まない。

ウ 年齢別児童数（3月1日現在）

（単位：人）

区分	保育園名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	いまいずみ保育園	13	14	21	24	48	120
	いりふね保育園	6	6	8	10	26	56
	おおつか保育園	4	11	12	22	24	73
	はこのもり保育園	18	22	27	34	63	164
	そのべ保育園	1	7	12	13	29	62
	ぬまわだ保育園	3	10	6	15	27	61
	大平西保育園	13	9	11	12	19	64
	大平南第1保育園	5	8	9	9	23	54
	大平南第2保育園	3	6	7	9	15	40
	大平東保育園	5	7	7	9	16	44
	三鴨保育園	1	3	8	6	9	27
	赤麻保育園	3	5	6	7	12	33
	部屋保育園	-	4	4	4	11	23
	藤岡保育園	5	9	10	9	19	52
	都賀よつば保育園	8	18	20	28	56	130
西方保育園	5	10	12	19	43	89	
私立等	さくら保育園	25	24	40	66	151	306
	さくら第2保育園	10	16	22	-	-	48
	ひがしのもり保育園	7	15	12	18	28	80
	けやき保育園	15	28	30	32	68	173
	大平中央保育園	10	20	16	19	42	107
	ひかり保育園	10	13	15	17	26	81
	市外委託保育園	9	9	8	7	10	43
合計		179	274	323	389	765	1,930

(2) 施設運営全般

施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用

- ・保育内容の充実と技術の向上
- ・安全対策と保護者との対応
- ・地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区 分	回 数	実 施 月	結 果 と 措 置
健康診断	2	5月・10月	結果については保護者に連絡
歯科検診	2	6月・10月	結果については保護者に連絡

イ 検便等の実施状況

区 分	回 数	実 施 月	結 果 と 措 置
寄生虫卵	2	5月・10月	結果については保護者に連絡
検尿検査	2	5月・10月	結果については保護者に連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ア) 観 察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応。

(イ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置。

(ウ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応。

保護者に掲示等で流行の周知。

- ・発生件数 541件

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

- ・心身ともに健康な子ども
- ・自分で考え行動する子ども
- ・喜んで話したり聞いたりする子ども
- ・人とのかかわりの中で相手を思いやる子ども
- ・豊かな感性を持つ子ども
- ・地域の中で育つ子ども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年齢別に年間計画、月案、週案、日案の計画を立てた。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
4月		入園式
5月	こどもの日、母の日	園外保育
6月	歯の衛生週間、父の日、時の記念日	保育参観

7月	七夕祭り	納涼祭、プール開き
8月	お盆	プール大会(閉い)
9月	防災の日、敬老の日、秋分の日	お月見会
10月	体育の日	運動会、老人スポーツ大会
11月	文化の日、勤労感謝の日	遠足
12月	師走	保育参観
1月	お正月	新年のつどい、凧揚げ
2月	節分	なわとび大会
3月	ひなまつり	お別れ遠足、お別れ会、卒園式

※その他、毎月誕生児の誕生会を催した。

エ 特別支援保育の状況

・特別支援保育対象児童数

(単位：人)

保育園名	人数	保育園名	人数
いまいずみ保育園	3	大平南第2保育園	2
いりふね保育園	3	大平東保育園	2
おおつか保育園	1	三鴨保育園	-
はこのもり保育園	5	赤麻保育園	-
そのべ保育園	5	部屋保育園	-
ぬまわだ保育園	2	藤岡保育園	2
大平西保育園	2	都賀よつば保育園	2
大平南第1保育園	1	西方保育園	1
		合計	31

・保育方法 混合保育で実施

オ 延長保育の状況

保育園名	延べ利用人数(人)	保育時間
いまいずみ保育園	1,007	午前7時～午後7時
はこのもり保育園	1,242	午前7時～午後7時
大平西保育園	738	午前7時～午後7時
大平南第1保育園	1,148	午前7時～午後7時
藤岡保育園	16	午前7時～午後7時
都賀よつば保育園	156	午前7時～午後7時
西方保育園	358	午前7時～午後7時
さくら保育園	6,044	午前7時～午後7時
さくら第2保育園	1,021	午前7時～午後7時

ひがしのもり保育園	1,147	午前7時～午後7時
けやき保育園	2,797	午前7時～午後7時
大平中央保育園	503	午前7時～午後7時
ひかり保育園	2,866	午前7時～午後7時
計	19,043	

カ 一時預かりの状況 (単位：人)

実施保育園名	延べ利用者数
はこのもり保育園	245
大平西保育園	362
三鴨保育園	216
西方保育園	171
さくら第2保育園	451
ひがしのもり保育園	858
けやき保育園	94
大平中央保育園	306
計	2,703

キ 休日保育の状況 (単位：人)

実施保育園名	延べ利用者数
さくら保育園	170

ク 病後児保育事業 (単位：人)

実施保育園名	延べ利用者数
さくら保育園	48

ケ 低年齢児保育(0、1、2歳児) (平成26年3月1日現在) (単位：人)

区分	保育園名	0歳児	1歳児	2歳児	計
公立	いまいずみ保育園	13	14	21	48
	いりふね保育園	6	6	8	20
	おおつか保育園	4	11	12	27
	はこのもり保育園	18	22	27	67
	そのべ保育園	1	7	12	20
	ぬまわだ保育園	3	10	6	19
	大平西保育園	13	9	11	33
	大平南第1保育園	5	8	9	22
	大平南第2保育園	3	6	7	16
	大平東保育園	5	7	7	19
	三鴨保育園	1	3	8	12

	赤 麻 保 育 園	3	5	6	14
	部 屋 保 育 園	-	4	4	8
	藤 岡 保 育 園	5	9	10	24
	都 賀 よ つ ば 保 育 園	8	18	20	46
	西 方 保 育 園	5	10	12	27
私 立 等	さ くら 保 育 園	25	24	40	89
	さ くら 第 2 保 育 園	10	16	22	48
	ひ が し の も り 保 育 園	7	15	12	34
	け や き 保 育 園	15	28	30	73
	大 平 中 央 保 育 園	10	20	16	46
	ひ か り 保 育 園	10	13	15	38
	市 外 委 託 保 育 園	9	9	8	26
	計	179	274	323	776

コ 保護者との連携

- ・ 保育参観
- ・ 送迎時の連絡
- ・ 子育て等相談

(5) 防災対策の状況

ア 設備、遊具等の整備点検

イ 避難訓練

ウ 安全のための実施訓練

事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的を実施

エ 災害時対応マニュアルの作成

(6) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定した。

イ 給食構成

種 類	区 分		給 食 構 成	番 号
公 立 保 育 園	3歳未満児		主食、副食、おやつ（完全給食）	①
	3歳以上児		副食、おやつ	②
西 方 な か よ し こ ど も 園	3歳未満児		主食、副食、おやつ	③
	3歳以上児	保育園	主食、副食、おやつ（完全給食）	④
		幼稚園	主食、副食	⑤

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況

(ア) 3歳未満児 (イ 給食構成の区分別 ①+③)

(平成25年度平均)

栄養素等 保育園名	エネルギー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビ タ ミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
いまいずみ保育園	485	18.0	15.3	246	1.9	179	0.19	0.31	17	1.5
いりふね保育園	486	18.0	15.4	248	2.0	178	0.19	0.31	17	1.5
おおつか保育園	484	18.0	15.3	247	1.9	178	0.19	0.31	17	1.5
はこのもり保育園	477	17.9	15.1	246	1.9	178	0.19	0.31	17	1.3
そのべ保育園	477	18.0	15.2	248	1.9	179	0.19	0.31	17	1.4
ぬまわだ保育園	484	18.0	15.3	247	1.9	178	0.19	0.31	17	1.5
大平西保育園	497	18.5	15.7	250	2.0	184	0.20	0.32	17	1.5
大平南第1保育園	484	18.0	15.3	248	2.0	179	0.19	0.31	17	1.5
大平南第2保育園	505	18.9	16.1	254	2.1	189	0.20	0.32	18	1.6
大平東保育園	484	18.0	15.3	246	1.9	178	0.19	0.31	17	1.5
三鴨保育園	487	18.2	15.3	252	1.9	179	0.19	0.32	17	1.5
赤麻保育園	487	18.1	15.4	251	1.9	179	0.19	0.32	17	1.6
部屋保育園	488	18.1	15.5	249	1.9	180	0.19	0.31	17	1.5
藤岡保育園	496	18.5	15.8	258	1.9	181	0.20	0.33	17	1.5
都賀よつば保育園	489	18.0	15.4	248	1.9	179	0.19	0.31	17	1.5
西方なかよしこども園	492	18.2	15.3	254	1.9	177	0.19	0.31	17	1.4
栄養給与目標	492	18.5	14.8	209	2.3	192	0.26	0.29	21	2.0

(イ) 3歳以上児 (イ 給食構成の区分別 ②)

(平成25年度平均)

栄養素等 保育園名	エネルギー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビ タ ミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
いまいずみ保育園	389	18.5	16.8	272	2.1	217	0.21	0.38	20	1.8
いりふね保育園	392	18.5	17.2	275	2.2	217	0.21	0.38	20	1.8
おおつか保育園	392	18.5	17.1	274	2.2	217	0.21	0.38	20	1.8
はこのもり保育園	389	18.5	16.9	273	2.1	216	0.21	0.38	21	1.6
そのべ保育園	390	18.6	16.9	274	2.2	216	0.21	0.38	20	1.7
ぬまわだ保育園	392	18.5	17.1	273	2.2	216	0.21	0.38	20	1.8
大平西保育園	400	19.0	17.2	278	2.2	223	0.22	0.38	21	1.8
大平南第1保育園	390	18.5	17.0	276	2.2	217	0.21	0.38	20	1.8
大平南第2保育園	412	19.5	18.0	282	2.3	230	0.22	0.39	21	1.9
大平東保育園	391	18.5	17.0	274	2.2	217	0.21	0.38	20	1.8
三鴨保育園	394	18.6	17.0	278	2.2	217	0.21	0.38	20	1.8
赤麻保育園	392	18.6	17.1	275	2.2	217	0.21	0.38	20	1.9
部屋保育園	390	18.4	17.1	274	2.1	217	0.21	0.37	20	1.8
藤岡保育園	394	18.7	17.1	279	2.2	219	0.21	0.39	20	1.8
都賀よつば保育園	394	18.5	17.1	276	2.2	217	0.21	0.38	20	1.8

栄養給与目標	398	19.1	17.4	260	2.5	202	0.31	0.36	21	2.3
--------	-----	------	------	-----	-----	-----	------	------	----	-----

(ウ) 3歳以上児(イ 給食構成の区分別 ④) (平成25年度平均)

栄養素等 保育園名	エネルギー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
西方なかよしこども園 (保育園)	555	21.3	17.1	275	2.5	207	0.23	0.35	20	1.6
栄養給与目標	584	21.9	17.6	260	2.6	202	0.32	0.37	21	2.3

(エ) 3歳以上児(イ 給食構成の区分別 ⑤) (平成25年度平均)

栄養素等 保育園名	エネルギー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
西方なかよしこども園 (幼稚園)	433	17.7	12.9	192	2.0	183	0.19	0.25	19	1.4
栄養給与目標	456	17.0	13.8	202	2.2	156	0.25	0.29	19	2.1

(7) 特別保育科目設定実施事業

ア 世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

(単位：回)

実施保育園名	実施回数	実施保育園名	実施回数
いまいずみ保育園	5	大平南第2保育園	4
いりふね保育園	5	大平東保育園	4
おおつか保育園	7	大平中央保育園	2
はこのもり保育園	8	ひかり保育園	1
そのべ保育園	5	三鴨保育園	3
ぬまわだ保育園	6	赤麻保育園	-
さくら保育園	6	部屋保育園	-
さくら第2保育園	2	藤岡保育園	-
ひがしのもり保育園	5	都賀よつば保育園	1
大平西保育園	13	西方保育園	1
大平南第1保育園	3	合計	81

イ 異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。

(単位：回)

実施保育園名	実施回数	実施保育園名	実施回数
いまいずみ保育園	1	大平西保育園	1

いりふね保育園	2	大平南第1保育園	3
おおつか保育園	3	大平南第2保育園	1
はこのもり保育園	2	大平東保育園	1
そのべ保育園	1	三鴨保育園	3
ぬまわだ保育園	2	赤麻保育園	-
さくら保育園	3	部屋保育園	-
さくら第2保育園	2	藤岡保育園	1
ひがしのもり保育園	4	都賀よつば保育園	-
けやき保育園	4	西方保育園	13
		合計	47

ウ 子育て・仕事両立支援

乳幼児をもつ保護者等に対し育児講座の開催や育児に関する情報提供等を行った。

(単位：回)

実施保育園名	実施回数	実施保育園名	実施回数
いまいずみ保育園	5	大平南第2保育園	13
いりふね保育園	2	大平東保育園	14
おおつか保育園	2	大平中央保育園	3
はこのもり保育園	18	ひかり保育園	2
そのべ保育園	2	三鴨保育園	1
ぬまわだ保育園	4	赤麻保育園	1
さくら保育園	1	部屋保育園	1
さくら第2保育園	15	藤岡保育園	3
ひがしのもり保育園	13	都賀よつば保育園	13
大平西保育園	2	西方保育園	1
大平南第1保育園	15	合計	131

第5節 高齢福祉課

〔総括概要〕

我が国の高齢者人口は年々増加しており、現在高齢化率は24.1%に達している。こうした人口の高齢化や核家族化の進行、市民意識の多様化等に伴う福祉ニーズの変化に対応するため、高齢者福祉の充実と向上に努めた。

高齢福祉担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老祝金支給、シルバー作品展開催、老人クラブ活動の支援などの事業及び3か所の老人福祉センターにおいて、高齢者の各種相談、健康の増進、教養の向上に関する事業を実施した。

また、高齢者福祉関係については、高齢者ふれあい相談員、配食サービスなどの安否確認を兼ねた事業や、軽度生活援助員派遣、緊急ホームヘルパー派遣、在宅高齢者短期入所、日常生活用具購入費助成、緊急通報装置設置、在宅ねたきり老人等介護手当支給、紙おむつ購入費助成等の介護予防事業・生活支援事業を実施した。

ねりんピック推進担当では、来年度開催される「ねりんピック栃木2014」の開催に向け準備を進めた。主な取組みとして、市実行委員会の設立総会や第1回総会、常任委員会、専門委員会等を開催した。また、県実行委員会主催の1年前イベントに参加し、大会や市のPR等を行った。

地域支援担当では、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等に取り組んだ。

高齢福祉担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口

ア 高齢者人口（4月1日現在）

区分 \ 地域	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	合計
総人口(人)	80,147	29,633	16,858	13,443	6,586	146,667
65歳以上人口(人)	21,277	6,632	4,867	3,363	1,773	37,912
総人口に対する割合(%)	26.55	22.38	28.87	25.02	26.92	25.85

イ 高齢者人口推移（栃木地域）（4月1日現在）

区分 \ 年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総人口(人)	81,286	80,577	80,147
65歳以上人口(人)	20,274	20,630	21,277
総人口に対する割合(%)	24.94	25.60	26.55

(2) 高齢者生活態様(栃木地域) (5～6月調査結果)

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		21,277	100
内 訳	独居	2,397	11.3
	高齢者世帯※ (世帯数)	4,814 (2,365世帯)	22.6
	その他	14,066	66.1

※ 65歳以上のみで構成される世帯

2 敬老祝賀事業

9月1日(基準日)において本市に引続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金を贈呈した。

95歳以下の方への配布は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長または副市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	559
90歳	20,000	257
95歳	30,000	87
100歳	100,000	12
101歳以上	50,000	30

3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 158自治会等
- ・補助額 6,798,000円

4 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

高齢者の健康と生きがいづくりの推進を図るため、次の実践活動を実施した。

(1) 栃木地域シルバー作品展事業

高齢者から作品を募り、第24回目の作品展を開催した。

- ・実施期間 3月28日(金)～30日(日)(3日間)
- ・会場 栃木文化会館展示室
- ・出品数 161点
- ・入場者数 405人

(2) 市老人クラブ連合会委託事業

次の社会奉仕活動事業を、市老人クラブ連合会に委託し実施した。

ア 花いっぱい運動

地区公民館等公共施設にプランターを設置、管理を行った。

- ・実施時期 6月～3月
- ・植栽花 ベゴニア、パンジー、日々草、マリーゴールドなど

イ 高齢者相互支援事業（ゆーあい訪問活動）

単位クラブで2、3人のチームをつくり、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等を訪問し、話し相手や相談相手となった。

ウ 老人スポーツ大会

老人クラブ連合会栃木支部主催により、世代間交流を目的とした市立保育園の園児とのダンスをはじめ、個人・団体競技スポーツ等を行い、クラブ会員の健康増進と親睦並びに交流を図った。

- ・実施日 10月24日(木)
- ・会場 総合運動公園
- ・参加人員 1,000人

5 老人クラブ活動支援事業

老人クラブ連合会栃木支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・単位老人クラブ数 73クラブ
- ・市老人クラブ連合会栃木支部会員数 2,903人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 3,296,000円
市連合会栃木支部助成 2,247,000円

6 高齢者配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方
- ・宅配個数 35,013個
- ・宅配人数 324人（実人数）
- ・宅配業者 (株)金時給食センター
(有)ききょう
ワタミタクシヨク（株）
このひら配食サービス

7 高齢者ふれあい相談員事業（栃木地域）

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 459人
- ・訪問世帯数 3,403世帯

8 老人ホーム入所判定委員会開催状況

心身機能の減退等のために日常生活に支障がある高齢者または住宅に困窮している低所得の高齢者で家族からの適切な介護を受けることが困難な方に対し、養護老人ホームへの入所措置を適正に行うため、入所判定委員会を開催した。

- ・開催回数 2回
- ・判定件数 10件

9 老人ホームへの措置状況

(単位：人)

区 分	平成25年3月31日	平成25年度中		平成26年4月1日
	現在人数	入 所	退 所	現在人数
養護老人ホーム	73	7	7	73

10 日常生活用具購入費助成等事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	150
小型暖房器具	138
電磁調理器	1
火災警報器	-
自動消火器	-

11 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

- ・日常生活用具レンタル料助成申請状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	22
特殊寝台	5
じょく瘡予防用具	1

12 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

- ・設置状況 (単位：台)

既設置台数	設置台数	撤去台数	計
218	22	31	209

13 福祉電話貸与事業（市内全域）

おおむね65歳以上の低所得のひとり暮らし高齢者への通報用電話の貸与を継続した。

・設置状況（単位：台）

既設置台数	撤去台数	計
16	2	14

14 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
532	558	1,090

15 紙おむつ購入費助成事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において、常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
551	582	1,133

16 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

- ・利用者数 9人
- ・延べ回数 279回（311.3時間）

(2) 在宅高齢者短期入所事業

- ・利用者数 2人
- ・延べ宿泊数 17日

(3) 軽度生活援助員派遣事業

- ・利用者数 101人
- ・延べ利用時間数（単位：時間）

家事	1,681
除草	1,377
植木手入れ	346
大工・塗装	10

17 老人福祉センター長寿園

(1) 利用状況

・年度中利用者数 (単位：人)

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
長寿園利用者	46,450	53,407	53,789

・開館日数 297日

・1日平均入場者 181.1人 (無料開放日 223人を含む)

・月別内訳

区分 月別	市内		市外 (人)	身障者 等 (人)	回数券利用			減免 利用 (人)	団体 割引 (人)	計 (人)	利用料 (円)	開館 日数 (日)
	60歳以上 (人)	一般 (人)			60歳以上 (人)	一般 (人)	市外 (人)					
4	876	36	37	527	2,530	46	19	182	—	4,253	352,300	25
5	870	45	33	518	2,432	33	21	183	—	4,135	352,900	23
6	951	36	31	537	2,475	32	32	169	—	4,263	330,100	26
7	809	32	41	611	2,522	24	27	293	—	4,359	339,400	26
8	840	33	36	706	2,508	25	24	228	—	4,400	340,400	26
9	843	33	40	754	2,417	31	16	635	—	4,769	319,600	24
10	801	39	33	662	2,581	44	24	598	—	4,782	358,800	25
11	833	22	42	704	2,525	34	33	252	—	4,445	338,300	24
12	822	26	35	734	2,373	33	25	295	—	4,343	336,900	26
1	854	23	32	640	2,384	27	29	316	—	4,305	312,400	23
2	749	32	43	567	2,147	27	23	1,637	—	5,223	290,900	23
3	876	26	35	653	2,422	19	27	452	—	4,510	342,300	26
計	10,124	383	438	7,613	29,316	375	300	5,240	—	53,789	4,014,300	297

(2) 事業実施状況

ア 機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用やマッサージ施術の実施を行った。

・延べ人員 34,968人

〔ヘルストロン使用者 23,354人、マッサージ器使用者 11,525人〕
〔マッサージ施術 89人〕

・実施回数 10回

・実施日 毎月第2月曜日 午後1時30分～2時30分

イ 健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導、器具による運動訓練などの衛生教育と健康づくり指導を行

った。

- ・延べ人員 46人
- ・実施回数 12回
- ・実施日 毎月第2火曜日 午前10時30分～11時30分

ウ 栄養指導（料理教室）

(ア) 健康料理教室

減塩料理の指導、偏食生活による疾病予防や独居高齢者等の偏食矯正を目的に、管理栄養士を招き減塩料理教室、会食のつどいを行った。

- ・延べ人員 323人
- ・実施回数 12回
- ・実施日 毎月第2水曜日 午前10時～午後0時

(イ) 高齢者男性向け料理教室

高齢者の男性を対象とした料理教室を開催し、男性の家事参加の促進と生きがいつくりの一助を担った。

- ・延べ人員 291人
- ・実施回数 12回
- ・実施日 毎月第4火曜日 午前10時～午後0時

エ 介護相談

ケアマネジャーを招き、高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

- ・延べ人員 3人
- ・実施回数 12回
- ・実施日 毎月第1水曜日 午後1時30分～2時30分

オ 太極拳教室

高齢者の生きがいつくりや健康づくりの支援を目的に、太極拳教室を実施した。

- ・延べ人員 1,081人
- ・実施回数 41回
- ・実施日 毎週月曜日 午前10時00分～11時30分

カ 気功教室

高齢者の生きがいつくりや健康づくりの支援を目的に、気功教室を実施した。

- ・延べ人員 402人
- ・実施回数 23回
- ・実施日 毎週第2・第4水 午後2時～4時

キ 高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、30のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
陶芸(6講座)	76	172	1,343
ダンス(12講座)	209	508	6,923
カラオケ(3講座)	99	131	3,222

絵画（3講座）	22	49	359
将棋	25	91	1,602
太極拳（2講座）	74	60	2,069
料理	28	14	274
フラダンス	7	38	382
気功体操	13	25	380
合計	553	1,088	16,554

18 老人福祉センター泉寿園

(1) 利用状況

・年度中利用者数 (単位：人)

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
泉寿園利用者	27,714	29,540	30,583

・開館日数 開館日数 296日

・1日平均入場者 103.3人

・月別内訳

区分 月別	市内		市外 (人)	身障 者等 (人)	回数券利用			減免 利用 (人)	団体 割引 (人)	計 (人)	利用料 (円)	開館 日数 (日)
	60歳以上 (人)	一般 (人)			60歳以上 (人)	一般 (人)	市外 (人)					
4	480	40	56	291	1,305	27	30	277	—	2,506	228,800	25
5	496	47	65	365	1,324	12	38	258	—	2,605	207,500	23
6	596	39	74	337	1,403	12	43	268	—	2,772	236,400	26
7	495	38	70	337	1,346	5	38	321	—	2,650	204,100	25
8	591	47	53	402	1,389	8	36	194	—	2,720	235,400	27
9	561	28	48	445	1,147	6	31	590	—	2,856	182,200	24
10	494	25	47	328	1,191	18	28	225	—	2,356	186,500	24
11	595	49	47	341	1,194	0	27	324	—	2,577	192,400	24
12	623	64	49	331	1,147	11	25	180	—	2,430	221,800	26
1	583	58	49	357	1,138	18	27	235	—	2,465	204,600	23
2	498	55	48	319	972	5	29	262	—	2,188	168,200	23
3	598	43	58	392	1,150	9	34	174	—	2,458	178,800	26
計	6,610	533	664	4,245	14,706	131	386	3,308	—	30,583	2,446,700	296

(2) 事業実施状況

ア 機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用やマッサージ施術の実施を行った。

・延べ人員 18,996人

〔ヘルストロン使用者 13,832 人、マッサージ器使用者 5,085 人〕
 マッサージ施術 79 人

- ・実施回数 10 回
- ・実施日 毎月第 1 月曜日 午後 1 時 30 分～3 時

イ 健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

- ・延べ人員 266 人
- ・実施回数 45 回
- ・実施日 毎週木曜日 午後 2 時～3 時

ウ 介護相談

ケアマネジャーを招き、高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

- ・延べ人員 -人
- ・実施回数 12 回
- ・実施日 毎月第 1 金曜日 午前 10 時 30 分～11 時 30 分

エ 高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、24 のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
日光彫	21	23	393
ダンス(5講座)	18	181	764
太極拳(2講座)	26	78	624
カラオケ(5講座)	69	157	1,870
囲碁・将棋(4講座)	71	201	2,187
ヨガ	25	24	389
ちぎり絵(3講座)	16	52	233
舞踊	8	36	238
俳句(2講座)	11	21	104
合計	265	773	6,802

19 老人福祉センター福寿園

(1) 利用状況

- ・年度中利用者数 (単位：人)

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
福寿園利用者	24,147	24,618	23,661

- ・開館日数 開館日数 297 日
- ・1 日平均入場者 79.6 人
- ・月別内訳

区分 月別	市内		市外 (人)	身障 者等 (人)	回数券利用			減免 利用 (人)	団体 割引 (人)	計 (人)	利用料 (円)	開館 日数 (日)
	60歳以上 (人)	一般 (人)			60歳以上 (人)	一般 (人)	市外 (人)					
4	365	5	16	229	750	4	3	571	—	1,943	116,300	25
5	406	8	14	235	699	1	3	535	—	1,901	100,400	23
6	469	3	24	253	742	1	1	599	—	2,092	128,700	26
7	395	7	20	371	800	3	3	562	—	2,161	119,900	26
8	347	10	17	321	685	3	3	575	—	1,961	102,800	26
9	395	5	13	308	632	2	1	539	—	1,895	91,300	24
10	434	13	14	342	715	5	2	599	—	2,124	122,200	25
11	398	7	17	245	691	3	4	612	—	1,977	116,300	24
12	348	10	22	256	639	3	2	703	—	1,983	102,400	26
1	331	13	24	220	714	3	3	438	—	1,746	98,900	23
2	365	6	24	211	628	4	4	596	—	1,838	112,900	23
3	359	17	13	293	777	6	2	573	—	2,040	99,200	26
計	4,612	104	218	3,284	8,472	38	31	6,902	—	23,661	1,311,300	297

(2) 事業実施状況

ア 機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用を行った。

・延べ人員 11,039人

(ヘルストロン使用者 6,542人、マッサージ器使用者 4,497人)

イ 健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

・延べ人員 361人

・実施回数 36回

・実施日 毎週火曜日 午前11時～午後3時

ウ 介護相談

ケアマネジャーを招き、高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

・延べ人員 15人

・実施回数 12回

・実施日 毎月第2月曜日 午後1時30分～2時30分

エ 高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、6のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
太極拳(2講座)	24	76	542
囲碁	15	38	291

カラオケ	13	41	307
コーラス	8	33	282
大正琴	18	17	171
合 計	78	205	1,593

20 公益社団法人栃木市シルバー人材センター

(1) 年齢別会員登録状況

年齢別	性別		計(人)	構成比(%)
	男(人)	女(人)		
60歳未満	—	—	—	0.0
60～64	65	30	95	10.4
65～69	205	68	273	29.7
70～74	226	96	322	35.1
75～79	133	44	177	19.3
80歳以上	32	19	51	5.5
計	661	257	918	100.0
構成比(%)	72	28	100.0	
平均年齢(歳)	71.4	71.3	71.4	

(2) 職群別会員登録状況

職 群	性 別		計(人)	構成比(%)
	男(人)	女(人)		
植木手入れ、襖・障子の張替、大工、塗装、刃物研ぎ、自動車の運転等	191	13	204	22.3
宛名書き、毛筆筆耕、一般事務等	20	11	31	3.4
施設管理、駐車(輪)場管理	108	10	118	12.9
メーター検針、パンフレット配布、外交、調査等	9	2	11	1.2
除草、清掃、草刈り、屋内外の一般作業等	322	167	489	53.2
家事手伝い、病人介添、子守り等	11	54	65	7.0
計	661	257	918	100.0

(3) 発注者別実績

区 分	受注 件数(件)	就業延べ 人員(人)	契 約 金 額 (円)			
			配分金	材料費	事務費	合 計
公 共	1,340	21,089	78,873,731	9,712,147	7,882,627	96,468,505
民 間	2,512	51,585	206,213,165	7,101,917	20,484,658	233,799,740
一 般	5,985	22,152	95,739,287	20,474,789	9,557,059	125,771,135

独 自	22	210	452,460	159,648	20,364	632,472
合 計	9,859	95,036	381,278,643	37,448,501	37,944,708	456,671,852

(4) 職群別実績

区 分	受 注 件数(件)	就業延べ 人員(人)	契 約 金 額 (円)			
			配分金	材料費	事務費	合 計
専門技術	134	3,160	12,556,250	1,000	625	12,557,875
技 能	2,872	10,776	60,705,794	14,474,134	6,032,622	81,212,550
事務整理	104	730	3,883,269	224	388,309	4,271,802
施設管理	663	15,051	55,883,203	1,022,510	5,591,668	62,497,381
販売外交	77	1,050	3,910,535	47,000	368,216	4,325,751
軽 作 業	5,078	57,618	226,716,819	21,836,230	22,563,536	271,116,585
サービス	931	6,651	17,622,773	67,403	1,744,732	19,434,908
そ の 他	-	-	-	-	-	-
合 計	9,859	95,036	381,278,643	37,448,501	36,689,708	455,416,852

ねんりんピック推進担当

1 ねんりんピック栃木2014栃木市実行委員会設立総会・第1回総会

ねんりんピック栃木2014を来年度開催するにあたり、円滑な大会運営を図るため「ねんりんピック栃木2014栃木市実行委員会」を設立した。

- ・日 時 5月13日(月) 午前10時30分～午前11時30分
- ・会 場 栃木市総合体育館 会議室
- ・議 事 会則、役員・委員の委嘱、平成25年度事業計画・予算等

2 ねんりんピック栃木2014栃木市常任委員会

常任委員会において、本大会開催に向けた準備の進行状況の報告や協議事項の検討を行った。

(1) 第1回常任委員会

- ・日 時 5月13日(月) 午前11時30分～午後0時
- ・会 場 総合運動公園総合体育館 会議室
- ・議 事 事務局規程、開催スケジュール等

(2) 第2回常任委員会

- ・日 時 1月15日(水) 午後2時～午後3時
- ・会 場 国府公民館 中会議室
- ・議 事 リハーサル大会、高知大会の視察結果、開催要領等

3 テニス専門委員会

専門委員会を開催し、栃木県テニス協会と競技に関する事項の検討を行った。

(1) 第1回専門部会

- ・日 時 8月5日(月) 午後7時～午後8時
- ・会 場 栃木市吹上公民館 中会議室
- ・議 事 歓迎レセプション、監督会議・開始式、種目別開催要領等

(2) 第2回専門委員会

- ・日 時 12月4日(水) 午後7時～午後8時
- ・会 場 総合運動公園総合体育館 会議室
- ・議 事 高知大会視察結果、競技ボランティア、必要物品等

(3) 第3回専門委員会

- ・日 時 3月12日(水) 午後8時00分～午後9時00分
- ・会 場 総合運動公園総合体育館 会議室
- ・議 事 担当係長会議資料の作成、大学生審判等

4 ねんりんピック栃木2014リハーサル大会

(日本スポーツマスターズ2013栃木県予選)

既存の大会において、審判員・運営役員のリハーサルを行った。また、参加者には市の観光PR等を行った。

- ・日 時 7月6日(土) 午前9時15分～午後2時30分
- ・会 場 総合運動公園 テニスコート
- ・参加者 37人

5 ねんりんピックよさこい高知2013視察(テニス競技)

高知大会において、競技の運営や会場の設営、おもてなしコーナー、健康コーナー等を視察した。

- ・期 間 10月26日(土)～29日(火)
- ・視察地 高知県高知市(高知市文化プラザかるぼーと、高知県立春野総合運動公園テニスコート)
- ・内 容 監督会議、合同開始式、競技会場、表彰式等

地域支援担当

1 地域包括支援センター設置状況

栃木地域包括支援センター	栃木市万町 9-25	市役所 2階
吹上地域包括支援センター	栃木市吹上町 782-1	吹上公民館内
(皆川地区包括支援センター	栃木市皆川城内町 699	皆川公民館内)
(寺尾地区包括支援センター	栃木市梅沢町 1183	寺尾公民館内)
国府地域包括支援センター	栃木市惣社町 228-1	国府公民館内
(大宮地区包括支援センター	栃木市大宮町 422-1	大宮公民館内)

※ () は地域包括支援センターを補完するサブセンター。

2 介護予防事業

(1) 二次予防事業

ア 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

※以下「吹上」には、皆川・寺尾、「国府」には、大宮を含む。

・二次予防事業対象者把握状況 (単位：人)

	栃木	吹上	国府	計
チェックリスト	1,228	530	556	2,314
その他	-	-	-	-
合計	1,228	530	556	2,314

※その他は訪問等により対象者を把握した人数

・介護予防サービス計画書作成状況 (単位：人)

	栃木	吹上	国府	計
作成者数	71	46	32	149

イ 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、口腔機能向上、複合型機能向上、閉じこもり予防等の教室を実施し、要介護状態等となることの予防及び自立した生活を送るための支援を行った。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		計	
	回	延人数	回	延人数	回	延人数	回	延人数
運動器機能向上	-	-	-	-	16	93	16	93
口腔機能向上	-	-	-	-	8	23	8	23
複合型機能向上	20	165	10	136	10	56	40	357
複合型その他	20	128	10	132	-	-	30	260
閉じこもり予防	48	89	47	208	46	199	141	496
合計	88	382	67	476	80	371	235	1,229

ウ 訪問型介護予防事業

心身の状況により通所が困難な二次予防事業対象者を対象に、看護師、歯科衛生士が訪問し相談指導を行った。また、二次予防事業対象者になるおそれのある高齢者を対象に看護師が訪問し生活機能低下予防の相談指導を行った。

・実施状況

(単位：件)

		二次予防事業対象者				二次予防事業対象者になる おそれのある高齢者			
		栃木	吹上	国府	計	栃木	吹上	国府	計
対象者数		35	3	5	43	13	6	5	24
訪問回数	看護師	78	28	27	133	64	46	23	133
	歯科衛生士	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	78	28	27	133	64	46	23	133

(2) 一次予防事業

ア 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		計	
	回	延人数	回	延人数	回	延人数	回	延人数
運動器機能向上	75	1,020	40	878	62	1,083	177	2,981
栄養改善	2	35	4	134	8	155	14	324
口腔機能向上	1	30	3	52	14	148	18	230
閉じこもり予防	48	145	40	144	41	179	129	468
その他	50	584	40	799	37	733	127	2,116
合計	176	1,814	127	2,007	162	2,298	465	6,119

イ 地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得できる機会を設け、地域活動の人材育成や自主グループ活動支援を行った。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		合同		計	
	回	延人数								
地区組織活動支援	-	-	1	35	1	38	-	-	2	73
自主グループ活動支援	-	-	-	-	-	-	1	17	1	17
ますます元気サポーター養成講座	12	323	-	-	-	-	-	-	12	323
認知症サポーター養成講座	1	14	3	43	9	404	-	-	13	461
合計	13	337	4	78	10	442	1	17	28	874

ウ はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちになり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図

った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 栃木地域に居住するおおむね65歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館・集会場・広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 21センター（21自治会）
- ・委託料 4,870,000円
- ・実施回数及び人数 延べ 3,164回、29,840人

3 包括的支援事業

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。また、要支援状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況（単位：件）

	栃木	吹上	国府	計
地域包括支援センターによる作成件数	71	46	32	149

・要支援1・2の介護予防サービス計画作成状況（単位：件）

	栃木	吹上	国府	計
地域包括支援センターによる作成件数	4	5	3	12
事業者委託件数	119	104	121	344
合計	123	109	124	356

・サービス担当者会議実施状況（単位：回）

	栃木	吹上	国府	計
地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加	264	93	80	437

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況（単位：件）

	栃木	吹上	国府	計
地域包括支援センター作成件数	11	19	3	33

(2) 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況 (単位：件)

	栃木	吹上	国府	計
面接	163	181	133	477
電話相談	1,141	795	507	2,443
家庭訪問	1,257	797	596	2,650
合計	2,561	1,773	1,236	5,570

(3) 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、高齢福祉担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況 (単位：件)

	栃木	吹上	国府	計
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	18	39	39	96
高齢者虐待に関すること	46	24	42	112
高齢者虐待ケース会議	6	4	3	13
合計	70	67	84	221

(4) 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

4 任意事業

(1) 家族介護支援事業

介護に携わる家族が、適切な介護知識、技術、サービス利用方法等を習得できるよう支援した。また、在宅介護の苦勞、精神的な負担を軽減することを目的とした支援教室を開催した。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		合同		計	
	回	延人数 (人)	回	延人数 (人)	回	延人数 (人)	回	延人数 (人)	回	延人数 (人)
家族介護支援事業	-	-	2	32	1	10	1	10	4	52

(2) 地域自立支援事業 (24時間通報体制)

高齢者のいる世帯の家庭内事故等による通報に随時対応するため、地域包括支援センターの夜間等の対応について、市内の社会福祉法人(星風会、昭仁会、幸生会)に相談業務を委託した。

(3) 地域見守り支援事業

高齢者の福祉の向上を図るため、保健・福祉・医療などの関係機関が協力し、介護予防・生活支援サービスの総合調整及び地域包括ケアを目指したシステムの検討を目的として実施した。

・高齢者ネットワーク推進会議（役員会3回・全体会3回・研修会5回）

認知症への理解を促進し、地域で見守り支え合う体制づくりの基礎とするため、市民公開講座を開催した。また、市職員を対象に認知症サポーター養成講座を5回開催した。

第6節 介護保険課

〔総括概要〕

介護保険課における主な分掌事務は、介護保険法に基づいて、高齢者の自立した生活を支援し、介護保険事業の適正な運営に努めることである。

介護保険担当では、サービス利用者に対する介護給付費の支給事務や低所得者負担の軽減対策、利用者の苦情処理及び地域密着型サービス事業所の整備・指定・更新事務等を実施した。

老人福祉施設の整備については、公募により必要な施設整備を進め、泉川町に定員29人の小規模特別養護老人ホームとちぎ泉川を開設した。

介護認定担当では、要介護（要支援）認定申請の受付、介護認定訪問調査、介護認定審査会事務等を実施し、適正・公正な要介護認定を行った。

介護保険担当

1 介護保険被保険者数

第1号被保険者（65歳以上） 39,229人（平成26年3月31日現在）

2 保険給付状況

介護保険のサービスを受けた費用のうち、原則9割を保険者（市）が給付した。

(1) 居宅介護サービス給付費

要介護者が指定居宅サービス事業者の行う在宅サービスを受けた際に、介護保険法第41条に基づき、居宅介護サービス費を給付した。

・給付状況

（単位：円）

サービスの種類	給付額
訪問介護	704,256,066
訪問入浴介護	81,037,384
訪問看護	120,667,737
訪問リハビリテーション	6,912,519
通所介護	1,848,669,310
通所リハビリテーション	502,788,253
福祉用具貸与	268,437,908
短期入所生活介護	513,603,625
短期入所療養介護	68,956,733
居宅療養管理指導	18,151,209
特定施設入居者生活介護	200,907,986
特定施設入居者生活介護（短期利用型）	433,530
合計	4,334,822,260

(2) 介護予防サービス給付費

要支援者が指定介護予防サービス事業者の行う介護予防サービスを受けた際に、介護保険法第53条に基づき、介護予防サービス費を給付した。

・給付状況 (単位：円)

サービスの種類	給付額
介護予防訪問介護	63,132,593
介護予防訪問看護	2,556,773
介護予防訪問リハビリテーション	1,587,941
介護予防通所介護	112,036,318
介護予防通所リハビリテーション	48,701,425
介護予防福祉用具貸与	8,641,899
介護予防短期入所生活介護	2,997,955
介護予防短期入所療養介護	45,383
介護予防居宅療養管理指導	63,693
介護予防特定施設入居者生活介護	8,502,798
合計	248,266,778

(3) 地域密着型介護サービス給付費

要介護者が指定地域密着型サービス事業者の行う地域密着型サービスを受けた際に、介護保険法第42条の2に基づき、地域密着型介護サービス費を給付した。

・給付状況 (単位：円)

サービスの種類	給付額
認知症対応型共同生活介護	612,837,888
短期認知症対応型共同生活介護	179,341
地域密着型介護老人福祉施設（特養）	275,849,384
認知症対応型通所介護	22,000,360
小規模多機能型居宅介護	255,818,768
合計	1,166,685,741

(4) 地域密着型介護予防サービス給付費

要支援者が指定地域密着型予防サービス事業者の行う地域密着型予防サービスを受けた際に、介護保険法第54条の2に基づき、地域密着型介護予防サービス費を給付した。

・給付状況 (単位：円)

サービスの種類	給付額
介護予防認知症対応型共同生活介護	3,172,514
介護予防小規模多機能型居宅介護	6,707,657
合計	9,880,171

(5) 施設介護サービス給付費

要介護者が介護保険施設に入所して施設サービスを受けた際に、介護保険法第48条に基づき、施設介護サービス費を給付した。

・ 給付状況 (単位：円)

サービスの種類	給付額
介護老人福祉施設サービス	1,737,660,854
介護老人保健施設サービス	1,241,782,441
介護療養型医療施設サービス	49,475,565
合 計	3,028,918,860

(6) その他の給付費

・ 給付状況 (単位：円)

サービスの種類	給付額
居宅介護サービス計画費	498,083,777
介護予防サービス計画費	32,852,496
福祉用具購入費	14,774,774
介護予防福祉用具購入費	2,243,392
住宅改修費	37,360,220
介護予防住宅改修費	10,544,013
高額介護（介護予防）サービス費	156,123,886
高額医療合算介護（介護予防）サービス費	18,063,176
特定入所者介護（介護予防）サービス費	320,441,780
特例居宅介護サービス費	618,356
合 計	1,091,105,870

介護認定担当

1 要介護認定の実施状況 (単位：件)

申請件数				調査件数	審査会回数	認定件数
新規	更新	変更	計			
2,051	3,890	596	6,537	6,196	300	6,159

2 要介護度分布状況（平成26年3月31日現在） (単位：人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
502	689	1,296	1,249	1,033	917	844	6,530

第7節 健康増進課

〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、健康診査事業、予防接種事業、救急医療対策事業、栃木市健康21計画推進事業、母子保健事業、健康づくり事業である。

健康診査事業では、健康診査、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診及びがん検診等を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、衛生部門として、特定健康診査、特定保健指導及び後期高齢者健康診査を実施するとともに、国の事業としてのがん検診推進事業で、子宮頸がん検診、乳がん検診及び大腸がん検診の無料クーポン券を発行し、受診勧奨を行った。

さらに、ウェブサイトを利用した栃木県保健衛生事業団のモデル事業を導入し、受診率向上に努めた。

予防接種事業では、感染症のまん延防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種、高齢者に対するインフルエンザ予防接種を実施し、任意予防接種の小児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌についても接種費用の助成を行ったほか、風しん予防緊急対策事業として風しん抗体検査、風しん予防接種、麻しん風しん混合予防接種を実施した。

救急医療対策事業では、初期救急医療体制及び二次救急医療体制の確保に努めた。

栃木市健康21計画推進事業では、関係団体と連携し重点領域における健康づくりを推進し、普及事業として「元気もりもり明るいちぎ」をスローガンに、市民健康まつりを開催した。また、生活習慣等に関するアンケートを基に、策定部会、関係機関等と会議において検討し、栃木市健康増進計画を策定した。さらに歯科保健推進のため、栃木市歯及び口腔の健康づくり推進条例を制定した。

母子保健事業では、母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、母子健康手帳の交付、未熟児養育医療の給付、妊婦・乳幼児健康診査、各種子育て教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見・早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び小・中学校と連携した性(生)教育を実施した。

健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する相談及び教育事業を実施した。自殺予防対策事業として、ゲートキーパー研修会やこころの健康相談、自殺予防の普及啓発街頭キャンペーンを実施した。

保健予防担当

1 特定健康診査（各総合支所分を含む） （単位：人）

健診区分	受診者数	保健指導区分		
		情報提供	動機付支援	積極的支援
集団	5,210	4,553	466	191
個別	2,335	2,159	123	53
合計	7,545	6,712	589	244

2 がん検診等事業（各総合支所分を含む）

(1) がん検診

区 分	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	異常なし (人)	要精検 (人)	精検不要 (人)	判定不能 (人)
胃がん	83	44,684	5,186	11.6	4,264	537	385	-
肺がん	83	44,684	7,302	16.3	6,015	191	1,096	-
大腸がん	87	44,684	8,159	18.3	7,690	469	-	-
前立腺がん	64	16,962	3,232	19.1	2,994	238	-	-
子宮がん(頸)	83	33,667	3,645	14.7	3,550	45	50	-
子宮がん(頸)	(医療機関)		1,313		1,219	53	40	1
子宮がん(体)		33,667	600	1.8	597	3	-	-
乳がん	83	31,227	5,338	17.7	2,944	417	1,977	-
	(医療機関)		203		175	23	5	-

(2) 肝炎ウイルス検査

区 分	受診者数(人)	要精検(人)	対象者数(人)	受診率(%)
B+C型	1,827	13	79,488	2.3
B型のみ	10	-		
C型のみ	1	-		

(3) 骨粗しょう症検診

年齢	項目	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳(人)		
					正常範囲	要指導	要精検
20・25歳女		1,316	2	0.2	1	1	-
30・35歳女		1,547	28	1.8	23	5	-
40歳女		1,017	158	15.5	130	26	2
45歳女		928	121	13.0	103	18	-
50歳女		768	81	10.5	63	16	2
55歳女		988	133	13.5	71	54	8

60歳女	1,108	158	14.3	55	77	26
65歳女	1,393	278	20.0	66	161	51
70歳女	1,084	189	17.4	43	96	50
60歳男	1,102	49	4.4	27	17	5
65歳男	1,385	133	9.6	72	43	18
70歳男	1,016	123	12.1	69	36	18
計	13,652	1,453	10.6	723	550	180

(4) 歯周疾患検診（各総合支所分を含む）

区分	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要指導(人)	要精検(人)
30歳	1,484	111	7.5	9	5	97
35歳	1,747	156	8.9	9	4	143
40歳	2,197	210	9.6	6	6	198
45歳	1,866	141	7.6	11	3	127
50歳	1,610	178	11.1	8	7	163
55歳	1,948	193	9.9	14	1	178
60歳	2,212	234	10.6	12	7	215
65歳	2,779	371	13.4	15	5	351
70歳	2,101	270	12.9	20	4	246
計	17,944	1,864	10.4	104	42	1,718

3 後期高齢者健康診査（各総合支所分を含む）

（単位：人）

健診区分	受診者数
集団	1,261
個別	3,237
合計	4,498

4 健康診査事業（健康増進法による健診）（各総合支所分を含む）

健康増進法に基づき、胃がん等の各種がん検診をはじめ、歯周疾患検診や骨粗しょう症検診などを行った。

(1) 健康診査（健康増進法による）

・受診者数 13人

(2) 集団検診実施状況

・集団健診実施回数 87回

・集団健診実施場所 各保健福祉センター等及び各地区公民館等

5 予防接種事業

小児の感染症予防のため、各種の定期予防接種及び任意の小児インフルエンザ予防接

種並びに定期の高齢者インフルエンザ及び任意の肺炎球菌予防接種、また風しん予防緊急対策事業としての風しん抗体検査、風しん予防接種及び麻しん風しん混合予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

個別接種（各総合支所分を含む）

※平成24年9月1日より急性灰白髄炎（ポリオ）の予防接種が、集団接種から個別接種へ切り替えとなり、平成25年度は個別接種のみの実施となった。

ア B．C．G

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
960	787	82.0

イ 三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）

(ア) 1期初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 20日～56日の間隔で3回
- ・接種状況

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	-	9	-
2回目	-	24	-
3回目	-	47	-

(イ) 1期追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
-	926	-

ウ 二種混合（ジフテリア・破傷風）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 11歳以上13歳未満の者（小学校6年生）

・回数 1回

・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,382	1,216	88.0

エ 麻しん・風しん（混合）

(7) 1期

・実施期間 通年

・接種方法 協力医療機関で個別実施

・対象 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者

・回数 1回

・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
978	954	97.5

(イ) 2期

・実施期間 通年

・接種方法 協力医療機関で個別実施

・対象 5歳～7歳未満の子で、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者（幼稚園・保育園等の年長児）

・回数 1回

・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,205	1,183	98.2

オ 日本脳炎

3歳、7歳及び8歳児に対し1期を、18歳の年齢の者に対し2期の積極的接種勧奨を行った。

(7) 1期初回

・実施期間 通年

・接種方法 協力医療機関で個別実施

・対象 生後6月から生後90月に至るまでの間にある者及び予防接種法で定める特例対象者

・回数 6日から28日までの間隔で2回

・接種状況

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	2,597	1,449	55.8
2回目	2,597	1,467	56.5

(イ) 1期追加

・実施期間 通年

- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1期初回接種終了後おおむね1年経過した90月未満の者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
2,597	2,054	79.1

(ウ) 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 予防接種法で定める特例対象者で、1期接種3回を終了している20歳未満の者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,038	519	50.0

カ 急性灰白髄炎（ポリオ）

(ア) 1期初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者（生ポリオ2回終了した者は除く）
- ・回数 20日以上の間隔をおいて3回～2回（平成24年9月1日より前の接種歴に応じた回数）
- ・接種状況

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	-	79	-
2回目	-	200	-
3回目	-	288	-

(イ) 1期追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
-	971	-

キ 四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）

(ア) 1期初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 20日～56日の間隔で3回
- ・接種状況

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	1,176	1,083	92.1
2回目	1,176	1,086	92.3
3回目	1,176	1,067	90.7

(イ) 1期追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
181	113	62.4

ク Hib感染症

(ア) 初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回数 27日～56日の間隔で3回
- ・接種状況

	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	2,108	1,341	63.6
2回目	2,108	1,019	48.3
3回目	2,108	920	43.6

(イ) 追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
2,108	1,114	52.8

ケ 小児の肺炎球菌感染症

(ア) 初回

- ・実施期間 通年

- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回数 27日以上の間隔で3回
- ・接種状況

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	2,108	1,394	66.1
2回目	2,108	1,079	51.2
3回目	2,108	959	45.5

(イ) 追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
2,108	852	40.4

コ 子宮頸がん予防

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子
- ・回数 3回
- ・実施状況

	対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	843	206	24.4
2回目	843	94	11.2
3回目	843	83	9.8

※平成25年6月14日より積極的接種勧奨を中止している。

サ 高齢者インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～2月28日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①65歳以上の希望者
②60歳から65歳未満の者の内、身体障害者1級程度の者で、接種を希望する者
- ・回数 1回
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
38,020	22,112	58.2

(2) 任意予防接種

ア 小児インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～2月28日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 満1歳から小学校就学前の小児
- ・回数 年度内に2回まで
- ・接種費用 1回あたり2,000円助成
- ・実施状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
6,498	4,277	65.8

イ 高齢者肺炎球菌

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 接種時70歳以上の方
- ・回数 生涯1回
- ・接種費用 3,500円助成
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
25,580	1,983	7.8

(3) 風しん予防緊急対策事業

- ・実施期間 4月26日～3月31日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 平成6年4月1日以前生まれの方のうち
 - ①妊娠を予定または希望している50歳未満の女性およびその夫
 - ②妊娠している女性の夫

ア 風しん抗体検査

- ・回数 1回
- ・検査費用 2,000円助成
- ・受診状況

申請者数（人）	受診者数（人）
776	461

イ 風しん予防接種

- ・回数 1回
- ・接種費用 3,000円助成
- ・接種状況

申請者数（人）	被接種者数（人）
1,343	50

ウ 麻しん風しん混合予防接種

- ・回数 1回
- ・接種費用 5,000円助成
- ・接種状況

申請者数（人）	被接種者数（人）
1,343	682

6 感染症予防啓発事業

記事内容	掲載時期
風しん予防	「広報とちぎ」5月号に掲載
風邪、季節性インフルエンザの予防	「広報とちぎ」10、12月号に掲載
重症熱性血小板症候群（SFTS）の予防	「広報とちぎ」10月号に掲載
ノロウイルス予防	「広報とちぎ」12月号に掲載
H I V抗体検査、性感染症検査の実施	「広報とちぎ」12月号に掲載

7 市民健康まつり開催事業

市民の健康増進のため、市民健康まつりを開催した。

・実施日 12月1日（日）

健康ポスター（優秀作品）展示は、12月1日（日）～6日（金）

・会場 栃木中央小学校体育館、とちぎ蔵の街観光館多目的ホール

番号	協力団体名	実施内容	参加者(人)
1	医師会	市民公開講座	60
		相談等	590
		肺活量測定	66
		動脈硬化測定	87
2	歯科医師会	相談等	217
3	薬剤師会	相談等	250
		C o測定	150
4	歯科技工士会	相談等	85
5	歯科衛生士会	ブラッシング指導等	-
6	栄養士会	栄養指導	72
7	食生活改善推進団体連絡協議会	塩分クイズ等	270
8	母子保健推進員協議会	手作りおもちゃ配布等	140
9	鍼灸按摩マッサージ指圧師会	鍼・マッサージ体験	60
10	J A しもつけ栃木農産物直売所	新鮮野菜の販売	120
11	N P O 法人 蔵の街ウェイブ	豚汁販売等	100
12	下都賀総合病院	骨密度測定等	145
13	栃木健康福祉センター	自殺予防P R	382
14	県南地区里親会	里親会のP R	200
15	保険医療課	特定健診P R	363

16	健康増進課	健診・予防接種相談等	167
		健康増進事業啓発	478
		抽選会	651
		健康ポスター展示	-
合 計			4,653

8 救急医療対策事業

(1) 初期救急医療

ア 栃木地区急患センター

- ・診療時間 休日………午前9時～午後9時 内科・外科
平日夜間…午後7時～午後10時 内科
- ・管理運営 栃木市医師会（指定管理者）

利 用 施 設	日数（日）	件数（件）
栃木地区急患センター	365	6,237

イ 小児救急医療

- ・診療時間 日曜日 午後7時～午後9時
- ・診療場所 とちの木病院
- ・医師 市内小児科医による当番制
- ・委託先 とちぎメディカルセンター

利 用 施 設	日数（日）	件数（件）
とちの木病院	52	648

(2) 二次救急医療

ア 病院群輪番制病院

病院群輪番制に参加する3病院（下都賀総合病院、獨協医科大学病院、とちの木病院）に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

また、獨協医科大学病院に対し、設備整備に係る費用について補助金を交付した。

利 用 施 設	日数（日）	件数（件）
病院群輪番制病院(3病院)	365	11,692

イ 小児二次救急医療

小児二次救急医療機関に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利 用 施 設	日数（日）	件数（件）
獨協医科大学病院	365	4,287

9 献血推進事業

血液製剤の安定供給確保のため、献血事業を行った。

実施日数 (日)	受付 (人)	200ml献血 (人)	400ml献血 (人)	成分献血 (人)	献血者計 (人)	不適格者 (人)
4	190	32	95	25	152	38

10 栃木保健福祉センター利用状況（当課事業及び市関係団体の通年使用を除く）
（単位：人）

区 分	大会議室	検診ホール	集会室	その他	合 計
利用者数	6,941	2,773	60	1,195	10,969

健康づくり担当

1 健康21計画推進及び健康増進計画策定事業

5つの重点領域（①栄養・食生活、②運動・身体活動、③喫煙、④自殺、⑤健康診断・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取り組みを行い、関係機関と連携し、市民が主体的に健康づくりに取り組めるように環境を整備した。また、合併後の健康づくりを推進するための基本方向を示す指針となる、新たな健康増進計画を策定した。

(1) 主な取組

- ・妊産婦や乳幼児のいる家庭への受動喫煙の害等の啓発
- ・3歳児健診において食生活アドバイス
- ・乳幼児健診等において健康情報の提供
- ・子ども料理コンクール栃木支部出展作品の発表会及びレシピ集作成
- ・健康まつりに合わせて小学生から自殺を除く4領域のポスター募集と展示
- ・健康増進計画策定部会及び庁内推進実務者の合同会議の開催

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした者等に対し、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケート及び個別面接を実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じ、相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

- ・受理及び交付状況（栃木地域分）（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
	妊娠届出	双 胎	紛失等	
522	561	522	10	29

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査（各総合支所分を含む）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、

医療機関に委託して実施)

・受診状況

(単位：人)

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	
受診者数	931	879	881	906	912	924	907	
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	計
受診者数	929	879	815	871	688	503	292	11,317

イ 妊婦歯科健康診査（各総合支所分を含む）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

対象数（人）	受診者数（人）	受診率（％）
1,008	334	33.1

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進及び疾病の早期発見を目的に健康診査を実施し、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により、育児不安の軽減を図った。1歳6か月児及び3歳児健診においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	18	532	523	98.3	86	15	3	7
乳児健康診査 (9か月児)	18	527	522	99.1	86	13	2	11
1歳6か月児 健康診査	20	511	508	99.4	249	8	1	4
3歳児 健康診査	20	571	551	96.5	203	29	40	31

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見とう歯予防知識の普及を目的に、歯科健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児相談を行った。

(ア) 歯科健康診査

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
12	570	522	91.6	23 (4.4%)

(イ) 保健師による2歳児育児相談

・参加者延べ人数 193人

オ 乳幼児発達相談（二次健診）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児

に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

開催回数 (回)	受診児数 (人)			結果内訳 (人)		
	初診	再診	計	今回のみ指導	経過観察	要治療・要精査
12	74	3	77	11	57	9

カ 乳児先天性股関節脱臼検診（各総合支所分を含む）

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)		
			異常なし	要経過観察	要治療
971	913	94.0	800	108	5

(3) 健康教育

ア 両親（母親）教室

妊婦と夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供するとともに、夫の妊婦擬似体験やおふろの入れ方等の体験学習を行った。また、先輩ママを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

・実施数 3回1コース（年5コース）

・参加者 (単位：人)

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ
132	79	2	86

イ すくすく教室（子育て支援教室）

3～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施回数 10回

・参加者延べ数 190組

・内容 ふれあい遊び、絵本の読み聞かせ、子育てアドバイス等

ウ 健診事後教室（ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ）

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

	対象月齢	回数 (回)	参加者延べ数 (組)
ちゃいちゃいぐるーぷ	3歳未満児	18	195
ぺんぎんぐるーぷ	3歳～就学前	12	134

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、中学生を対象に、性（生）教育の授業協力及び講演会を行った。

対 象		実施回数	参加人数（人）	
			生徒	保護者
授業協力	中 学 校	1校（2回）	399	-

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 18回（9か月児健康診査時）
- ・参加者延べ数 522組

カ フッ素塗布事業

歯と口の健康週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と栃木市、岩舟町、壬生町で共催して、小学1年生と年長児を対象にフッ素塗布及び歯科医師による講演、歯の健康相談を行った。（年1回）

- ・フッ素塗布者数 (単位：人)

小学1年生	年長児	合計
274	222	496

キ よい歯のコンクール（各総合支所分を含む）

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール（3歳児の部、親と子の部）を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの一次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の二次審査に推薦した。

- ・3歳児の部参加者 25人（県南地区への推薦は5人）
- ・親と子の部参加者 1組（県南地区への推薦は1組）

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談のほか、7か月から離乳完了期までの児とその保護者に対し、離乳食指導を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 136組

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がいの早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

- ・実施状況 (単位：人)

受診数	結 果 内 訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	二次健診・ 医療機関紹 介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
659	515	7	48	31	48	10

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 170件
- ・指導延べ数 211件

エ こんにちは赤ちゃん事業（各総合支所分を含む）

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問実数 450件
- ・訪問延べ数 480件

(5) 未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下または生活力が薄弱な未熟児に対し、指定医療機関に委託し、養育に必要な医療の給付を行った。（県からの権限移譲により平成25年度開始）

- ・給付認定者数 29件

(6) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（栃木地域73人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談、乳幼児健診等の受診勧奨を行ったほか、地区公民館等で地域の子どもと親同士の交流を図るため、ふれあいのつどい等を開催した。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

- ・活動実績 (単位：件)

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	計
件数	356	1,006	1,362

また、会員相互の連携を図り母子保健の向上に寄与するため、栃木市母子保健推進員協議会を市全体で設置し、研修や交流を行った。（母子保健推進員総数125人）

3 健康づくり事業

(1) 特定保健指導等事業

ア 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	初回指導率(%)
積極的支援	113	51	45.1
動機付け支援	298	144	48.3
合計	411	195	47.4

イ メタボ予防講座

メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養・運動指導を行った。

(7) 運動編

- ・実施回数 13回

- ・参加延べ人数 特保該当者62人、情報提供者153人

(イ) 栄養編

- ・実施回数 8回
- ・参加延べ人数 特保該当者51人、情報提供者 55人

ウ 健診結果説明会

健診結果を正しく理解し自分の生活習慣を見直すため、説明会を行った。

- ・実施回数 9回
- ・参加人数 147人

(2) 健康教育

ア 健康あっぷ講座

生活習慣病予防のため、一般市民を対象に栄養改善や運動指導を行った。

- ・実施回数 7回
- ・参加延べ人数 155人

イ 禁煙支援相談

禁煙を希望する者に対し、3か月間の継続的な個別支援を行い、個人に合った方法で禁煙を支援した。

- ・支援者数 11人

ウ 職域健康教育

地域で働く人を対象に健康教育を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 36人

エ 出前講座

地域の要望に応じて健康教育を行った。

- ・実施回数 5回
- ・参加人数 164人

(3) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 17回（不定期及び特定保健指導対象外13回含む）
- ・延べ相談者数 17人
- ・内 容 保健師・管理栄養士による個別相談

(4) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 9回（不定期5回含む）
- ・延べ相談者数 12人
- ・内 容 管理栄養士による個別指導

(5) 脳卒中啓発プロジェクト

栃木県では、脳卒中初期症状を早期に発見し治療につなげられるよう、脳卒中啓発プロジェクトを実施している。本市においても脳卒中予防に関するチラシの配布、DVDの放映等啓発活動を実施した。

事業名	実施回数（回）	啓発資料配布数（部）	DVD放映
市民公開講座	1	73	-
特定保健指導	1	11	-
乳幼児健診	17	492	-
母子保健推進員役員会	1	16	○
健康まつり	1	97	○

4 自殺予防対策事業

(1) 自殺予防ゲートキーパー研修会

ますます元気サポーター、地域協議会委員等を対象に、住民の身近な相談者として、ゲートキーパーの役割を理解することで、こころの悩み・サインに気づき、自殺予防を図ることを目的とし、研修会を実施した。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 1回
- ・参加人数 28人

(2) こころの健康相談

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、カウンセラーによるうつ、ストレス、不眠等の心の健康相談を実施した。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 10回
- ・参加人数 20人

(3) 自殺予防普及啓発街頭キャンペーン（県共催）

自殺等の正しい知識の普及啓発と身近な相談機関の周知を図るため、街頭においてポケットティッシュ等を配布した。

- ・会 場 栃木駅、イオン栃木店
- ・実施回数 2回
- ・配 付 数 2,000人分

(4) メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」

パソコンや携帯電話を活用し、自分のこころの健康状態をチェックすることができ、心の疾患の早期発見・早期予防につなげることを目的として市のホームページに、こころの健康状態がわかるメンタルヘルスチェックシステムを導入した。

- ・アクセス数 41,332件（平成25年9月～平成26年3月）

5 地域保健対策推進事業

(1) 食生活改善事業

ア 栃木市食生活改善推進団体連絡協議会（各総合支所分を含む）

会員相互が連携し地域の食生活改善推進を図るため、研修会等を実施した。

- ・会員数 144人
- ・実施回数 2回

- ・参加延べ人数 131人

イ 栃木市食生活改善推進団体連絡協議会栃木支部

地域住民を対象に食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会等を行った。

- ・会員数 51人
- ・各講習会 32回
- ・参加人数 2,125人

(2) 自主グループ活動支援

ア 健康あっぷフォロー教室

健康あっぷ講座修了者を対象とした自主活動の立ち上げに向けて、ストレッチ等の運動指導を行った。

- ・実施回数 20回
- ・参加延べ人数 103人

6 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・保健師訪問指導数 537人
- ・内訳（延べ人数）

（単位：人）

精神保健	妊産婦	乳幼児	新生児	未熟児
60	112	283	30	36

第 6 章 産業振興部

第 1 節 商工観光課

〔総括概要〕

わが国の経済は、政府の経済政策などにより、景気の回復傾向がみられるが、実体感としてはまだまだ厳しいとの声も多い。県内では、景気持ち直しの動きが続いており、足利銀行が東証一部再上場を果たすなど明るい話題もみられた。

商業に関する施策については、栃木商工会議所、地元商店会等とともに各種イベントの開催、空き店舗活用促進事業補助金をはじめとする産業支援補助金の交付などにより、商業の振興並びに中心市街地活性化に向けた取組みを行った。

また、市内中小企業者の資金調達を引き続き支援するため、市制度融資の利用促進を図るとともに、経営安定関連保証の認定業務を行った。

工業に関する施策については、工場立地法に基づく申請に対し指導を行い、適切な立地の促進に努めるほか、産学官連携による蔵の街トライアングルネットワークを推進した。

また、砂利、岩石等の採取に関する認可申請業務を行うとともに、陸砂利採石監視員による定期的な監視活動を実施し、採取場や周辺地域における事故の発生及び不法採取の未然防止に努めた。

労働に関する施策については、東日本大震災に対応した雇用相談窓口を設置するほか被災者の就労支援を行った。また、国の交付金を活用した緊急雇用対策事業を行い、失業者に対する雇用の創出に努めた。

また、労働諸団体等への支援、市民会館をはじめとする勤労者福祉施設の管理運営事業を実施するほか、中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木広域中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着を図った。

中小企業支援施策としては、産業財産権取得に対しその費用の一部を補助する制度を創り、取得の促進を図った。

観光に関する施策については、恵まれた自然環境と豊かな観光資源を有効に活用し、各種宣伝事業をはじめ、「太平山桜まつり」、「とちぎあじさいまつり」、「蔵の街サマーフェスタ」などのまつり・イベントの開催、さらに、ロケの支援、観光キャンペーンの実施など、多方面にわたって積極的に誘客活動に取り組んできた。

また、合併により多くの観光資源を有することとなった、本市の観光の現状と課題を抽出・分析し、観光振興の指針を示すとともに体系的な施策の展開を図るため「栃木市観光基本計画」を策定した。

商工振興担当

1 商業振興

(1) 第 36 回栃木市の産業と物産展

本市の産業と物産の発展を目的として、本市の誇る生産品と物産品等を広く紹介する第 36 回栃木市の産業と物産展を商工会議所との共催で開催した。

- ・実施日 11 月 2 日(土)、3 日(日) (蔵の街ふるさとまつりと同時開催)
- ・場 所 蔵の街第一駐車場
- ・出店数 39 事業所

(2) 商工団体の育成及び助成

商工会議所、商店会連合会、たばこ組合、青色申告会等の諸事業に助成を行った。

- ・助成実施状況 (単位：円)

名 称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
栃木商工会議所運営事業費補助金	81,000,000	6,000,000	中心市街地活性化の促進等
栃木市商店会連合会事業費補助金	6,800,000	1,500,000	商店街近代化対策の実施
未成年喫煙防止事業補助金	684,995	180,000	未成年者喫煙防止対策等への補助
青色申告推進事業補助金	3,950,000	30,000	青色申告制度の普及推進
合 計	92,434,995	7,710,000	

2 大規模小売店舗立地法

大規模小売店舗立地法に基づき県に提出された企業の届出に対し、地元説明会開催の承認及び出席、届出書の縦覧、庁内連絡会議の開催による市意見の集約等を実施した。

届出区分	件数(件)
法第 5 条第 1 項(新設に関する届出等)	2
法第 6 条第 1 項(変更の届出〔形式的変更〕)	2
法第 6 条第 2 項(変更の届出〔実質的変更〕)	—
法第 8 条第 4 項(市意見)	3

3 中心市街地活性化

平成 11 年 3 月に策定した中心市街地活性化基本計画は、本市の中心市街地を新たな視点から見直し、「市街地の整備改善」と「商業等の活性化」を柱とした各種施策の展開と、中心部に蓄積された社会資本の活用により、活気あるものにしようとするものである。

特に、「商業等の活性化」に向けた施策については、次の事業を推進及び支援した。

(1) 中心市街地活性化支援

栃木商工会議所が、中心商店街の活性化や賑わいの創出のために事業者や地域住民の意見を十分に取り入れながら平成 16 年 3 月に策定した栃木市 TMO 構想の事業推進への支援を行った。

名 称	補助額	備考
中心市街地活性化支援事業 (栃木商工会議所運営事業費内)	1,500,000 円	事業費助成

(2) 中心市街地イベント等の推進及び支援

事業名	実施日	場所
小江戸とちぎ人形まつり	5月5日(日)、6日(月)	山車会館前広場
県名発祥の地大博覧会	6月15日(土)、16日(日)	山車会館前広場
蔵の街サマーフェスタ協賛 栃っ子茶屋	8月3日(土)、4日(日)	山車会館前広場
小江戸野州栃木 お蔵のお人形さん巡り	10月4日(金) ～11月4日(月)	中心市街地一円
栃木市の産業と物産展 (蔵の街ふるさとまつり同時開催)	11月2日(土)、3日(日)	蔵の街第一駐車場
あそ雛まつり	2月10日(月) ～3月2日(日)	中心市街地一円

4 産業支援事業

地域経済の持続的な成長を図るため、新規産業支援事業補助金の運用を平成24年度4月1日から開始した。

(1) 新製品等開発支援事業補助金

栃木市内において、新製品等の研究開発を行う中小企業者の取組へ補助金を交付した。

- ・対象事業 市場における製品と比較し、新規性がある製品・技術の開発を行おうとする中小企業者で、補助金審査会において採択されたもの。
- ・補助内容 補助対象経費の2分の1に相当する額(限度額100万円)
- ・実績 2件

(2) 経営支援事業

経営の向上に取り組む中小企業者を支援するため、栃木県産業振興センターの専門家派遣事業を活用した際に要する経費の一部を補助した。

- ・対象事業 栃木県産業振興センター「専門家派遣事業」の採択を受けた中小企業者
- ・補助内容 専門家の相談業務に要する経費のうち、企業が負担する経費の全額(派遣1回につき1万6千円を年度内に4回まで)
- ・実績 2件

(3) 空き店舗活用促進事業

新規開業者や中小企業者が対象区域内の空き店舗で開業する際、空き店舗の家賃、店舗改装費を補助し、新規開業の支援を行った。

- ・対象事業 小売業、飲食業及びサービス業(風俗業及び遊戯業等は除く。)

- ・対象区域 栃木地域：（歴史的町並み景観形成区域、蔵の街大通り付近、嘉右衛門町重要伝統的建造物群保存地区エリア）
大平地域：（富田地区中心市街地商業振興会エリア）
西方地域：（金崎商店会エリア）
- ・補助内容 空き店舗の12か月分の家賃の2分の1以内(限度額50万円)
店舗改装費の2分の1以内（限度額100万円）
専門家相談費用の2分の1以内(1回の限度額1万6千円を5回まで)
- ・実績 3件

5 制度融資

市内中小企業者の資金需要は依然として大きいものの、制度全体を通しての利用状況は、件数、金額ともに、平成24年度より低い値で推移した。

資金使途別に比較すると、設備資金としての利用が大きくなり、運転資金としての利用が小さくなる傾向にあった。

制度別に比較すると、市内での新規創業者が利用する創業資金の利用は拡大しているが、売上が一定以上減少していることが利用要件となる緊急景気対策特別資金の利用は縮小した。

(1) 市制度融資の利用状況

ア 中小企業向け資金融資

設備の合理化・経営の安定等に必要な事業資金の融資をするため、栃木県信用保証協会に24億5,900万円を預託し、その利用促進を図った。

(ア) 中小企業設備合理化資金

- ・融資限度額 2,000万円以内
- ・返済期間 10年以内(据置き6か月以内)
- ・年 利 5年以内 1.7 %
5年超~7年以内 2.0 %
7年超 2.2 %

・融資状況

平成25年度		平成24年度		平成23年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
80件	465,882千円	63件	378,625千円	49件	235,100千円

(イ) 中小企業経営安定資金

- ・融資限度額 2,000万円以内
- ・返済期間 7年以内(据置き6か月以内)
- ・年 利 3年以内 1.5 %
3年超~5年以内 1.7 %
5年超 1.9 %

・融資状況

平成 25 年度		平成 24 年度		平成 23 年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
443 件	2,117,100 千円	481 件	2,665,630 千円	452 件	2,483,750 千円

(ウ) 小規模企業者資金

- ・融資限度額 1,250 万円以内
- ・返済期間 5 年以内（据置き 6 か月以内）
- ・年 利 3 年以内 1.7 %
3 年超 1.8 %

・融資状況

平成 25 年度		平成 24 年度		平成 23 年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
53 件	136,580 千円	52 件	131,330 千円	50 件	112,550 千円

イ 中小企業創業資金融資

起業や事業転換等の促進のため、設備資金や運転資金への融資を目的として、栃木県信用保証協会に 3,400 万円を預託し、その利用促進を図った。

- ・融資限度額 500 万円以内
- ・返済期間 5 年以内（据置き 6 か月以内）
- ・年 利 1.7 %
- ・融資状況

平成 25 年度		平成 24 年度		平成 23 年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
14 件	45,490 千円	8 件	28,780 千円	11 件	37,500 千円

ウ 中小企業緊急景気対策特別資金融資

不況による売上の減少や、取引金融機関の破綻等により、金融取引に支障を来している事業所を金融面から支援し、経営の安定を図るため、栃木県信用保証協会に 1 億 3,200 万円を預託し、その利用促進を図った。

- ・融資限度額 売上の減少 1,000 万円以内
破綻金融機関との取引 1,000 万円以内
- ・返済期間 5 年以内（1 年超の場合に据置き 6 か月以内）
- ・年 利 1 年以内 1.5 %
1 年超～3 年以内 1.7 %
3 年超 1.8 %

・融資状況

平成 25 年度		平成 24 年度		平成 23 年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
6 件	49,000 千円	10 件	88,000 千円	7 件	44,000 千円

エ まちづくり資金融資

歴史的町並み景観形成資金及び栃木駅周辺地区まちづくり資金の融資の取扱金融機関として足利銀行栃木支店、栃木信用金庫本店及び栃木銀行栃木支店を指定し、計1,000万円を預託した。

(7) 歴史的町並み景観形成資金

蔵の街大通りや巴波川周辺地区において魅力的な街づくりを推進するための、歴史的建造物を生かした景観修復等に対する融資。

- ・融資限度額 3,000万円以内
- ・返済期間 15年以内
- ・年利 5年以内 2.2%
- 5年超~10年以内 2.4%
- 10年超 2.7%
- ・融資状況 融資実績なし

(イ) 栃木駅周辺地区まちづくり資金

市の玄関口にふさわしい魅力ある街づくりを推進するための、栃木駅周辺地区の景観形成に対する融資。

- ・融資限度額 3,000万円以内
- ・返済期間 15年以内
- ・年利 5年以内 2.2%
- 5年超~10年以内 2.4%
- 10年超 2.7%
- ・融資状況 融資実績なし

オ 勤労者向け資金融資

(7) 勤労者住宅資金

勤労者の住宅取得促進により、文化的で安定した生活を確保するため、中央労働金庫栃木支店に1,700万円を預託し、勤労者の住宅建設や用地取得に必要な資金への融資を行った。

- ・融資限度額 2,000万円以内
- ・返済期間 35年以内
- ・年利 2.58%
- ・融資状況 融資実績なし

カ 中小企業向け資金融資信用保証料補助

市制度融資の利用者が栃木県信用保証協会に支払う信用保証料を当該年度に全額補助し、また、予算の範囲内で補助する前年度保証料分割払い分についても全額補助し、その負担を軽減した。

・当該年度融資実行分（全額補助）

区分	平成25年度		平成24年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設備合理化	82	14,235,409	63	12,534,452
経営安定	443	41,722,578	481	57,768,389

小規模企業者	53	3,137,341	52	3,004,865
緊急景気	6	313,624	10	1,257,123
創業	14	927,736	8	554,767
計	598	60,336,688	614	75,119,596

・前年度分割払い分（予算の範囲内で補助）

区分	平成25年度 (補助率：100%)		平成24年度 (補助率：100%)		平成23年度 (補助率：100%)	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設備合理化	-	-	1	14,850	1	44,550
経営安定	5	46,680	10	208,655	13	829,605
小規模企業者	-	-	4	71,524	6	231,898
緊急景気	-	-	1	22,000	4	89,355
創業	-	-	-	-	-	-
計	5	46,680	16	317,029	24	1,195,408

(2) 経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定状況

・中小企業信用保険法第2条第4項第1～8号

(単位：件)

保険法	適用事項	平成25年度	平成24年度	平成23年度
第1号	連鎖倒産防止	-	-	-
第2号	取引先企業のリストラ等の事業活動の制限	-	-	-
第3号	突発的災害（事故等）	-	-	-
第4号	突発的災害（自然災害等）	-	-	-
第5号	業況の悪化している業種	59	128	215
第6号	取引金融機関の破綻	-	-	-
第7号	金融機関の経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整	-	-	-
第8号	金融機関の整理回収機構に対する貸付債権の譲渡	-	-	-
計		59	215	128

6 工場立地法に基づく届出について

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合を審査・指導した。

・届出件数 (単位：件)

計	新設	変更	廃止
7	1	6	-

7 大光寺工業団地管理事業

大光寺工業団地内施設（道路、公園、調整池等）の維持や、工場排水等による事故を未然に防止するため、団地内の見回り及び管理業務等を実施した。

大光寺工業団地の概要	総面積 15.2ha 分譲完了 昭和 63 年 9 月		
企業名（事業所名）	本社住所	工場所在地	製造品名
トヨタホーム(株)栃木事業所	名古屋市東区泉 1-23-22	大光寺町 3487-1	鉄骨系住宅
(株)ムトウユニパック栃木工場	江東区永代 1-7-12	大光寺町 1313-1	和・洋封筒
旭化学合成(株)栃木工場	板橋区小豆沢 3-6-7	大光寺町 3487-8	合成接着剤

(1) 草刈り

- ・実施回数 2回(7月、11月)

(2) 調整池フェンス修理

- ・実施回数 1回(3月)

8 大光寺工業団地連絡協議会

団地内施設の適正な維持管理を図るため、市及び立地企業で組織する大光寺工業団地連絡協議会の活動として、定期的に清掃等を実施した。

(1) 工業団地管理事業

道路・公園等敷地清掃

- ・実施回数 12回 { 4月24日、5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日
10月23日、11月27日、12月25日、1月22日、2月26日、3月26日 }

(2) 交流事業

11月23日(土) 「蔵の街ウォークラリー」

参加者数 50名

9 陸砂利採石監視事業

砂利・岩石採取に伴う採取地及び周辺地域における事故・不正採取の未然防止を図るため、監視員を委嘱し定期的に監視活動を実施した。

- ・活動実績

区 分	箇所数（か所）	総認可面積（㎡）
砂利採取法に基づく認可地	10	218,942
採石法に基づく認可地	9	2,605,024

10 労働者の福祉施策

中小企業労働者の福祉の充実と勤労意欲の向上を図るため、栃木市勤労者総合福祉センターの管理運営事業を大新東ヒューマンサービス(株)に委託し、各種講座を実施した。

- ・利用者数

使用区分	1階会議室	2階会議室	教養文化室	多目的ホール	職業技能講習室	研修室	個人多目的ホール	個人1階会議室	合計
件数(件)	436	237	100	897	270	258	573	11	2,782
人数(人)	4,673	5,593	800	20,505	2,961	2,765	1,877	270	39,444

・自主講座参加者数

講座名	第1期(各10回)		第2期(各10回)		第3期(各9回)		平均年齢 (歳)	合計 (人)
	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)		
生活に生かす書	5月13日 ～7月22日	135	8月19日 ～11月18日	165	12月9日 ～3月3日	120	63	420
筋力アップ	5月13日 ～7月22日	497	8月19日 ～11月18日	426	12月9日 ～3月3日	375	61	1,298
押花アート	5月13日 ～7月22日	152	8月19日 ～11月18日	159	12月9日 ～3月3日	143	61	454
健康体操	5月13日 ～7月22日	499	8月19日 ～11月18日	383	12月9日 ～3月3日	313	65	1,195
エアロビクス	5月15日 ～7月17日	324	9月4日 ～11月6日	340	1月8日 ～3月5日	204	55	868
リズム体操	5月16日 ～7月18日	560	9月5日 ～11月14日	519	1月9日 ～3月6日	472	68	1,551
社交ダンス	5月16日 ～7月18日	156	9月5日 ～11月7日	220	1月9日 ～3月6日	220	66	596
合計		2,323		2,212		1,847	63	6,382

・単発講座、イベントの参加人数

名 称	開催日	人数(人)	名 称	開催日	人数(人)
社交ダンス講座	5月19日(日)	11	12月ふれあいパーティー	12月15日(日)	38
5月ふれあいパーティー	5月26日(日)	40	ビューティー!ピラティス講座	1月18日(土)	11
八方ヶ原ハイキング	6月9日(日)	20	婚活サポートハッピー婚セルジュ	1月19日(日)	2
太極拳講座	6月16日(日)	10	あなたに出来るメタボ予防講座	1月22日(水)	19
7月ふれあいパーティー	7月7日(日)	32	親子でダンス&フィットネス	2月9日(日)	中止
おりがみ講座	9月8日(日)	9	2月ふれあいパーティー	2月16日(日)	中止
9月ふれあいパーティー	9月29日(日)	35	廃油でろうそく作り講座	2月20日(木)	11
10月ふれあいパーティー	10月20日(日)	29	勤総フェスティバル (フリーマーケット含む)	3月9日(日)	1,254
親子で作る竹とんぼ講座	10月27日(日)	8			
単体力測定	12月5日(木)	21	イキイキ★フィットネス	3月14日(金)	50

11 労働団体の支援

連合栃木下都賀地域協議会の実施する勤労者福利厚生事業等に対して補助を行うことにより、事業実施を支援した。

名 称	補助額(円)	
第84回栃木県メーカー下都賀地区大会補助金	50,000	
福利厚生活動補助金	130,000	
内 訳	スポーツ大会	20,000
	野球大会	30,000
	家族ふれあい行事	40,000

列島クリーン作戦	10,000
新春の集い	30,000

12 栃木市就業安定対策協議会

市内企業及び関係団体の代表者等で組織する栃木市就業安定対策協議会の活動として、安定した就労の促進と職場内における人権問題の早期解決を図るため、市民及び市内企業に対して各種啓発活動等を実施した。

(1) 求人情報の提供

ハローワークとちぎ求人情報の配布（通年）

(2) 会議及び啓発事業

実施日	内 容
7月2日(火)	第1回栃木市就業安定対策協議会開催
11月21日(木)	人権リーフレットを送付（市内企業575社）
11月30日(土)	「人権を考える市民の集い2013」協賛 参加者へ啓発資料を配布
12月4日(水)	人権啓発活動参加

13 中小企業勤労者福祉サービスセンター支援事業

中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木広域中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着に努めた。

事業団体

- ・ 栃木広域中小企業勤労者福祉サービスセンター（愛称 ウェルワークとちぎ）
- ・ 理事長 鈴木俊美
- ・ 所在地 日ノ出町 14-36
- ・ 会員数 事業所数 502 か所
従業員数 1,017 人

(1) 会議関係

期 日	場 所	内 容
5月14日(火)	市民会館	第1回サービスセンター担当主管課長会議
5月20日(月)	市民会館	第1回サービスセンター理事会
1月17日(金)	市民会館	第2回サービスセンター担当主管課長会議
1月24日(金)	市民会館	第2回サービスセンター理事会
3月12日(水)	市民会館	第3回サービスセンター担当主管課長会議
3月18日(火)	市民会館	第3回サービスセンター理事会

(2) 実施事業

ア 余暇活動事業

(ア) スポーツ・レクリエーション事業及び旅行事業

期 日	内 容	場 所	参加人員(人)
6月9日(日)	プロ野球観戦とランチバイキングバスツアー	東京ドーム	40
6月26日(水)	ボウリング大会	サンプラザボウル	39
9月8日(日)	ゴルフコンペ	栃木ヶ丘ゴルフクラブ	20
12月1日(日)	栃木県内4共済会合同事業 「宝塚宙組公演(風と共に去りぬ)観劇バスツアー」	東京宝塚劇場	17
12月16日(月)	栃木県内4共済会合同事業 「東京ディズニーランドパーク・ファン・パーティーバスツアー」	東京ディズニーシー	31
合 計			147

(イ) 旅行等補助事業

(単位：件)

宿泊施設利用補助	154
提携ツアー利用補助	24

イ 余暇施設利用事業

(単位：人)

提 携 施 設 名	利用人数
東武ハッピーフリーパス(東武動物公園)	550
那須ハイランドパーク	483
東京ディズニーランド・東京ディズニーシー	1,033
シネマロブレ5(映画館)	1,464
小山温泉「思川」	241
エーデルワイス・スキーリゾート	40
大平ぶどう団地(ぶどう狩り)	156
アグリノ郷(いちご狩り)	40
栃木市総合運動公園プール	199
栃木温泉「湯楽の里」	80
宇都宮動物園	93
合 計	4,379

ウ 在職中の生活安定事業

慶弔給付金

(単位：件)

給付項目	件 数
結 婚 祝 金	5
出 産 祝 金	13
銀 婚 祝 金	5
入 学 祝 金	89
死 亡 弔 慰 金	38
傷 病 見 舞 金	14
成 人 祝 金	1
合 計	165

エ 文化教養健康事業

(7) 自己啓発事業

期 日	内 容	場 所	参加人数(人)
11月17日(日)	フラワーアレンジメントとガーデニング教室	市民会館	21
通 年	各種チケットのあっせん	コスモスホール等	92
合 計			113

(イ) 健康の維持増進事業 (単位：人)

人間ドック・脳ドック助成事業	28
インフルエンザ予防接種受診助成事業	159

オ 広報宣伝活動 (PR活動)

会報紙「ウェルワークとちぎ」を年6回発行

カ 会員勧誘活動

1市1町の広報誌に会員募集記事を掲載し、サービスセンターの周知及び加入促進を図った。

また、従来 of 会員に対し、新会員の紹介キャンペーンの期間を設定し、新会員の加入を図った。

キ その他

会員の誕生月に「バースデープレゼント」として「ジェフグルメカード(千円相当)」を贈呈した。

14 栃木市企業連絡協議会

栃木市内既存企業の定着を促進し、さらなる産業集積の一助とするため、また、市と企業、企業同士の業種間の情報交換及び各種連携の場のひとつとして、市内で製造業を営む企業で本会を設置している。

- ・講演会 日時 9月26日(木)
- 場所 サンプラザ
- 講演 「日本経済の現状と展望」について
- 講師 佐藤聡一氏

・会員企業 (単位：事業所)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	合計
21	8	1	5	5	40

15 産業財産権取得費補助金

市内の中小企業者の競争力を高めることが本市における産業の活性化につながることから産業財産権の取得を促進するための補助制度を創設した。

- ・対 象 産業財産権を取得した中小企業者
- ・対象となる産業財産権 特許権、実用新案権、意匠権、商標権
- ・補助、助成金の内容 特許等取得に対する助成
取得後6か月以内に申請
取得対象費用の2/3とする

(特許権は50万円を、それ以外は10万円を限度とする)

・補助実績 (単位：件)

特許権	意匠権	商標権	合計
4	1	3	8

16 栃木勤労青少年ホームの管理運営事業

勤労青少年の福祉の向上と健全な育成を図るため、栃木勤労青少年ホームの管理運営事業を環境整備(株)に委託し、各種講座の開講やクラブ・サークル活動を支援した。

(1) 栃木青少年ホーム利用状況

ア 概要 (単位：人)

ホーム登録者数	446
ホーム利用者数	17,936

イ 年齢層別登録者数 (単位：人)

区分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	-	6	18	26	52	102
女	-	27	88	102	127	344
合計	-	33	106	128	179	446

ウ 月別利用状況 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,375	1,506	1,543	1,530	1,641	1,485	1,693	1,575	1,345	1,366	1,463	1,414	17,936

(2) 講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

ア 定期講座

講座名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
みんなの英会話	20	17	144	月
バドミントン	20	27	391	火
エアロビクス	30	38	580	火
ソフトバレーボール	20	20	326	水
たのしい料理	12	6	34	水
リラックスヨガ	20	28	594	水
ズンバ	25	21	542	木
ピラティス	25	26	628	木
ビギナーズテニス	20	16	268	木
レッツコーラス(合唱)	20	28	436	金
ベリーダンス	20	6	48	金
フラダンス	20	19	293	土
合計		252	4,284	

イ 自立・就職相談事業

就職等の相談

- ・実施回数 41回
- ・相談者数 8人
- ・延べ相談者数 150人
- ・内 容 日常の悩みや社会生活に関する相談・助言

ウ ホーム行事（利用者会事業）等

行事概要	実施日	参加者数(人)	会場
利用者発表会	11月16日(土)	68	青少年ホーム体育室

エ 他ホームとの交流イベント等

行事概要	実施日	参加人数(人)	会場
サマーイベント	8月11日(日)	58	古河市勤労青少年ホーム

オ クラブ活動

クラブ名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
バレーボール遊人会	月	52	815
バドミントン	火・日	121	1,211
スポーツパラダイス	水	48	720
とちぎユースネット	木	61	364
J Cバンド	木	62	940
着付けクラブ	金	47	376
ブレイクダンス	土	30	120
S S O	土	60	900
街角セッション	土	10	150
フラダンスクラブ	金・土	48	387
ういすてりあ	日	75	1,828
ベリーダンス	不定期	101	808
インド古典舞踊	不定期	290	290
合 計		1,005	8,909

17 大平勤労青少年ホームの管理運営事業

勤労青少年の福祉の向上と健全な育成を図るため、大平勤労青少年ホームの管理運営事業をいすゞビルメンテナンス㈱に委託し、各種講座の開講やクラブ・サークル活動を支援した。

(1) 大平勤労青少年ホーム利用状況

ア 概要 (単位：人)

ホーム登録者数	397
ホーム利用者数	7,101

イ 年齢層別登録者数

(単位：人)

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	-	2	27	14	52	95
女	2	28	69	93	110	302
合計	2	30	96	107	162	397

ウ 月別利用状況

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
762	739	744	639	436	350	806	668	748	604	287	318	7,101

(2) 講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

ア 定期講座

講 座 名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
ズンバ	25	30	563	月
書道	15	31	331	月
ゴルフ	25	23	392	火
ベーシックヨガ	25	29	319	火
ヒーリングヨガ	25	29	260	水
テニス	25	25	387	水
着付け	15	19	99	水
ハングル語	15	10	61	水
英会話	15	18	98	木
エアロビクス	20	30	174	木
ゴスペル	30	16	131	木
華道	15	18	98	金
金曜料理	15	30	142	金
タヒチアンダンス	20	19	158	金
ストレッチヨガ	20	20	154	土
そば打ち	15	3	14	土
合 計		350	3,381	

イ ホーム行事（利用者会事業）等

行事概要	実施日	参加者数(人)	会 場
おおひら桜まつり参加	4月7日(日)	25	大平運動公園
利用者会総会・歓送迎会	4月27日(土)	19	さすけ亭
大平クリーンアップ大作戦 交流会	6月23日(日)	25	かかしの里
なつこい参加（模擬店出店）	7月27日(土)	25	さくら球場(大平運動公園)

大平町文化祭参加	11月3日(日)	22	大平公民館
県ホームスポーツ交流会	11月17日(日)	7	小山ホーム
利用者会バスツアー	12月1日(日)	28	福島県内
ホーム祭・交流会	1月26日(日)	29	大平青少年ホーム
青团連区長懇親会	3月26日(水)	4	蓬莱幸

ウ 他ホームとの交流イベント等

行事概要	実施日	参加人数(人)	会場
県ホームスポーツ交流会	11月17日(日)	7	小山ホーム
小山ホームクリスマス会	12月8日(日)	5	小山ホーム

エ クラブ活動

クラブ名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
テニス	水	18	77
料理	金	13	60
ハッピータイム	随時	54	385
書道	月	9	96
ズンバ	月	11	110
拳法	金	47	118
写真	随時	1	5
K-POP	随時	16	55
栗田食堂	随時	1	5
フラダンスクラブ	火	26	138
クラフト	随時	8	44
ターピン	水	20	189
合 計		224	1,282

18 働く婦人の家活動状況

働く女性及び勤労家庭婦人の福祉の向上を図るため、女性団体の活動の場の提供や自主グループ活動を支援し、適切な管理運営を実施した。

(1) 活動の概要

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
主催事業	22	0.3
自主グループ	6,819	73.9
その他	2,383	25.8
計	9,224	100.0

(2) 活動区分

区 分	参加者(人)	構成比率(%)
勤労婦人	3,369	36.5
勤労者家庭婦人	5,057	54.8
そ の 他	798	8.7
計	9,224	100.0

(3) 月別活動状況

(単位：人)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
778	784	771	761	387	735	901	998	807	764	713	825	9,224

(4) 曜日別活動状況

(単位：人)

曜 日	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜	日 曜
人 数	1,278	4,767	273	875	1,190	741	100

(5) 年齢別活動状況

(単位：人)

年齢	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
人数	259	163	84	2,031	6,687

(6) 事業実施状況

ア 主催講座

講座名	回数(回)	延べ人数(人)	備 考
レカンフラワー講座	1	9	
健康づくり講座	1	13	3B体操
計	2	22	

イ 自主グループ等

区 分	回数(回)	延べ参加人数(人)	備 考
書 道	46	292	2グループ
太 極 拳	36	380	
ヨ ー ガ	43	148	
卓 球 (ラ ー ジ)	137	1,529	3グループ
押 し 花	23	64	
茶 道	49	357	
フ ラ ダ ン ス	5	15	
リ ズ ム 体 操	42	4,034	
計	381	6,819	

ウ その他

区 分	人数(人)	備 考
団 体 利 用	2,383	消費生活センター利用等
計	2,383	

19 勤労者体育センター利用状況

勤労者をはじめとする市民の健康保持増進とスポーツの振興を図るため、勤労者体育センターの管理運営を栃木勤労青少年ホームと一括して環境整備㈱に委託し、効率的な管理運営を実施した。

(1) 利用者総数 (単位：人)

市内居住者	41,962
市外居住者	19
合 計	41,981

(2) 月別利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市内	3,551	3,626	3,645	3,686	3,150	3,531	3,539	3,703	3,416	3,304	3,253	3,558
市外	-	-	5	2	-	-	4	-	5	1	1	1
合計	3,551	3,626	3,650	3,688	3,150	3,531	3,543	3,703	3,421	3,305	3,254	3,559

(3) 曜日別利用状況

(単位：人)

曜 日	日 曜	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
利用者数	4,232	6,192	7,813	6,009	5,031	5,615	7,089

(4) 種目別利用状況 (団体利用のみ)

(単位：人)

種 目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓 球	その他
利用者数	5,551	2,181	9,475	13,569	10,142

(5) 利用者交流イベント等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)
第3回ソフトバレーボール大会	11月10日(日)	85

観光振興担当

1 観光振興宣伝事業

本市は、見世蔵や土蔵が立ち並ぶ蔵の街大通り、重要伝統的建造物群保存地区に選定された嘉右衛門町地区、桜とアジサイの太平山、古刹と手打そばの出流など、歴史的文化遺産と美しい自然に恵まれており、平場の観光地として個性豊かな表情を持っている。

これらの観光資源を生かすために、観光パンフレット等を制作・配布するとともに、

各種観光展等への出展や観光キャンペーンを実施し、さらに、マスメディアの活用を行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

(1) 観光パンフレット等の制作・配布 (単位：部)

名称	作成部数	配布部数
総合パンフレット	40,000	13,000
るるぶ栃木市	60,000	16,000
蔵の街散策マップ (蔵の街ウォーキングマップ)	100,000	97,000
太平山	20,000	18,000
出流・星野	20,000	12,000

(2) 観光展等への出展

ア 第24回中央区大江戸まつり盆おどり大会

- ・実施日 8月23日(金)、24日(土)
- ・会場 浜町公園(東京都中央区)

(3) 広域観光推進事業

ア 下都賀地区広域観光開発推進協議会

構成団体 3市3町(栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町)

(ア) パンフレットの作成(栃木市分) (単位：部)

名称	作成部数	配布部数
総合ガイドマップ	—	200

(イ) 観光キャンペーンへの参加

「やすらぎの栃木路」東京フェア2013

- ・実施日 9月21日(土)～24日(火)
- ・会場 新宿駅西口

イ 例幣使道軸共同開発協議会

構成団体 4市(栃木市、足利市、佐野市、鹿沼市)

(ア) パンフレットの作成(栃木市分) (単位：部)

名称	作成部数	配布部数
みどころガイドマップ	5,000	5,000

(イ) イベントへの参加

例幣使道軸共同開発協議会観光PRイベントin大宮駅

- ・実施日 1月26日(日)
- ・会場 JR大宮駅西口イベントスペース

(4) やすらぎの栃木路共同宣伝協議会

構成団体 栃木県、県内全市町、各種観光団体及び交通事業者等

- ・会議開催状況

名 称	日 時	場 所	内 容
平成 25 年度総会	5 月 8 日 (水)	栃木県自治会館	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度事業報告及び収支決算報告について ・平成 25 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について ・その他
平成 25 年度事務担当者会議	平成 25 年度総会終了後	栃木県自治会館	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度観光交流課事業概要説明 等
平成 25 年度総会 (第 2 回)	3 月 25 日 (火)	県庁東館	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度事業報告及び収支決算見込みについて ・「やすらぎの栃木路」共同宣伝協議会の規約等の一部改正について ・平成 26 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について ・その他

ア DC誘致部会

平成26年度春季(4月～6月)に栃木県がJR東日本の重点販売地域に指定されたことを受けて、デスティネーションキャンペーン(通称DC、地方自治体、地元観光業者及びJRグループが連携して行う、大型観光キャンペーン)を誘致するために各種観光キャンペーンやPRパンフレットの作成等を行った。

・会議開催状況

名 称	日 時	場 所	内 容
第 1 回DC誘致部会	6 月 10 日 (月)	ニューみくら	<ul style="list-style-type: none"> ・重点販売地域指定関連事業の概要と今後のスケジュールについて ・地域分科会における検討について ・栃木県重点販売キャンペーンのスケジュールについて
第 2 回DC誘致部会	8 月 8 日 (木)	ニューみくら	<ul style="list-style-type: none"> ・重点販売地域指定関連事業の概要と今後のスケジュールについて ・地域分科会における検討状況について ・旅行商品販売促進説明会の概要について
第 3 回DC誘致部会	10 月 1 日 (火)	ニューみくら	<ul style="list-style-type: none"> ・観光キャッチコピーについて ・重点販売地域指定に伴う観光キャンペーンについて ・旅行商品販売促進説明会について ・一般向け観光PRパンフレットについて ・周遊パスポート事業の概要について ・「やすらぎの栃木路」共同宣伝協議会負担金の見直しについて

(7) 県南地域分科会

構成団体 5市3町(足利市、佐野市、栃木市、小山市、下野市、壬生町、岩舟町、野木町)の市町、観光協会、交通事業者等

・会議開催状況

名 称	日 時	場 所
DC 誘致部会第 1 回県南地域分科会	6 月 28 日 (金)	小山市役所
DC 誘致部会第 2 回県南地域分科会	7 月 18 日 (木)	小山市役所
DC 誘致部会第 3 回県南地域分科会	8 月 6 日 (火)	小山市役所
DC 誘致部会第 4 回県南地域分科会	8 月 27 日 (火)	小山市役所
DC 誘致部会第 5 回県南地域分科会	9 月 10 日 (火)	小山市役所
DC 誘致部会第 6 回県南地域分科会	10 月 4 日 (金)	小山市役所
DC 誘致部会第 7 回県南地域分科会	10 月 21 日 (月)	小山市役所
DC 誘致部会第 8 回県南地域分科会	12 月 11 日 (水)	小山市役所

(イ) 栃木県旅行商品販売促進説明会

平成26年春に開催されるJR東日本の栃木県観光キャンペーンに合わせて、旅行者等を対象とした説明会を実施した。

- ・実施日 10月29日(火) 午前10時～午後3時
- ・場 所 ホテルメトロポリタンエドモント
- ・参加者 27業者 95人

(ウ) パンフレットの作成(栃木県全体)

(単位:部)

名 称	対 象	作成部数
栃木ツーリズムBOOK	旅行エージェント	1,000
本物の出会い栃木春の観光キャンペーンガイドブック	一般観光客	26万

イ キャンペーン等

実施日	キャンペーン名
9月21日(土) ～24日(火)	やすらぎの栃木路東京フェア2013
2月17日(月)	やすらぎの栃木路観光キャラバン埼玉
2月19日(水)	やすらぎの栃木路観光キャラバン東京
2月25日(火)	やすらぎの栃木路観光キャラバン千葉
3月 5日(水)	やすらぎの栃木路観光キャラバン茨城
3月 7日(金)	やすらぎの栃木路観光キャラバン群馬
3月18日(火)	やすらぎの栃木路観光キャラバン宮城
3月19日(水)	やすらぎの栃木路観光キャラバン福島
3月21日(金)	「本物の出会い栃木」春の観光キャンペーンin羽生PA

ウ キャッチコピーの変更

3月25日に開催されたやすらぎの栃木路共同宣伝協議会平成25年度総会(第2回)において、キャッチコピーを従来使用していた「やすらぎの栃木路」から「本物の出会い栃木」に改めた。

(5) マスメディアへの取材協力

ア 新聞・雑誌

新聞・雑誌	取材内容
朝日新聞	花まつり、あじさいまつり
下野新聞	花まつり、あじさいまつり、うずまの鯉のぼり、オクトーバーフェスト2013、うずま冬ほたるキラフェス2013、寒晒しそば（出流地区）

イ テレビ・ラジオ

テレビ・ラジオ	取材内容
NHK	巴波川、蔵の街、いちご狩り、出流山満願寺、寒晒しそば、栃木病院
NHK宇都宮	巴波川、うずまの鯉のぼり、春のドイツビールまつり、あじさいまつり、出流山満願寺、寒晒しそば祭り
NHKBSプレミアム	じゃがいも入り栃木焼きそば
日本テレビ	巴波川、蔵の街遊覧船、蔵の街、とちぎ蔵の街美術館、油伝味噌
WOWOW	太平山神社、うずまの鯉のぼり
テレビ東京	巴波川、蔵の街、栃木病院、小山工業高等専門学校（北蔵）
フジテレビ	巴波川、蔵の街遊覧船、蔵の街、出流山満願寺（奥の院）
とちぎテレビ	うずまの鯉のぼり、巴波川遊覧船、蔵の街、太平山、あじさいまつり、蔵の街直売所
とちぎケーブルテレビ	巴波川遊覧船、蔵の街、あじさいまつり、オクトーバーフェスト2013、うずま冬ほたるキラフェス2013、寒晒しそば（出流地区）、とちぎの四季観光写真コンテスト
レディオベリー	巴波川遊覧船、蔵の街、オクトーバーフェスト2013、うずま冬ほたるキラフェス2013
栃木放送	オクトーバーフェスト2013

ウ インターネット

インターネット	取材内容
るるぶ.com	あじさいまつり、百八灯流し
まっぷるnet	太平山
下野新聞「SOON」	あじさいまつり、オクトーバーフェスト2013、うずま冬ほたるキラフェス2013、寒晒しそば（出流地区）
JR駅長のおすすめ情報	とちぎあじさいまつり

2 栃木市ブランド推進事業（とちぎ小江戸ブランド）

本事業では、本市のお土産品及び特産品の知名度向上、販売促進及び本市全体のイメージアップを目的に、ブランド品の認定及びホームページやパンフレットを作成した。

(1) 栃木市ブランド推進協議会

・委員 20人

・会議開催状況

日 程	会 議	議事内容
4月25日(木)	第1回推進協議会	平成24年度事業報告について、平成24年度決算報告及び会計監査報告について、平成25年度事業計画(案)について、平成25年度収支予算(案)について、ロゴマーク取扱要綱(案)について、委員の追加(案)について
11月14日(木)	第1回PR部会	ブランドホームページ審査会について
1月21日(火)	第1回選定部会	ブランド品審査会について
1月21日(火)	第2回推進協議会	ブランド品審査結果について、ホームページ作成について、東武栃木店への出品について、パンフレットの作成について、ロゴマークの商標登録について

(2) ブランド品認定

・募集期間 10月1日(火)～11月8日(金)

・申請状況

(単位：点)

	申請数	内 訳		
		加工品	工芸品	農産物
新規ブランド	8	5	2	1

※審査の結果全て認定品。

※評価基準に基づき採点し、40点以上の申請品は「認定品」、35点以上40点未満の申請品は「推奨品」、35点未満の申請品は「不適合品」

・認定品数(前年度の認定を含む全て)

(単位：点)

	品数	内 訳		
		加工品	工芸品	農産物
認定品	45	30	3	12
推奨品	7	2	2	3

(3) パンフレットの作成

・作成部数 20,000部

・配布先 金融機関窓口、市内宿泊施設、市内タクシー会社、観光施設等、道の駅みかも、にしかた、市内各観光協会、ブランド品掲載店舗(認定品数52)、とちまるショップ、市役所(本庁、各総合支所)

(4) ホームページの作成

・平成26年3月より運用開始

3 栃木県東京スカイツリーアンテナショップ事業

栃木県のアンテナショップ「とちまるショップ」を活用し、東京スカイツリーを訪れる国内外の観光客や周辺地域及び都心・近郊各沿線の居住者等、様々なお客様に栃木市のPRを行い、観光客の増加を図った。

・「とちまるショップ」での観光PR実施結果

回数	実施日
第1回	4月27日（土）、28日（日）
第2回	7月25日（木）
第3回	9月23日（月）、24日（火）
第4回	1月29日（水）

4 緊急雇用創出・着地型観光推進委託費

国の緊急雇用創出事業を活用し、栃木市の着地型観光を推進するために、栃木市観光協会に事業委託し、着地型観光パンフレットやホームページの作成、首都圏での観光キャンペーン活動、旅行会社と連携した商品の開発等を実施した。

(1) 着地型観光パンフレットの作成（10,000部）

(2) 旅行会社を招いた視察ツアー

・実施日 2月28日（金）

・参加社 12社（18人）

5 観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施した。

(1) 太平山桜まつり

・実施期間 4月5日（金）～4月7日（日）

・場 所 太平山県立自然公園、錦着山、永野川緑地公園

・主 催 太平山桜まつり実行委員会

・来 場 者 約18,000人

(2) とちぎあじさいまつり

・実施期間 6月14日（金）～6月30日（日）

・場 所 太平山県立自然公園（あじさい坂）

・主 催 栃木市、（一社）栃木市観光協会、栃木市観光ボランティア協会

・来 場 者 約65,000人

(3) 蔵の街サマーフェスタ

・実 施 日 8月3日（土）、4日（日） 午後4時～9時

・場 所 蔵の街大通り、銀座通り、巴波川

・主 催 蔵の街サマーフェスタ実行委員会

・共 催 （一社）栃木市観光協会、（一社）栃木青年会議所、栃木商工会議所青年経営者会、うずま川遊会

・後 援 栃木市、栃木市教育委員会、栃木商工会議所、栃木市自治会連合会他

・来 場 者 約80,000人

(4) 小江戸サミット2013in香取

・実 施 日 11月30日（土） 午前10時30分～午後8時00分

- ・会 場 千葉県香取市内
- ・主 催 香取市、川越市、栃木市、小江戸さわら会、
川越小江戸サミット推進委員会、小江戸とちぎ会
- ・行事内容 講演会、香取神宮大饗祭、交流会

(5) 第4回とちぎの四季観光写真コンテスト

- ・募集期間 10月1日（火）～1月17日（金）
- ・主 催 栃木市
- ・共 催 (一社)栃木市観光協会、大平町観光協会、栃木市藤岡町観光協会、つが
まち観光協会、西方町観光協会
- ・協 賛 栃木県カメラ商組合栃木支部
- ・応募総数 207点（80人）
- ・入賞作品 最優秀賞1点、優秀賞3点、春夏秋冬賞4点、観光協会賞5点、入選7点
- ・展示会場 とちぎ山車会館、あじさいまつり会場、大平図書館、道の駅みかも、
つがの里ふるさとセンター、道の駅にしかた、遊楽々館

6 観光施設整備事業

(1) 鯉飼育管理事業

ア 飼育場の環境整備

河川愛護会、自治会連合会、保健委員連合会の共催による巴波川一斉清掃に参加し、モク刈り、川底投棄物の回収等の実施に協力した。

実施日	実施個所
5月26日（日）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀
7月28日（日）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀
10月20日（日）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀

イ 鯉の放流

コイヘルペスウイルス病まんえん防止のため、平成16年から鯉の放流が禁止されているが、蔵の街の観光資源であるコイが巴波川や県庁堀から姿を消し魅力が薄れていることから、放流の可能性について県と協議を行った。その結果、PCR検査（コイヘルペスウイルス陰性検査）を受けた鯉に限り放流できるとの回答を得たため、同検査を受けた錦鯉を県庁堀へ試験的に放流している。

- ・錦鯉放流数 約150匹

7 観光客入込状況

(1) 各地域入込状況

(単位：人)

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
栃 木	1,967,949	2,394,570	1,728,728
大 平	566,433	530,298	506,413
藤 岡	909,037	984,345	993,393
都 賀	134,677	194,445	35,366

西 方	276,802	286,152	282,549
合 計	3,854,898	4,389,810	3,546,449

(2) 主要地点入込状況 (単位：人)

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
太 平 山	1,319,503	1,332,314	1,111,576
出 流	458,060	508,100	421,780
星 野	252,645	263,163	238,643
蔵 の 街	335,151	624,250	306,025
み か も 山	127,170	131,872	132,012
渡良瀬遊水地	488,417	531,798	559,161

(3) 観光施設等入込状況 (単位：人)

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
太 平 山 神 社	186,680	170,220	147,000
出 流 山 満 願 寺	24,560	52,100	55,780
塚 田 歴 史 伝 説 館	23,367	15,063	16,043
郷 土 参 考 館	9,881	11,525	9,217
横 山 郷 土 館	5,289	5,779	4,892
あ だ ち 好 古 館	3,181	3,276	4,048
岡 田 記 念 館	9,374	10,864	10,894
と ち ぎ 山 車 会 館	18,133	25,220	23,945
山本有三ふるさと記念館	6,375	7,463	7,155
とちぎ蔵の街美術館	16,253	27,107	16,563
旧 栃 木 駅 舎 保 存 館	3,031	2,614	2,383
ア グ リ の 郷	17,439	15,500	9,810
岩 下 記 念 館	3,943	6,223	6,087
蔵 の 街 遊 覧 船	24,588	22,349	21,107
大 中 寺	55,630	63,630	69,692
清 水 寺	44,880	47,760	48,855
観 光 ぶ ど う 園	164,600	137,500	135,200
か か し の 里	19,541	17,870	18,701
プ ラ ッ ツ お お ひ ら	87,002	108,249	92,781
歴史民俗資料館白石家戸長屋敷	10,008	8,455	4,056
道 の 駅 み か も	364,714	387,482	389,050
渡 良 瀬 の 里	33,947	26,188	24,693
花 之 江 の 郷	14,677	15,141	13,759
つがの里ふるさとセンター	26,500	30,904	14,407

大 柿 花 山	3,500	5,000	3,200
お び く に 公 園	120	120	320
ふ れ あ い パ ー ク	1,470	240	1,180
道 の 駅 に し か た	275,212	283,592	280,749

8 観光施設等利用状況

(1) 山車会館入館状況

(単位：人)

		平成25年度	平成24年度	平成23年度
4月		1,503	1,715	866
5月		2,491	2,895	2,162
6月		2,717	3,659	3,999
7月		1,634	1,561	1,601
8月		886	1,101	1,092
9月		1,142	2,228	1,985
10月		2,048	3,680	3,366
11月		2,054	2,583	4,562
12月		921	792	1,382
1月		873	899	657
2月		891	2,982	1,220
3月		973	1,125	1,053
総 計		18,133	25,220	23,945
内 訳	有 料			
	割引有	12,083	10,511	13,960
	割引無	3,870	7,910	5,656
	無 料	2,180	6,799	4,329

(2) 倭町駐車場（蔵の街第一駐車場）利用状況

(単位：台)

		平成25年度	平成24年度	平成23年度
4月		2,966	3,172	2,858
5月		2,912	2,883	3,127
6月		2,709	2,906	3,095
7月		3,351	3,938	3,444
8月		2,020	2,606	2,433
9月		2,341	2,289	2,567
10月		2,490	2,638	2,272
11月		2,202	2,062	2,454

12月	3,381	3,276	3,250
1月	2,212	2,300	2,310
2月	1,996	2,129	2,213
3月	2,265	2,517	2,546
総計	30,845	32,716	32,569

(3) 山車会館前広場利用状況

実施日	行事	主催等
5月5日(日)、6日(月)	小江戸とちぎ人形まつり	小江戸とちぎ人形まつり実行委員会
6月15日(土)、16日(日)	県名発祥の地大博覧会	栃木市商店会連合会
8月3日(土)、4日(日)	蔵の街サマーフェスタ	蔵の街サマーフェスタ実行委員会
11月2日(土)、3日(日)	蔵の街ふるさとまつり 栃っ子茶屋	ふるさとまつり実行委員会 栃木市商店会連合会 ほか
2月10日(月)、3月2日(日)	あそ雛まつり	とちぎの雛まつり実行委員会

(4) とちぎ蔵の街観光館利用状況

月	多目的ホール		蔵座敷	
	回数(組)	人員(人)	回数(組)	人員(人)
4	25	670	8	110
5	22	476	4	45
6	20	400	1	14
7	22	774	4	314
8	16	583	11	348
9	22	491	3	28
10	20	2,117	9	1,942
11	21	1,664	13	1,462
12	12	211	1	5
1	14	235	3	39
2	14	217	6	151
3	24	564	7	163
計	232	8,402	70	4,621

9 巴波川利用促進団体連絡協議会(うずま川遊会)

(1) 巴波川を利用したイベントの企画、調整、運営に関すること

ア うずまの鯉のぼり

- ・実施日 4月6日(土)～5月31日(金)
- ・場 所 巴波川及び巴波川綱手道(倭橋～うずま公園)

イ 蔵の街サマーフェスタ『舟行イベント』及び百八灯流しへの協力

・実施日 8月3日(土)、4日(日)

・場 所 巴波川(塚田歴史伝説館前)

ウ うずま冬ほたるキラフェス 2013

・実施日 11月1日(金)～1月13日(月・祝)

・場 所 巴波川(倭橋～幸来橋～瀬戸河原公園・うずま公園)

エ 舟行

・実施主体 NPO法人蔵の街遊覧船

・実施日 通年実施(年末年始を除く)

・場 所 巴波川 幸来橋～瀬戸河原堰

(2) 巴波川に関する啓発活動

ア 協議会として河川清掃への参加、実施

・参加日 5月26日(日)

7月28日(日)

10月20日(日)

イ PR・アイデア募集

・ホームページによるPR

・各種メディアを通じたPR

10 フィルムコミッション事業

本市の知名度向上を図るとともに、ロケ地を広く紹介することにより地域イメージのブランド化を図ることを目的として、映画やテレビ等のロケーション撮影を積極的に誘致した。

・ロケーション撮影支援件数 (単位:件)

映 画	ドラマ	情報番組	その他	合 計
6	11	22	16	55

11 倭町小江戸ひろば管理運営事業

市街地に存する倭町小江戸ひろばの管理運営及び交流センター内における観光案内を栃木市観光協会へ委託することにより、観光客へのおもてなしを図った。

第2節 農林課

〔総括概要〕

農業は、国民に対する食料の安定的な供給という重要な役割を果たしているだけでなく、自然環境の保全、土壌浸食防止、気候変動の緩和、特徴的な景観及び文化伝統の形成など多面的かつ公益的な機能をも果たしている。

しかし、今日の農業は、食料自給率の低迷、農家数の減少や農業者の高齢化の進行、後継者不足、耕作放棄地の拡大、さらに東日本大震災による福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の飛散等による風評被害、また、2月の大雪による農業生産施設への甚大な被害等、非常に厳しい状況が続いている。

こうした状況下で、本市においては「食料・農業・農村基本法」に基づき、農産物の安定供給機能の強化や農業経営安定化の推進、多面的機能の保全や、生産者と消費者、都市と農村の相互理解と交流・共生を可能とする施策の展開を図りながら、雪害被害状況の把握に努めると共に災害復旧支援策を行ってきた。

また本市は、恵まれた気候、地形等の自然条件に加え、農産物の大消費地に近接していることから重要な食料供給地としての役割を担っており、農業金融制度の充実や補助事業の導入により、土地利用型農業の体質強化と担い手の育成、新規就農者への支援、野菜・花きなどの園芸作物の生産振興、農業生産基盤の計画的整備、その他、農畜産物の消費拡大等の各種事業を推進した。さらに、地域での話し合いを基に、今後の地域農業のあり方等を定めた「人・農地プラン」については、必要に応じプランの見直しを図った。

次に、農村の活性化と都市住民の余暇活動に対するニーズへの対応として、グリーンツーリズム事業に取り組んだ。

さらに、農業基盤整備事業、農地・水保全管理の推進、老朽化している揚水機場や排水機場の整備改修事業等を実施した。

一方、林業においては、採算性の低下や担い手の高齢化などにより、手入れの行き届かない森林が多く残っているのが現状であり、健全な森林を育成する間伐等の森林整備を着実に推進することが緊急の課題になっている。

このような中、森林の有する多面的機能の確保を目指しながら、林業生産基盤の整備をはじめとして、森林の適正な管理の推進、林業関連事業体及び担い手の育成、間伐を中心とした森林整備の普及啓発を推進した。

さらに、人と自然環境の共生を図るため、野生鳥獣の適正な保護管理対策の推進や、森林のアメニティ効果の面から、レクリエーションや保健休養の場としての利用の促進を図った。

農業振興担当

1 経営所得安定対策

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、経営所得安定対策の推進により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米の直接支払交付金

米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会栃木地区担当と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・ 水稻生産確定数量、面積及び作付実績

対象農業者数	3,488人
水稻生産実施計画書提出農業者数	2,014人
生産確定数量の計（積算式）	7,515,660kg
作付確定面積（積算式）(①)	14,941,636㎡
主食用等水稻作付面積の計（積算式）(②)	11,820,335㎡
差引(①－②)	3,121,301㎡
水稻生産確定面積に対する 主食用等水稻作付面積の割合（②÷①）	79.1%

(2) 水田活用の直接支払交付金

・ 戦略作物作付面積（交付対象面積） (単位：㎡)

二条大麦	5,709,000
大豆	738,400
そば	197,600
飼料作物	464,600
新規需要米	866,600
加工用米	1,078,600

(3) 農政協力員等会議

経営所得安定対策及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会栃木地区担当との連携により、農政協力員会議を開催した。

・ 農政協力員会議の開催状況

	開催日	会場
東部地区	3月6日(木) 午後6時30分～	J A しもつけ栃木地区 営農経済センター会議室
西部地区	3月7日(金) 午後6時30分～	寺尾公民館 大交流室

2 農業制度資金関係

(1) 農業近代化資金利子補給費

農業者が資本整備の高度化及び農業経営の近代化を図るため融資機関から借り入れた資金に対し利子補給を行い、安定した農業経営の推進について支援を行った。

・利子補給金額 (単位：円)

区 分	上期		下期		利子補給金合計
	融資平均残高	利子補給金	融資平均残高	利子補給金	
下野農協	54,945,909	262,370	67,651,954	393,383	655,753
上都賀農協	4,525,880	22,625	7,183,901	28,525	51,150
栃木県酪農協	4,512,602	10,636	4,016,932	8,264	18,900
栃木県開拓農協	-	-	3,522,992	24,660	24,660
栃木信用金庫	514,850	2,575	483,946	2,420	4,995
足利銀行	673,479	1,010	1,146,619	1,719	2,729
合 計	65,172,720	299,216	84,006,344	458,971	758,187

・特別利子（上乗せ分） (単位：円)

区 分	上期		下期		利子補給金合計
	融資平均残高	利子補給金	融資平均残高	利子補給金	
下野農協	17,714,157	63,954	11,244,899	45,149	109,103
上都賀農協	-	-	-	-	-
栃木県酪農協	-	-	-	-	-
栃木県開拓農協	-	-	-	-	-
栃木信用金庫	-	-	-	-	-
足利銀行	-	-	-	-	-
合 計	17,714,157	63,954	11,244,899	45,149	109,103

・新規融資申請状況

区 分	申請件数(件)	申請金額(千円)
下野農協	11	53,100
上都賀農協	-	-
栃木県酪農協	-	-
栃木県開拓農協	-	-
栃木信用金庫	-	-
足利銀行	-	-
合 計	11	53,100

(2) 農業経営基盤強化資金利子助成関係

経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営者の育成支援を図るため、農業経営基盤強化促進法における農業経営改善計画の認定を受けた農業者が融資機関から借り入れた資金に対し利子助成を行い、経営改善の支援を行った。

・利子助成金額 (単位：円)

件 数	融資平均残高	利子助成金額
27件	417,766,147	505,735

・新規融資申請なし

(3) 栃木市がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金利子補給費

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故により、出荷停止等の損失を受けた農業者が融資機関から借り入れた緊急支援資金に対し利子補給を行い、被害農家の一刻も早い復旧と経営安定の支援を行った。

・利子補給金額

(単位：円)

区 分	上期		下期		利子補給金合計
	融資平均残高	利子補給金	融資平均残高	利子補給金	
下 野 農 協	8,515,068	127,726	6,551,890	98,278	226,004
上 都 賀 農 協	1,190,137	17,852	1,009,315	15,139	32,991
合 計	9,705,205	145,578	7,561,205	113,417	258,995

・新規融資申請なし

3 農業経営基盤強化促進事業

地域の実態に即した農業、農村の振興を図るため、地域農業者の創意と意欲を生かし、自主性に基づいた活動を促進するとともに、農用地等の確保及び有効利用と農用地利用集積事業を中心とする農用地の利用権等の集積を通じて、認定農業者等、今後育成すべき農業者の確保と集落機能の活性化等を図った。

(1) 経営改善支援活動事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する個人指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などの支援活動を実施した。

・農業経営改善計画認定者数 141人

4 人・農地プラン推進事業

地域での話し合いに基づいて、地域の中心となる経営体、農地集積の方法及び地域農業のあり方等を定めた「栃木市人・農地プラン」を状況の変化に合せ見直し、担い手への農地集積をより一層促進させるとともに青年就農者の育成を図った。

・人農地プラン作成事業

栃木市人・農地プラン検討会開催回数 5回

・農地集積協力金

補助対象者 16人

農地集積協力金補助金 7,200,000円

・青年就農給付金

青年就農者数 9人

青年就農給付金補助金 9,750,000円

5 農用地利用集積事業

(1) 農地流動化関連事業

認定農業者等、今後育成すべき農業者に農地を集積し規模拡大を図るため、農業委員会との連携のもと、農地の貸し借り等、掘り起こし活動を実施し、農業経営基盤強化促進法による農地の流動化を推進した。

・農用地利用集積計画策定状況

番号	公告年月日	告示番号	利用権等の種類	面積 (㎡)
1	平成25年5月1日	栃木市告示第189号	利用権の設定	352,934
2	平成25年6月1日	栃木市告示第191号	利用権の設定	333,743
3	平成25年6月1日	栃木市告示第192号	所有権の移転	2,382
4	平成25年7月1日	栃木市告示第220号	利用権の設定	145,899
5	平成25年7月1日	栃木市告示第221号	所有権の移転	3,581
6	平成25年8月1日	栃木市告示第255号	利用権の設定	95,077
7	平成25年8月1日	栃木市告示第256号	所有権の移転	17,173
8	平成25年8月30日	栃木市告示第285号	利用権の設定	102,568
9	平成25年8月30日	栃木市告示第286号	所有権の移転	8,961
10	平成25年10月1日	栃木市告示第306号	利用権の設定	154,509
11	平成25年10月1日	栃木市告示第307号	所有権の移転	8,138
12	平成25年11月1日	栃木市告示第347号	利用権の設定	424,228
13	平成25年11月1日	栃木市告示第348号	所有権の移転	2,113
14	平成25年11月29日	栃木市告示第388号	利用権の設定	549,412
15	平成25年11月29日	栃木市告示第389号	所有権の移転	19,435
16	平成25年12月27日	栃木市告示第436号	利用権の設定	731,557
17	平成25年12月27日	栃木市告示第437号	所有権の移転	1,270
18	平成26年1月31日	栃木市告示第43号	利用権の設定	479,985
19	平成26年1月31日	栃木市告示第44号	所有権の移転	8,793
20	平成26年2月28日	栃木市告示第92号	利用権の設定	527,572
21	平成26年2月28日	栃木市告示第93号	所有権の移転	66,185
合 計				4,035,515

・農用地利用集積計画

(単位：ha)

期間	利用権設定（転貸及び経営受委託を除く）面積			
	田	畑	樹園地	合 計
1～5年	207.8	5.3	-	213.1
6～9年	83.5	4.5	-	88.0
10年～	117.0	2.3	-	119.3
合計	408.3	12.1	-	420.4

(2) 農地利用集積確保事業

農地集積の促進と耕作放棄地の解消を積極的に推進するため、新規に利用権設定を行った認定農業者（借受人）と農地所有者（貸付人）に対して補助金を交付した。

【実績状況】

区 分	対象人数	対象面積	交付金額
借受人	49名	304,033㎡	3,018,000円
貸付人	110名	606,012㎡	2,979,000円

6 農業振興地域整備促進事業

- ・農業振興地域整備計画の一般管理

農業振興地域において、総合的かつ計画的な農業の振興を積極的に推進しつつ、社会的・経済的諸情勢の変化に伴う農用地の転用等を行うための整備計画の変更について、申出に基づく一般管理を行った。

【農業振興地域内の農用地等の面積】

(単位：ha)

区 分	総面積	農 用 地							混牧 林地	農業用 施設 用地	混牧林地 以外の 山林原野	その他
		農 地				採 草						
		田	畑	樹園地	計	放牧地	計					
現 況	農 業 振興地域	13,921	7,383	1,330	127	8,840	2	8,842	2	36	577	4,464
	農用地 区 域	6,886	6,067	665	110	6,842	-	6,842	-	34	-	10
	農 振 白地地域	7,034	1,315	666	17	1,998	2	2,000	2	2	576	4,454

7 農業委員会との調整

農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定等事務、農業振興地域の整備に関する法律に基づく農振除外事務、及び農地法に基づく農地転用事務について、適正かつ円滑な事務処理が図れるよう調整を図った。

8 集落型経営体の育成

(1) 地域農業担い手組織育成事業（集落営農法人化支援事業）

農業者個人での解決が困難な問題や集落の将来に対する意識を高め、地域農業の新たな担い手として期待される「集落型経営体」設立に向けた合意形成を促進するため、実施主体である下野農業協同組合と連携して、研修会及び座談会等を開催した。

- ・事業費補助金額（事業主体 下野農業協同組合） (単位：円)

対象営農組合名	事 業 費	補助金	
		(うち県補助金)	(うち市補助金)
升塚集落営農組合	47,250	15,000	15,000
東北営農組合	142,885	40,000	40,000
合 計	190,135	55,000	55,000

- ・集落営農研修会の開催

営農組合名	開催日	参加人数(人)
東北営農組合	2月27日(木)	20

・法人化検討会の開催

営農組合名	開催日	参加人数(人)
升塚集落営農組合	9月13日(金)	6
	9月24日(火)	6
	10月7日(月)	6
	11月19日(火)	6
東北営農組合	12月17日(火)	7

(2) 集落営農プラスワン支援事業

新たな園芸作物への取組又は既に作付している園芸作物の取組拡大をする集落営農組織に対し、補助金を交付することにより、次代の農業を担う集落営農組織の体制整備を支援するとともに、園芸作物の産地化を推進した。

・補助額 300,000円

・交付対象 3組織

升塚集落営農組合、瓜畑集落営農組合、北武井集落営農組合

9 農村女性活動活性化事業

(1) とちぎ市農業・農村男女共同参画ビジョンの策定

本市農村女性の地位向上と、農業・農村における男女共同参画推進の必要性から、市内農業関係団体や行政の代表者により構成される、栃木市農業・農村男女共同参画推進委員会が中心となって意見を取りまとめ、とちぎ市農業・農村男女共同参画ビジョンを策定した。

(2) 栃木市農村女性セミナーの開催

農業・農村における男女共同参画社会を実現し、農村女性による地域活性化を図るため、地域資源を有効活用した取組を行う先進地において視察研修会を開催した。

・実施日 11月18日(月)

・場 所 那珂川町

・内 容 「地域資源を活かした町おこし/女性農業経営者の取り組みに学ぶ」

株式会社夢創造(温泉トラフグ養殖場)

栃木県女性農業士 磯野万里子氏

・参加人数 57人

10 栃木県南公設地方卸売市場事務組合関係

安定した食料の供給と豊かな食生活を図る流通拠点としての事業を推進した。

(1) 市場入場業者

・卸業者 2社

・仲卸業者 18社(青果部 7社・水産物部 9社・花き部 2社)

・関連事業者 17社

・買受人 301人

(うち栃木市の買受人 青果部72人・水産物部22人・花き部15人)

・買出人 542人(うち栃木市の買出人 175人)

(2) 取扱高

区 分	数 量	金 額 (千円)
青 果 部	14,404 t	3,663,265
花 き 部	17,092 千点	1,004,080
合 計	—	4,667,345

11 諸証明の発行状況

(単位：件)

件 名	件 数
農振農用地区域等の証明	23
譲渡所得の特別控除に係る土地等についての証明等	15
登録免許税の税率の軽減措置に係る土地の取得証明	14
合 計	52

12 とちぎアグリフェスタ事業

生産者と消費者の相互理解を深め、地域農業の振興と地域農産物のPRを図るため、下野農業協同組合との共催により、とちぎアグリフェスタ2013を開催した。

- ・実施日 12月7日(土)、8日(日) 午前9時～午後3時
- ・会場 総合運動公園中心広場
- ・来場者 約30,000人
- ・実施内容 地域農産物の販売、地元農産物品評会、農産物無料配布、栃木市産農産物安全安心PR等

13 農業振興事業関係

(1) 首都圏農業確立対策事業

ア 稲等病虫害防除事業

稲の病虫害防除のためラジコンヘリコプターを使用し、広域的に一斉に実施することにより環境への負担軽減、農業者の作業効率の向上を図った。

- ・補助額 11,991,900円
- ・面積 2501.51ha
- ・対象者 2,025人

イ 農作物安全安心推進事業(農作物残留農薬検査)

近年、消費者の農産物の安全性に対する関心が深まっている中、残留農薬検査を実施することにより農産物の安全安心の推進を図った。

- ・事業主体 上都賀農業協同組合
- ・事業費 1,260,000円(補助額 420,000円)
- ・事業内容 残留農薬検査(いちご20件、にら16件)

ウ 優良種苗購入事業

いちごの安定生産を図るため、健全な種苗育成を実施している生産基地からの原苗導入を推進した。

- ・事業主体 下都賀農業協同組合、上都賀農業協同組合
- ・事業費 17,728,160円（補助額 1,663,210円）
- ・事業内容 優良種苗の供給

(2) 新規就農サポート事業

青年の就農者の育成定着を図るため、研修生を受入した農家に対する報償金制度を新設し、新規就農者の相談及び技術等のサポートを行った。

(3) 農業用廃ビニール処理事業

農業用廃ビニールの適正処理を図るため、会議や視察研修会を実施し、分別回収を推進した。

- ・事業主体 下野農業協同組合、上都賀農業協同組合
- ・事業内容 農業用廃ビニール分別回収、適正処理
(塩化ビニール・ポリエチレン類 359,798kg)

(4) 食育関連事業

ア 栃木市食育推進計画の策定

食育基本法第18条に基づき、市民一人ひとりが心身の健康を増進する健全な食生活を総合的かつ計画的に実践するため、栃木市地産地消・食育推進協議会が中心となって意見を取りまとめ、栃木市食育推進計画を策定した。

イ 学校農園運営事業

市内の小中学校を対象に学校農園を開設し、農と食を通じた、食育の大切さを実感することを目的に実施した。

- ・実施校 (単位：校)

小学校	中学校	合計
13	3	16

14 畜産振興事業関係

(1) 栃木市畜産協議会関係

畜産農家が連携し、本市畜産業の振興を図るとともに、家畜伝染病の疾病による損耗を防止し、畜産経営の安定を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

- ・事業主体 栃木市畜産協議会
- ・事業内容 視察研修会の実施
各種イベントへの参加
市内畜産物安全安心PRの実施
各種防疫事業の実施
- ・事業費 332,223円(補助額 180,000円)

15 農振センター管理運営事業

地域農村のコミュニティづくりのため、多目的使用可能な集会場として、農振センタ

一の運営を行った。

・利用状況

利 用 団 体	利用日数(日)	利用人数(人)	備 考
栃木市農村生活研究グループ協議会	5	75	役員会、連絡会等
栃木市青少年クラブ協議会	5	30	会議等
土地改良区関係	24	580	総会、各種会議
その他団体グループ	279	2,041	福利、厚生活動等
合 計	313	2,726	

16 グリーンツーリズム事業

地域資源を生かした幅広い交流を通して、農林業や農山村に対する都市住民の多様なニーズに積極的に対応、農山村地域の活性化を図る取組を支援した。

(1) 各地域主催事業の検討及び学習活動への支援（皆川地区・寺尾地区）

グリーンツーリズム事業の検討及び先進事例の研究等に対し、助言及び情報提供を行った。

(2) 各地区における交流事業実施状況

地 区	実 施 日	名 称	参加者(人)
皆川地区	6月2日(日)、9月29日(日)	ふれあい農業体験	延べ80
寺尾地区	6月2日(日)、9月29日(日)	寺尾米づくり体験教室2013	延べ80

17 地域農産物活用事業関係

(1) 栃木市直売所連絡協議会関係

直売所相互の連携体制を構築し、地産地消推進体制を図ることを目的にマーケットイン推進事業を実施した。

- ・事業主体 栃木市直売所連絡協議会
- ・事業内容 直売所の利用に係る経費に対し、農産物販売額（加工品・工芸品は除く）の5%（上限額有）を補助する。
- ・対象直売所数 13件
- ・対象出荷者数 653人
- ・農産物総販売額 351,081,808円（補助額 6,974,200円）

18 農業者団体等育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体等の指導・育成及び支援を行った。（単位：円）

補助金名	相手方	補助額
栃木市農業者懇談会補助金	栃木市農業者懇談会	108,000
栃木市認定農業者協議会補助金	栃木市認定農業者協議会	90,000
農業改良団体育成助長補助金	栃木市農村女性会議	50,000
	栃木市農村生活研究グループ協議会	158,000

	栃木市青少年クラブ協議会	50,000
青年農業者海外派遣研修費補助金	栃木県青年農業者海外派遣研修参加者2人（必要経費の一部助成）	200,000

農林整備担当

1 農業生産基盤整備事業

農村環境改善のための農道舗装や老朽化した農業水利施設の改修等を実施した。

事業名	事業箇所	事業内容	事業費（円）
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業（農道保全対策） 吹上東部（細堀地区）舗装工事	細堀町地内	農道舗装工 L=796m	工事費 25,068,750 業務委託 2,975,700
地域農業水利施設ストックマネジメント事業 国府南部地区 揚水機場整備改修工事	国府町地内	揚水機改修3基 制水弁17基	工事費 38,115,000 業務委託 1,599,150 292,950
県単独農業農村整備事業	寺尾北部 （台地区）	農道舗装工 L=496m	工事費 11,222,400 業務委託 1,651,650
	吹上東部 （川原田地区）	農道舗装工 L=533m	工事費 13,843,200 業務委託 1,962,450
市単独農業農村整備事業 寺尾北部地区農道舗装工事	寺尾北部地区 （鍋山町地内）	農道舗装工事 一式	892,500
市単独農業農村整備事業 栃木市西部地区農業用水路浚渫工事	栃木市西部地区 （皆川城内町地内）	用水路浚渫工事 一式	640,500
市単独農業農村整備事業 栃木市西部地区農道整備工事	栃木市西部地区 （大皆川町地内）	農道整備工事 一式	976,500
市単独農業農村整備事業 大塚地区農道舗装工事	栃木市大塚地区 （大塚町地内）	農道舗装工事 一式	430,500

2 県営土地改良事業負担金

県が実施する土地改良事業に係る法定負担金（受益者負担金）を支出した。

事業名	事業箇所	事業期間	事業内容	負担額（円）
かんがい排水事業	西前原地区 （藤岡町）	H21～H27	排水機場更新 一箇所	2,121,750
県営農業農村整備事業	美田東部頭首工	H24～H25	護床工	30,000

	(大光寺町)		一式	
県営ストックマネジメント事業	大岩藤地区 (栃木市・岩舟町)	H24～H25	保全計画策定 一式	1,147,476

3 土地改良事業補助金

各事業に取り組む下記団体を支援するため、補助金を交付した。(単位：円)

事業名	相手方	補助額
農業経営高度化支援事業補助金	栃木市西部土地改良区	175,000
市単独土地改良事業補助金 (かんがい排水事業)	沼和田東部水利組合	472,500
	高谷水利組合	159,600
		50,400
		39,900
		28,000

4 維持管理事業

市が管理する農道・用排水施設の補修工事等を実施した。

工事名	工事箇所	工事内容	工事費(円)
用排水施設補修工事	志鳥町 川原田町地内	農業用排水路浚渫工事 一式	924,000
	大塚町地内	農業用排水路法面補修 工事一式	840,000

※その他に、台風や大雨等の影響により壊れた農業用施設を地元が主体で行う復旧工事を支援するため、木杭や矢板等の材料を現物支給した。

5 農地・水保全管理事業

非農家を含めた地域共同による農地・農業用水等の保全管理と農村環境の保全向上等の取組を支援するため、活動費の一部を負担金として県協議会に支出した。

※市負担額は、基礎支援の合算額(100円未満切り捨て)の25%

(1) 共同活動支援分

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額(円)
	締結年度	終了年度	交付期間	田 (3,300円/10a)		畑 (2,100円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
仲仕上 みどりの里	H24	H28	5	4,494	1,483,020	—	—	370,750
大塚 田んぼの会	H24	H28	5	13,561	4,475,130	1,766	370,860	1,211,475
細堀・木の西	H24	H28	5	3,245	1,070,850	567	119,070	297,475

みどりの会								
川原田 めぐみの里	H24	H28	5	2,978	982,740	283	59,430	260,525
宿前 みどりの会	H24	H28	5	3,592	1,185,360	79	16,590	300,475
吹上東部 環境保全会	H24	H28	5	5,740	1,894,200	1,188	249,480	535,900
春名塚 環境保全会	H24	H28	5	12,185	4,021,050	406	85,260	1,026,575

(2) 向上活動支援分

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額(円)
	締結年度	終了年度	交付期間	田 (4,400円/10a)		畑 (2,000円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
高谷町 グリーンクラブ	H23	H28	6	3,710	1,632,400	274	54,800	421,800
大塚 田んぼの会	H23	H28	6	13,561	5,966,840	1,766	353,200	1,580,000

6 アメリカシロヒトリ駆除事業

アメリカシロヒトリの蔓延防止を目的として、自主駆除を促進するために背負式噴霧器と高枝切りバサミの貸し出しを実施した。また、市内公共施設（栃木地域）における薬剤散布による駆除を、6月と8月のふ化期に合わせ、業者委託により実施した。

(1) 噴霧機及び高枝切りバサミの貸し出し状況

- ・背負式噴霧機 延べ22人
- ・高枝切り 延べ4人

(2) 公共施設における駆除

- ・事業費 976,500円（2回分）
- ・駆除実績

ふ化期	実施区域	樹種	実施期間	箇所数	防除本数(本)
1	栃木地域	桜、柿、梅ほか	6月12日(水)～28日(金)	29	1,335
2	〃	〃	8月12日(月)～30日(金)	31	1,251
合計				60	2,586

7 有害鳥獣対策事業

有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害等を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣捕獲を実施した。

(1) イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの個体数調整による駆除

実施区域	捕獲時期	捕獲状況
寺尾地区全域、皆川地区の一部、吹上地区の一部	通 年	イノシシ435頭、ニホンジカ90頭 ニホンザル-頭

(2) カラス、ドバトの有害鳥獣捕獲による駆除

実施区域	捕獲時期	捕獲状況
栃木地域全域	3月8日(土)、9日(日)	カラス63羽、ドバト45羽

(3) 被害地区住民による被害防除対策を促進するため、栃木市獣害対策設備設置費補助金により、個人が設置する電気柵設置等の経費を補助金により支援した。

- ・補助金申請件数 12件
- ・補助額 631,000円

8 松くい虫防除委託事業

松林の健全な育成と保全を図るための松くい虫被害対策として、太平山県立自然公園等の高度公益機能森林及び地区保全森林内の被害木及び不用木の伐倒駆除を実施した。

- ・委託期間 1月9日(木)～2月27日(木)
- ・実施区域 平井町、皆川城内町地内、小野口町
- ・事業費 855,750円
- ・事業実績

事業区分	事業量	備考
被害木	68m ³	薬剤処理(油材)
不用木	30本	除去

9 治山林道管理事業

利用者の安全を確保するため、市内林道、作業道及び太平山下水資源確保治山ダムの維持管理を実施した。

(1) 林道維持補修工事

- ・林道栃戸沢線 424,200円

(2) 太平山下水資源確保治山ダム維持管理業務委託

- ・業務概要 ダム周辺の清掃、草刈り等を平井町自治会に委託
- ・実施期間 通年
- ・委託費 56,000円

10 出流ふれあいの森管理事業

(1) 管理運営委託

平成18年度から指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を委託

- ・指定管理者 みかも森林組合
- ・指定管理期間 通年
- ・委託費 8,380,880円

(2) 施設管理

- ・施設用地の賃借料 3,047,510円
- ・借地面積 34,900.2㎡（地権者18人）
- ・賠償保険料（森林国営保険料） 885,488円
- ・施設修繕費（コテージ・ブローカー等） 446,355円

(3) 施設利用状況 (単位：人)

入園者	キャンプ場		バーベキュー場	スベリ台	コテージ	
	一般	オート			大	小
22,645	1,090	1,772	2,882	582	580	743

11 間伐支援事業

施業計画に基づいた適切な森林整備の推進を図るため、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林整備を補助金及び交付金により支援した。

(1) 森林整備地域活動支援交付金事業交付金

対象行為	対象面積 (ha)	交付対象者	交付額 (円)
森林経営計画作成促進	80.89	みかも森林組合	647,120
施業集約化の促進	14.23	みかも森林組合	426,900

(2) 森林整備事業費補助金

対象行為	対象面積 (ha)	交付対象者	交付額 (円)
—	—	—	—

12 木とのふれあい体験事業（森林環境学習支援事業）

(1) 林業体験教室

森林資源の有効活用と水源涵養等森林の持つ公益的機能についての理解を深めてもらうため、出流ふれあいの森において小学生を対象に間伐体験や木工教室を開催した。

- ・実施日 7月26日（金）
- ・参加者 寺尾中央小学校6年生、寺尾南小学校5・6年生 26人
- ・内容 間伐体験、木工教室

(2) 水とみどりのふれあい体験活動

森林資源の有効活用と水源涵養等森林の持つ公益的機能についての理解を深めてもらうため、出流ふれあいの森において小学生とその父兄を対象に木工教室やホテルの幼虫放流等を内容とした教室を開催予定であったが、大雪のため開催を断念した。

13 明るく安全な里山林整備事業

とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金事業等を活用し、地域と一体となった里山の環境整備を実施した。

(1) とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

ア 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業

管理協定に基づき管理団体が実施する里山林の管理活動を補助金により支援した。

実施箇所	面積 (ha)	管理団体	補助額 (円)
平井町地内	0.6	太平山観光会	600,000

イ 将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業

管理協定に基づき管理団体が実施する里山林の管理活動を補助金により支援した。

実施箇所	面積 (ha)	管理団体	補助額 (円)
鍋山町地内	3.5	宝蓮寺の森を美しく守る会	175,000

ウ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業

(ア) 管理協定に基づき管理団体が実施する里山林の管理活動を補助金により支援した。

実施箇所	面積 (ha)	管理団体	補助額 (円)
柏倉町地内	2.0	北柏倉里山愛護会	100,000
梅沢町地内	2.0	坂の入里山の会	100,000

(イ) 管理協定に基づき藪化した里山林の刈払い等の環境整備を実施した。

実施箇所	面積 (ha)	事業費 (円)
小野口町地内 (打越)	4.0	200,000
小野口町地内 (堤崎)	3.0	150,000
平井町地内	0.6	600,000

14 森を育む人づくり事業 (みんなの元気な森づくり支援事業)

とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金事業を活用し、地域や地域住民による森林を活用した森づくり活動を補助金により支援した。

- ・ 支援団体 3団体
- ・ 交付金額 500,000円

15 森林法に基づく許認可事務

- (1) 林地開発行為の許可、届出書の受理、監督処分
 - ・ 処理件数 林地開発計画変更届出書 2件
- (2) 伐採及び伐採後の造林届出書
 - ・ 処理件数 3件
- (3) 保安林の制限に関する事務
 - ・ 処理件数 - 件
- (4) 火入許可 (栃木市火入れに関する条例に基づく)
 - ・ 処理件数 - 件

16 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づく許認可事務

- (1) 鳥獣捕獲等の許可
 - ・ 処理件数 11件
- (2) 鳥獣飼養許可
 - ・ 処理件数 - 件

17 自然環境の保全及び緑化に関する条例に基づく許認可事務

(1) 県自然環境保全地域内における許可、届出事務

・ 処理件数 - 件

(2) 県緑地環境保全地域内における行為の届出等

・ 処理件数 - 件

18 林業種苗法に基づく許認可事務

種子及び苗木等生産事業者の登録事務等

・ 処理件数 - 件

第3節 産業基盤整備課

〔総括概要〕

産業基盤整備課の主な分掌事務は、雇用機会の拡大と安定した市税等自主財源の増加を図るため、市内産業団地等への企業誘致と、千塚町上川原地区、栃木インター周辺地区、都賀インター周辺地区等の新たな産業拠点の整備である。

企業誘致に関しては、中根産業団地に1社が、惣社東産業団地に2社の立地が決定し、両団地とも9月に分譲が完了した。また、宇都宮西中核工業団地に1社が既存のグループ企業所有地に移転操業する等5社の企業が操業を開始した。

主な誘致活動としては、企業の立地意向調査等により企業の設備投資に関する情報収集を行うとともに、企業訪問等により本市の優れた立地環境や県内トップクラスの企業立地の優遇制度を積極的にPRし、市内への企業誘致の推進を図った。

千塚町上川原地区の開発に関しては、県関係部署との調整協議や、地元協議会の総会等開催による地権者調整、先進地視察、広報紙による情報提供を実施するなど事業の推進を図った。また、平成22年度から継続して実施している環境影響評価について専門的な意見を聴くため、学識経験者を委員とする自然環境保全対策検討委員会を開催した。

栃木インター周辺地区においては、地元研究会の総会、役員会、先進地視察研修等の開催による地権者の合意形成に向けた取組を行った。

都賀インター周辺地区においては、地元研究会の総会、役員会、先進地視察研修等の開催による地権者の合意形成に向けた取組を行うとともに、土地利用意向調査を実施した。

企業立地担当

1 企業誘致事業

(1) 惣社東産業団地の概要

- ・所在地 惣社町及び壬生町地内
- ・事業主体 栃木県企業局
- ・団地面積 約21.8ha(壬生町分1ha含む)
- ・分譲面積 約14.3ha(壬生町分1ha含む)
- ・分譲率 100%
- ・企業数 11社(栃木市分)
- ・操業企業数 8社(栃木市分)

(2) 宇都宮西中核工業団地の概要

- ・所在地 西方町及び鹿沼市地内
- ・事業主体 栃木県土地開発公社
- ・団地面積 約142.7ha(栃木市分 約83.4ha)
- ・分譲面積 約91.8ha(栃木市分 約50.6ha)

- ・分譲済面積 約72.0ha(栃木市分 約42.1ha)
- ・分譲率 約78.4%(栃木市分 約83.2%)
- ・企業数 13社(栃木市分)
- ・操業企業数 10社(栃木市分)
- ・未分譲区画 8区画(栃木市分 約4,140㎡～約36,243㎡)
- ・分譲価格 10,700円／㎡～17,400円／㎡(H26.2改定)

(3) 中根産業団地の概要

- ・所在地 藤岡町地内
- ・事業主体 栃木市
- ・団地面積 約5.8ha
- ・分譲面積 約4.7ha
- ・分譲率 100%
- ・企業数 4社
- ・操業企業数 2社

(4) 企業誘致関係

ア 企業訪問及び産業団地への現地案内等の誘致活動

- ・企業訪問 69件
- ・現地案内 3件

イ 産業展等への参加

- ・企業立地フェア2013 (東京都) 5月15日(水)
- ・とちぎ企業誘致セミナー (東京都) 10月30日(水)
- ・第6回国際カーエレクトロニクス技術展 (東京都) 1月17日(金)

ウ 企業の立地意向調査の実施(情報収集及びPR)

- ・調査対象企業 2,897社
- ・回収率 8.8%(254社)

エ 市ホームページによる産業団地等の紹介

オ 企業立地促進審査会

回	開催日	主な内容
第1回	7月23日(火)	・正副会長の選出 ・指定申請企業の審査(2件)
第2回	12月24日(火)	・指定申請企業の審査(3件)

カ 企業立地促進条例に定める奨励金の交付(平成23年10月施行)

- ・立地奨励金交付企業 2社
- ・用地取得奨励金交付企業 1社

キ 企業立地奨励補助金の交付(旧制度 平成25年度で事業終了)

- ・交付企業 2社

ク 宇都宮西中核工業団地企業誘致活動協議会活動

- ・構成団体 4団体

独立行政法人中小企業基盤整備機構、栃木県土地開発公社、鹿沼市、栃木市

・役員会の開催

開催日	主 な 内 容
4月19日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・役員改選について ・平成24年度事業実績報告、収支決算について ・平成25年度事業計画（案）、収支予算（案）について

・幹事会の開催

開催日	主 な 内 容
1月29日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度事業実績報告、収支決算（見込み）について ・平成26年度事業計画（案）、収支予算（案）について ・独立行政法人中小企業基盤整備機構の退会に伴う対応について

・主な活動

実施日	内 容
5月13日（月）	リーフレット作成（1,000部）
9月9日（月）	ビジネス専門誌「プレジデント」への広告掲載
9月9日（月）	業界専門紙「物流ウィークリー」への広告掲載
11月18日（月）	業界専門紙「日刊自動車新聞」への広告掲載
通年	団地案内看板の維持管理（都賀IC、国道293、栃木IC）
通年	協議会ホームページによる情報発信
通年	日経事業用地ナビ（WEB）への用地情報掲載

ケ 皆川城内産業団地用地取得企業の立地に向けた手続き等の支援

皆川城内産業団地の概要

- ・所在地 皆川城内町地内
- ・事業主体 栃木市土地開発公社
- ・分譲開始 平成19年4月
- ・分譲面積 約3.5ha（平成19年11月全9区画契約締結）
- ・企業数 9社
- ・操業企業数 6社

基盤整備担当

1 千塚町上川原地区開発事業

(1) 事業計画

- ・位 置 千塚町・尻内町地内
- ・地区面積 約36.7ha
- ・地権者数 96人

(2) 千塚町上川原開発推進協議会活動

ア 総会、役員会等

区 分	開催回数	会 場
総会	1回（6月）	千塚町公民館
役員会	4回（6月、7月、11月、3月）	千塚町公民館

説明会	2回（7月、11月）	千塚町公民館
合同視察研修	1回（11月）	（仮）伊勢崎宮郷工業団地

イ 広報紙「かみがわら」発行

号	発行日	主 な 内 容
第4号	1月7日（火）	・環境影響評価準備書および都市計画案の縦覧結果 ・取付道路の用地測量の実施

ウ 千塚町上川原開発推進協議会補助金の交付 80,000円

エ 千塚町上川原開発に関する意向調査の実施

○調査期間 7月11日～24日

○対象者 91名

○集計結果

- ・売却希望面積 280,690㎡（売却面積＋代替地面積）
- ・換地希望面積 27,000㎡
- ・代替地希望面積 16,800㎡

(3) 業務委託

業 務 名	内 容	金額（円）
環境影響評価業務委託	環境影響評価準備書、 評価書作成	6,694,500
自然環境保全計画策定業務委託	自然環境保全計画作成	2,047,500
用地等測量業務委託	用地等測量業務	4,851,000

(4) 栃木市千塚町上川原地区開発事業に係る自然環境保全対策検討委員会

回	開催日	主 な 内 容
第1回 （通算7回目）	8月17日（土）	・第6回検討委員会意見の確認 ・準備書（案）について
第2回 （通算8回目）	9月18日（水）	・第7回検討委員会意見の確認 ・準備書（案）について
第3回 （通算9回目）	1月23日（木）	・第8回検討委員会意見の確認 ・準備書に対する栃木県環境影響評価技術審査 会からの意見等の概要及び事業者の見解（案） ・環境保全計画書（案） ・工事着手前現況調査計画（素案） ・モニタリング調査計画（素案）
第4回 （通算10回目）	2月26日（水）	・第9回検討委員会意見の確認 ・保全計画書（案） ・平成26年度調査計画（案）

2 栃木インター周辺開発事業

(1) 事業計画

- ・位 置 吹上町・野中町地内
- ・地区面積 約80ha

・地権者数 約230人

(2) 栃木インター周辺開発研究会活動

ア 総会、役員会

区 分	開催回数	会 場
総会	1回（6月）	吹上公民館
役員会	2回（6月、10月）	吹上公民館
合同視察研修	1回（11月）	(仮)伊勢崎宮郷工業団地

イ 広報紙「いぶき」発行

号	発行日	主 な 内 容
創刊号	3月28日（金）	・合同視察研修の開催報告 ・千塚町上川原地区開発事業進捗報告及び今後の予定

ウ 栃木インター周辺開発研究会補助金の交付 50,000円

3 都賀インター周辺地区開発事業

(1) 事業計画

- ・位 置 都賀町家中地内
- ・地区面積 約55.9ha
- ・地権者数 約71人

(2) 都賀インター周辺土地利用研究会活動

ア 総会、役員会

区 分	開催回数	会 場
総会	1回（6月）	本郷ふれあいセンター
役員会	3回（5月、10月、12月）	本郷ふれあいセンター
視察研修	1回（10月）	佐野田沼インター 産業団地
説明会	2回（12月、昼・夜各一回）	上新田公民館

イ 都賀インター周辺土地利用研究会補助金の交付 100,000円

ウ 都賀インター周辺地区土地利用に関する意向調査の実施

○調査期間 12月19日～1月10日

○調査者数 71名

4 中根産業団地造成事業

(1) 事業計画

- ・位 置 藤岡町富吉地内
- ・地区面積 約5.8ha
- ・分譲面積 約4.7ha
- ・分譲率 100%（H25.9月分譲完了）

第 7 章 建設水道部

第 1 節 道路課

〔総括概要〕

道路は、地域住民にとって最も身近な社会基盤であり、通勤、通学をはじめ買い物やレジャーなどの日常生活から、生産、物流の経済活動や地域の歴史、文化交流を支える公共施設として大きな役割を果たしている。

このため、道路課においては、市民が安全で快適な日常生活をおくるために必要な市道等の整備充実を図ると共に、これらの適正かつ効率的な維持管理に努め、生活環境の維持向上を図るための事務を行った。

監理担当においては、県や関係市町との協調を図りながら、各種協議会等の運営や要望活動を実施するほか、道水路敷等公共用地の適正管理に努めるため、境界の確定や、占用及び使用について許可、指導等を行った。

このほか、合併により一元化が必要となった道路台帳のデジタル化、高齢者、障害者等の移動円滑化を図るためのバリアフリー特定事業計画の推進、都賀西方 P A へのスマート I C 設置についての調査などを実施した。

道路整備担当においては、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上、または快適な生活環境の確保に資するため、大宮町地内市道 B 46 号線をはじめ 12 か所の道路改良工事のほか、地域医療確保のためのとちぎメディカルセンター第 1 病院(仮称)周辺の道路整備を実施した。

また、幹線道路における通学児童の安全と円滑な通行を確保するために入舟町地内市道 A 1 号線の計画準備に伴う測量・設計をはじめ 13 か所の調査設計などを実施した。

このほか、吹上町・宮町・皆川城内町地内市道 114 号線をはじめ 11 か所について、道路改良や交通安全施設整備に必要な用地取得を実施した。

道路維持担当においては、常に安全な道路の通行を確保するため、市民からの依頼に迅速に対応するための直営による維持補修や、計画に基づいた舗装修繕、交通安全施設の維持補修工事等を実施し、道路利用者の安全確保に努めた。

また、橋梁の防災対策として落橋防止工事の計画的な実施や、通学路の安全対策としての区画線設置等を行った。

このほか、市民協働による取組として道普請事業による道づくりを進めるとともに、道路のアダプト制度による道路清掃活動や自治会等における道路の愛護活動を積極的に支援することで、市民協働による維持管理に取り組み、道路の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

これら事務事業を進めるにあたっては、厳しい財政状況や少子高齢化の進展など社会情勢の変化を踏まえ、一層の効率化、重点化が求められていることから、総合計画及び市道整備基本計画等に基づいた計画的な執行に努めているところである。

監理担当

1 土木事業の総合調整

建設担当部課長会議

4月、6月に土木事務所と関連事業に関する協議を行った。

2 陳情、要望等受付

陳 情 内 容	件 数 (件)
道路（橋梁）改良工事に関するもの	1
排水路整備に関するもの	-
計	1

3 各種協議会・同盟会

(1) 関東国道協会栃木県地区協議会

- ・11月 要望活動実施（国、国会議員）
- ・2月 現場研修会開催（圏央道木更津東IC～市原鶴舞ICほか）

(2) その他協議会・同盟会

- ・道路関係団体総会、要望活動等参加 14回
- ・河川関係団体総会、要望活動等参加 6回

4 スマートIC設置調査事業

- ・スマートIC設置について国、県、ネクスコ、国会議員への要望活動
- ・関東地方整備局主催のスマートIC相談会に参加し国、県、ネクスコと協議
- ・（仮称）都賀西方PAスマートIC整備計画（案）策定業務委託
委託料 3,360,000円

5 バリアフリー推進事業

- ・栃木市バリアフリー特定事業計画策定
- ・栃木市バリアフリーマップ作成ほか

6 道路台帳統合デジタル化業務関係

（単位：円）

委 託 箇 所	委 託 内 容	金 額
栃木市及び岩舟町全域	道路台帳作成業務委託 （国際航業(株)宇都宮営業所）	30,000,000
	道路台帳作成現地調査業務委託 （栃木県用地補償コンサルタント）	50,400,000

7 道路占用許可関係

(単位：件)

申 請 内 容	地 域 名	件 数
市道道路占用許可申請	栃木地域	326
	大平地域	120
	藤岡地域	65
	都賀地域	39
	西方地域	37
占用廃止届	栃木地域	26
	大平地域	10
	藤岡地域	3
	都賀地域	6
	西方地域	5
計		637

8 各種申請・手続関係

(単位：件)

内 容	地 域 名	件 数
境界確認申請	栃木地域	191
	大平地域	89
	藤岡地域	88
	都賀地域	40
	西方地域	17
切絵図謄本交付・閲覧等申請	栃木地域	1,041
市有財産用途廃止申請	栃木地域	21
	大平地域	5
	藤岡地域	6
	都賀地域	5
	西方地域	1
法定外公共物使用許可申請等	栃木地域	103
	大平地域	50
	藤岡地域	27
	都賀地域	7
	西方地域	21
道路工事施工承認申請	栃木地域	44
	大平地域	14
	藤岡地域	4
	都賀地域	11
	西方地域	4
放流同意申請書（道路・河川）	栃木地域	71

	大平地域	23
	藤岡地域	14
	都賀地域	6
	西方地域	-
計		1,903

道路整備担当

1 工事関係

(1) 道路改良工事

工事箇所		工事内容			金額(円)	備考
町名	路線名 (市道～号線)	延長 (m)	幅員 (m)	その他		
柏倉町	D135	201.4	6.0	-	4,263,000	舗装(表層)
大塚町	C363	-	-	-	2,488,500	待避所
志鳥町	D14	148.3	6.0	-	4,284,000	舗装(表層)
岩出町	D73	87.8	5.0	-	1,995,000	舗装(表層)
国府町	B38	84.3	4.0	-	2,987,250	
新井町	232	-	-	-	2,357,250	待避所
片柳町2丁目	A109	51.3	4.0	-	2,593,500	
皆川城内町	D10	191.3	6.0	-	15,739,500	
吹上町・宮町 皆川城内町	114	63.4	11.0	-	11,988,000	翌年度に繰越 繰越明許費 繰越明許費
		73.5	11.0	-	12,642,000	
		242.1	11.0	-	51,208,500	
大宮町	B46	85.0	6.0	-	4,872,000	その1
		194.3	6.0	-	17,955,000	その2
千塚町	D149	338.3	6.0	-	21,987,000	
大平町牛久・ 川連	0152ほか	153.5	13.0	-	34,282,500	その1
		105.4			39,816,000	その2
		329.2	45,958,500		その3	
		196.1	17,041,500		その4	
		123.7	12.0		16,873,500	その5
片柳町2丁目	A109	41.0	4.0	-	5,544,000	繰越明許費
計 13箇所					316,876,500	

(2) 交通安全施設整備工事

工 事 箇 所		工 事 内 容			金 額 (円)	備 考
町 名	路線名 (市道～号線)	延長 (m)	幅員 (m)	その他		
万 町	A1	106.8	11.5	-	21,615,000	翌年度に繰越
箱 森 町	205			-	6,237,000	人道橋
計 2箇所					27,852,000	

2 業務委託関係

業 務 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額 (円)	備 考
	町 名	路線名 (市道～号線)			
用地測量	大 塚 町	C9	用地測量 1.4ha	2,026,500	
測 量	惣 社 町	C3	平面測量 1.4ha	871,500	
用地調査	祝 町	106	補償額再積算1件	262,500	
用地調査	万 町	A1	補償額再積算2件	564,900	
用地調査 土地評価	平 井 町	209	物件調査6件ほか 各画地の評価 27画地	1,199,100 616,800	
用地調査	今泉町 1丁目・2丁目	102	補償額再積算 4 件	446,250	
用地調査	吹上町・宮町 皆川城内町	114	補償額再積算8件	1,305,150	
測量設計	入 舟 町	A1	平面測量0.7haほか	2,803,500	
用地調査	大 宮 町	B46	物件調査1件	304,500	
道路調査 地質調査 用地調査	大 宮 町	106	交通量調査 CBR試験4箇所 物件調査15件	483,000 493,500 9,345,000	
用地調査	大平町牛久・川連	0152ほか	物件調査3件ほか	693,000	
測量設計	野 中 町	233	永宮橋詳細設計ほか	20,790,000	
測量調査	今泉町 1・2 丁目、日ノ出町	都市計画道路今泉泉川線	平面測量18haほか	9,607,500	
計 13箇所				51,812,700	

3 用地取得関係

用地取得箇所		用地 (筆)	補償 (件)	金 額 (円)	備 考
町 名	路線名 (市道～号線)				
万 町	A1	2	3	28,028,312	翌年度に繰越
皆川城内町	D10	-	3	1,709,681	
平 井 町	209	11	2	17,950,461	
大 宮 町	C13	9	4	31,738,340	
今泉町 1・2 丁目	102	3	4	27,856,065	
大 宮 町	B46	5	4	4,861,012	

吹上町・宮町 皆川城内町	114	15	9	56,212,644	
千塚町	D149	-	2	454,610	
大平町牛久・川連	0152ほか	26	10	54,809,268	
箱森町	205	1	1	537,755	
城内町1丁目、本町	107	1	-	5,848,590	
計 11箇所				230,006,738	

4 登記関係

内 容	筆数(筆)
分 筆 (代 位)	77
地 積 更 正 (代 位)	42
地 図 訂 正 (代 位)	-
名義人表示変更・更正 (代 位)	2
相 続 (代 位)	1
所 有 権 保 存	1
所 有 権 移 転	41
計	164

道路維持担当

1 道路工事関係

(1) 道路維持補修工事

(単位：円)

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額	備 考
町 名	路線名			
万町	A41	側溝打替	7,654,500	
星野町	246	大型積ブロック	6,331,500	
計			13,986,000	

(2) 舗装補修工事

(単位：円)

工 事 箇 所		工 事 内 容			金 額	備 考
町 名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
国府町	218	173.5	5~8.25	舗装補修	3,496,500	
皆川城内町	D98	475.0	3.2~4.0	舗装補修	6,195,000	
城内町2丁目	B95	247.0	5.5~6.2	舗装補修	5,722,500	
大宮町	B47	640.0	3.5~5.2	舗装補修	8,043,000	
大塚町	C11	382.0	1.9~3.0	舗装補修	4,756,500	
万町	A51	17.5	6.4~10.67	舗装補修	2,866,500	
神田町	102	151.0	6.70	路上再生路盤	13,335,000	
大塚町	113	660.0	6.87~8.5	路上再生路盤	51,240,000	

宮田町	113	400.0	8.3～8.5	路上再生路盤	34,020,000	
高谷町	113	430.0	7.4～8.6	舗装補修	13,860,000	
計					143,535,000	

(3) 通学路交通安全施設工事 (単位：円)

工事箇所		工事内容			金額	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
川原田町ほか	114ほか	-	-	区画線設置	2,870,700	
大平町西山田	0197ほか	205.2	1.92～2.44	薄層カラー舗装	2,635,500	
都賀町家中	T①-266	46.0	-	防護柵設置	493,500	
計					5,999,700	

(4) 交通安全施設整備工事 (単位：円)

工事箇所		工事内容			金額	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
富士見町・片柳町1丁目	203	542.4	0.88～1.38	薄層カラー舗装	13,429,500	
大町	A4	-	-	街灯設置	2,514,750	
入舟町ほか	A3ほか	-	-	区画線設置	1,270,500	
沼和田町ほか	101ほか	-	-	その他	1,779,750	
計					18,994,500	

(5) 橋りょう維持補修工事 (単位：円)

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名			
大久保町	永倉橋	橋梁補修(高欄塗装)	325,500	

(6) 橋りょう補修工事 (単位：円)

委託箇所		委託内容	金額	備考
町名	路線名			
平井町・片柳町4丁目	209	橋梁補修(落橋防止)工事	20,370,000	大柳橋

2 業務委託関係

(1) 道路維持補修業務委託 (単位：円)

委託名	委託箇所		委託内容	金額
	町名	路線名		
舗装補修業務	栃木地域内	-	舗装補修等	17,871,000
道路維持補修業務	栃木地域内	-	道路補修等	12,948,600
栃木駅関係清掃業務	沼和田町	栃木駅南北連絡通路ほか	清掃業務	2,829,750

新栃木駅関係清掃業務	平柳町2丁目	新栃木東口広場ほか	清掃業務	1,302,000
新栃木駅東西自由通路 エレベーター保守点検業務	平柳町2丁目	新栃木駅東西 自由通路	エレベーター 保守点検業務	1,512,000
栃木駅南北連絡通路 ドア施錠業務	沼和田町	栃木駅南北 連絡通路	ドア施錠業務	1,369,200
栃木駅南北連絡通路電気 設備点検業務	沼和田町	栃木駅南北連 絡通路	電機設備等	518,700
樹木管理等業務等	栃木地域内	113ほか29路線	樹木管理	14,413,350
計				52,764,600

(2) 河川・水路管理業務委託 (単位：円)

委 託 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額	備 考
	町 名	河川名等			
調整池管理業務	惣社町ほか8件	調整池	除草ほか	1,599,150	

3 道普請事業

業務委託

(単位：円)

委 託 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額	備 考
	町 名				
道普請事業測量・ 用地調査業務	皆川城内町ほか		測量・用地調査	966,000	
道普請支給資材	志鳥町地内ほか		L型擁壁ほか	2,491,492	
計				3,457,492	

4 工事用原材料

材 料 名	数 量	金 額 (円)
常温合材等	1,133t	16,356,900
切込砕石等	566.01m ³	1,196,628
柵板	600枚	1,499,400
交通安全施設用資材	-	5,362,035
木材等	-	54,242
計		24,469,205

5 栃木市道路等のアダプト制度 (道路・河川)

「栃木市道路等のアダプト制度」は、ボランティア活動に意欲のある市民が、身近な公共空間である道路、河川等において、清掃、除草等の美化活動を行い、市がその活動をサポートすることにより、市民協働による維持管理を行う制度で、平成25年度現在の活動者(団体)の状況は、12路線の道路に12団体の届出がある。

第 2 節 河川緑地課

〔総括概要〕

河川緑地課は市民が安全で快適な暮らしに必要な不可欠な社会資本である河川・公園等の効率的な整備や維持管理に努め、生活環境の向上を図っている。

河川については、洪水被害などを防ぎ、安全で快適な市民生活を守るために、治水・利水の機能の充実を図りながら、環境に配慮した水辺空間の創出などが求められている。

本市においては、台風や大雨時の浸水被害対策や適正な水利用を図るため、他事業と連携しながら計画的に河川、排水路等の整備を進めている。

河川整備事業としては、箱森町地内館野川の改修工事をはじめ、市内各地区において、河川改修、排水路整備工事等を実施するとともに、鍋山町地内の寺尾ふれあい水辺の広場においてあずまや設置工事を実施した。

河川管理事業としては、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草を行った。

また、市民協働による取組として、栃木市道路等のアダプト制度（以下アダプト制度という。）による河川清掃活動や巴波川一斉清掃をはじめとする自治会等における河川等の愛護活動を積極的に支援することで、市民とともに維持管理に取り組み、河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

公園緑地管理については、太平山県立自然公園や、永野川緑地公園を含む市内 120 か所ある公園等の利用者が安全で快適に利用できるよう、直営による公園の清掃、除草、樹木及び遊具等の施設管理のほか、業者委託による樹木等の管理や施設の維持補修工事を実施し、公園の環境維持の向上に努めた。

そのほか、アダプト制度により公園の清掃等のボランティア活動を支援することで、市民協働による魅力ある公園の維持管理に努めた。

栃木市総合運動公園の維持管理については、本市が誇るスポーツ施設として県内はもとより関東一円から、年間 40 万人以上の利用者が訪れている。総合体育館などの運動施設のほか園内の芝生広場や、憩いの森などを巡る園路等において、健康づくりなどのためにウォーキングやジョギング等の利用が増加していることから、常に快適な状態で運動に親しめるよう、指定管理者である（株）メディカル フィットネスとちの木と連携を図り、適切な管理運営、施設維持に努めた。また、陸上競技場第 2 種公認検定のために陸上競技場改修工事を行うとともに、老朽化等による施設の更新のためテニスコート放送設備改修工事や硬式野球場において BS0 ランプ改修工事を実施した。

太平山県立自然公園の謙信平パーゴラについては、一部施設利用に支障が生じたため、改修工事を行うとともに園路改修工事を実施した。

永野川緑地公園では永野川緑地公園施設整備工事を実施し、四阿やベンチ等の休憩施設や遊戯施設を設置した。

河川担当

1 工事関係

(1) 河川改修工事

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額(円)	備 考
町 名	河 川 名			
大 宮 町	関根川上流	水路整備 W0.4×H0.6m L=94.6m	5,682,600	
箱 森 町	舘野川支川	水路整備 W0.7×H0.9m L=45.0m	2,260,650	
箱 森 町	舘野川	大型積ブロック A=107㎡	23,294,250	
計 3か所			31,237,500	

(2) 排水路整備工事

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額(円)	備 考
町 名	河 川 名			
菌部町1丁目、3丁目	東郷堀川	大型積ブロック A=227㎡	21,787,500	
城内町1丁目ほか19件	城内川ほか	水路整備、河床整正 ほか	11,015,550	
計			32,803,050	

(3) 河川維持補修工事

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額(円)	備 考
町 名	河 川 名			
富士見町ほか2件	水 路 等	水路維持補修工事	1,995,000	

(4) 永野川桜づつみ整備工事

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額(円)	備 考
町 名	河 川 名			
大 皆 川 町	永 野 川	堤防腹付 L=47.0m、桜3本植樹	5,176,500	

(5) 寺尾ふれあい水辺の広場公園整備工事

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額(円)	備 考
町 名	河 川 名			
鍋 山 町	永 野 川	あずまや、水飲場設置	4,971,750	

2 業務委託関係

業 務 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額 (円)	備 考
	町 名	路 線 名			
河川改修事業	大 宮 町 ほか10町	赤 淵 川	全体計画策定 ほか2件	8,064,000	
河川改修事業	沼和田町	柚井木川	流域現況調査	840,000	
河川改修事業	菌部町1丁目	東郷堀川	用地測量 ほか2件	1,183,350	

河川改修事業	川原田町	白地沼	横断測量 ほか1件	779,100	
河川浄化施設 維持管理	入舟町	県庁堀川	設備管理	231,000	
河川水路等清掃	菌部町2丁目 ほか15件	東郷堀川ほか	河川水路清掃等	4,586,925	
計				15,684,375	

3 用地取得関係

用地取得箇所		用地(筆)	補償(件)	金額(円)	備考
町名	河川名				
大皆川町	永野川	3	-	1,602,400	桜づつみ整備

4 栃木市道路等のアダプト制度(河川)

アダプト制度は、ボランティア活動に意欲のある市民が、身近な公共空間である道路、河川等において、清掃、除草等の美化活動を行い、市がその活動をサポートすることにより、市民協働による維持管理を行う制度で、平成25年度現在の活動者(団体)の状況は、永野川等の河川に7団体の届出がある。

公園緑地担当

1 公園管理事業

都市公園等管理事業

(1) 公園の清掃等

公園の清掃、除草、下草刈り払い等を実施した。また、アダプト制度により、登録団体等による公園の清掃、除草、草花管理等を実施した。

(2) 樹木の管理

公園内樹木の育成管理や病虫害防除のため、伐採、剪定、施肥、薬剤散布等を市職員及び専門業者への委託により実施した。

(3) 施設の維持管理

利用者が常に快適、安全に利用できるよう、公園施設の点検、注油、補修等を行い、事故防止と施設の維持管理に努めた。(単位:円)

補修内容	金額
公園施設補修(錦着山胸像修繕工事ほか13件)	2,857,050
給排水設備修理(あじさい坂トイレ排水設備改修工事)	252,000
遊具修理(錦着山公園遊具撤去工事ほか1件)	444,150
トイレ補修(惣社第一公園トイレドア修繕工事ほか7件)	933,450
電気設備修理(永野川緑地公園照明修繕工事ほか8件)	290,923

合 計	4,777,573
-----	-----------

(4) 業務委託 (単位:円)

業 務 名		公 園 名	金 額
樹木管理業務委託	年間管理業務	永野川緑地公園、錦着山公園、円通寺前公園、四季の森公園等	13,765,500
	高木剪定、樹木剪定、支障木伐採業務	太平山県立自然公園、永野川緑地公園、錦着山公園等	6,368,250
	除草業務委託	永野川緑地公園、箱の森北公園、えきまえ公園、等	4,387,425
	公園清掃業務	丸沼・長瀬公園、皆川城址公園、永野川緑地公園	845,760
	桜害鳥(ウソ)防除業務	太平山県立自然公園	410,550
	害虫・スズメバチ駆除業務等	永野川緑地公園、太平山県立自然公園、丸沼・長瀬公園、ほか5箇所	341,250
施設管理業務委託	胸像修復業務委託	錦着山公園	787,500
	浄化槽維持管理業務 (浄化槽清掃・保守点検)	太平山県立自然公園、ほか20公園	3,386,670
	公園清掃業務(水路等)	丸沼・長瀬公園、栃木城址公園 ほか2箇所	1,915,200
	警備業務委託	永野川緑地公園パークセンター	138,600
合 計			32,346,705

(5) 各種許可申請及び届出 (単位:件)

内 容	地 域 名	件 数
公園内における行為の許可申請	栃木地域	73
	大平地域	7
	藤岡地域	1
	都賀地域	13
	西方地域	12
合 計		106

2 総合運動公園管理事業

(1) 維持補修 (単位:円)

補 修 内 容	金 額
陸上競技場自動ドア装置交換工事	315,000
陸上競技場排水路清掃工事	498,750
陸上競技場芝切り工事	493,500

陸上競技場円盤・ハンマー投用囲い撤去処分	498,750
陸上競技場南西側電話ボックス電源撤去工事	21,000
総合体育館地下タンク撤去工事	315,000
テニスコート放送設備改修工事	457,800
合 計	2,599,800

(2) 手数料 (単位:円)

内 容	金 額
陸上競技場第2種公認更新手数料	314,500
合 計	314,500

(3) 業務委託 (単位:円)

業 務 内 容	金 額
高木剪定業務委託 その1	499,800
高木剪定業務委託 その2	496,650
高木剪定業務委託 その3	493,500
高木剪定業務委託 その4	498,750
合 計	1,988,700

3 総合運動公園管理運営委託事業

(1) 業務委託 (単位:円)

業 務 名	業 務 内 容	金 額
総合運動公園管理運営業務	施設管理運営(指定管理料)	162,353,897

(2) 利用状況

ア 総合体育館 (単位:人)

区分 月	主競 技場	サブ 競技場	卓球場	トレーニ ング室	柔道場	剣道場	会議室	計
4月	4,498	2,137	1,197	2,877	108	217	176	11,210
5月	5,824	3,302	1,035	2,923	108	359	305	13,856
6月	7,592	2,963	923	3,200	551	841	740	16,810
7月	4,516	1,987	1,194	3,032	93	374	467	11,663
8月	5,665	2,390	1,335	3,033	83	178	393	13,077
9月	7,066	2,604	1,002	3,021	171	268	504	14,636
10月	6,981	2,761	1,097	3,036	299	354	619	15,147
11月	4,654	2,083	1,011	2,818	42	209	235	11,052
12月	4,375	1,807	954	2,575	91	203	198	10,203

1月	4,208	1,935	880	2,796	73	175	197	10,264
2月	3,482	1,725	803	2,510	81	237	105	8,943
3月	5,928	2,687	954	2,752	102	245	443	13,111
計	64,789	28,381	12,385	34,573	1,802	3,660	4,382	149,972

※ 教室の人数は含まれておりません。

イ 野球場・グラウンド

(単位：人 () 内は利用件数)

区分 月	硬式野球場	軟式野球場 4面	ナイター 1面	芝生運動広場 2面	多目的広場 2面	計
4月	1,568	3,777	149	718	1,223	7,435(65)
5月	1,659	4,165	183	1,306	4,762	12,075(87)
6月	1,235	3,297	218	1,795	2,311	8,856(95)
7月	1,177	2,520	172	886	2,992	7,747(96)
8月	1,161	3,755	184	1,574	3,020	9,694(94)
9月	2,267	3,949	150	2,611	2,306	11,283(73)
10月	427	2,620	160	1,217	3,139	7,563(79)
11月	1,330	2,840	120	1,444	3,708	9,442(95)
12月	150	40	-	818	1,450	2,458(52)
1月	-	30	-	940	1,256	2,226(53)
2月	-	30	-	625	326	981(30)
3月	801	1,939	30	1,487	1,571	5,828(92)
計	11,775	28,962	1,366	15,421	28,064	85,588(911)

※12月2日から3月7日までグラウンド整備のため、硬式・軟式球場(4面)の利用を中止。

ウ 庭球場

区分 月	一般利用	大会		計
	人数(人)	件数(件)	人数(人)	人数(人)
4月	4,128	7	1,363	5,491
5月	4,984	12	2,418	7,402
6月	4,511	7	898	5,409
7月	5,104	10	1,183	6,287
8月	4,916	9	1,544	6,460
9月	4,903	11	1,767	6,670
10月	3,381	6	583	3,964
11月	4,246	10	2,292	6,538
12月	4,346	4	1,440	5,786

1月	4,153	5	1,076	5,229
2月	1,496	0	0	1,496
3月	3,922	7	747	4,669
計	50,090	88	15,311	65,401

※ 教室の人数は含まれておりません。

エ 陸上競技場

(単位:人 () 内は利用件数)

区分 月	個人	団体	計	区分 月	個人	団体	計
4月	321	1,212 (13)	1,533	10月	516	1,571 (32)	2,087
5月	174	4,640 (29)	4,814	11月	204	2,482 (10)	2,686
6月	-	1,410 (3)	1,410	12月	140	1,194 (13)	1,334
7月	-	- (-)	-	1月	222	1,845 (11)	2,067
8月	-	- (-)	-	2月	418	418 (10)	836
9月	31	745 (12)	776	3月	953	1,783 (22)	2,736
合 計					2,979	17,300 (155)	20,279

※ 第2種公認改修工事のため6月1日から8月31日まで利用中止。

オ プール

(単位:人)

区分 月	大人	高校生以下	計	区分 月	大人	高校生以下	計
4月	2,089	320	2,409	10月	2,475	277	2,752
5月	2,372	423	2,795	11月	2,042	240	2,282
6月	2,676	1,143	3,819	12月	1,746	235	1,981
7月	4,263	2,934	7,197	1月	1,431	153	1,584
8月	6,477	3,121	9,598	2月	1,141	83	1,224
9月	2,820	577	3,397	3月	1,842	310	2,152
合 計					31,374	9,816	41,190

※ 教室の人数は含まれておりません。

※ 9月1日から3月31日までの毎週火曜日を保守点検日として利用を中止。

カ 弓道場

(単位:人 () 内は利用件数)

区分 月	個人	団体	計	区分 月	個人	団体	計
4月	17	423 (5)	440	10月	30	723 (9)	753
5月	18	405 (9)	423	11月	17	664 (7)	681
6月	44	704 (8)	748	12月	18	509 (5)	527
7月	32	604 (7)	636	1月	16	635 (6)	651
8月	20	875 (8)	895	2月	16	641 (6)	657
9月	30	743 (8)	773	3月	13	625 (5)	638
合 計					271	7,551 (83)	7,822

(3) 自主事業開催状況

市民の健康や体力の維持増進とスポーツ及びレクリエーションの普及のための各種講座等の開催や、利用者の目的に合った効果的なトレーニングができるようサービスの提供に努めた。

また、プールの閉鎖時期を利用し、50m プールを「管理釣り場」として開設し、施設の有効活用及び利用者の拡大に努めた。

ア 各種スポーツ教室

講座名	期間	延べ参加者数(人)
ピラティス	4月～3月	1,423
エアロビクス(夜)	4月～3月	458
エアロビクス(昼)	10月～3月	242
ヨーガセラピー	4月～3月	287
ハワイアンフラ・フラ入門	4月～3月	1,064
硬式テニス(一般午前)	4月～3月	428
硬式テニス(一般ナイター)	4月～3月	255
硬式テニス(小学1～4年生)	4月～3月	392
硬式テニス(小学3～6年生)	4月～3月	567
KID'S SPORTS SCHOOL	4月～3月	1,625
スロートレーニング	4月～3月	463
ノルディックウォーキング	4月～3月	477
エンジョイフットサル	4月～3月	1,195
健康体操	4月～3月	545
キッズトレーニング	4月～3月	1,117
卓球	4月～3月	379
キッズダンス	4月～3月	1,250
サッカー	4月～3月	1,113
ラグビー	4月～3月	270
ステップ	4月～3月	844
リンパ促進運動	4月～3月	398
ダンベル体操	4月～3月	222
バランスボール	4月～3月	1,252
ズンバ	4月～3月	569
HIP HOP	4月～3月	218
プラーナヨガ	4月～3月	490
ポールストレッチ	4月～3月	353
青竹体操	4月～5月	39
サーキット	4月～6月	39
バランス改善運動	4月～9月	147
フィールドヨガ	4月～11月	241
ブートキャンプ	4月～12月	173
ベリーダンス	6月～3月	326

部位別トレーニング	7月～9月	48
短期スポーツ教室	7月～9月	122
合 計		19,031

イ 水泳教室

教 室 名	期 間	延べ参加者数(人)
幼児水なれ	4月～3月	2,414
幼児初級	4月～3月	874
小学生水なれ	4月～3月	1,529
小学生初級	4月～3月	2,999
小学生初中級	4月～3月	4,443
小学生中級	4月～3月	3,963
小学生上級	4月～3月	1,459
大人はじめて	4月～3月	484
大人初級	4月～3月	1,496
大人中級	4月～3月	862
大人水中運動	4月～3月	337
大人水中歩行	4月～3月	831
大人アクアビクス	4月～3月	1,029
水中歩行&アクアビクス	4月～3月	327
フィンスイミング	4月～3月	315
大人水なれ	4月～3月	79
泳法別	4月～3月	428
ワンポイントレッスン	4月～3月	492
水泳体操	4月～9月	166
ストレッチ	4月～9月	122
大人アクアビクス基礎	4月～10月	180
短期水泳教室	4月	44
短期水泳教室	7月～8月	139
合 計		25,012

ウ PASS 登録者数

(単位:人)

区 分	登録者数	登録者利用数
シングル PASS (体育館)	247	78,337
シングル PASS (プール)	130	
シングル PASS (陸上競技場)	2	
シングル PASS (弓道場)	1	
マルチ PASS	73	
マルチ PASS(U V A)	39	
メディカル PASS	5	
ジュニア PASS	31	
マンスリーPASS	303	

合 計	831
-----	-----

シングル PASS・・・個人利用可能な有料施設 1 か所が年間使い放題
 マルチ PASS・・・個人利用可能な有料全施設が年間使い放題
 メディカル PASS・・・フィットネス・メディカルサービスが受けられる
 ジュニア PASS・・・小学生を対象としたスポーツ塾
 マンスリーPASS・・・個人利用可能な有料施設とレッスンプログラムが年間使い放題

エ PASS 登録者の施設利用人数 (単位:人)

区 分		登録者利用数
総合体育館	メイン・サブ競技場	6,398
	トレーニングルーム	23,341
	卓球場	4,909
	柔道場	14
	剣道場	123
	会議室	-
プール		18,836
陸上競技場		170
弓道場		183
テニスコート		24,363

オ 管理釣り場

- ・開設期間 4月、11月、12月、1月～3月
- ・利用状況

(単位:人)

区分	共通券			平日券		計
	一日券	午前券	午後券	イブニング券	ナイター券	
大人	438	282	539	77	548	1,884
中学生以下	36	4	99	3	18	160
計	474	286	638	80	566	2044

(ア) 魚のつかみどり 4月27日～29日 参加者247人

4 総合運動公園施設整備事業

(1) 整備工事事業

(単位:円)

施設名	内 容	金 額
陸上競技場	陸上競技場改修工事(第2種公認検定)	36,225,000
	陸上競技場改修工事(第2種公認検定)変更	2,058,000

	陸上競技場、給水管漏水修繕工事	2,041,200
硬式野球場	BSO ランプ改修工事	420,000
合	計	40,744,200

(2) 使用料及び賃借料 (単位:円)

施設名	内 容	金 額
陸上競技場	陸上競技場第2種公認検定品賃借料	3,969,000

(3) 備品購入費 (単位:円)

施設名	内 容	金 額
陸上競技場	備品購入 (砲丸ピットカバー、3000m障害代用縁石等)	4,083,450

5 太平山県立自然公園施設整備事業

(1) 業務委託 (単位:円)

業 務 内 容	金 額
パーゴラ改修設計業務委託料	699,300

(2) 工事請負 (単位:円)

業 務 名	業 務 内 容	金 額
施設整備工事	太平山謙信平パーゴラ改修工事	13,965,000
施設整備工事	太平山謙信平パーゴラ改修工事	3,076,500
施設整備工事	太平山謙信平園路改修工事	1,281,000
合	計	18,322,500

6 歩いていける公園整備事業 (単位:円)

業 務 内 容	金 額
芝塚山公園整備測量設計業務委託料	3,675,000

7 永野川緑地公園整備事業 (単位:円)

業 務 内 容	金 額	
調査、設計等委託料	493,500	
永野川緑地公園施設整備工事費	36,225,000	
合	計	36,718,500

8 その他事業

(1) 家庭緑化用苗木配布会の開催

みどり豊かな環境を次の世代に引き継いでいくため、市民の緑化意識の高揚と環境緑化の推進を図るための緑化行事として苗木配布会を実施した。

- ・実施日 10月27日（日）
- ・場 所 総合運動公園中心広場
- ・内 容 ヤマハギ 400本配布

(2) 栃木市道路等のアダプト制度（公園）

アダプト制度は、ボランティア活動に意欲のある市民が、身近な公共空間である公園等において、清掃、除草等の美化活動を行い、市がその活動をサポートすることにより、市民協働による維持管理を行う制度。平成25年度の活動者（団体）の状況は28公園に31団体、4個人の届出がある。

第3節 下水道課

〔総括概要〕

本市では、行政区域を越えて効率的に汚水処理を行うため、栃木市及び壬生町を対象とした巴波川流域関連公共下水道並びに栃木市及び岩舟町を対象とした渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）関連公共下水道として、市民の快適で衛生的な生活環境の実現と、公共用水域の水質保全を図るための事業を実施している。

公共下水道の全体計画区域は、市街化区域を中心とした3,896.4ヘクタールであり、現在の事業認可区域は、2,900.5ヘクタールである。

本市全体での今年度末の整備状況は、整備面積 2,332.0ヘクタール、整備率80.4%、普及率55.7%、水洗化率87.8%である。

主な整備区域は、栃木地域は栃木環状線外側の箱森町等であり、大平地域は大平町西野田地区等である。また、藤岡地域は藤岡町赤麻地区等であり、都賀地域は都賀町升塚地区等、西方地域は西方町真名子地区である。

事業実施に当たっては、面整備の推進と併せて水洗化率の向上を図るため、未接続世帯への戸別訪問を強化するとともに、広報紙やホームページなどによる情報提供の充実や、下水道フェスティバル等の普及対策事業を実施した。

下水道事業は、独立採算制が義務付けられていることから、建設財源として重要な受益者負担金の賦課徴収や使用料滞納者への訪問徴収を行い、自主財源の確保に努めるとともに、事務の合理化や工事コストの縮減など、最少の費用で最大の効果が上げられるよう、経営の効率化に努めた。

また、農業集落排水事業は大平地域、藤岡地域、西方地域の3地域6地区で汚水を処理するため実施しており、大平地域の下皆川地区は平成9年に計画策定し平成14年に供用開始、みずほ西地区は平成12年に計画策定し平成18年供用開始。藤岡地域の巴波川南部地区は平成13年に計画策定し平成19年に供用開始、巴波川西部地区は平成16年に計画策定し平成23年供用開始。西方地域の西方西部地区は平成元年に計画策定し平成5年に供用開始、本郷金井地区は平成4年に計画策定し平成9年供用開始しており、排水処理施設の適正な維持管理等を実施した。

さらに、公共下水道の認可区域外及び農業集落排水事業の整備区域外の生活雑排水対策事業として、家庭用合併処理浄化槽の設置者に補助金を交付した。

下水道管理担当

1 徴収状況

(1) 受益者負担金関係 (受益者負担金相当額を含む)

	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	徴収率(%)
栃木地域	1,089	39,058,520	29,952,200	1,881,060	76.7
大平地域	599	55,418,200	47,161,500	1,045,200	85.1
藤岡地域	143	13,169,800	11,289,100	403,600	85.7
都賀地域	123	7,095,410	4,739,500	203,300	66.8
西方地域	56	3,231,770	983,830	75,190	30.4
合 計	2,010	117,973,700	94,126,130	3,608,350	79.8

(2) 下水道使用料関係

	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	徴収率(%)
栃木地域	208,846	748,218,492	654,440,115	2,491,452	87.5
大平地域	26,088	152,956,021	137,904,806	300,638	90.2
藤岡地域	21,114	63,796,121	56,322,829	1,118,894	88.3
都賀地域	14,530	96,233,957	82,487,552	1,584,977	85.7
西方地域	3,116	34,232,180	32,607,100	269,650	95.3
合 計	273,694	1,095,436,771	963,762,402	5,765,611	88.0

2 流域下水道事業

巴波川流域下水道事業は、本市及び壬生町の1市1町を対象として、渡良瀬川下流流域(大岩藤処理区)下水道事業は、本市及び岩舟町の1市1町を対象として、栃木県が事業主体となり、建設及び維持管理事業を実施している。

(1) 流域下水道の建設事業

ア 巴波川流域下水道建設事業費

巴波川流域下水道建設事業費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金 97,761,305円

イ 渡良瀬川下流流域(大岩藤処理区)下水道建設事業費

渡良瀬川下流流域(大岩藤処理区)下水道建設事業費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金 32,521,877円

(2) 流域下水道の維持管理事業

ア 巴波川流域下水道維持管理費

巴波川流域下水道維持管理費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金 355,488,000円

イ 渡良瀬川下流流域(大岩藤処理区)下水道維持管理費

渡良瀬川下流流域(大岩藤処理区)下水道維持管理費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金 182,343,000円

3 流域下水道促進協議会関係

流域下水道事業の推進を図るため、関連市町で協議会を設置し、下水道フェスティバル、研修会等を開催しており、協議会負担金を次のとおり支出した。

- ・巴波川流域下水道事業本市負担金 254,000円
- ・渡良瀬川下流域（大岩藤処理区）下水道事業本市負担金 160,000円

4 農業集落排水事業受益者分担金

地域	地 区	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	徴収率(%)
大平	下 皆 川	1	250,728	250,728	-	100.0
	み ず ほ 西	2	406,850	203,425	-	50.0
藤岡	巴波川南部	2	513,200	513,200	-	100.0
	巴波川西部	27	4,328,200	1,141,600	311,800	26.4
西方	西方西部	1	91,500	-	91,500	-
	本郷金井	1	192,000	39,000	-	20.3
合 計		34	5,782,478	2,147,953	403,300	37.1

5 農業集落排水事業施設使用料

地域	地 区	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	徴収率(%)
大平	下 皆 川	1,019	6,084,012	5,493,285	86,112	90.3
	み ず ほ 西	1,974	11,320,112	9,962,792	48,675	88.0
藤岡	巴波川南部	2,588	12,298,020	10,852,850	78,750	88.3
	巴波川西部	2,046	10,152,975	9,144,975	-	90.1
西方	西方西部	1,478	15,749,520	15,137,140	144,520	96.1
	本郷金井	1,235	14,329,780	13,726,240	100,200	95.8
合 計		10,340	69,934,419	64,317,282	458,257	92.0

下水道整備担当

1 公共下水道整備状況

(1) 汚水

区 分		地域	今年度施工分	今年度末累計
管 渠 延 長	幹 線	栃木	173.4m	29,410.5m
		大平	213.0m	10,913.0m
		藤岡	-	5,326.8m
		都賀	-	3,917.0m
		西方	-	2,118.8m
	枝 線	栃木	2,889.1m	253,013.2m

	大平	3,568.9m	86,910.4m
	藤岡	1,016.9m	62,795.2m
	都賀	261.2m	55,477.3m
	西方	36.5m	22,556.3m
合 計		8,159.0m	532,438.5m
マンホール数	栃木	127箇所	9,552箇所
	大平	112箇所	3,012箇所
	藤岡	29箇所	2,147箇所
	都賀	13箇所	1,923箇所
	西方	2箇所	720箇所
合 計		283箇所	17,354箇所
汚水柵数	栃木	112箇所	18,650箇所
	大平	188箇所	5,479箇所
	藤岡	33箇所	3,103箇所
	都賀	8箇所	2,526箇所
	西方	1箇所	896箇所
合 計		342箇所	30,654箇所
マンホールポンプ数	栃木	—	11箇所
	大平	1箇所	9箇所
	藤岡	—	23箇所
	都賀	—	4箇所
	西方	—	1箇所
合 計		1箇所	48箇所

(2) 雨水

(単位：m)

区 分	地 域	今年度中施工分	今年度末累計
雨水幹線管渠	栃 木	—	732.5
	藤 岡	—	984.1
合 計		—	1,716.6

2 私道における公共下水道工事（汚水）

地 域	申請件数	工事件数	備 考
栃 木	1	1	
大 平	2	2	
藤 岡	—	—	
都 賀	1	—	
西 方	—	—	
合 計	4	3	1件は平成26年度対応

3 公共下水道建設事業関係

(1) 污水管渠築造工事

工 事 箇 所	工 事 内 容		工事金額(円)	備 考
	延 長 (m)	管種・内径 (mm)		
箱森町地内 西部処理分区第1工区	413.0	VU 200	23,068,500	
箱森町地内 西部処理分区第2工区	264.4	VU 200	14,164,500	
箱森町地内 西部処理分区第4工区	302.7	VU 200	19,257,000	
菌部町3丁目地内 西部処理分区第5工区	40.0	VU 200	2,467,500	
境町・大平町牛久地内 西部処理分区第6工区	507.5	VU 200	28,791,000	
箱森町地内 西部処理分区第7工区	129.5	VU 200	8,631,000	
片柳町1丁目地内 西部処理分区第11工区	33.0	VU 200	2,163,000	
大宮町・平柳3丁目地内 平柳第2処理分区第1工区	510.4	VU 200	16,737,000	
平柳町2丁目地内 平柳第3処理分区第1工区	28.0	VU 200	1,459,500	
大塚町地内 国府第1処理分区第1工区	277.9	VU 200	25,053,000	
大塚町地内 国府第1処理分区第2工区	275.5	VU 200	24,801,000	
国府町地内 国府第1処理分区第3工区	68.0	VU 200	3,717,000	
大塚町・惣社町地内 国府第2処理分区第1工区	173.4	VU 250	23,184,000	幹線
惣社町地内 国府第2処理分区第2工区	39.2	VU 200	3,675,000	
大平町富田地内 大平町第1処理分区第1工区	36.0	VU 150	2,467,500	
大平町富田地内 大平町第1処理分区第2工区	33.0	VU 150	1,995,000	
大平町富田地内 大平町第1処理分区	32.0	VU 150	1,270,500	
大平町富田地内 大平町第1処理分区	26.0	VU 200	1,281,000	
大平町富田地内 大平町第1処理分区	21.0	VU 150	934,500	
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第1工区	マンホールポンプ2基 ($\phi 65\text{mm} \times 0.18\text{m}^3/\text{min} \times 4.3\text{m} \times 0.75\text{kW}$)		8,641,500	
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第2工区	469.0	VU 150	27,457,500	

大平町西野田地内 大平町第2処理分区第3工区	379.4	VU 150	23,152,500	
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第4工区	393.0	VU 150	20,632,500	
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第5工区	378.8	VU 150	18,375,000	
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第6工区	431.6	VU 150	22,837,500	
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第7工区	293.1	VU 150	16,422,000	
大平町西水代地内 大平町第3処理分区第1工区	138.0	HP 350	32,613,000	幹線
大平町西水代地内 大平町第3処理分区第2工区	683.6	VU 150・200 HP 350	34,377,000	幹線・枝線
大平町西野田地内 大平町第3処理分区第3工区	389.9	VU 150	25,777,500	
大平町西水代地内 大平町第3処理分区第4工区	77.5	VU 200	4,389,000	
藤岡町大前地内 藤岡町第2処理分区第1工区	37.0	VU 200	2,919,000	
藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第1工区	323.5	VU 150	16,065,000	
藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第2工区	406.4	VU 150	20,569,500	
藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第3工区	250.0	VU 150	11,371,500	
都賀町升塚地内 都賀第三処理分区第1工区	156.2	VU 200	9,996,000	
都賀町合戦場地内 都賀第五処理分区第1工区	105.0	VU 200	5,932,500	
西方町真名子地内 真名子処理分区第1工区	36.5	VU 150	2,152,500	
合 計	8,159.0		508,798,500	

(2) 汚水管渠布設替工事

工 事 箇 所	工 事 内 容		工事金額(円)	備 考
	延 長 (m)	管種・内径 (mm)		
樋ノ口町地内 東部処理分区第1工区	127.2	VU 200	11,560,500	(前年度繰越)
樋ノ口町地内 東部処理分区第2工区	148.2	VU 200	13,261,500	(前年度繰越)
合 計	275.4		24,822,000	

(3) 舗装本復旧工事

工 事 箇 所	工事延長(m)	工事金額(円)	備 考
箱森町地内 市道D29号線ほか	741.4	12,285,000	

箱森町・新井町地内 市道C10号線	692.5	14,910,000	
大平町西水代地内 市道0438号線ほか	686.7	9,103,500	
大平町西水代地内 市道0439号線ほか	512.7	8,055,600	
藤岡町赤麻・大前地内 市道F3-269号線ほか	1,014.2	16,432,500	
藤岡町赤麻・大前地内 市道F3-269号線	50.4	189,000	
都賀町原宿・家中地内 市道T②-355号線ほか	259.5	5,481,000	
合 計	3,957.4	66,456,600	

(4) その他の工事

地域	公共汚水柵設置工事		付帯工事 (舗装修繕、マンホール調整、水道管切廻し工事等)	
	箇所数 (件数)	金額 (円)	件数	金額 (円)
栃木	99 (75)	32,322,800	13	12,206,250
大平	54 (44)	19,276,719	6	3,843,750
藤岡	9 (9)	2,390,850	7	2,998,800
都賀	18 (14)	5,558,700	4	1,631,700
西方	2 (2)	786,450	1	682,500
合計	182 (144)	60,335,519	31	21,363,000

(5) 業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額 (円)	備考
下水道実施設計業務 その1	平井町地内 西部処理分区	管渠実施設計 3,515m (開削)	14,700,000	
下水道実施設計業務 その2	平井町地内 西部処理分区	管渠実施設計 3,672m (開削)	15,960,000	
下水道実施設計業務 その3	箱森町・野中町地内 西部処理分区	管渠実施設計 2,408m (開削)	11,550,000	
下水道実施設計業務 その4	片柳町5丁目・境町 地内 西部処理分区	管渠実施設計 1,067m (開削)	8,085,000	
下水道実施設計業務 その5	箱森町地内 西部処理分区	管渠実施設計 1,892m (開削、推進)	13,650,000	
下水道実施設計業務	国府町地内 東部処理分区	管渠実施設計 1,203m (開削)	7,665,000	
下水道実施設計業務 その2	神田町地内 東部処理分区	管渠実施設計 356m (開削)	4,515,000	
下水道実施設計業務	大塚町地内 国府第1処理分区	管渠実施設計 1,778m (開削)	9,082,500	

下水道実施設計業務	大塚町地内 国府第2処理分区	管渠実施設計 2,409m (開削)	11,550,000	
下水道地質調査業務	大平町牛久地内 西部処理分区	地質調査 2箇所	2,782,500	
下水道地質調査業務 その2	平井町地内 西部処理分区	地質調査 6箇所	5,995,500	
下水道地質調査業務 その3	箱森町地内 西部処理分区	地質調査 2箇所	2,866,500	
下水道地質調査業務	神田町地内 東部処理分区	地質調査 1箇所	2,278,500	
下水道橋梁添架設計業務	平井町地内 西部処理分区	管渠実施設計 1式	451,500	
河川占用申請書作成業務	平井町地内 西部処理分区	河川占用申請書作成 1式	273,000	
現場技術業務	野中町地内 西部処理分区	現場監理 1式	1,155,000	
現場技術業務	箱森町地内 西部処理分区	現場監理 1式	934,500	
現場技術業務	境町・大平町牛久地内 西部処理分区	現場監理 1式	1,155,000	
現場技術業務	大塚町・惣社町地内 国府第2処理分区	現場監理 1式	966,000	
下水道実施設計業務 その1	大平町富田地内 大平町第1処理分区	管渠実施設計 1,211m (開削)	7,770,000	
下水道実施設計業務 その2	大平町富田地内 大平町第1処理分区	管渠実施設計 803m (開削)	6,142,500	
下水道地質調査業務	大平町富田地内 大平町第1処理分区	地質調査 4箇所	3,465,000	
マンホールポンプ場設計業務	大平町牛久地内	マンホールポンプ実施 設計 1式	483,000	
現場技術業務	大平町西野田地内 大平町第2処理分区	現場監理 1式	1,039,500	
現場技術業務	大平町西野田地内 大平町第2処理分区	現場監理 1式	966,000	
現場技術業務	大平町西野田地内 大平町第2処理分区	現場監理 1式	966,000	
現場技術業務	大平町西水代地内 大平町第3処理分区	現場監理 1式	2,572,500	

現場技術業務	大平町西野田地内 大平町第3処理分区	現場監理 1式	966,000	
下水道実施設計業務	都賀町原宿・家中・ 木原地内 木原第一処理分区	管渠実施設計 628m (開削)	5,355,000	
下水道実施設計業務	西方町金崎地内 西方処理分区	管渠実施設計 938m	6,405,000	
地質調査業務	西方町金崎地内 西方処理分区	地質調査 1箇所	493,500	
合計			152,239,500	

(6) 物件等損失補償

区 分	補償箇所	件数(件)	金 額(円)
水道給・配水管仮設、移設補償	樋ノ口町、大平町 西水代、藤岡町赤 麻地内ほか	18	48,144,832
ガス地下埋設管路移設補償	樋ノ口町地内	1	376,950
東電配電設備移設補償	箱森町地内	1	17,880
合計		20	48,539,662

4 公共下水道建設事業（雨水）

(1) 業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金 額(円)
下水道地質調査業務	片柳町4丁目地内 永野川左岸第一排水区	地質調査 3箇所	4,672,500
下水道用地調査業務	片柳町4丁目地内 永野川左岸第一排水区	物件調査 22世帯	2,887,500
合計			7,560,000

(2) 用地取得関係

用地取得箇所	用地(筆数)	面 積(m ²)	金 額(円)
片柳町4丁目地内 永野川左岸第一排水区	6	798.92	3,300,000
合計	6	798.92	3,300,000

5 公共下水道の供用開始

- ・対象区域の告示 3月14日 栃木市告示第120号
- ・供用及び下水の処理を開始した年月日 3月31日
- ・供用及び下水の処理を開始した区域

巴波川流域下水道 (巴波川処理区)	片柳町1丁目、境町、菌部町3丁目、箱森町、 大宮町、平柳町3丁目、野中町、惣社町、 大塚町、国府町、都賀町合戦場、都賀町升塚の各一部
渡良瀬川下流流域下水道 (大岩藤処理区)	大平町新、大平町西野田、大平町西水代、 藤岡町藤岡、藤岡町赤麻、藤岡町大前の各一部

・処理区域面積及び処理人口

区 分	処 理 区	処理区域面積(ha)	人 口(人)
新規告示	巴波川流域	47.96	330
	渡良瀬川下流流域	22.23	671
既 告 示	巴波川流域	1,594.99	58,616
	渡良瀬川下流流域	666.83	21,987
累 計	巴波川流域	1,642.95	58,946
	渡良瀬川下流流域	689.06	22,658

6 公共下水道施設管理関係

(1) 業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
下水道台帳作成	処理区域全域	下水道台帳補正 9.7 km	9,355,500	
特定事業場水質調査	処理区域全域	特定事業場水質調査 36箇所	566,475	
公共下水道流量・ 水質調査	処理区域全域	流量・水質調査 26箇所	10,479,000	
管渠施設調査洗浄	沼和田町・境町 河合町	管内潜行目視調査 2,203m テレビカメラ管内調査 2,115m 管渠内洗浄 2,115m	11,770,500	2件
	樋ノ口町	テレビカメラ管内調査 3,074m 管渠内洗浄 3,074m		
管渠補修	神田町・城内町 1丁目	止水パッカー工 13箇所 内面補修工 15箇所	4,502,400	1件
マンホールポンプ場 保守点検	処理区域全域	マンホールポンプ保守点検 48箇所	13,240,500	
管渠清掃等	今泉町1丁目・ 小平町	管渠清掃 3件	1,975,782	
	片柳町4丁目・	市所有地除草 2件		

	城内町 2 丁目			
	城内町 2 丁目・沼和田町	伏越し渠清掃	1 件	
下水道効果調査	処理区域全域	水質調査	9 地点	946,575
合		計		52,836,732

(2) 工事関係

工事名	工事箇所	工事内容	金額(円)	備考
マンホールポンプ交換等工事	樋ノ口町・都賀町富張地内ほか	ポンプ交換	2 件	2,732,069
		その他補修工事	2 件	
マンホール修繕・移設	処理区域全域	マンホール修繕工事	7 件	2,665,425
		マンホール移設工事	6 件	
その他補修工事	処理区域内	舗装修繕工事等	5 件	840,000
合		計		6,237,494

7 農業集落排水事業施設概要

区 分	地 区	今年度末	備考
管渠延長	下 皆 川	7,531.4m	
	み ず ほ 西	18,268.3m	
	巴波川南部	14,317.2m	
	巴波川西部	28,662.7m	50.1m 増
	西 方 西 部	12,400.0m	
	本 郷 金 井	14,164.6m	
合 計		95,344.2m	50.1m 増
マンホール数	下 皆 川	247箇所	
	み ず ほ 西	487箇所	
	巴波川南部	142箇所	
	巴波川西部	320箇所	2 箇所増
	西 方 西 部	410箇所	
	本 郷 金 井	417箇所	
合 計		2,023箇所	2 箇所増
汚水柵数	下 皆 川	228箇所	1 箇所増
	み ず ほ 西	441箇所	1 箇所増
	巴波川南部	368箇所	1 箇所増
	巴波川西部	550箇所	4 箇所増
	西 方 西 部	352箇所	
	本 郷 金 井	360箇所	
合 計		2,299箇所	7 箇所増
マンホールポンプ数	下 皆 川	3箇所	

	みずほ西	14箇所	
	巴波川南部	—	
	巴波川西部	4箇所	
	西方西部	4箇所	
	本郷金井	4箇所	
合 計		29箇所	

8 農業集落排水事業維持管理業務委託関係

(1) 業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
大平地域農業集落排水処理施設維持管理等	下皆川汚水処理施設・みずほ西汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・し尿浄化槽清掃等	11,722,912	2施設
藤岡地域農業集落排水処理施設維持管理等	巴波川南部汚水処理施設・巴波川西部汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・真空システム日常点検等	9,238,110	2施設
西方地域農業集落排水処理施設維持管理等	西部汚水処理施設・本郷金井汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・し尿浄化槽清掃等	10,872,359	2施設
その他	市内処理区域全域	汚泥肥料品質管理分析 業務委託ほか 3件	1,015,950	
合 計			32,849,331	

(2) 工事関係

工事名	工事箇所	工事内容	金額(円)	備考
汚水樹設置工事	大平町下皆川地内 他	汚水樹設置工事 7箇所	3,884,790	
舗装本復旧 市道F3-108号線ほか	藤岡町蛭沼地内	工事延長 70.0m	1,260,000	
その他の工事	市内処理区域	舗装修繕工事 3件 ほか2件 (合計5件)	1,937,250	
合 計			7,082,040	

9 公共下水道普及状況

区 分	地域	前年度末	今年度末	比 較
行政区域内人口(A)	栃木	79,121人	80,086人	965人
	大平	29,059人	29,896人	837人
	藤岡	16,756人	16,623人	△133人
	都賀	13,281人	13,307人	26人
	西方	6,566人	6,544人	△22人
合 計		144,783人	146,456人	1,673人

処理区域内世帯数 (B)	栃木	18,887 世帯	19,000 世帯	113 世帯
	大平	4,445 世帯	4,616 世帯	171 世帯
	藤岡	2,560 世帯	2,564 世帯	4 世帯
	都賀	2,520 世帯	2,531 世帯	11 世帯
	西方	857 世帯	857 世帯	—
合 計		29,269 世帯	29,568 世帯	299 世帯
処理区域内戸数 (C)	栃木	16,546 戸	16,659 戸	113 戸
	大平	4,445 戸	4,616 戸	171 戸
	藤岡	2,560 戸	2,564 戸	4 戸
	都賀	2,520 戸	2,531 戸	11 戸
	西方	857 戸	857 戸	—
合 計		26,928 戸	27,227 戸	299 戸
処理区域内人口 (D)	栃木	48,824 人	49,132 人	308 人
	大平	13,955 人	14,552 人	597 人
	藤岡	8,119 人	8,266 人	147 人
	都賀	7,234 人	7,256 人	22 人
	西方	2,430 人	2,430 人	—
合 計		80,562 人	81,636 人	1,074 人
水洗化世帯数 (E)	栃木	15,703 世帯	16,147 世帯	444 世帯
	大平	3,427 世帯	3,721 世帯	294 世帯
	藤岡	1,836 世帯	1,880 世帯	44 世帯
	都賀	2,137 世帯	2,180 世帯	43 世帯
	西方	713 世帯	731 世帯	18 世帯
合 計		23,816 世帯	24,659 世帯	843 世帯
水洗化戸数 (F)	栃木	14,978 戸	15,422 戸	444 戸
	大平	3,427 戸	3,721 戸	294 戸
	藤岡	1,836 戸	1,880 戸	44 戸
	都賀	2,137 戸	2,180 戸	43 戸
	西方	713 戸	731 戸	18 戸
合 計		23,091 戸	23,934 戸	843 戸
水洗化人口 (G)	栃木	43,980 人	45,207 人	1,227 人
	大平	11,501 人	12,185 人	684 人
	藤岡	5,339 人	5,461 人	122 人
	都賀	6,555 人	6,671 人	116 人
	西方	2,109 人	2,137 人	28 人
合 計		69,484 人	71,661 人	2,177 人
普及率 (D/A)	栃木	61.7%	61.3%	△0.4%
	大平	48.0%	48.7%	0.7%
	藤岡	48.5%	49.7%	1.2%

	都賀	54.5%	54.5%	—
	西方	37.0%	37.1%	0.1%
合 計		55.6%	55.7%	0.1%
水洗化率（世帯）（E/B）	栃木	83.1%	85.0%	1.9%
	大平	77.1%	80.6%	3.5%
	藤岡	71.7%	73.3%	1.6%
	都賀	84.8%	86.1%	1.3%
	西方	83.2%	85.3%	2.1%
合 計		81.4%	83.4%	2.0%
水洗化率（戸数）（F/C）	栃木	90.5%	92.6%	2.1%
	大平	77.1%	80.6%	3.5%
	藤岡	71.7%	73.3%	1.6%
	都賀	84.8%	86.1%	1.3%
	西方	83.2%	85.3%	2.1%
合 計		85.8%	87.9%	2.1%
水洗化率（人口）（G/D）	栃木	90.1%	92.0%	1.9%
	大平	82.4%	83.7%	1.3%
	藤岡	65.8%	66.1%	0.3%
	都賀	90.6%	91.9%	1.3%
	西方	86.8%	87.9%	1.1%
合 計		86.2%	87.8%	1.6%

10 農業集落排水事業普及状況

区 分	地区	前年度末	今年度末	比 較
処理区域内戸数（A）	下 皆 川	227 戸	228 戸	1 戸
	み ず ほ 西	456 戸	457 戸	1 戸
	巴波川南部	367 戸	368 戸	1 戸
	巴波川西部	546 戸	550 戸	4 戸
	西 方 西 部	380 戸	380 戸	—
	本 郷 金 井	365 戸	365 戸	—
合 計		2,341 戸	2,348 戸	7 戸
処理区域内人口（B）	下 皆 川	652 人	675 人	23 人
	み ず ほ 西	1,357 人	1,360 人	3 人
	巴波川南部	1,241 人	1,243 人	2 人
	巴波川西部	2,027 人	2,049 人	22 人
	西 方 西 部	1,105 人	1,102 人	△3 人
	本 郷 金 井	1,050 人	1,047 人	△3 人
合 計		7,432 人	7,476 人	44 人

接続戸数 (C)	下 皆 川	196 戸	200 戸	4 戸
	み ず ほ 西	354 戸	362 戸	8 戸
	巴波川南部	203 戸	218 戸	15 戸
	巴波川西部	146 戸	181 戸	35 戸
	西 方 西 部	355 戸	356 戸	1 戸
	本 郷 金 井	305 戸	310 戸	5 戸
合 計		1,559 戸	1,627 戸	68 戸
接続人口 (D)	下 皆 川	562 人	580 人	18 人
	み ず ほ 西	1,095 人	1,110 人	15 人
	巴波川南部	729 人	779 人	50 人
	巴波川西部	493 人	639 人	146 人
	西 方 西 部	1,090 人	1,090 人	—
	本 郷 金 井	921 人	939 人	18 人
合 計		4,890 人	5,137 人	247 人
接続率(戸数) (C/A)	下 皆 川	86.3%	87.7%	1.4%
	み ず ほ 西	77.6%	79.2%	1.6%
	巴波川南部	55.3%	59.2%	3.9%
	巴波川西部	26.7%	32.9%	6.2%
	西 方 西 部	93.4%	93.7%	0.3%
	本 郷 金 井	83.6%	84.9%	1.3%
合 計		66.6%	69.3%	2.7%
接続率(人口) (D/B)	下 皆 川	86.2%	85.9%	△0.3%
	み ず ほ 西	80.7%	81.6%	0.9%
	巴波川南部	58.7%	62.7%	4.0%
	巴波川西部	24.3%	31.2%	6.9%
	西 方 西 部	98.6%	98.9%	0.3%
	本 郷 金 井	87.7%	89.7%	2.0%
合 計		65.8%	68.7%	2.9%

11 公共下水道普及対策事業

(1) 普及促進関係

ア 普及推進活動

下水道の普及啓発用パンフレット及び啓発用品を工事説明会、消費生活展等で配布。また広報とちぎ及びホームページにより普及啓発に努めた。

イ 特別普及推進活動

下水道の利用促進を図るため、職員の戸別訪問による普及推進活動を実施した。

- ・実施期間 1月～3月
- ・訪問地域 供用開始区域で水洗化率の低い地域

- ・件数 119件

(2) 緊急地域雇用創出事業

水洗化率向上のため、公益社団法人栃木市シルバー人材センターへ戸別訪問等の下水道普及活動を委託した。

- ・実施期間 11月～1月
- ・訪問地域 職員の訪問地域以外で水洗化率の低い地域
- ・件数 420件

(3) 排水設備等の設置 (単位：件)

確認申請件数	検査済件数
870	808

(4) 水洗便所改造資金利子補給状況

排水設備工事を行うための工事費の融資あっせん利子補給を行った。

利子補給件数(件)	利子補給額(円)
37	156,815

12 農業集落排水事業普及対策

排水設備等の設置 (単位：件)

確認申請件数	検査済件数
67	66

13 合併処理浄化槽設置補助事業

河川、水路等の水質汚濁は、家庭からの生活雑排水が主な原因となっている。このため、公共用水域の水質浄化対策として、し尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽の設置者に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、その普及を図った。

なお、本事業は公共下水道認可区域外及び農業集落排水事業の整備区域外の住民を対象としている。

・合併処理浄化槽設置補助金交付状況

人槽区分	基数(基)	1基当たりの補助額(円)	補助額(円)
5	104	332,000	34,528,000
6～7	126	414,000	52,164,000
8～10	13	548,000	7,124,000
計	243	-	93,816,000

第4節 水道業務課（公営企業事務部局）

〔総括概要〕

水道事業においては、良質の給水サービスの低廉供給が求められているが、合併後の料金統一について、上下水道事業調査委員会において審議を重ねている。また水道料金システムを統合し、納付書の様式、口座振替日等統一した。

水道料金収納については、年間を通じ給水区域全域において給水停止を含む納付指導を行うなど収納率の向上に努め、会計事務については、法令等に基づき現金及び物品の出納保管等の適正処理を行うとともに、定期預金のほか短期国債の購入による安全で効率的な資金運用を図った。

給水状況は、給水戸数49,338戸、給水人口131,095人となり、行政区域内人口（146,456人）に対する普及率は89.5%となった。また、年間有収水量は13,773,197 m³となった。

業務担当

1 水道事業会計収入・支出予算 （単位：円）

区 分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
当初予算	2,243,802,000	2,235,070,000	367,803,000	1,610,479,000
補正予算	-	-	-	-
繰越額	-	-	-	-
合 計	2,243,802,000	2,235,070,000	367,803,000	1,610,479,000
決算額	2,237,589,071	1,969,692,339	368,590,500	1,435,404,749

2 企業債の状況

種 類	発行件数 (件)	発行総額(円)	償 還 高(円)		未償還残高 (円)
			当年度償還高	償還高累計	
政府資金	56	4,480,700,000	184,980,014	1,695,384,938	2,785,315,062
機構資金	107	6,233,700,000	224,216,871	1,303,382,035	4,930,317,965
その他	3	304,700,000	25,930,857	100,907,608	203,792,392
計	166	11,019,100,000	435,127,742	3,099,674,581	7,919,425,419

3 水道普及状況

	給水人口(人)	給水戸数(戸)	行政区域内普及率(%)
栃木地域	68,004	26,879	84.9

大平地域	28,081	10,439	93.9
藤岡地域	15,745	5,448	94.7
都賀地域	12,874	4,415	96.7
西方地域	6,391	2,157	97.7
全 体	131,095	49,338	89.5

4 給水状況

(1) 年間配水量

(単位：m³)

地域	有 効 水 量			無効水量	配水量
	有収水量	無収水量	計		
栃木	7,513,830	498,984	8,012,814	1,175,371	9,188,185
大平	2,906,015	117,478	3,023,493	990,098	4,013,591
藤岡	1,480,049	108,377	1,588,426	381,664	1,970,090
都賀	1,245,671	53,807	1,299,478	828,757	2,128,235
西方	627,632	30,059	657,691	179,467	837,158
全体	13,773,197	808,705	14,581,902	3,555,357	18,137,259

5 各地域の区分による給水状況

(1) 栃木地域

用途	平成26年3月31日	平成25年3月31日	増減 (戸)	有収水量(m ³)	利用率(%)
	現在(戸)	現在(戸)			
家事用	24,913	24,192	721	5,264,312	70.06
営業用	1,629	1,623	6	1,076,288	14.32
官公署・学校用	176	172	4	545,127	7.26
工業用	1	1	-	619,746	8.25
臨時用	160	126	34	8,357	0.11
計	26,879	26,114	765	7,513,830	100.00

(2) 大平地域

口径	平成26年3月31日	平成25年3月31日	増減 (戸)	有収水量(m ³)	利用率(%)
	現在(戸)	現在(戸)			
13mm	7,728	7,593	135	1,626,609	55.97
20mm	2,480	2,331	149	572,731	19.71
25mm	101	98	3	60,626	2.09
30mm	51	50	1	70,278	2.42
40mm	42	40	2	69,569	2.39

50mm	23	22	1	218,871	7.53
75mm	14	14	-	287,331	9.89
計	10,439	10,148	291	2,906,015	100.00

(3) 藤岡地域

用途	平成26年3月31日 現在(戸)	平成25年3月31日 現在(戸)	増減 (戸)	有収水量(m ³)	利用率(%)
一般用	5,365	5,335	30	1,413,221	95.49
官公署用	82	80	2	60,595	4.09
工業用	1	1	-	6,233	0.42
臨時用	-	-	-	-	-
計	5,448	5,416	32	1,480,049	100.00

(4) 都賀地域

用途	平成26年3月31日 現在(戸)	平成25年3月31日 現在(戸)	増減 (戸)	有収水量(m ³)	利用率(%)
一般家庭用	4,190	4,164	26	1,034,591	83.06
営業用	133	140	△7	102,573	8.23
工場用	5	5	-	3,789	0.30
団体用	38	38	-	91,447	7.34
公共用	46	47	△1	13,187	1.06
一般共用	3	2	1	80	0.01
臨時用	-	-	-	4	-
計	4,415	4,396	19	1,245,671	100.00

(5) 西方地域

用途	平成26年3月31日 現在(戸)	平成25年3月31日 現在(戸)	増減 (戸)	有収水量(m ³)	利用率(%)
一般用	2,000	1,999	1	452,778	72.14
営業用	113	122	△9	137,569	21.92
団体用	44	44	-	37,285	5.94
臨時用	-	-	-	-	-
計	2,157	2,165	△8	627,632	100.00

第5節 水道工務課（公営企業事務部局）

〔総括概要〕

水道事業については、安全で安心な水の継続的供給が不可欠であり、今年度は、施設の改良、老朽管の更新及び耐震化等の整備を進め、また、事業統合に向けての創設認可取得業務委託を行った。主な建設改良事業は次のとおりである。

栃木地域については、第4次拡張事業として、惣社町金井地区等の配水管布設工事を行った。寺尾地区簡易水道事業として、出流浄水場系浄水場築造工事及び給配水管布設工事を行った。上水道整備事業及び管路耐震化事業として、下水道事業等其他事業からの依頼による配水管移設工事や老朽塩化ビニル管からダクタイトイル鑄鉄管への布設替工事を行った。

水道施設耐震化事業として、川原田浄水場管理棟の耐震補強工事を行った。

大平地域については、上水道整備事業として、牛久及び土与地区の配水管布設工事を行った。

藤岡地域については、上水道設備改良事業として、藤岡第3水源ポンプ盤改修工事を行った。また、老朽管更新事業として、石綿セメント管からダクタイトイル鑄鉄管への布設替工事を行った。

都賀地域については、上水道整備事業として、老朽塩化ビニル管からダクタイトイル鑄鉄管への布設替工事を行った。

西方地域については、上水道整備事業及び管路耐震化事業として、老朽塩化ビニル管からダクタイトイル鑄鉄管への布設替工事を行った。また、水道設備更新事業として、西方浄水場送水ポンプ等の更新工事を行った。

水道水の検査及び施設の維持管理については、毎月定期的に水質検査を実施するとともに、水源や浄水場施設の定期点検や、故障及び突発的に発生する漏水事故等に迅速に対応した。

工務担当

北部水道事務所担当

南部水道事務所担当

1 給水状況

(1) 月別配水量

(単位：m³)

	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	全体
4月	728,780	317,074	177,250	177,536	64,891	1,465,531
5月	769,489	338,307	187,579	190,036	69,394	1,554,805
6月	745,798	326,021	182,905	178,733	65,716	1,499,173
7月	802,786	341,761	172,522	190,164	69,892	1,577,125
8月	805,893	347,599	163,771	191,176	71,548	1,579,987
9月	764,589	335,018	155,871	176,040	68,666	1,500,184
10月	766,812	347,000	157,202	171,962	74,944	1,517,920
11月	742,708	335,643	154,112	165,761	74,161	1,472,385
12月	783,619	334,152	158,244	170,832	71,242	1,518,089

1月	777,995	338,424	158,753	173,578	70,261	1,519,011
2月	726,866	312,270	144,761	164,672	65,677	1,414,246
3月	772,850	340,322	157,120	177,745	70,766	1,518,803
計	9,188,185	4,013,591	1,970,090	2,128,235	837,158	18,137,259

2 工事関係

(1) 建設改良工事関係（工事請負契約 300 万円を超えるもの）（単位：円）

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費
主要地方道宇都宮亀和田栃木線 配水管布設替工事 (都賀町合戦場)	配水管布設 DIP φ 150 mm L=88.0m DIP φ 100 mm L=15.2m 給水管布設替 PP φ 20~50mm 3 か所	13,072,500
国庫補助事業 市道 F41 号線 配水管布設替工事 (藤岡町赤麻)	配水管布設 DIP φ 200 mm L=660.6m 消火栓 2 基 給水管布設替 PP φ 40mm~20 mm 17 か所	27,867,000
市道 B25 号線外 給・配水管布設工事 (惣社町)	配水管布設 DIP φ 100 mm L=621.6m 給水管取出し PP φ 20mm 6 か所 消火栓 1 基 本復旧工 1 式	18,760,350
市道 B26 号線外 給・配水管布設工事 (惣社町)	配水管布設 DIP φ 100 mm L=770.7m 消火栓 2 基 本復旧工 1 式	28,308,000
市道 N1006 号線 配水管布設替工事 (西方町金井)	配水管布設 DIP φ 100 mm L=561.9m 消火栓 1 基 排泥設備 1 か所 給水管布設 PP φ 20 mm~50 mm L=8 か所	20,149,500
国庫補助事業 市道 F1-7 号線配 水管布設替工事 (藤岡町甲)	配水管布設 DIP φ 200 mm L=566.5m DIP φ 100 mm L= 15.8m 消火栓 2 基 排泥設備 1 か所 給水管取出し PP φ 20 mm~50 mm 14 か所	27,562,500
国庫補助事業 市道 F3-233 号線 配水管布設替工事 (藤岡町蛭沼)	配水管布設 DIP φ 250 mm L=251.3m	18,133,500

市道 B95 号線 舗装復旧工事 (城内町 2 丁目)	表層工 A=1,910 m ²	7,192,500
市道 0152 号線 配水管布設工事 (第 1 工区) (大平町牛久)	配水管布設 DIP φ 250 mm L=437.1 m DIP φ 75mm L= 8.2 m 排泥管布設 DIP φ 100mm 外 L= 4.5 m 給水管取出し 3 か所 舗装復旧工 1 式	24,276,000
市道 089 号線舗装復旧工事 (大平町真弓)	舗装復旧工 A=1,777 m ²	5,827,500
市道 T6 号線 配水管布設工事 (都賀町合戦場)	配水管布設 DIP φ 150 mm L=105.8 m 給水管取出し PP φ 20 mm 4 か所	4,840,500
市道 T56 号線 配水管布設替工事 (4 工区) (都賀町平川)	配水管布設 DIP φ 150 mm L=107.7 m 消火栓 1 基 給水管取出し PP φ 20 mm 4 か所	7,077,000
市道 0280 号線外 配水管布設工事 (大平町牛久)	配水管布設 DIP φ 100 mm L=330.8 m 消火栓 1 基 給水管取出し DIP φ 75 mm 1 か所	8,998,500
川原田浄水場受変電設備更新 工事 (川原田町)	受変電設備工 1 式	103,005,000
川原田浄水場管理棟耐震補強 工事 (川原田町)	建築工 1 式 電気設備工 1 式 機械設備工 1 式	32,655,000
国庫補助事業 市道 247 号線 導・給・配水管布設工事 (出流町)	導水管布設 HPPE φ 75 mm, PP φ 50 mm L=485.1 m 配水管布設 HPPE φ 150 mm, PP φ 50 mm L=1,370.9 m 橋梁添架工 SUS150A・50A 1 式 排泥管布設 VP φ 100mm L=67.4 m 電線管布設 1 式 給水管布設 5 か所	45,845,100

国庫補助事業 市道 118 号線外 給・配水管布設工事 (出流町)	配水管布設 HPPE φ 150mm, 100mm, PP φ 50mm L=1,361.9m 橋梁添架工 SUS150A・100A・50A 1 式 仕切弁 φ 150mm, 100mm, 75mm 9 か所 消火栓 2 基 給水管布設 28 か所	41,746,950
県道栃木環状線外 給・配水管布設替工事 (箱森町)	配水管布設 DIP φ 250mm L= 5.4m DIP φ 200mm L= 2.3m DIP φ 150mm L=85.0m DIP φ 100mm L=214.8m 消火栓 1 基	13,616,400
市道 D208 号線 給・配水管布設替工事 (野中町)	配水管布設 DIP φ 150mm L=313.9m DIP φ 100mm L= 2.0m 消火栓設置 2 基	15,332,100
藤岡第 3 水源ポンプ盤外更新工事 (藤岡町藤岡)	取水ポンプ盤更新 1 基 水位計更新(第 1 水源、第 3 水源、羽 黒水源) 3 か所 フェンス更新 1 式	14,742,000
主要地方道宇都宮亀和田栃木 線 配水管布設工事 (都賀町合戦場)	配水管布設 DIP φ 75mm L=203.5m 給水管取出し PP φ 20mm 2 か所 消火栓 1 基	7,980,000
西方浄水場送水ポンプ外更新 工事 (西方町本城)	機械設備工 送水ポンプ 4 台, 電動仕切弁 4 台 真空ポンプ 2 台 1 式 電気設備工 取水ポンプ制御用 PLC 更新 1 式 場内配管 DIP φ 150mm L=6.0m	48,720,000
市道 205 号線 配水管移設工事 (箱森町)	配水管布設 DIP φ 100mm L=4.9m 橋梁添架工 SUS100A L=13.0m	4,263,000
国庫補助事業 市道 247 号線 配水管布設工事 (2 工区) (出流町)	配水管布設 HPPE φ 150mm L=350.0m	6,825,000

国庫補助事業 出流浄水場系 施設整備工事 (出流町)	浄水場造成工 1 式 管理棟築造工 1 式 配水池築造工 1 式 浄水場内配管工 1 式 浄水場内整備工 1 式 第 1 水源設備工 1 式 第 2 水源築造工 1 式 第 3 水源築造工 1 式 紫外線照射設備工 1 式 次亜塩素注入設備工 1 式 電気計装設備工 1 式 非常用発電機設備工 1 式	138,600,000
一般県道南小林栃木線外 配水管布設工事 (沼和田町)	配水管布設 DIP φ 250mm L=400.4m 舗装復旧工 1 式	26,439,000
市道 103 号線外 配水管布設工事 (沼和田町)	配水管布設 DIP φ 250mm L=652.1m	35,584,500
市道 0152 号線 配水管布設工事 (第 2 工区) (大平町牛久)	配水管布設 DIP φ 250mm L=342.1m DIP φ 100mm L= 8.1m	14,962,500
市道 0152 号線 配水管布設工事 (第 3 工区) (大平町土与)	配水管布設 DIP φ 250mm L=326.9m DIP φ 150mm L= 8.3m 舗装復旧工 1 式	24,024,000
市道 D10 号線 配水管布設替工事 (皆川城内町)	配水管布設 DIP φ 75mm L=182.8m HIVP φ 75mm L=16.0m 給水管取出し PP φ 40mm・φ 20 mm 2 か所	5,670,000
市道 N1006 号線 配水管布設替工事(2 工区) (西方町金井)	配水管布設 DIP φ 100mm L=199.1m 消火栓 1 基	6,657,000
市道 T③-278・279 号線 配水管布設工事 (都賀町大柿)	配水管布設 PP φ 50mm L=298.4m	3,381,000
第 4 拡 市道 B46 号線 給・配水管布設工事 (2 工区) (大宮町)	配水管布設 DIP φ 150mm L=180.3m 消火栓 1 基 仮排水管設置 PP φ 50mm 1 か所	5,371,800

	給水管取出し PP φ 20mm 1 か所	
市道 D109 号線 給・配水管布設替工事 (箱森町)	配水管布設 DIP φ 100mm L=147.9m 排泥設備 φ 75mm 1 か所 給水管布設 PP φ 25 L=27.5m 給水管取出し PP φ 20mm 11 か所	3,887,100
国庫補助事業 市道 F 4 号線 配水管布設替工事 (藤岡町赤麻)	配水管布設 DIP φ 200mm L=130.5m DIP φ 100mm L=2.5m 給水管取出し PP φ 20mm 3 か所	6,615,000
市道 D24 号線 配水管布設工事 (皆川城内町)	配水管布設 DIP φ 100mm L=125.6m PP φ 50mm L=47.7m 橋梁添架工 SUS100A L=16.6m 給水管取出し PP φ 40mm・φ 20mm 3 か所 仮設給水管布設 PP φ 50mm L=26.8m	11,655,000
市道 T56 号線 配水管布設替工事(5 工区) (都賀町合戦場)	配水管布設 DIP φ 150mm L=273.2m DIP φ 100mm L=3.4m DIP φ 75mm L=13.4m PP φ 50mm L=158.0m 消火栓 1 基 舗装工 1 式 給水管取出し PP φ 50mm~20mm 14 か所	19,320,000
市道 B47 号線外 給・配水管布設工事 (大宮町)	配水管布設 DIP φ 75mm L=374.8m 消火栓 2 基	10,011,750
国庫補助事業 主要地方道栃木粕尾線 配水管布設工事(1 工区) (星野町)	配水管布設 DIP φ 250mm L=127.1m DIP φ 150mm L=20.5m DIP φ 75mm L=82.9m	11,959,500
国庫補助事業 主要地方道栃木粕尾線 配水管布設工事(2 工区) (星野町)	配水管布設 DIP φ 200mm L=298.5m DIP φ 75mm L=26.4m	14,941,500
菌部浄水場第 1 水源更新工事 (菌部町 3 丁目)	取水ポンプ設備工 1 式 電気設備工 1 式 取水ポンプ室改修工 1 式 場内配管工 1 式	33,442,500

市道 C26 号線外 配水管布設工事 (大町)	配水管布設 DIP φ 100 mm L=82.3 m HIVP φ 75mm L=7.7 m	4,725,000
小山栃木都賀線 配水管布設工事(3工区) (平柳町3丁目)	配水管布設 DIP φ 150mm L=290.9 m DIP φ 75mm L=3.3 m 消火栓 2基 給水管取出し PP φ 20mm 1か所	10,710,000

(2) その他の工事関係 (工事請負契約 100 万円を超えるもの) (単位:円)

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費
市道 0109 号線外 給水管布設工事 (大平町新)	給水管布設 PP φ 50mm L=155.0 m 給水管取出し PP φ 20mm~25mm 6か所	1,837,500
市道 B26 号線外 給・配水管布設工事 (惣社町)	給水管取出し PP φ 20 mm 21 か所	4,095,000
大平町西野田地内 下水道工事 に伴う給水管布設替工事 (大平町西野田)	給水管布設 PP φ 50mm~30mm L=314.0 m 給水管取出し PP φ 20mm 31 か所	4,966,500
国庫補助事業 市道 118 号線外 給・配水管布設工事 (出流町)	給水管布設 28 か所	3,266,550
県道栃木環状線外 給・配水管布設替工事 (箱森町)	仮排水管設置 PP φ 50mm 3 か所 給水管取出し PP φ 20mm, 30mm, 50mm 8 か所 仮設給水管布設 PP φ 75mm L=228.0 m	2,427,600
市道 D208 号線 給・配水管布設替工事 (野中町)	仮排水管設置 PP φ 50mm 2 か所 給水管取出し PP φ 20mm, 40mm, 50mm 21 か所	2,034,900
市道 D109 号線 給・配水管仮設工事 (箱森町)	仮設給水管布設 PP φ 75mm, 25mm, 20mm L=195.0 m	1,480,500
市道 B45 号線外 給水管布設替工事 (今泉町)	給水管布設 PP φ 50mm~30mm L=148.0 m 給水管取出し PP φ 20mm 19.0 か所	4,263,000
市道 205 号線 配水管仮設工事 (箱森町)	配水管仮設 PP φ 75mm L=20.0 m	1,438,500
市道 B47 号線外 給・配水管布設工事	仮排水管設置 PP φ 50mm 2 か所 給水管取出し	2,147,250

(大宮町)	PP φ 20mm, 25mm, 40mm	10 か所	
主要地方道宇都宮栃木線 仮設給水管布設工事 (平柳町3丁目)	給水管布設 PP φ 50mm, 25mm	L=127.0m	1,365,000
	配水管布設 DIP φ 100mm	L=3.0m	
市道 F3-39 号線 給水管布設替工事 (藤岡町赤麻)	仮給水管布設 PP φ 30mm	L=130.0m	1,732,500
	給水管布設 PP φ 50mm	L=150.0m	
	給水管取出し PP φ 20mm	3 か所	
大平町西野田地内 給水管布設 替工事 (大平町西野田)	給水管布設 PP φ 50mm	L=35.6m	1,932,000

(3) 漏水修理件数 (単位：件)

	配水管	給水管	合計
栃木	2	390	392
大平	4	40	44
藤岡	9	62	71
都賀	7	67	74
西方	3	31	34
全体	25	590	615

※漏水修理工事（給水管）には止水栓交換も含む。

(4) 水質検査

区分	検査項目	検査箇所	頻度
浄水	水質検査項目（50項目）	浄水場 10 か所 端末給水栓等 21 か所	検査項目により毎月 又は年 1 回
	水質管理目標設定項目（27項目）	浄水場 15 か所 水源 10 か所 端末給水栓等 3 か所	年 1 回
原水	水質検査項目（39項目）	浄水場 6 か所 水源 25 か所	年 1 回
	クリプトスポリジウム指標菌	水源 48 か所	毎月又は年 1 回

3 給水装置工事件数（申請件数） (単位：件)

	新設	改造	修繕	撤去	合計
栃木	198	434	-	21	653
大平	92	192	-	3	287
藤岡	52	31	-	3	86
都賀	28	33	-	2	63

西 方	20	6	-	-	26
全 体	390	696	-	29	1,115

4 公道分岐工事箇所数

(単位：件)

	県 道	市 道	認定外	その他	合 計
栃 木	29	110	24	-	163
大 平	5	68	15	-	88
藤 岡	1	40	3	-	44
都 賀	3	15	1	-	19
西 方	1	1	-	-	2
全 体	39	234	43	-	316

第 8 章 都市整備部

第 1 節 都市計画課

〔総括概要〕

本市は2つの都市計画区域が指定されており、1つは合併前の栃木市・大平町・藤岡町・都賀町の区域で、都市的な土地利用を推進し健康で文化的な都市生活や機能的な都市活動を行う市街化区域と、優れた自然環境や営農環境の保全を図る市街化調整区域に区分されている線引き都市計画区域であり、もう1つは合併前の西方町の区域で、区域区分がされていない非線引き都市計画区域である。

土地利用計画に関しては、住居系、商業系、工業系の用途地域や、地域の特性に応じて地区計画を定めるとともに、密集市街地の災害を未然に防止する準防火地域、優良な自然環境を保全する風致地区などの地域地区を決定している。都市施設に関しては、都市の骨格となる都市計画道路、健康で文化的な生活を営む上で重要な都市計画公園や下水道などを決定している。また、本市の健全な発展と秩序ある社会資本の整備を図るため、土地区画整理事業により、良好な市街地の形成及び快適なまちづくりを推進している。

今年度、計画景観担当では、平成24年度から作業を進めていた栃木市都市計画マスタープランの策定や、栃木駅南部地区地区計画の決定、都市計画道路3・3・3号小山栃木都賀線及び3・4・203号今泉泉川線の変更を行うとともに、千塚町上川原地区の環境影響評価（環境アセスメント）が進んだことから、特定保留解除に向け関係機関と協議を行った。

また、本市特有の自然環境や歴史的環境を活かし、巴波川沿いや旧例幣使街道に残る貴重な歴史的建造物の保全、活用による街なみ環境修景事業を推進するとともに、良好な景観の形成や風致の維持、さらに、公衆に対する危害を防止するために、屋外広告物に関する事務を行った。

伝建まちづくり担当では、重要伝統的建造物群保存地区に選定された嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区（嘉右衛門町伝建地区）の歴史的資源を活かしたまちづくりを進めるため、嘉右衛門町伝建地区及びその周辺のまちづくりに関する検討を行った。

市街地整備担当では、現在施行中である箱森西部土地区画整理事業地区について、保留地の販売を推進し、収入の確保に努めた。また、区画道路の築造工事等を実施した。

計画景観担当

1 都市計画審議会に関すること

開催日	審議案件
5月17日(金) (第6回)	(1) 小山栃木都市計画 地区計画の決定について〔栃木市決定〕 (栃木駅南部地区) (2) 小山栃木都市計画 道路の変更について〔栃木県決定〕 (3・3・3号小山栃木都賀線、3・4・203号今泉泉川線)
1月20日(月) (第7回)	(1) 栃木市都市計画マスタープランについて (2) 栃木市景観計画について

2 公有地の拡大の推進に関する法律に関すること

- (1) 公有地の拡大の推進に関する法律第4条に基づく届出書の受理
・件数 4件
- (2) 公有地の拡大の推進に関する法律第5条に基づく申出書の受理
・件数 4件

3 国土利用計画法に関すること

国土利用計画法第23条に基づく届出書の受付及び審査

- ・件数 48件

4 地価公示等に関すること

地価公示法に基づく地価公示標準地並びに国土利用計画法に基づく地価調査標準地の確認点検、周知を行った。

- (1) 地価公示
 - ・価格時点 平成26年 1月 1日
 - ・公示時点 平成26年 3月19日
 - ・標準地 栃木市大町字西向223-1 ほか37地点
- (2) 地価調査
 - ・価格時点 平成25年 7月 1日
 - ・告示時点 平成25年 9月20日
 - ・基準地 栃木市大森町442-9 ほか34地点

5 シビックコア推進事業に関すること

(1) 事業概要

本事業は、栃木市シビックコア地区整備計画に基づき栃木駅周辺土地区画整理事業などの都市基盤整備と併せて、国の合同庁舎を核とする官公庁施設の建設計画を推進するとともに、民間建築物の立地を誘導し、魅力とにぎわいのある都市の拠点形成を図ることを目的としている。

・シビックコア計画対象地区面積 41.3 h a

・シビックコア重点整備地区面積 6.6 h a

主要官公庁施設

・国の合同庁舎

・県立学悠館高校（平成17年4月開校）

・市の（仮称）シビックセンター

(2) 事業経過

・国土交通省 関東地方整備局 営繕部 シビックコア計画協議 2回

6 都市計画法第53条に基づく許可申請に関すること

都市計画施設の区域又は市街地開発事業の施行区域内における建築物に対する許可

・許可件数 13件

・通知件数 34件

7 都市計画法第58条の2に基づく届出に関すること

地区計画の区域内における行為に対する届出

・件数 96件

8 栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画の策定に関すること

(1) 栃木市都市計画マスタープラン

都市計画マスタープランは、市町村が定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、土地利用や都市施設の計画などについて定める都市計画に関する総合的な計画である。当該プランでは、旧1市4町のまちづくりを活かしながらも、既存施設の活用や環境負荷の低減を図るコンパクトで持続可能なまちづくり、高齢社会に対応した安全・安心に暮らせるまちづくりなどをコンセプトに将来あるべき都市像を具体的に示している。

・当該プランで示した基本的な事項

①土地利用：市街化区域、用途地域などの土地利用に関するもの

②都市施設：道路、公園・緑地などの整備に関するもの

③市街地開発事業：土地区画整理事業などの面的な開発事業に関するもの

④保全：農地、樹林地、河川、景観などの保全に関するもの

・計画対象期間：20年間（基準年次：平成25年／目標年次：平成45年）

・計画対象区域：岩舟地域を除く栃木市の行政区域（284.83km²）

（小山栃木都市計画区域及び西方都市計画区域）

・計画の主な構成：土地利用などに関する全体構想、地域別構想、実現方策など

(2) 栃木市景観計画

景観計画は、良好な景観形成に関する緩やかな規制誘導を行う総合的な計画であり、景観法第8条に規定されている法定計画である。

栃木市景観計画については、各地域の特色ある良好な景観を保全、誘導する指針とするために、市内全域を対象区域として策定する計画である。策定期間は平成25年度

から開始し、平成26年度中に完了する予定である。

平成25年度は、以下の項目を実施した。

- ・良好な景観形成のための行為の制限の検討
- ・景観重要建造物及び景観重要樹木に関する事項の検討
- ・良好な景観形成に関する方針の検討

(3) 検討委員会及び作業部会

栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画の策定に当たり、検討委員会及び作業部会を設置し、検討を行った。

検討委員会 3回開催 / 作業部会 3回開催

9 街なみ環境修景事業に関すること

旧例幣使街道や巴波川周辺一帯を歴史的町並み景観形成地区とし、郷土に誇りと愛着が持てるような、個性的で魅力あるまちづくりを推進するため、歴史的建造物の修景補助事業等を行った。

- ・歴史的建造物等の修景補助事業 1件 補助額 2,700,000円

10 都市景観形成事業に関すること

各地域の特色ある景観を保全・誘導する指針とするため、栃木市景観計画策定業務委託を実施した。また、利用者にとって見やすく、分かりやすい公共サインの整備をするための基本方針を定めるものとして、栃木市公共サイン整備方針策定業務委託を実施した。

11 栃木県景観条例に基づく大規模行為届出に関すること

栃木県景観条例第20条に基づく届出書の受理

- ・件数 32件（建築物 25件、工作物 6件、開発行為 1件）

12 屋外広告物に関すること

(1) 屋外広告物の許可事務について

(単位：件)

区 分		件 数
栃木県屋外広告物条例	条例第5条等 屋外広告物の表示又は掲出物件の設置の許可	86
	条例第13条 屋外広告物の継続の許可	53
	条例第14条 屋外広告物の変更の許可	5
	条例第18条 屋外広告物の除却の届出の受理	11

(2) 住民参加型違反広告物除却推進団体について

違反広告物の除却措置について、住民参加による地域での除却活動を推進するため、栃木市違反広告物除却推進制度に関する要綱を制定し、違反広告物除却推進団体を認

定し、活動支援を行った。

・違反広告物除却推進団体の認定 (単位：人)

団体名	推進員数
栃木市少年補導員会	46
大平町あじさいグループ	11

伝建まちづくり担当

1 伝統的建造物群保存地区のまちづくりに関すること

(1) 嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画について

嘉右衛門町伝建地区のさらなる歴史を活かした特色あるまちづくりを推進するため、庁内及び地元住民等との協働による嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画の案を検討した。

- ・地元住民代表によるヒアリング調査 8月28日(水)実施
- ・地元住民代表によるまちづくり懇談会 3回開催
- ・庁内検討部会及び作業部会 各3回開催

2 歴史的風致維持向上に関すること

嘉右衛門町伝建地区を中心とした歴史的風致を維持・向上させ後世に継承するための調査・研究を行った。

3 栃木市伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく許認可等に関すること

(1) 現状変更行為の許可(条例第5条)

- ・嘉右衛門町伝建地区 15件

(2) 現状変更行為の通知(条例第7条)

- ・嘉右衛門町伝建地区 1件

市街地整備担当

1 土地区画整理事業に関すること

(1) 土地区画整理事業完了地区の測量座標データの管理

(2) 箱森西部地区土地区画整理事業

ア 事業概要

- ・面積 約8.3ha
- ・組合員数 23人(理事長 熊倉武夫)
- ・施行期間 平成20年度～平成26年度
- ・総事業費 550,000千円
- ・事業費 151,243,899円

イ 事業経過

- ・総会 2回
- ・役員会 6回
- ・販売保留地 23画地（面積 5,365.25㎡、販売額 134,366,875円）

ウ 実施工事（組合発注）

工 事 名	内 容	金 額（円）	備 考
付帯工事	1式	126,000	
防犯灯設置工事	11基	284,130	
付帯工事（その2）	1式	451,500	
防犯灯設置工事（その2）	3基	77,490	
区画道路舗装工事	L = 203.6m	2,268,000	
付帯工事（その3）	1式	273,000	
区画道路築造工事（分割1号）	L = 367.0m	25,504,500	
区画道路築造工事（分割2号）	L = 460.6m	28,080,000	繰越
付帯工事（その4）	1式	546,000	
合 計		57,610,620	

第2節 建築課

〔総括概要〕

建築課の主な分掌事務は、住宅政策の総合調整及び推進のほか、市営住宅の全般、市有建築物の設計及び施工監理に関することである。

住宅関係については、定住人口の増加を促進し、市の活性化を図ることを目的とし定住希望者住宅新築等補助制度による補助を行った。また、本市の特性に応じた総合的な居住環境の形成を図ることを目的として策定した栃木市住生活基本計画の重点施策である「あったか住まいるバンク制度」を創設し、高齢者や子育て世帯へ空き家を有効活用した住み替え支援や地域の活性化等を目的とした「空き家バンク事業」を平成26年1月より開始した。

市営住宅管理については、昭和43年度から平成15年度にかけて栃木地域に建設した市営住宅851戸及び特定公共賃貸住宅30戸の建物等を常に良好な状態に維持するために平成24年度に策定した栃木市公営住宅等長寿命化計画に基づく管理運営を行った。

市営住宅維持修繕については、城内南市営住宅の屋根葺替工事ほか2件の改修工事を行うと共に290件の小破修繕工事を行った。

市有建築物の設計及び施工監理については、各課からの依頼等により、設計及び工事監理業務委託が、(仮称)藤岡地域統合保育園設計業務委託ほか24件、施工監理業務が、栃木市役所新市庁舎整備工事(建築工事)ほか100件であった。また、学校、老人福祉施設、市営住宅等の市有建築物188施設350棟について定期点検業務委託を実施し、点検結果を施設所管課に報告した。

住宅担当

1 公営住宅管理関係

(1) 市営住宅管理戸数

(単位：戸)

種別構造 団地名	木造 2階建	準耐火 平屋建	準耐火 2階建	中層耐火 3階建	中層耐火 4階建	中層耐火 5階建	高層耐火 8階建	計
本町市営住宅	-	-	-	-	-	20	-	20
菌部市営住宅	6	-	-	-	-	-	-	6
城内市営住宅	-	-	-	-	48	-	-	48
神田市営住宅	8	-	-	-	-	-	-	8
大宮市営住宅	-	-	-	42	88	-	-	130
川原田西市営住宅	-	-	-	24	-	-	-	24
川原田市営住宅	-	-	-	58	-	-	60	118
片柳市営住宅	-	84	12	-	-	-	-	96
川原田東市営住宅	-	60	-	-	-	-	-	60
城内南市営住宅	-	45	54	-	-	60	-	159
城内南第2市営住宅	-	-	-	12	88	30	-	130
平井市営住宅	-	-	-	-	16	-	-	16
平柳市営住宅	-	-	-	-	-	-	36	36
計	14	189	66	136	240	110	96	851
退去戸数	27							
入居戸数	40							

(2) 特定公共賃貸住宅管理戸数

管理戸数 30戸

退去戸数 1戸

入居戸数 1戸

(3) 改良住宅管理戸数

管理戸数 3戸

2 市営住宅維持修繕工事関係

(1) 市営住宅改修工事費等 (3件)

合計 32,686,500円

工 事 内 容			
工事箇所	工 事 名	工 事 概 要	工事金額(円)
城内町2丁目 地内	城内南市営住宅屋根 瓦替工事	屋根葺替 低層2棟 (LC-1・2号棟) ガルバリウム鋼板製嵌合式 縦葺き 計 550㎡ 等	10,269,000
城内町2丁目 地内	城内南第2市営住宅 排水管改修工事	排水管改修工事 中層2棟 (1号棟・2号棟) 浴室・台所排水管改修 等	19,099,500
城内町2丁目 地内	城内南市営住宅建具 取替工事	建具取替 低層3棟 (TC-1~4号棟) アルミ製引違窓中棧付 計 24箇所 等	3,318,000

(2) 市営住宅維持補修費

市営住宅13団地の小破修繕工事 290件 17,524,292円

3 定住希望者住宅新築等補助制度

受付年度	取得年度	件数	金額(円)
平成25年度	平成22年取得	142	9,771,900
	平成23年取得	271	20,809,900
	平成24年取得	214	16,246,300
	計	627	46,828,100

4 あったか住まいのバンク制度

空き家バンク事業

空き家バンク登録物件数 (平成26年1月~3月)

地域	件数	備考
栃木地域	3	片柳町、樋ノ口町、湊町
西方地域	1	西方町金崎
計	4	

建築担当

1 設計・工事依頼関係

(1) 設計・工事監理業務委託 (25件) 合計 115,397,549円

主 な 業 務 委 託 内 容			
業 務 箇 所	業 務 名	業 務 概 要	委 託 金 額 (円)
藤岡町赤麻地内	(仮称) 藤岡地域統合 保育園設計業務委託	新築設計業務 (基本及び実施設計) 保育園園舎 解体設計業務 既設赤麻保育園園舎 地形測量業務 現地測量	27,000,000
都賀町家中地内	家中小学校屋内運動 場改築工事設計業務 委託	改築設計業務 屋内運動場 解体設計業務 既設屋内運動場 地形測量業務 現地測量	18,270,000
大平町蔵井地内	大平中学校基本設計 業務委託	基本設計業務 校舎棟 地形測量業務 現地測量	16,590,000
その他業務委託件数 22件			53,537,549

(2) 建築、電気設備、機械設備工事 (101件) 合計 5,783,062,800円

主 な 工 事 内 容			
工 事 箇 所	工 事 名	工 事 概 要	工 事 金 額 (円)
万町地内	栃木市役所新市庁舎 整備工事 (建築工事)	建築工事 鉄骨鉄筋コンクリート造 6階建て 延床面積 23,024.68 m ²	896,889,000
梅沢町地内	(仮称) 寺尾統合小学 校校舎改築工事	普通教室・特別教室及び管理 棟改築工事 鉄筋コンクリート造 2階建て 延床面積 3,385.85 m ²	575,400,000
大平町蔵井地内	大平学校給食センタ ー新築建築工事	建築工事 鉄骨造 2階建て 延床面積 1,900.45 m ²	331,800,000

西方町元地内	西方中学校屋内運動場耐震補強及び大規模改修工事	屋内運動場 鉄骨造 平屋建て 延床面積 780 m ² 耐震補強工事 大規模改修工事	91,896,000
西方町元地内	西方中学校外構工事	西方中学校 敷地面積 21,518.59 m ² 外構工事 電気設備工事 機械設備工事 テニスコート工事	74,938,500
都賀町合戦場地内	合戦場小学校校舎耐震補強工事	校舎棟 鉄筋コンクリート造 4階建て 延床面積 4,067.29 m ² 耐震補強工事 その他内装改修工事	73,825,500
その他工事件数 95件			3,738,313,800

(3) 定期点検業務委託 (全188施設350棟) 合計 16,957,500円

主 な 業 務 委 託 内 容			
業 務 箇 所	業 務 名	業 務 概 要	委 託 金 額 (円)
城内町 2 丁目地内 外	市有建築物定期点検 業務委託(栃木その1)	点検業務 城内南市営住宅 老人福祉センター福寿園 いまいずみ保育園 等 11施設 33棟	1,134,000
城内町 1 丁目地内 外	市有建築物定期点検 業務委託(栃木その2)	点検業務 栃木第四小学校 栃木文化会館 栃木図書館 等 10施設 17棟	1,113,000
その他定期点検業務委託件数 13件		167施設 300棟	14,710,500

第3節 建築指導課

〔総括概要〕

市民の生命・財産の保護及び都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に資するため、建築指導業務、建築審査業務、開発指導業務を行った。

建築指導業務及び建築審査業務では、建築基準法に基づく許可、私有地内に築造された道路位置の指定、建築確認審査、確認済証及び完了検査済証の交付等、建築行政事務を行った。

地震に強いまちづくりを推進するため、栃木市建築物耐震改修促進計画に基づき、昭和56年以前の旧耐震基準で建築された木造住宅の所有者等に対し、耐震化の重要性や各種耐震補助制度の普及啓発を行うとともに、耐震診断や補強計画策定、耐震改修工事、新たに制度化した耐震建替工事について費用の一部助成を行い、民間木造住宅の耐震化の促進を図った。

その他、違反建築物や老朽化が著しい建築物の是正指導に取り組む一方、狭あい道路を解消するため、建築基準法第42条第2項に指定している道路の後退用地の所有者に対し、無償使用承諾の要請を行った。

また、建設リサイクル法に基づく分別解体等の届出書等の受理及び解体現場の立入調査を行い、建築物の分別解体について助言指導を行った。

開発指導業務では、都市周辺部における無秩序な市街化及び不良市街地の形成を防止するため、開発行為の許可等に係わる事務について、都市計画法の規定に基づき許可、協議、指導等を行った。

また、庁内での開発行為等に関する情報交換や意思統一を図るために関係課職員の参加を求め、土地利用調整会議を毎月1回開催した。

建築指導担当

1 木造住宅耐震診断・耐震改修補助制度

(1) 耐震診断（補助計画策定含む）

申請件数	25件	補助額計	1,471,000円
------	-----	------	------------

(2) 耐震改修等（建替え含む）

申請件数	12件	補助額計	9,129,000円
------	-----	------	------------

2 道路位置指定

指定件数	9件	指定延長	291m
廃止件数	3件	廃止延長	117m

3 建設リサイクル法による届出及び通知

10条届出	409件	11条通知	40件
-------	------	-------	-----

4 道路後退用地無償使用承諾

承諾件数	26件	後退面積計	415 m ²
------	-----	-------	--------------------

5 狭あい道路拡幅整備促進事業

(1) 分筆測量に係る補助申請

申請件数	3件	補助額計	794,000円
------	----	------	----------

(2) 工作物等撤去に係る補助申請

申請件数	6件	補助額計	476,000円
------	----	------	----------

6 建築許可等の状況

条項の区分	件数(件)
法第7条の6第1項又は法第18条第22項	2
法第43条第1項	27
法第44条第1項	-
法第47条	-
法第48条第1項から第13項	1
法第51条	-
法第52条第14項	-
法第53条第4項、第5項	-
法第53条の2第1項	-
法第55条第2項、第3項	-
法第56条の2第1項	1
法第57条の4第1項	-
法第59条第1項、第4項	-
法第59条の2第1項	-
法第60条の2第1項	-
法第67条の2第3項、第5項、第9項	-
法第68条第1項から第3項、第5項	-
法第68条の3から第68条の7	-
法第85条	-
法第86条第1項から第4項	-
総計	31

7 建築確認申請受付件数及び同手数料

- ・受付状況等 【別表】平成25年度建築確認受付件数及び同手数料参照

【別表】平成25年度建築確認受付件数及び同手数数料

月	確認申請												中間検査		完了検査		許可認定 (内 42-15)		各種証明		月別計		適合判定					
	1号		2号		3号		4号		EV		工作物		計画変更		計		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
4月	2	60,000	-	-	-	-	-	44	940,000	-	-	4	38,000	50	1,035,000	1	21,000	37	858,000	4	228,000	7	1,400	99	2,144,400	-	-	
5月	2	46,000	-	-	-	-	-	35	737,000	-	-	3	39,000	41	845,000	1	16,000	22	506,000	3	125,000	3	600	70	1,492,600	-	-	
6月	1	23,000	-	-	-	-	-	34	714,000	1	7,000	-	-	41	829,000	3	58,000	42	1,012,000	6	362,000	8	1,600	100	2,262,600	1	212,000	
7月	0	0	-	-	-	-	-	40	832,000	1	15,000	-	1	9,000	44	937,000	6	126,000	40	958,000	6	197,000	6	1,200	102	2,219,200	-	-
8月	3	69,000	-	-	-	-	-	37	823,000	-	-	4	42,000	46	960,000	2	42,000	31	715,000	2	66,000	3	600	84	1,783,600	-	-	
9月	1	66,000	-	-	-	-	-	45	980,000	1	15,000	-	1	15,000	49	1,142,000	-	-	48	1,147,000	2	83,000	3	600	102	2,372,600	2	318,000
10月	1	37,000	-	-	-	-	-	50	1,064,000	-	-	2	38,000	56	1,185,000	4	84,000	18	426,000	4	149,000	4	800	86	1,847,800	-	-	
11月	5	242,000	-	-	-	-	-	39	817,000	-	-	3	33,000	48	1,129,000	3	58,000	36	866,000	3	91,000	1	200	91	2,144,200	1	212,000	
12月	4	316,000	-	-	-	-	-	30	656,000	1	15,000	-	2	24,000	38	1,048,000	4	84,000	50	1,286,000	2	83,000	2	400	96	2,501,400	-	-
1月	-	-	-	-	-	-	-	25	505,000	-	-	1	9,000	26	514,000	2	65,000	42	999,000	5	192,000	4	800	79	1,770,800	-	-	
2月	2	46,000	-	-	-	-	-	29	671,000	1	15,000	3	33,000	38	804,000	1	21,000	24	719,000	2	193,000	2	400	67	1,737,400	2	402,000	
3月	1	23,000	-	-	-	-	-	34	720,000	-	-	3	27,000	39	783,000	-	-	67	1,675,000	2	66,000	5	1,800	113	2,525,800	-	-	
計	22	928,000	-	-	-	-	-	442	9,459,000	5	67,000	27	305,000	516	11,215,000	27	575,000	457	11,167,000	41	1,835,000	48	10,400	1,089	24,802,400	6	1,144,000	

建築審査担当

1 建築確認、中間検査合格証及び検査済証の交付件数 (単位：件)

区分		第1号建築物	第2号建築物	第3号建築物	第4号建築物	建築設備	工作物	計
確認	栃木市	25	-	10	452	5	10	502
	指定確認検査機関	33	1	78	420	5	18	555
	総数	58	1	88	872	10	28	1,057
計画変更	栃木市	4	-	1	24	-	-	29
	指定確認検査機関	9	-	11	37	-	-	57
	総数	13	-	12	61	-	-	86
中間検査	栃木市	-	-	1	26	-	-	27
	指定確認検査機関	-	-	-	94	-	-	94
	総数	-	-	1	120	-	-	121
完了検査	栃木市	21	-	12	394	5	7	439
	指定確認検査機関	34	-	77	393	6	20	530
	総数	55	-	89	787	11	27	969

2 計画通知（法18条）件数 (単位：件)

区分		第1号建築物	第2号建築物	第3号建築物	第4号建築物	建築設備	工作物	計
計画通知	確認	5	-	3	10	5	2	25
	計画変更	1	-	-	1	-	-	2
	中間検査	-	-	-	-	-	-	-
	完了検査	1	-	2	9	3	1	16

3 住宅金融支援機構審査申請件数取扱状況

・手数料収入 -円

取扱状況 (単位：戸)

一戸建住宅	共同住宅	既存住宅購入
-	-	-

4 長期優良住宅等認定件数 (単位：件)

申請件数	156	認定件数	154
------	-----	------	-----

5 低炭素建築物新築等計画の認定件数 (単位：件)

申請件数	2	認定件数	2
------	---	------	---

開発指導担当

1 都市計画法に基づく開発許可制度に関すること

(1) 許可等の状況

区 分		件数(件)
都 市 計 画 法	法第29条第1項 開発許可	113
	法第34条の2第1項 開発許可の特例の協議	1
	法第35条の2第1項 開発変更許可	22
	法第36条第2項 完了検査及び検査済証の交付	126
	法第36条第3項 完了公告	130
	法第37条第1項 建築制限解除承認	19
	法第38条 開発廃止届の受理	1
	法第42条第1項 用途変更等許可	6
	法第43条第1項 建築行為許可	45
	法第46条 開発登録簿の調製	113
	法第47条第5項 開発登録簿の写しの交付	140
	省令第60条 開発行為又は建築行為に関する証明	263

(2) 開発行為等許可申請手数料の収納状況

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	21	22	23	30	24	24	
金額(円)	653,920	431,290	281,950	858,700	547,060	321,480	
月 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件数(件)	25	29	25	24	22	25	294
金額(円)	593,800	965,440	580,070	652,190	418,650	635,850	6,940,400

※ 件数及び金額は、受付ベース

(3) 栃木県開発審査会

市街化調整区域内における開発行為のうち、都市計画法第34条第14号に定める立地基準の該非を審査する機関で本年度は7回開催された。

- ・ 個別付議 1件
- ・ 報告事案 42件

(4) 栃木県開発許可事務連絡協議会

開発許可制度の有効な運用と事務改善を目的とする協議会

- ・ 幹 事 会 1回
- ・ 総 会 1回
- ・ 研 修 会 3回
- ・ 先進都市視察研修 1回

2 優良宅地の認定に関すること

租税特別措置法に基づく優良宅地の認定申請はなかった。

第9章 大平総合支所

第1節 地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域協議会、広報広聴、自治会、庁舎・共用車の管理、OA機器等の備品の管理、消防団方面隊に関することである。

地域協議会は、地域の意見を市政に反映させることを目的として10回開催した。

また、地域協議会研究会から地域協議会だよりを隔月（奇数月）で発行し、協議会の活動内容や地域自治区内の情報を発信した。

広聴事業については、市民から、市政に対する意見や提案を直接聴くため、まちづくり懇談会ふれあいトークを開催した。

自治会については、大平地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

庁舎及び付属施設の管理については、主に冷暖房管理と節電対策並びに施設保全の各種業務委託等を行った。また、大雪により倒壊した職員自転車駐輪場を含む各種修繕工事及び強風による敷地内高木の枝折れ被害を防ぐため、大平総合支所(仮)駐車場の大規模な伐採を実施した。

消防については、大平地域において12件の火災が発生し、消防署及び消防団が出動した。

地域自治担当

1 地域協議会関係

地域自治区制度導入に伴い設置された大平町地域協議会は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1) 委員（任期 平成25年4月1日～平成27年3月31日） 定数15人

区分	No.	氏名	備考
1号委員	1	伊藤 宏幸	大平地区体育協会
	2	尾花 隆男	大平地区社会福祉協議会
	3	柏倉 昭夫	大平町認定農業者連絡協議会
	4	河田 公美	大平町商工会
	5	川田 匡男	栃木市老人クラブ連合会大平支部
	6	佐山 幸子	大平女性団体連絡協議会
	7	中島 豊和	栃木市PTA連合会大平ブロック
	8	柳田 和子	大平町まちづくり団体連絡協議会
	9	山田 勝三	大平地域自治会連合会

2号委員	10	赤澤 美智子	学識経験を有する者
	11	阿部 勝彦	
	12	柴田 保男	
3号委員	13	小林 明彦	公募に応じた者
	14	高際 悦子	
	15	富山 勝也	

(2) 開催内容

回数	開催日時、場所	内 容
第1回	4月19日（金） 午後1時30分～ 大平総合支所 大会議室	報告事項等 ・ 栃木市橋梁長寿命化修繕計画について ・ 栃木市地域自治制度検討委員会における新たな地域自治制度検討状況の中間報告について ・ 栃木市保育所整備基本計画（案）についての意見に対する回答について
第2回	5月17日（金） 午後1時30分～ 大平総合支所 大会議室	報告事項等 ・ 平成25年度の各課の主な取り組み ・ 栃木市市民会議条例の制定について ・ 栃木市観光基本計画策定について ・ 栃木市都市計画マスタープランの中間報告について ・ 栃木市景観計画の中間報告について ・ 大平南小学校校舎整備基本設計について ・ 指定管理者制度の導入についての意見に対する回答について
第3回	7月30日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所 大会議室	意見聴取事項 ・ 栃木市都市計画マスタープランの地域別構想（案）について ・ 栃木市景観計画に係る良好な景観形成のための行為の制限と景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針について 報告事項等 ・ 栃木市大平学校給食センター施設整備事業実施設計について
第4回	8月22日（木） 午後1時30分～ 大平総合支所 大会議室	報告事項等 ・ 意見書の確定について ・ 栃木市上下水道事業調査委員会の結果について ・ 栃木市斎場再整備検討委員会の結果について ・ 栃木市立大平中学校整備検討委員会の結果について ・ 第12回栃木市・岩舟町合併協議会の結果について

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市自治基本条例に基づく栃木市市民会議委員の推薦について ・ 栃木市子ども・子育て会議委員の推薦について ・ 地域自治交流会について
第5回	10月18日（金） 午後1時30分～ 大平総合支所 大会議室	<p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進地視察研修について
第6回	11月21日（木） 午後1時30分～ 大平総合支所 大会議室	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織機構の見直しについて【非公開】 ・ 栃木市健康増進計画について ・ 栃木市新たな地域自治制度基本構想（素案）について
第7回	12月20日（金） 午後1時30分～ 大平総合支所 大会議室	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市人権教育・啓発推進行動計画の策定について ・ 栃木市観光基本計画の素案について <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市斎場再整備基本計画（案）について
第8回	1月17日（金） 午後3時～ 大平総合支所 大会議室	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市食育推進計画の素案について ・ とちぎ市農業・農村男女共同参画ビジョン（案）について <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市健康増進計画についての意見に対する回答について
第9回	2月21日（金） 午後1時30分～ 大平総合支所 大会議室	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大平町区長の選任について【非公開】 <p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵タク・ふれあいバスの利用状況及び本格運行の実施について
第10回	3月20日（木） 午後1時30分～ 大平総合支所 大会議室	<p>報告事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 23・24 年度に地域協議会等から提出された意見に対する市の対応状況について ・ 大平町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答書について ・ 合併時に「合併後再編」としている事務事業の調整状況について ・ 地域協議会へ意見を聴く事務事業（Aランク）について

(3) 先進地視察

地域協議会の役割である地域資源等を活かした住民主体のまちづくりの参考とするため、また、防災意識の向上と日常の防災対策改善のヒントを得るため、次の2地域を視察した。

- ・視察地 茨城県日立市（埴山学区住みよいまちをつくる会）
福島県いわき市（NPO法人ふよう土2100【被災地視察】）
- ・日程 11月25日（月）～26日（火）
- ・参加者 委員：柴田保男会長・赤澤美智子副会長
阿部勝彦・伊藤宏幸・尾花隆男・柏倉昭夫・河田公美
川田匡男・小林明彦・高際悦子・中島豊和・柳田和子
山田勝三（高際氏は、日立市の視察のみ）
事務局：川津浩章・高橋綾子・鈴木宏彰（全16人）

(4) 地域協議会研究会関係

地域協議会の内部組織として地域協議会委員全員をもって構成する「大平町地域協議会研究会」において、大平地域のまちづくりを推進するための調査研究等を行った。

ア 活動実績

- ・総会 1回 / 研究会 3回 / 分科会 13回 / 広報委員会 1回

イ 地域協議会だよりの発行

地域協議会の協議内容を市民にお知らせするため、「地域協議会だより」を隔月（奇数月）で発行した。

- ・発行号数 第26号～第31号
- ・体裁 A3版 両面カラー刷り（第29号のみA4版で発行）
- ・発行部数 各9,200部

2 広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見・提案など聴き、市民の声を今後の市の行政経営に生かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数	フリートーク数	自治会数	参加者数
1	7月25日(木)	大平南地区公民館	新1～4、西野田1～2、榎本(荒町、上下、旭)、西水代(上1～上3、下、瓜畑)、伯仲(北南西)	7	12	17	44
2	7月26日(金)	大平西地区公民館	富田1～8、西山田1～3、下皆川1～2、日立、中央町第1	3	12	15	57
3	8月1日(木)	大平東地	横堀、牛久、上牛久、	8	10	14	82

	区公民館	川連、土与、蔵井、真弓(西南東中)、下高島、上高島、中央町第2、北武井				
合 計			18	34	46	183
			52			

3 まちづくり関係

(1) ホームページ「フル里ポータルサイト」の管理運営

大平地域への来訪者に向けた情報発信手段として、おおひらコンシェルジュメンバーが主体となり「大平町観光ぶどう園協議会」等の協力のもと現地取材を行い、フルーツ狩りや里山体験を紹介するホームページの管理運営を行った。

(2) 大平町まちづくり団体連絡協議会の設立

大平町内のまちづくりに関連する団体相互が交流し、活動の情報及び課題を共有することで、相互の理解と協力を深め、各団体が更なる広がりを持ったまちづくり活動を展開することを目的とする。

ア 組織構成

(ア) 組織

	団 体 名	代表者名
1	おおひらコンシェルジュ	代表 柳田 和子
2	NPO法人太平山南山麓友の会	理事長 小林 明彦
3	大平町観光案内ボランティアの会	会長 桧山 光伸
4	NPO法人自然と人間の森おおひら	理事長 山口 市作
5	富田地区中心市街地商業振興会	会長 藤野 幸一
6	まちの駅ネットワークおおひら	代表 柳田 和子

(イ) 役員

- ・会長1人、副会長1人、幹事4人

イ 会議

(ア) 設立総会

- ・実施日 5月7日(火)
- ・出席者 15人
- ・内 容 大平町まちづくり団体連絡協議会規約について
役員を選任について
平成25年度事業計画について

(イ) 第1回役員会

- ・実施日 7月18日(木)
- ・内 容 視察研修について

ウ 主な事業

(7) 視察研修会

大平地域における民主体のまちづくり事業の一環として、「ウェルカムガーデン」を設置し、各団体等に波及させ、地域振興に取り入れるため実施した。

- ・実施日 9月24日(火)
- ・場 所 千葉県柏市
- ・内 容 柏市公園緑政課よりカシニワ制度についての概要説明を受けた後、柏市内の「オープンガーデン」「地域の庭」を視察
- ・出席者 26人

4 市民活動支援事業

大平地域のNPO法人は現在5法人あり、年度毎の届出や変更届出等の書類補正等事務処理・助言等の支援を行った。

5 総合支所会議

総合支所長が主宰し、総合支所の業務の調整及び連絡を行った。

- ・開催回数 11回
- ・内 容 審議事項 1件
報告事項 17件
連絡事項 14件

6 自治会関係

行政とのパイプ役として広報紙の配布や様々な事業に協力してもらう自治会長への事務事業説明会等を開催するとともに大平地域自治会連合会の活動を支援した。

(1) 自治会長との連絡調整

ア 自治会長の把握

次年度の自治会長及び担当戸数等を連絡してもらい名簿を作成

- ・受付期間 2月～3月
- ・対象自治会 46自治会

イ 自治会長会議の開催

第1回会議

- ・開催日 4月12日(金)
- ・内 容 各課事務についての説明及び連絡
終了後、大平地域自治会連合会総会を開催

ウ 自治会報償金の支給

自治会に対し報償金を支給(10月1日現在の世帯数を基に2月に支出)

(2) 大平地域自治会連合会(事務局)

ア 組織構成

(7) 組織

- ・単位自治会 46自治会

(4) 役員

- ・会長1人、副会長2人、幹事3人

イ 会議

(7) 総会（自治会長会議終了後）

- ・実施日 4月12日(金)
- ・出席者 46人
- ・内容 平成25年度事業計画・収支予算について
役員の選出について等

(イ) 第1回役員会

- ・実施日 4月26日(金)
- ・内容 各種委員等の委嘱について
主な行事予定について

(ウ) 第2回役員会

- ・実施日 9月13日(金)
- ・内容 大平地域自治会連合会平成25年度事業について
大平地域自治会連合会平成25年度事業計画の変更について

(エ) 第3回役員会

- ・実施日 3月6日(木)
- ・内容 平成26年度事業計画について
平成26年度予算について
平成26年度総会について

ウ 主な事業

(7) 視察研修会

- ・実施日 11月12日(火)～13(水)
- ・場所 長野県長野市
- ・内容 松代における住民主体のまちづくり、地域づくりの現状と課題について等を視察
- ・出席者 22人

(イ) 自主事業

単位自治会の組織強化と活動の活性化を図るため、交付金制度を設立した。

- ・自治会活動助成事業の新規実施

(ウ) 栃木市自治会連合会関係

栃木市自治会連合会設立総会、役員会等に参加し、各地域連合会との連絡調整を図った。

- ・出席者 役員6人

7 太平山麓エリアの観光拠点まちづくり事業

平成24年度に実施した、地域特性を最大限に引き出し、太平山南山麓エリアを一大観光拠点としていくための調査・検討の結果を基に、事業推進に向けた検討を行う「太平山麓エリアの観光拠点まちづくり推進会議」を立ち上げ、今後の事業方針や官民一体となったエリアマネジメント等の検討を行った。

総務担当

1 文書発送関係

後納郵便発送件数 160,358件

2 情報系パソコンの整備状況

区 分	課 名	パソコン (台)
区長、支所長		2
大平総合支所	地域まちづくり課	12
	税務課	14
	生活環境課	15
	健康福祉課	23
	産業振興課	11
	都市整備課	9
	都市建設課	9
大平教育支所		18
総合政策部	人権推進課	6
産業振興部	産業基盤整備課	5
水道工務課	南部水道	6
こども課	大平みなみ児童館	4
保育課	大平各保育園	12
合 計		146

3 電算処理業務の委託契約

名 称	業 務 名
三協コンピュータ(株)	・総合支所パソコン保守運用管理業務委託
国際航業(株)	・庁内イントラネットGISシステム保守業務 ・地図情報インターネット公開システム使用等契約
(株)TKC	・TASKマスターハードウェア保守業務委託 ・TASKシステムハードウェア保守業務委託 (申告受付支援サーバ、申告受付支援端末ほか) ・総合支所業務系クライアントパソコン等保守業務委託

4 庁舎及び附属施設等の管理事務業務

大平総合支所庁舎の冷暖房運転管理及び節電管理を行った。

実施内容：エコオフィス対策

大型空調機による冷房運転と同時にピーク電力15%削減対策

ボイラー運転による暖房運転

5 支所庁舎内の業務委託 (11件)

委 託 名 等	委託金額 (円)
大平総合支所構内交換設備保守業務	478,800
大平総合支所常駐清掃業務	1,058,400
大平総合支所定期清掃業務	511,875
大平総合支所機械警備業務	1,005,480
大平総合支所自家用電気工作物管理業務	177,408
大平総合支所し尿浄化槽維持管理業務	49,140
大平総合支所庁舎消防設備等法定点検業務	63,000
大平総合支所庁舎内空調設備 (冷暖房) 定期保守点検業務	546,000
大平総合支所庁舎内設置空気清浄機保守業務	138,600
大平総合支所庁舎受水槽清掃業務	46,200
大平総合支所庁舎本館A重油地下タンク清掃業務	99,750
合 計	4,174,653

6 支所庁舎内の修繕工事等 (10件)

工 事 名 等	工事金額 (円)
大平総合支所消火栓用受水槽蓋修繕工事	51,450
大平総合支所本館2階地域まちづくり課換気扇取替工事	29,400
大平総合支所庁舎別館受水槽用補給水弁修繕作業工事	34,650
大平総合支所冷房用冷却塔ファンベルト交換工事	4,253
大平総合支所キュービクル内消火器設置工事	15,750
大平総合支所日直室防排煙受信機改修工事 (防火シャッター用)	126,000
大平総合支所別館浄化槽放流ポンプ取替修繕工事	113,820
大平総合支所別館車庫シャッター修繕工事	93,450
大平総合支所別館2階女子トイレ污水管詰り修繕工事	24,584
大平総合支所庁舎電話交換機データ変更工事	60,690
合 計	554,047

7 大平総合支所管内の光熱費等の管理に関する事務

総合支所管内の光熱費等について、以下の管理を実施した。

使用量と費用

区 分	使用量	金 額 (円)	備 考
電 気	236,866kwh	6,160,935	大平総合支所・車両センター

水道	1,357 m ³	163,934	大平総合支所・車両センター
ガス	189.70 m ³	104,195	大平総合支所
ガソリン	19,224.14ℓ	2,972,211	共用車・専用車
軽油	6,366.63ℓ	837,804	バス等
A重油	15,000ℓ	1,445,850	大平総合支所
灯油	618.04ℓ	58,527	大平総合支所

8 大平総合支所(仮)駐車場の駐車に関する管理を行った。

実施内容：不適切駐車(通勤目的駐車車両)抑制のために、北側出入口2箇所についてチェーンによる夜間閉鎖を実施。

開錠時間 平日 8:00～18:00

土日祝日 8:30～17:00

無断駐車車両に注意のビラ入れ。(定期的を実施。研修等で駐車スペースが必要なとき)

駐車場内砂利敷き及び落ち葉の撤去作業。

駐車敷地の大部分に高木が繁っている状況のため、大規模な伐採を実施。

工 事 名 等	工事金額 (円)
大平総合支所仮駐車場支障高木伐採工事	798,000

9 2月14日～15日の大雪に係る災害対応

2月14日未明からの大雪により、大平総合支所の職員自転車駐輪場2棟が倒壊したため、倒壊した駐輪場2棟の撤去及び新規1棟設置工事の実施。

工 事 名 等	工事金額 (円)
大平総合支所駐輪場撤去及び設置工事	596,400

10 共用車管理状況

区 分	数 量 (台)
普通乗合 (大型バス 42人)	1
普通乗用	2
小型乗用	4
軽乗用	5
小型貨物	6
軽貨物	1

11 バスの運行

総合支所管内の用務について、以下の通りバスを運用した。(単位：回)

	日帰り運用	宿泊運用	合 計
市 内	43	-	43

市 外	35	-	35
県 外	30	6	36
合 計	108	6	114

12 普通財産の管理等に関する事務

管内の普通財産の管理（除草作業、枝おろし等）及び貸付業務を実施した。

(1) 普通財産の管理

除草、枝おろし、滞水解消、落葉処分作業等 40日（延べ日数）

(2) 普通財産の貸付

区 分	件数(件)	面 積 (㎡)	収入金額(円)
市有地（大平地域）	10	5,672.32	419,859

13 消防関係

(1) 配置人員

大平方方面隊

(())の数字は内数 単位：人

分団別	階級	副団長	方面隊長	方 面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
	定員									
本部分団	定員	1	(1)	2	1	1	1	-	7	13
	実員	1	(1)	2	1	1	1	-	7	13
第1分団	定員	-	-	-	1	1	5	5	50	62
	実員	-	-	-	1	1	5	5	50	62
第2分団	定員	-	-	-	1	1	4	4	40	50
	実員	-	-	-	1	1	4	4	40	50
第3分団	定員	-	-	-	1	1	4	4	40	50
	実員	-	-	-	1	1	4	4	40	50
合 計	定員	1	(1)	2	4	4	14	13	137	175
	実員	1	(1)	2	4	4	14	13	137	175

(2) 消防車等の態勢

大平方方面隊

区分		種 別	車 名	年 式
方面隊本部		指 揮 車	日 産	平成12年
本部分団		連 絡 車	いすゞ	平成9年
第1分団	第1部	普通ポンプ車	〃	平成13年
	第2部	〃	〃	平成15年
	第3部	〃	〃	平成17年
	第4部	〃	〃	平成21年
	第5部	〃	〃	平成18年

第2分団	第1部	〃	〃	平成10年
	第2部	〃	〃	平成13年
	第3部	〃	〃	平成15年
	第4部	〃	〃	平成21年
第3分団	第1部	〃	〃	平成11年
	第2部	〃	〃	平成20年
	第3部	〃	〃	平成11年
	第4部	〃	〃	平成20年

(3) 大平方面隊の活動状況

ア 夏季点検の実施

消防団員の士気高揚及び規律保持、消防体制の万全を図ることを目的とし、夏季点検を実施した。

- ・実施日 7月7日（日）
- ・会 場 大平運動公園 第2多目的広場

イ 操法大会の実施

消防団員の消防技術の向上を図ることを目的とし、操法大会を実施した。

- ・実施日 7月7日（日）
- ・会 場 大平運動公園 第2多目的広場

ウ ポンプ運用訓練（山火事訓練）

消防団員の有事即応の体制を確立し、火災への万全を期する機関員養成訓練を実施した。

- ・実施日 2月2日（日）
- ・会 場 友田山土石採取場

(4) 大平方面隊部長以上会議

開催日	場 所
4月18日（木）	大平総合支所別館大会議室
5月23日（木）	〃
8月20日（火）	〃
9月13日（金）	〃
9月30日（月）	〃
1月24日（金）	〃

(5) 各種団体の運営支援

栃木市大平女性防火クラブの事務局として、運営の支援を行った。

第2節 税務課

〔総括概要〕

我が国の経済は、政府の経済政策を背景にした株高や円安、東京オリンピックの開催決定等が好材料となり、大企業を中心に賃金の上昇や設備投資の増加、個人消費の拡大などが聞こえ始めており、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大につなげようとする動きが現れ、景気回復に明るい兆しが見えてきている。しかし、新興国の景気減速、国の財政再建等景気減速の要因となる問題等も多々あり、地方での回復感が得られないなどまだまだ予断を許さない状況である。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下にあり、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

資産税関係では、巡回調査を行い、新增築家屋、滅失家屋、土地の現況把握に努め、償却資産未申告事業者に対する催告を行った。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通じての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取組として、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保巡回訪問催告、休日夜間納税相談窓口の開設など、税収確保へ向けた取組を展開した。

市民税担当

1 諸証明等の交付（大平地域分）

区 分	件・冊・枚数		摘 要
	有 料	無料(公用等)	
諸 証 明	5,351	1,160	<ul style="list-style-type: none"> ・納税、所得及びその他の証明 1件につき200円 ・土地及び建物の評価証明 1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 ・住宅用家屋証明 1件につき1,300円
公簿閲覧	561	319	
計	5,912	1,479	

2 市民税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の業務については、本庁市民税課に一括して掲載。

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

収税担当

1 差押（参加差押含む）（上段：市全体/下段：大平地域）（単位：件）

差 押 物 件	年度当初	差 押	解 除	年度末
不 動 産	158	17	7	168
	5	-	-	5
自 動 車	8	2	4	6
	1	-	-	1
電話加入権	7	-	1	6
	-	-	-	-
債権その他	208	602	489	321
	28	84	78	34
計	381	621	501	501
	34	84	78	40

2 交付要求（上段：市全体/下段：大平地域）

（単位：件）

年度当初	要 求	終 結	年 度 末
82	70	62	90
6	4	3	7

3 催告書発送及び納付状況（上段：市全体/下段：大平地域）

実施日	発送件数（件）	納付件数（件）	納付額（円）
4月12日（金）	1,960	1,410	23,625,904
	233	-	-
6月21日（金）	4,736	1,659	25,900,927
	522	-	-
10月25日（金）	3,883	1,505	31,665,009
	559	-	-
1月24日（金）	2,485	1,448	27,975,775
	397	-	-
計	13,064	6,022	109,167,615
	1,711	-	-

4 休日納税相談窓口（上段：市全体/下段：大平地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実 施 日	納付件数(件)	納付額（円）
第1回	4月20日（土）	58	903,400
		-	-
第2回	6月30日（日）	66	581,800
		18	172,600
第3回	11月2日（土）	62	972,200
		6	116,000
第4回	2月2日（日）	116	2,832,000
		14	298,000
計		302	5,289,400
		38	586,600

5 市税等収納員による徴収事業（上段：市全体/下段：大平地域）

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員2人による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数(件)	徴収金額(円)	口座振替(件)	納付指導(件)
6,951	212,305,180	68	3,485
2,175	54,091,400	7	1,546

6 市税等徴収強化事業（上段：市全体/下段：大平地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間 12月6日（金）～20日（金）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
1,342	147	4,829,420
181	26	1,140,600

第3節 生活環境課

〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、住民のニーズに対応すべく次のような業務を行った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

旅券事務については、一般旅券の発給申請の受理及び交付事務を行った。

国民健康保険事業については、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業については、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業については、市民の保健の向上と福祉の増進を図るため、重度心身障がい者、こども（中学校3年生まで）、妊産婦及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対し経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費の一部を助成した。不育症治療を受けている夫婦への助成制度についても新設されたが、補助申請はなかった。

国民年金事業については、法定受託事務として各種届出の受理及び進達等を行った。

生活環境事業については、大気、水、騒音、におい等に係る公害の発生防止とその対策に努めたほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化及び資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、不法投棄監視員による不法投棄の監視、不法投棄ごみの回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のための市民意識の啓発推進に努めた。

交通安全事業については、市民総ぐるみ運動をはじめとして、交通安全運動を強力に推進するとともに、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯事業については、防犯灯の修繕、防犯活動等に関する各種事務事業を実施した。

住民担当

- 1 戸籍事務
戸籍届出件数

・届出総数 525件（出生213件、婚姻78件、死亡42件、離婚35件等）

2 窓口事務

(1) 窓口届出処理件数

(単位：件)

処 理 事 項		件数	処 理 事 項	件数
戸籍届		525	死体埋火葬許可	2
住民異動届		2,418	(栃木市斎場利用なし)	
計		2,943	死胎埋火葬許可	-
印鑑	登 録	1,031	(栃木市斎場利用なし)	
	廃 止	409	死産届	7
計		1,440	計	9
			合 計	4,392

(2) 謄抄本証明書等交付件数

種 別		件数 (件)	金額 (円)	種 別		件数 (件)	金額 (円)
戸 籍	全部事項証明	2,730	1,228,500	住 民 票	世帯全員	3,920	784,000
	個人事項証明	882	396,900		個 人	8,411	1,682,200
	除籍謄本	1,582	1,186,500		証 明	319	63,800
	除籍抄本	10	7,500		閱 覧	-	-
	戸籍証明	21	7,350		年金現況証明	-	-
	受理証明	36	13,650		戸籍の附票	341	68,200
	廃棄証明	-	-		公 用	95	-
	出産証明	6	-		広 域	2	400
	不受理証明	-	-		住基カード(有料)	4	2,000
	公 用	184	-		住基カード(無料)	103	-
	計	5,451	2,840,400		計	13,195	2,600,600
証 明 書	印鑑証明	9,189	1,837,800	そ の 他	印鑑登録	1,031	206,200
	諸証明	54	10,800		印鑑登録廃止	409	-
	身分証明	172	34,400		臨時運行許可証	250	187,500
	住居表示証明	93	-		労基証明	2	-
	公 用	28	-		人口統計	10	-
	選挙証明	-	-		公的個人認証	42	21,000
	計	9,536	1,883,000		計	1,744	414,700
合 計				29,926 件		7,738,700 円	

(3) 斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種 類	区 分		件数 (件)		金額 (円)
斎 場	市 内	大 人	39	46	-
		小 人	-		
		死産児	7		
	市 外	大 人	1	1	18,000
		小 人	-		
		死産児	-		
エ ナ		-	-	-	
計			47	18,000	
霊きゅう車	往 路	市 内	25	112,500	
		市 外	13	138,400	
	帰 路	市 内	27	40,500	
		市 外	-	-	
計			65	291,400	
待 合 室	市 内	35	105,000		
	市 外	1	6,000		
計			36	111,000	
合 計			148	420,400	

(4) (1)～(3)のうち延長窓口処理件数 (単位：件)

種 別	件 数
戸籍謄抄本等交付	47
住民票写し等交付	181
印鑑登録証明書交付	128
印鑑登録	45
戸籍届	10
住民異動届	40
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	-
臨時運行許可証交付	4
窓口及び電話による相談、問合わせ等	36
合 計	491

3 中長期在留者住居地届出等事務 (単位：件)

種 別	件 数
住居地の変更届出(転入)	174
住居地の変更届出(転居)	118
新規上陸後の居住地届出	29

資格変更等に伴う住居地届出	25
特別永住者の住居地届出	-
特別永住者の証明書の交付	-
特別永住者住居地の変更届出(転入)	-
特別永住者住居地の変更届出(転居)	-
法務省通知	-
市町村通知	-
合 計	346

4 一般旅券申請・交付件数 (単位：件)

月	申請	交付	月	申請	交付
4月	30	30	10月	34	34
5月	38	31	11月	41	38
6月	27	31	12月	24	29
7月	41	36	1月	64	45
8月	58	61	2月	26	42
9月	28	33	3月	40	29
			合計	451	439

保険医療担当

1 国民健康保険の給付等に係る申請の受付等に関すること

(1) 高額療養費の受付状況 (単位：件)

高額療養費受付件数	一般	808
	退職者	37
限度額適用認定証(標準負担額減額認定証を含む)		303

(2) 療養費の受付状況

・療養費受付件数 90件

(3) 出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数 一件

(4) 葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数 45件

(5) 人間ドック検診の受付状況 (単位：件)

人間ドック受付件数	一般ドック	143
	脳ドック	30

(6) 医療費通知の発送状況

(単位：件)

回数	対 象 月	件 数	発 送 月
1	平成 24 年 12 月・平成 25 年 1 月診療分	3,597	平成 25 年 6 月
2	平成 25 年 2 月・平成 25 年 3 月診療分	3,577	平成 25 年 8 月
3	平成 25 年 4 月・平成 25 年 5 月診療分	3,603	平成 25 年 10 月
4	平成 25 年 6 月・平成 25 年 7 月診療分	3,571	平成 25 年 11 月
5	平成 25 年 8 月・平成 25 年 9 月診療分	3,543	平成 26 年 1 月
6	平成 25 年 10 月・平成 25 年 11 月診療分	3,573	平成 26 年 3 月
計		21,464	

2 後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数

(単位：件)

申 請 書 種 類	件 数
資格関係届出	253
高額療養費申請	194
その他の療養費申請	62
葬祭費申請	150
被保険者証等再交付申請	141
合 計	800

3 医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること

資格関係等受付件数

(単位：件)

種 別	件 数
重度心身障がい者医療費助成	89
こども医療費助成	1,125
妊産婦医療費助成	321
ひとり親家庭医療費助成	35

4 不妊治療費補助金及び不育症治療費補助金に関すること

(1) 不妊治療費補助金

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額(10万円を限度に通算5回)を補助するため、窓口で申請受付等を行った。

・補助申請受付件数 15 件

(2) 不育症治療費補助金

不育症治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から他の制度による給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額(1年度30万円

を限度)を補助するため、窓口で申請受付等を行った。

・補助申請受付件数 ー 件

5 年金事務

(1) 諸届の受理件数 (単位：件)

種 別	件 数	種 別	件 数
新規取得届	213	転 居 届	137
新規取得申出	ー	氏 名 変 更 届	30
再 取 得 届	361	訂 正・取 消・不 在	20
再 取 得 申 出	3	転 出 届	196
付加年金取得届	20	法定免除該当届	15
付加年金喪失届	1	法定免除消滅届	2
資 格 喪 失 届	172	手 帳 再 交 付 届	10
資 格 喪 失 申 出	1	種 別 変 更 届	118
死 亡 届	3	そ の 他	3
転 入 届	151	計	1,456

(2) 免除申請受理件数 (単位：件)

種 類	件 数
免除・納付猶予申請	711
学生納付特例申請	118

(3) 国民年金請求受理件数 (単位：件)

給 付 種 類	件 数
老 齡 基 礎 年 金	6
障 害 基 礎 年 金	15
遺 族 基 礎 年 金	ー
寡 婦 年 金	ー
死 亡 一 時 金	6
未 支 給 年 金	1
老 齡 福 祉 年 金	1
計	29

(4) 年金相談月平均件数 (単位：件)

相 談 の 内 訳	件 数
来 訪 相 談	48
電 話 相 談	16
文 書 相 談	ー

生活環境交通担当

1 環境基礎調査事業

(1) 河川等水質調査

大平地域内を流れる河川等について、10地点で水質調査を実施した。

- ・調査河川 永野川、巴波川、市内下水
- ・調査期間 通年
- ・調査項目 pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数、全窒素、全リン、COD

2 環境学習・啓発活動事業

(1) 親子水辺教室の開催

大平地域内の自然環境、特に河川の水質を守ることについての意識、関心を高めるとともに、親と子が協力し、ふれあいながら学べる体験学習の場を提供するため、親と子の水辺教室を開催した。

- ・実施日 6月16日（日） 午前10時から
- ・会場 大平地域福祉センター
- ・対象 小学生の児童及びその保護者
- ・講師 環境省登録環境カウンセラー
- ・参加人数 4組13人

(2) 環境講座

自治会、市民団体、グループ、小中学校などの要請により、生活環境課職員が講師として会場に出向き、地球温暖化防止、ごみ減量・リサイクル、水質などの講義や説明を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加人数 54人

3 レジ袋削減事業

地球温暖化防止対策として、レジ袋削減を推進し啓発活動を行った。

(1) 店頭啓発

市内大型店においてティッシュ、マイバッグ等を配布してマイバッグに関する啓発を図った。

- ・実施店舗 3店舗
- ・実施日時 10月20日（日） 午前10時～、午後4時～（2回）
- ・対象者 約1,000人

4 公害関係

(1) 水質関係

ア 地下水汚染地区の定期モニタリング調査

過去における地下水の汚染状況の推移を監視するため、大平地域内17か所で11月27日(水)に地下水の水質調査を実施した。

イ 水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	-	13	3	3
栃木県環境保全条例に基づく届出	1	-	1	1

(2) 騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	1	1	-	-	1
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	14	-	-	-

(3) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	-	1	-	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	14	-	-	-

(4) その他

公害苦情受付件数 (単位：件)

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
23	8	7	-	9	-	-	47

5 地域クリーン推進員事業

地域クリーン推進員の協力を得て、衛生害虫の駆除や、美化キャンペーン等を実施した。

- ・委嘱状況 地域クリーン推進員46人

6 一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみは東地区月3回、西・南地区週1回、資源物のうち、紙類は雑誌・その他月2回、新聞チラシ月1回、空カン・空ビン、ペットボトル・食品用トレイは月2回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

また、平日、土曜午前中の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1) ごみ収集搬入量 (単位：t)

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
7,890.78	681.83	374.84	382.93	109.02	120.24	9,559.64

(2) もやすごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
80.48	5,333.17	2,477.13	7,890.78

(3) もやさないごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
4.39	635.20	42.24	681.83

(4) 資源物の収集搬入状況 (単位：t)

種類	直営	委託	直接搬入	合計
紙類	-	374.84	-	374.84
空カン・空ビン	0.04	382.56	0.33	382.93
ペットボトル・トレイ	-	108.71	0.31	109.02
合計	0.04	866.11	0.64	866.79

(5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	減免	合計
10.51	11.46	97.13	1.14	120.24

(6) 休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合計
-	6	2	8

(7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量 (単位：kl)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合計
1,248.05	6,205.95	7,454.00

7 環境美化対策事業

(1) 環境美化キャンペーンの実施

市民や事業者の方々と相互に協力し、一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

- ・実施日 5月26日(日)
- ・場所 大平地域内各地
- ・内容 ごみ拾い、草むしり
- ・参加人数 約5,000人

8 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、監視員を設置し、地域内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

・地区別不法投棄物回収件数 (単位：件)

区分 地域	生活系 廃棄物	家電 4品目	電化 製品	粗大 ごみ	産業 廃棄物	その他	計
大平	107	16	20	43	-	17	203

9 狂犬病予防業務

(1) 犬の登録 (単位：頭)

新規登録数	登録抹消数	登録総数
87	106	1,697

(2) 狂犬病予防注射

ア 第1次集合注射

- ・実施期間 4月16日(火)～19日(金)
- ・実施会場 地域内24会場
- ・実施数 472頭

イ 第2次集合注射

- ・実施期間 10月24日(木)
- ・実施会場 地域内6会場
- ・実施数 56頭

ウ 個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 611頭

10 交通関係

(1) 交通安全運動等

交通事故防止のため、市民一人ひとりが交通ルールを順守し、交通マナーの一層の向上を目指し、中でも子供や高齢者等交通弱者のために、チャイルドシート着用推進活動、高齢者への啓発活動を行うとともに、安全運転講習会を開催した。

ア 春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、交通安全教室の開催

- ・実施期間 4月6日(土)～15日(月)

イ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、交通安全教室の開催

- ・実施期間 9月21日(土)～30日(月)

(7) 交通安全市民大会

交通安全功労者・功労団体表彰、大会宣言などを行った。

- ・実施日 9月28日(土)
- ・場 所 栃木文化会館
- ・参加者 約800人

ウ 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車・広報紙等による広報など

- ・実施期間 12月11日(水)～31日(火)

(2) 交通安全教室の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であることに鑑み、交通教育指導員や栃木警察署、マロニエ号による交通安全教室を次のとおり開催した。

対 象 者	回数(回)	参加者数(人)
幼児(保護者含む)	12	712
小学生	1	49
高 齢 者	1	25
合 計	14	786

(3) 交通安全こども自転車大会

第42回交通安全こども自転車大会栃木地区大会

- ・実施日 6月13日(木)
- ・会 場 栃木第四小学校
- ・出場校 大平東小学校チーム (6校6チーム参加中第3位)

(4) その他の交通安全対策

- ・交通指導員の設置 大平地域内5人委嘱

11 防犯関係

(1) 防犯灯

- ・修繕 19灯

(2) 防犯活動

栃木警察署管内で組織する栃木地区防犯協会にて実施された次の事業に参画した。

- ・会議等
- ・地域安全運動、青少年非行防止活動、広報啓発活動等の実施

第4節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課は、福祉担当、こども担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当で編成されている。

福祉担当の主な分掌事務は、地域福祉に関すること、民生委員・児童委員に関すること、健康福祉センター等の施設の管理運営に関すること、障がい福祉に関することである。

施設管理運営事業では、効果的で効率的な施設管理と市民の健康及び福祉の充実に図るため、大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）等について指定管理者による施設管理運営を行った。

こども担当では、昼間仕事等をしている保護者が、子どもを保育園や学童保育へ預けるための手続きの受理や子育てに関する相談業務を行った。

放課後児童健全育成事業では、下校後、保護者の就労等により家庭において、監護が受けられない児童に対し、適切な生活の場及び遊びを提供することにより、児童の健全育成を図った。

母子寡婦福祉については、各種福祉サービスの情報提供や相談業務を通して、児童扶養手当の支給手続きを行った。また、配偶者からの暴力被害を受けた女性に対し、保護、自立支援を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、はつらつセンター事業、高齢者ふれあい相談員事業等を実施した。高齢者福祉関係では、配食サービス事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当支給及び紙おむつ購入費助成等事業等の介護予防・生活支援事業を実施した。その他、戦没者遺族の援護や、高齢者デイサービスセンター「まゆみ」について指定管理者による施設管理運営を行った。介護保険関係では、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。

大平地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等に取り組んだ。

健康増進担当の主な事業は、健康おおひら21プラン推進事業、母子保健事業、予防接種事業、健康診査事業、健康づくり事業、自殺予防対策事業である。

母子保健事業では、母親並びに乳幼児の健康保持増進を図るため、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、各種子育て教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見・早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び中学校と連携した性（生）教育を実施した。予防接種事業では、感染症のまん延防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種・高齢者に対するインフルエンザ予防接種・肺炎球菌ワクチン接種を実施した。健康診査事業では、健康診査、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診及びがん検診等を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、健康づくり事

業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する相談・教育事業を、自殺予防対策事業ではこころの健康保持増進を図るため、こころの健康相談やゲートキーパー研修会等を実施した。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員68人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、うち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
177	31	28	41	4	22
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
8	357	86	1,755	2,509	36.9

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
2,106	81	767	7,300	14,571	24,825	365.1

(3) ふれあい健康福祉まつりへの参加

民生委員児童委員及び主任児童委員が、地域でどのような役割を担い、日々活動しているかを多くの地域住民に知ってもらうため、PR活動を行うとともに、子どもの遊び場“キッズパーク”を開設した。

実施日 5月26日(日)

場所 大平健康福祉センター、大平地域福祉センター

2 施設管理運営状況

(1) 大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」

大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」の管理運営を、いすゞビルメンテナンス株式会社に委託(指定管理)し、実施した。

ア 利用状況

・年度別利用者数

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数(人)	197,307	204,969	210,137

・開館日数 307日

・1日平均入場者 684.4人

・月別内訳

(単位：人)

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	調理実習室併用	母子指導室・ 調理実習室併用	総合計	開館日数(日)
4	12,044	2,505	650	192	444	376	282	219	110	-	-	16,822	25
5	12,500	2,704	608	119	549	344	640	311	175	-	-	17,950	27
6	11,494	2,778	453	180	700	260	497	357	140	-	-	16,859	26
7	11,273	2,712	555	226	524	377	376	412	89	-	-	16,544	26
8	11,733	2,509	493	222	433	329	500	351	116	-	-	16,686	27
9	11,122	2,431	516	256	899	296	442	392	119	-	-	16,473	25
10	12,274	2,670	672	226	777	209	715	289	92	-	-	17,924	27
11	12,647	2,597	419	321	1,002	363	992	659	59	-	-	19,059	26
12	12,679	2,392	392	229	883	340	727	434	139	-	-	18,215	25
1	13,150	2,498	388	194	699	422	514	305	135	-	-	18,305	24
2	11,965	2,289	389	102	741	399	403	378	120	-	-	16,786	23
3	13,604	2,456	509	111	810	371	392	216	45	-	-	18,514	26
合計	146,485	30,541	6,044	2,378	8,461	4,086	6,480	4,323	1,339	-	-	210,137	307

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

(ア) 歌謡ショー

アマチュア歌手を中心とした歌謡ショー

- ・開催回数 18回
- ・観覧者延べ人数 1,577人

(イ) 伝統芸能・舞踊

太鼓演奏、民謡や舞踊の伝統芸能ショー

- ・開催回数 9回
- ・観覧者延べ人数 885人

(ウ) カラオケ等

生バンドによるカラオケや、審査員によるカラオケ大会

- ・開催回数 7回
- ・観覧者延べ人数 565人

(エ) 芝居

人情芝居を中心とした時代劇

- ・開催回数 4回
- ・観覧者延べ人数 295人

(2) 大平地域福祉センター「ふるさとふれあい館」

ア 利用状況

・年度別利用者数

年度 区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数(人)	17,467	15,923	18,264

・開館日数 317日

・1日平均入場者 57.6人

・月別内訳

(単位：人)

区分 月別	研修室	和室	ルーム ボラン ティア	陶芸室	木工室	学習室	ロビー・ 応接室	総合計	開館日数 (日)
4	776	346	134	139	25	147	33	1,600	27
5	385	334	86	105	33	127	2,421	3,491	25
6	492	307	130	130	17	157	239	1,472	28
7	518	336	111	119	17	168	107	1,376	28
8	530	238	82	88	6	138	156	1,238	29
9	475	305	100	126	12	142	71	1,231	26
10	835	309	121	129	24	165	94	1,677	28
11	564	316	89	95	22	171	111	1,368	25
12	450	256	116	115	4	119	96	1,156	24
1	448	304	112	57	11	103	77	1,112	24
2	432	261	150	91	17	129	113	1,193	25
3	529	318	154	99	9	129	112	1,350	28
合計	6,434	3,630	1,385	1,293	197	1,695	3,630	18,264	317

イ 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ふるさとふれあい館のロビーと通路で、毎月、利用団体の作品の展示を行い、活動の活性化を図った。また、下記の通り自主事業を実施した。

(ア) 新春 親子茶道体験

・お茶の飲み方や立て方の体験

・参加者 8人

(大人2人、子供3人、幼児3人)

(イ) 楽しいお琴演奏会

・琴の体験演奏

・参加者 36人

(大人32人、子供4人)

- (ウ) できることから始めてボランティア
 - ・児童・生徒を対象としたボランティア活動講習会
(盲導犬センターの見学)
 - ・参加者 71人
(市内小学校4～6年生)
- (エ) 普通救命講習会
 - ・参加者 19人
 - ・協力 消防署大平分署

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者に対し創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るため、社会福祉法人すぎのこ会に委託（指定管理）し、実施した。

- ・施設名 大平地域活動支援センター
- ・所在地 大平町真弓1396
- ・開所日数 249日
- ・通所延べ人員 1,375人

4 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況） （単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	平成25年度中交付者数
視覚障がい	36	2
聴覚・平衡障がい	157	7
音声・言語・そしゃく障がい	10	1
肢体不自由障がい	477	37
内部障がい	247	24
複合障がい	25	1
合計	952	72

5 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数） （単位：人）

区分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	9	5	36	39	89
中度（B1）	9	3	32	26	70
軽度（B2）	5	6	26	18	55
合計	23	14	94	83	214

6 精神障がい者福祉関係

- (1) 精神障がい者の現況（精神障害者保健福祉手帳交付者数）

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	18	19.6
2 級	61	66.3
3 級	13	14.1
合 計	92	100

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、269人が受給した。

7 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

(単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義 肢	義 手	-	-	-	-	-	-
	義 足	-	-	-	-	-	-
装 具	下 肢	10	4	14	-	-	-
	靴 型	1	1	2	-	-	-
	体 幹	-	-	-	-	-	-
	上 肢	-	-	-	-	-	-
座 位 保 持 装 置		1	1	2	-	-	-
盲 人 安 全 つ え		-	-	-	-	-	-
義 眼		-	-	-	-	-	-
眼 鏡	矯 正 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
	遮 光 眼 鏡	1	-	1	-	-	-
	弱 視 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
補 聴 器	高度難聴用ポケット型	-	2	2	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	11	4	15	-	-	-
	重度難聴用ポケット型	1	1	2	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	3	5	8	-	-	-
車いす	普 通 型	-	8	8	-	-	-
	そ の 他	-	3	3	-	-	-
電 動 車 い す		-	2	2	-	-	-
起 立 保 持 具		-	-	-	-	-	-
座 位 保 持 い す		-	-	-	-	-	-
歩 行 器		-	-	-	-	-	-
歩 行 補 助 つ え		-	-	-	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		1	-	1	-	-	-
特 例 補 装 具		-	-	-	-	-	-
合 計		29	31	60	-	-	-

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付

(単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	-	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	2	-
訓 練 い す	-	-
入 浴 補 助 用 具	1	-
体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	1	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	-	-
頭 部 保 護 帽	-	-
特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	1	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	1
電 気 式 た ん 吸 引 器	5	2
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	-	-
盲 人 用 時 計	-	-
盲 人 用 体 温 計	-	-
盲 人 用 体 重 計	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	1	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	1	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	-	-
点 字 図 書	-	-

ス ト マ 用 装 具	-	-
紙 お む つ	-	-
収 尿 器	-	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	1	-
合 計	13	3

8 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

（単位：人）

種 別	給付決定者数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	-
免 疫 機 能 障 が い	1
肢 体 不 自 由	1
心 臓 機 能 障 が い	7
腎 臓 機 能 障 が い	66
合 計	75

9 育成医療

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度で、8人が受給した。

10 各種手当の状況

（単位：人）

種 別	給付決定者数	
特定疾患介護手当	34	
重度心身障がい児扶養手当	4	
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	5
	障がい児福祉手当	3
	福祉手当（経過的）	-
特別児童扶養手当	7	

11 身体障がい者等福祉関係

- (1) 身体障がい者の自立更生について、1人の身体障害者相談員が相談指導に当たった。
- (2) 知的障がい者の自立更生について、1人の知的障害者相談員が相談指導に当たった。
- (3) 障がい者と健常者の交流事業として、若葉OHIRAカローリングのつどいを実施

した。

・参加者 109人

12 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」を交付しタクシー料金を助成した。

(単位：人)

区 分	交 付 者 数
高齢者（80歳以上）	170
高齢者（65～79歳）	31
障がい者	40
腎臓機能障がい者	24
合 計	265

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

下校後、保護者の就労等により家庭において、保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として実施した。（大平地域4小学校区内・7学童保育）

学童保育入所者数

(単位：人)

学年 学童保育名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
大平中央①(大平中央小)	10	6	16	8	12	20	5	8	13	23	26	49
大平中央②(大平中央小)	6	3	9	6	9	15	8	9	17	20	21	41
大平南①(大平南小)	5	6	11	3	-	3	9	5	14	17	11	28
大平南②(大平南小)	4	0	4	4	3	7	6	4	10	14	7	21
大平東(大平東小)	7	8	15	4	3	7	6	4	10	17	15	32
大平西①(大平西小)	13	16	29	4	10	14	9	7	16	26	33	59
大平西②(大平西小)	3	1	4	1	-	1	2	-	2	6	1	7
計	48	40	88	30	37	67	45	37	82	123	114	237

2 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に対し支給を行った。

・児童手当受付件数 493件

3 赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、誕生祝金を交付した。

事業名	祝金額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	104
	第三子以降 20,000円	

4 児童扶養手当

父母の離婚や死亡等により、父または母と生計を同じくしていない児童や、父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給手続きを行った。

・児童扶養手当認定請求受付件数 24件

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口（大平地域 4月1日現在）

区分	年度		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総人口(人)	29,653	29,666	29,633
65歳以上人口(人)	6,081	6,315	6,632
総人口に対する割合(%)	20.51	21.29	22.38

(2) 高齢者生活態様 (5~6月調査結果)

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		6,632	100
内 訳	独居	553	8.3
	高齢者世帯※ (世帯数)	1,535 (762)	23.2
	その他	4,544	68.5

※ 65歳以上のみで構成される世帯

2 敬老祝賀事業

9月1日(基準日)において、本市に引き続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせて敬老祝金を贈呈した。

95歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	178
90歳	20,000	84
95歳	30,000	16
100歳	100,000	5
101歳以上	50,000	7

3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の 80 歳以上の高齢者数に 1,000 円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 49 自治会等
- ・補助額 1,866,000 円

4 老人クラブ育成指導事業

老人クラブ連合会大平支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・単位老人クラブ数 28 クラブ
- ・市老人クラブ連合会大平支部会員数 1,097 人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 1,278,000 円
市連合会大平支部助成 1,022,000 円

5 老人スポーツ大会

老人クラブ連合会大平支部主催により、個人・団体競技スポーツ等を行い、クラブ会員の健康増進と親睦並びに交流を図った。

- ・実施日 10 月 24 日 (木)
- ・会場 大平運動公園
- ・参加人数 689 人

6 はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちとなり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 大平地域内に居住するおおむね 65 歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館、集会所、広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 21 センター (24 自治会)
- ・委託料 2,723,950 円

- ・実施回数 延べ 3,720 回
- ・利用者数 延べ 40,110 人

7 高齢者配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（1食 300 円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・対象者 65 歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方
- ・宅配個数 8,352 個
- ・宅配人数 69 人（実人数）
- ・宅配業者 このひら配食サービス 沼和田町 13-3
 （株）金時給食センター 柳橋町 6-29
 ワタミタクシヨク（株） 仲方町 306-5
 新味紀行（株） 大平町西水代 2953-12

8 高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 128 人
- ・訪問世帯数 795 世帯

9 老人ホーム等入所措置支援

老人ホーム等入所措置入所前の支援を実施した。（入所措置は本庁高齢福祉課で実施）

- ・養護老人ホーム入所措置支援 -件
- ・特別養護老人ホーム入所措置支援 -件

10 日常生活用具購入費助成事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	31
小型暖房器具	32
電磁調理器	1
火災警報器	-
自動消火器	-

11 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活

用具のレンタル料の一部を助成した。

・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	10
特殊寝台	3
じょく瘡予防用具	1

12 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況 (単位：台)

既設置台数	25年度設置台数	25年度撤去台数	計
102	18	17	103

13 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数(延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
175	194	369

14 紙おむつ購入助成事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において、常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数(延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
166	186	352

15 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

- ・利用者数 -人
- ・延べ回数 -回(-時間)

(2) 軽度生活援助員派遣事業

- ・利用者数 14人
- ・延べ利用時間数

(単位：時間)

家事	218
除草	86
植木手入れ	34
大工	19

(3) 在宅高齢者短期入所事業

- ・利用者数 -人
- ・延べ宿泊数 -日

16 大平高齢者デイサービスセンター「まゆみ」

大平高齢者デイサービスセンター「まゆみ」の管理運営を、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会に委託(指定管理)し、実施した。

(1) 利用状況

- ・年度別利用者数

年度 区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数(人)	9,312	8,887	9,604

- ・開館日数 294日
- ・1日平均入場者 32.6人
- ・月別内訳 (単位：人)

区分 月別	延べ利用人数	利用実人数
4	831	78
5	752	79
6	776	78
7	823	77
8	875	81
9	799	78
10	844	79
11	819	83
12	765	83
1	750	84
2	720	81
3	850	81
合計	9,604	962

(2) 事業実施状況 (指定管理者による自主事業)

区 分	事 業
介護予防及び介護関係	(1) 筋力アップ訓練事業 (2) 口腔衛生事業 (3) 認知症予防事業 (4) 福祉教育事業
通所施設関係	(1) カラオケ (2) 囲碁・将棋 (3) 紙芝居や演芸などの鑑賞
年間事業	(1) 花見及びお茶会 (2) 七夕会 (3) かき氷 (4) 敬老の日 (5) クリスマス会 (6) 豆まき会 (7) 利用者の誕生日会
その他	(1) 施設を開放し、見学会を開催 (2) シルバー大学OBによるレクリエーション ボランティアの受入れ（10回開催）

17 介護保険業務各種受理状況

(単位：件)

内 容	件 数
要介護認定要支援認定申請 相談・受付・入力	863
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	32
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	5
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	6
転入・転出・転居 資格管理等	8
転送希望届申請 受付・入力	18
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	179
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	6
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	1
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	-
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	55
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	48
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	68
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	188

障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	11
オムツ使用証明申請 受付・発行	4
介護保険事業者事故報告 受付	2

18 地域包括支援センター事業

(1) 設置状況

大平地域包括支援センター 大平町西野田 666-1 大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）内

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業の対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者把握状況

基本チェックリストによる対象者数 709人

(イ) 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、複合型機能向上、閉じこもり・認知・うつ予防等の教室を実施し、要介護状態等となることの予防及び自立した生活を送るための支援を行った。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	37	524
複合型機能向上	20	267
複合型機能向上（その他）	3	56
閉じこもり・認知・うつ予防	24	197
合計	84	1,044

(ウ) 訪問型介護予防事業

希望者はなかったが、通所型介護予防事業の教室数を増やし対応したこともその要因の一つであるとする。

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

a にこにこ教室

65歳以上の高齢者を対象に教室を開催した。内容は運動器機能向上、栄養改善、閉じこもり予防等である。

会場の運営協力には「ますます元気サポーター」が中心となり、地域に根差した活動を展開した。

- ・会 場 各地区公民館 19 会場（1 会場を新設することができた。）
- ・実 施 日 4・8 月を除く月 1 回の開催
- ・実施状況

	回 数（回）	延べ人数（人）
運動器機能向上	152	2,281
栄養改善	3	47
閉じこもり予防	30	466
その他	20	33
合 計	205	2,827

b スペシャルにこにこ教室

にこにこ教室の継続参加により運動器機能向上の効果が得られ、運動に自信の着いた方を対象に、運動負荷をかけエアロビクス要素を取り入れたレベルアップ教室を開催することができた。

回 数（回）	延べ人数（人）
12	191

c 健康福祉まつりでの普及啓発活動

地域包括支援センターの周知と介護予防の普及啓発を目的に実施した。終了後のアンケート結果から、内容について良かったと回答された方は 99 人中 87 人の 87.8% だった。また、「地域包括支援センターを知っていますか」の問いでは 81 人 81.8% の方が知っているとの回答があった。

- ・会 場 大平健康福祉センター（健康福祉まつり会場）
- ・実 施 日 5 月 26 日（日）
- ・参加者数 121 人
- ・内 容 劇団いくりによる演劇と講話の開催
テーマ「目で見てわかる認知症ケア」

d 出前講座等

地域の団体を対象に介護予防の普及啓発や健康相談等を実施した。

回 数（回）	延べ人数（人）
7	137

(イ) 地域介護予防活動支援事業

a ますます元気サポーター養成講座

介護予防事業における高齢者への支援に取り組むサポーターの養成を行った。また、効果的かつ効率的な教室の開催、サポーターの育成を目指し藤岡地域包括支援センターとの合同開催とした。

- ・実施状況（大平地域分のみ）

	回数(回)	人数(人)
養成講座	5	76

養成講座フォローアップ教室	3	33
---------------	---	----

b ますます元気サポータースキルアップ教室と活動

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識の習得、サポーター間の情報交換や交流ができる機会を設け、地域活動の人材育成や支援を行った。

- ・ますます元気サポーター数 57人
- ・実施状況

	回数(回)	人数(人)
スキルアップ (運動講話と実技・体力測定実技・運動指導 ロールプレイ・熱中症対策など)	8	196
研修会・交流会	1	38
介護予防事業時の体力測定	8	40
次年度準備会	1	40
災害伝言サービス等講習会	1	28
健康福祉まつり	1	8
普通救命講習	1	30
ゲートキーパー養成講座	1	26
合計	22	406

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント業務

二次予防事業対象者が要介護状態になることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。また、要支援状態になった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

- ・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況

地域包括支援センターによる作成件数 118件

- ・要支援1・2の介護予防サービス計画作成状況 (単位：件)

	件数
地域包括支援センターによる作成件数	17
事業者委託件数	112
合計	129

- ・サービス担当者会議実施状況

地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加 144回

- ・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況 (単位：件)

	件数
地域包括支援センターによる作成件数 (住宅改修)	3

” (福祉用具)	3
-------------	---

イ 総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心し、その人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況 (単位：件)

	件数
面接	836
電話相談	1,438
家庭訪問	608
合計	2,882

ウ 権利擁護業務

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、関係各課担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応を行った。

・実施状況

	件数 (件)
権利擁護 (成年後見制度等) に関すること	4
高齢者虐待に関すること	72
高齢者虐待ケース会議	7
合計	83

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ア) 民児協での地域包括支援センターの役割の説明会

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 65人

(イ) 多職種との連携

地域における多職種との連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行った。また、今年度は在宅支援関係者の資質の向上を目的に専門医の協力を得て研修会を開催することができた。

・研修会「医療と在宅支援者との連携について

～精神科医から学ぶ在宅支援における役割～

講師：医療法人栄仁会大平下病院 院長 藤沼仁至氏

- ・実施日：1月29日(水)
- ・参加事業所数：29か所

・参加人数：50人

(4) 任意事業

ア 家族介護支援事業

今年度は栃木市全体で、在宅介護の苦勞、精神的な負担を軽減しリラックスできることを目的とした家族介護者の集いを開催した。

・研修先 コミュニティカフェ「若年性元気サロン」にて

代表の金澤林子氏をファシリテーターに交流会を開催。

・実施日 12月12日(木)

イ 地域自立支援事業（24時間通報体制）

地域包括支援センターへの相談等に随時対応するため夜間等電話相談業務委託を行った。

・実施状況

	相談日実数(日)	相談件数(件)	緊急対応(再掲)
休日(土日・祝日)	27	34	1
平日夜間	21	26	1
合計	48	60	2

ウ 高齢者地域見守り支援事業

地域における認知症高齢者の見守り体制の構築を目的に、認知症に関する広報・啓発活動、徘徊高齢者を早期発見できる仕組みの構築・運動、認知症高齢者に関する知識を深め地域を支えるための認知症サポーターを養成した。今年度は学童保育との連携にて児童を対象に実施することができた。

認知症サポーター養成講座実施状況

	実施回数(回)	養成者数(人)
学童保育	5	219
一般団体	2	40
合計	7	259

エ 傾聴事業

高齢者の社会的な孤立感や不安等の解消を図るとともに、生きがいをづくりを推進することを目的に、高齢者の自宅や介護施設を訪問し傾聴活動を行う傾聴ボランティア団体の活動のための補助金を交付。

・傾聴ボランティア団体数 1団体(会員26名)

・補助金額 150,000円

・傾聴ボランティア活動実績

活動内容	回数(回)	会員参加延べ人数(人)
施設訪問	65	301
個人宅訪問	63	120
研修会・交流会等	8	70

定例会	10	199
役員会・その他	5	19

健康増進担当

1 健康おおひら21プラン推進事業

「情報」「食生活」「運動」「こころ」「たばこ・アルコール」「健康診査」の6項目を重点領域とし、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取組

- ・健康まつり等における健康情報の提供
- ・健康づくりポスターコンクールの開催
- ・各種健診・教室等において食、運動に関する知識の普及啓発
- ・健診結果等に基づいた健康教室の開催
- ・こころの健康相談の開催や幼児健診時にこころの相談を実施
- ・絵本の読み聞かせ事業の推進
- ・学校との連携の下、思春期講演会や喫煙防止教室の開催
- ・集団健康診査時を利用し、当日会場において個別相談を実施
- ・歯の健康に関する普及啓発（幼児健診、健康まつりなど）
- ・食生活改善推進団体協議会との共催による栄養教室の開催及び協議会の育成

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳を交付した。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況 (単位：人)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
	妊娠届出	双胎	紛失等	
231	242	231	8	3

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診

査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

・実施状況

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	217	212	97.7	15	6	1	8
乳児健康診査 (9か月児)	12	224	221	98.7	39	9	-	9
1歳6か月児 健康診査	12	241	236	97.9	42	8	-	8
3歳児 健康診査	12	264	260	98.5	60	12	23	23

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

歯科健康診査

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
6	260	214	82.3	10 (4.7%)

オ 乳幼児発達相談(二次健診)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達に遅れがあると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

※受診児延べ数は大平・藤岡地域合同数

開催回数 (回)	受診児数(人)			結果内訳(人)		
	初診	再診	計	今回のみ指導	経過観察	要治療・要精査
8	55	2	57	14	41	2

カ 乳児先天性股関節脱臼検診(数値は、本庁健康増進課で一括計上)

3~4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室

妊婦と夫に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

・実施数 3回1コース

※参加者延べ数は大平・藤岡地域合同数（単位：人）

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ	先輩パパ
94	40	2	10	5

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では3～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施回数 12回

・参加者延べ数 110組

・内容 離乳食講話、ふれあい遊び、子育て相談、身体計測等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

※参加者延べ数(組)は大平・藤岡地域合同数

	対象月齢	回数(回)	参加者延べ数(組)
ちゃいちゃいぐるーぷ	3歳未満	17	111
ぺんぎんぐるーぷ	3歳～就学前	11	47

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情・自己肯定感や自己決定能力を高めていくため、思春期講演会を大平地域内中学校(2校)と連携し行った。

対 象	参 加 人 数(人)
大平中学校	生徒 232 保護者等 38
大平南中学校	生徒 313 保護者等 33
一般参加者	31

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)

・参加者延べ数 221組

カ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市1町との共催で小学1年生と年長児に対しフッ素塗布及び

歯科医師による歯の健康相談を行った。（年1回）

・フッ素塗布者数（単位：人）

小学1年生	年長児	合計
129	86	215

キ よい歯のコンクール（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール（3歳児の部、親と子の部）を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の2次審査に推薦した。

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 798人

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度の発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

・実施状況（単位：人）

受診者数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	2次健診・医 療機関紹介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
240	176	3	18	10	29	4

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 7件
- ・指導延べ数 8件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うと共に、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

・訪問数 201件（保健師訪問数28件、母子保健推進員訪問数173件）

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（大平地域16人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談等を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	健診等事業協力	計
件数(件)	181	173	343	697

また、会員相互の連携を図り、母子保健の向上に寄与するため栃木市母子保健推進員協議会を市全体で設置し、研修や交流を行った。(母子保健推進員総数125人)

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導等を行った。

(1) 特定健康診査後期高齢者健康診査及びヤング健診

- ・実施回数 15回
- ・実施場所 大平健康福祉センター

(2) 健診当日説明会

特定健康診査受診者を対象に、生活習慣を見直すきっかけを作るため、健診当日会場にて説明を行った。

- ・実施回数 12回
- ・参加者数 874人

(3) 健診結果説明会

特定健診受診者を対象に、健診結果の正しい理解や自分の生活習慣を見直すきっかけ作りの機会として、集団指導及び個別相談を行った。

- ・実施回数 8回
- ・参加者数 49人

(4) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	初回面接指導数(人)	初回面接実施率(%)
積極的支援	59	34	57.6
動機付け支援	121	78	64.5
合計	180	112	62.2

(5) メタボ予防講座

講座名	実施回数(回)	参加者数(人)	内容
筋力アップですっきり教室	24	342	メタボ等の生活習慣病予防、筋力の向上に必要な運動習慣が身に付けられるような講話と運動の実践を行った。
食の学習	6	43	特定保健指導対象者に対して昼食を持参し、空腹時・食後1時間・食後2時間の自己血糖値を測定した。食事と血糖値の運動性を体感するとともに、自分に合った食事の目安量や食べ方のコツなどを学習し、生活スタイルの見直しを行った。

4 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査(健康増進法による)、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症健診及び歯周疾患検診(個別健診)等を行った。

- ・ 集団健診実施回数 15回
- ・ 集団健診実施会場 大平健康福祉センター

5 結核検診事業

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を宇都宮健康クリニックに委託し行った。

- ・ 実施会場数 35会場
- ・ 受診者数 2,045人

6 健康づくり事業

(1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教室名	実施回数(回)	参加者数(人)	内容
糖尿病予防教室	1	13	糖尿病予備軍の人を対象に、糖尿病の正しい知識の普及啓発と栄養・運動指導を実施し、糖尿病予防のための行動変容を促した。 特に、空腹時・食後血糖値に焦点をあて、早期に予防・治療に取り組めるよう心がけた。
短期間ですっきり教室	8	112	特定健康診査受診者で、肥満等生活習慣病の予備軍の方を対象に、運動についての知識・実技指導を行った。
女性の健康づくり 「ヨガ・ピラティス教室」	3	60	女性に起こりうる健康問題に対する知識の普及を行うとともに、ヨガ・ピラティスを通して運動習慣がない方に対し運動習慣の重要性を啓発した。
ロコモ予防で生涯元気教室	1	23	講話やロコチェック・骨密度測定等を通じ、ロコモティブシンドロームに対する理解を深め、骨・関節・筋肉の機能維持増進の啓発を行った。
カラダ元気はお口から 「おくちピカピカ健口教室」	2	46	歯周疾患予防の重要性について理解を深め関心を高めることを目的として、歯周疾患や生活習慣病との関係についての講演を行った。また、口腔ケアの方法を習得で

			きるよう、みがき残しチェックやブラッシング等の実践的な指導を行った。
出前講座（生活習慣病予防等）	3	36	地域や団体を対象に集会所等に出向き、健康に関する知識の普及、啓発を行った。
健康づくりポスターコンクール	1	124	健康づくりの大切さを考えることを目的に、小中学生よりポスターを募集しコンクールを行った。また、展示し市民への健康づくりのメッセージとした。
喫煙防止教室 （小学6年生と保護者）	1	179	「薬物乱用防止教育」の一環として「喫煙防止教室」を行った。

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 10回
- ・延べ相談者数 20人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(3) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・延べ相談者数 4人
- ・内容 管理栄養士による個別指導
- ・指導内訳

(単位：人)

高血圧症	2	糖 尿 病	1	腎 臓 病	1
脂質異常症	-	肝 臓 病	-	そ の 他	-

7 自殺予防対策事業

(1) こころの健康相談（カウンセラー）

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、うつ・ストレス・不眠等の心の健康問題の個別相談に応じた。

- ・実施回数 10回
- ・相談者数 19人

(2) 自殺予防ゲートキーパー研修会

住民の身近な存在である傾聴ボランティア団体やますます元気サポーターを対象に、自らの心の健康状態を振り返ると共に、ゲートキーパーの役割を理解し、こころの悩みやサインに気づき適切な支援につなげられる人材の養成を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加者数 34人

8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児の感染症予防のため、各種の定期及び任意予防接種並びに高齢者インフルエンザ

及び高齢者肺炎球菌予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

不活化ポリオ、BCG、三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）、二種混合（ジフテリア・破傷風）麻しん風しん混合（MR）、日本脳炎、四種混合（ジフテリア・百日咳・ポリオ・破傷風）、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌、高齢者インフルエンザ接種を予防接種協力医療機関において実施した。

(2) 任意予防接種

小児用インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、風しん抗体検査及びワクチン接種を予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

9 地域保健対策推進事業

(1) ふれあい健康福祉まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、第20回ふれあい健康福祉まつりへ参加した。

・実施日 5月26日(日)

・場 所 大平健康福祉センター、大平地域福祉センター（単位：人）

番号	実施内容	参加人数
1	食育ポイントラリー	95
2	骨密度測定・結果説明及び指導	70
3	歯の健康相談・ブラッシング指導	39
4	血管年齢測定	89
5	献血	35
6	自殺予防普及啓発用ティッシュ等配布	300
7	健康づくりポスターコンクール（投票）	802
参 加 者 合 計		1,430

(2) 食生活改善地区組織活動

地域住民を対象に 食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会等を行った。

・大平支部会員数 31人

・講習会開催回数 8回

・参加人数 291人

(3) 自主グループ活動支援（リフレッシュ運動教室OB会・男前運動教室）

運動教室等修了者の自主グループ活動の支援を行った。

・会の運営のアドバイス

・体力測定、骨密度測定

(4) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問世帯数 70世帯

・保健師訪問指導 205人（延べ人数）

・内訳

(単位：人)

精神保健	50	生活習慣病	3	妊産婦	37	新生児	8
乳児	55	幼児	41	低体重児	4	その他	7

10 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、栃木市献血会連絡協議会の協力のもと、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
3	72	17	43	-	60	12

第5節 産業振興課

〔総括概要〕

大平地域の農業は、水田地帯では米麦の二毛作を中心として、いちご、ニラ、トマト等の施設園芸農業や、肉牛肥育、酪農、養豚等の畜産業が実施され、畑作地帯（樹園地を含む）においては、ぶどう、なし、野菜等の営農が展開されている。担い手の多くは、首都圏に位置する立地条件を活かし、生産性の高い、いちご、ニラ、トマト、ぶどう等の施設園芸と、基幹作物の米麦を組み合わせた複合経営が中心である。施設園芸農家においては、後継者の就農も多く家族経営のなかで、今後の規模拡大が期待される。

一方、米麦を主とする土地利用型農業では、農用地の利用集積により大規模化が進んでいるものの、米麦の価格が下落傾向にあり、依然として厳しい状況にある。

また、小規模経営農家においても、経営主の高齢化、兼業化により離農者が増えつつある。

このような中、栃木市農業再生協議会と連携した経営所得安定対策の推進により、農家の方が安心して農業に従事できる環境づくりを進めた。

また、集落における話し合いをもとに策定した人・農地プラン（地域農業マスタープラン）により、担い手への農地の利用集積の促進、青年就農者の定着支援を行った。

土地基盤整備事業は、昭和34年から始まり平成2年にはほぼ完了し、整備率は98.7%である。この基盤整備の済んだ優良農地を長期的に有効利用し、首都圏農業をさらに推進する為に、本地域の特産物であるいちご、ニラ、トマト、ぶどう等の生産技術の向上と流通体制の整備を進め、都市型農業への定着を図った。また、土地利用型農業は、さらに担い手への土地利用集積を推進し、水田の高度利用を図り、安定的な経営を目指した。

一方、国土の保全・水源のかん養等、森林の有する公益的機能を十全に発揮させるためには、将来にわたって、森林を適正に整備し保全する必要があるため、県補助金を活用し、森林整備が適切に行われるよう事業を推進した。

また、林道については、林業の生産性向上を図る機能とともに、観光客等も通行することから、草刈や落ち葉浚い等による適正な維持管理を行った。

商工業関係については、地域の商工業の総合的な改善発展を目指し、大平町商工会と連携のうえ商工業者の育成・支援をはじめとする諸事業を開催し、中小企業の育成と経営品質の向上に向けた取組を推進した。

観光関係については、太平山自然公園の南山麓に広がる豊かな自然、大中寺、清水寺、東山道などの史跡、及び約60の観光ぶどう園などの観光資源を有効に活用し、ぶどう袋かけ体験など地域の自発的な取り組みや、特性を活かす体験型観光に取り組んだ。

農林振興担当

1 経営所得安定対策

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるために、経営所得安定対策の推進により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米の直接支払交付金

大平地域に提供された平成25年産米に係る需要情報は4,268トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・ 水稻生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,209人
水稻生産実施計画書提出農業者数	788人
生産確定数量の計	3,787,232kg
作付確定面積(①)	752,926.7 a
主食用等水稻作付面積の計(②)	737,082.2 a
差引(①-②)	15,844.5 a
水稻生産確定面積に対する 主食用等水稻作付面積の割合(②÷①)	97.9%

(2) 水田活用の直接支払交付金

・ 戦略作物作付面積(交付対象面積) (単位: ha)

二条大麦	659.3
小麦	11.9
大豆	75.9
そば	0.4
飼料作物	—
新規需要米・加工用米	230.0

(3) 農業再生協議会集落推進員会議

経営所得安定対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会との連携により、農政協力員等会議を開催した。

・ 農政協力員等会議の開催状況

開催日	参加者数(人)
5月9日(木)	41
6月27日(木)	41
3月6日(木)	39

2 農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体への指導、育成及び支援を行った。

(1) 大平町認定農業者連絡協議会補助金

栃木市農業経営基盤強化基本構想に掲げる効率的かつ安定的な農業経営を実践する認定農業者の育成を図ることを目的として、団体組織に係る運営活動、交流、情報交換活動、経営改善に向けた相互研さん活動に対し助成を行った。また、大平町認定農業者連絡協議会は、平成26年3月に栃木市認定農業者協議会の設立により大平支部となった。

・補助額 31,000円

(2) 栃木市農村生活研究グループ協議会大平支部

大平支部では会員相互の親睦協調を図り、グループ活動によって生活の合理化を推進し、お互いの教養を高め合い、農家生活の近代化に役立つことを目的として、農産加工品の講習会やイベントへの出店及び研修会を行った。

3 集落営農の法人化推進

(1) 栃木市集落営農組織連絡協議会の運営

大平地域内の7つの集落営農組合に都賀地域の升塚集落営農組合を加えた栃木市集落営農組織連絡協議会の事業を通して、集落営農組織の経営の効率化と法人化の推進を図った。

ア 升塚集落営農組合の法人化

- ・農事組合法人ファームますづか
- ・創立日 平成25年12月3日

イ 集落営農組織法人化についての勉強会開催

- ・参加者 35人

ウ 視察研修の実施

- ・研修先 栃木県大田原市農事組合法人グリーンリーフのざき
- ・参加者 20人

4 おおひら産業祭事業

農業・商業・工業・観光業の活性化を図るべく、地元で栽培された農産物及び地元で生産された商品のPR、展示、即売会の実施並びに生産者と消費者の交流及び大平地域における産業の発展に寄与するため、おおひら産業祭を実施した。

- ・主催者 おおひら産業祭実行委員会
- ・共催 大平町商工会・JAしもつけ大平地区営農経済センター
栃木県信用保証協会
- ・実施日 11月23日(土) 午前9時30分～午後3時
- ・会場 大平運動公園
- ・来場者 約8,000人

5 栃木市畜産協議会大平支部

会員の相互連携を基調として、継続的・安定的な畜産経営を図るとともに、畜産振興及び家畜防疫事業の実践を図るための事業を実施した。

- ・事業内容 おおひら産業祭での県産豚焼肉等のチャリティー配布

6 農産物加工施設の管理運営事業

地産地消、農村の活性化、担い手の育成等を図るとともに、多くの市民に地元の農業に関心を持っていただくための農産加工所は、主に地元の農産物を使用したみそ加工、ぶどうジャム作り等に利用された。

施設名	利用日数(日)	利用人数(人)
大平農村婦人の家	77	143
大平西地区農産加工所	214	561

7 農地・水保全管理事業（旧農地・水・環境保全向上対策事業）

農地や水、環境を良好に保全するための地域ぐるみの共同活動への取組を支援した。※市負担額は、基礎支援の合算額（100円未満切り捨て）の25%

- ・共同活動支援

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結 年度	終了 年度	交付 期間	田 (3,300円/10a)		畑 (2,100円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
西山田自然 環境保全会	H24	H28	5	8,877	2,929,410	7,019	1,473,990	1,100,850
富田七 環境保全会	H24	H28	5	4,537	1,497,210	105	22,050	379,800
お楽の里 下高島	H24	H28	5	7,262	2,396,460	89	18,690	603,775
真弓南 環境保全会	H24	H28	5	6,298	2,078,340	36	7,560	521,475
西水代 環境保全会	H24	H28	5	10,446	3,447,180	197	41,370	872,125
あらい 水と緑の会	H24	H28	5	9,924	3,274,920	62	13,020	821,975
上高島 環境保全会	H24	H28	5	5,138	1,695,540	160	33,600	432,275

8 土地改良事業等補助金

各事業に取り組む下記団体を支援するため、補助金を交付した。

(単位：円)

事業名	土地改良区(箇所) 事業内容	事業費	補助額
県単独農業農村整	大美間土地改良区(土与地区)	4,412,100	2,200,000

備事業	柚井木川水路改修 延長 43m		内市負担分 (800,000)
農業基盤整備促進 事業(H24 繰越)	大美間土地改良区(上高島地区) 揚水機場更新 1箇所	3,106,950	310,000
市単独土地改良事 業(かんがい排水)	大美間土地改良区(榎本地区) 揚水機場更新 1箇所	1,207,500	241,500
	大平西部土地改良区(富田地区) 基幹排水路揚水機更新 1箇所	343,560	68,712
	大平西部土地改良区(富田地区) 揚水機場整備 1箇所	200,000	40,000
	大平西部土地改良区(富田地区) 揚水機場更新 1箇所	1,150,000	230,000
	伯仲水利組合(伯仲地区) 揚水機場更新 1箇所	2,142,000	428,400
	水代新水利組合(水代新地区) 揚水機場更新 1箇所	882,000	176,400

9 市単独農業農村整備事業

豪雨時における浸水被害対策を行うため、水路の改修工事を実施した。

- ・事業名 瀬戸ヶ原用水下流排水路(幹排2号)改修工事
- ・工事箇所 大平町川連・土与地内
- ・工事費 14,280,000円
- ・工事内容 工事延長288m(逆L型擁壁設置、ボックスカルバート設置)

10 治山林道事業

林道の維持管理業務として、除草業務や舗装の修繕工事等を実施した。

- (1) 林道下皆川線・大中寺下皆川線除草業務委託
 - ・委託費 357,565円
 - ・事業内容 延長3.2km×幅1.4m
- (2) 林道西山田線除草業務委託
 - ・委託費 392,613円
 - ・事業内容 延長4.0km×幅1.4m
- (3) 林道下皆川線・大中寺下皆川線維持管理業務委託
 - ・委託費 292,600円
 - ・事業内容 堆積した落ち葉の除去等
- (4) 林道西山田線維持管理業務委託
 - ・委託費 493,500円
 - ・事業内容 堆積した落ち葉の除去等
- (5) 林道西山田線標識設置工事

- ・工事費 82,950円
- (6) 林道修繕工事（舗装修繕等3件） 556,899円

11 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業（とちぎの元気な森づくり県民税事業）に取り組み、荒廃した里山の整備を実施した。

(1) 生活環境保全林維持管理業務委託（下草刈り、除伐等）

- ・実施箇所 大平町西山田地内（片岡山）
- ・事業量 11.3ha
- ・委託費 973,350円

(2) 将来まで守り育てる里山林管理事業

NPO法人太平山南山麓友の会による里山の維持管理活動を補助金により支援した。

- ・実施箇所 大平町西山田・下皆川地内
- ・事業量 6.9ha
- ・補助額 345,000円（1ha当たり50,000円）

(3) 通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林整備事業

NPO法人太平山南山麓友の会による里山の維持管理活動を補助金により支援した。

- ・実施箇所 大平町西山田地内（大平西小通学路周辺の山林）
- ・事業量 1.3ha
- ・補助額 65,000円（1ha当たり50,000円）

12 松くい虫防除委託事業

松くい虫被害対策として、高度公益機能森林及び地区保全森林への被害拡大を防ぐために補助事業を活用し、春には予防事業として地上散布、冬には駆除事業として衛生伐を実施した。

事業区分	委託期間	実施箇所	事業量	事業費(円)	備考
地上散布	6月10日(月)	片岡山	4.1ha	491,400	県単
		大平運動公園他	2.0ha	243,600	市単
衛生伐	1月6日(月)～ 2月24日(月)	西山田地区	被害木の除去 32 m ³ 不用木の除去 36本	745,500	県単

13 有害鳥獣対策事業

有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害等を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣捕獲を実施した。

- ・イノシシの個体調整による駆除

実施区域	捕獲時期	捕獲状況
大平地域全域	10月1日(火)～3月31日(月)	11頭

商工観光担当

1 商工業振興

(1) 商工団体の育成及び助成

商工会の諸事業に助成を行った。

(単位：円)

名 称	事 業 費	補助額	備 考
大平町商工会事業費補助金	52,416,103	8,000,000	経営改善普及事業 地域総合振興事業

(2) 産業振興活動支援

大平地域内の商業・工業・農業及び観光等に関わる機関・団体等が行う産業振興のための意欲的な取組に対して支援を行った。

(単位：円)

名 称	事 業 費	補助額	備 考
産業振興活動支援事業補助金	111,099	50,000	富田地区中心市街地商業 振興会事業費助成

2 中心市街地活性化

大平地域内（旧大平町）では平成16年3月に策定した中心市街地活性化基本計画による中心市街地活性化支援として、また、平成17年10月に策定した大平町TMO構想による、「中心市街地の賑わいと活力を創出するためのまちづくり事業」のひとつとして、設置したまちづくり交流センター（通称プラッツおおひら）の管理運営を平成22年4月から指定管理者である㈱プラッツおおひらに委託し、中心市街地活性化の支援を行っている。

(1) まちづくり交流センター利用者総数

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
営業日数(日)	308	313	316
利用者数(人)	115,587	116,694	92,781
1日平均(人)	375	373	294

(2) まちづくり交流センター施設利用状況

		平成25年度	平成24年度	平成23年度
多目的ルームA	使用時間(時間)	377	460	321
	稼働率(%)	11.1	13.2	9.2
多目的ルームB	使用時間(時間)	801	956	930
	稼働率(%)	23.5	27.7	26.8
遮音スタジオ	使用時間(時間)	1,664	2,256	2,195
	稼働率(%)	49.1	65.5	63.2
交流サロン	使用時間(時間)	133	30	739
	稼働率(%)	3.9	0.9	21.2

3 工場立地法に基づく届出について

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合を審査・指導した。

- ・届出件数 4件（日立アプライアンス(株)、日立レフテクノ(株)の変更届出)

4 みずほ企業団地ふれあい協議会

団地内の各企業と地元の三地区（横堀、下高島、上高島）自治会で、企業団地と地元に関する諸問題を解決するための話し合いを年2回（4月19日(金)、12月6日(金)）開催した。

5 観光振興宣伝事業

豊かな自然と歴史のある観光資源を生かすために、観光パンフレット等を制作・配布するとともに、各種観光展等への出展や観光キャンペーンを実施し、さらに、マスメディアの活用を行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

(1) 観光パンフレット等の制作・配布

太平山&晃石山を歩こう！！（ハイキングマップ）

(2) 観光展等への出展

ア 東武ハイキングへの協力

- ・実施日 9月21日（土）
- ・場 所 太平山南山麓

イ 「やすらぎの栃木路」東京フェア2013への参加

- ・実施日 9月22日（日）
- ・場 所 新宿駅西口（東京都新宿区）

(3) 観光キャンペーン等

ア ぶどう袋かけ収穫体験

- ・実施日 7月6日（土）・9月8日（日）
- ・場 所 かかしの里

イ ぶどう狩りキャンペーン

- ・実施日 7月7日（日）
- ・場 所 東武浅草駅・北千住駅

ウ ぶどうジャムづくり体験

- ・実施日 9月22日（日）
- ・場 所 大平西地区農産加工所

6 観光行事推進事業

大平地域を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施した。

(1) なつこい

- ・実施日 7月27日（土）
- ・場 所 大平運動公園さくら球場
- ・主 催 なつこい実行委員会

- ・共 催 栃木市
- ・来場者 約8,000人
- (2) 光と音のページェント
 - ・実施期間 11月29日（金）～1月12日（日） 午後5時～午後11時
 - ・場 所 新大平下駅東口周辺、プラッツおおひら
 - ・主 催 光と音のページェント実行委員会
 - ・共 催 栃木市
 - ・来 場 者 約19,300人

7 ハイキングコース管理事業

- (1) 首都圏自然歩道管理事業
 - ・かかしの里ぶどうの道、桜咲くパノラマの道、稜線をたどる道（延長11.9km）
- (2) 歩道ハイキングコース
 - ・清水寺～晃石山、大中寺～太平山（延長1.4km）

8 観光施設管理事業

- ・大中寺の森緑地管理
- ・清水寺の森緑地管理
- ・かかしの里緑地管理
- ・かかしの里受付業務等管理
- ・大中寺の森トイレ維持管理
- ・清水寺の森トイレ維持管理
- ・林道下皆川線屋外トイレ維持管理
- ・林道下皆川線あずまや維持管理

第6節 都市整備課

〔総括概要〕

都市整備課の主な分掌事務は、道路・橋りょう及び河川水路の管理と整備並びに
占用許可・工事の承認に関する事務、公共用地の取得・補償及び登記に関する事務
等である。

基本理念として、市民が安全で快適な暮らしを送るために必要不可欠な社会資本
である道路・河川の効率的な維持管理に努め、生活環境の向上を図っている。

そのうち公共物管理については、道水路敷等の適正管理に努めるため、私有地と
の境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、道路等の維持管理に努めるため、直営による早急な対応を
実施するほか、常に安全な道路の通行を確保するため、道路維持管理、舗装補修、
交通安全施設工事等を大平地域全域において実施した。

河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草による維
持管理を行った。

また、従来より自治会における道路・水路の清掃などの愛護活動が「クリーン大
平」として定着しており、それらを積極的に支援することで、市民とともに維持管
理に取り組み、道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

道路整備については、地域住民の日常生活の安全性と利便性の向上、また、快適
な生活環境の確保に資する生活道路の整備として、大平町下皆川地内市道〇1号線
をはじめ4か所の道路改良工事を実施した。

また、幹線道路の整備として、広域農道の未開通区間である主要地方道栃木藤岡
線と県道蛭沼川連線を結ぶ市道〇157号線について、道路整備を栃木県に工事委託し、
道路新設工事の実施により全区間の工事完了となり、2月22日をもって開通となった。

道路管理担当

1 各種申請・手続関係 (単位:件)

内 容	件 数
道路台帳・証明等閲覧申請	54

2 道路工事関係

(1) 道路維持補修工事

工 事 箇 所		工 事 内 容	金 額 (円)	備 考
箇所名	路線名			
大平地域全域	—	道路維持補修工事	15,566,872	
大平地域	○197号線ほか	側溝修繕工事	1,543,500	
大平地域	認定外道路ほか	砂利敷工事	1,242,150	
計			18,352,522	

(2) 舗装補修工事

工 事 箇 所		工 事 内 容			金 額 (円)	備 考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平町伯仲	○334号線	575.5	2.1~6.6	舗装補修	3,475,500	
大平町蔵井	○295号線	316.8	2.0~2.3	舗装補修	2,625,000	
大平町土与	○157号線	575.0	8.7~13.7	舗装補修	43,365,000	
計					49,465,500	

(3) 交通安全施設整備工事

工 事 箇 所		工 事 内 容			金 額 (円)	備 考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平町蔵井	○159号線	98.0	2.1	防護柵等	4,931,850	
大平地域	○294号線ほか			区画線等	9,094,050	
計					14,025,900	

3 業務委託関係

道路維持補修業務委託

委 託 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額 (円)
	箇所名	路線名		
道路清掃業務	大平地域全域	—	道路清掃	1,537,270
新大平下駅前ロータリー・駐輪場緑地管理業務	大平町富田	○406号線	緑地管理	493,500

立体交差部植栽管理業務	大平町富田	○345号線	植栽業務	359,952
市道跨線橋除草業務	大平町富田 ほか2地区	○203号線	除草業務	437,535
街路樹管理業務	大平町内	○29号線他	病虫害防除 桜枝切り	2,277,450
計				5,105,707

4 工事用原材料

材 料 名	単 位	数 量	金 額 (円)
常温合材等	袋	278	262,710
側溝蓋等	枚	28	323,850
融雪剤	袋	200	252,000
交通安全施設用資材	本	30	65,400
計			903,960

道路整備担当

1 道路工事関係

(1) 道路改良工事

工 事 箇 所		工 事 内 容			工事金額 (円)	備 考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	そ の 他		
大平町下皆川	○1	140.3	8.0	-	20,485,500	
大平町川連	○157	279.7	13.0	-	39,102,000	
大平町川連	○157	669.0	5.0	-	10,909,500	
大平町西水代	○575	106.9	4.0	-	7,938,000	繰越
大平町下皆川	○205	106.5	9.0	-	16,615,000	繰越
計					95,050,000	

(2) 道路排水施設工事

工 事 箇 所		工 事 内 容			工事金額 (円)	備 考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	そ の 他		
-	-	-	-	-	-	

(3) 農道整備工事

工 事 箇 所		工 事 内 容			工事金額(円)	備 考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	そ の 他		
大平町横堀	認定外道路	299.3	2.4	舗装補修	2,562,000	

2 工事委託関係

道路整備事業委託

委託名	委託箇所		委託相手方	委託料(円)	備考
	箇所名	路線名			
工事委託	大平町川連	市道〇157号線	栃木県	169,870,000	

3 業務委託関係

道路整備事業業務委託

委託名	委託箇所		委託内容	委託料(円)	備考
	箇所名	路線名			
-	-	-	-	-	

4 用地取得関係

用地取得箇所		用地 (筆数)	補償 (件)	金額(円)	備考
箇所名	路線名				
大平町下皆川	市道〇1号線	5	7	7,568,207	
大平町新	市道〇527号線	33	-	19,549,166	
計				27,117,373	

5 登記関係

内 容	筆 数
分 筆 (代 位)	38
地 積 更 正 (代 位)	5
名義人表示変更・更正 (代 位)	6
相 続 (代 位)	-
地 目 変 更	27
所 有 権 移 転	38
計	114

第7節 都市建設課

〔総括概要〕

都市建設課の主な分掌事務は、住宅建築等の住宅施策や市営住宅等の管理、土地
区画整理事業の施行、栃木藤岡バイパス沿線の整備、大平中心市街地の整備、公園
の整備及び維持管理に関することである。

住宅施策については、市内への定住希望者の住宅新築等補助制度の受付業務や高
齢者の安全で安定した居住を確保するため高齢者向け優良賃貸住宅入居者への家
賃減額補助を行った。

また、市営住宅の管理については、小集落改良住宅の管理業務や老朽化した西水
代市営住宅の解体及び跡地の整備を行った。

土地区画整理事業については、市施行によるJR大平下駅前土地区画整理事業は、
事業計画変更及び換地計画の認可を受け、12月6日に換地処分公告となり、年内
に土地区画整理登記も完了したことから、平成17年度から進めてきた本事業が完了
した。

組合施行による栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理事業は、大規模画地
等の保留地の販売を進めるとともに道路築造工事などの施設整備を行った。

大平中心市街地の整備については、新大平下駅西口周辺の約5.3haを新大平下駅
前第2土地区画整理事業として実施するため、地区界測量及び事業計画作成等の業
務委託を実施した。

公園の整備及び維持管理については、大平運動公園をはじめとする都市公園など
85か所の効率的な管理運営を図るために、施設管理の業務委託や施設の安全対策の
ために修繕工事などを行い、体力づくりや憩いの場として利用者の利便性を高めた。

また、医療福祉モールについては、モール内に開設している3施設の利用者用駐車
場及び平成26年7月開業予定の介護老人保健施設の建設に伴い、工事関係車輛の駐車
場として市有施設等の財産貸付を行うとともに、共用駐車場等の除草や植樹剪定及
び害虫駆除を実施した。

都市管理担当

1 住宅施策関係

(1) 高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助制度

補助金名	対象件数(件)	補助金額(円)	備考
高齢者向け優良賃貸住宅 供給促進事業補助金	59	5,585,000	居室総数 50戸

2 公営住宅管理関係

(1) 市営住宅関係

ア 大平西水代市営住宅解体整地事業

工 事 名	内 容	金 額 (円)
大平西水代市営住宅跡地整備工事	解体2棟、跡地整備	17,965,500
合 計		17,965,500

(2) 小集落改良住宅関係

ア 管理

- ・ 団地名 栃木市小集落改良住宅
- ・ 種別構造 簡易耐火構造2階建
- ・ 管理戸数 8棟 16戸
- ・ 入居戸数 16戸

イ 維持補修

工 事 箇 所	内 容	金 額 (円)
富田地内小集落改良住宅	漏水修理	172,410
合 計		172,410

都市建設担当

1 土地区画整理事業

(1) JR大平下駅前土地区画整理事業

ア 事業概要

- (ア) 面 積 約12.4ha
- (イ) 地権者数 104人
- (ウ) 施行期間 平成17年度～平成25年度
- (エ) 総事業費 638,090千円
- (オ) 平成25年度事業費 40,683,819円

イ 事業経過

- (ア) 土地区画整理審議会 1回 (10月17日)
- (イ) 評価員会 1回 (10月10日)
- (ウ) 事業計画変更縦覧 (第4回変更) (7月23日～8月5日)
- (エ) 事業計画変更認可 (第4回変更) (9月3日)
- (オ) 事業計画変更認可公告 (第4回変更) (9月10日)
- (カ) 換地計画縦覧 (10月23日～11月5日)
- (キ) 換地計画の認可 (11月13日)
- (ク) 換地処分公告 (12月6日)
- (ケ) 土地区画整理登記 土地240筆、建物75件 (12月18日完了)
- (コ) 保留地処分件数 22件 (27画地・1,531.16㎡)
- (サ) 法第76条申請件数 4件
- (シ) 仮換地証明願件数 11件

ウ 業務委託

業 務 名	内 容	金 額 (円)
換地処分等業務委託	換地処分、区画整理登記 12.4ha	8,925,000
公共施設引継書作成業務委託	公共施設（道路・水路・公園） 管理引継書作成	2,730,000
不動産鑑定評価業務委託	土地鑑定評価 2画地	222,600
除草等業務委託	駅前広場及び調整池敷地等 2件	299,250
その他業務委託	換地処分通知書添付資料作成	138,000
合 計		12,314,850

エ 補償費・負担金

項 目	内 容	金 額 (円)
電柱移設補償費	電柱、通信設備移設等2件	2,734,630
清算交付金	換地不交付等6人	4,285,494
公共下水道受益者負担金	163画地、76,757.31㎡	21,246,000
合 計		28,266,124

(2) 栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理事業（組合施行）

ア 事業概要

- (ア) 面 積 約29.8ha
- (イ) 組合員数 78人（理事長 阿部 秀夫）
- (ウ) 施行期間 平成19年度～平成27年度
- (エ) 総事業費 1,171,000千円
- (オ) 平成25年度事業費 212,057,280円（市補助金10,000千円）

イ 事業経過

- (ア) 総 会 1回（6月25日）
- (イ) 役員会 1回（5月24日）
- (ウ) 保留地処分件数 4件（5画地・8,996.03㎡）
- (エ) 法第76条申請件数 34件
- (オ) 仮換地証明願件数 43件

ウ 実施工事（組合発注）

工 事 名	内 容	金 額 (円)
区画道路築造工事	市道O416号線道路築造工事等 3件	71,998,500
水路改良工事	主要地方道栃木藤岡線水路改良工事等 2件	34,387,500
宅地整地工事	宅地等整地工事（6街区、10-1街区）	1,785,000
その他工事	20街区西側側溝敷設等	1,260,000
合 計		109,431,000

エ 業務委託（組合発注）

業 務 名	内 容	金 額 (円)
調整池実施設計等業務委託	1号及び3号調整池実施設計等 2件	2,446,500
街区・画地杭測設業務委託	街区・画地杭測設	489,300

物件調査・再算定業務委託	工作物調査及び再算定等	105,000
草刈等管理業務委託	保留地及び調整池等5件	1,670,480
その他業務委託	保留地販売の看板作成及び 媒介業務等5件	1,864,800
合 計		6,576,080

オ 補償費・負担金（組合発注）

項 目	内 容	金 額（円）
物件移転補償費	工作物移転補償等3件	9,290,011
電柱等移設費	電気・電話柱・配電設備移設等5件	1,063,240
合 計		10,353,251

(3) 新大平下駅前第2土地区画整理事業

ア 事業経過

- (ア) まちづくり推進協議会役員会 1回 (4月24日)
- (イ) 第2工区座談会 2回 (5月27日、7月2日)
- (ウ) 第2工区準備会 3回 (8月12日、10月11日、12月16日)
- (エ) 全体地元説明会 1回 (9月5日)
- (オ) 地区界境界確認立会い (10月27日)
- (カ) 都市計画道路の変更に関する構想の縦覧 (1月7日～21日)
- (キ) 都市計画道路の変更に関する都市計画案の縦覧 (3月3日～17日)
- (ク) まちづくり通信 2回 (4月26日、12月16日発行)

イ 業務委託

業 務 名	内 容	金 額（円）
地区界測量業務委託等	地区界測量5.3ha	2,730,000
事業計画書作成業務委託	事業計画作成5.3ha	4,200,000
都市再生整備計画関係図書 作成業務委託	都市再生整備計画図書作成13.6ha	483,000
不動産鑑定評価業務委託	土地鑑定評価2点	304,500
その他業務委託	土地分筆関係図作成	252,000
合 計		7,969,500

2 都市公園等整備事業

(1) 実施工事

工 事 名	内 容	金 額（円）
大平運動公園テニスコート改修工事	砂入り人工芝 8面 A = 6,380㎡	66,822,000
大平運動公園テニスコート内休憩施設改修工事	ベンチ日除施設 4基	1,207,500
大平運動公園自然観察の森整備工事	A = 10,200㎡	9,964,500
大平運動公園内連絡通路整備工事	L = 59.4m	4,620,000

その他の工事	給水取出工事等 3件	1,016,190
合 計		83,630,190

3 都市公園等管理事業

(1) 管理業務実施公園（自治会への管理委託箇所含む）

公園種別	箇所数	面積(m ²)	備 考
運動公園	1	182,000	大平運動公園
近隣公園	1	8,100	中央公園
街区公園	24	51,372	熊野公園 ほか
ミニ公園	58	18,901	西山田白岩公園 ほか
その他の公園	1	2,825	西水代ふれあい広場
合 計	85	263,198	

(2) 施設の維持補修

補 修 名	内 容	金 額 (円)
大平運動公園内テニスコート等補修	照明ランプ交換等 10 件	414,750
大平運動公園内トイレ等補修	北駐車場トイレ等 8 件	387,066
大平運動公園内照明等補修	夜間照明修理等 2 件	296,100
大平運動公園内水道及び噴水等補修	噴水修理等 3 件	381,675
大平運動公園内園路補修	園路補修 33 m ²	394,800
街区公園、ミニ公園内トイレ等補修	熊野公園等 9 件	172,514
街区公園、ミニ公園内水道等補修	みずほ公園等 3 件	42,425
街区公園、ミニ公園内照明等補修	榎本公園等 4 件	241,920
その他の補修	看板補修等 5 件	1,232,070
合 計		3,563,320

(3) 業務委託

業 務 名	内 容	金 額 (円)
大平運動公園管理等 作業業務委託	常駐管理作業等 9 件	6,202,695
大平運動公園内樹木等 管理業務委託	除草、樹木剪定、病虫害防除等 12 件	3,082,350
街区公園、ミニ公園 管理等業務委託	自治会へ管理委託 2 件 (街区公園 23 公園、ミニ公園 47 公園)	981,760
街区公園等樹木等 管理業務委託	除草、樹木剪定、病虫害防除等 20 件 街区公園 (中央、熊野ほか) 20 公園 ミニ公園 (西水代住宅生協ほか) 7 公園	5,144,790
その他業務委託	運動公園夜間警備、運動公園・街区公園 清掃委託等 8 件	2,979,505
合 計		18,391,100

4 医療福祉モール事業

(1) 財産の貸付

区 分	内 容	金 額 (円)
駐車場貸付	供用駐車場 56 台分 4 件	1,164,000
市有地貸付	未売却地 1,837.40 m ²	169,040
合 計		1,333,040

(2) 事業用地管理業務

業 務 名	内 容	金 額 (円)
樹木管理除草等業務委託	除草、薬剤散布、樹木剪定等	274,050

第 1 0 章 藤岡総合支所

第 1 節 地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域協議会、広報広聴事業、地域内施策・調整、市民活動支援、自治会関係、文書管理、消防関係、庁舎・公用車・庁用事務用品・OA機器の管理、普通財産の維持管理と貸付、藤岡遊水池会館管理である。

地域協議会については、藤岡地域の意見を市政に反映させるため、地域協議会を12回開催し、8月に市長へ意見書を提出した。

広聴業務では、市政に対する市民の声を行政に反映するため、直接対話によるまちづくり懇談会ふれあいトークを4回実施した。

地域内施策・調整としては、まちづくり事業と地域情報の発信を核とした地域振興を図った。また、ラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地にて、栃木市渡良瀬遊水地フェスティバル2013を開催した。

自治会については、藤岡地域自治会連合会の事務局として各種事業の支援を行った。

消防関係では、消防団藤岡方面隊の事務局として消防団員の士気高揚及び規律保持、消防体制の万全を図ることを目的とし、夏季点検を実施した。また、消防団員の消防技術の向上を図るため、操法大会を実施した。

庁舎・公用車・庁用事務用品・OA機器の管理では、藤岡総合支所内での維持・集中管理に努め、藤岡遊水池会館の貸付・貸館管理も行った。

普通財産の維持管理では、財産の貸付を行った。

地域自治担当

1 地域協議会関係

地域自治区制度導入に伴い設置された藤岡町地域協議会は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1) 委員（任期 平成25年4月1日～平成27年3月31日）

区 分	No.	氏 名	備 考
1号委員	1	石田 秀行 (平成25年5月13日 退任)	藤岡地域自治会連合会
		井岡 治 (平成25年6月25日 委嘱)	
	2	小曾根 慎一	藤岡町まちづくり委員会
	3	五十畑 庄司	下野農業協同組合
	4	繁岡 哲哉	栃木市社会福祉協議会
	5	毛塚 麻由美	栃木市PTA連合会
	6	田中 久己	藤岡町商工会
	7	石積 勝利	栃木市藤岡地区体育協会
	8	田村 孝子	藤岡女性団体連絡協議会
9		永島 安紀 (平成25年4月22日 退任)	藤岡町子ども会育成会連絡協議会
		小原 隆志 (平成25年5月28日 委嘱)	
2号委員	10	神原 良明	学識経験を有する者
	11	小森谷 美代	
	12	田中 博	
3号委員	13	酒井 一則	公募に応じた者
	14	田中 廣	
	15	山土家 光幸	

(2) 開催内容

回数	開催日時、場所	内 容
第1回	4月23日(火) 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	報告事項等 ・ 藤岡地域主要事務事業について ・ 栃木市地域自治制度検討委員会における新たな地域自治制度検討状況の中間報告について ・ 栃木市橋梁長寿命化修繕計画について ・ 今後の活動について

		<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会委員の推薦について ・ 藤岡地域統合保育園設置場所選定会議委員の推薦について
第2回	<p>5月28日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市市民会議条例の制定について ・ 栃木市観光基本計画策定について ・ 栃木市都市計画マスタープランの中間報告について ・ 栃木市景観計画の中間報告について ・ 栃木市の選挙区の一部改正について ・ 道の駅みかもの指定管理者制度導入の延期について ・ 栃木市斎場再整備検討委員会先進地視察の出席報告 ・ 第4回栃木市上下水道事業調査委員会の出席報告 ・ 藤岡地域統合保育園設置場所選定会議の出席報告
第3回	<p>6月25日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第7回栃木市斎場再整備検討委員会の出席報告 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渡良瀬遊水地「ハートランド構想」について ・ 藤岡町地域協議会研究会部会の経過報告
第4回	<p>7月23日（火） 午後3時～ 藤岡総合支所議会棟</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市都市計画マスタープランの地域別構想（案）について ・ 栃木市景観計画に係る良好な景観形成のための行為の制限と景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会の出席報告 ・ 第8回栃木市斎場再整備検討委員会の出席報告 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤岡町地域協議会研究会部会の経過報告
第5回	<p>8月27日（火） 午後2時～ 藤岡総合支所議会棟</p>	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見書の提出について ・ 「栃木市都市計画マスタープランの地域別構想（案）について」及び「栃木市景観計画に係る良好な景観形成のための行為の制限と景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針について」への意見回答について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回栃木市上下水道事業調査委員会の出席報告 ・ 第9回栃木市斎場再整備検討委員会の出席報告

		<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市子ども・子育て会議委員の推薦について ・ 栃木市自治基本条例に基づく栃木市市民会議委員の推薦について
第6回	<p>9月26日（木） 午後2時～ 藤岡総合支所議会棟</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第10回栃木市斎場再整備検討委員会の出席報告 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤岡町地域協議会の自主的審議事項（委員提言）及び自由意見書案件の取り扱いについて
第7回	<p>10月22日（火） 午後2時～ 藤岡総合支所議会棟</p>	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市都市計画マスタープランの地域別構想（案）についての意見に対する回答について ・ 栃木市景観計画に係る良好な景観形成のための行為の制限と景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針についての意見に対する回答について ・ 第5回栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会の出席報告 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤岡町地域協議会研究会部会の経過報告
第8回	<p>11月26日（火） 午後2時～ 藤岡総合支所議会棟</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織機構の見直しについて ・ 栃木市健康増進計画について ・ 栃木市新たな地域自治制度基本構想（素案）について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回栃木市市民会議全体会（総会）の出席報告 ・ 第11回栃木市斎場再整備検討委員会の出席報告 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤岡町地域協議会視察研修について
第9回	<p>12月24日（火） 午後2時～ 藤岡総合支所議会棟</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市観光基本計画の素案について ・ 栃木市人権教育・啓発推進行動計画の策定について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市斎場再整備基本計画（案）について ・ 栃木市子ども・子育て会議の出席報告 ・ 第7回栃木市上下水道事業調査委員会の出席報告 ・ 第2回栃木市市民会議全体会の出席報告
第10回	<p>1月28日（火） 午後2時～ 藤岡総合支所議会棟</p>	<p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市食育推進計画の素案について ・ とちぎ市農業・農村男女共同参画ビジョン（案）につい

		て 報告事項 ・ 栃木市健康増進計画についての意見に対する回答について て ・ 第 8 回栃木市上下水道事業調査委員会の出席報告
第11回	2月25日（火） 午後2時～ 藤岡総合支所議会棟	意見聴取事項 ・ 藤岡町区長の選任について 報告事項 ・ 蔵タク・ふれあいバスの利用状況及び本格運行の実施について ・ 渡良瀬遊水地ハートランドプランの策定について ・ 第3回栃木市市民会議全体会の出席報告 ・ 第9回栃木市上下水道事業調査委員会の出席報告 その他 ・ 藤岡町地域協議会研究会部会の経過報告
第12回	3月25日（火） 午後2時～ 藤岡総合支所議会棟	報告事項 ・ 渡良瀬遊水地に関する栃木市の取組みについて ・ 平成23・24年度に地域協議会等から提出された意見に対する市の対応状況について ・ 藤岡町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答書について ・ 合併時に「合併後再編」としている事務事業の調整状況について ・ 地域協議会へ意見を聴く事務事業（Aランク）について ・ 第2回栃木市子ども・子育て会議の出席報告 ・ 第6回栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会の出席報告 その他 ・ 藤岡町地域協議会研究会部会の経過報告 ・ 藤岡町地域協議会平成26年度開催予定について

(3) 先進地視察研修の実施

藤岡地域の活性化や地域振興の参考にするため、先進地視察研修を実施した。

- ・ 実施日 12月12日（木）
- ・ 視察地 千葉県習志野市 谷津干潟（ラムサール条約登録湿地）
- ・ 参加者数 14人

(4) 意見書の提出

藤岡町地域協議会は、藤岡町地域協議会研究会内に、教育厚生班、建設経済班、総務班を設置し、住みやすい藤岡地域を目指し、藤岡地域内の施設や道路等について現在の実情を調査・研究した結果、以下の5項目の意見としてまとめ、8月31日（土）に市

長へ意見書を提出した。

また、同研究会内にクールシェアふじおか研究会を設置し、クールシェアの推進について、調査・研究を行った。

- ・小、中学校の空調設備（エアコン）の設置について
- ・藤岡図書館、及び藤岡歴史民俗資料館周辺通路のバリアフリーの改善について
- ・藤岡地域の地区公民館の耐震化について
- ・自然災害に対する安全・安心な生活環境整備について
- ・佐野藤岡ICを中心とした産業基盤整備の早急な具現化へ

(5) 藤岡町地域協議会だよりの発行

地域協議会研究会に設置した広報委員会では、地域協議会の活動状況等を藤岡地域の市民にお知らせするため「藤岡町地域協議会だより」を発行した。

- ・発行号数 第18号（5月）・第19号（7月）・第20号（9月）・第21号（11月）・第22号（1月）・第23号（3月）
- ・体 裁 A3版 フルカラー印刷
- ・発行部数 各5,100部

2 広聴関係

(1) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市政に対する市民の声を行政に反映するため、直接対話によるまちづくり懇談会を実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前 質問数	フリー トーク数	自治 会数	参加 者数
1	10月2日（水）	部屋地区公民館	部屋、新波、石川、 帯刀、緑川、西前 原、蛭沼、富吉、 中根の各自治会	3	8	28	31
2	10月3日（木）	藤岡遊水池会館	藤岡、内野、下宮の 各自治会	6	5	29	29
3	10月4日（金）	赤麻地区公民館	赤麻、大前の各自治 会	5	10	31	31
4	10月7日（月）	三鴨地区公民館	甲、都賀、大田和、 太田の各自治会	2	8	16	29
合 計				16	31	104	120
				47			

(2) 投書箱

藤岡総合支所玄関に「みんなの声」投書箱を設置し、投書受付を実施した。

- ・投書件数 一 件

3 まちづくり関係

渡良瀬遊水地で行われた全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）主催のタイムトライアルチャンピオンシップに併せ、渡良瀬遊水地及び周辺で楽しまれているレジャースポーツを提供し、渡良瀬遊水地を積極的にPRするとともに、栃木市内各地域のPRを行うため、栃木市渡良瀬遊水地フェスティバル2013を開催した。

- ・実施日 9月8日（日）
- ・場所 谷中湖北ブロック
- ・参加者数 約14,000人

4 地域情報の発信

藤岡スポーツふれあいセンターの2階に地域情報コーナー「とんがり I N F O」を設置し、地域の情報を住民と来訪者向けに発信した。

また、藤岡教育支所と連携し、藤岡スポーツふれあいセンターにて、スカイスポーツ（気球、スカイダイビング）、ウォータースポーツ（カヌー）、自転車、乗馬など、渡良瀬遊水地で楽しめるレジャースポーツ関連のグッズや資料の展示、情報提供、写真の掲示を行った。

5 市民活動支援事業

藤岡地域にNPO法人は現在4法人あり、年度毎の届出や変更届出等の書類補正等事務処理・助言等の支援を行った。

6 総合支所会議

総合支所長が主宰し、藤岡地域の業務の調整・連絡を行った。

- ・開催回数 12回
- ・内 容 審議事項 4件
報告事項 5件
連絡事項 12件

7 自治会関係

自治会相互の円満な運営と、住みよい環境づくり、住民の福祉の増進に寄与することを目的とした藤岡地域自治会連合会の各種活動を支援した。

なお、藤岡町自治会連合会は、5月23日（木）栃木市自治会連合会設立に合わせ、同連合会に加盟したことにより、藤岡地域自治会連合会に改称となった。

(1) 自治会活動の推進

ア 単位自治会の把握

(ア) 自治会役員名簿

次年度役員名簿（自治会長、農政協力員、クリーン推進員）の取りまとめ

- ・受付期間 2月～3月
- ・対象自治会 103自治会

(イ) 班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

- ・受付期間 2月～3月
- ・対象自治会 103自治会

(2) 藤岡地域自治会連合会（事務局）

ア 組織構成

(ア) 組織

- ・地区連合会(部屋地区・藤岡地区・赤麻地区・三鴨地区)
- ・単位自治会 104自治会

(イ) 役員

- ・会長1人、副会長3人、理事4人、会計2人、監事2人

イ 会議

開催日	名称	内容
4月24日(水)	第1回藤岡町自治会連合会役員会	平成25年度藤岡町自治会連合会総会について 平成25年度役員選出について
5月11日(土)	藤岡町自治会連合会総会	平成24年度事業報告について 平成24年度収支決算について 平成25年度事業計画(案)について 平成25年度収支予算(案)について 栃木市自治会連合会加盟決議について 藤岡町自治会連合会規約の改正について 平成25年度役員選出について
5月11日(土)	第2回藤岡町自治会連合会役員会	各種委員の推薦について
7月3日(水)	第3回藤岡地域自治会連合会役員会	第27回藤岡ふくしまつり実行委員の選出について 平成25年度事業計画について 藤岡地域自治会連合会会費及び各地区連合会運営推進費について
8月21日(水)	第4回藤岡地域自治会連合会役員会	平成25年度事業計画について
10月1日(火)	第1回藤岡地域自治会連合会正副会長会議	藤岡地域自治会連合会講演会計画について
10月22日(火)	第5回藤岡地域自治会連合会役員会	藤岡地域自治会連合会講演会実施計画について
12月3日(火)	第6回藤岡地域自治会連合会役員会	藤岡地域自治会連合会講演会実施計画について 平成26年度自治会連合会会費について

3月5日(水)	第7回藤岡地域自治会連合会役員会	平成26年3月から5月までのスケジュールについて 申し合わせ事項の改正について 平成26年度藤岡地域自治会連合会総会について
---------	------------------	--

ウ 主な事業

実施日	内 容	場 所
10月20日(日)	第27回藤岡ふくしまつり協力	藤岡公民館ほか
12月15日(日)	藤岡地域自治会連合会講演会	藤岡文化会館

総務担当

1 文書管理関係

適正な文書管理のため、移し換え、廃棄作業を行った。

・作業期間 6月24日(月)～28日(金)

2 文書発送関係

郵便物の発送、收受業務、本庁支所間の書類の送達を行った。

後納郵便発送件数 93,373件

3 消防関係

(1) 配置人員

藤岡方面隊

分団別	階級	方面	方面隊	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計(人)
		隊長	副隊長						
本部	定員	1	2	—	—	—	—	—	3
	実員	1	2	—	—	—	—	—	3
本部分団	定員	—	—	1	1	1	1	4	8
	実員	—	—	1	1	1	1	4	8
第1分団	定員	—	—	1	1	2	2	28	34
	実員	—	—	1	1	2	2	28	34
第2分団	定員	—	—	1	1	2	2	28	34
	実員	—	—	1	1	2	2	28	34
第3分団	定員	—	—	1	1	2	2	28	34
	実員	—	—	1	1	2	2	28	34
第4分団	定員	—	—	1	1	2	2	28	34
	実員	—	—	1	1	2	2	28	34
計	定員	1	2	5	5	9	9	116	147

	実 員	1	2	5	5	9	9	116	147
--	-----	---	---	---	---	---	---	-----	-----

(2) 消防車等の態勢

藤岡方面隊

区分 分団・部		種 別	車 名	年 式	備 考
本部分団		指 揮 連 絡 車	ト ヨ タ	平成10年	
第1分団	第1部	普通ポンプ車	い す ゞ	平成18年	水槽600ℓ
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成26年	
		積 載 車	い す ゞ	平成26年	
第2分団	第1部	普通ポンプ車	い す ゞ	平成 9年	
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成14年	
		積 載 車	い す ゞ	平成14年	
第3分団	第1部	普通ポンプ車	〃	平成19年	水槽600ℓ
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成12年	
		積 載 車	い す ゞ	平成12年	
第4分団	第1部	普通ポンプ車	〃	平成15年	水槽600ℓ
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成13年	
		積 載 車	い す ゞ	平成13年	

(3) 藤岡方面隊の活動状況

ア 夏季点検の実施

消防団員の士気高揚及び規律保持、消防体制の万全を図ることを目的とし、夏季点検を実施した。

・実施日 6月23日（日）

・会 場 渡良瀬運動公園駐車場

イ 操法大会の実施

消防団員の消防技術の向上を図ることを目的とし、操法大会を実施した。

・実施日 8月11日（日）

・会 場 藤岡総合体育館駐車場

(4) 藤岡方面隊正副分団長会議

開 催 日	場 所
4月20日(土)	藤岡町商工会 会議室
5月31日(金)	藤岡総合支所 別館
7月19日(金)	藤岡総合支所 別館
10月11日(金)	藤岡総合支所 別館
1月31日(金)	藤岡公民館 会議室
3月20日(木)	藤岡総合支所 議会棟

4 支所庁舎内の業務委託

業 務 名	委託金額（円）
支所庁舎警備業務委託	756,000
支所庁舎庁内電話交換設備保守委託	289,800
電気受電設備保守管理業務委託	213,192
その他業務委託件数 7件	391,209

5 支所庁舎内の修繕工事等

工 事 名	工事金額（円）
支所別館自動ドア修理工事	134,190
旧議会棟ブラインド修繕工事	235,200
その他修繕工事件数 4件	193,200

6 共用車管理状況

区 分	数 量（台）
普通乗合（中型バス39人）	1
小型乗用	5
小型貨物	11
軽貨物	4

7 藤岡遊水池会館に関する事務

藤岡遊水池会館は、昭和59年3月に渡良瀬遊水地の隣接地に建築された市民の集会施設である。事務所の一部は一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に貸付を行っている。

(1) 施設管理

施設管理については、建物及び駐車場、施設内設備・物品の維持管理並びに事務用消耗品の管理を行った。駐車場及び周辺の除草・清掃については主に職員が行った。

(2) 施設の貸館状況

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
354	9,987	233,525

8 O A 機器等の管理

藤岡総合支所内における事務用O A機器等の委託契約及び維持管理を行った。

- ・コピー機 3台
- ・印刷機 1台

9 パソコンの整備状況

区 分	課 名	パソコン台数(台)
区長 支所長		2
藤岡総合支所	地域まちづくり課	26
	税務課	12
	生活環境課	13
	健康福祉課	21
	産業振興課	14
	都市建設課	9
藤岡教育支所		13
総合政策課		4
保育課		15
こども課		2
文化課		2
学校教育課		3
生涯学習課		4
	計	140

10 電算処理業務の委託契約

名 称	業 務 名
三協コンピュータ㈱	情報系機器保守運用管理

11 普通財産の管理等に関する事務

(1) 普通財産の維持管理

普通財産の除草等については主に職員が行ったが、面積の広い土地（釜場・高取）に関しては、シルバー人材センターに委託して実施した。

(2) 普通財産の貸付

所 在	件数(契約者数)	面 積 (㎡)	収入金額 (円)
市有地 (藤岡地域)	13	23,249.13	8,492,310

第2節 税務課

〔総括概要〕

我が国の経済は、政府の経済政策を背景にした株高や円安、東京オリンピックの開催決定等が好材料となり、大企業を中心に賃金の上昇や設備投資の増加、個人消費の拡大などが聞こえ始めており、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大につなげようとする動きが現れ、景気回復に明るい兆しが見えてきている。しかし、新興国の景気減速、国の財政再建等景気減速の要因となる問題等も多々あり、地方での回復感が得られないなどまだまだ予断を許さない状況である。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下にあり、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

資産税関係では、税務通知書等に基づく現地調査を通して、新增築・滅失家屋や土地利用の現況把握に努めるとともに、償却資産未申告事業者に対する催告等の申告指導を実施した。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通じての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取り組みとして、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保納税相談、休日夜間納税相談窓口の開設など、税収確保へ向けた取り組みを展開した。

市民税担当

1 諸証明等の交付（藤岡地域分）

区 分	件・冊・枚数		摘 要
	有 料	無料(公用等)	
諸 証 明	3,400	729	<ul style="list-style-type: none"> ・ 納税、所得及びその他の証明 1件につき200円 ・ 土地及び建物の評価証明 1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 ・ 住宅用家屋証明 1件につき1,300円
公簿閲覧	80	6	
計	3,480	735	

2 市民税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の業務については、本庁市民税課に一括して掲載。

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

収税担当

1 差押（参加差押含む）（上段：市全体／下段：藤岡地域）（単位：件）

差 押 物 件	年度当初	差 押	解 除	年度末
不 動 産	158	17	7	168
	2	-	-	2
自 動 車	8	2	4	6
	1	-	1	-
電話加入権	7	-	1	6
	-	-	-	-
債権その他	208	602	489	321
	9	16	15	10
計	381	621	501	501
	12	16	16	12

2 交付要求（上段：市全体／下段：藤岡地域）（単位：件）

年度当初	要 求	終 結	年 度 末
82	70	62	90
14	6	17	3

3 催告書発送及び納付状況（上段：市全体／下段：藤岡地域）

月 日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月12日（金）	1,960	1,410	23,625,904
	149	-	-
6月21日（金）	4,736	1,659	25,900,927
	322	-	-
10月25日（金）	3,883	1,505	31,665,009
	370	-	-
1月24日（金）	2,485	1,448	27,975,775
	244	-	-
計	13,064	6,022	109,167,615
	1,085	-	-

4 休日納税相談窓口（上段：市全体／下段：藤岡地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実 施 期 間	納付件数（件）	納 付 額（円）
第1回	4月20日（土）	58	903,400
		-	-
第2回	6月30日（日）	66	581,800
		-	-
第3回	11月2日（土）	62	972,200
		-	-
第4回	2月2日（日）	116	2,832,000
		2	83,500
計		302	5,289,400
		2	83,500

5 市税等収納員による徴収事業（上段：市全体／下段：藤岡地域）

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員1人による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数（件）	徴収金額（円）	口座振替（件）	納付指導（件）
6,951	212,305,180	68	3,485
468	12,574,329	27	275

6 市税等徴収強化事業（上段：市全体／下段：藤岡地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員及び関係課職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間 12月6日（金）～20日（金）

訪問人数（人）	徴収件数（件）	徴収金額（円）
1,342	147	4,829,420
134	41	1,391,820

第3節 生活環境課

〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次の業務を行った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

また、旅券事務については、一般旅券の発給申請受付及び交付事務を行った。（部屋出張所を除く）

部屋出張所においては、上記業務のほか、公民館使用申請や学校開放施設利用申請の受付、税関係証明発行、収税等も行った。

国民健康保険事業においては、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業においては、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業においては、市民の保健の向上と福祉の増進を図るために、重度心身障がい者、こども（中学校3年生まで）、妊産婦及びひとり親家庭に対して医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担の軽減を図るために、保険適用外治療費の一部を助成した。不育症治療を受けている夫婦への助成制度についても新設されたが、補助申請はなかった。

国民年金事業においては、法定受託事務として各種届出の受理及び進達等を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

環境保全業務においては、一般廃棄物最終処分場の水質調査、市営墓地の適切な管理を実施したほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集業務の円滑な推進、不法投棄の監視を行い、環境美化の向上を図った。

交通防犯事業では、交通安全運動や交通安全教室の実施並びに防犯灯の設置などの防犯活動を実施した。

市民相談事業においては、本庁市民生活課や市消費生活センターと連携し、市民が相談をする際の利便性の向上を図った。

住民担当

1 戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数 447件（出生74件、婚姻31件、死亡260件等）

2 窓口事務

(1) 窓口届出処理件数

処 理 事 項		件 数	処 理 事 項	件 数
戸籍届		447	死体埋火葬許可	261
住民異動届		2,120		
計		2,567	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	2
印鑑	登 録	603		
	廃 止	421	死産届	2
計		1,024	計	265
			合 計	3,856

(2) 謄抄本証明書等交付件数

種 別		件数(件)	金額(円)	種 別		件数(件)	金額(円)
戸 籍	全部事項証明	2,037	916,650	住 民 票	世帯全員	2,169	433,800
	個人事項証明	631	283,950		個 人	4,275	855,000
	除籍謄本	1,735	1,301,250		証 明	154	30,800
	除籍抄本	11	8,250		閱 覧	-	-
	戸籍証明	6	1,200		年金現況証明	-	-
	受理証明	32	11,200		戸籍の附票	187	37,400
	廃棄証明	-	-		公 用	156	-
	出産証明	-	-		広 域	3	600
	不受理証明	-	-		住基カード(有料)	4	2,000
	公 用	277	-		住基カード(無料)	34	-
	計	4,729	2,522,500		計	6,982	1,359,600
証 明 書	印鑑証明	5,379	1,075,800	そ の 他	印鑑登録	603	120,600
	諸証明	43	8,600		印鑑登録廃止	421	-
	身分証明	177	35,400		臨時運行許可証	218	163,500
	住居表示証明	-	-		労基証明	-	-
	公 用	7	-		人口統計	-	-
	選挙証明	-	-		公的個人認証	26	13,000
	計	5,606	1,119,800		計	1,268	297,100
合 計				18,585 件		5,299,000 円	

(3) 斎場及び霊きゅう車等使用許可件数

ア 佐野斎場

種 類	区 分		件 数(件)		金 額(円)
斎 場	組織市町 住民	12歳以上	251	253	-
		12歳未満	-		
		死産児	2		
		身体の一部	-		
		改葬遺体	-		
		包衣汚物	-		
	組織市町 住民以外	12歳以上	3	3	60,000
		12歳未満	-		
		死産児	-		
		身体の一部	-		
		改葬遺体	-		
		包衣汚物	-		
計			256	60,000	
霊きゅう車	往 路	組織市町住民	246	615,000	
		組織市町住民以外	3	15,000	
	復 路	組織市町住民	244	610,000	
		組織市町住民以外	3	15,000	
計			496	1,255,000	
待 合 室	組織市町住民		244	732,000	
	組織市町住民以外		3	18,000	
計			247	750,000	
特 別 ホ ール (控室含む)	組織市町住民		2	40,000	
	組織市町住民以外		-	-	
計			2	40,000	
霊 安 室	組織市町住民		1	6,000	
	組織市町住民以外		-	-	
計			1	6,000	
合 計			1,002	2,111,000	

イ 栃木市斎場

種 類	区 分		件 数(件)		金 額(円)
斎 場	市 内	大 人	3	3	-
		小 人	-		
		死産児	-		
	市 外	大 人	1	1	18,000
		小 人	-		
		死産児	-		
計			4	18,000	
霊きゆう車	往 路	市 内	3	13,500	
		市 外	1	4,500	
	帰 路	市 内	3	4,500	
		市 外	-	-	
計			7	22,500	
待 合 室	市 内		3	9,000	
	市 外		1	6,000	
計			4	15,000	
合 計			15	55,500	

(4) (1)～(3)のうち延長窓口処理件数 (単位：件)

種 別	件 数
戸籍謄抄本等交付	27
住民票写し等交付	84
印鑑登録証明書交付	85
印鑑登録	28
戸籍届	17
住民異動届	7
斎場、霊きゆう車使用許可証交付	-
臨時運行許可証交付	-
パスポート交付	28
合 計	276

3 中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数

(単位：件)

件名	件数	件名	件数
新規上陸後の居住地届出	3	居住地の変更届出(転入)	22
資格変更等に伴う居住地届出	3	居住地の変更届出(転居)	3
特別永住者の居住地届出	-	特別永住者居住地の変更届出(転入)	-
特別永住者証明書の交付	-	特別永住者居住地の変更届出(転居)	-
法務省通知	-	市町村通知	-
		合計	31

4 部屋出張所処理件数

(単位：件)

種別	件数
戸籍謄抄本等交付	578
住民票写し等交付	848
印鑑登録証明書交付	849
印鑑登録	75
印鑑登録廃止	76
諸証明交付	47
市税収納	1,256
合計	3,729

5 一般旅券申請・交付件数

(単位：件)

月	申請	交付	月	申請	交付
4月	18	22	10月	19	16
5月	17	16	11月	21	15
6月	27	23	12月	17	23
7月	31	20	1月	31	25
8月	30	38	2月	21	17
9月	19	19	3月	14	21
			合計	265	255

保険医療担当

1 国民健康保険の給付等に係る申請の受付等に関すること

(1) 高額療養費の受付状況 (単位：件)

高額療養費(一般分)	661
高額療養費(退職分)	27
限度額適用認定証(標準負担額現額認定証を含む)	264

(2) 療養費の受付状況

療養費受付件数 95 件

(3) 出産育児一時金の受付状況

出産育児一時金受付件数 1 件

(4) 葬祭費の受付状況

葬祭費受付件数 35 件

(5) 人間ドック検診の受付状況 (単位：件)

人間ドック受付件数	一般ドック	89
	脳ドック	16

(6) 医療費通知の発送状況

回数	対 象 月	件 数(件)	発 送 月
1	平成 24 年 12 月・平成 25 年 1 月診療分	2,259	5 月
2	平成 25 年 2 月・平成 25 年 3 月診療分	2,230	8 月
3	平成 25 年 4 月・平成 25 年 5 月診療分	2,223	10 月
4	平成 25 年 6 月・平成 25 年 7 月診療分	2,237	12 月
5	平成 25 年 8 月・平成 25 年 9 月診療分	2,193	2 月
6	平成 25 年 10 月・平成 25 年 11 月診療分	2,212	3 月
計		13,354	-

2 後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数

申請書種類	件 数 (件)
資格関係届出	312
高額療養費申請	362
その他の療養費申請	132
葬祭費申請	199
被保険者証等再交付申請	120
合 計	1,125

3 医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること
資格関係等受付件数

種 別	件 数 (件)
重度心身障がい者医療費助成	81
こども医療費助成	417
妊産婦医療費助成	104
ひとり親家庭医療費助成	129

4 不妊治療費補助金及び不育症治療費補助金に関すること

(1) 不妊治療費補助金

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額(10万円を限度に通算5回)を補助するため申請受付を行った。

・補助申請受付件数 7件

(2) 不育症治療費補助金

不育症治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から他の制度による給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額(1年度30万円を限度)を補助するため申請受付を行った。

・補助申請受付件数 1件

5 国民年金に係る申請等受付に関すること

(1) 諸届の受理件数

(単位：件)

種 別	件 数	種 別	件 数
新規取得届	103	転居届	46
新規取得申出	-	氏名変更届	17
再取得届	234	訂正・取消・不在	6
再取得申出	3	転出届	98
付加年金取得届	4	法定免除該当届	26
付加年金喪失届	-	法定免除消滅届	9
資格喪失届	121	手帳再交付届	27
資格喪失申出	1	種別変更届	54
死亡届	10	その他	40
転入届	83	計	882

(2) 免除申請受理件数

(単位：件)

種 類	件 数
免除・納付猶予申請	434
学生納付特例申請	79

(3) 国民年金請求受理件数

(単位：件)

給付種類	件数
老齢基礎年金	10
障害基礎年金	13
遺族基礎年金	-
寡婦年金	-
死亡一時金	8
未支給年金	178
老齢福祉年金	-
計	209

(4) 月平均相談件数

(単位：件)

相談の内訳	件数
来訪相談	73
電話相談	4
文書相談	-
計	77

生活環境交通担当

1 環境基礎調査事業

地下水水質調査

地域内にある一般廃棄物最終処分場について、次のとおり水質調査を実施した。

(1) 市単独調査

- ・調査箇所 処分場内地下水及び放流水
- ・調査期間 通年
- ・調査項目 pH、BOD、COD、SS、大腸菌群数

(2) 県市合同調査

- ・調査箇所 処分場近隣住宅及び処分場内の地下水及び放流水並びに近隣河川等の水質及び底土
- ・調査期間 年4回
- ・調査項目 カドミウム、水銀、鉛、ヒ素、シアン、PCB等、各箇所ごとに7～30項目

2 佐野斎場・霊きゅう車使用状況 (単位：件)

区 分	斎 場					霊きゅう車
	大 人	小 人	死産児	身体の一部	計	
市 内	251	-	2	-	253	246
市 外	3	-	-	-	3	3
計	254	-	2	-	256	249

3 改葬許可件数 12件

4 市営墓園使用許可状況 (単位：区画)

種別及び面積	造 成 数	許 可 数
藤岡中根墓地	270	256
藤岡太田墓地	78	59
計	348	315

5 公害関係

(1) 大気関係

大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届 出 の 種 類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	-	-	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(2) 水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届 出 の 種 類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	2	-	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(3) 騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届 出 の 種 類	設置届	変更届	廃止届	その他	特 定 建 設 作 業 実 施 届
騒音規制法に基づく届出	6	-	-	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-	1

(4) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	3	-	-	-	-
県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-	4

(5) その他

公害苦情受付件数 (単位：件)

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
2	-	5	-	9	-	1	17

6 一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみはおおむね月2回、資源物のうち、紙類は月2回、空カン・空ビン、ペットボトル、食品用トレイはおおむね月2回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料で戸別訪問収集を実施した。

また、休日・祝日等の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1) ごみ収集搬入量 (単位：t)

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
3,521.07	385.42	340.96	174.25	57.70	45.68	4,525.08

(2) もやすごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
31.82	2,931.91	557.34	3,521.07

(3) もやさないごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
6.23	359.34	19.85	385.42

(4) 資源物の収集搬入状況 (単位：t)

種類	直営	委託	直接搬入	合計
紙類	-	340.96	-	340.96
空カン・空ビン	-	173.63	0.62	174.25
ペットボトル・トレイ	-	57.70	-	57.70
合計	-	572.29	0.62	572.91

(5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	減 免	合 計
4.90	6.93	33.85	-	45.68

(6) 休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合 計
11	118	9	138

(7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量(佐野地区衛生センター) (単位：kl)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合 計
931.12	2,320.25	3,251.37

(8) 環境美化キャンペーンの実施

市民や事業者の方々と相互に協力し、一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

- ・実施日 5月26日(日)
- ・場 所 地域内各地
- ・内 容 ごみ拾い
- ・参加人数 約5,000人

7 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、環境美化監視員を設置し、地域内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

(1) 地区別不法投棄物回収件数 (単位：件)

区分 地域	生活系 廃棄物	家電 4品目	電化 製品	粗大 ごみ	産業 廃棄物	その他	計
藤岡	16	2	-	4	-	-	22

(生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計)

(2) 不法投棄調査件数 22件(うち不法投棄者等指導 1件)

8 狂犬病予防業務

(1) 犬の登録 (単位：頭)

新規登録数	登録抹消数	登録総数
64	71	1,145

(2) 狂犬病予防注射

ア 第1次集合注射

- ・実施期間 4月
- ・実施会場 地域内 16会場
- ・実施数 434頭

イ 第2次集合注射

- ・実施期間 10月
- ・実施会場 地域内 4会場
- ・実施数 92頭

ウ 個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 259頭

9 市民相談事業

(1) 無料法律相談

- ・実施日 偶数月第3月曜日
- ・会場 藤岡公民館
- ・相談件数 24件

(2) 行政相談

- ・実施日 毎月第2火曜日
- ・会場 藤岡公民館
- ・相談件数 8件

10 消費者行政関係

(1) 啓発物資配布

イベント会場にて、ポケットティッシュ及びパンフレット等啓発物資の配布を行った。

(2) 消費者団体の活動支援

藤岡町消費生活友の会の活動支援

消費生活への関心を深める一助として、リサイクル石けんの作製、販売、無料配布等を行った。

11 交通関係

(1) 交通安全運動

交通事故防止のため、市民一人ひとりが交通ルールを順守し、交通マナーの一層の向上に努め、中でも子供や高齢者等交通弱者のために、チャイルドシート着用徹底や高齢者への啓発活動を行った。

ア 春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、小中学校交通安全教室の開催

- ・実施期間 4月6日(土)～15日(月)

イ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙による広報、のぼり旗及び立看板掲出、児童交通安全教室の開催

- ・実施期間 9月21日(土)～30日(月)

ウ 交通安全市民大会

交通安全功労者・功労団体表彰と大会宣言などを行った。

- ・実施日 9月28日(土)
- ・場 所 栃木文化会館
- ・参加者 約800人

エ 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車、広報紙等による広報、交通安全教室の開催

- ・実施期間 12月11日(水)～31日(火)

(2) 交通安全教室の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であることに鑑み、交通教育指導員や栃木警察署職員による交通安全教室を次のとおり開催した。

・実施状況

対象者	回 数(回)	参加者数(人)
幼 児	2	200
小学校児童	4	150
合 計	6	350

(3) その他の交通安全対策

ア 交通指導員の設置 藤岡地域内10人委嘱

イ 交差点等危険箇所へカーブミラーの設置を行った。

ウ 第41回交通安全こども自転車大会栃木地区大会参加

- ・実 施 日 6月13日(木)
- ・会 場 栃木第四小学校
- ・出 場 校 三鴨小学校チーム

12 防犯関係

(1) 防犯灯の修理 (単位：灯)

区 分		修繕灯数
修繕工事	移設・撤去・修理	25

(2) 防犯活動

栃木警察署管内1市2町で組織する栃木地区防犯協会(本市が事務局)において実施した次の事業に参画した。

- ・会議等
- ・地域安全運動、防犯防火診断、広報啓発活動等の実施

第4節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課は福祉担当、こども担当、介護高齢担当、健康増進担当で編成されている。

福祉担当では、民生委員児童委員に関すること、地域福祉の推進に関すること、日本赤十字社に関することなどの業務を行った。また、身体・知的・精神障がい者手帳の交付をはじめ、障がい者を取り巻く環境や生活上の問題等について、相談支援や各種福祉サービスの提供等きめ細やかな対応に努めた。さらに、生活保護等生活困窮者の相談支援を行った。

こども担当では、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金などの各種申請受付業務を行った。また、放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。

介護高齢担当では、本庁の高齢福祉課及び介護保険課と連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会を目指して、各種高齢福祉事業の実施及び介護保険の各種申請受付業務、戦没者遺族等援護業務を実施した。また、第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域包括支援センターと連携して、地域支援事業の介護予防事業及び任意事業を実施した。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持や生活の安定、保健、福祉、医療の向上、虐待防止など様々な課題に対して、地域における総合的マネジメントを担い、課題解決に向けて、包括的支援事業等に取り組んできた。

健康増進担当では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、各種がん検診、歯周疾患検診及び骨粗しょう症検診等を実施し、併せて高齢者の医療の確保に関する法律に基づき衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児の健康診査、各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見・早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び小児生活習慣病予防のため、キッズ健康教室、学校での健康教育を実施した。健康づくり事業については、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談及び健康教育事業を行い、自殺予防対策事業では、自殺に対する正しい知識の普及啓発を図るため、こころの健康教室を開催した。渡良瀬の里では、高齢者をはじめ各世代の人たちが交流を深めるコミュニティの場として、健康維持を図るため指定管理者による施設管理運営を行った。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員42人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
199	5	3	26	1	22
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
—	306	36	630	1,228	29.2

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的 機関との連絡	諸会合・行事 への参加	友愛訪問・安否 確認のための訪問	計	委員1人 当たり件数
915	8	1,521	4,685	3,775	10,904	259.6

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤募金

目標額	実績額	達成率
1,669,150円	1,644,065円	98.4%

(2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	1世帯	1人	1枚	1組	1個

(3) 災害見舞金給付状況 (単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
2	—	—	—	—

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために栃木市社会福祉協議会に委託（指定管理）し、実施した。

- ・施設名 藤岡地域活動支援センター
- ・所在地 藤岡町都賀390-13
- ・開所日数 239日
- ・通所延べ人員 1,958人

4 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区 分		実施状況(人)
交付者数		181
	うち高齢者(80歳以上)	137
	高齢者(65～79歳)	8
	障がい者	28
	腎臓機能障がい者	8

5 身体障がい者の現況(身体障害者手帳交付状況) (単位:人)

障がい区分	手帳所持者数	平成25年度中交付者数
視覚障がい	31	2
聴覚・平衡障がい	69	8
音声・言語・そしゃく障がい	4	-
肢体不自由障がい	342	17
内部障がい	202	24
複合障がい	26	-
合 計	674	51

6 知的障がい者(児)の現況(療育手帳交付者数) (単位:人)

区 分	障がい児(18歳未満)		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度(A1・A2)	3	1	26	13	43
中度(B1)	1	2	15	15	33
軽度(B2)	8	2	31	19	60
合 計	12	5	72	47	136

7 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	16	20.5
2 級	44	56.4
3 級	18	23.1
合 計	78	100.0

(2) 自立支援医療費(精神通院)受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、144人が受給した。

8 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

(単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	-	-	-	-	-	-
	義足	-	-	-	-	-	-
装具	下肢	2	-	2	-	-	-
	靴型	-	-	-	-	-	-
	体幹	-	-	-	-	-	-
	上肢	1	-	1	-	-	-
座位保持装置		-	-	-	-	-	-
盲人安全つえ		-	-	-	-	-	-
義眼		-	-	-	-	-	-
眼鏡	矯正眼鏡	-	-	-	-	-	-
	遮光眼鏡	-	-	-	-	-	-
	弱視眼鏡	-	-	-	-	-	-
補聴器	高度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	3	4	7	-	-	-
	重度難聴用ポケット型	1	1	2	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	1	5	6	-	-	-
車椅子	普通型	2	2	4	1	-	1
	その他	1	1	2	-	1	1
電動車いす		-	-	-	-	-	-
起立保持具		-	-	-	-	-	-
座位保持いす		-	-	-	-	-	-
歩行器		-	-	-	-	-	-
歩行補助つえ		2	-	2	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		-	-	-	-	-	-
特例補装具		-	-	-	-	-	-
合 計		13	13	26	1	1	2

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付

(単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	2	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-
訓 練 い す	-	-
入 浴 補 助 用 具	-	-
体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	-	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	1	-
頭 部 保 護 帽	1	-
特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	-	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	-
電 気 式 た ん 吸 引 器	-	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	1	-
盲 人 用 時 計	-	-
盲 人 用 体 温 計	-	-
盲 人 用 体 重 計	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	-	-
点 字 図 書	-	-

ス ト マ 用 装 具	37	-
紙 お む つ	4	2
収 尿 器	-	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	-	-
合 計	46	2

9 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）受給状況

（単位：人）

種 別	給付決定者数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	-
免 疫 機 能 障 が い	-
肢 体 不 自 由	2
心 臓 機 能 障 が い	6
腎 臓 機 能 障 が い	49
合 計	57

10 身体障がい者等福祉関係

- ・身体障がい者の自立更生について、1人の身体障害者相談員が相談指導に当たった。

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を充分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、藤岡地域4か所の小学校区内において実施した。

- ・学童保育入会者数

（単位：人）

学年 学童保育名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
部 屋（部 屋 小）	5	2	7	5	2	7	8	9	17	18	13	31
藤 岡（藤 岡 小）	2	5	7	3	4	7	2	3	5	7	12	19
赤 麻（赤 麻 小）	3	3	6	1	1	2	5	8	13	9	12	21
三 鴨（三 鴨 小）	2	2	4	1	1	2	8	4	12	11	7	18
計	12	12	24	10	8	18	23	24	47	45	44	89

2 児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

- ・児童手当受付件数 203件

3 赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、2子以降のお子さんが誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

(単位：件)

事業名	祝金額	受付件数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	30
	第三子以降 20,000円	17

4 児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって片親と生計を同じくしていない児童、または片親が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方又は両方が死亡した児童について遺児手当の案内・相談・受付を行った。

(単位：件)

種別	受付件数
児童扶養手当	17
遺児手当	1

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口（藤岡地域4月1日現在）

区分	年度		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総人口(人)	17,412	17,128	16,858
65歳以上人口(人)	4,675	4,744	4,867
総人口に対する割合(%)	26.85	27.70	28.87

(2) 高齢者生活態様（5～6月調査結果）

(単位：世帯)

区分	年度		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
独居	385	403	445
高齢者世帯	426	436	473

2 敬老祝賀事業

9月1日において、本市に引続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせて敬老祝金を贈呈した。95歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	155
90歳	20,000	78
95歳	30,000	18
100歳	100,000	4
101歳以上	50,000	8

3 敬老会事業

敬老事業を実施した、老人クラブ・自治会等に補助金を交付した。

- ・ 交付基準額 対象地域在住80歳以上1人につき、1,000円
- ・ 交付状況 老人クラブ 14団体(41自治会分)
自治会等 15団体(24自治会分)
- ・ 交付額 1,281,000円 ※本庁高齢福祉課予算

4 老人クラブ育成指導事業

藤岡町老人クラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・ 単位老人クラブ数(藤岡地域) 14クラブ
- ・ 藤岡町老人クラブ連合会会員数 806人
- ・ 助成額 単位老人クラブ助成 714,000円 ※本庁高齢福祉課予算
藤岡町老人クラブ連合会 671,000円 ※本庁高齢福祉課予算

5 老人スポーツ大会

藤岡町老人クラブ連合会藤岡支部主催により、個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。また、藤岡地域の保育園児とのダンス、各種サークルのダンス等を行い、世代間の交流を行った。

- ・ 実施日 11月8日(金)
- ・ 会場 藤岡総合体育館
- ・ 参加人員 300人

6 高齢者配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため昼食弁当(1食300円)を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・ 宅配個数 3,739個
- ・ 宅配人数 39人(実人数)

- ・宅配業者 (株) 金時給食センター 柳橋町 6-29
ワタミタクシヨク(株) 仲方町 306-5

7 老人ホーム等入所措置支援

- ・養護老人ホーム入所措置支援 - 件
- ・特別養護老人ホーム入所措置支援 - 件

8 日常生活用具購入費助成等事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	30
小型暖房器具	26
電磁調理器	-
火災警報器	-
自動消火器	-

9 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成する事業。(平成 25 年度は実績なし)

- ・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	-
特殊寝台	-
じょく瘡予防用具	-

10 緊急通報装置給付等事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

- ・設置状況 (単位：台)

既設置台数	平成 25 年度設置台数	平成 25 年度撤去台数	計
91	8	14	85

11 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣委託事業

- ・利用者数 1人
- ・延べ回数 2回 (1時間30分)

(2) 軽度生活援助員派遣委託事業

- ・利用者数 13人
- ・延べ利用時間

(単位：時間)

家事	99
除草	199
植木手入れ	49
大工	-

(3) 在宅高齢者短期入所事業

- ・利用者数 1人
- ・延べ宿泊数 9日

12 高齢者生きがいセンター管理運営委託事業

藤岡高齢者生きがいセンターの管理を、栃木市シルバー人材センターに委託した。

13 介護保険業務各種受理状況

(単位：件)

内 容	件数
要介護認定要支援認定申請 相談・受付・入力	721
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	108
介護給付費過誤申立 受付・入力 (過年度分のみ)	-
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	6
転入・転出・転居 資格管理等	22
転送希望届申請 受付・入力	40
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	186
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	12
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	4
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	7
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	65
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	45
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	70
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	185
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	12
オムツ使用証明申請 受付・発行	2

14 介護予防事業

(1) 二次予防事業

ア 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者把握状況

チェックリストによる対象者数 618人

イ 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者のうち希望者に対し、3種類の通所型介護予防事業を公民館にて実施。活動的で生きがいのある生活が維持できるよう支援した。

実施状況

	実施回数(回)	延べ人数(人)
複合型（運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上）	32	651
閉じこもり・認知・うつ予防	11	83
運動器機能向上	11	205

(2) 一次予防事業

ア 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

実施状況

内容	実施回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	36	685
閉じこもり・認知・うつ予防	11	227
介護予防	3	34
感染症予防	3	60
その他（福祉まつり時普及啓発）	1	150
計	54	1,156

イ 地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得する機会を設け、地域活動の人材育成や自主グループ活動支援を行った。

実施状況

	実施回数(回)	延べ人数(人)
自主グループ活動支援	13	30

健康づくりサポーター養成講座	9	33
計	22	63

15 任意事業

(1) 家族介護（継続）支援事業

ア 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5いずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期	下半期	合計
167	157	324

イ 紙おむつ購入助成事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5いずれかに認定された方で、日常生活において常時紙おむつが必要な方に対し月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期	下半期	合計
156	149	305

(2) はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 藤岡地域に居住するおおむね65歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館、集会場、広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 7センター（8自治会）
- ・委託料 1,180,000円
- ・実施回数・人数 延べ 1,147回・8,909人

(3) 高齢者ふれあい相談員事業（藤岡地域）

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 88人
- ・訪問世帯数 612世帯

16 その他の高齢者支援事業

高齢者の各種相談に応じた。また、地域ケア会議については、会議としての検討事例はなかったが、困難事例の処遇については、適宜関係者のみで検討を行った。

	実件数(件)	延件数(件)
面接	78	93
電話相談		82

17 地域包括支援センター

(1) 地域包括支援センター設置状況

藤岡地域包括支援センター 藤岡町藤岡 1022-5 藤岡総合支所健康福祉課内

(2) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に、介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。

また、指定介護予防支援事業者として、要支援者を対象とする予防給付のケアマネジメントを実施し、連続的で一貫性のある介護予防ケアマネジメントを行った。

・介護予防サービス計画作成状況

地域包括支援センターによる作成件数 77 人

・要支援 1・2 の介護予防サービス計画作成状況（実人数）（単位：件）

地域包括支援センターによる作成件数	29
事業者委託件数	88
合計	117

・サービス担当者会議実施状況

地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加 27 件

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況

地域包括支援センターによる作成件数 8 件

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していくことができるよう、地域関係者とのネットワークを構築するとともに、各種相談を幅広く受け付けた。

実施状況 (単位：件)

	延べ件数
面接	73
電話相談	695
家庭訪問	479

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは問題解決出来ない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活が送れるよう高齢者の権利擁護のため、関係課と連携し専門的・継続的な支援を行った。

実施状況 (単位：件)

	延べ件数
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	8
高齢者虐待に関すること	12
合 計	20

(3) 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

健康増進担当

1 生涯すこやかふじおか21プラン推進事業

「妊娠出産期・乳幼児期」「学童期」「思春期」「青年期」「壮年期」「高年期」の6つのライフステージ毎に、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取組

- ・乳児健診・離乳食指導等において、保護者の健康づくりの重要性について啓発
- ・乳幼児健診（4か月児・1歳6か月児）において、受動喫煙の害について啓発
- ・家族と子どもの料理教室の開催
- ・小児生活習慣病予防事業の実施
- ・脱メタボ！健康教室等を開催し、運動の重要性について啓発
- ・ふくしま祭り、産業祭等のイベントにおいて、禁煙教育を実施
- ・ふくしま祭り、産業祭において、歯周疾患予防教育を実施

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対して母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況 (単位：件)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数		
	妊娠届出	双胎	紛失等
71	73	71	2

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がい等の相談にも応じた。

区分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	78	76	97.4	11	7	1	2
乳児健康診査 (9か月児)	12	75	74	98.7	16	9	0	0
1歳6か月児 健康診査	6	96	91	94.8	35	1	1	4
3歳児 健康診査	6	114	109	95.6	23	16	18	9

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(ア) 歯科健康診査

実施回数(回)	対象数(人)	受診数(人)	受診率(%)	う歯のある児(人)
4	98	66	67.3	7 (10.6%)

(イ) 保健師による2歳児育児相談

・参加者延べ人数 10人

オ 乳幼児発達相談(2次健診)（数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において発達に問題があると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室(数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

妊婦と夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。

また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。大平・藤岡で合同開催し、大平会場で実施した。

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では2～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

- ・実施数 2回1コース (年6コース)
- ・参加者延べ数 67組
- ・内容 離乳食教室、ベビーマッサージ講習、子育てアドバイス等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)(数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情を高めるため、中学生とその保護者を対象に、保健教育を行った。

対 象	実施回数(回)	参 加 人 数(人)
中学1年生	1(1校)	生徒27

※小児生活習慣病予防健康教育と同時実施

オ 小児生活習慣病予防事業

小児肥満や小児生活習慣病を予防する目的で健康教育を行った。

(ア) キッズ健康教室

対 象	実施回数(回)	参 加 人 数(人)
2歳児とその保護者	1	子ども29 保護者32

(イ) 学校での健康教育

対 象	実施回数(回)	参 加 人 数(人)
小学4年生とその保護者	1(1校)	児童41 保護者40
中学1年生	1(1校)	生徒27

カ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

- ・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)
- ・参加者延べ数 74組

キ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市2町(栃木市・壬生町・岩舟町)の共催で小学1年生と年長児に対し、フッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

・フッ素塗布者数 (単位：人)

小学1年生	年長児	合計
38	36	74

ク よい歯のコンクール (数値は本庁健康増進課で一括計上)

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は県南地区の2次審査に推薦した。

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。個別相談のほか、身体計測、発達チェック及び離乳食やおやつ摂り方についてのグループ指導等を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 270人 (135組)

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

- ・実施状況 (単位：人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ指導	要経過観察	2次健診・医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
134	86	2	8	3	28	7

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 7件
- ・指導延べ数 7件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 81件

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員(藤岡地域17人)が、妊産婦や乳児の家庭訪問及び子育て教室の協力を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

(単位：件)

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数	46	31	70	147

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者健康診査及びヤング健診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

- ・実施回数 10回
- ・実施場所 藤岡保健福祉センター

(2) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	初回指導率(%)
積極的支援	26	16	61.5
動機付け支援	69	53	76.8
合計	95	69	72.6

(3) メタボ予防講座（特保該当者）

ア 血糖まる分かり教室

メタボリックシンドローム及び糖尿病の予防や改善のための栄養・運動指導を行った。

- ・実施回数 9回
- ・参加延べ人数 49人

イ チャレンジ運動教室

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 14回
- ・参加延べ人数 7人

4 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）等を行った。（数値は本庁健康増進課で一括計上）

- ・集団健診実施回数 10回
- ・集団健診実施場所 藤岡保健福祉センター

5 結核検診事業

結核の早期発見、早期治療を図るため、医療法人宇都宮健康クリニックに委託し、胸部レントゲン検査を各会場で行った。

- ・実施会場数 45会場
- ・受診者数 2,139人

6 健康づくり事業

(1) 健康教育

ア 血糖まる分かり教室（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドローム及び糖尿病の予防や改善のための栄養・運動指導を行った。

- ・実施回数 9回
- ・参加延べ人数 34人

イ チャレンジ運動教室（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 14回
- ・参加延べ人数 433人

ウ 歯周疾患病予防教育

歯の健康やセルフケアの基本方法等について指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加延べ人数 75人

エ 出前講座

地域や団体において、生活習慣病予防を図るための健康講話等を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加延べ人数 33人

(2) 健診結果説明会

- ・実施回数 15回
- ・参加人数 86人

(3) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 16回（定期ほか7回含む）
- ・延べ相談者数 27人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(4) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 3回（定期ほか1回含む）
- ・延べ相談者数 4人
- ・内容 管理栄養士による個別指導
- ・指導内訳 (単位：件)

糖尿病	4	高血圧	3	脂質異常症	-
肝臓病	-	腎臓病	-	その他	1

7 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解することや自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

(1) 健康教育

- ・内容 ころ元気に過ごすコツ
- ・参加人数 13人

(2) 啓発

各種事業時において、自殺予防相談窓口や自殺予防のための内容を含めたチラシ、パンフレット及びポケットティッシュ等啓発物品を配布した。

8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知により接種勧奨し、各協力医療機関において個別接種で実施した。

BCG、小児肺炎球菌、インフルエンザ菌b型（ヒブ）、三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）、四種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風、不活化ポリオ）、不活化ポリオ、麻しん風しん（混合）、日本脳炎、二種混合（ジフテリア・破傷風）、子宮頸がん、高齢者インフルエンザ

(2) 任意予防接種

小児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチン、風しん予防緊急対策事業を各協力医療機関において希望者に実施した。

9 地域保健対策推進事業

(1) 健康まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、ふくしまつり及び産業祭に参加し地域における健康づくりを推進した。

ア ふくしまつり

- ・実施日 10月20日（日）
- ・場 所 藤岡公民館
- ・参加者 健康チェックコーナー 36人
咀嚼力チェック・PHテスト・ブラッシング指導 38人

イ 産業祭

- ・実施日 11月23日（土）
- ・場 所 藤岡総合体育館
- ・参加者 健康チェックコーナー 44人
咀嚼力チェック・PHテスト・ブラッシング指導 37人
減塩みそ汁試食コーナー 48人

(2) 食生活改善地区組織活動

栃木市食生活改善推進団体連絡協議会藤岡支部（会員数21人）では、地域住民を対象に、食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会などを行った。

- ・各講習会 5回
- ・参加人数 100人

(3) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問世帯数 156世帯
- ・保健師訪問指導延べ人数 403人

内訳

(単位：人)

精神保健	89	妊産婦	94	乳幼児	125	生活習慣病	16
新生児	7	低体重児	27	他の疾患	30	その他	15
心身障がい	-	結核	-				

10 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml 献血(人)	400ml 献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	15	2	10	-	12	3

11 藤岡保健福祉センター利用状況

(単位：人)

区分	会議室	検診ホール	調理実習室	その他	合計
利用者数	271	333	67	-	671

(当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。)

12 渡良瀬の里利用状況

利用者相互の交流と憩いの場として、福祉及び健康の増進を図り、入浴、カラオケ、グラウンドゴルフの利用できる施設として、指定管理者により運営しており利用状況は次のとおりである。

(1) 利用状況

・年度別利用者数

(単位：人)

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数	24,693	26,188	34,033

・開館日数 304日

・1日平均入場者 111人

・月別内訳

区分 月別	大人(一般)		回数券 利用 (人)	子供 (人)	障害者 (人)	グラウン ドゴルフ (人)	その他 (人)	計 (人)	開館 日数 (日)
	65歳 以上 (人)	64歳 以下 (人)							
4	1,287	246	252	32	270	130	321	2,538	25
5	1,591	249	290	36	287	77	229	2,759	27
6	1,355	207	284	55	268	136	510	2,815	26
7	1,492	238	244	103	255	179	355	2,866	26
8	1,593	213	308	82	315	6	315	2,832	27
9	1,446	157	368	63	242	79	289	2,644	25
10	1,819	166	354	41	286	92	286	3,044	27

11	1,543	174	385	49	269	140	209	2,769	26
12	1,478	134	344	24	254	98	307	2,639	23
1	1,747	159	412	38	254	36	283	2,929	23
2	1,441	176	386	34	220	96	329	2,682	23
3	2,053	224	483	69	306	80	301	3,516	26
計	18,845	2,343	4,110	626	3,226	1,149	3,734	34,033	304

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

- ・健康体操教室・・・・・・・・毎週金曜日（午前11時～午前12時）
- ・健康相談・・・・・・・・月1回

第5節 産業振興課

〔総括概要〕

今日の農業は、農業者の高齢化の進行、後継者不足による農家数の減少と共に、食料自給率の低迷、耕作放棄地の拡大等が進展し、農村の活力の低下など、農業を取巻く環境は非常に厳しい状況が続いている。そのため農業振興においては、土地利用型農業の推進と園芸作物の生産振興やPR等を実施した。担い手不足や耕作放棄地対策としては、地域農業担い手組織の育成事業により集落営農を推進した。また、産業祭の開催により生産者と消費者の交流を図った。さらに、県産農産物安全安心PR事業により消費拡大も図った。

林業は、地域の里山林の整備のため、県民税事業による藪の刈払いや、不用木の処分を行った。

農業農村整備については、農業基盤整備促進事業をはじめ、県単独農業農村整備事業や市単独かんがい排水事業等により、施設整備及び維持修繕を進め農業用排水路の適正管理に努めた。農地・水保全管理事業では、藤岡地域緑川地区で、地域の環境保全や施設の維持管理に地域住民が一丸となって取り組んだ。

また、農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止するために、西前原排水機場の維持管理及び運転を行ったほか、藤岡地域内4箇所の排水機場維持管理事業を実施した。

地籍調査事業については、部屋地区富吉、中根の各一部を実施し、国土調査法に基づき土地に関する調査測量を行い地籍簿、地籍図を作成した。これにより、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化に役立つことが期待される。

道の駅みかもについては、「休憩機能」「情報発信機能」「地域の連携機能」という3つの機能を併せ持つ施設であることから、地域情報等の発信に努め、農産物の高付加価値化と消費拡大による地域農業の所得向上を図り、かつ地域内の女性・高齢者の活躍の場を設け、都市と地域の住民が集い交わることにより、地域全体の活性化を図った。

商業関係については、中心市街地の空洞化や商業経営の低迷が大きな問題となっていることから、藤岡町商工会への育成事業補助金を交付した。

観光関係については、恵まれた自然環境と豊かな観光資源を有効に活用し、各種宣伝事業をはじめ、「第19回藤岡さくらまつり」、「渡良瀬バルーンレース2013」、などのまつり・イベントの開催に積極的に取り組んだ。

また、熱気球を利用した、大会やイベント等で栃木市のPRや観光振興及び地域の活性化を目的に、渡良瀬遊水地のシンボル谷中湖をイメージしたハート型熱気球の製作を行った。

平成24年7月に渡良瀬遊水地は世界的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録され、多様な動植物が生殖する自然の宝庫として知られ、遊水地の季節が織りなす風景が多くの人を魅了していることから、道の駅みかもに渡良瀬遊水地を紹介する観光案内看板を設置し、渡良瀬遊水地の魅力を紹介した。

渡良瀬遊水地は、熱気球などのスカイスポーツや各種レジャーの場として幅広く利用されているほか、四季折々の景色の撮影に県内外から多くの観光客が訪れ、みかも山公園と合わせて都会のオアシスとして定着している。

農林振興担当

1 経営所得安定対策

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、戸別所得補償制度の導入により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米の直接支払交付金

米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,622人
水稲生産実施計画書提出農業者数	1,189人
生産確定数量の計	4,346,425kg
作付確定面積(①)	86,410.4a
主食用等水稲作付面積の計(②)	83,575.6a
差引(①-②)	2,834.8a
水稲生産確定面積に対する主食用等水稲作付面積の割合(②÷①)	96.7%

(2) 水田活用の直接支払交付金

・戦略作物作付面積(交付対象面積) (単位:ha)

麦類	509.2
大豆	28.3
そば	0.5
飼料作物	29.6
新規需要米・加工用米	120.9

(3) 農政協力委員等会議の開催

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市藤岡町水田農業推進協議会との連携により推進員会議を開催した。

・会議の開催状況 (単位:人)

開催日	参加者数
5月16日(木)	52
6月20日(木)	62

2 農業経営基盤強化促進事業

(1) 経営改善支援活動事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する個人指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などを実施した。

- ・農業経営改善計画認定者数 79人

3 農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体の指導、育成及び支援を行った。

(1) 栃木市藤岡町認定農業者協議会補助金

相互連携を図り、効率的で安定した魅力ある農業経営、自らの経営改善の実践と藤岡地区の農業振興のために活動を行っている認定農業者協議会に対して助成を行った。

- ・補助額 260,000円

(2) 生産出荷組合補助金

地域内10の生産出荷組合の運営に対して助成を行った。

- ・補助額 126,000円

(3) 藤岡町農業公社補助金

藤岡町農業公社の人件費及び運営管理に対して助成を行った。

- ・補助額 10,208,147円

4 ふじおか産業祭事業

地域の農工商が連携し、地域の活性化と振興に寄与することを目的としたふじおか産業祭を開催した。

- ・実施日 11月23日(土)、24日(日) 午前9時～午後3時
- ・会場 藤岡総合体育館・藤岡遊水池会館駐車場
- ・来場者 11,000人

5 畜産振興事業関係

(1) 栃木市畜産振興協議会

畜産農家が連携し、家畜伝染病の疾病による損耗を防止し、畜産経営の安定を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

- ・事業主体 栃木市畜産振興協議会
- ・事業内容 各種予防接種の実施（牛コロナ予防接種、オーエスキー予防接種）
石灰及び消毒薬の配付

6 藤岡農産加工センター管理運営事業

地域農村のコミュニティづくりのため、藤岡農産加工センターの運営を行った。

- ・利用状況

利 用 団 体	利用日数（日）	利用人数（人）	備 考
藤岡町農産加工技術協力員会	17	117	菓子づくり
藤岡町農村生活研究グループ協議会	42	252	みそづくり
合 計	59	369	

7 わたらせふれあい農園管理運営事業

農園を低料金で貸出し、自然とふれあいながら農作業を行うことにより野菜に対する消費者の目を養い農業を知る機会を提供する農園の運営を行った。

- ・利用者数 22人
- ・貸出区画 48区画

8 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備を実施している。

- ・事業概要

事業名	実施箇所	事業量	事業概要及び事業費	備 考
通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林整備	藤岡町大田和及び都賀地内	3.5ha	藪化した里山林の刈払い等により野生獣が人里に近づきにくい環境を整備 事業費：175千円	事業主体：市

9 火入許可

病虫害駆除を目的としたしば焼等について、栃木市火入れに関する条例に基づき許可した。

- ・許可処理件数 1件

10 農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。

(単位：件)

件 名	件 数
耕作証明書	68
農家証明書	1
農家基本台帳の写し	18
耕作（農作業受委託）証明書	5
合 計	92

11 土地改良事業補助金

農業生産性の維持向上のため農業生産基盤整備に係る事業を行う土地改良区に対し支援をした。

(単位：円)

事業名	土地改良区（箇所） 工事内容	事業費	補助額
県単独農業農村整備事業	藤岡土地改良区（東谷津地区） 揚水機場 1箇所	11,098,000	6,103,000 内市負担額 (2,219,000)
	大岩藤土地改良区（太田地区） 排水路整備 L=163.6m U400×400	3,800,000	2,090,000 内市負担額 (760,000)
農業基盤整備促進事業	藤岡土地改良区（久々谷地区） 揚水機場 1箇所	12,400,000	1,240,000
市単独土地改良事業（かんがい排水）	藤岡土地改良区（部屋南部地区） 揚水管交換工事 φ150×38.5m	1,260,000	252,000
	藤岡土地改良区（巴波川西部地区） 揚水機場新設 1箇所	1,291,500	258,000
	藤岡土地改良区（巴波川西部地区） 揚水機ポンプ交換 1箇所	861,000	172,000
	藤岡土地改良区（新井地区） U字溝修繕 L=120m	973,350	194,000
	藤岡土地改良区（江川地区） U字溝改修 L=26m	766,500	153,000
維持管理適正化事業	藤岡土地改良区（葭立地区） 揚水機ポンプ、揚水管交換 1箇所	4,600,000	460,000

12 県営土地改良事業負担金

県が実施する土地改良事業に係る法定負担金（受益者負担金）を支出した。

- ・事業名 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業
- ・事業箇所 佐野市地区（界排水機場）
- ・事業内容 機場（排水機）工1式
- ・事業期間 平成22年度から平成25年度
- ・負担額 26,338円

13 農道維持管理事業

(単位：円)

工事名	工事箇所	工事内容	工事費
農道維持補修工事	藤岡	舗装工 L=110m W=2.6m	945,000
	部屋・富吉・赤麻	敷砂利工 L=513m W=1.9m～2.0m	772,800

	藤岡・甲	敷砂利工 L=581m W=1.8m~2.0m	850,500
--	------	----------------------------	---------

14 農地・水保全管理事業

非農業者も含めた地域住民の共同による農地・農業用水等の保全管理と農村環境向上等の活動に対し支援をした。

- ・共同活動支援 (単位：円)

活動組織名	協定期間			基礎支援				金額計
	締結年度	終了年度	交付期間	田 (825 円/10 a)		畑 (525 円/10 a)		
				面積(a)	金額	面積(a)	金額	
水と緑の里 みどりかわ	H19	H28	10年	4,341	358,133	227	11,917	370,050

15 藤岡排水機場維持管理補助金

土地改良事業により整備された排水機場について、効率的運営により地域内における生活の安全安心並びに農業生産の維持及び増進を図るため、維持管理に要する経費の一部を補助金として交付した。

- ・対象地区 藤岡土地改良区（部屋南部地区、巴波川西部地区、新井地区、東谷津地区）
- ・補助額 1,204,849 円

16 排水機場維持管理負担金

農業用施設及び住宅の湛水被害を防ぐため、土地改良事業により整備された排水機場の維持管理に要する経費の一部を、負担金として関係市町等に支出した。

(単位：円)

支出先市町等	対象施設	負担金
小山市	与良川水系排水機場	2,562,000
佐野市	界排水機場	169,204
板倉町	邑楽東部第一排水機場	120,000
渡良瀬川中央地区 水管理施設管理協議会	渡良瀬川中央地区水管理施設	28,800

17 西前原湛水防除事業

栃木市及び岩舟町にまたがる農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止し、農業経営の安定を図るため、西前原排水機場の維持管理及び運転を行った。

- ・運転回数 1回（4日間）
- ・ポンプ稼働時間 21時間31分

・事業費 4,619,938円

18 地籍調査事業

国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び面積に関する測量を行い、地籍図、地籍簿を作成した。

業 務 名	実施地区	業務概要	委託費(円)
部屋17地区 地積測定・複図作成業務	富吉の一部 24ha	地積測定及び計算 一式 複図作成22面×2部 44枚	367,500
部屋18地区 地籍調査測量及び境界復元 業務	中根・富吉 の各一部 35ha	地籍図根測量 一式 地籍細部測量 一式 境界再現測量 一式	4,410,000

19 道の駅みかも管理運営事業

(1) 売上等実績

売店名	客 数 (人)	売上額 (円)
農産物直売室「万葉の里」	184,016	206,887,960
物産館「こならの里」	87,925	80,540,737
農産物加工販売室「かあさんの台所」	24,074	11,316,475
地域食材供給室「レストランしもつけ」	68,699	51,097,100
計	364,714	349,842,272

(2) 主なイベント

イベント名	開 催 日
オープン7周年記念イベント	4月20日(土)・21日(日)
七夕飾り	7月1日(月)～8日(月)
夏まつり	8月11日(日)
オールタイムランみかも2013	10月20日(日)
お客様感謝祭	11月9日(土)・10日(日)
みかも山ウオーク	11月17日(日)

(3) 視察の受入：8団体

団 体 名	視 察 日	視 察 目 的
埼玉県桶川市	4月25日(木)	先進地視察
藤岡小学校 3年生	5月31日(金)	施設見学
赤麻小学校 3年生	6月5日(水)	施設見学
部屋小学校 3年生	6月10日(月)	施設見学
三鴨小学校 3年生	6月27日(木)	施設見学
茨城みどり農業協同組合	11月22日(金)	先進地視察
福島県伊達郡国見町	1月27日(月)	先進地視察

千葉県南房総市	2月7日(金)	先進地視察
---------	---------	-------

商工観光担当

1 商業振興

商工団体の育成及び助成

藤岡町商工会に対し助成を行った。

(単位：円)

名 称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
藤岡町商工会育成事業補助金	40,421,228	4,800,000	商工会事業助成

2 制度融資

経営安定関連保証(セーフティネット保証)認定状況

(中小企業信用保険法第2条第4項第1~8号)

保険法	適用事項	平成25年度	平成24年度	平成23年度
第1号	再生手続申立等関係	—	—	—
第2号	事業活動の制限関係	—	—	—
第3号	地域・業種関係	—	—	—
第4号	地域関係	—	—	—
第5号	業種関係	2	9	27
第6号	破綻金融機関関係	—	—	—
第7号	金融機関経営合理化関係	—	—	—
第8号	RCC譲渡関係	—	—	—
計		2	9	27

3 観光振興宣伝事業

藤岡地域は、四季折々の風景に富んだ広大な渡良瀬遊水地にあるウォータースポーツのメッカとして定着した谷中湖、万葉集に詠まれ自然景観に優れた三轟山を活用したみかも山公園、県内有数のサツマイモの産地など豊かな自然に恵まれている。

これらの観光資源を生かすために、観光パンフレット等を配布するとともに、各種観光キャンペーンを実施し、さらに、渡良瀬遊水地の自然の魅力を発見し紹介することを目的にフォトコンテストを行うなど、観光宣伝事業を積極的に展開し観光誘客に努めた。

(1) 広域観光推進事業

広域観光の充実を図るために、3市3町(栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町)による下都賀地区広域観光開発推進協議会の事業を実施した。

観光キャンペーンへの参加

「やすらぎの栃木路」東京フェア2013

- ・実施日 9月23日(月)
- ・場 所 新宿駅西口

4 観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、次の行事を実施した。

- (1) 第19回藤岡さくらまつり
 - ・実施日 4月6日（土）～7日（日）
 - ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
 - ・主 催 栃木市藤岡町観光協会
 - ・後 援 栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合ほか
 - ・来場者数 8,250人
- (2) 渡良瀬バルーンレース2013
 - ・実施日 4月5日（金）～7日（日）
 - ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
 - ・主 催 渡良瀬バルーンレース実行委員会
 - ・後 援 栃木市、国土交通省、(財)日本航空協会、栃木県ほか
 - ・来場者数 55,000人
- (3) Eボートレース2013渡良瀬大会
 - ・実施日 8月24日（土）
 - ・場 所 谷中湖（北ブロック）
 - ・主 催 Eボートレース渡良瀬大会実行委員会
 - ・後 援 国土交通省、小山市、古河市、野木町
 - ・参加者 415人
- (4) 第14回よさこい藤岡パレード
 - ・実施日 11月10日（日）
 - ・場 所 足利銀行藤岡支店～藤岡小学校校庭
 - ・主 催 よさこい藤岡運営委員会
 - ・後 援 栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合、栃木市観光協会ほか
 - ・参加者 847人（69団体）
- (5) 第14回渡良瀬遊水地フォトコンテスト
 - ・主 催 渡良瀬遊水地フォトコンテスト実行委員会
 - ・協 賛 (株)フジカラープロフォトセンターほか
 - ・後 援 下野新聞社ほか
 - ・賛 助 (一社)関東地域づくり協会
 - ・応募総数 634点（182名）
 - ・入賞作品 最優秀賞1点、優秀賞2点、準優秀賞3点、入選8点、特別賞8点
佳作30点
 - ・展示会場 藤岡スポーツふれあいセンターほか

5 熱気球購入事業

熱気球を利用して、大会やイベント等で栃木市のPRや観光振興及び地域の活性化を目指し、熱気球係留や熱気球教室を通じてスカイスポーツの普及啓発を図るために熱気球の製作を行った。

【形状】 ハート型

【大きさ】

- ・高さ約 23m、横幅約 20m、最大奥行約 15m、体積 2,550 m³
- ・バスケット 幅 1.4m、奥行き 1.0m、高さ 1.1m 大人 4～5名搭乗可能

6 渡良瀬遊水地観光案内板設置事業

平成24年7月に渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録され、国内外から注目されている渡良瀬遊水地の魅力を効果的にPRする目的で、道の駅みかもへ渡良瀬遊水地観光案内看板を設置し情報発信を行った。

また、藤岡駅前観光案内看板を更新し、渡良瀬遊水地を紹介する内容の充実を図った。

第 6 節 都市建設課

〔総括概要〕

都市建設課の主な分掌事務は、道路、橋りょう、河川水路及び公園の管理、整備、災害復旧、占用許可等に関する事務、市営住宅等の管理に関する事務、街路事業及び土地区画整理事業の施行に関する事務である。

公共物管理については、道水路敷等の適正管理に努めるため、私有地との境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、直営による早急な対応を実施したほか、常に安全で快適な道路の通行を確保するため、道路維持補修業務委託を藤岡地域全域において実施した。また、藤岡町都賀地内の道普請事業に伴う用地寄付受入のため、測量・用地調査業務委託を実施した。

河川管理については、堆積土砂の浚渫や除草のほか、洪水災害に備えるための樋管操作業務委託を実施した。また、自治会等における道路・水路の清掃などの愛護活動を支援することで、道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

公園管理については、藤岡地域内 26 か所の公園を安全で快適に利用できるよう公園の清掃、除草、遊具等の施設管理を行った。

市営住宅管理については、昭和 31 年度から昭和 57 年度にかけて建設した市営住宅 81 戸の建物等を良好な状態に維持するため、小破修繕工事等を実施した。

土地区画整理事業としては、藤岡町荒立北土地区画整理事業において、事業完了に向け、賦課金徴収等の事務処理を行った。

道路整備事業については、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上、または快適な生活環境の確保に資するため、藤岡町赤麻地内市道 F 3-61 号線をはじめ 3 か所の道路改良工事や、歩行者、自転車の安全を確保するため、藤岡町甲地内市道 F 32 号線の交通安全施設整備工事及び老朽化した舗装を修繕するため、藤岡町大前地内市道 F 6 号線ほか 7 か所の舗装修繕工事を実施した。

このほか地域の生活道路として、安全と円滑な通行を確保するため、藤岡町大田和地内市道 F 1-98 号線ほか 1 か所の測量設計業務を実施するとともに、藤岡町富吉・蛭沼地内市道 F 6 号線ほか 2 路線の道路改良事業の用地取得を行った。

管理担当

1 道路占用許可関係

(単位:件)

申 請 内 容	件 数
市道道路占用許可申請	65
占用廃止届	3
計	68

2 各種申請・手続関係

(単位：件)

内 容	件 数
境界確認申請	88
切絵図謄本交付・閲覧等申請	56
市有財産用途廃止申請	6
法定外公共物使用許可申請等	27
道路工事施工承認申請	4
放流同意申請書（道路・河川）	14
計	195

3 道路管理関係

(1) 道路維持管理業務委託

(単位：円)

委 託 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額
	町 名	路 線 名		
占用堤防除草業務	藤岡地域全域		除草業務	4,462,500
市道除草業務	藤岡町大田和ほか	F1-171号線ほか	除草業務	2,278,086
植栽剪定業務	藤岡町下宮ほか	F5-41号線ほか	植栽剪定	238,314
水路等清掃業務	藤岡町都賀ほか	F1-35号線ほか	清掃業務	1,135,867
道路維持補修業務等	藤岡地域全域		道路維持補修等	5,034,150
	計			13,148,917

(2) 道普請事業業務委託

(単位：円)

委 託 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額
	町 名	路 線 名 等		
測量・用地調査業務	藤岡町都賀		測量・用地調査	2,898,000

(3) 河川・水路管理業務委託

(単位：円)

委 託 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	金 額
	町 名	河 川 名 等		
樋管操作業務	藤岡町藤岡ほか	篠山第一樋管ほか	樋管操作	2,070,328

(4) 工事用原材料

(単位：円)

材 料 名	単 位	数 量	金 額
常温合材	t	75.9	1,305,201
切込碎石・川砂	m ³	140	306,141
側溝蓋	枚	156	435,929
乳 剤	ℓ	3,020	421,744
その他市道補修用資材			584,971
	計		3,053,986

4 都市公園等管理関係

(1) 施設の維持補修

(単位：円)

補修内容	金額
遊具修繕（都賀児童公園・天国府公園）	609,000
トイレ、フェンス等修理（太田ふれあい公園 ほか）	306,548
計	915,548

(2) 業務委託

(単位：円)

業務名	公園名	金額
公園管理業務 (清掃、除草、施設の管理保全)	大田和ふれあい公園、蛭沼ふれあい公園、都賀ふれあい公園、新波ふれあい公園、部屋ふれあい公園、太田ふれあい公園	1,020,000
	松葉児童公園、荒立児童公園、リーベタウン公園、東原公園、都賀児童公園、西前原公園	792,000
	部屋南部桜つつみ公園	250,000
	新町児童公園、上町児童公園、大崎児童公園、江川児童公園、底谷児童公園	850,000
植栽剪定業務	松葉児童公園 ほか	1,438,582
除草等業務	部屋南部桜つつみ公園 ほか	2,731,397
公園遊具保守点検業務	松葉児童公園 ほか	90,090
公園施設補修業務等	大崎児童公園 ほか	730,170
計		7,902,239

(3) 各種許可申請及び届出

(単位：件)

内容	件数
公園内における行為の許可申請	1
占用許可申請	3

5 公営住宅管理関係

(1) 市営住宅管理戸数

(単位：戸)

種別構造 団地名	木造	簡易耐火	計
	平屋建	平屋建	
藤岡都賀市営住宅	-	4	4
藤岡荒立市営住宅	-	40	40
藤岡南山市営住宅	25	4	29
藤岡仲町市営住宅	4	4	8
計	29	52	81

退去戸数	1
入居戸数	-

(2) 市営住宅維持管理費

- ・市営住宅4団地の小破修繕工事 8件 269,955円
- ・除草等業務委託 5件 281,372円

都市建設担当

1 土地区画整理事業関係

藤岡町荒立北土地区画整理事業

(1) 事業概要

- ・面積 10.9ha
- ・組合員数 宅地所有者 99人
- ・事業期間 平成8年度（平成8年7月30日）～平成26年度
- ・総事業費 901,339千円
- ・減歩率 35.67%（公共21.66%、保留地14.01%）
- ・計画人口 1,000人（90人／ha）

(2) 事業経過

- ・組合設立認可 平成8年7月1日（公告日 平成8年7月30日）
- ・仮換地指定年月日 平成10年10月5日
- ・換地処分公告日 平成24年11月9日

2 藤岡駅前広場整備事業関係

(1) 業務委託

業務名	委託箇所	委託内容	委託料(円)	備考
	町名			
権利調査等業務	藤岡町藤岡地内 (藤岡駅東地区)	権利者確認調査等	357,000	
計			357,000	

3 道路工事関係

(1) 道路改良工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
藤岡町赤麻	F3-61号線	151.0	6.0	-	19,666,500	
藤岡町都賀	F1-65号線	87.2	5.0	-	6,384,000	
藤岡町藤岡	F5-24号線	112.3	5.0	-	8,484,000	
計					34,534,500	

(2) 交通安全施設整備工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
藤岡町甲	F32号線	134.1	2.5	-	8,484,000	
計					8,484,000	

(3) 舗装修繕工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
藤岡町赤麻	F6号線	124.0	7.5	-	8,725,500	
藤岡町甲	F5号線	142.0	7.5	-	8,505,000	
藤岡町赤麻	F40号線	90.0	3.9	-	1,963,500	
藤岡町都賀	F1-79号線	128.0	2.0	-	1,932,000	
藤岡町太田	F1-114号線	443.0	2.2	-	2,467,500	
藤岡町藤岡	F5-23号線	130.5	7.0	-	2,362,500	
藤岡町下宮	F5-40号線	127.4	2.6	-	1,722,000	
藤岡町藤岡	F5-24号線	271.6	5.0	-	6,615,000	
計					34,293,000	

4 業務委託関係

道路整備事業業務委託

業務名	委託箇所		委託内容	委託料(円)	備考
	町名	路線名			
測量設計	藤岡町太田	F21・1-120号線	用地・物件調査	3,759,000	
測量設計	藤岡町大田和	F1-98号線	用地・物件調査	2,856,000	
計				6,615,000	

5 用地取得関係

用地取得箇所		用地 (筆)	補償 (件)	金額(円)	備考
町名	路線名				
藤岡町富吉・蛭沼	F6号線	28	3	32,329,270	
藤岡町富吉	F3-162号線	1	-	384,060	
藤岡町都賀	F1-65号線	2	1	3,151,483	
藤岡町藤岡	F5-24号線	2	1	970,130	
計				36,834,943	

6 登記関係

(単位：筆)

内 容	筆 数
分 筆 (代 位)	32
地 積 更 正 (代 位)	6
名義人表示変更・更正 (代 位)	2
相 続 (代 位)	4
所 有 権 移 転	33
計	77

第 1 1 章 都賀総合支所

第 1 節 地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域協議会、広報広聴、自治会、庁舎・自動車・パソコン等の管理、消防関係である。

地域協議会については、地域の意見を市政に反映させるために、11回開催した。また、地域協議会研究会の事務局として、市内及び県外施設の視察研修等の支援を行った。

広報広聴事業については、広報紙等の各戸配付物及び班内回覧物を、月2回、自治会長宅への送付を行うとともに、市民参加のまちづくりを推進するため、市民から直接意見や提案を聴く、まちづくり懇談会ふれあいトークを開催した。

自治会事業については、都賀地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

庁舎・共用車・パソコン等の管理については、適正な維持管理に努め更なる利便性の向上を図った。

消防事業については、夏季点検及び操法大会を実施し、消防体制の万全を図った。

地域自治担当

1 地域協議会関係

地域自治区制度による都賀町地域協議会は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1) 委員（任期 平成 25 年 4 月 8 日～平成 27 年 3 月 31 日）

区分	No.	氏名	備考
1号委員	1	田中 光重	都賀地域自治会連合会
	2	早乙女 マツエ	都賀町女性団体連絡協議会
	3	三室 一男	都賀町商工会
	4	糸谷 一郎	下野農業協同組合
	5	舘野 和男	栃木市社会福祉協議会
	6	山田 加代子	都賀地区民生委員児童委員協議会
	7	角田 央視	栃木市PTA連合会
	8	千葉 康智	栃木市体育協会
	9	飯島 マサ子	都賀町農村生活研究グループ協議会
2号委員	10	安生 孝章	学識経験を有する者

	11	金森 良枝	
	12	根本 勤	
3号委員	13	佐山 和子	公募に応じた者
	14	石本 俊光	
	15	田中 洋一	

(2) 開催内容

回数	開催日時、場所	内 容
第1回	4月26日(金) 午後1時43分～ 都賀総合支所第3会議室	報告事項等 <ul style="list-style-type: none"> ・都賀地域に関係する平成25年度主要事務事業について ・栃木市橋梁長寿命化修繕計画について ・栃木市地域自治制度検討委員会における新たな地域自治制度検討状況の中間報告について ・指定管理者制度の導入についての意見に対する回答について ・事務一元化の状況に関する資料に対する質問の回答について ・栃木市上下水道事業調査委員会委員の推薦について
第2回	5月24日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	報告事項等 <ul style="list-style-type: none"> ・栃木市市民会議条例の制定について ・栃木市観光基本計画策定について ・栃木市都市計画マスタープランの中間報告について ・栃木市景観計画の中間報告について ・栃木市斎場再整備検討委員会先進地視察の報告 ・第4回栃木市上下水道事業調査委員会の報告
第3回	6月28日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	報告事項等 <ul style="list-style-type: none"> ・第7回栃木市斎場再整備検討委員会の報告 ・都賀町地域協議会研究会の報告
第4回	7月26日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	意見聴取事項 <ul style="list-style-type: none"> ・栃木市都市計画マスタープランの地域別構想(案)について ・栃木市景観計画に係る良好な景観形成のための行為の制限と景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針について 報告事項等 <ul style="list-style-type: none"> ・第8回斎場再整備検討委員会の報告 ・都賀地域協議会研究会の報告

第5回	8月23日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	協議事項 ・市長に提出する意見書について 報告事項等 ・第9回斎場再整備検討委員会の報告 ・第5回栃木市上下水道事業調査委員会の報告 ・栃木市子ども・子育て会議委員の推薦について ・栃木市自治基本条例に基づく栃木市市民会議委員の推薦について
第6回	10月25日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	報告事項等 ・第10回斎場再整備検討委員会の報告 ・第2回栃木市地域自治区地域協議会連絡会の報告 ・地域協議会研究会から提案された意見書案に対する回答について ・地域協議会先進地視察研修について ・第1回栃木市市民会議の報告
第7回	11月22日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	意見聴取事項 ・組織機構の見直しについて ・栃木市健康増進計画について ・栃木市新たな地域自治制度基本構想(素案)について 報告事項等 ・第1回栃木市子ども・子育て会議の報告 ・第11回栃木市斎場再整備検討委員会の報告
第8回	12月25日(水) 午後2時～ 都賀総合支所第3会議室	意見聴取事項 ・栃木市人権教育・啓発推進行動計画の策定について ・栃木市観光基本計画の素案について 報告事項等 ・栃木市斎場再整備基本計画(案)について ・第6回・第7回上下水道事業調査委員会の報告 ・第2回栃木市市民会議の報告
第9回	1月24日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	意見聴取事項 ・栃木市食育推進計画の素案について ・とちぎ市農業・農村男女共同参画ビジョン(案)について 報告事項等 ・第8回上下水道事業調査委員会の報告 ・第5回栃木市都市計画マスタープラン及び栃木市景観計画検討委員会の報告

第10回	2月28日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	意見聴取事項 ・都賀町区長の選任について 報告事項等 ・蔵タク・ふれあいバスの利用状況及び本格運行の実施について ・栃木市市民会議第3回全体会の報告 ・第9回栃木市上下水道事業調査委員会の報告 ・第2回栃木市子ども・子育て会議の報告 ・平成26年度地域協議会開催日程について
第11回	3月28日(金) 午前10時～ 都賀総合支所第3会議室	報告事項等 ・平成23・24年度に地域協議会等から提出された意見に対する市の対応状況について ・都賀町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答書について ・合併時に「合併後再編」としている事務事業の調整状況について ・地域協議会へ意見を聴く事務事業(Aランク)について ・第12回栃木市斎場再整備検討委員会の報告 ・第3回栃木市子ども・子育て会議の報告

(3) 地域協議会だよりの発行

地域協議会の協議内容を市民にお知らせするため、都賀地域の話題も交えた「地域協議会だより」を発行した。

- ・発行号数 第13号(6月)、第14号(7月)、第15号(9月)、第16号(11月)、第17号(1月)、第18号(3月)
- ・体裁 A3版 両面刷り 業者委託(カラー)
- ・発行部数 各4,000部

(4) 先進地視察研修

先進的な地域自治体の仕組みや地域協議会の活動を視察することで、今後の地域協議会の運営及び新たな地域自治制度への移行を視野に入れた、地域の発展に対する取り組みの参考とするため、また、住民主導のまちづくりの成功事例について実際に視察し、ノウハウを学ぶことで、都賀地域におけるグリーンツーリズム事業や地域の活性化に役立てるため、下記の2自治体において先進地視察研修を実施した。

- ・視察地 新潟県上越市、長野県上高井郡小布施町
- ・日程 11月18日(月)～19日(火)
- ・参加者 委員、区長、事務局(計13人)

2 広報関係

自治会配布物を、自治会長等を通して各戸配布及び班内回覧を行った。

・月2回 全24回

3 広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見や提案などを聴き、市民の声を今後の市政に活かす目的で実施した。

(単位：人)

回数	実施日	開催場所	事前質問数	フリートーク数	参加者数
1	10月17日(木)	合戦場小学校体育館	8	4	33
2	10月18日(金)	家中小学校体育館		3	26
3	10月21日(月)	赤津小学校体育館		3	38
合 計			8	10	97
			18		

4 総合支所会議

総合支所長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

- ・開催回数 12回
- ・内 容 審議事項 -件
報告事項 4件
連絡事項 168件

5 自治会関係

自治会については、都賀地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1) 自治会活動の推進

ア 単位自治会の把握

(ア) 自治会役員名簿

次年度役員名簿（自治会長、公民館長等）の取りまとめ

- ・受付期間 平成25年3月～4月
- ・対象自治会 30自治会

(イ) 班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

- ・受付期間 平成25年3月～4月
- ・対象自治会 30自治会

イ 事務用品の配付

- ・配付日 2月20日(木)
- ・配付数 28種類

(2) 都賀地域自治会連合会（事務局）

ア 組織構成

(ア) 組織

- ・単位自治会 30自治会

(イ) 役員

- ・会長1人、副会長3人、監事2人（総会で選出、任期1年）

イ 会議

(ア) 第1回会議

- ・実施日 4月12日(金)
- ・内容 役員を選出、事業計画及び予算について

(イ) 第1回役員会

- ・実施日 4月12日(金)
- ・内容 各種委員の推薦について

(ウ) 第2回役員会

- ・実施日 1月7日(火)
- ・内容 平成26年度広報紙等の自治会配布について

(エ) 第3回役員会

- ・実施日 3月13日(木)
- ・内容 事業及び決算報告について

(オ) 第2回会議

- ・実施日 3月24日(月)
- ・内容 事業及び決算報告について

ウ 主な事業

(ア) 自治会長等視察研修

- ・実施日 9月30日(月)
- ・場所 茨城県原子力オフサイトセンター、環境放射線監視センター
- ・出席者 自治会長等18人

(イ) 栃木市自治会連合会役員会関係

役員4人が役員会（5回）及び視察研修会に出席

総務担当

1 文書発送

後納郵便発送件数 63,588件

2 支所庁舎内の業務委託

業 務 名	委託金額（円）
都賀総合支所庁舎清掃等業務委託	472,500
その他業務委託件数 11件	1,425,579

3 支所庁舎内の修繕工事等

工 事 名	工事金額（円）
都賀総合支所トイレ配管修繕及び小便器取替修繕工事	537,600

4 共用車管理状況

区 分	数 量（台）
普通乗合（大型バス 50人）	1
普通乗合（中型バス 25人）	1
普通乗用	2
小型乗用	3
軽乗用	2
普通貨物	1
小型貨物	3
軽貨物	1

5 パソコンの整備状況

区 分	課 名	パソコン（台）
区長、支所長		2
都賀総合支所	地域まちづくり課	12
	税務課	10
	生活環境課	12
	健康福祉課	16
	産業振興課	9
	都市建設課	7
都賀教育支所		14
その他		13
合 計		95

6 行政財産使用料

区 分	件数（件）	数 量	収入金額（円）
庁舎1階廊下（販売）	25	延べ102 m ²	2,500
東京電力株（電柱）	1	10本	15,000
東日本電信電話株（電柱）	1	1本	1,500
シルバー人材センター都賀事業所（バス車庫2階等）	1	200.44 m ²	30,000

郵便差出箱敷地	1	2 か所	840
合 計	29		49,840

7 普通財産の管理等に関する事務

普通財産の貸付

区 分	件数 (件)	面積 (㎡)	収入金額 (円)
市有地 (都賀地域)	3	3,088.03	609,000
自動販売機設置 (建物)	1	-	259,807
合 計	4	3,088.03	868,807

8 消防関係

(1) 配置人員

都賀方面隊

(()) の数字は内数 単位：人)

分団別	階級	副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
	本部分団	定 員	1	(1)	2	1	1	1	1	2
	実 員	1	(1)	2	1	1	1	1	2	9
第1分団	定 員	-	-	-	1	1	2	4	20	28
	実 員	-	-	-	1	1	2	4	20	28
第2分団	定 員	-	-	-	1	1	1	2	13	18
	実 員	-	-	-	1	1	1	2	13	18
第3分団	定 員	-	-	-	1	1	1	2	13	18
	実 員	-	-	-	1	1	1	2	13	18
第4分団	定 員	-	-	-	1	1	2	4	20	28
	実 員	-	-	-	1	1	2	4	20	28
合 計	定 員	1	(1)	2	5	5	7	13	68	101
	実 員	1	(1)	2	5	5	7	13	68	101

(2) 消防車等の態勢

都賀方面隊

区分		種 別	車 名	年 式
本部分団		指 令 車	ホ ン ダ	平成 25 年
第 1 分団	第 1 部	小型動力ポンプ	ラビット	平成 11 年
			トヨタ	平成 11 年
	第 2 部	普通ポンプ車	いすゞ	平成 15 年
第 2 分団		普通ポンプ車	いすゞ	平成 25 年

第3分団		普通ポンプ車	いすゞ	平成10年
第4分団	第1部	普通ポンプ車	いすゞ	平成14年
	第2部	小型動力ポンプ	ラビット	平成11年
			トヨタ	平成11年

(3) 都賀方面隊の活動状況

ア 夏季点検の実施

消防団員の士気高揚及び規律保持、消防体制の万全を図ることを目的とし、夏季点検を実施した。

- ・実施日 7月28日（日）
- ・会場 都賀市民運動場

イ 操法大会の実施

消防団員の消防技術の向上を図ることを目的とし、操法大会を実施した。

- ・実施日 7月28日（日）
- ・会場 都賀市民運動場

(4) 都賀方面隊役員会

開催日	場 所
4月19日(金)	都賀総合支所 別館大会議室
6月12日(水)	都賀総合支所 別館大会議室
10月2日(水)	都賀総合支所 別館大会議室
1月22日(水)	都賀総合支所 別館大会議室
3月7日(金)	都賀総合支所 別館大会議室

(5) 各種団体の運営支援

栃木市都賀婦人防火クラブの事務局として、運営の支援を行った。

第2節 税務課

〔総括概要〕

我が国の経済は、政府の経済政策を背景にした株高や円安、東京オリンピックの開催決定等が好材料となり、大企業を中心に賃金の上昇や設備投資の増加、個人消費の拡大などが聞こえ始めており、長引くデフレ及び円高から脱却し雇用や所得の拡大につなげようとする動きが現れ、景気回復に明るい兆しが見えてきている。しかし、新興国の景気減速、国の財政再建等景気減速の要因となる問題等も多々あり、地方での回復感が得られないなどまだまだ予断を許さない状況である。

このような中、税務行政を取り巻く環境は、震災復興の財源や社会保障制度改革のための増税が行われるなど厳しい状況下であり、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

資産税関係では、巡回調査を行い、新增築家屋・滅失家屋・土地の現況把握に努めるとともに、償却資産未申告事業者に対する催告等の申告指導を実施した。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通しての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行うとともに、電話催告員による現年度滞納者への電話催告も行い、加えて全庁的な取組として課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保巡回訪問催告、休日夜間納税相談窓口の開設など、税収確保へ向けた取組を展開した。

また、市の債権を適正に管理回収するため、債権管理に関する職員研修や弁護士による法律相談を実施するとともに、栃木市債権回収対策本部会議を開催し、未収債権の回収計画の策定を行った。

市民税担当

1 諸証明等の交付（都賀地域分）（単位：件）

区 分	件・冊・枚数		摘 要
	有 料	無料(公用等)	
諸 証 明	2,035	88	<ul style="list-style-type: none"> ・納税、所得及びその他の証明 1件につき200円 ・土地及び建物の評価証明 1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用家屋証明 1件につき1,300円
公簿閲覧	359	123	
計	2,394	211	

2 市民税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の業務については、本庁市民税課に一括して掲載。

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

収税担当

1 差押（参加差押含む）（上段：市全体/下段：都賀地域）（単位：件）

差 押 物 件	年度当初	差 押	解 除	年度末
不 動 産	158	17	7	168
	5	-	-	5
自 動 車	8	2	4	6
	-	-	-	-
電話加入権	7	-	1	6
	-	-	-	-
債権その他	208	602	489	321
	7	2	2	7
計	381	621	501	501
	12	2	2	12

※年度当初件数には、地方税法第48条による県からの引継ぎ件数も含む

2 交付要求（上段：市全体/下段：都賀地域）（単位：件）

年度当初	要 求	終 結	年 度 末
82	70	62	90
12	3	6	9

3 催告書発送及び納付状況（上段：市全体/下段：都賀地域）

月 日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月12日（金）	1,960	1,410	23,625,904
	179	—	—
6月21日（金）	4,736	1,659	25,900,927
	270	—	—
10月25日（金）	3,883	1,505	31,665,009
	315	—	—
1月24日（金）	2,485	1,448	27,975,775
	271	—	—
計	13,064	6,022	109,167,615
	1,035	—	—

4 休日納税相談窓口（上段：市全体/下段：都賀地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実 施 日	納付件数(件)	納 付 額（円）
第1回	4月20日（土）	58	903,400
		4	66,200
第2回	6月30日（日）	66	581,800
		13	36,700
第3回	11月 2日（土）	62	972,200
		3	26,900
第4回	2月 2日（日）	116	2,832,000
		30	555,800
計		302	5,289,400
		50	685,600

5 市税等収納員による徴収事業〔上段：市全体/下段：都賀地域（西方地域を含む）〕

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数(件)	徴収金額(円)	口座振替(件)	納付指導(件)
6,951	212,305,180	68	3,485
947	26,566,280	-	589

6 市税等徴収強化事業（上段：市全体／下段：都賀地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間 12月 6日（金）～24日（火）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
1,342	147	4,829,420
155	31	1,595,200

第3節 生活環境課

〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次のような業務を行った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付審査、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

また、旅券事務については、一般旅券の発給申請の受付及び交付事務を行った。

国民健康保険事業については、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業については、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業については、市民の保健の向上と福祉の増進を図るため、重度心身障がい者、こども（中学校3年生まで）、妊産婦及びひとり親家庭に対して医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担の軽減を図るため保険適用外治療費の一部を助成した。不育症治療を受けている夫婦への助成制度についても新設されたが、補助申請はなかった。

国民年金事業については、法定受託事務として各種届出の受理・進達を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

生活環境交通関係では、大気、水、騒音、におい等に係る公害の発生防止とその対策に努めたほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化及び資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、不法投棄監視員による不法投棄の監視、不法投棄ごみの回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のための市民意識の啓発推進に努めた。

交通安全については、市民総ぐるみ運動をはじめとして、カーブミラーの設置や交通安全運動を強力に推進するとともに、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯については、防犯灯の設置や防犯活動等に関する各種事務事業を実施した。

住民担当

1 戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数 171件（出生83件、婚姻16件、死亡26件等）

2 窓口事務

(1) 窓口届出処理件数

(単位：件)

処 理 事 項		件 数	処 理 事 項	件 数
戸籍届		171	死体埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	-
住民異動届		631		
計		802	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	-
印鑑	登 録	344		
	廃 止	151	死産届	-
計		495	計	-
			合 計	1,297

(2) 謄抄本証明書等交付件数

種 別		件数(件)	金額(円)	種 別		件数(件)	金額(円)
戸 籍	全部事項証明	1,179	530,550	住 民 票	世帯全員	1,230	246,000
	個人事項証明	399	179,550		個 人	3,292	658,400
	除籍謄本	714	535,500		証 明	130	26,000
	除籍抄本	12	9,000		閱 覧	-	-
	戸籍証明	15	5,250		年金現況証明	-	-
	受理証明	11	3,850		戸籍の附票	88	17,600
	廃棄証明	-	-		公 用	15	-
	出産証明	-	-		広 域	3	600
	不受理証明	-	-		住基カード(有料)	-	-
	公 用	55	-		住基カード(無料)	11	-
	計	2,385	1,263,700		計	4,769	948,600
証 明 書	印鑑証明	3,720	744,000	そ の 他	印鑑登録	344	68,800
	諸証明	16	3,200		印鑑登録廃止	-	-
	身分証明	84	16,800		臨時運行許可証	294	220,500
	住居表示証明	-	-		労基証明	-	-
	公 用	27	-		人口統計	-	-
	選挙証明	-	-		公的個人認証	3	1,500
	計	3,847	764,000		計	641	290,800
合 計				11,641 件		3,267,100 円	

(3) 斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種 類	区 分		件 数 (件)		金 額 (円)
齋 場	市 内	大 人	24	25	-
		小 人	1		
		死産児	-		
	市 外	大 人	-	-	-
		小 人	-		
		死産児	-		
エ ナ		-	-	-	
計			25	-	
霊きゆう車	往 路	市 内	25	108,000	
		市 外	-	-	
	帰 路	市 内	23	33,000	
		市 外	-	-	
計			48	141,000	
待 合 室	市 内	24	69,000		
	市 外	-	-		
計			24	69,000	
合 計			97	210,000	

(4) (1)～(3)のうち延長窓口処理件数 (単位：件)

種 別	処理件数
戸籍謄抄本等交付	4
住民票写し等交付	21
印鑑登録証明書交付	13
印鑑登録	6
戸籍届	-
住民異動届	1
齋場、霊きゆう車使用許可証交付	-
臨時運行許可証交付	4
旅券の交付等	15
窓口及び電話による相談、問合わせ等	5
合 計	69

3 中長期在留者住居地届出等事務

窓口届出等処理事務件数

(単位：件)

件 名	件数	件 名	件数
新規上陸後の住居地届出	19	居住地の変更届出 (転入)	13

資格変更等に伴う居住地届出	-	居住地の変更届出（転居）	26
特別永住者の居住地届出	-	特別永住者居住地の変更届出（転入）	-
特別永住者証明書の交付	-	特別永住者居住地の変更届出（転居）	-
法務省通知	-	市町村通知	-
合 計			58

4 赤津郵便局証明発行委託件数 (単位：件)

種 別	件 数
戸籍謄抄本等交付	26
住民票写し等交付	95
印鑑登録証明書交付	94
合 計	215

5 一般旅券申請・交付件数 (単位：件)

	申 請	交 付
4月	4	3
5月	5	5
6月	14	11
7月	17	15
8月	18	17
9月	8	11
10月	15	14
11月	5	6
12月	8	4
1月	10	10
2月	6	11
3月	6	6
合計	116	113

保険医療担当

1 国民健康保険の給付等に係る申請の受付に関すること

(1) 高額療養費の受付状況 (単位：件)

高額療養費受付件数	一 般	484
	退職者	27
限度額適用認定証（標準負担額減額認定証を含む）		166

(2) 療養費の受付状況

・療養費受付件数 68 件

(3) 出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数 - 件

(4) 葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数 22 件

(5) 人間ドック検診の受付状況 (単位：件)

人間ドック受付件数	一般ドック	62
	脳ドック	1

(6) 医療費通知の発送状況

回数	対象月	件数(件)	発送月
1	平成 24 年 12 月・平成 25 年 1 月診療分	1,779	6 月
2	平成 25 年 2 月・平成 25 年 3 月診療分	1,775	8 月
3	平成 25 年 4 月・平成 25 年 5 月診療分	1,778	10 月
4	平成 25 年 6 月・平成 25 年 7 月診療分	1,761	11 月
5	平成 25 年 8 月・平成 25 年 9 月診療分	1,747	1 月
6	平成 25 年 10 月・平成 25 年 11 月診療分	1,751	3 月
合 計		10,591	

2 後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数 (単位：件)

申請書類	件数
資格関係届出	134
高額療養費申請	139
その他の療養費申請	32
葬祭費申請	81
被保険者証明等再交付申請	90
合 計	476

3 医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること

資格関係等受付件数 (単位：件)

種 別	件 数
重度心身障がい者医療費助成	53
こども医療費助成	339
妊産婦医療費助成	114
ひとり親家庭医療費助成	26

4 不妊治療費補助金及び不育症治療費補助金に関すること

(1) 不妊治療費補助金

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額（10万円を限度に通算5回）を補助するため、窓口で申請受付等を行った。

・補助申請受付件数 3件

(2) 不育症治療費補助金

不育症治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から他の制度による給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額（1年度30万円を限度）を補助するため、窓口で申請受付等を行った。

・補助申請受付件数 - 件

5 国民年金に係る申請等受付に関すること

(1) 諸届の受理件数 (単位：件)

種 別	件 数	種 別	件 数
新規取得届	61	転居届	39
新規取得申出	-	氏名変更届	20
再取得届	160	訂正・取消・不在	2
再取得申出	1	転出届	46
付加年金取得届	6	法定免除該当届	9
付加年金喪失届	-	法定免除消滅届	-
資格喪失届	82	手帳再交付届	2
資格喪失申出	-	種別変更届	46
死亡届	-	その他	5
転入届	28	合 計	507

(2) 免除申請受理件数 (単位：件)

種 類	件 数
免除・納付猶予申請	371
学生納付特例申請	45

(3) 国民年金請求受理件数 (単位：件)

給付種類	件数
老齢基礎年金	7
障害基礎年金	5
遺族基礎年金	-
寡婦年金	-
死亡一時金	1
未支給年金	-
老齢福祉年金	-
合 計	13

(4) 月平均相談件数

(単位：件)

相談の内訳	件数
来訪相談	11
電話相談	3
文書相談	-
合計	14

生活環境交通担当

1 環境基礎調査事業

地下水水質調査

都賀地内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 12か所
- ・調査月日 3月10日(月)
- ・調査項目 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩化物イオン、有機物、pH値、臭気、味、色度、濁度、一般細菌、大腸菌、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、マンガン、鉛、カドミウム、ヒ素、六価クロム(17項目)

2 聖地公園墓所使用許可状況

(単位：区画)

種別及び面積	造成数	許可数
第1種 6㎡	441	441
第2種 10㎡	22	22
合計	463	463

3 公害関係

(1) 大気関係

大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	-	-	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(2) 水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	-	1	-	1
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(3) 騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	-	-	-	-	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-	-

(4) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	-	-	-	-	-
県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-	-

(5) その他

公害苦情受付件数 (単位：件)

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
3	-	1	-	2	-	1	7

4 栃木市都賀地域クリーン推進員事業

地域クリーン推進員会の協力を得て、美化キャンペーン等を実施した。

- ・不法投棄監視及びごみ収集ステーションの管理をした。
- ・保健委員の委嘱状況 32人

5 一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみは月1回、資源物のうち、紙類は月2回、空カン・空ビンは月2回、ペットボトル・食品用トレイは月1回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

また、平日の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1) ごみ収集搬入量 (単位：t)

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
2,706.79	276.01	242.74	132.12	41.70	64.42	3,463.78

(2) もやすごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	合 計
29.77	2,283.91	393.11	2,706.79

(3) もやさないごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	合 計
1.89	241.69	32.43	276.01

(4) 資源物の収集搬入状況 (単位：t)

種 類	直 営	委 託	直接搬入	合 計
紙 類	-	242.74	-	242.74
空カン・空ビン	-	131.76	0.36	132.12
ペットボトル・トレイ	-	41.49	0.21	41.70
合 計	-	415.99	0.57	416.56

(5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直 営	委 託	直接搬入	減 免	合 計
3.13	5.04	56.25	-	64.42

(6) 犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合 計
2	35	52	89

(7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量 (単位：k1)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合 計
320.32	1,216.26	1,536.58

6 環境美化対策事業

環境美化キャンペーンの実施

全自治会一斉に市民が一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

- ・実施日 5月26日(日)
- ・場 所 都賀地域内各地
- ・内 容 ごみ拾い
- ・参加人数 1,832人
- ・回収数量 1,354袋 670kg

7 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、不法投棄監視員により地域内の巡回パトロールを行った。

・地域別不法投棄物回収件数

(単位：件)

区分 地域	生活系 廃棄物	家電 4品目	電化 製品	粗大 ごみ	産業 廃棄物	その他	計
都賀	18	8	6	10	16	20	78

(生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計)

8 狂犬病予防業務

(1) 犬の登録 (単位：頭)

新規登録数	登録抹消数	登録総数
59	86	1,014

(2) 狂犬病予防注射

ア 第1次集合注射

- ・実施期間 4月25日(木)、26日(金)
- ・実施会場 地域内 6会場
- ・実施数 296頭

イ 第2次集合注射

- ・実施期間 10月30日(水)
- ・実施会場 地域内 3会場
- ・実施数 59頭

ウ 個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 287頭

9 市民相談関係

市政に対する意見、要望、苦情を聴くとともに、国・県との相談機関と相互に協力して市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

各種相談

- ・市民相談 常時開設 相談件数 - 件
- ・行政相談 常時開設 相談件数 - 件

10 消費者行政の推進

消費者が安全で合理的な消費生活を送るために情報提供、相談業務や啓発事業を実施した。

11 交通関係

(1) 交通安全運動等

ア 春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出等

- ・実施期間 4月6日(土)～15日(月)

イ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出等

・実施期間 9月21日（土）～30日（月）

(7) 交通安全市民大会

・実施日 9月28日（土）

栃木文化会館にて小学生による作文発表、大会宣言などを行った。

ウ 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車、広報紙による広報、のぼり旗、立看板掲出等

・実施期間 12月11日（水）～31日（火）

(2) 交通安全こども自転車大会

第42回交通安全こども自転車大会栃木地区大会

・実施日 6月11日（火）

・会場 栃木第四小学校グラウンド及び体育館

・出場校 合戦場小学校（第6位）

(3) カーブミラーの設置

新設5基、移設1基、撤去1基、修繕7基

(4) その他の交通安全対策

ア 交通指導員の設置 4名委嘱（都賀地域）

イ 合戦場駅、家中駅周辺を中心に都賀地域内の放置自転車の撤去を実施

12 防犯関係

防犯業務においては、防犯パトロールを実施した。

防犯パトロール

地域の防犯のため、専用車を使用し、防犯パトロールを実施。特に小学校の下校の時間帯に合わせ都賀地域全域を15時から16時まで実施。

第4節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課は、福祉担当、こども担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当で編成されている。

福祉担当の主な分掌事務は、福祉に係る全般的窓口として、各種福祉サービスの申請受付及び手当等の支給や民生委員児童委員に関すること、日本赤十字に関すること、障がい福祉に関することである。

福祉全般にわたる相談を行い、相談者のニーズに合った福祉サービスが提供できるよう、きめ細やかな対応に努めた。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行った。また、放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、配食サービス事業、いきいきサロン事業等を実施した。また、高齢者福祉関係としては、軽度生活援助員派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当及び紙おむつ購入費助成等の生活支援事業や介護予防を実施した。さらに、介護保険関係としては、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため包括的支援事業等を実施した。そのほか、高齢者ふれあい相談員が、ひとり暮らしや高齢世帯を定期的に訪問し、安否の確認等を実施した。

健康増進担当では、感染症のまん延防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。さらに、各種がん検診、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診を実施した。また、女性特有のがん検診推進事業で無料クーポン券を発行し、子宮頸がん検診、乳がん検診の受診勧奨を図った。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、発達障がいの早期支援を目的としてのびのび相談等を実施した。健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談及び健康教育事業を実施した。つが健康づくり 21 推進事業では、関係団体と連携し重点取組に基づき健康づくりを推進した。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員27人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況

(単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
82	13	2	23	1	11
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
3	13	23	438	609	22.6

(2) 調査等状況

(単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的 機関との連絡	諸会合・行事 への参加	友愛訪問・安否 確認のための訪問	計	委員1人 当たり件数
758	18	537	2,173	3,620	7,106	263.2

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤募金

目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
1,190,700	1,220,700	102.5

(2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	1世帯	4人	4枚	4組	1個

(3) 災害見舞金給付状況

(単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
1	-	1	-	1

(4) 講習会等

	実施回数(回)	参加者数(人)
健康生活支援講習	1	22

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るため、栃木市社会福祉協議会に委託（指定管理）し、実施した。

- ・施設名 都賀地域活動支援センター
- ・所在地 都賀町家中2357
- ・開所日数 245日
- ・通所延べ人員 700人

4 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

(単位：人)

区 分		実施状況
交付者数		228
	うち高齢者(80歳以上)	144
	高齢者(65～79歳)	26
	障がい者	38
	腎臓機能障がい者	20

5 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）（単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	平成25年度中交付者数
視覚障がい	28	6
聴覚・平衡障がい	50	-
音声・言語・そしゃく障がい	5	-
肢体不自由障がい	231	17
内部障がい	123	16
複合障がい	13	-
合 計	450	39

6 知的障がい者(児)の現況(療育手帳交付者数)（単位：人）

区 分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度(A1・A2)	-	6	21	19	46
中度(B1)	3	3	11	8	25
軽度(B2)	5	5	7	2	19
合 計	8	14	39	29	90

7 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	9	18.75
2 級	30	62.5
3 級	9	18.75
合 計	48	100

(2) 自立支援医療費(精神通院)受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、100人が受給した。

8 身体障がい者(児)の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者(児)の補装具交付及び修理

(単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	1	-	1	-	-	-
	義足	-	1	1	-	-	-
装具	下肢	8	-	8	1	-	1
	靴型	1	-	1	-	-	-
	体幹	-	-	-	-	-	-
	上肢	-	-	-	-	-	-
座位保持装置		-	-	-	-	-	-
盲人安全つえ		-	-	-	-	-	-
義眼		-	-	-	-	-	-
眼鏡	矯正眼鏡	-	-	-	-	-	-
	遮光眼鏡	1	-	1	-	-	-
	弱視眼鏡	-	-	-	-	-	-
補聴器	高度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	2	4	6	-	-	-
	重度難聴用ポケット型	1	-	1	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	2	3	5	-	-	-
車椅子	普通型	1	3	4	1	-	1
	その他	-	-	-	-	-	-
電動車椅子		-	-	-	-	-	-
起立保持具		-	-	-	-	-	-
座位保持椅子		-	-	-	-	-	-
歩行器		-	2	2	-	-	-
歩行補助つえ		-	-	-	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		-	-	-	-	-	-
特例補装具		-	-	-	-	-	-
合計		17	13	30	2	-	2

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付 (単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	-	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-
訓 練 い す	-	-
入 浴 補 助 用 具	-	-

体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	-	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	-	-
頭 部 保 護 帽	-	-
特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	-	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	-
電 気 式 た ん 吸 引 器	-	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	-	-
盲 人 用 時 計	-	-
盲 人 用 体 温 計	-	-
盲 人 用 体 重 計	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	-	-
点 字 函 書	-	-
ス ト マ 用 装 具	20	-
紙 お む つ	3	1
収 尿 器	1	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	1	-
合 計	25	1

9 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

(単位：件)

種 別	給付決定件数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	-
免 疫 機 能 障 が い	-
肢 体 不 自 由	-
肝 臓 機 能 障 が い	1
心 臓 機 能 障 が い	9
腎 臓 機 能 障 が い	30
計	40

10 身体障がい児の自立支援医療（育成医療）給付決定の状況

(単位：件)

種 別	給付決定件数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	2
免 疫 機 能 障 が い	-
肢 体 不 自 由	5
心 臓 機 能 障 が い	-
腎 臓 機 能 障 が い	-
計	7

11 各種手当の状況

(単位：件)

種 別	給付決定件数	
特定疾患者介護手当	10	
重度心身障がい児扶養手当	1	
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	-
	障がい児福祉手当	-
	福祉手当（経過的）	-
特別児童扶養手当	3	

12 障害者相談支援事業

都賀総合支所においては、健康福祉課の職員が直接障がい者の相談支援を行った。

13 身体障がい者等福祉関係

知的障がい者の自立更生について、1人の知的障がい者相談員が相談指導に当たった。

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、都賀地域3か所の小学校区内において実施した。

・学童保育入会者数 (単位:人)

学年 学童保育名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
げんきっこ (合戦場小)	6	8	14	7	8	15	12	19	31	25	35	60
さくらんぼ (家中小)	7	5	12	4	3	7	4	7	11	15	15	30
キッズ (赤津小)	3	1	4	2	3	5	5	9	14	10	13	23
計	16	14	30	13	14	27	21	35	56	50	63	113

2 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給した。

・児童手当受付件数 123件

3 赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降のお子さんが誕生した、市内に住所を有する保護者からの赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

(単位:件)

事業名	祝金額	受付件数
赤ちゃん誕生祝金事業	第2子 10,000円	29
	第3子以降 20,000円	18

4 児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって片親と生計を同じくしていない児童、または片親が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方または両方が死亡した児童について遺児手当の案内・相談・受付を行った。

(単位:件)

種別	受付件数
児童扶養手当	10

遺児手当	-
------	---

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口 (4月1日現在)

区分	年度		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総人口(人)	13,527	13,479	13,443
65歳以上人口(人)	3,163	3,262	3,363
総人口に対する割合(%)	23.38	24.20	25.02

※外国人を含む人口

(2) 高齢者生活態様 (5～6月調査結果)

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		3,363	100
内 訳	独居	253	7.5
	高齢者世帯※ (世帯数)	612 (295)	18.2
	その他	2,498	74.3

※ 65歳以上のみで構成される世帯

2 敬老祝賀事業

9月1日(基準日)において本市に引続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金を贈呈した。

95歳以下の方への配布は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	97
90歳	20,000	56
95歳	30,000	14
100歳	100,000	1
101歳以上	50,000	5

3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 31自治会等
- ・補助金額 1,138,000円

4 老人クラブ育成指導事業

老人クラブ連合会都賀支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・単位老人クラブ数 25クラブ
- ・市老人クラブ連合会都賀支部会員数 795人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 本庁高齢福祉課で支払
市連合会都賀支部助成 本庁高齢福祉課で支払

5 老人スポーツ大会

老人クラブ連合会都賀支部主催（事務局：栃木市社会福祉協議会都賀支所）で老人スポーツ大会を開催した。個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。

- ・実施日 10月11日（金）
- ・会場 都賀体育センター
- ・参加人員 420人

6 高齢者配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方
- ・宅配個数 2,959個
- ・宅配人数 34人（実人数）
- ・宅配業者 (株)金時給食センター 柳橋町6-29
(有)ききょう 吹上町1401
ワタミタクシヨク(株) 仲方町306-5
(社)スイートホーム 都賀町原宿1424-1

7 日常生活用具購入費助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	24
小型暖房器具	9
電磁調理器	-

火災警報器	-
自動消火器	-

8 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品目	件数
電動小型吸引機	3
特殊寝台	1
じょく瘡予防用具	-

9 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況 (単位：台)

既設置台数	平成25年度設置台数	平成25年度撤去台数	計
56	7	9	54

10 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数 (延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
118	137	255

11 紙おむつ購入費助成事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において、常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数 (延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
116	127	243

12 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

・利用者数 -人

・延べ回数 -回 (-時間)

(2) 軽度生活援助員派遣事業

・利用者数 2人

・延べ利用時間数 (単位：時間)

家事	-
除草	16
植木手入れ	16
大工	-

(3) 在宅高齢者短期入所事業

・利用者数 1人

・延べ宿泊数 7日

13 都賀老人憩いの家白寿荘

都賀老人憩いの家白寿荘の清掃等管理業務を、栃木市シルバー人材センター（都賀支所）に委託して実施した。

・年度中利用者数 (単位：人)

年度区分	年		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者	1,508	1,408	1,032

・開館日数 203日

・利用者 主に 60 歳以上の高齢者・高齢者の趣味活動グループ

14 介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

内 容	件数(件)
要介護（要支援）認定申請 相談・受付・入力	414
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	16
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	-
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	3
転入・転出・転居 資格管理等	2
転送希望届申請 受付・入力	18
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	110
短期入所の 30 日を超える連続利用申請 受付・決定発行	2
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	3
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	7
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	18

住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	15
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	37
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	79
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	36
オムツ使用証明申請 受付・発行	-
介護保険事業者事故報告 受付	-

15 任意事業

(1) 家族介護支援事業

生活・介護支援サポーター養成研修

地域で高齢者の生活を支える基盤を整備する目的により、社会福祉法人スイートホームに委託して実施した。

- ・実施期間 2月18日(火)～2月28日(金)
- ・受講者 11人

(2) 高齢者地域見守り支援事業（いきいきサロン事業）

ひとり暮らし、日中ひとり暮らし、閉じこもりがちな高齢者を対象に介護予防事業として、健康チェック・レクリエーション・趣味活動等を栃木市社会福祉協議会（都賀支所）に委託して実施した。

- ・実施回数 50回（月4回程度実施）
- ・利用者数 実数 28人
延べ数 604人
- ・時間 午前9時30分～午後3時30分
- ・実施施設 あいあいプラザ・都賀保健センターほか

16 高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

（単位：件）

区分	件数	実件数	延べ件数
面接		256	276
電話相談			289
家庭訪問		26	26
連絡調整			104

17 地域包括支援センター事業

(1) 地域包括支援センター設置状況

名称：都賀地域包括支援センター 都賀町原宿 585-2（都賀保健センター内）

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者把握状況 (単位：人)

基本チェックリストによる対象者数	399
訪問等により把握した対象者数	25
合 計	424

(イ) 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上および対象者の身体状況に合わせたプログラムも取り入れた教室を実施し、自立した生活の確立と自己実現の支援を行った。

・実施状況

	開催回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	12	156
複合型機能向上	20	280
合 計	32	436

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

a 健康教育・介護予防講演会

一次予防事業対象者に対して、自治会・民生委員・老人クラブの主催で、健康教育の一環として「おたっしや教室」を実施した。

また、介護予防講演会では、介護予防の必要性を理解し、自主的に介護予防に取り組む動機付けとし、自立した生きがいのある生活が送れることを目標に実施した。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	23	992
閉じこもり予防	12	78
普及啓発	11	591
介護予防講演会	1	98
そ の 他	14	163
合 計	61	1,922

b 祝敬老《長生きの秘訣セット》配付

9月の敬老月間に合わせて、70歳以上の高齢者のいる世帯に祝敬老《長生きの秘訣セット》を配付し、活動的な生活が送れるよう啓発した。

・配付物 パンフレット：

「健やかに、いつまでも自分らしく」地域包括支援センターよりのお知らせ冊子：健康長寿「10のヒント」

介護予防カレンダー「心と体の若さを保とう」

(イ) 地域介護予防活動支援事業

a ますます元気サポーター養成講座と活動

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、都賀・西方合同で地域福祉や介護予防の知識の習得、サポーター間の情報収集や交流がでいる機会を設け、地域活動の人材育成や支援を行った。

ますます元気サポーター養成講座修了後は、都賀・西方各地域教室のサポーターとして、血圧測定や運動補助、参加者の見守り等を実施してもらった。

・実施状況（都賀・西方地域包括支援センター合同で開催）

	回数(回)	延べ人数(人)
ますます元気サポーター養成講座	5	96
ますます元気サポータースキルアップ	5	44
ますます元気サポーター視察研修	1	11
ますます元気サポーター打合せ	3	15
合計	14	166

・活動状況（都賀地域）

	回数(回)	延べ人数(人)
ますます元気サポーター活動状況	53	142

b 認知症サポーター養成講座及び地区組織活動支援

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」養成を、高齢者及び自治会・中学生等に対し実施した。また、地区組織活動では、民生委員等との連携を強化した。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
地区組織活動支援	19	710
認知症サポーター養成講座	4	252
合計	23	962

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等が包括的効率的に実施されるよう支援した。また、要支援状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活が

できるよう支援した。

・実施状況

		件数(件)
二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況		36
要支援者の介護予防サービス計画作成状況	地域包括支援センター作成	24
	事業所委託	39
	合計	63
サービス担当者会議実施状況		45
住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況		8

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身の状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況

	延べ件数(件)
面接	53
電話相談	423
家庭訪問	377
合計	853

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、高齢福祉担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	33
高齢者虐待に関すること	18
権利擁護に関するケース会議	7
合計	58

エ 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

- ・ケアマネジャー連絡会（年3回）

(4) 任意事業

ア 高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・訪問世帯数 376世帯
- ・相談員数 64人

イ はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 都賀地域に居住するおおむね65歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館・集会場・広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、
高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 5センター（5自治会）
- ・委託料 940,000円
- ・実施回数、人数 延べ 608回、6,329人

健康増進担当

1 つが健康づくり 21 推進事業

健康づくりを総合的に進めるため、健康チャレンジ7つの里（食の里・歯の健康の里・健康診査の里・運動の里・いやしの里・たばこの里・アルコールの里）の健康チャレンジ実践目標に基づき、事業等に取り組んだ。

主な取組

- ・広報とちぎ等を活用して健康情報や取組の紹介
- ・都賀保健センター内のつが健康づくり 21 コーナーの充実整備
- ・各種健診・教室等において食に関する知識の普及啓発
- ・運動の必要性の理解を深めるために運動教室の開催
- ・健康まつりや健診等において歯科指導の充実、歯の健康の普及啓発
- ・妊産婦や乳幼児がいる家庭への受動喫煙の害等の啓発

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした者等に対して、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・

出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

- ・妊娠届出数 85人
- ・母子健康手帳交付数 90人（妊娠届出85人、双胎2人、紛失等3人）

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配布、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	112	112	100	18	6	0	2
乳児健康診査 (9か月児)	12	103	101	98.1	15	6	1	7
1歳6か月児 健康診査	4	106	102	96.2	29	6	1	3
3歳児 健康診査	4	86	85	98.8	20	2	6	3

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によりブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(7) 健康診査

- ・実施回数 4回

対象数	受診数	
	74人	77人(104.1%)

オ 乳幼児発達相談(二次健診)【数値は、本庁健康増進課で計上】

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達に遅れがあると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、乳幼児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場

で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室【数値は、本庁健康増進課で計上】

妊婦と夫に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサルおふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では3～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、こどもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

- ・実施回数 6回
- ・参加者延べ数 59組
- ・内容 離乳食講話、ベビータッチケア、子育て相談、身体計測等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)

【数値は、本庁健康増進課で計上】

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、中学校と連携し講演会を行った。

対 象	参 加 人 数
都賀中学校生徒及び保護者	148人

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)
- ・参加者延べ数 101組

カ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市2町で共催して小学1年生と年長児に対してフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ素塗布者数 54人(小学1年生：26人 年長児：28人)

キ よい歯のコンクール【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対

象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の2次審査に推薦した。

ク 親子クッキング教室

年中・年長児の親子に対し、一緒に料理をすることを通して、食への興味・関心を育む食育を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加者数 32人(10組)

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 135組

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、就学前の年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

(単位:人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	2次健診・医 療機関紹介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
101	83	2	6	3	7	0

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 7件
- ・指導延べ数 7件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

オ のびのび相談室

何らかの発達上の問題が疑われた児に対し、心理士による相談指導・育児支援を行った。

- ・実施回数 6回
- ・相談者数 4人

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（都賀地域17人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談等を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

（単位：人）

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数	77	91	32	200

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者診査及びヤング健診(数値は本庁健康増進課で一括計上)

- ・実施回数 10回
- ・実施場所 都賀保健センター

(2) 健診結果説明会

- ・実施回数 5回
- ・参加者数 57人

(3) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	32	17	53.1
動機付け支援	79	45	57.0
合計	111	62	55.9

(4) メタボ予防講座（特保該当者）

ア 食の学習

メタボリックシンドローム及び糖尿病予防や改善のための栄養指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加延べ人数 3人

イ からだスッキリ！運動教室

メタボリックシンドローム予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 10回
- ・参加延べ人数 6人

4 健康診査事業（健康増進法による健診）

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウィルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）を行った。

- ・集団健診実施回数 10回
- ・受診者数 1,380人
- ・集団健診実施会場 都賀保健センター

5 結核検診事業

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を医療法人 宇都宮健康クリニックに委託し行った。

- ・実施会場数 24 会場
- ・受診者数 1,153 人

6 健康づくり事業

(1) 健康教育

ア 食の学習（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドローム及び糖尿病予防や改善のための栄養指導を行った。

- ・実施回数 2 回
- ・参加延べ人数 19 人

イ からだスッキリ！運動教室（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドローム予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 10 回
- ・参加延べ人数 155 人

ウ 健康あっぷ講座

生活習慣病予防のため、一般市民を対象に栄養改善や運動指導を行った。

- ・実施回数 2 回
- ・参加延べ人数 33 人

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 6回
- ・延べ相談者数 9人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

7 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解すること及び自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

(1) 自殺予防ゲートキーパー研修会

- ・会場 都賀総合支所
- ・参加者数 20 人（都賀地域協議会、事務局職員）

(2) 普及啓発活動

普及啓発用リーフレット及びポケットティッシュ等、窓口及び各種事業時において配布した。

8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

小児の定期予防接種対象者に個人通知を行い、接種を勧奨し予防接種協力医療機関において個別接種を実施した。

ポリオ、BCG、三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）、二種混合（ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん混合、日本脳炎、四種混合（ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風）、ヒブ（インフルエンザ菌 b 型）感染症、小児肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）

高齢者インフルエンザ予防接種を、予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

(2) 任意予防接種

接種希望者に、予防接種協力医療機関において個別接種を実施した。

小児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌感染症

9 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問世帯数 211 世帯
- ・保健師訪問指導 253 人（延べ人数）
- ・内訳

（単位：件）

精神保健	25	妊産婦	202	幼児	17	生活習慣病	—
新生児	6	低体重児	2	他の疾患	—	その他	—
心身障がい	1	結核	—				

10 健康まつり事業

市民の健康増進のため、まるまるまるごとつがまつりが開催された際に健康相談コーナーを実施した。

- ・実施日 11月17日（日）
- ・場所 都賀保健センター
- ・実施内容 歯っぴいコーナー（咀嚼力判定テスト、ミュータンス菌数調べ、歯科衛生士による歯科相談及びブラッシング指導）
脱メタボコーナー（減塩味噌汁配布、体脂肪測定、野菜 350g 測定）
- ・延べ参加者数 775 人

11 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	9	2	6	—	8	1

12 都賀保健センター利用状況（当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。）（単位：人）

区分	会議室	和室	調理室	その他	合計
利用者数	704	241	145	0	1,090

第 5 節 産業振興課

〔総括概要〕

農業は食糧の安定供給のみならず、環境・景観・地域文化の保全・継承など多面的な役割を担っている。しかし、その現状は、従事者の高齢化、後継者の不足、関連資材及び燃料の高騰等による食糧自給率の低迷、耕作放棄地の増加、加えて福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質飛散による風評被害など非常に厳しい状態である。このような状況のなか都賀地域の農業は、土地利用型農業として米・麦を主に大豆・新規需要米などを組み合わせた二毛作と、いちご・にら・ナスなどの施設園芸の複合的な経営を推進する事業に取り組んだ。平成 23 年度末より国の施策として人・農地プランへの取組が始まり、家中地区と赤津地区の 2 地区のプランを適時修正するとともに、家中地区を市の重点支援地区として定めた。また、地域農業の担い手となる集落営農の組織育成並びに高齢化・担い手不足による耕作放棄地の増加を防止するためにプランの充実を図った。

農産物のブランド力を高め消費拡大、生産振興のための PR 等を実施するとともに、消費者の放射性物質に対する不安を払拭するため、地域内の直売所がモニタリング検査を徹底するように定期確認を実施し、支援指導に努めた。

農業農村整備事業については、用排水路や揚水機場等の農業生産施設の機能維持のため維持管理適正化事業の実施など施設の適正管理に努めた。農地・水保全管理支払交付金事業については、富張地区と大柿地区において継続し、二期目の対策として地域の環境保全と施設の維持管理に地域全体で取り組んだ。また、大柿地区においては、豊かな地域資源を活かし、都市と農村の交流を図り農業の抱える課題に対処するためにグリーンツーリズム事業に取り組む地元組織を立ち上げ、今後の事業に向けての研修や検討を重ねた。

林務事業については、県民税事業による藪の刈払いや不要木の処分など里山林の適正な管理を行うとともに、有害鳥獣の駆除による農作物被害の軽減を図った。加えて大柿生出宿里の駅のトイレ管理・改修工事とともに、つがの里周辺の臼久保地区の森林等の管理を行った。

商工業においては、都賀町商工会と連携のうえ商工業の振興を図るとともに、特産品の PR を新宿駅イベント広場等で実施した。

観光関係については、恵まれた自然環境と歴史・文化等の観光資源の有効活用を図るとともに積極的な情報発信を行った。また、「つがの里花彩祭」「ハスマつり」「まるまるまるごとつがまつり」等のイベントを開催し、観光客の誘客、地域活性化に努めた。

企業誘致関係については、都賀インター周辺地区への企業立地の支援を積極的に行った。

農林振興担当

1 米政策改革推進対策

(1) 経営所得安定対策

経営所得安定対策については、食糧の自給率向上のポイントとなる麦・大豆・飼料作物・新規需要米・そば・なたね・加工用米等を戦略作物として、二毛作による取組について推進した。

米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会都賀地区と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった主食用米の需給調整を行った。

・ 水稻生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,031人
水稻生産実施計画書提出農業者数	885人
生産確定数量の計	2,637,827kg
作付確定面積(①)	52,441.9a
主食用等水稻作付面積の計(②)	48,535.4a
差引(①-②)	3,966.5a
水稻生産確定面積に対する 主食用等水稻作付面積の割合(②÷①)	92.55%

(2) 水田活用の直接支払交付金

・ 戦略作物作付面積(交付対象面積) (単位: ha)

二条大麦	179.6
大豆	7.8
そば	39.5
飼料作物	47.3
新規需要米・加工用米	51.1

(3) 農政協力員会議等

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会都賀地区との連携により農政協力員会議を開催した。また、経営所得安定対策に対する農業者への理解を深めるため、関東農政局宇都宮地域センター協力の下、説明会を開催した。

・ 農政協力員会議の開催状況

開催日	参加人数(人)
6月6日(木)	44
3月6日(木)	44

・ 経営所得安定対策に係る説明会

開催日	参加人数(人)
3月10日(月)	37
3月11日(火)	48

2 人・農地プラン

地域農業の問題を解決するための未来の設計図となる「人・農地プラン」の適時修正を行った。家中地区を市の重点地区として位置付けた。

新規就農者への支援として、青年就農給付金（経営開始型）を1人に引き続き給付した。また、農地出し手への支援として、農地集積協力金（経営転換協力金）を1人に交付した。

地区名	対象字名	策定日	変更修正	今後の地域の中心となる経営体（人）
家中地区	合戦場、平川、升塚、家中	平成24年11月16日	10月30日 3月18日	18
赤津地区	原宿、木、臼久保、大橋、富張、深沢、大柿	平成24年9月27日	1月16日	13

3 農業制度融資関係

(1) 都賀町農業経営安定資金利子補給金

・利子補給金額

区分	件数（件）	利子補給額（円）
下野農協	15	142,166

(2) 都賀町信用保証料補助金（平成25年度事業終了）

・保証料補助金額

区分	件数（件）	保証料補助額（円）
経営安定資金保証料補助金	2	600

4 農業経営基盤強化促進事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明、経営改善に関する個人指導会の開催及び担い手に対する施策や研修等の情報提供などの支援活動を実施した。

・農業経営改善計画認定者数 72人

5 集落型経営体の育成

農業者個人での解決が困難な問題や集落の将来に対する意識を高め、地域農業の新たな担い手として期待される「集落型経営体」法人化の推進を図った。

・升塚集落営農組合の法人化

法人名 農事組合法人ファームますづか

創立日 平成25年12月3日

6 農業団体育成事業

(1) 都賀町認定農業者協議会

本地域農業の担い手であり、自らの経営改善の実践と都賀地区の農業振興のために活動を行っている認定農業者協議会に対し補助金を交付した。また、平成26年3月に栃木市認定農業者協議会の設立により都賀町認定農業者協議会は、都賀支部となった。

・補助額 146,000円

(2) 栃木市農村生活研究グループ協議会（都賀地域）

農村女性の社会参画や地位向上による農業農村の活性化を啓発し、輝く農村女性を育成

するため、各種教室や研修会を実施した。

- ・事業内容 視察研修・手芸教室・料理教室・まるつが出店・さつまいも掘り
- ・事業費 150,531 円

(3) J A しもつけ都賀園芸部会連絡協議会

都賀地区の園芸の課題について検討し、経営の安定と地域農業の発展を目的とし、園芸作物の振興、集出荷等について、地区の園芸部会が一体となった連絡協議会に対し補助金を交付した。

- ・補助額 73,000 円

7 農業振興事業

つがブランド農産物イメージアップ事業

都賀町のPRと都賀産いちごの知名度アップのため、都賀町施設園芸産地育成推進会議主催の「いちご狩りフェスティバル」を支援し、事業に対しての補助金を交付した。

- ・補助額 400,000 円

8 畜産振興事業

家畜防疫団体関係

家畜の伝染病等を防止することで、家畜の経済効果を高め、地域畜産の振興を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

- ・事業主体 栃木市畜産協議会都賀支部
- ・事業内容 視察研修、防疫費への補助

9 土地改良区運営支援

前年度に引き続き都賀町土地改良区の事務運営費の補助を行った。

- ・補助額 5,170,000 円

10 県単独土地改良事業

赤津南部地区（都賀町原宿地内）

- ・事業概要 揚水機場 1箇所（揚水機更新 揚水管交換 6本）
- ・総事業費 1,393,350 円

11 農地事務費

(1) 農業用排水路維持補修費

- ・事業概要 土砂撤去工事（都賀町家中鷲宮地内）
- ・総事業費 294,000 円

(2) 資材購入費

・農業用施設補修用資材購入費 119,805 円

12 農地・水 保全管理支払交付金事業

農地や農業用水等の資源の保全等、農村環境を守り質を高める農家、非農家を含めた地域活動組織の取り組みに対し支援を行った。

※共同活動支援の市負担額は、基礎支援の合算額（100 円未満切り捨て）の 25%

(1) 共同活動支援

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結 年度	終了 年度	交付 期間	田 (3,300 円/10 a)		畑 (2,100 円/10 a)		
				面積 (a)	金額 (円)	面積 (a)	金額 (円)	
富張地区 環境保全会	H24	H28	5 年	9,840	3,247,200	1,790	375,900	905,775
大柿の郷を まもる会	H24	H28	5 年	8,814	2,908,620	4,720	991,200	974,950

(2) 向上活動支援

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結 年度	終了 年度	交付 期間	田 (4,400 円/10 a)		畑 (2,000 円/10 a)		
				面積 (a)	金額 (円)	面積 (a)	金額 (円)	
富張地区 環境保全会	H23	H25	3 年	9,840	4,329,600	1,790	358,000	1,171,900
大柿の郷を まもる会	H25	H28	4 年	8,814	3,878,160	4,720	944,000	1,205,540

13 都賀町農業公社

円滑な事業実施が出来るようにするため、都賀町農業公社の事務運営費の補助を行った。

・補助額 1,539,000 円

14 つがの里周辺管理事業

(1) 周辺緑地賃借料

都賀地域の重要な観光地である「つがの里」周辺の緑地を保全するとともに、観光資源として活用するために用地の賃貸借を行った。

・借上面積 10,254 m²

・借上金額 90,560 円

(2) 維持管理

つがの里周辺の森林を適切に保全するため、管理業務を行った。

・業務委託費 317,000 円

15 生出宿里の駅施設管理事業

直売所やカタクリの里等、市の重要な観光地を訪れる観光客の利便性向上を図り、より多くの集客を推進するため生出宿公衆トイレ施設の維持管理を行った。

16 有害鳥獣捕獲事業

農作物及び生活環境等への鳥獣による被害を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣の捕獲駆除を実施した。

事業費 898,000円

(1) イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの個体数調整による駆除

捕獲時期	捕獲状況
通 年	イノシシ22頭、シカ4頭、サル0頭

(2) カラス、ドバト等の有害鳥獣捕獲による駆除

捕獲時期	捕獲状況
5月26日(日)～6月2日(日)	ドバト26羽、カラス115羽、カモ類65羽
10月19日(土)、20日(日)	ドバト8羽、カラス54羽

17 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備等を実施している。

(1) 通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林維持管理事業

明るく安全な里山林整備事業によって刈払いを実施した通学路沿いや住宅地周辺の里山林の維持管理を実施した。

- ・実施箇所 深沢地区
- ・事業量 1.35ha
- ・事業費 67,000円

(2) 野生獣被害軽減のための里山林維持管理事業

明るく安全な里山林整備事業によって刈払いを実施した野生獣被害が発生する恐れのある里山林の維持管理を実施した。

ア 深沢地区

- ・事業量 20.0ha
- ・事業費 1,000,000円

イ 大柿地区

- ・事業量 35.4ha
- ・事業費 1,770,000円

ウ 深沢東地区

- ・事業量 14.2ha
- ・事業費 710,000円

18 農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。

件 名	件 数(件)
耕作証明書	40
農家証明書	2
農家基本台帳の写し	3
合 計	45

19 グリーンツーリズム事業

都賀町大柿地区においてグリーンツーリズム事業を推進するため、事業内容の検討及び研修、イベント等を実施した。

- ・事業費 546,688 円
- ・ワークショップ 5 回
- ・視察研修（佐野市・足利市）1 回 15 人参加
- ・ほたる祭り及びジャガイモ収穫体験の実施
 実 施 日 6 月 15 日（土）
 場 所 都賀町大柿地内（カタクリの里駐車場集合）
 申込者数 17 人
- ・そば祭り及びさつまいも収穫体験の実施
 実 施 日 12 月 1 日（日）
 場 所 大柿コミュニティセンター
 申込者数 12 人

商工観光担当

1 商業振興

(1) 商工団体の育成及び助成

商工会、たばこ組合の運営や諸事業に対し補助金を交付した。

名 称	事業費(円)	うち市補助額(円)	目的等
都賀町商工会運営補助金	44,433,277	5,000,000	商工会の運営
商工業振興費補助金	1,807,778	900,000	商店の販売促進
未成年者喫煙防止事業費補助金	87,000	80,000	未成年の喫煙防止活動の促進

2 制度融資

(1) 都賀町中小企業融資利子補給

中小企業向け資金融資利用者の利子の一部を補助し、その負担を軽減した。

区 分	平成 25 年度		平成 24 年度		平成 23 年度	
運転資金	3 件	21,828 円	8 件	68,427 円	12 件	147,294 円
設備資金	－ 件	－ 円	－ 件	－ 円	1 件	51 円
計	3 件	21,828 円	8 件	68,427 円	13 件	147,345 円

(2) 経営安定関連保証（セーフティーネット保証）認定状況

（中小企業信用保険法第 2 条第 4 項第 1～8 号）

（単位：件）

保険法	適 用 事 項	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
第 1 号	再生手続申立等関係	－	－	－
第 2 号	事業活動の制限関係	－	－	－
第 3 号	地域・業種関係	－	－	－
第 4 号	地域関係	－	－	－
第 5 号	業種関係	1	5	16
第 6 号	破綻金融機関関係	－	－	－
第 7 号	金融機関経営合理化関係	－	－	－
第 8 号	R C C 譲渡関係	－	－	－
	計	1	5	16

3 観光振興

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源の P R、観光行事の充実等、観光関連事業を積極的に展開し、観光誘客と地域の活性化に努めた。

(1) 観光協会関係

観光資源を活かした観光行事の実施、案内看板の設置等による宣伝活動など、つがまち観光協会が実施する観光行事や観光 P R 事業等に対し補助金を交付した。

- ・つがまち観光協会事業補助金 800,000 円
- ・主催事業 つがの里ハスまつり、つが花火大会

(2) 観光展への出展等

「やすらぎの栃木路」東京フェア 2013

- ・実施日 9 月 23 日(月)
- ・場 所 新宿駅西口

(3) 観光施設管理

ア つがの里維持管理

イ つがの里案内看板の設置（3 基）

ウ つがの里公園内施設利用状況

（単位：人）

施 設 名	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
ふるさとセンター	26,500	30,904	14,407
ファミリーパークプラサ [®] （会議室、研修室）	21	392	238
バーベキュー場	4,697	4,284	3,436

※平成 25 年度のファミリーパークプラサ[®]は改修工事のため利用者数が減少した。

4 観光行事

- (1) つがの里花まつり “花彩祭”
 - ・実施期間 4月1日(月)～30日(火)
 - ・場 所 つがの里
 - ・主 催 つがの里花まつり実行委員会
 - ・来場者 約85,000人
- (2) つがの里ハスまつり
 - ・実施期間 6月22日(土)～7月7日(日)
 - ・場 所 つがの里
 - ・主 催 つがまち観光協会
 - ・来場者 約4,500人
- (3) つが花火大会
 - ・実施日 8月10日(土)
 - ・場 所 都賀市民運動場
 - ・主 催 つがまち観光協会
 - ・打上数 約1,300発
- (4) まるまるまるごとつがまつり
 - ・実施日 11月17日(日)
 - ・場 所 産文通り線・ハートホールほか
 - ・主 催 まるまるまるごとつがまつり実行委員会
 - ・来場者 約10,000人

5 企業誘致

雇用機会の拡大と地域産業経済の振興、市税等の自主財源の増加を図るため、企業誘致活動を実施した。

また、産業の振興と雇用機会の拡大を図るため、工場等を新設・増設した企業に対する支援として、工場等立地奨励補助金の交付を行った。

(1) 都賀IC周辺開発

北関東自動車道都賀ICに隣接し、地下水等の自然環境にも恵まれた当地区に企業立地を図るべく、地権者等で組織する都賀インター周辺土地利用研究会との連携を図りながら、企業誘致活動を行った。

(2) 工場等立地奨励補助金

都賀地域に工場等を新設・増設した企業に対し、負担の軽減を図るため、固定資産税の3分の1に相当する額の補助金を交付した。

- ・補助対象企業 1社 (補助額 3,360,000円)

第 6 節 都市建設課

〔総括概要〕

都市建設課の主な分掌事務は、市民の安全で快適な暮らしを支えるために必要不可欠な社会資本である、道路・橋りょう・河川水路及び公園の管理・整備に関する事務、占用許可並びに工事の承認に関する事務、公共用地の取得・補償及び登記に関する事務である。これらの事務を円滑に執行することにより、市民生活環境の向上に努めている。

そのうち道路は、地域の方々にとって最も身近な社会基盤であり、通勤・通学をはじめ買い物やレジャーなどの日常生活から生産・物流の経済活動や地域の歴史、文化交流を支える根幹的な公共施設として大きな役割を果たしており、多様な市民ニーズに対応すべく業務を行った。

公共物管理については、道水路敷等の適正管理に努めるため、私有地との境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、常に安全な市道を確保するため、道路維持管理、舗装補修、交通安全施設工事を実施した。

河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草を行うとともに、防災機能を確保するための調整池の維持管理を行った。

公園管理については、公園等の占用について指導、監督を行った。また、つがの里を含む都賀地域に 12 か所ある公園等の安全で快適な環境を確保するため、業務委託による公園の清掃、樹木及び遊具等の施設管理を行った。

愛護活動については、各自治会における道路・河川水路の清掃などの愛護活動を積極的に支援することで、市民とともに維持管理に取り組み、道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

道路整備においては、厳しい財政状況や少子高齢化の進展など社会情勢の変化を踏まえ、一層の効率化、重点化が求められていることから、市民のニーズや要望等を踏まえながら道路改良や舗装整備などを計画的に進めている。本年は、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上に資するため、都賀町家中地内市道 T②-194 号線ほか 1 路線の道路整備工事を実施し、都賀町家中地内市道 T①-281 号線の舗装補修工事を実施した。また、都賀町合戦場地内の市道 T①-247 号線ほか 4 路線の測量設計業務委託を実施し、さらに都賀町木地内市道 T③-282 号線道路改良事業の用地取得を行った。

次に、河川整備については、県施行の県道宇都宮亀和田栃木線の合戦場地内におけるゲリラ豪雨等による浸水被害に対応する地域排水整備事業の負担金を支払った。

最後に、公園整備事業としては、観光拠点の向上と市民ニーズに対応するため、都賀聖地公園や旧勝間田病院跡地等の拡大した公園部分と、既存公園との整合を図り、公園施設整備工事を実施した。また、ファミリーパークプラザの利便性向上のため、建物内改修工事を実施した。

管理担当

1 業務委託関係

(1) 道路維持管理業務委託

委 託 名	委 託 箇 所	委 託 内 容	金 額 (円)
市道管理委託業務	都賀地域	草刈等	983,800
東北道BOX冠水注意回転灯 設備保守点検業務	都賀町木 (T15)	保守点検業務	42,000
市道各号線維持修繕等 業務委託(東部地区その1)	都賀東部地区	舗装修繕 倒木等撤去 ほか	3,790,500
市道各号線維持修繕等 業務委託(西部地区その1)	都賀西部地区	舗装修繕 側溝清掃 ほか	3,822,000
市道各号線維持修繕等 業務委託(東部地区その2)	都賀東部地区	舗装修繕 付属物復旧 ほか	3,801,000
市道各号線維持修繕等 業務委託(西部地区その2)	都賀西部地区	舗装修繕 除雪作業 ほか	3,780,000
市道各号線維持修繕等 業務委託(東部地区その3)	都賀東部地区	舗装修繕 パッチング ほか	4,536,000
市道各号線維持修繕等業務 委託(市道T①-285号線)	都賀町家中	側溝補修	344,300
計			21,099,600

(2) 河川・水路管理業務委託

委 託 名	委 託 箇 所	委 託 内 容	金 額 (円)
調整池等管理業務	合戦場升塚 土地区画整理地	除草ほか	73,500

2 都市公園等管理事業

(1) 維持補修

補 修 内 容	金 額 (円)	備 考
つがの里園内修繕	456,225	

(2) 業務委託

業 務 名	公 園 名	金 額 (円)	備 考
公園清掃業務委託	合戦場駅東公園等	100,940	
遊具保守点検業務委託	つがの里ファミリーパーク	61,950	
計		162,890	

都市建設担当

1 道路工事関係

(1) 道路改良工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
都賀町家中	T②-194	55.4	5.5	—	7,612,500	
都賀町大柿	T③-278/279	170	6.0	—	11,550,000	
都賀町木	T③-188	186.8	6.0	—	5,596,500	
計					24,759,000	

(2) 舗装補修工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
都賀町家中	T①-281	284.0	8.6	—	26,565,000	

(3) 交通安全施設整備事業

工事箇所	工事内容		工事金額(円)	備考
町名	区画線工	その他		
都賀地域	実線・文字 17,550m	—	210,000	

(4) 公園整備事業

工事箇所		工事内容	工事金額(円)	備考
町名	公園名			
都賀町木	ふるさとセンターパーク	つがの里公園整備 (その1)	47,334,000	
都賀町木	ふるさとセンターパーク	つがの里公園整備 (その2)	4,321,500	
都賀町木	都賀聖地公園	都賀聖地公園整備 (その3)	34,713,000	
都賀町白久保	ファミリーパーク	ファミリーパーク プラザ改修工事	15,865,500	
計			102,234,000	

2 業務委託関係

(1) 道路整備事業業務委託

業務名	委託箇所		委託内容	委託料(円)	備考
	町名	路線名			
測量設計	都賀町木	T③-171	測量詳細設計	3,307,500	
測量設計	都賀町合戦場	T①-247	用地測量	4,672,500	
測量設計	都賀町家中	T①-208	用地測量	3,622,500	

測量設計	都賀町家中	T②-442	測量詳細設計	3,675,000	
測量設計	都賀町家中	T②-294	用地測量	4,410,000	
計				19,687,500	

(2) 公園整備事業業務委託

業 務 名	委 託 箇 所		委 託 内 容	委 託 料 (円)	備 考
	町 名	公 園 名			
実施設計	都賀町臼久保	ふるさとセンターパーク	体験交流館設計業務	3,885,000	

3 用地取得関係

用地取得箇所		用地(筆数)	補償(件数)	金 額(円)	備 考
町 名	路線名				
都賀町大柿	T③-282	4	-	164,790	

4 登記関係

内 容	筆 数 (筆)
分 筆 (代 位)	3
地 積 更 正 ・ 分 筆 (代 位)	9
表 題	—
所 有 権 保 存	—
所 有 権 移 転	16
計	28

5 河川工事負担金

宇都宮亀和田栃木線地域排水整備事業の県との協定による事業に対する負担金（負担金率31.7%）

(1) 平成25年度実施状況

ア 事業費	235,170,000円
イ 市負担分	7,455,000円

第 1 2 章 西方総合支所

第 1 節 地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域協議会関係、広報広聴関係、自治会関係、消防関係、庁舎・自動車・パソコン等の維持管理関係、処分可能財産・市有地の維持管理関係、市営金崎有料駐車場の維持管理関係、市民税関係、収税関係、資産税関係である。

地域協議会関係については、地域の意見を市政に反映させるために西方町地域協議会を開催した。

広報広聴関係については、市民参加のまちづくりを推進するため、直接、市民から意見や提案を聴く「まちづくり懇談会ふれあいトーク」を開催した。

自治会関係については、西方地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

消防関係については、消防団員の各種訓練、地域防災訓練への参加、消防団西方方面隊夏季点検等を実施し、有事に備え消防防災体制の万全を期した。

庁舎・自動車・パソコン等の管理関係については、適正な維持管理に努め更なる利便性の向上を図った。

税務関係業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税込確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。

また、保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通しての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取組として、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保巡回訪問催告、休日夜間納税相談窓口の開設など、税込確保へ向けた取組を展開した。

資産税関係では、税務通知書等に基づく現地調査を通して、新增築・滅失家屋及び土地利用の状況把握に努めるとともに、償却資産未申告事業者に対する催告等を実施した。

地域自治担当

1 地域協議会関係

地域自治区制度による西方町地域協議会は、15名の委員により下記の内容で開催した。

(1) 委員（任期 平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

区 分	No.	氏 名	備 考
1 号委員	1	青 木 利 男	栃木市 PTA 連合会西方ブロック
	2	飯 沼 邦 利	西方町経済同友会
	3	宇 賀 神 末 盈	栃木市社会福祉協議会
	4	大 塚 孝 司 朗	西方地区体育協会
	5	大 橋 育 子	栃木市農村生活研究グループ協議会
	6	坂 本 光 祥	西方町認定農業者協議会
	7	中 村 正 廣	西方商工会
	8	横 倉 利 夫	西方地域自治会連合会
	9	若 林 キ ク	西方町文化協会
2 号委員	10	石 川 等	学識経験を有する者
	11	柳 澤 恵 子	
	12	和 賀 井 政 雄	
3 号委員	13	荒 川 里 子	公募に応じた者
	14	早乙女 のり子	
	15	舘 野 知 美	

(2) 開催内容

回数	開催日時・場所	主 な 内 容
第 1 回	4 月 24 日(水) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館 2 階会議室	報告事項 ・ 栃木市橋梁長寿命化修繕計画について ・ 西方地域の主要事業について ・ 栃木市地域自治制度検討委員会における新たな地域自治制度検討状況の中間報告について
第 2 回	5 月 22 日(水) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館 2 階会議室	報告事項 ・ 栃木市市民会議条例の制定について ・ 栃木市観光基本計画策定について ・ 栃木市都市計画マスタープランの中間報告について ・ 栃木市景観計画の中間報告について
第 3 回	7 月 24 日(水) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館 2 階会議室	意見聴取事項 ・ 栃木市都市計画マスタープランの地域別構想（案）について ・ 栃木市景観計画に係る良好な景観形成のための行為の制限と景観重要建造物及び景観重要樹木の方針について

		協議事項 ・意見書について
第4回	8月28日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	協議事項 ・意見書について その他 ・栃木市自治基本条例に基づく栃木市市民会議委員の推薦について ・栃木市子ども・子育て会議委員の推薦について
第5回	10月23日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	協議事項 ・先進地視察研修について ・西方地域における課題等の集約について
第6回	11月27日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	意見聴取事項 ・組織機構の見直しについて ・栃木市健康増進計画について ・栃木市新たな地域自治制度基本構想(素案)について
第7回	12月25日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	意見聴取事項 ・栃木市人権教育・啓発推進行動計画の策定について ・栃木市観光基本計画の素案について 報告事項 ・栃木市斎場再整備基本計画(案)について
第8回	1月22日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	意見聴取事項 ・栃木市食育推進計画の素案について ・とちぎ市農業・農村男女共同参画ビジョン(案)について
第9回	2月19日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	意見聴取事項 ・西方町区長の選任について 報告事項 ・蔵タク・ふれあいバスの利用状況及び本格運行の実施について
第10回	3月26日(水) 午後1時30分～ 西方公民館2階会議室	報告事項 ・合併時に「合併後再編」としている事務事業の調整状況について ・地域協議会へ意見を聴く事務事業(Aランク)について ・平成23・24年度に地域協議会等から提出された意見に対する市の対応状況について ・西方町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答書について

(3) 地域協議会だよりの発行

地域協議会の協議内容を市民にお知らせするため、西方地域の話題も交えた「地域協議会だより」を発行した。

- ・発行号数 第8号（5月）、第9号（7月）、第10号（9月）、第11号（12月）
第12号（3月）
- ・体裁 A3判二つ折り 両面刷り
- ・発行部数 各2,100部

2 自治会関係

自治会については、西方地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1) 自治会活動の推進

ア 単位自治会の把握

(ア) 自治会役員名簿

次年度各自治会役員名簿等の取りまとめ

- ・受付期間 1月～3月
- ・対象自治会 39自治会

(イ) 班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

- ・受付期間 10月～11月
- ・対象自治会 39自治会

（変更が生じた場合は随時受付）

イ 自治会長等報償金の支出

(ア) 各単位自治会の世帯数等調査

（基準日 10月1日現在）

(イ) 報償金の支出

（2月に支払 39自治会）

(2) 西方地域自治会連合会（事務局）

ア 組織構成

(ア) 組織

- ・単位自治会 39自治会

(イ) 役員

- ・会長1人、副会長1人、理事3人、会計1人、監事2人（総会で選出、任期1年）

イ 会議

(ア) 自治会長会議及び定期総会

- ・開催日 4月4日（木）
- ・参加者 各自治会長

(イ) 西方地域自治会連合会役員会

- ・開催日 5月9日（木）、11月6日（水）、3月12日（水）
- ・参加者 役員

ウ 主な事業

(7) 西方地域自治会連合会視察研修

- ・実施日 7月2日(火)
- ・研修先 茨城県笠間市
- ・参加者 23人

3 広報関係

「広報とちぎ」の配布

西方地域内での「広報とちぎ」の発行管理及び各課からの回覧等の配送業務を実施した。

- ・自治会長への「広報とちぎ」及び回覧文書等の配送業務委託(月1回)
- ・委託先:(社)栃木市シルバー人材センター

4 広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見・提案などを聴き、市民の声を今後の市政経営に活かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前 質問数	フリー トーク数	自治 会数	参加 者数
1	7月11日(木)	西方総合文化 体育館	古宿、峰、元中部、 柴西、柴中、柴南、 和久井、金井北、 原、薬師堂、神塚、 弥八内、金井東、 金井新田、西金井、 田谷、居林、下宿 北、下宿南	2	7	19	51
2	7月12日(金)	西方保健 センター	木の宮西、木の宮 東、金崎南、栄町、 上組南、上組東、 上組北、小倉山下、 宿裏町、大沢田、 中宿	3	11	11	40
3	7月17日(水)	真名子夢 ホール	根子屋、水木、岡、 男丸、真上、小沼、 小沼北、向宿、反 町	7	9	9	36
合 計				12	27	39	127
				39			

5 総合支所会議

地域まちづくり課長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

- ・開催12回
- ・内容 審議事項1件
報告事項18件
連絡事項73件

総務担当

1 文書発送

後納郵便発送件数 37,452件

2 消防関係

(1) 配置人員

西方方面隊

(())の数字は内数 単位：人

分団別	階級	副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
	定員									
本部分団	定員	1	(1)	2	1	1	2	2	4	13
	実員	1	(1)	2	1	1	2	2	2	11
第1分団	定員	-	-	-	1	1	1	2	14	19
	実員	-	-	-	1	1	1	2	14	19
第2分団	定員	-	-	-	1	1	2	4	26	34
	実員	-	-	-	1	1	2	4	14	22
第3分団	定員	-	-	-	1	1	2	4	24	32
	実員	-	-	-	1	1	2	4	20	28
第4分団	定員	-	-	-	1	1	1	2	20	25
	実員	-	-	-	1	1	1	2	20	25
合計	定員	1	(1)	2	5	5	8	14	88	123
	実員	1	(1)	2	5	5	8	14	70	105

(2) 消防車等の態勢

西方方面隊

区分	種別	車名	年式
本部分団	指令車	トヨタ	平成13年
	小型動力ポンプ	トーハツ	平成11年
	積載車	いすゞ	平成11年

第1分団		普通ポンプ車	トヨタ	平成22年
第2分団	第1部	小型動力ポンプ	シバウラ	平成21年
		積載車	トヨタ	平成21年
第2部		普通ポンプ車	トヨタ	平成19年
第3分団	第1部	小型動力ポンプ	ラビット	平成11年
		積載車	ニッサン	平成11年
	第2部	小型動力ポンプ	ラビット	平成12年
		積載車	ニッサン	平成10年
第4分団		小型動力ポンプ	シバウラ	平成20年
		積載車	トヨタ	平成20年
		小型動力ポンプ	ラビット	平成20年
		軽積載車	スバル	平成20年

(3) 西方方面隊の活動状況

ア 入退団式の実施

- ・実施日 4月7日（日）
- ・場 所 西方公民館

イ 機関員・ポンプ操法講習会の実施

- ・実施日 6月2日（日）
- ・場 所 西方総合支所駐車場

ウ 夏季点検の実施

- ・実施日 7月14日（日）
- ・場 所 西方小学校校庭

エ ポンプ操法大会の実施

- ・実施日 7月14日（日）
- ・場 所 西方小学校校庭

オ 普通救命講習会の実施

- ・実施日 8月18日（日）・8月25日（日）
- ・場 所 西方総合体育館研修室

カ 防犯防火診断の実施

- ・実施日 12月5日（木）
- ・場 所 西方地域旧大字単位（自治会と西方方面隊各分団が連携して実施）

キ 地域防災訓練への参加

- ・実施日 平成26年3月9日（日）
- ・場 所 真名子小学校校庭

ク 大雨警報による警戒及び大雪被害に対する対応

- ・随 時

(4) 西方方面隊役員会

開催日	場 所
4月17日（水）	西方総合支所2階会議室

6月 6日 (木)	西方総合支所2階会議室
8月12日 (月)	西方総合支所2階会議室
10月 4日 (金)	西方総合支所2階会議室
12月17日 (火)	西方総合支所2階会議室
2月13日 (木)	西方総合支所2階会議室

(5) 各種団体の運営支援

栃木市西方婦人防火クラブの事務局として、運営の支援を行った。

3 支所庁舎内の業務委託

業 務 名	委託金額 (円)
庁舎夜間警備保守業務委託	660,240
その他業務委託件数 7件	1,669,378

4 支所庁舎内の修繕工事等

工 事 名	工事金額 (円)
庁舎非常用発電機修繕工事	141,960
庁舎車庫シャッター修繕工事	733,790
消火栓用発電機修繕工事	286,650
その他修繕工事件数 3件	144,538

5 共用車管理状況

区 分	数 量 (台)
普通乗合 (マイクロバス 23人)	1
普通乗用	2
小型乗用	2
軽乗用	2
小型貨物 (内1台はトラック)	2
軽貨物	6

6 パソコンの整備状況

区 分	課 名	パソコン (台)
区長、支所長		2
西方総合支所	地域まちづくり課	18
	生活環境課	11
	健康福祉課	21
	産業建設課	10
西方教育支所		19

水道課（北部水道事務所）	4
合 計	85

7 ネットワーク機器端末等の保守管理業務等

名 称	業 務 名
富士通リース(株)	行政系ネットワーク機器リース事業 ネットワーク機器93台、レーザープリンター8台

8 行政財産使用料

区 分	件数（件）	数 量	収入金額（円）
庁舎1階廊下（販売）	12	延べ24㎡	1,200
足利銀行（ATM）	1	22.20㎡	17,490
東京電力(株)（電柱、支線）	1	8本	12,000
東日本電信電話(株)（電話柱等）	1	15本	22,500
ケーブルテレビ(株)	1	4本	6,000
日本郵便(株)鹿沼郵便局	1	1基	420
庁舎内自動販売機（2社）	2	2台	206,659
合 計	19	—	226,269

9 普通財産の管理等に関する事務

普通財産の貸付

区 分	件数（件）	面積（㎡）	収入金額（円）
市有地（西方地域）	15	5,388.58	662,900

10 市営金崎有料駐車場に関する事務

区 分	件数（件）	収入金額（円）
年額利用者	14	486,500
月額利用者	2	52,500
合 計	16	539,000

市民税担当

1 諸証明等の交付（西方地域分）

区 分	件・冊・枚数		摘 要
	有 料	無料(公用等)	
諸 証 明	1,016	360	<ul style="list-style-type: none"> ・納税、所得及びその他の証明 1件につき200円 ・土地及び建物の評価証明 1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用家屋証明 1件につき1,300円
公簿閲覧	286	250	
計	1,302	610	

2 市民税、軽自動車税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の業務については、本庁市民税課に一括して掲載。

3 差押（参加差押含む）（上段：市全体/下段：西方地域）（単位：件）

差 押 物 件	年度当初	差 押	解 除	年度末
不 動 産	158	17	7	168
	13	1	-	14
自 動 車	8	2	4	6
	-	-	-	-
電話加入権	7	-	1	6
	-	-	-	-
債権その他	208	602	489	321
	19	39	43	15
計	381	621	501	501
	32	40	43	29

4 交付要求（上段：市全体/下段：西方地域）（単位：件）

年度当初	要 求	終 結	年 度 末
82	70	62	90
7	5	3	9

5 催告書発送及び納付状況（上段：市全体/下段：西方地域）

月 日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月12日（金）	1,960	1,410	23,625,904

	187	-	-
6月21日（金）	4,736	1,659	25,900,927
	125	-	-
10月25日（金）	3,883	1,505	31,665,009
	190	-	-
1月24日（金）	2,485	1,448	27,975,775
	115	-	-
計	13,064	6,022	109,167,615
	617	-	-

6 休日納税相談窓口（上段：市全体/下段：西方地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実 施 期 間	納付件数(件)	納 付 額 (円)
第1回	4月20日（土）	58	903,400
		1	600
第2回	6月30日（日）	66	581,800
		4	124,300
第3回	11月2日（土）	62	972,200
		2	14,400
第4回	2月2日（日）	116	2,832,000
		9	107,700
計		302	5,289,400
		16	247,000

7 市税等収納員による徴収事業

西方地域の実績は、都賀総合支所税務課に含む。

8 市税等徴収強化事業（上段：市全体/下段：西方地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員及び関係課職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間 12月6日（金）～20日（金）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
1,342	147	4,829,420
152	12	140,600

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

第2節 生活環境課

〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次の業務を行った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付審査、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

旅券事務については、一般旅券の発給申請の受理及び交付事務を行った。（真名子出張所を除く。）

真名子出張所においては、上記のほか、真名子夢ホール使用申請及び維持管理、税関係証明発行、収税等も行った。

国民健康保険事業については、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のため人間ドック（一般・脳）検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業については、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業については、市民の保健の向上と福祉の増進を図るため、重度心身障がい者、こども（中学校3年生まで）、妊産婦及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対し、経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費の一部を助成した。不育症治療を受けている夫婦への助成制度についても新設されたが、補助申請はなかった。

国民年金事業については、法定受託事務として各種届出の受理及び進達を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

交通関係については、交通安全運動や交通安全教室などを通じて、交通安全に対する意識の高揚に努めた。

今日の環境問題は、ごみの不法投棄・野外焼却、河川や土壌の汚染、騒音、悪臭の問題など、市民の日常生活に直接関わるものから、地球温暖化、自然破壊による生物多様性の減少など、人類への影響のみならず、地球上の生命の生存そのものを脅かすものまで、複雑多岐で深刻な課題を抱えており、その解決のためには、地域はもとより、全世帯を挙げた取組を進めることが求められている。これらの課題等に対応し、環境行政の円滑で積極的な推進を図った。

具体的には、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、不法投棄の監視及び投棄物の回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のための市民

意識の啓発推進に努めた。

また、大気、水、騒音、悪臭等に係る公害の発生防止とその対策に努めたほか、土砂等の埋立てによる土壌汚染と災害の発生防止を図るとともに、市営墓地の管理・運營業務の円滑な推進に努めた。

住民担当

1 戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数 101件（出生37件、婚姻7件、死亡47件等）

2 窓口事務

(1) 窓口届出処理件数

(単位:件)

処 理 事 項		件 数	処 理 事 項		件 数
戸籍届		101	死体埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	20	
住民異動届		284			
計		385	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	-	
印鑑	登 録	199			
	廃 止	62	死産届	-	
計		261	計	20	
			合 計	666	

(2) 謄抄本証明書等交付件数

種 別		件 数 (件)	金 額 (円)	種 別		件 数 (件)	金 額 (円)
戸 籍	全部事項証明	606	272,700	住 民 票	世帯全員	501	100,200
	個人事項証明	190	85,500		個 人	1,844	368,800
	除籍謄本	484	363,000		証 明	80	16,000
	除籍抄本	2	1,500		閲 覧	-	-
	戸籍証明	3	1,050		年金現況証明	-	-
	受理証明	-	-		戸籍の附票	54	10,800
	廃棄証明	-	-		公 用	16	-
	出産証明	1	-		広 域	6	1,200
	不受理証明	-	-		住基カード(有料)	1	500
	公 用	22	-		住基カード(無料)	9	-
	計	1,308	723,750		計	2,511	497,500
印鑑証明	2,025	405,000	印鑑登録	199	39,800		
諸証明	9	1,800	印鑑登録廃止	62	-		

証 明 書	身分証明	50	10,000	そ の 他	臨時運行許可証	108	81,000
	住居表示証明	-	-		労基証明	-	-
	公 用	2	-		人口統計	-	-
	選挙証明	-	-		公的個人認証	10	5,000
	計	2,086	416,800		計	379	125,800
合 計				6,284 件		1,763,850 円	

(3) 斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種 類	区 分		件 数 (件)		金 額 (円)
斎 場	市 内	大 人	22	22	-
		小 人	-		
		死産児	-		
	市 外	大 人	-	-	-
		小 人	-		
		死産児	-		
エ ナ		-	-	-	
計			22	-	
霊きゅう車	往 路	市 内	15	67,500	
		市 外	-	-	
	帰 路	市 内	14	21,000	
		市 外	-	-	
計			29	88,500	
待 合 室	市 内	21	63,000		
	市 外	-	-		
計			21	63,000	
合 計			72	151,500	

(4) (1)～(3)のうち延長窓口処理件数 (単位：件)

種 別	処理件数
戸籍謄抄本等交付	3
住民票写し等交付	9
印鑑登録証明書交付	7
印鑑登録	4
戸籍届	-
窓口及び電話による相談、問い合わせ等	16
合 計	39

3 中長期在留者住居地届出等事務
窓口届出等処理事務件数

(単位：件)

件名	件数
転入	-
職権記載	-
追加	-
合計	-

4 一般旅券申請・交付件数 (単位：件)

	申請	交付
4月	15	10
5月	4	5
6月	5	3
7月	10	5
8月	3	12
9月	4	2
10月	7	7
11月	6	2
12月	4	6
1月	8	10
2月	6	4
3月	2	3
計	74	69

5 真名子出張所発行件数 (単位：件)

種別	件数
戸籍謄抄本等交付	101
住民票写し等交付	257
印鑑登録証明書交付	249
印鑑登録	14
印鑑登録廃止	-
諸証明交付	10
市税収納	880
税諸証明交付	152
合計	1,663

6 真名子夢ホール使用状況

施設名	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
真名子夢ホール	221	4,690	41,900

保険医療担当

1 国民健康保険の給付等に係る申請の受付に関すること

(1) 高額療養費の受付状況 (単位：件)

高額療養費受付件数	一般	214
	退職者	6
限度額適用認定証(標準負担額減額認定証を含む)		95

(2) 療養費の受付状況

・療養費受付件数 101 件

(3) 出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数 一件

(4) 葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数 11 件

(5) 人間ドック検診の受付状況 (単位：件)

人間ドック受付件数	一般ドック	60
	脳ドック	7

(6) 医療費通知の発送状況

回数	対象月	件数(件)	発送月
1	平成 24 年 12 月・平成 25 年 1 月診療分	833	6 月
2	平成 25 年 2 月・平成 25 年 3 月診療分	859	8 月
3	平成 25 年 4 月・平成 25 年 5 月診療分	865	10 月
4	平成 25 年 6 月・平成 25 年 7 月診療分	852	11 月
5	平成 25 年 8 月・平成 25 年 9 月診療分	855	1 月
6	平成 25 年 10 月・平成 25 年 11 月診療分	882	3 月
計		5,146	

2 後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数 (単位：件)

申請書種類	件数
資格関係届出	82
高額療養費申請	61
その他の療養費申請	22
葬祭費申請	57
被保険者証等再交付申請	66
合計	288

3 医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること
資格関係等受付件数 (単位：件)

種 別	件 数
重度心身障がい者医療費助成	20
こども医療費助成	159
妊産婦医療費助成	46
ひとり親家庭医療費助成	12

4 不妊治療費補助金及び不育症治療費補助金に関すること

(1) 不妊治療費補助金

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準として、その2分の1の額（10万円を限度に通算5回）を補助するため、窓口で申請受付等を行った。

・補助申請受付件数 2件

(2) 不育症治療費補助金

不育症治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から他の制度による給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額（1年度30万円を限度）を補助するため、窓口で申請受付等を行った。

・補助申請受付件数 一件

5 国民年金に係る申請等受付に関すること

(1) 諸届の受理件数 (単位：件)

種別	件数	種別	件数
新規取得届	23	転居届	12
新規取得申出	-	氏名変更届	3
再取得届	87	訂正・取消・不在	-
再取得申出	2	転出届	37
付加年金取得届	5	法定免除該当届	1
付加年金喪失届	2	法定免除消滅届	-
資格喪失届	41	手帳再交付届	3
資格喪失申出	-	種別変更届	24
死亡届	3	その他	11
転入届	21	計	275

(2) 免除申請受理件数 (単位：件)

種類	件数
免除・納付猶予申請	166
学生納付特例申請	25

(3) 国民年金請求受理件数

(単位：件)

給付種類	件数
老齢基礎年金	10
障害基礎年金	1
遺族基礎年金	1
寡婦年金	-
死亡一時金	-
未支給年金	23
老齢福祉年金	-
計	35

(4) 相談件数 (単位：件)

相談の内訳	件数
来訪相談	107
電話相談	60
文書相談	-
計	167

生活環境交通担当

1 環境基礎調査事業

(1) 河川水質調査

西方地内における公共用水域について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 西方町元地内
- ・調査月日 5月27日（月）、8月20日（火）、11月19日（火）、2月25日（火）
- ・調査項目 pH BOD SS 溶存酸素（DO）全窒素 全リン
電気伝導率

(2) 地下水水質調査

西方地内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

- ・調査地点 西方町金崎地内
- ・調査月日 5月28日（火）
- ・調査項目 カドミウム 鉛 砒素 総水銀 アルキル水銀 ジクロロメタン
四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン

2 市営墓地使用許可状況 (単位：区画)

名称及び面積	造成数	許可数
菅ノ沢墓地 19.8㎡	10	7
東上林墓地 6.6㎡	25	25
計	35	32

3 公害関係

(1) 大気関係

大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	-	-	1	1
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(2) 水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	3	5	4	4
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	1	-	-

(3) 騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	-	-	-	3	-
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	2	1

(4) 振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況 (単位：件)

届出の種類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	-	-	-	3	-
県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	2	1

(5) その他

公害苦情受付件数 (単位：件)

大気	水質	騒音	振動	悪臭	土壌	その他	合計
9	3	-	-	3	-	-	15

4 一般廃棄物の収集

13分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週2回、もやさないごみ、新聞紙、雑誌、その他の紙、紙パック、ダンボール、ペットボトル・食品用トレイ、空カン・空ビン、有害ごみ、粗大ゴミは月1回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料で戸別訪問収集を実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1) ごみ収集搬入量 (単位：t)

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
1611.08	123.03	113.31	66.59	22.04	31.46	1,967.51

(2) もやすごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
12.24	1,029.46	569.38	1,611.08

(3) もやさないごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	合計
0.87	106.74	15.42	123.03

(4) 資源物の収集搬入状況 (単位：t)

種類	直営	委託	直接搬入	合計
紙類	—	113.31	—	113.31
空カン・空ビン	—	66.32	0.27	66.59
ペットボトル・トレイ	—	21.92	0.12	22.04
合計	—	201.55	0.39	201.94

(5) 粗大ごみの収集搬入状況 (単位：t)

直営	委託	直接搬入	減免	合計
3.31	3.72	24.25	0.18	31.46

(6) 犬猫等の収集搬入状況 (単位：頭)

犬	猫	その他	合計
6	37	42	85

(7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量 (単位：k1)

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合計
200.17	760.07	960.24

5 不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、環境美化監視員を設置し、地域内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

(1) 不法投棄物回収件数 (単位：件)

区分 地域	生活系 廃棄物	家電 4品目	電化 製品	粗大 ごみ	産業 廃棄物	その他	計
西方	8	9	3	9	4	5	38

(生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計)

6 狂犬病予防業務

(1) 犬の登録 (単位：頭)

新規登録数	登録抹消数	登録総数
35	44	641

(2) 狂犬病予防注射

ア 集合注射

- ・実施期間 5月14日(火)～15日(水)
- ・実施会場 地域内6会場
- ・実施数 237頭

イ 個別注射

- ・実施方法 各動物病院等において個別に実施
- ・実施数 164頭

7 市民相談関係

市政に対する意見、要望、苦情を聴くとともに、国・県との相談機関と相互に協力して市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

行政相談

- ・実施日 毎月18日
- ・場 所 西方保健センター
- ・相談件数 3件

8 消費者行政の推進

経済社会全体の情報化、国際化、規制緩和の進展を背景に消費者を取り巻く環境は、著しく変化しており、また、消費者のニーズも多様化、高度化し多面的な広がりを見せている。消費者が安全で合理的な消費生活を送るために情報提供、相談業務や啓発事業を実施した。

9 交通関係

(1) 交通安全運動等

ア 春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗掲出等

- ・実施期間 4月6日(土)～15日(月)

イ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗掲出等

- ・実施期間 9月21日(土)～30日(月)

(ア) 交通安全市民大会

交通安全功労者・功労団体表彰、大会宣言等

- ・実施日 9月28日(土)
- ・場 所 栃木文化会館

ウ 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭PR、広報車等による広報

- ・実施期間 12月11日(水)～31日(火)

(2) その他の交通安全対策

- ・交通指導員の設置 3人委嘱(西方)

10 防犯関係

防犯業務においては、防犯診断及び防犯灯の修繕を実施した

(1) 防犯診断 12月5日(木)

- ・全戸へチラシ配布及び防犯診断実施

(2) 防犯灯の設置

(単位：灯)

区 分		設 置 灯 数
新設工事	本柱へ新設	15
改修工事	器具交換	6

第3節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課は、福祉担当、こども担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当で編成されている。

福祉担当では、福祉に係る全般的窓口として、民生委員児童委員に関する事務、日本赤十字社に関する事務、生活保護や低所得者層の援護を行った。また、障がい者支援として、身体・知的・精神障がい者手帳の交付、自立支援医療・育成医療受給者証の交付、障がい福祉サービスや福祉タクシー料金助成に関する事務等を行い、豊かな社会生活を営むことができるよう努めた。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行った。また、放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、老人クラブ育成支援、西方ふれあいプラザ及びさくらホームに関する業務等を実施した。また、高齢者福祉関係として、配食サービス事業、緊急ホームヘルパー派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当支給事業、紙おむつ購入費助成事業などの介護予防事業や生活支援事業、戦没者遺族の援護を実施した。さらに、介護保険関係として、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため介護予防事業、介護予防事業の担い手となるボランティアの育成、包括的支援事業等に取り組んだ。

健康増進担当では、ライフサイクルに応じた健康づくり支援として、各種健康診査、健康教育、相談、訪問事業等を実施した。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、発達障がいの早期支援を目的としたのびのび相談、各種予防接種事業等を実施した。高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。また、各種がん検診、肝炎ウイルス、骨粗しょう症及び歯周疾患検診を実施した。がん検診推進事業で無料クーポン券を発行し、子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診の受診勧奨を図った。健康づくり事業では、生活習慣病予防推進のため、栄養や運動等に関する健康相談・健康教育事業を実施した。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員18人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況

(単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
4	8	—	5	—	1
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
—	2	3	56	79	4.4

(2) 調査等状況

(単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的 機関との連絡	諸会合・行事 への参加	友愛訪問・安否 確認のための訪問	計	委員1人 当たり件数
292	9	192	1,150	2,135	3,778	209.9

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤社資

目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
701,000	653,100	93.2

(2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	1世帯	1人	1枚	1組	1個

(3) 災害見舞金給付状況

(単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
1	—	—	—	—

3 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区分		実施状況(人)
交付者数		107
	うち高齢者(80歳以上)	78
	高齢者(65～79歳)	4
	障がい者	15
	腎臓機能障がい者	10

4 身体障がい者の現況(身体障害者手帳交付状況)

(単位：人)

障がい区分	手帳所持者数	平成25年度中交付者数
視覚障がい	11	3

聴覚・平衡障がい	28	1
音声・言語・そしゃく障がい	2	—
肢体不自由障がい	117	7
内 部 障 が い	73	6
複 合 障 が い	13	2
合 計	244	19

5 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数）（単位：人）

区 分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	3	2	9	4	18
中度（ B 1 ）	1	1	6	5	13
軽度（ B 2 ）	—	2	5	—	7
合 計	4	5	20	9	38

6 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況（精神障害者保健福祉手帳交付者数）

区 分	交付者数（人）	比 率（％）
1 級	4	15.4
2 級	18	69.2
3 級	4	15.4
合 計	26	100

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、44人が受給した。

7 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理（単位：件）

区 分	身体障がい者			身体障がい児		
	交付	修理	合計	交付	修理	合計
義 肢	義 手	—	—	—	—	—
	義 足	—	—	—	—	—
装 具	下 肢	2	—	2	—	—
	靴 型	2	—	2	—	—
	体 幹	—	—	—	—	—
	上 肢	—	—	—	—	—

座 位 保 持 装 置	1	—	1	1	—	1
盲 人 安 全 つ え	—	—	—	—	—	—
義 眼	—	—	—	—	—	—
眼 鏡	矯 正 眼 鏡	—	—	—	—	—
	遮 光 眼 鏡	—	—	—	—	—
	弱 視 眼 鏡	—	—	—	—	—
補 聴 器	高 度 難 聴 用 ポ ケ ッ ト 型	—	—	—	—	—
	高 度 難 聴 用 耳 掛 け 型	2	—	2	—	—
	重 度 難 聴 用 ポ ケ ッ ト 型	—	—	—	—	—
	重 度 難 聴 用 耳 掛 け 型	—	1	1	1	—
車 い す	普 通 型	1	—	1	—	2
	そ の 他	—	1	1	—	—
電 動 車 い す	—	—	—	—	—	—
起 立 保 持 具	—	—	—	—	—	—
座 位 保 持 い す	—	—	—	—	—	—
歩 行 器	—	—	—	—	—	—
歩 行 補 助 つ え	—	—	—	—	—	—
重 度 障 が い 者 用 意 思 伝 達 装 置	—	—	—	—	—	—
特 例 補 装 具	—	—	—	—	—	—
合 計	8	2	10	2	2	4

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付 (単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	—	—
特 殊 マ ッ ト	—	—
特 殊 尿 器	—	—
移 動 用 リ フ ト	—	—
訓 練 い す	—	—
入 浴 補 助 用 具	1	2
体 位 変 換 器	—	—
便 器	—	—
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	—	—
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	—	—
頭 部 保 護 帽	—	—
特 殊 便 器	—	—

火 災 警 報 器	—	—
自 動 消 火 器	—	—
聴覚障がい者用屋内信号装置	—	—
透 析 液 加 温 器	—	—
ネ ブ ラ イ ザ ー	—	—
電 気 式 た ん 吸 引 器	—	—
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	—	—
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	—	—
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	—	—
視覚障がい者用拡大読書器	—	—
盲 人 用 時 計	—	—
盲 人 用 体 温 計	—	—
盲 人 用 体 重 計	—	—
点 字 デ ィ ス プ レ イ	—	—
聴覚障がい者用通信装置	—	—
聴覚障がい者用情報受信装置	—	—
人 工 喉 頭	—	—
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	—	—
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	—	—
点 字 図 書	—	—
ス ト マ 用 装 具	13	—
紙 お む つ	2	2
収 尿 器	—	—
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	—	—
合 計	16	4

8 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

種 別	給付決定者数(件)
視 覚 障 が い	—
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	—
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	—
免 疫 機 能 障 が い	—
肢 体 不 自 由	1
心 臓 機 能 障 が い	2

腎臓機能障がい	22
合計	25

9 身体障がい児の自立支援医療（育成医療）給付決定の状況

種別	給付決定者数(件)
視覚障がい	—
聴覚・平衡機能障がい	—
音声・言語・そしゃく機能障がい	1
免疫機能障がい	—
肢体不自由	2
心臓機能障がい	—
腎臓機能障がい	—
小腸機能障がい	1
合計	4

10 各種手当の状況

種別	給付決定者数(件)	
特定疾患介護手当	6	
重度心身障がい児扶養手当	—	
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	1
	障がい児福祉手当	—
	福祉手当（経過的）	—
特別児童扶養手当	1	

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、西方地域2か所の小学校区内において実施した。

・学童保育入所者数

(単位:人)

学年	1 学年			2 学年			3 学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学童保育名												
西方児童クラブ（西方小）	3	5	8	5	4	9	7	9	16	15	18	33
真名子児童クラブ（真名子小）	1	—	1	3	—	3	4	—	4	8	—	8

計	4	5	9	8	4	12	11	9	20	23	18	41
---	---	---	---	---	---	----	----	---	----	----	----	----

2 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給した。

- ・児童手当受付件数 51件

3 赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、第二子以降のお子さんが誕生した家庭に、誕生祝金を交付した。

事業名	祝金額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	14
	第三子以降 20,000円	11

4 児童扶養手当

父母の離婚や死亡などによって、父または母と生計を同じくしていない児童や父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給を行った。

種別	受付件数(件)
児童扶養手当	1

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口（4月1日現在）

区分	年度		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
総人口(人)	6,684	6,618	6,586
65歳以上人口(人)	1,696	1,715	1,773
総人口に対する割合(%)	25.37%	25.91%	26.92%

※外国人を含む人口

(2) 高齢者生活態様（5～6月調査結果）

（年齢基準日：4月1日現在）

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		1,773	100
内	独居	144	8.1

訳	高齢者世帯※ (世帯数)	313 (153)	17.7
	その他	1,316	74.2

※65歳以上のみで構成された世帯

2 敬老祝賀事業

9月1日（基準日）において本市に引き続き1年以上在住し、該当年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日にあわせ老祝金を贈呈した。本庁一括予算で実施し、95歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額（円）	対象人数（人）
85歳	10,000	50
90歳	20,000	33
95歳	30,000	9
100歳	100,000	3
101歳以上	50,000	3

3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 37自治会、1高齢者施設
- ・補助額 671,000円

4 老人クラブ育成支援

老人クラブ連合会西方支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導支援を行った。

- ・単位老人クラブ数（西方地域） 8クラブ
- ・西方町老人クラブ連合会会員数 221人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 本庁高齢福祉課で支払
老人クラブ連合会西方支部助成 本庁高齢福祉課で支払

5 老人スポーツ大会

老人クラブ連合会西方支部主催（事務局：栃木市社会福祉協議会西方支所）で老人スポーツ大会を開催した。個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。

事業名	実施日	参加人数(人)	会場
グランドゴルフ・ペタンク大会	5月21日(火)	57	さくらグラウンド

輪投げ大会	6月29日(土)	96	西方小学校体育館
	10月19日(土)	98	西方小学校体育館
はればれ交流会	10月26日(土)	132	西方総合文化体育館

6 はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 西方地域内に居住するおおむね65歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館・集会所・広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 3センター（5自治会）
- ・委託料 880,000円
- ・実施回数 延べ245回
- ・参加人数 延べ3,044人

7 高齢者配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者、障がい者等に対し、居宅に訪問し栄養のバランスのとれた昼食弁当（1食300円）を提供することにより、利用者の健康増進を図るとともに安否確認をすることを目的に実施した。

- ・宅配個数 2,336個
- ・世帯数 19世帯(21人)
- ・委託先 栃木市社会福祉協議会 今泉町2-1-40
ワタミタクシヨク(株) 仲方町306-5

8 高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 27人
- ・訪問世帯数 213世帯

9 日常生活用具購入費助成等事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品目	件数
老人福祉車	17

小型暖房器具	10
電磁調理器	—
火災警報器	—
自動消火器	—

10 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成。

・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品目	件数
電動小型吸引器	—
特殊寝台	—
じょく瘡予防用具	1

11 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況 (単位：台)

既設置台数	平成25年度設置台数	平成25年度撤去台数	計
7	1	1	7

12 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

要介護認定3・4・5いずれかに認定された方と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数 (延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
90	84	174

13 紙おむつ購入費助成事業

要介護認定3・4・5いずれかに認定された方で、日常生活において紙おむつを使用している方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数 (延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
67	68	135

14 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目

的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

- ・利用者数 4人
- ・延べ回数 100回 (100時間)

(2) 軽度生活援助員派遣事業

- ・利用者 2人
- ・延べ利用時間数 (単位：時間)

家事	—
除草	45
植木手入れ	—
大工	—

(3) 在宅高齢者短期入所事業

- ・利用者 なし

15 西方ふれあいプラザ

西方ふれあいプラザの運営管理業務を、栃木市社会福祉協議会(西方支所)に委託(指定管理)して実施した。

(1) 利用者数 (単位：人)

年度 区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
西方ふれあいプラザ利用者	3,151	2,638	2,363

- ・開館日数 287日
- ・1日平均利用者 8.2人
- ・内 容 趣味活動(手工芸等)、レクリエーション、入浴、足湯
カラオケなど

16 西方さくらホーム

高齢者が、自主的に社会奉仕活動や生きがい活動、健康づくり活動等を行うことを目的に事業を実施した。

(1) 利用者数 (単位：人)

年度 区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
西方さくらホーム利用者	850	726	669

- ・開催日数 125日
- ・1日平均利用者 5.4人
- ・内 容 手工芸教室、介護予防教室、除草
野外活動等

17 介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

内 容	件数 (件)
要介護 (要支援) 認定申請 相談・受付・入力	284
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	15
介護給付費過誤申立 受付・入力 (過年度分のみ)	—
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	1
転入・転出・転居 資格管理等	1
転送希望届申請 受付・入力	7
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	79
短期入所の 30 日を超える連続利用申請 受付・決定発行	1
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	1
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	5
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	22
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	11
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	24
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	54
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	4
オムツ使用証明申請 受付・発行	1
介護保険事業者事故報告 受付	3

18 高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

(単位：件)

区分	件数	実件数	延べ件数
面 接		195	219
電話相談			232
家庭訪問		20	25
連絡調整			232

19 地域包括支援センター事業

(1) 地域包括支援センター設置状況

西方地域包括支援センター 西方町本城 1 番地 西方保健センター2 階

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者の把握を行った。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた人を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者把握状況

チェックリストによる対象者数 219人

(イ) 通所型介護予防事業

運動器機能向上の必要性がある二次予防事業対象者に対して、ゆうゆうヘルシー教室、運動教室、いきいきリハビリ教室を実施し、要介護状態等になることの予防及び、自立した生活を送るための支援を行った。

運動教室では、健康運動指導士が個別の運動プログラムを作成し、そのプログラムに沿って教室時や自宅での運動を対象者に3か月間実践してもらった。運動教室終了後には、月2回4か月間フォローアップ編を開催し、自宅でも運動することの大切さを意識してもらうよう支援した。

いきいきリハビリ教室では、年3回理学療法士が、個別の運動プログラムを作成し、教室時にプログラムに沿って運動を行った。

・実施状況

	開催回数(回)	延べ人数(人)
ゆうゆうヘルシー教室 (複合型介護予防事業)	10	90
運動教室	12	92
運動教室 フォローアップ編	8	54
いきいきリハビリ教室	49	454
合計	79	690

イ 一次予防事業

(ア) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発のため、「元気アップ教室」を全5か所で開催した。各箇所月1～3回の頻度で、保健師による運動の実践や指導、栄養士による栄養の講話や調理実習を行った。また、老人会の集会に合わせて、保健師が出向き、介護予防のための運動や講話を実施した。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	82	885
栄養改善	10	115
合計	92	1,000

(イ) 地域介護予防活動支援事業

a ますます元気サポーター養成講座と活動

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、都賀・西方合同で地域福祉や介護予防の知識の習得、サポーター間の情報収集や交流ができる機会を設け、地域活動の人材育成や支援を行った。

ますます元気サポーター養成講座修了後は、都賀・西方各地域教室のサポーターとして、血圧測定や運動補助、参加者の見守り等を実施してもらった。

・実施状況（都賀・西方地域包括支援センター合同で開催）

	回数(回)	延べ人数(人)
ますます元気サポーター養成講座	5	96
ますます元気サポータースキルアップ講座	5	44
ますます元気サポーター視察研修	1	11
ますます元気サポーター打合せ	3	15
合 計	14	166

・実施状況（西方地域）

	回数(回)	延べ人数(人)
ますます元気サポーター活動状況	53	94

b 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座では、老人保健施設にしかたと協賛し、西方病院や老人保健施設にしかた、特別養護老人ホーム雅の風職員向けに養成講座を2回に分けて開催した。

- ・会 場 西方病院
- ・実施日 9月4日（水）、11月8日（金）
- ・講 師 認知症の人と家族の会栃木支部代表 金澤林子氏
- ・参加人数 117人

c 出前講座

地域の団体を対象に、介護予防の普及啓発や健康相談等を実施した。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 25人

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等になることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。

また、要支援状態等となった場合においては、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・実施状況

開催回数(回)		件数(件)
二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況		21
要支援者の介護予防	地域包括支援センター作成	12

サービス計画作成状況	事業所委託	19
	合計	31
サービス担当者会議実施状況		30
住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況		3

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況

	延べ件数(件)
面接	125
電話相談	421
家庭訪問	395
合計	941

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、関係機関と連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を随時行っているが、平成25年度は高齢者虐待の相談等はなかった。

・実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	2
高齢者虐待に関すること	—

エ 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における他職種との連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

(4) 任意事業

ア 地域自立支援事業(24時間通報体制)

地域包括支援センターへの相談等に随時対応するため、夜間等電話相談業務を老人保健施設にしかたに委託し実施した。

・実施状況

	相談日実数(日)	相談件数(件)	緊急対応(再掲)
休日(土日・祝日)	5	5	1
平日夜間	3	3	—
合計	8	8	1

健康増進担当

1 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを行い、妊婦の状態を把握し、必要に応じて面接相談を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

- ・母子健康手帳交付数 31人（妊娠届出30人、双胎一人、紛失等一人、海外から転入1人）

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査 【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配布、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査 【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がい相談にも応じた。

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	36	37	102.8	4	4	1	—
乳児健康診査 (9か月児)	12	32	30	93.8	4	3	1	—
1歳6か月児 健康診査	3	36	37	102.8	13	—	—	1
3歳児 健康診査	3	46	45	97.8	14	1	1	3

エ 2歳児歯科健診及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健診及び歯科医師により講話を行った。また、保健師による育児指導、栄養士による栄養指導を実施した。

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)
3	30	29	96.7

オ 乳幼児発達相談（二次健診）【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

乳幼児健康診査等で成長発達の遅れが認められた児に対し、栃木会場において、医師による診察や相談、専門職による相談等を行い、心身障がいの早期発見・早期療育につなげた。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

3～4 か月児を対象に委託機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を行うため、受診券を交付した。

(3) 健康教育

ア 両親（母親）教室 【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

初妊婦と夫に対して妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり、乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

イ すくすく教室（子育て支援教室）

2～3 か月児とその母親を対象に、よりよい母子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や母親同士の交流を図った。

- ・実施回数 6回
- ・参加者延べ数 26組

ウ 健診事後教室（ちゃいちゃいぐる一ふ・ぺんぎんぐる一ふ）

【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

幼児健診等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、栃木会場にて集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

エ 思春期保健事業

小児生活習慣病を理解し、生活習慣を振り返り、健康への関心を高めるために小・中学校の児童生徒とその保護者を対象に授業協力を行った。

会 場	実施回数(回)	参加人数(人)
西方中学校	1 (1校)	生徒 62
西方小学校	1 (1校)	生徒 51

オ だっこだっこ絵本事業

親子のふれあいを促進し豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 12回（9か月児健診開催時）
- ・参加者延べ数 30組

カ よい歯のコンクール【数値は、本庁健康増進課で一括計上】

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール（3歳児の部、親と子の部）を実施し、歯と口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は県の2次審査に推薦した。

キ 食育事業

(ア) 親子クッキング教室

小学生以下の親子に対し、一緒に料理をすることを通して、食への興味・関心を育む等の食育を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 6組 14名

(イ) クッキング体験

食への関心を高め野菜嫌いをなくすことを目的に、なかよしこども園の年中児に対し、講話と調理を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加人数 91人

(ウ) のみもの教室

小学1年生に対し、飲み物の糖分とカロリー等から、食と健康について考える機会を提供した。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 37人

(エ) 箸名人

なかよしこども園3～5歳児に対し、正しい箸の持ち方の実践を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 118人

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

育児の情報交換や母親の友達づくりをすすめることにより、地域の中で心のゆとりを持って楽しく子育てができるよう支援した。また、保健師等による育児等の相談業務を行った。

- ・実施回数 6回
- ・参加者延べ数 44組

イ 5歳児発達相談

3歳児健診までに発見されにくい軽度発達障がい等について診断の有無に関わらず支援を行うとともに、適切な療育の提供や保護者への支援を行った。市内なかよしこども園において発達相談を実施した。

(単位：人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	2次健診・医 療機関紹介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
33	23	—	2	—	6	2

ウ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 38件

エ のびのび相談室

発達上の問題が疑われた児に対し、心理士による相談指導及び育児支援を行った。

- ・実施回数 3回
- ・相談者数 15人

2 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査、健診結果説明会及び特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者診査及びヤング健診

- ・実施回数 4回
- ・実施場所 西方保健センター

(2) 健診結果説明会

- ・実施回数 7回
- ・参加者数 101人

(3) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	14	8	57.1
動機付け支援	22	14	63.6
合計	36	22	61.1

3 健康診査事業（健康増進法による健診）

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）を行った。

- ・集団健診実施回数 4回
- ・受診者数 596人
- ・集団健診実施会場 西方保健センター

4 健康増進法等に基づく保健事業

(1) 健康教育

市民の健康づくりを推進するため健康教育を行った。

教室名	実施回数(回)	参加者数(人)	内 容
おなかすっきり運動教室	4	20	運動指導士による運動講話及び実践
男性のための料理教室	1	8	栄養士による講話及び調理実習

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 5回
- ・延べ相談者数 5人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

5 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、普及啓発用リーフレットを窓口及び各種事業時において配布し、自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

6 予防接種事業 【数値は本庁健康増進課で一括計上】

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防対象者に個人通知を行い、予防接種協力医療機関での個別接種を勧奨した。

BCG、4種混合（ポリオ・百日せき・ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん（混合）日本脳炎、高齢者インフルエンザ

(2) 任意予防接種

- ・子宮頸がん予防接種を、各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。
- ・小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン、小児インフルエンザ予防接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

7 地域保健対策事業

(1) 健康まつり事業

「ど田舎にしかた祭り」が開催された際に、市民の健康増進のため、健康チェックコーナー等を設けた。

- ・実施日 12月1日（日）
- ・場 所 道の駅にしかた
- ・実施内容 骨密度測定 94人
血管年齢測定 130人

(2) 食生活改善地区組織事業（会員数42人）

ア 自主活動

減塩指導やバランス食等についての講話及び調理実習を行った。

- ・実施回数 4回

- ・参加延べ人数 54人

イ 減塩啓発事業

健康診査時に試食提供を行った。

- ・実施回数 4回
- ・参加延べ人数 367人

ウ 親子の食育教室

- ・実施回数 1回
- ・参加延べ人数 19人

エ 米消費拡大推進事業協力

- ・「ど田舎にしかた祭り」にて、にら入りおにぎりを配布（367個）

(3) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問世帯数 51世帯
- ・保健師訪問指導 99人（延べ人数）

精神保健	16	妊産婦	26	幼児	20	生活習慣病	3
新生児	6	低体重児	6	他の疾患	—	その他	—
心身障がい	—	乳児	21				

8 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	9	2	6	—	8	1

第4節 産業建設課

〔総括概要〕

産業建設課の主な分掌事務は、産業振興担当は、農林業・畜産業・商工業・観光の振興に関する各事業及び道の駅にしかた管理運営事業等であり、都市建設担当は、道路・橋りょう・河川水路及び公園の管理及び整備に関する事務である。

西方地域の農業は、にしかた米「桜おとめ」を中心に、いちご、ニラ等の施設園芸農業や、畜産業が積極的に実施されている。しかし、今日の農業・農村を取り巻く情勢は、TPPをはじめ、食の安全・安心に対する関心の高まり、担い手の高齢化等による農業生産の減退、鳥獣による農産物被害など、多くの課題を抱えている。

このような中、安心して農業に従事できる環境づくりを進めるとともに、施設園芸を取り入れた複合的な農業経営を推進した。

林務事業については、藪の刈払いや不用木の処分及び有害鳥獣の駆除を実施し、野生動物被害軽減のための里山林の整備、維持管理を行った。

商工業については、地域の商工業の総合的な改善発展を目指し、西方商工会への事業補助金を交付し、西方商工会と連携のうえ商工業の振興を図った。

また、宇都宮西中核工業団地事務組合に対し負担金を拠出し、事業の推進を図った。

観光関係については、恵まれた自然環境を有効に活用し、「金崎のさくらまつり」や「ど田舎にしかた祭り」を開催し、観光客の誘客に努め、地域の活性化を図った。

道の駅にしかたは、地域産業の振興を行うことを目的に、地域の観光やあらゆる情報の発信基地として、地域の安心安全な農産物や農産物加工品を取り扱う「農産物直売所（ふれあいの郷）」、地産地消の考え方を基本として地域の農産物を食材に使用して料理を提供する「農村レストラン（ふるさと一番）」及び地域の特産品を販売する「交流物産館（さくら）」で構成されている。また、各店舗の営業のほか各種イベントを開催し、農産物や特産品等のPRに努めた。

公共物管理については、道水路敷等の適正管理のため、私有地との境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、常に安全な道路の通行を確保するため、道路維持管理、舗装補修を実施し道路の環境整備を図った。

河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草を行った。

また、自治会等における道路・水路の清掃などの愛護活動を支援することで道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

公園管理については、16か所の公園を安全で快適に利用できるよう、公園の清掃、除草、遊具等の施設管理を行った。

道路整備については、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上、または快適な生活環境の確保に資するため、西方町真名子地内市道 N3303 号線の用地取得を実施した。

産業振興担当

1 経営所得安定対策

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、経営所得安定対策の導入により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1) 米の直接支払交付金

西方地域に提供された平成25年産米に係る需要情報は1,904トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市農業再生協議会と連携し、農業者と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	729人
水稲生産実施計画書提出農業者数	558人
生産確定数量の計（積算式）	1,726,251kg
作付確定面積（積算式）(①)	42,506.2 a
主食用等水稲作付面積の計（積算式）(②)	40,531.7 a
差引(①-②)	1,974.5 a
水稲生産確定面積に対する 主食用等水稲作付面積の割合（②÷①）	95.35%

(2) 水田活用の直接支払交付金

・戦略作物作付面積（交付対象面積） （単位：㎡）

大豆	20,523
そば	22,158
飼料作物	193,518
新規需要米・加工用米	44,304
二毛作	180,444

(3) 農政協力員等会議の開催

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会とJAかみつがの連携により、JA協力員及び農政協力員を集めて合同会議を開催した。

・会議の開催状況

開 催 日	参加者数(人)
3月20日(木)	31

2 農業経営基盤強化促進事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供など

の支援活動を実施した。

- ・農業経営改善計画認定者数 69人

3 農業団体育成事業

(1) 栃木市担い手育成総合支援協議会

自らの経営改善の目標達成、資質の向上、地域の農業振興及び本地域農業の担い手である会員の相互連携を図るため、地区で開催される研修会等に参加した。

(2) 西方町農業体験交流事業実行委員会

地方（農村）に心のゆとりを求める都市住民が増えているなかで、都会の人と農村の人とが楽しみながら交流していくことを目的に、都市住民を迎え入れ、農業体験事業を実施した。

- ・事業内容 いちご狩り体験、さつまいも栽培体験
- ・事業費 405,256円（補助額 300,000円）

4 農業振興事業関係

(1) 米の消費拡大推進事業

平成9年に、にしかた米消費拡大推進協議会を設立し、西方地域産のコシヒカリ一等米を「桜おとめ」と命名して商標登録を取得した。

また、米の消費量が減少傾向にあるなか、協議会と連携を図るとともに、平成24年度に「小江戸ブランド」の認定を受け、道の駅にしかたで新米フェアを実施し、にしかた米の消費拡大を図った。

(2) 農業施設維持管理事業

- ・農道維持補修費 180,180円（1箇所）

5 農産物加工施設の管理運営

地産地消、農村の活性化、担い手の育成等を図るとともに、多くの市民の方々に地元の農業に関心を持ってもらうための農産加工所では、西方農産物加工組合を中心としたグループが、地元の農産物を使用したみそ、いちごジャム・ジュース、弁当、惣菜、漬物などの加工を行っている。

- ・加工施設の利用状況

施設名	利用日数(日)	利用人数(人)
西方農産物加工所	362	3,620
真名子農産物加工所	33	206
農村婦人の家	106	533

6 畜産振興事業関係

(1) 家畜防疫団体関係

家畜の伝染病等を防止することで、家畜の経済効果を高め、地域畜産の振興を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

- ・事業主体 栃木市畜産協議会西方支部

・事業内容 アカバネ病予防接種の実施

7 土地改良区運営支援

小倉堰土地改良区の事務運営について、指導・助言を行った。

8 美しい田園風景保全支援事業補助金

小沼川沿いの除草やゴミ拾いなどの景観を維持するために必要な活動に対し、補助金を交付した。

・実施主体 なんだ・そりゃの会

・補助金額 220,000円

・事業区域 小沼地区

9 有害鳥獣捕獲事業

鳥獣による農作物及び生活環境等への被害を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣の捕獲駆除を実施した。

(1) イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの個体数調整による駆除

捕獲時期	捕獲状況
通年	イノシシ36頭、ニホンジカ10頭、ニホンザル0頭

(2) カラス、ドバト、カルガモの有害鳥獣捕獲による駆除

捕獲時期	捕獲状況
5月26日(日)～3月23日(日)	カラス0羽、ドバト300羽、カルガモ35羽

(3) カワウの有害鳥獣捕獲による駆除

捕獲時期	捕獲状況
3月26日(火)～6月27日(木)	カワウ24羽

10 とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成20年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備等を実施した。

(1) 野生獣被害軽減のための里山林維持管理

明るく安全な里山林整備事業により、野生獣被害が発生する恐れのある里山林の刈払いを実施し、維持管理を行った。

・実施箇所 西方地区全域

・事業量 108.02 ha

・事業費 5,376,000円

(2) 木の香る環境づくり支援事業

とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金事業を活用し、木工教室を開催した。

・実施日 12月1日(日)

・参加人数 100人

- ・事業費 150,000円
- ・事業主体 にしかたリフォームおまかせ隊

11 治山林道管理事業

利用者の安全を確保するため、林道（真上・男丸・柏木線）の管理を実施した。

- (1) 林道植栽等管理業務委託
 - ・業務委託費 266,130円
- (2) 林道維持補修事業
 - ・維持補修費 498,750円（2箇所）

12 農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。（単位：件）

件名	件数
耕作証明書	29
農家証明書	—
農家基本台帳の写し	3
合計	32

13 ど田舎にしかた祭り（にしかたふるさと祭り）

農業・商業・工業・観光業の活性化や地元食材の安全・安心PRを図るため、田んぼを使ったイベントや地元の食材を使った飲食店の出店などを行った。

- ・実施日 12月1日（日）
- ・場所 道の駅にしかた東側 田んぼ
- ・内容 お笑いライブ、田んぼ相撲、俵飛ばし大会、トラクター試乗体験等
- ・参加人数 5,500人
- ・事業費 2,920,147円（負担金1,900,000円）

14 商業振興

商工団体の育成及び助成

商工会、たばこ組合の運営や諸事業に対し助成を行った。（単位：円）

名称	事業費	うち補助額	備考（目的等）
西方商工会事業費補助金	25,389,074	4,000,000	商工会の運営
未成年者喫煙防止事業補助金	4,008,472	116,000	未成年者の喫煙防止

15 制度融資

経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定状況

(中小企業信用保険法第2条第4項第1～8号)

(単位：件)

保険法	適用事項	平成25年度	平成24年度	平成23年度
第1号	再生手続申立等関係	—	—	—
第2号	事業活動の制限関係	—	—	—
第3号	地域・業種関係	—	—	—
第4号	地域関係	—	—	—
第5号	業種関係	1	1	7
第6号	破綻金融機関関係	—	—	—
第7号	金融機関経営合理化関係	—	—	—
第8号	RCC譲渡関係	—	—	—
計		1	1	7

16 観光振興宣伝関係

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源の宣伝、観光関連事業を積極的に展開し、観光資源やブランド品の発掘・開発を推進して地域の活性化を図った。

(1) 観光協会関係

観光資源を活かした観光行事を実施した。

- ・西方町観光協会事業費補助金 100,000円
- ・観光行事負担金 500,000円
- ・主催事業 金崎のさくらまつり

17 金崎の桜堤管理事業

(1) 桜堤植栽管理業務

西方地域の観光資源である金崎の桜の維持管理のため、土手の刈り払い、剪定及び病害虫駆除を委託した。

- ・業務委託費 959,080円

18 道の駅にしかた管理運営事業

(1) 売上等実績

施設名	客数(人)	売上額(円)
農産物直売所「ふれあいの郷」	133,594	147,956,024
農村レストラン「ふるさと一番」	112,693	55,047,050
交流物産館「さくら」	32,278	33,506,164
計	278,565	236,509,238

(2) 主なイベント

イベント名	開催日
ゴールデンウィークイベント	5月3日(金)～5日(日)
夏まつり	7月21日(日)
新米フェア	10月14日(月・祝)
オープン4周年記念イベント	11月22日(金)～24日(日)
春祭り	3月21日(金)～23日(日)

(3) 視察の受入状況

団体名	視察日	視察目的
西方小学校2年生	6月5日(水)	校外学習
真名子小学校4年生	6月5日(水)	校外学習
市貝町	6月13日(木)	施設運営について
寺尾地区公民館	10月9日(水)	施設の見学
西方小学校6年生	11月29日(金)	校外学習
西方中学校3年生	12月14日(土)	校外学習

(4) 職場体験事業

事業名	実施日	受入団体
マイ・チャレンジ	6月24日(月)～26日(水)	西方中学校2年生(6人)
インターンシップ	7月2日(火)～5日(金)	鹿沼南高等学校(3人)

都市建設担当

1 道路河川管理関係

(1) 道路占用許可

申請内容	件数(件)
市道道路占用許可申請	37
占用廃止届	5
計	42

(2) 各種申請・手続

内容	件数(件)
境界確認申請	17
市有財産用途廃止申請	1
法定外公共物使用許可申請等	21
道路工事施工承認申請	4
放流同意申請書(道路・河川)	-
計	43

2 道路河川維持補修関係

(1) 業務委託

委託名	委託箇所	委託内容	金額(円)
市道各号線維持修繕等業務 (その1)	西方地域	舗装修繕、側溝打替	4,914,000
市道各号線維持修繕等業務 (その2)	西方地域	舗装修繕、側溝打替	6,111,000
道路維持管理等委託料	西方地域	植栽管理	1,807,960
にしかたアンダー1自家用電気工 作物保安管理業務	西方町金崎地内	自家用電気工作物保安管理	69,136
にしかたアンダー2自家用電気工 作物保安管理業務	西方町本城地内	自家用電気工作物保安管理	76,167
にしかたアンダー1排水施設監視業務	西方町金崎地内	東武軌道下道路排水施設遠方監視	25,200
にしかたアンダー2排水施設監視業務	西方町本城地内	東北道下道路排水施設遠方監視	25,200
にしかたアンダー1点検業務	西方町金崎地内	東武軌道下道路排水施設点検	420,000
にしかたアンダー2点検業務	西方町本城地内	東北道下道路排水施設点検	630,000

(2) 維持補修工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
西方町真名子	N1009号線	23.5	5.5	-	14,742,000	法面補修
西方町本郷	N1005号線	402.0	6.5	-	25,683,000	舗装補修
西方町元	N3156号線	240.0	5.5	-	5,397,000	舗装補修

(3) 交通安全施設整備工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
西方地域	各号線	-	-	6箇所	500,325	カーブミラー設置
西方地域	各号線	2802.3	-	-	897,776	区画線設置

3 道路整備関係

(1) 業務委託

委託名	委託箇所	委託内容	金額(円)
市道N3157号線測量設計業務	西方町本城地内	測量設計	1,029,000
市道N3159号線設計業務	西方町金崎地内	詳細設計	4,735,500
市道N3159号線用地調査業務	西方町金崎地内	用地調査	3,150,000

(2) 用地取得

用地取得箇所		用地 (筆)	補償 (件)	金額(円)	備 考
町 名	路線名				
西方町真名子	N3303号線	16	3	9,225,842	

(3) 登記

内 容	筆 数 (筆)
分 筆	3
地積更正・分筆	13
住所変更、更正	2
所 有 権 移 転	18

4 都市公園関係

(1) 各種許可申請及び届出

内 容	件 数 (件)
公園内における行為の許可申請	12

(2) 業務委託

業 務 名	公 園 名	金 額 (円)
遊具点検業務	西方総合公園ほか	299,250
施設維持管理等委託	西方総合公園ほか	4,731,483

第 1 3 章 会計課

〔総括概要〕

会計管理者の会計事務を補助する会計課の主な業務は、会計管理者の職務権限である支出負担行為の確認と支出命令の審査、現金（有価証券を含む）や物品の出納及び保管、小切手の振出し、現金や財産の記録管理、決算の調製である。

これらの事務については、公正の確保のため、法令、条例、規則等及び予算に基づき適法かつ適正な処理に当たるとともに、財政健全化の視点に立ち、その執行に努めた。

支出命令の審査については、支出命令書（支出調書）、請求書、支出負担行為決議書及びこれらの関係書類の精査に努めた。

市税、地方交付税、国・県支出金、使用料、手数料、市債等の公金の収納については、これらを的確に把握の上、収入確定への一連の事務処理を行った。

歳計現金、歳計外現金、運用基金及び積立基金の保管については、常に収支状況を把握し、低金利の厳しい状況の中、ペイオフ対策を踏まえ、定期性預金、国債及び流動性預金により収益（利子）の確保に努めた。

また、公金の収納及び支払事務を取り扱っている指定金融機関及び収納事務を取り扱っている収納代理金融機関4行に対する検査を行った。

なお、今年度の現金受払状況の受高は99,725,779,116円、払高は94,580,642,890円となっている。

審査担当

1 月別支払状況

区 分	件数(件)	金額(円)
25年 4月	919	4,028,743,403
5月	5,856	4,868,969,760
6月	7,109	7,706,454,600
7月	8,016	6,440,382,281
8月	7,377	6,375,998,773
9月	5,923	8,876,241,932
10月	8,281	7,800,471,062
11月	6,705	5,608,192,040
12月	7,037	6,754,718,029
26年 1月	7,449	7,100,198,364
2月	7,566	7,597,636,144
3月	8,564	13,067,717,128
4月	9,608	7,232,016,235

5月	1,360	1,122,903,139
合計	91,770	94,580,642,890

2 資金運用状況

- ・預金等の種類 大口定期預金・スーパー定期預金・普通預金・国債
- ・運用回数 108回
- ・運用資金累計（延べ）額 34,454,733,952円
- ・運用収益（利子）額 19,135,823円

区分	会計・基金名	運用回数(回)	運用資金累計(延べ)額(円)	運用収益(利子)額(円)
歳計 現金	一般会計	3	1,000,000,000	1,140,095
	国民健康保険特別会計	-	-	-
	後期高齢者医療特別会計	-	-	-
	介護保険特別会計（保険事業勘定）	-	-	-
	介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	-	-	-
	下水道特別会計	-	-	-
	農業集落排水特別会計	-	-	-
	JR大平下駅前土地区画整理特別会計	-	-	-
	医療福祉モール特別会計	-	-	-
	中根産業団地特別会計	-	-	-
	寺尾財産区特別会計	-	-	-
小計	3	1,000,000,000	1,140,095	
運用 基金	保護費即時払基金	-	-	-
	奨学基金	-	-	-
	土地開発基金	-	-	-
	印紙等購買基金	-	-	-
	小計	-	-	-
積立 基金	財政調整基金	15	16,095,615,801	5,455,926
	減債基金	9	9,284,899,997	1,810,553
	大澤基金	5	540,000,000	561,058
	庁舎建設基金	6	1,498,803,356	1,322,550
	土地総合調整基金	2	108,783,981	45,609
	地域福祉基金	6	403,317,144	669,276
	栃木駅周辺地区景観形成基金	1	627,428	878
	大宮南小学校教育振興基金	3	1,000,000	1,442
	スポーツ振興基金	1	13,755,676	4,814
	ふるさと文化振興基金	3	48,000,000	59,350
	図書館振興基金	3	21,400,000	6,525
	保険財政調整基金	6	480,728,186	310,108
	介護給付費準備基金	6	862,111,343	1,777,846

寺尾財産区運営基金	4	530,307,696	867,957
市民協働まちづくりファンド	-	-	-
聖地公園管理基金	3	49,000,000	59,188
皆川地区振興基金	-	-	-
同和対策住宅新築資金等借入償還基金	1	57,418,867	57,419
罹災救助基金	3	23,132,869	46,500
義務教育施設整備基金	7	527,355,567	672,669
ふるさと整備事業基金	6	98,891,873	59,070
地域医療対策基金	6	2,699,895,000	4,098,494
中山間地域農村環境保全基金	1	10,033,811	12,542
さくら基金	2	4,676,457	1,531
東日本大震災復興推進基金	3	49,978,900	24,886
再生可能エネルギー普及促進基金	-	-	-
小計	102	33,409,733,952	17,926,191
歳入歳出外現金	3	45,000,000	69,537
合計	108	34,454,733,952	19,135,823

出納担当

1 会計

(1) 現金受払状況

(単位：円)

区分		受高	払高	残高
会計名				
一般会計		60,313,597,955	56,290,612,555	4,022,985,400
特別会計	国民健康保険	16,651,967,883	16,507,849,087	144,118,796
	後期高齢者医療	1,452,580,777	1,437,731,868	14,848,909
	介護保険(保険事業勘定)	10,960,212,555	10,625,248,758	334,963,797
	介護保険(介護サービス事業勘定)	40,734,625	40,337,653	396,972
	下水道	4,054,416,371	3,929,247,953	125,168,418
	農業集落排水	344,688,899	328,433,980	16,254,919
	JR大平下駅前土地区画整理	41,165,496	40,683,819	481,677
	医療福祉モール	5,569,808	5,312,192	257,616
	中根産業団地	57,416,500	57,416,500	-
	寺尾財産区	260,486,797	258,899,036	1,587,761
運用基金	保護費即時払基金	683,046	677,065	5,981
	奨学基金	53,537,018	8,754,000	44,783,018
	土地開発基金	60,117,907	-	60,117,907

金	印紙等購買基金	35,266,760	32,147,200	3,119,560
	一時借入金	-	-	-
	歳入歳出外現金	5,393,336,719	5,017,291,224	376,045,495
	合 計	99,725,779,116	94,580,642,890	5,145,136,226

(2) 会計別歳入歳出

ア 一般会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 市税	18,287,397,000	21,474,134,844	19,558,893,175	169,985,150	1,745,256,519
2 地方譲与税	555,001,000	521,309,005	521,309,005	-	-
3 利子割交付金	36,000,000	32,649,000	32,649,000	-	-
4 配当割交付金	13,130,000	62,946,000	62,946,000	-	-
5 株式等譲渡所得割交付金	8,000,000	101,319,000	101,319,000	-	-
6 地方消費税交付金	1,366,800,000	1,368,488,000	1,368,488,000	-	-
7 ゴルフ場利用税交付金	329,000,000	374,634,550	374,634,550	-	-
8 自動車取得税交付金	134,330,000	158,503,000	158,503,000	-	-
9 地方特例交付金	92,580,000	92,580,000	92,580,000	-	-
10 地方交付税	9,589,581,000	10,107,636,000	10,107,636,000	-	-
11 交通安全対策特別交付金	22,770,000	21,488,000	21,488,000	-	-
12 分担金及び負担金	509,299,000	518,243,848	504,294,020	1,130,998	12,818,830
13 使用料及び手数料	512,189,000	570,185,517	497,651,985	1,619,650	70,913,882
14 国庫支出金	6,300,185,500	6,048,369,719	6,048,369,719	-	-
15 県支出金	3,167,078,000	2,985,159,513	2,985,159,513	-	-
16 財産収入	209,895,000	231,163,099	231,163,099	-	-
17 寄附金	10,226,000	11,647,962	11,647,962	-	-
18 繰入金	2,796,667,000	2,762,737,360	2,762,737,360	-	-
19 繰越金	3,217,009,731	3,217,010,186	3,217,010,186	-	-
20 諸収入	4,324,268,000	4,177,288,268	3,886,118,381	-	291,169,887
21 市債	8,932,800,000	7,769,000,000	7,769,000,000	-	-
合 計	60,414,206,231	62,606,492,871	60,313,597,955	172,735,798	2,120,159,118

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 議会費	440,084,000	423,260,497	-	16,823,503
2 総務費	11,257,117,000	10,835,792,689	50,822,100	370,502,211
3 民生費	16,962,097,000	16,053,188,445	198,655,000	710,253,555
4 衛生費	6,059,966,000	5,351,851,844	-	708,114,156
5 労働費	80,636,000	79,400,827	-	1,235,173
6 農林水産業費	1,457,018,000	1,286,324,934	100,580,000	70,113,066
7 商工費	3,372,655,000	3,345,589,012	-	27,065,988
8 土木費	5,859,917,731	5,497,853,568	188,239,763	173,824,400
9 消防費	2,065,830,000	1,901,976,707	33,000,000	130,853,293
10 教育費	7,834,585,500	6,633,150,061	902,385,000	299,050,439
11 災害復旧費	4,000	-	-	4,000
12 公債費	4,980,043,000	4,882,223,971	-	97,819,029
13 予備費	44,253,000	-	-	44,253,000
合計	60,414,206,231	56,290,612,555	1,473,681,863	2,649,911,813

イ 国民健康保険特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 国民健康保険税	3,905,757,000	5,900,878,273	4,003,214,401	194,442,225	1,703,221,647
2 一部負担金	4,000	-	-	-	-
3 使用料及び手数料	2,171,000	2,718,320	2,718,320	-	-
4 国庫支出金	4,418,841,000	4,025,703,370	4,025,703,370	-	-
5 療養給付費等交付金	851,368,000	800,452,000	800,452,000	-	-
6 前期高齢者交付金	3,407,742,000	3,407,741,290	3,407,741,290	-	-
7 県支出金	1,088,629,000	957,129,210	957,129,210	-	-
8 共同事業交付金	1,935,559,000	1,873,437,151	1,873,437,151	-	-
9 財産収入	578,000	310,108	310,108	-	-
10 繰入金	1,136,675,000	1,136,674,805	1,136,674,805	-	-
11 繰越金	374,084,000	374,084,090	374,084,090	-	-
12 諸収入	15,448,000	70,581,447	70,503,138	-	78,309
合計	17,136,856,000	18,549,710,064	16,651,967,883	194,442,225	1,703,299,956

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	278,085,000	249,685,381	-	28,399,619
2 保険給付費	11,418,693,000	10,993,362,038	-	425,330,962
3 後期高齢者支援金等	2,223,108,000	2,223,037,498	-	70,502
4 前期高齢者納付金等	2,212,000	2,209,045	-	2,955
5 老人保健拠出金	1,170,000	91,282	-	1,078,718
6 介護納付金	978,831,000	978,830,843	-	157
7 共同事業拠出金	1,894,373,000	1,778,673,450	-	115,699,550
8 保健事業費	108,241,000	78,087,276	-	30,153,724
9 積立金	578,000	310,108	-	267,892
10 公債費	740,000	-	-	740,000
11 諸支出金	210,825,000	203,562,166	-	7,262,834
12 予備費	20,000,000	-	-	20,000,000
合計	17,136,856,000	16,507,849,087	-	629,006,913

ウ 後期高齢者医療特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 後期高齢者医療保険料	1,038,424,000	1,046,726,610	1,037,959,481	1,150,500	7,616,629
2 使用料及び手数料	82,000	214,240	214,240	-	-
3 寄附金	1,000	-	-	-	-
4 繰入金	349,454,000	349,453,800	349,453,800	-	-
5 繰越金	21,189,000	21,189,194	21,189,194	-	-
6 諸収入	46,010,000	43,764,062	43,764,062	-	-
合計	1,455,160,000	1,461,347,906	1,452,580,777	1,150,500	7,616,629

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	80,293,000	71,029,651	-	9,263,349
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,321,316,000	1,321,312,491	-	3,509
3 後期高齢者健診事業費	48,350,000	43,286,826	-	5,063,174
4 諸支出金	3,201,000	2,102,900	-	1,098,100
5 予備費	2,000,000	-	-	2,000,000
合計	1,455,160,000	1,437,731,868	-	17,428,132

エ 介護保険特別会計（保険事業勘定）

・歳入

（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 保険料	1,969,512,000	2,043,872,396	1,986,882,336	12,266,900	44,723,160
2 分担金及び負担金	1,000	-	-	-	-
3 使用料及び手数料	249,000	450,250	450,250	-	-
4 国庫支出金	2,434,967,000	2,415,965,382	2,415,965,382	-	-
5 支払基金交付金	2,877,023,000	2,899,612,000	2,899,612,000	-	-
6 県支出金	1,461,537,000	1,456,434,445	1,456,434,445	-	-
7 財産収入	1,362,000	1,777,846	1,777,846	-	-
8 寄附金	1,000	-	-	-	-
9 繰入金	1,971,487,000	1,971,484,321	1,971,484,321	-	-
10 繰越金	225,886,000	225,886,374	225,886,374	-	-
11 諸収入	691,000	1,719,601	1,719,601	-	-
12 市債	1,000	-	-	-	-
合 計	10,942,717,000	11,017,202,615	10,960,212,555	12,266,900	44,723,160

・歳出

（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	325,841,000	304,641,270	-	21,199,730
2 保険給付費	10,162,099,000	9,890,589,552	-	271,509,448
3 財政安定化基金拠出金	1,000	-	-	1,000
4 積立金	102,550,000	102,550,000	-	-
5 地域支援事業費	287,422,000	264,179,697	-	23,242,303
6 公債費	2,000	-	-	2,000
7 諸支出金	63,802,000	63,288,239	-	513,761
8 予備費	1,000,000	-	-	1,000,000
合 計	10,942,717,000	10,625,248,758	-	317,468,242

オ 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

・歳入

（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 サービス収入	35,866,000	34,625,187	34,625,187	-	-
2 繰入金	4,860,000	4,860,000	4,860,000	-	-
3 繰越金	1,201,000	1,201,377	1,201,377	-	-
4 諸収入	4,000	48,061	48,061	-	-
合 計	41,931,000	40,734,625	40,734,625	-	-

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 事業費	41,931,000	40,337,653	-	1,593,347

カ 下水道特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 分担金及び負担金	100,180,000	123,409,700	104,110,930	3,608,350	15,690,420
2 使用料及び手数料	1,044,948,000	1,097,637,667	1,072,628,960	5,765,611	19,243,096
3 国庫支出金	323,000,000	282,273,000	282,273,000	-	-
4 繰入金	1,842,100,000	1,842,100,000	1,842,100,000	-	-
5 繰越金	84,860,500	84,861,393	84,861,393	-	-
6 諸収入	2,520,000	9,178,388	9,142,088	-	36,300
7 市債	705,000,000	659,300,000	659,300,000	-	-
合計	4,102,608,500	4,098,760,148	4,054,416,371	9,373,961	34,969,816

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	320,540,000	304,630,019	-	15,909,981
2 公共下水道費	1,120,426,500	980,597,091	77,181,200	62,648,209
3 流域下水道費	672,633,000	668,114,182	-	4,518,818
4 公債費	1,987,009,000	1,975,906,661	-	11,102,339
5 予備費	2,000,000	-	-	2,000,000
合計	4,102,608,500	3,929,247,953	77,181,200	96,179,347

キ 農業集落排水特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 分担金及び負担金	2,148,000	5,782,478	2,147,953	403,300	3,231,225
2 使用料及び手数料	67,505,000	70,068,919	67,719,353	458,257	1,891,309
3 繰入金	249,195,000	249,195,000	249,195,000	-	-
4 繰越金	23,909,000	23,909,604	23,909,604	-	-
5 諸収入	3,000	1,716,989	1,716,989	-	-
合計	342,760,000	350,672,990	344,688,899	861,557	5,122,534

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	30,208,000	26,875,221	-	3,332,779
2 農業集落排水事業費	96,934,000	86,983,847	-	9,950,153
3 公債費	214,618,000	214,574,912	-	43,088
4 予備費	1,000,000	-	-	1,000,000
合 計	342,760,000	328,433,980	-	14,326,020

ク JR大平下駅前土地区画整理特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 保留地処分金	31,092,000	31,254,637	31,254,637	-	-
2 繰越金	9,906,000	9,906,457	9,906,457	-	-
3 諸収入	2,000	4,402	4,402	-	-
合 計	41,000,000	41,165,496	41,165,496	-	-

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 土地区画整理事業費	40,905,000	40,683,819	-	221,181
2 予備費	95,000	-	-	95,000
合 計	41,000,000	40,683,819	-	316,181

ケ 医療福祉モール特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 財産収入	1,105,000	1,333,040	1,333,040	-	-
2 繰入金	4,023,000	4,023,000	4,023,000	-	-
3 繰越金	211,000	211,777	211,777	-	-
4 諸収入	1,000	1,991	1,991	-	-
合 計	5,340,000	5,569,808	5,569,808	-	-

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 医療福祉モール事業費	299,000	274,050	-	24,950
2 公債費	5,041,000	5,038,142	-	2,858
合 計	5,340,000	5,312,192	-	27,808

コ 中根産業団地特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 財産収入	57,257,000	57,256,500	57,256,500	-	-
2 繰越金	160,000	160,000	160,000	-	-
合 計	57,417,000	57,416,500	57,416,500	-	-

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 産業団地造成事業費	57,417,000	57,416,500	-	500

サ 寺尾財産区特別会計

・歳入

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 県支出金	1,000	-	-	-	-
2 財産収入	26,402,000	26,622,673	26,622,673	-	-
3 繰入金	230,000,000	230,000,000	230,000,000	-	-
4 繰越金	3,749,000	3,842,061	3,842,061	-	-
5 諸収入	2,000	22,063	22,063	-	-
合 計	260,154,000	260,486,797	260,486,797	-	-

・歳出

(単位：円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 議会費	1,205,000	1,130,200	-	74,800
2 総務費	258,596,000	257,768,836	-	827,164
3 土木費	3,000	-	-	3,000
4 予備費	350,000	-	-	350,000
合 計	260,154,000	258,899,036	-	1,254,964

(3) 口座による自動払込分 (1件あたり10円)

科 目	件数 (件)	手数料 (円)
市県民税	1,471	14,710
固定資産税・都市計画税	6,886	68,860
軽自動車税	1,524	15,240
国民健康保険税	4,946	49,460
介護保険料	601	6,010
後期高齢者医療保険料	1,202	12,020
市営住宅使用料	490	4,900
保育料	1,745	17,450
学童保育料	686	6,860

奨学資金貸付金	73	730
公共下水道受益者負担金	9	90
農業集落排水施設使用料	977	9,770
配食サービス事業自己負担金	824	8,240
聖地公園管理手数料	121	1,210
軽度生活援助員派遣負担金	25	250
合 計	21,580	215,800

(4) 金融機関別公金収納状況

金融機関名		件 数(件)		金 額(円)	
			割合(%)		割合(%)
指定金融機関 収納代理 金融機関	足利銀行	697,438	79.9	90,158,291,253	88.9
	みずほ銀行	21,420	2.5	4,231,085,885	4.2
	群馬銀行	10,599	1.2	787,546,951	0.8
	栃木銀行	36,025	4.1	1,622,183,851	1.6
	栃木信用金庫	51,551	5.9	2,248,869,913	2.2
	足利小山信用金庫	2,628	0.3	126,187,366	0.1
	佐野信用金庫	693	0.1	25,871,360	0.0
	鹿沼相互信用金庫	5,326	0.6	185,808,427	0.2
	下野農業協同組合	38,749	4.5	1,791,742,324	1.8
	上都賀農業協同組合	6,711	0.8	194,026,511	0.2
	中央労働金庫	1,228	0.1	35,851,548	0.0
	計	174,930	20.1	11,249,174,136	11.1
合 計		872,368	100.0	101,407,465,389	100.0

(5) 有価証券による取扱状況

区 分	小切手		約束手形		為替手形		合 計		
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	
前年度末保管分	7	994,100	5	1,290,820	-	-	12	2,284,920	
本年度保管分	22	3,260,800	9	2,769,331	-	-	31	6,030,131	
計	29	4,254,900	14	4,060,151	-	-	43	8,315,051	
処 理	取立て(納入)	20	3,594,100	9	2,529,550	-	-	29	6,123,650
	組戻し(取消し)	-	-	-	-	-	-	-	-
	不渡り	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	20	3,594,100	9	2,529,550	-	-	29	6,123,650
本年度末保管分	9	660,800	5	1,530,601	-	-	14	2,191,401	

2 会計課における電算収納稼働状況

(単位：件)

税 目		区 分	件 数	合 計
市県民税	普通徴収	現年度	92,961	161,371
		過年度	744	
		滞納繰越	13,477	
		年金特別徴収	54,189	
	特別徴収	現年度	68,230	68,457
		滞納繰越	227	
法人市民税	均等割	4,371	9,124	
	法人税割	4,248		
	過事業年度	294		
	滞納繰越	211		
固定資産税・都市計画税	現年度	225,666	234,409	
	滞納繰越	8,743		
軽自動車税	現年度	50,382	51,440	
	滞納繰越	1,058		
国民健康保険税	現年度	141,660	190,178	
	滞納繰越	27,363		
	年金特別徴収	21,155		
介護保険料	現年度	25,216	236,956	
	滞納繰越	2,484		
	年金特別徴収	209,256		
後期高齢者医療保険料	現年度	23,443	119,643	
	滞納繰越	666		
	年金特別徴収	95,534		
総 合 計				1,071,578

3 主な消耗品交付状況（本庁舎）

品 名	数 量	品 名	数 量	品 名	数 量
鉛筆	423 本	シャープペン	188 本	シャープペン芯	128 個
ボールペン	623 本	マジック	466 本	蛍光ペン	826 本
蛍光ペン替	188 個	消しゴム	290 個	修正液	60 個
修正テープ	205 個	修正テープ替	156 個	付箋紙	1,810 個
液状のり	290 個	ホッチキス針	1,175 個	インデックス	726 袋

ホワイトボードマーカー	183 本	ダブルクリップ	790 箱	厚紙 (A 3)	296 枚
両面テープ	398 本	セロテープ	520 本	ガムテープ	255 個
ビニールひも	143 個	封筒 小	16,052 枚	封筒 中	119,351 枚
書類封筒	57,650 枚	ゴミ袋	1,028 袋	決裁カバー	498 冊
スタンプ台	57 個	ママレモン	74 本	ハイター	83 本
クレンザー	28 本	スポンジ	235 個	せっけん	313 個

4 指定金融機関の検査

地方自治法施行令第168条の4及び栃木市財務規則第139条の規定に基づき、指定金融機関及び収納代理金融機関の検査を次のとおり実施し、適正に処理されていることを確認した。

・実施日

2月14日 (金)	指定金融機関 足利銀行栃木支店
2月18日 (火)	収納代理金融機関 栃木銀行栃木支店
	収納代理金融機関 栃木信用金庫本店
2月19日 (水)	収納代理金融機関 佐野信用金庫岩舟支店

第 1 4 章 議会事務局

第 1 節 議事課

〔総括概要〕

地方分権が進展し、地方自治体の自己決定、自己責任の下、市議会の役割と責任はますます大きくなっている。

そのような中、本市議会では、平成23年3月に議会運営の基本となる議会基本条例を制定し、市民に信頼され開かれた議会の実現に向け、34人の議員が積極的に議会活動を行った。

本年度で3回目となる「議会報告会」は、市内13カ所で開催し、延べ235人の市民に参加いただき、議会活動に対する意見や市政に対する提案など、活発な意見交換が行われた。

また、時代に即応した議会改革を推進するためには、政治倫理の確立が重要な課題であるとの認識の下、公正で開かれた民主的な議会の発展に寄与することを目的に、本年12月に「栃木市議会政治倫理条例」を制定した。

さらに、議会の権能を高め、議会活動の充実を図るため、本会議において「行政報告」を試行実施し、執行部から市政の重要な課題や主要施策の経過等の報告を求めることにより、市政運営における情報の共有化を図った。

委員会活動においては、行政の複雑化、高度化等に対応し、議会審議の徹底や効率的な運営に期するため、総務、民生、産業教育及び建設の4常任委員会を設置し、専門的な審査を行うと同時に、市内各地域の多くの市民の傍聴機会を確保するため、各地域の公民館等において「移動常任委員会」を開催した。

調査研究活動については、各委員会の先進都市視察や議員研修会開催のほか、政務活動費を活用した会派による自主的な行政視察の実施や研修会への参加など、各議員が積極的に自己研鑽に努め、議会活動の充実を図った。

議会情報の提供については、年4回の「議会だより」の発行や、インターネットを活用した本会議の「ライブ配信」及び「録画配信」を行ったほか、本年3月には、ケーブルテレビによる「一般質問の生中継」を開始し、情報発信の充実に努めた。

市庁舎の移転に伴い整備された「新議場」においては、県内初となる「電子表決システム」を導入し、表決時の議案等に対する各議員の意思が適切に把握できるようになったとともに、必要な情報が瞬時に共有できるようになるなど、スムーズな会議の進行が可能となった。

また、議場内には「思いやりスペース」を設け、障がいのある方や高齢者、ケガをされている方などに対応するとともに、耳掛け型イヤホンを常備し貸し出しするなど、議場のバリアフリー化を図り、傍聴機会の拡大に努めた。

議会総務担当

議事調査担当

1 議会

(1) 議員

・定数 34人

ア 西方選出議員（平成23年10月30日就任）

議席	氏名	議席	氏名	議席	氏名
1	針谷 正夫	2	鮎田 博	3	鮎田 榮一

イ 栃木・大平・藤岡・都賀選出議員（平成22年4月25日就任）

議席	氏名	議席	氏名	議席	氏名	議席	氏名
4	白石 幹男	5	渡辺 照明	6	高岩 義祐	7	海老原恵子
8	松本 喜一	9	増山 敬之	10	須田 安・	11	入野登志子
12	福富 善明	13	広瀬 義明	14	氏家 晃	15	福田 裕司
16	大阿久岩人	17	大川 秀子	18	天谷 浩明	19	梅澤 米満
20	大島 光男	21	長 芳孝	22	大武 真一	23	中島 克訓
24	関口孫一郎	25	平池 紘士	26	千葉 正弘	27	大出 三夫
28	萩原 繁	29	慶野 昭次	30	内海 成和	31	小堀 良江
32	大出 孝幸	33	岡 賢治	34	永田 武志		

(2) 正副議長

区分	氏名	任期
議長	高岩 義祐	平成24年 6月 1日～
副議長	氏家 晃	平成25年 6月 7日～

(3) 常任委員会（平成24年6月1日～）

委員会名	委員長	副委員長	委員		
総務	千葉 正弘	増山 敬之	渡辺 照明 氏家 晃 大出 孝幸	高岩 義祐 大川 秀子	須田 安・ 大武 真一
民生	福田 裕司	白石 幹男	海老原恵子 萩原 繁 永田 武志	関口孫一郎 慶野 昭次	平池 紘士 内海 成和
産業教育	天谷 浩明	大島 光男	鮎田 博 大阿久岩人	入野登志子 長 芳孝	広瀬 義明 岡 賢治
建設	鮎田 榮一	中島 克訓	針谷 正夫 梅澤 米満	松本 喜一 大出 三夫	福富 善明 小堀 良江

(4) 議会運営委員会（平成25年7月1日～）

委員長	副委員長	委 員		
岡 賢 治	入野登志子	鮎 田 博 大 武 真 一 永 田 武 志	須 田 安 ・ 関 口 孫 一 郎	福 田 裕 司 萩 原 繁

(5) 議会広報紙発行特別委員会（平成24年6月1日～）

委員長	副委員長	委 員		
小 堀 良 江	福 富 善 明	針 谷 正 夫 天 谷 浩 明	鮎 田 博 大 島 光 男	須 田 安 ・ 永 田 武 志

2 会議

(1) 会期及び本会議日数

区 分	平成25年 第2回 定例会 (6月)	平成25年 第3回 定例会 (9月)	平成25年 第4回 臨時会 (10月)	平成25年 第5回 定例会 (12月)	平成26年 第1回 定例会 (3月)	計
会 期(日)	21	29	1	21	25	97
本会議開催日数(日)	6	7	1	6	6	26
常任委員会 開催延べ日数(日)	4	6	-	4	6	20
議会運営委員会 開催日数(日)	2	4	1	2	3	12

(2) 議会付議事件件数

区 分		平成25年 第2回 定例会 (6月)	平成25年 第3回 定例会 (9月)	平成25年 第4回 臨時会 (10月)	平成25年 第5回 定例会 (12月)	平成26年 第1回 定例会 (3月)	計
市 長 提 出	条 例(件)	6	6	1	28	33	74
	予算決算(件)	2	18	-	7	22	49
	人 事(件)	1	1	-	-	2	4
	報 告(件)	8	6	-	3	5	22
	そ の 他 (件)	3	13	6	22	4	48
議 員 提 出	条例規則(件)	-	-	-	1	2	3
	意 見 書(件)	1	1	-	1	3	6
	決 議(件)	-	-	-	1	-	1
	そ の 他 (件)	-	-	-	-	-	-
議会人事等(件)		2	-	-	-	-	2
請願・陳情(件)		2	1	-	2	3	8
計		25	46	7	65	74	217

(3) 議案等処理状況

ア 平成25年第2回定例会

・開会 6月7日

・閉会 6月27日

番 号	件 名	提出者	提出月日	議決月日	結 果
-	副議長の選挙	-	6月7日	6月7日	氏家 晃 当選
-	栃木市農業委員会委員の推薦について	-	6月7日	6月7日	岸シヅエ 毛塚玲子 渡辺計子 手塚政子 推薦
報 告 第 4 号	平成 24 年度栃木市一般会計継続費 繰越計算書	市 長	6月7日	6月7日	報告聴取
報 告 第 5 号	平成 24 年度栃木市一般会計繰越明許 費繰越計算書	市 長	6月7日	6月7日	報告聴取
報 告 第 6 号	平成 24 年度栃木市下水道特別会計繰 越明許費繰越計算書	市 長	6月7日	6月7日	報告聴取
報 告 第 7 号	平成 24 年度栃木市一般会計事故繰越 し繰越計算書	市 長	6月7日	6月7日	報告聴取
報 告 第 8 号	栃木市土地開発公社の平成 25 事業 年度事業計画書の提出について	市 長	6月7日	6月7日	報告聴取
報 告 第 9 号	一般財団法人藤岡町農業公社の平成 25 年度事業計画書の提出について	市 長	6月7日	6月7日	報告聴取
報 告 第 10 号	一般財団法人都賀町農業公社の平成 25 年度事業計画書の提出について	市 長	6月7日	6月7日	報告聴取
報 告 第 11 号	栃木市土地開発公社の平成 24 事業年度 第 2 回変更事業計画書の提出について	市 長	6月7日	6月7日	報告聴取
議 案 第 67 号	市長の専決処分事項の承認につい て（平成 25 年度栃木市一般会計補 正予算（第 1 号））	市 長	6月7日	6月27日	承 認
議 案 第 68 号	市長の専決処分事項の承認につい て（栃木市都市計画税条例の一部を 改正する条例の制定）	市 長	6月7日	6月27日	承 認
議 案 第 69 号	市長の専決処分事項の承認につい て（栃木市国民健康保険税条例の一 部を改正する条例の制定）	市 長	6月7日	6月27日	承 認
議 案 第 70 号	平成 25 年度栃木市一般会計補正予 算（第 2 号）	市 長	6月7日	6月27日	原案可決

議案 第 71 号	栃木市市民会議条例の制定について	市 長	6 月 7 日	6 月 27 日	原案可決
議案 第 72 号	栃木市子ども・子育て会議条例の制定について	市 長	6 月 7 日	6 月 27 日	原案可決
議案 第 73 号	栃木市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市 長	6 月 7 日	6 月 27 日	原案可決
議案 第 74 号	財産の取得について	市 長	6 月 7 日	6 月 27 日	原案可決
議案 第 75 号	財産の取得について	市 長	6 月 7 日	6 月 27 日	原案可決
議案 第 76 号	財産の取得について	市 長	6 月 7 日	6 月 27 日	原案可決
議案 第 77 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	市 長	6 月 7 日	6 月 7 日	同 意 (大出孝幸)
議案 第 78 号	栃木市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	市 長	6 月 12 日	6 月 27 日	原案可決
陳情 第 1 号	「教育費無償化」の前進をもとめる陳情	全 栃 木 教職員組合 執行委員長 篠原章彦	6 月 14 日	6 月 27 日	不 採 択
陳情 第 2 号	「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる陳情	全 栃 木 教職員組合 執行委員長 篠原章彦	6 月 14 日	6 月 27 日	採 択
意見書案 第 1 号	「ゆきとどいた教育」の前進を求める意見書	議 員	6 月 27 日	6 月 27 日	原案可決

イ 平成 25 年第 3 回定例会

- ・開会 8 月 30 日
- ・閉会 9 月 27 日

番 号	件 名	提出者	提出月日	議決月日	結 果
報 告 第 12 号	平成 24 年度栃木市継続費精算報告書	市 長	8 月 30 日	8 月 30 日	報告聴取
報 告 第 13 号	平成 24 年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	市 長	8 月 30 日	8 月 30 日	報告聴取
報 告 第 14 号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定)	市 長	8 月 30 日	8 月 30 日	報告聴取
報 告 第 15 号	栃木市土地開発公社の平成 24 事業年度事業報告書の提出について	市 長	8 月 30 日	8 月 30 日	報告聴取

報告 第 16 号	財団法人藤岡町農業公社の平成 24 年度事業状況報告書の提出について	市長	8 月 30 日	8 月 30 日	報告聴取
報告 第 17 号	財団法人都賀町農業公社の平成 24 年度事業状況報告書の提出について	市長	8 月 30 日	8 月 30 日	報告聴取
議案 第 79 号	平成 25 年度栃木市一般会計補正予算（第 3 号）	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 80 号	平成 25 年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 1 号）	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 81 号	平成 25 年度栃木市下水道特別会計補正予算（第 1 号）	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 82 号	平成 25 年度栃木市医療福祉モール特別会計補正予算（第 1 号）	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 83 号	平成 25 年度栃木市中根産業団地特別会計補正予算（第 1 号）	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 84 号	栃木市税条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 85 号	栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 86 号	栃木市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 87 号	栃木市高齢者デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 88 号	栃木市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 89 号	栃木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 90 号	字の区域の変更について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 91 号	工事請負契約の締結について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 92 号	工事請負契約の締結について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 93 号	工事請負契約の変更について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決
議案 第 94 号	工事請負契約の変更について	市長	8 月 30 日	9 月 27 日	原案可決

議案 第 95 号	製造請負契約の締結について	市長	8月30日	9月27日	原案可決
議案 第 96 号	財産の取得について	市長	8月30日	9月27日	原案可決
議案 第 97 号	財産の取得について	市長	8月30日	9月27日	原案可決
議案 第 98 号	財産の処分について	市長	8月30日	9月27日	原案可決
議案 第 99 号	訴えの提起について	市長	8月30日	9月27日	原案可決
議案 第 100 号	平成 24 年度栃木市水道事業会計剰余金の処分について	市長	8月30日	9月27日	原案可決
議案 第 101 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月30日	8月30日	同意 (大橋登美子)
議案 第 102 号	平成 25 年度栃木市一般会計補正予算(第 4 号)	市長	9月6日	9月6日	原案可決
議案 第 103 号	平成 25 年度栃木市一般会計補正予算(第 5 号)	市長	9月6日	9月20日	原案可決
議案 第 104 号	工事委託契約の締結について	市長	9月27日	9月27日	原案可決
議案 第 105 号	和解及び損害賠償の額の決定について	市長	9月27日	9月27日	原案可決
認定 第 1 号	平成 24 年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月27日	認定
認定 第 2 号	平成 24 年度栃木市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月27日	認定
認定 第 3 号	平成 24 年度栃木市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月27日	認定
認定 第 4 号	平成 24 年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月27日	認定
認定 第 5 号	平成 24 年度栃木市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月27日	認定
認定 第 6 号	平成 24 年度栃木市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月27日	認定
認定	平成 24 年度栃木市農業集落排水特	市長	8月30日	9月27日	認定

第 7 号	別会計歳入歳出決算の認定について				
認定 第 8 号	平成 24 年度栃木市 J R 大平下駅前 土地区画整理特別会計歳入歳出決 算の認定について	市 長	8 月 30 日	9 月 27 日	認 定
認定 第 9 号	平成 24 年度栃木市医療福祉モール 特別会計歳入歳出決算の認定につ いて	市 長	8 月 30 日	9 月 27 日	認 定
認定 第 10 号	平成 24 年度栃木市中根産業団地特別 会計歳入歳出決算の認定について	市 長	8 月 30 日	9 月 27 日	認 定
認定 第 11 号	平成 24 年度栃木市水道事業会計決 算の認定について	市 長	8 月 30 日	9 月 27 日	認 定
請 願 第 1 号	新聞への消費税軽減税率適用を求 める意見書の提出について	代 表 読売センター 栃木北部 木村美成 読売センター 栃木東部 官本守男 読売センター 栃木西部 中川真澄 読売センター 藤 岡 東 靖雄	9 月 6 日	9 月 27 日	不 採 択
意見書案 第 2 号	地方税財源の充実確保に関する意 見書	議 員	9 月 27 日	9 月 27 日	原案可決

ウ 平成 25 年第 4 回臨時会

・開会 10 月 28 日

・閉会 10 月 28 日

番 号	件 名	提出者	提出月日	議決月日	結 果
議 案 第 106 号	栃木市議会議員の選挙区の設置及 び選挙区において選挙すべき議員 の数を定める条例の制定について	市 長	10 月 28 日	10 月 28 日	原案可決
議 案 第 107 号	財産の取得について	市 長	10 月 28 日	10 月 28 日	原案可決
議 案 第 108 号	財産の取得について	市 長	10 月 28 日	10 月 28 日	原案可決

議案 第 109 号	財産の取得について	市長	10月28日	10月28日	原案可決
議案 第 110 号	財産の取得について	市長	10月28日	10月28日	原案可決
議案 第 111 号	財産の取得について	市長	10月28日	10月28日	原案可決
議案 第 112 号	財産の取得について	市長	10月28日	10月28日	原案可決

エ 平成25年第5回定例会

- ・開会 11月29日
- ・閉会 12月19日

番号	件名	提出者	提出月日	議決月日	結果
報告 第 18 号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定)	市長	11月29日	11月29日	報告聴取
報告 第 19 号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定)	市長	12月19日	12月19日	報告聴取
報告 第 20 号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定)	市長	12月19日	12月19日	報告聴取
議案 第 113 号	平成 25 年度栃木市一般会計補正予算(第6号)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 114 号	平成 25 年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 115 号	平成 25 年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 116 号	平成 25 年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 117 号	平成 25 年度栃木市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第1号)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 118 号	平成 25 年度栃木市下水道特別会計補正予算(第2号)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 119 号	平成 25 年度栃木市農業集落排水特別会計補正予算(第1号)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 120 号	栃木市再生可能エネルギー普及促進基金条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 121 号	岩舟町の編入に伴う生活環境部関係条例の整備に関する条例の制定について	市長	11月29日	11月29日	原案可決

議案 第 122 号	岩舟町の編入に伴う保健福祉部関係条例の整備に関する条例の制定について	市長	11月29日	11月29日	原案可決
議案 第 123 号	栃木市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	11月29日	原案可決
議案 第 124 号	栃木市部設置条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 125 号	栃木市青少年育成センター条例等の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 126 号	栃木市職員の修学部分休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 127 号	栃木市職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 128 号	栃木市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 129 号	栃木市消費生活センター条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 130 号	栃木市障がい福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 131 号	栃木市指定障がい福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 132 号	栃木市地域子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 133 号	栃木市保育所条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 134 号	栃木市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 135 号	栃木市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 136 号	栃木市農業集落排水処理施設の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 137 号	栃木市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決

議案 第 138 号	栃木市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 139 号	栃木市営住宅条例及び栃木市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 140 号	道の駅にしかた条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 141 号	栃木市立学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 142 号	栃木市社会教育委員の定数及び任期に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 143 号	栃木市集会所条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 144 号	栃木市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 145 号	栃木市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 146 号	栃木市立小中学校施設の開放に関する使用料条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 147 号	とちぎ蔵の街美術館条例の一部を改正する条例の制定について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 148 号	栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 149 号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 150 号	佐野地区衛生施設組合を組織する地方公共団体の数の減少及び佐野地区衛生施設組合規約の変更について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案 第 151 号	栃木県南公設地方卸売市場事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県南公設地方卸売市場事務組合規約の変更について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案	下都賀地区視聴覚ライブラリー協	市長	11月29日	12月19日	原案可決

第 152 号	議会を設ける地方公共団体の数の減少及び下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会規約の一部変更について				
議案第 153 号	栃木地区広域行政事務組合の解散について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 154 号	栃木地区広域行政事務組合の解散に伴う財産処分について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 155 号	財産の無償貸付について	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 156 号	指定管理者の指定について(栃木市いまいずみ児童館)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 157 号	指定管理者の指定について(栃木市そのべ児童館)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 158 号	指定管理者の指定について(栃木市老人福祉センター長寿園)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 159 号	指定管理者の指定について(栃木市老人福祉センター泉寿園)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 160 号	指定管理者の指定について(栃木市老人福祉センター福寿園)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 161 号	指定管理者の指定について(栃木市総合運動公園)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 162 号	指定管理者の指定について(川原田市営住宅他 16 市営住宅、川原田特定公共賃貸住宅及び平柳特定公共賃貸住宅)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 163 号	指定管理者の指定について(栃木市藤岡地域活動支援センター)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 164 号	指定管理者の指定について(栃木市都賀地域活動支援センター)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 165 号	指定管理者の指定について(栃木市都賀老人デイサービスセンター藤糸荘)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 166 号	指定管理者の指定について(道の駅にししかた)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 167 号	指定管理者の指定について(栃木市栃木図書館、栃木市大平図書館、栃木市藤岡図書館、栃木市都賀図書館及び栃木市図書館西方分館)	市長	11月29日	12月19日	原案可決
議案第 168 号	指定管理者の指定について(栃木市栃木文化会館、栃木市大平文化会館、栃木市	市長	11月29日	12月19日	原案可決

	藤岡文化会館及び栃木市都賀文化会館)				
議案 第169号	財産の取得について	市長	12月19日	12月19日	原案可決
請願 第2号	「『子宮頸がん検診対策の充実』を促進し、HPV予防ワクチン接種事業の一時中止を求める意見書」提出に関する請願	板子泉	12月6日	12月19日	不採択
陳情 第3号	新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める陳情について	栃木新聞販売組合組合長 増山敏文	12月6日	12月19日	採 択
意見書案 第3号	新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める意見書	議員	12月19日	12月19日	原案可決
議員案 第6号	栃木市議会政治倫理条例の制定について	議員	12月19日	12月19日	原案可決
決議案 第1号	特殊詐欺を撲滅し、市民生活の安全・安心を確保する決議	議員	12月19日	12月19日	原案可決

オ 平成26年第1回定例会

- ・開会 2月24日
- ・閉会 3月20日

番号	件名	提出者	提出月日	議決月日	結果
報告 第1号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定について）	市長	2月24日	2月24日	報告聴取
報告 第2号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定について）	市長	2月24日	2月24日	報告聴取
報告 第3号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定について）	市長	2月24日	2月24日	報告聴取
報告 第4号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定について）	市長	2月24日	2月24日	報告聴取
報告 第5号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定について）	市長	2月24日	2月24日	報告聴取
議案 第1号	平成26年度栃木市一般会計予算	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第2号	平成26年度栃木市国民健康保険特別会計予算	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第3号	平成26年度栃木市後期高齢者医療特別会計予算	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第4号	平成26年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案	平成26年度栃木市介護保険特別会	市長	2月24日	3月20日	原案可決

第 5 号	計（介護サービス事業勘定）予算				
議案 第 6 号	平成 26 年度栃木市下水道特別会計 予算	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 7 号	平成 26 年度栃木市農業集落排水特 別会計予算	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 8 号	平成 26 年度栃木市医療福祉モ－ル 特別会計予算	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 9 号	平成 26 年度栃木市千塚町上川原産 業団地特別会計予算	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 10 号	平成 26 年度栃木市水道事業会計予算	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 11 号	市長の専決処分事項の承認につい て（平成 25 年度栃木市一般会計補 正予算（第 7 号））	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案承認
議案 第 12 号	平成 25 年度栃木市一般会計補正予 算（第 9 号）	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 13 号	平成 25 年度栃木市国民健康保険特 別会計補正予算（第 2 号）	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 14 号	平成 25 年度栃木市後期高齢者医療 特別会計補正予算（第 2 号）	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 15 号	平成 25 年度栃木市介護保険特別会計 （保険事業勘定）補正予算（第 3 号）	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 16 号	平成 25 年度栃木市下水道特別会計 補正予算（第 3 号）	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 17 号	平成 25 年度栃木市農業集落排水特 別会計補正予算（第 2 号）	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 18 号	平成 25 年度栃木市 J R 大平下駅前土 地区画整理特別会計補正予算（第 1 号）	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 19 号	平成 25 年度栃木市中根産業団地特 別会計補正予算（第 2 号）	市 長	2 月 24 日	3 月 20 日	原案可決
議案 第 20 号	岩舟町の編入に伴う総合政策部関 係条例の整備に関する条例の制定 について	市 長	2 月 24 日	2 月 24 日	原案可決
議案 第 21 号	岩舟町の編入に伴う総務部関係条 例の整備に関する条例の制定につ いて	市 長	2 月 24 日	2 月 24 日	原案可決
議案 第 22 号	岩舟町の編入に伴う理財部関係条例の 整備に関する条例の制定について	市 長	2 月 24 日	2 月 24 日	原案可決
議案	栃木市小野寺地区市有林管理基金	市 長	2 月 24 日	2 月 24 日	原案可決

第 23 号	条例の制定について				
議案 第 24 号	岩舟町の編入に伴う生活環境部関係条例の整備に関する条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 25 号	栃木市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 26 号	栃木市廃棄物処理施設条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 27 号	岩舟町の編入に伴う保健福祉部関係条例の整備に関する条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 28 号	栃木市小野寺ふれあい館条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 29 号	岩舟町の編入に伴う産業振興部関係条例の整備に関する条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 30 号	栃木市農村公園条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 31 号	栃木市農業振興むらづくり施設条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 32 号	栃木市ルネッサンスセンター条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 33 号	岩舟町の編入に伴う建設水道部関係条例の整備に関する条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 34 号	岩舟町の編入に伴う都市整備部関係条例の整備に関する条例の制定について	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案 第 35 号	栃木市こどもサポートセンター条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第 36 号	栃木市歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第 37 号	栃木市予防接種委員会条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第 38 号	栃木市寺尾ふれあい水辺の広場条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第 39 号	栃木市健康福祉センター条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決

議案 第40号	栃木市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第41号	栃木市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第42号	栃木市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第43号	栃木市暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第44号	栃木市特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例等 の一部を改正する条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第45号	栃木市保護費即時払基金条例の一部 を改正する条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第46号	栃木市準用河川占用料徴収条例の 一部を改正する条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第47号	栃木市公園条例の一部を改正する 条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第48号	栃木市企業職員の給与の種類及び 基準に関する条例の一部を改正す る条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第49号	栃木市義務教育施設整備基金条例等 の一部を改正する条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第50号	栃木市手数料条例の一部を改正す る条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第51号	栃木市火災予防条例の一部を改正 する条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第52号	小山栃木都市計画事業JR大平下駅前 土地区画整理事業施行に関する条例を 廃止する条例の制定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第53号	市道路線の認定について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第54号	市道路線の変更について	市長	2月24日	3月20日	原案可決
議案 第55号	栃木市・岩舟町合併協議会の廃止に ついて	市長	2月24日	2月24日	原案可決
議案	下都賀郡岩舟町の消防事務の受託	市長	2月24日	2月24日	原案可決

第 56 号	について				
議 案 第 57 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市 長	2月24日	2月24日	同 意 (関口茂一郎)
議 案 第 58 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市 長	2月24日	2月24日	同 意 (大塚敏秋)
議 案 第 59 号	市長の専決処分事項の承認について（平成 25 年度栃木市一般会計補正予算（第 8 号））	市 長	2月26日	3月20日	原案可決
議 案 第 60 号	平成 25 年度栃木市一般会計補正予算（第 10 号）	市 長	2月26日	3月20日	原案可決
議 案 第 61 号	平成 26 年度栃木市一般会計補正予算（第 1 号）	市 長	3月20日	3月20日	原案可決
陳 情 第 1 号	「国に次期介護保険制度改正案の見直しを求める意見書」の提出を要請する陳情書	栃 木 市 特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 養 護 老 人 ホ ー ム 連 絡 協 議 会 会 長 佐々木 剛 栃木市介護 支 援 専 門 員 連 絡 協 議 会 会 長 岡 泉 ゆ み 子 蔵 の 街 コ ミ ュ ニ テ ィ ケ ア 研 究 会 会 長 大 澤 光 司	2月28日	3月20日	採 択
陳 情 第 2 号	T P P（環太平洋連携協定）交渉に関する陳情	上 都 賀 農 業 協 同 組 合 代 表 理 事 組 合 長 吉 原 勝 彦 西 方 町 農 政 対 策 協 議 会 会 長 中 新 井 明	2月28日	3月20日	採 択
陳 情 第 3 号	T P P（環太平洋連携協定）交渉に関する陳情書	下 野 農 業 協 同 組 合 代 表 理 事 組 合 長 神 永 信 男	2月28日	3月20日	採 択
意 見 書 案 第 1 号	国民の祝日「山の日」の制定を求める意見書	議 員	3月20日	3月20日	原案可決
意 見 書 案	次期介護保険制度改正案の見直し	議 員	3月20日	3月20日	原案可決

第 2 号	を求める意見書				
意見書案 第 3 号	T P P（環太平洋連携協定）交渉に 関する意見書	議 員	3月20日	3月20日	原案可決
議員案 第 1 号	栃木市議会委員会条例の一部を改 正する条例の制定について	議 員	2月24日	2月24日	原案可決
議員案 第 2 号	栃木市議会会議規則の一部を改正 する規則の制定について	議 員	2月24日	2月24日	原案可決

(4) 請願、陳情等受付状況

14件

(5) その他の会議

区 分		開催日数（日）	
常 任 委 員 研 究 会	総 務	1	計 8
	民 生	4	
	産 業 教 育	2	
	建 設	1	
議 会 運 営 委 員 研 究 会		3	
議 員 全 員 協 議 会		6	
各 会 派 代 表 者 会 議		20	
議 会 広 報 紙 発 行 特 別 委 員 会		13	
議 会 報 告 運 営 委 員 会		6	
政 治 倫 理 条 例 検 討 委 員 会		12	
議 会 改 革 検 討 委 員 会		3	
議 員 研 究 会		14	
議 会 報 告 会		13	

3 広報紙発行状況

とちぎ市議会だより

- ・規 格 A4版 艶消しコート紙
- ・体 裁 表紙写真カラー刷 活字及びその他の写真黒刷
5段切 1段30行詰め

号 数	発行日	ページ数（P）	発行部数（部）
第 14 号	5月20日（月）	16	47,000
第 15 号	8月20日（火）	14	47,000
第 16 号	11月20日（水）	16	47,000
第 17 号	2月20日（木）	20	47,000

4 調査

(1) 常任委員会視察

所管事項調査のため、次のとおり調査を行った。

委員会名	参加委員(人)	調査期日	調査団体	調査事項
総務	8	10月15日(火) 16日(水)	愛知県新城市 愛知県豊川市	豊川市シティセールス戦略プランについて等
民生	9	8月6日(火) 7日(水)	滋賀県米原市 兵庫県相生市	特定健康診査及び特定保健指導の受診率向上について等
産業教育	8	8月6日(火) 7日(水)	大阪府寝屋川市 兵庫県伊丹市	ブランド戦略推進事業について等
建設	8	8月6日(火) 7日(水)	岐阜県恵那市 愛知県大府市	重要伝統的建造物群保存地区(商家町)のまちづくりについて等

(2) 議会運営委員会視察

所管事項調査のため、次のとおり調査を行った。

- ・参加委員 9人
- ・調査期日 11月13日(水)、14日(木)
- ・調査都市 岩手県北上市・宮城県多賀城市
- ・調査事項 議会基本条例と議会運営について等

(3) 議会広報紙発行特別委員会視察

所管事項調査のため、次のとおり調査を行った。

- ・参加委員 9人
- ・調査期日 11月5日(火)、6日(水)
- ・調査都市 埼玉県深谷市・新潟県燕市
- ・調査事項 市議会だよりの編集方法等について等

(4) その他

市政の抱える重点課題等の調査研究のため会派を中心として、次のとおり先進都市を視察した。

調査期日	調査都市	参加議員
5月22日(水) ～23日(木)	広島県広島市 広島県尾道市	海老原恵子 増山敬之 福富善明 岡賢治 松本喜一 広瀬義明
7月9日(火)	北海道苫小牧市 北海道滝川市	千葉正弘 福田裕司 大島光男
7月9日(火)	北海道函館市	大阿久岩人 中島克訓 萩原繁
7月25日(木)	福岡県福岡市	大阿久岩人 中島克訓 萩原繁 小堀良江 高岩義祐 氏家晃
8月19日(月) ～20日(火)	大阪府箕面市	増山敬之 広瀬義明 内海成和

8月26日(月) ～27日(火)	北海道小樽市 北海道札幌市	大阿久岩人 中島克訓 萩原 繁 小堀良江 高岩義祐 氏家 晃
10月 9日(水)	大分県大分市	千葉正弘 福田裕司 大島光男
11月21日(木) ～22日(金)	島根県松江市 山口県萩市	関口孫一郎 大川秀子 梅澤米満 長 芳孝 針谷正夫 平池紘士 永田武志 大出三夫

5 庶務

(1) 行政視察に来局した市・町議会議員

期 日	市町名	人員(人)	視 察 項 目
5月15日(水)	愛知県小牧市	8	認定こども園について
5月22日(水)	千葉県四街道市	9	議会基本条例について 議会改革の取り組みについて
5月30日(木)	鳥取県米子市	7	公共交通デマンドタクシー事業について
7月31日(水)	島根県安来市	10	企業誘致について 立地企業への支援について
10月 1日(火)	茨城県潮来市	8	栃木市のパブリックコメント制度に関する 状況について
10月30日(水)	滋賀県近江八幡市	2	伝統的建造物群保存地区選定後の住民意識 並びに今後の啓発について
11月14日(木)	愛知県豊川市	13	議会基本条例について
1月 9日(木)	埼玉県春日部市外	6	小中学校の食物アレルギー対策について
2月13日(木)	徳島県阿南市	5	地域医療について

(2) 文書件数調 (単位：件)

収受	発送	合計
510	190	700

(3) その他

- ・新春賀詞交歓会 1月7日(火)

第 1 5 章 教育委員会

第 1 節 教育総務課

〔総括概要〕

教育文化都市として一層の飛躍を目指し、「開かれた教育委員会」、「安心安全な施設・設備づくり」に力点を置き、各種事業の推進を図った。

教育委員の活動としては、教育委員会を教育施設である地区公民館を中心に巡回しながら開催し、教育に関する協議を行った。各種研修会等にも積極的に参加した。

市立学校の管理運営については、公平かつ良好な教育環境を整備するため、施設の維持管理並びに各種教材備品等の充実を推進すると同時に、子どもたちが高度情報通信ネットワークに主体的に対応できる能力を育成するため、教育用コンピュータとその利用環境の整備を推進した。加えて、効率的かつ安全な校務環境の実現と授業の質の更なる充実を図るため、教員1人1台のコンピュータ配置を前進させた。また、学校勤務の市職員の資質向上を図るため、図書館事務担当者に研修会を実施した。

学校の施設整備については、大地震などによる学校施設の倒壊被害を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする施設利用者の安全と災害発生時の避難場所を確保するため、真名子小屋内運動場ほか7棟の耐震補強工事を実施し、また、耐震補強設計業務の委託を実施した。

校舎の改築を予定している大平南小及び大平中においては、それぞれ実施設計業務及び基本設計業務を、屋内運動場の改築を予定している家中小においては、実施設計業務の委託を実施した。

安全で快適かつ良好な教育環境の整備のために、各学校のプールや受水槽、エアコンなどの改修工事を実施した。その他、トイレや照明器具など学校施設の改修・修繕及び施設の保守点検などを各校において実施した。

市内中学校においては、災害時の避難所としての機能向上を図るため、校舎の改築を予定している大平中を除く全12校の普通教室等へエアコンを設置するための設計業務の委託を実施した。

大宮北小では、児童数の増加に伴う教室不足の解消を図るため、昨年度の校舎増築工事に引き続き、今年度は既存校舎の改修工事を実施した。

学校再編については、寺尾地区において寺尾中央小と寺尾南小の統合を進めた。統合後の新校舎を寺尾中央小の位置に建設し、平成26年3月25日に竣工式を挙行了。平成26年4月からは新校舎にて統合小の「栃木市立寺尾小学校」が開校する。

学校の適正配置を検討するなかで、各地域の現状と課題を把握することを目的に、市内13中学校区ごとに検討会を実施した。

また、小規模校の教育環境不均衡解消のため、小規模特認校制度を導入し、大宮南小に加え平成26年度からは国府南小と真名子小においても児童の受入れを開始する。

教育総務担当

1 規則等の制定、改廃件数 35件

2 教育委員会の開催状況

開催日	定例会 臨時会 の別	付議件数（件）			開催場所
		議案	協議	報告等	
4月1日（月）	臨時会	-	1	-	栃木文化会館
4月22日（月）	定例会	9	2	2	西方中学校
5月20日（月）	定例会	12	2	2	吹上公民館
6月24日（月）	定例会	4	1	2	藤岡公民館
7月22日（月）	定例会	3	2	2	吹上公民館
7月25日（木）	臨時会	1	-	-	吹上公民館
8月26日（月）	定例会	-	2	1	吹上公民館
9月30日（月）	定例会	3	2	3	国府公民館
10月18日（金）	定例会	1	10	-	都賀総合支所
11月25日（月）	定例会	-	3	2	大平健康福祉センター
12月16日（月）	定例会	4	2	1	吹上公民館
1月20日（月）	定例会	3	-	-	皆川公民館
2月17日（月）	定例会	11	6	-	市役所
2月27日（木）	臨時会	3	-	1	市役所
3月24日（月）	定例会	13	6	3	市役所

3 教育委員の構成

職名	氏名	性別	就任年月日 任期满了	備考
委員長	後藤 正人	男	平成22年5月19日 平成26年5月18日	平成22年5月19日 委員長に就任
委員長職務代理者	筑比地 幸子	女	平成22年5月19日 平成28年5月18日	平成22年5月19日 職務代理者に就任
委員	福島 鉄典	男	平成22年5月19日 平成29年5月18日	
〃	若林 由美子	女	平成22年5月19日 平成27年5月18日	
〃	荒川 律	男	平成23年11月25日 平成27年11月24日	
〃 (教育長)	赤堀 明弘	男	平成22年5月19日 平成26年5月18日	

4 小・中学校図書館事務担当者研修の実施状況

実施日	研修内容	参加者(人)
4月25日(木)	総会並びに研修会	120 (延べ人数)
6月11日(火)	栃木図書館の取り組み学習及び館内見学	
7月22日(月)	図書館ボランティア「鹿沼楡木小KLV」講習	
10月8日(火)	「栃木市図書館計画」の学習、掲示物作成	
1月28日(火)	掲示物作成、次年度研修計画	

5 小・中学校への教育用コンピュータの整備と活用の推進

(1) 教育用コンピュータの整備

情報教育の推進を図るため、平成24年度からリース方式により、順次計画的に教育用コンピュータを導入した。

リプレース校 (単位：台)

栃木第五小学校	72	大平東小学校	69	藤岡小学校	67
大宮南小学校	38	大平南小学校	71	部屋小学校	61
千塚小学校	60	大平西小学校	71	赤麻小学校	63
寺尾中央小学校	54	大平中央小学校	83	三鴨小学校	63
国府南小学校	37	大平中学校	75	藤岡第一中学校	72
栃木南中学校	62	大平南中学校	76	藤岡第二中学校	62
東陽中学校	72				
皆川中学校	51				
寺尾中学校	48				

(2) 学校ホームページのクラウド化

情報共有基盤システムであるネットコモンズ(Netcommons)の導入により、学校ホームページの更新頻度が向上され、保護者や地域住民に対して、迅速に情報の発信を行えるようになった。

6 栃木市奨学金の貸付

経済的理由により修学困難な高等学校、専修学校高等課程・専門課程、短期大学、大学に入学希望者及び在学者に対し、栃木市より奨学金の貸付を行った。

(1) 奨学金月額

区 分		月額(円)
高等学校・専修学校高等課程		12,000
専修学校専門課程 短期大学 大 学	自宅通学	25,000
	自宅外通学	30,000

(2) 奨学金の貸付状況

(単位：人)

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	合計
高等学校	4	1	3			8
短期大学	-	-				-
大学	4	6	2	7	1	20
専門学校	2	2	-			4

(3) 平成25年度末栃木市奨学基金の状況(単位：円)

基金額	115,948,643
貸付金額	71,165,625
現金額	44,783,018

7 叙位・叙勲の申請・伝達等

教育職員に関する叙位叙勲の申請、伝達等を行った。

・叙位 4件 ・叙勲 11件

8 学校施設の整備状況

小中学校各校耐震補強工事費	8棟	289,550,100円
小中学校各校施設整備工事費	37件	128,842,350円
小中学校各校維持補修費	365件	39,400,173円
小中学校設備保守点検等委託料	99件	52,718,138円

(1) 主な工事

業務名称	対象施設	学校名	工事概要	工事費(円)
校舎改築工事	校舎	寺尾小	・ 本体工事 R C 造 2 階建 延べ 3,385.85 m ² 、太陽光発電設備、昇降機設備	575,400,000 (平成 24・25 年度 継続事業)
			・ 電気設備工事 高圧引込設備、受変電設備、幹線設備 その他	130,830,000 (平成 24・25 年度 継続事業)
			・ 機械設備工事 冷暖房設備、暖房設備、換気設備 その他	132,195,000 (平成 24・25 年度 継続事業)
			・ 家具及び附属建物工事	27,247,500
増築工事に伴う改修工事	校舎	大宮北小	・ 本体工事 校舎棟 R C 造 4 階建 延べ 6,577.94 m ² (一部) 建具改修、内装改修、塗装改修 その他	34,629,000
			・ 電気設備工事	10,122,000
			・ 機械設備工事	16,002,000

外構工事	校庭	合戦場小	施設撤去、敷地造成、雨水排水設備、電気設備、遊具施設整備、管理施設 その他	13,597,500
		西方中	敷地面積 21,518.59 m ² 屋外便所棟、部室・倉庫棟、弓道場改修工事、電気設備・機械設備、テニスコート工事	74,938,500
耐震補強工事	校舎	赤麻小	鉄骨ブレース K 型 2 箇所/M 型 1 箇所 解体撤去復旧、電気設備 その他	13,188,000
		部屋小	鉄骨ブレース K 型 1 箇所、 屋上防水その他改修	16,453,500
		合戦場小	鉄骨ブレース K 型 9 箇所 解体撤去復旧その他改修	73,825,500
	屋内運動場	赤津小	屋内運動場 1 棟 延べ 676 m ² 屋根改修その他改修	41,107,500
		真名子小	屋内運動場 1 棟 延べ 404 m ² 床改修その他改修	15,960,000
		大平中央小	屋内運動場 1 棟 延べ 813 m ²	8,349,600
		寺尾中	屋内運動場 1 棟 延べ 736 m ² ステージ下台車収納その他改修	28,770,000
		西方中	屋内運動場 1 棟 解体撤去復旧、内装改修、電気設備 その他	91,896,000
施設整備工事	栃木第五小	プール改修工事	76,713,000	
	大宮北小	本体工事、機械設備工事	3,444,000	
	東陽中	消火栓配管改修工事	3,256,050	
	東陽中他 5 校	消防設備改修工事	10,689,000	
	南小	受水槽改修工事	4,084,500	
	真名子小	プール塗装改修工事	5,208,000	
	三鴨小 藤岡小	洋式トイレ設置工事 和式大便器撤去・洋式便器取付 その他	12,990,000	
西方中	プール管理棟改築工事 管理棟 木造平屋建 延べ 46.37 m ²			

(2) 主な業務委託(学校施設整備関係)

業務名称	対象施設	学校名	業務概要	委託費(円)
校舎改築等実施設計業務委託	校舎	大平南小	校舎改築等実施設計業務委託 校舎解体・改築、仮設校舎建築 他	47,040,000
基本設計業務委託	校舎	大平中	基本設計業務委託 基本設計業務 校舎棟 延べ 5,200 m ² 地形測量業務 作業量 0.039k m ² 縮尺 1/500 耕地/平地	16,590,000

耐震補強設計 業務委託	校舎	部 屋 小	耐震補強及び改修設計業務委託 管理教室棟 RC造3階建 延べ1,907.2㎡	3,307,500
		藤岡第二中	耐震補強及び改修設計業務委託 管理教室棟 RC造3階建 延べ3,115㎡	3,349,500
	屋内 運動場	寺 尾 小	耐震補強及び改修設計業務委託 屋内運動場 延べ500㎡	2,362,500
設計等業務委託	校舎	市内中学校	空調設備設置設計 一式	12,915,000
		栃木第四小 他2校	トイレ改修設計 一式	3,654,000
	屋内 運動場	家 中 小	改築設計業務 鉄骨造1階建 延べ894㎡ 解体設計業務 鉄骨造2階建 延べ586㎡ 地形測量業務 現地測量 作業量0.025k㎡ 縮尺1/500 耕地/平地	18,270,000
		市内小中学校	非構造部材耐震調査設計業務委託 一式	7,841,400

(3) 主な学校施設管理業務とその概要

業 務 名	概 要
自家用電気工作物保守管理 (※)	高圧受変電設備(キュービクル)および電気設備の保守管理業務委託
校舎警備 (※)	夜間休日の校舎警備委託
消防設備保守点検 (※)	自動火災報知機、屋内消火栓、避難器具その他消防設備に係る消防法に基づく点検(年2回)の委託
非常通報装置保守委託	自動火災報知機と連動した緊急通報装置の機能維持に係る点検委託(製造メーカー保守)
防煙防火シャッター保守点検 (※)	防災防火シャッターの機能維持に係る点検委託(製造メーカー保守)
昇降機および給食用ダムウェーター保守管理	乗用および給食運搬用エレベーターの安全性担保および機能維持のための保守点検委託
浄化槽保守管理	浄化槽の機能維持のための保守点検委託
浄化槽清掃	浄化槽内汚泥の汲み取り(年1回)
浄化槽水質検査	浄化槽法第11条に基づく水質検査(年1回)
水泳プール循環浄化装置保守	学校水泳プール濾過装置の使用前・後の保守点検
水道貯水槽清掃 (※)	受水槽および高架水槽の清掃
簡易専用水道管理検査 (※)	受水槽・高架水槽を介して各階に給水する水道設備の管理状況に関する検査

※印は、栃木中央小学校旧校舎(旧栃木第一小分)を含む。

9 小中学校屋内運動場利用状況(栃木地域)

小学校及び中学校の屋内運動場を学校教育に支障のない範囲内で開放し、青少年の健全育成並びに地域住民の文化の向上及びスポーツ振興を図った。

- ・利用者数 小学校(14校) 延べ 91,404人
中学校(7校) 延べ 45,083人

10 寺尾中学校セミナーハウス利用状況

寺尾中学校内に設置された集団宿泊研修施設であるセミナーハウスを開放し、人間性豊かな児童生徒等の育成を図った。

- ・利用者数 延べ480人

教育政策担当

1 教育行政に関する冊子の発行

本市の教育活動を市民の方々に理解していただくため、市民向けに冊子を作成、発行した。

	「栃木市の教育 絆」
発行	広報とちぎ7月号折込
形式	A4判
発行部数	5,430部（班内回覧）

2 栃木市教育委員会だよりの発行

教育委員会としての役割を明確にし、教育委員会の会議や活動内容を広く市民に広報するため、「栃木市教育委員会だより」を作成、発行した。

	「栃木市教育委員会だより」
発行	広報とちぎ折込（10月、3月）
形式	A4判
発行部数	各46,500部（全戸配布）

3 学校適正配置の検討

(1) 中学校区検討会の実施

各地域の現状と課題を把握することを目的に、市内13中学校区ごとに各小中学校長、保護者代表、自治会代表の出席のもと、検討会を実施した。

(2) 小規模特認校制度の導入

通学区域外からの児童の入学、転入学を認める小規模特認校制度を導入し、小規模校の児童数増加及び活性化を図った。

大宮南小学校については、平成25年度より児童の受入れを開始し、国府南小学校、真名子小学校については、平成26年度より児童の受入れを開始する。

第2節 学校教育課

〔総括概要〕

本年度は、新市「まちづくりの基本方針・3」に基づき、学校教育担当及び保健給食担当において、人生の礎となる「生きる力」を身につけた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施した。

学校教育においては、未来を担う栃木市の子どもとして「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を身につけた子どもの育成を目指した。

そのために、教職員の指導力の向上を目的として、教育研究所と連携し、所長の宇都宮大学松本敏教授の指導・助言のもと、学校教育の課題解決の調査・研究や教職員研修の充実を図り、教育講演会や教育研究発表会を行った。

また、教育支援の充実として、専門的な知識を持った学校教育支援専門員や臨床心理士、指導主事による学校訪問や保護者との相談、いじめ等の問題行動に対する対応、指導体制への助言、学校と地域の連携支援等を行った。

教育環境の整備としては、就学援助事務及び教科書無償給与事務、新学習指導要領対応の理科教育備品整備等を行った。

さらに、各学校の特別な支援を必要とする児童生徒への対応として、学習や生活指導の支援を行う学校生活支援員64人（特別支援教育支援員53人、学力向上支援員6人通級教室指導員4人、日本語指導員1人）を配置した。

キャリア（進路）指導については、小学校の校外学習等や中学校の職場体験学習等を通して、勤労の大切さや尊さを学ぶ教育を展開し、児童生徒一人ひとりの将来の生き方を考える力の育成を図った。

学校保健については、心身共に健康な児童生徒の育成を目指し、各種健康診断を実施した。

心臓検診、腎臓検診では検査の結果、有所見者に対して各専門医による判定会を開催し、学校生活管理指導表により事後の管理指導を行った。

むし歯予防事業では、歯科検診及び「むし歯ゼロ学校巡回指導」を実施し、児童生徒に対して歯・口腔衛生の正しい知識と疾病予防の指導を行った。

そのほか、結核健診、就学時健診、教職員の生活習慣病健診等の事業を実施した。

また、学校薬剤師による飲料水及びプールの水質、照度、一・二酸化炭素等の定期検査により学校の保健環境衛生の向上に努めた。

学校給食については、児童生徒が正しい食習慣を身に付け、自己の健康保持増進を図ることを目指した。

食事内容については、学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの作成や献立の多様化や地産地消の拡大を図るなどして、安全で安心な、子どもたちに喜ばれる学校給食の提供に努めた。

また、食中毒を未然に防止するため、調理従事者を対象に衛生教育研修や全調理場巡回訪問を実施するとともに、施設設備の改善充実に努めるなどして、衛生管理

の徹底を図った。

さらに、栄養教諭等による食に関する指導についても、文部科学省委託事業「栄養教諭を中核とした食育推進事業」を受けて研究を推進した。

学校教育担当

1 学務に関する事業

(1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
29	46	92	37	32
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
1	4	-	1	31

(2) 教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務
- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・各種選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務

(3) 教職員給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者で記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されていないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員の団体(栃教協)との研修事業、各種研修等に係る補助金及び委託料に関する事務を行った。

(5) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況

(単位：人)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
24年5月1日	7,717	315	3,913	148
25年5月1日	7,549	313	3,975	151
比較	△168	△2	62	3

(6) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

	対象者（人）	支給額（円）
小学校	276	14,910,717
中学校	234	21,229,251
計	510	36,139,968

(7) 特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

	対象者（人）	支給額（円）
小学校	86	2,680,330
中学校	39	1,988,054
計	125	4,668,384

(8) 遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学児童生徒通学費補助金の交付状況

小学校 4km以上 中学校 6km以上

	対象者（人）	支給額（円）
皆川城東小	6	120,000
寺尾中央小	10	108,000
都賀中	4	10,200
西方中	12	36,000
計	32	274,200

(9) 学校教育設備整備費等（理科教育等設備整備費）補助事業

学校教育設備整備費等補助金により、小学校27校、中学校13校の整備を行った。

	整備額（円）
小学校	2,179,046
中学校	1,129,572
計	3,308,618

(10) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて、学校教育活動を行う臨海自然教室を実施した。

- ・市内22小学校で実施、参加児童数1,195名
(2校は別事業を実施、4校は隔年実施のため未実施)

2 指導に関する事業

(1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

ア 共同訪問

栃木第三小、栃木第五小、南小、千塚小、赤麻小、藤岡第二中、認定西方なかよしこども園

イ 研究学校

(7) 市指定人権教育研究学校

- ・栃木三小、栃木東中

- (イ) 市指定外国語教育推進学校
 - ・大宮南小、大宮北小、国府南小、国府北小、東陽中
- (ウ) 市指定小中一貫教育研究学校
 - ・皆川城東小、皆川中
- (エ) 市指定放課後教室研究学校
 - ・南小、大宮南小、吹上小、国府南小、大平東小、大平中央小、赤麻小、藤岡小
- (オ) 市指定学力向上研究学校
 - ・大平東小、大平西小、大平中
- (カ) 市指定セカンドステップ研究校
 - ・国府北小
- (キ) ICT活用研究モデル校
 - ・栃木中央小、栃木第三小、栃木第四小、大平中央小、栃木東中、栃木西中、栃木南中
- (ク) 姉妹校化推進学校
 - 市内全中学校区

ウ 学校訪問実施状況

No	学校名	教科等	訪問日	備考
1	栃木中央小	国算社理(生)特支	5月14日(火)	指導案検討
2	栃木中央小	国算社理(生)特支	5月29日(水)	指導案検討
3	栃木中央小	国算社理(生)特支	6月12日(水)	指導案検討
4	栃木中央小	国算社理(生)特支	6月28日(金)	公開研究発表会
5	栃木中央小	国算社理(生)特支	10月30日(水)	指導案検討
6	栃木中央小	国算社理(生)特支	11月8日(金)	公開研究発表会
7	栃木中央小	特支	6月26日(水)	特別支援教育新任担当教員訪問
8	栃木三小	国語・社会	5月8日(水)	共同訪問指導案検討
9	栃木三小	道徳、算数	5月15日(水)	指導案検討(共同訪問)
10	栃木三小	国語、社会	6月12日(水)	指導案検討(共同訪問)
11	栃木三小	道徳、算数	6月19日(水)	指導案検討(共同訪問)
12	栃木三小	各教科等	7月1日(月)	共同訪問
13	栃木三小	実技研修	7月25日(木)	ICT活用
14	栃木三小	講話	8月21日(水)	人権教育に関する講話
15	栃木三小	道徳、全教科	9月18日(水)	指導案検討(人権教育研究学校)
16	栃木三小	道徳、全教科	10月9日(水)	指導案検討(人権教育研究学校)
17	栃木三小	道徳、全教科	10月30日(水)	指導案検討(人権教育研究学校)
18	栃木三小	国語・算数	2月5日(水)	指導案検討(ICT活用)
19	栃木三小	国語・算数	2月20日(木)	ICT活用研究
20	栃木四小	理科	6月26日(水)	
21	栃木四小	特支(ことば)	7月5日(金)	特別支援教育新任担当教員訪問

22	栃木四小	理科	10月24日(木)	教職3年目研修(要請訪問)
23	栃木四小	理科	10月30日(水)	I C T活用研究モデル校
24	栃木五小	国語	6月19日(水)	教職3年目研修
25	栃木五小	各教科等	11月11日(月)	共同訪問
26	南小	各教科等	9月25日(水)	共同訪問
27	南小	国語	11月27日(水)	
28	大宮南小	音楽・算数	6月21日(金)	
29	大宮南小	外国語・道徳	9月26日(木)	外国語教育推進学校
30	大宮北小	算数	7月3日(水)	指導案検討
31	大宮北小	特支	10月2日(水)	特別支援学級教室訪問
32	大宮北小	算数	10月9日(水)	指導案検討
33	皆川城東小	合同研修会	4月24日(水)	小中一貫教育研究
34	皆川城東小	合同研修会	6月19日(水)	小中一貫教育研究
35	皆川城東小	合同研修会	8月1日(木)	ビデオリフレクション研修
36	皆川城東小	理科	10月2日(水)	小中一貫教育研究
37	皆川城東小	外国語活動	11月6日(水)	小中一貫教育研究
38	皆川城東小	合同研修会	2月5日(水)	小中一貫教育研究
39	吹上小	国語	9月25日(水)	
40	吹上小	国語	11月13日(水)	
41	吹上小	国語	1月30日(木)	
42	吹上小	特支(生活単元)	11月7日(木)	特別支援学級教室訪問
43	千塚小	理科	7月1日(月)	
44	千塚小	各教科等	8月7日(水)	指導案検討(共同訪問)
45	千塚小	各教科等	9月19日(木)	共同訪問
46	寺尾中央小	国語・社会	6月21日(金)	
47	寺尾中央小	算数・学級活動	10月2日(水)	
48	寺尾南小	講話(国語・図工)	6月12日(水)	感想文・感想画の指導法
49	国府南小	外国語・算数	6月26日(水)	外国語教育推進学校
50	国府南小	国語	10月23日(水)	
51	国府北小	算数	6月26日(水)	
52	国府北小	算数	10月23日(水)	
53	国府北小	講話	11月27日(水)	人権教育に関する講話・演習
54	大平東小	国語・算数	6月19日(水)	学力向上研究
55	大平東小	国語	10月23日(水)	3年目研修
56	大平南小	算数	6月12日(水)	
57	大平南小	算数	10月29日(火)	
58	大平西小	国語	7月3日(水)	学力向上研究・3年目研修
59	大平西小	道徳	10月9日(水)	

60	大平中央小	国語	6月10日(月)	
61	大平中央小	社会・算数	10月10日(木)	3年目研修(算数)
62	大平中央小	総合・算数	11月20日(水)	ICT活用研究
63	大平中央小	特支	9月26日(木)	特別支援学級教室訪問
64	藤岡小	講話	5月8日(水)	特別活動に関する講話
65	藤岡小	学活	6月14日(金)	
66	藤岡小	養護	7月5日(金)	教職3年目研修(養護)
67	藤岡小	学活	9月18日(水)	3年目研修
68	藤岡小	学活	11月6日(水)	
69	部屋小	国語	6月19日(水)	
70	赤麻小	各教科等	5月29日(水)	共同訪問
71	赤麻小	国語	10月9日(水)	
72	赤麻小	国語	11月6日(水)	
73	三鴨小	国語	6月5日(水)	教職3年目研修
74	三鴨小	国語	10月16日(水)	
75	合戦場小	社会	6月14日(金)	
76	合戦場小	特支(生活単元)	10月17日(木)	特別支援学級教室訪問
77	合戦場小	国語	11月27日(水)	
78	家中小	道徳	11月13日(水)	
79	赤津小	理科	6月24日(月)	教職3年目研修
80	赤津小	国語	10月28日(月)	
81	西方小	講話	5月22日(水)	言語活動の充実に関する講話
82	西方小	国語	6月5日(水)	指導案検討
83	西方小	国語	6月26日(水)	
84	西方小	国語	11月27日(水)	
85	西方小	特支	10月11日(金)	特別支援学級教室訪問
86	真名子小	社会	6月26日(水)	
87	真名子小	外国語活動	9月18日(水)	
88	真名子小	国語	10月22日(火)	
89	真名子小	道徳	12月4日(水)	
90	真名子小	算数	1月17日(金)	
91	栃木東中	英語	7月9日(火)	重点教科・領域等研修「中学校英語科」
92	栃木東中	音楽	10月9日(水)	人権教育研究
93	栃木東中	国語	10月16日(水)	人権教育研究
94	栃木西中	講話	5月30日(木)	ICT活用に関する講話
95	栃木西中	特支	7月9日(火)	特別支援教育新任担当教員訪問
96	栃木西中	理科	10月1日(火)	教職3年目研修
97	栃木西中	理科・英語	11月18日(月)	ICT活用・重点教科「中学校英語」

98	栃木西中	道徳	1月22日(水)	
99	栃木南中	社会・英語	7月4日(木)	重点教科「中学校英語」(要請訪問)
100	栃木南中	理科・美術	11月14日(木)	I C T活用研究
101	東陽中	特支(知的・情緒)	6月20日(木)	特別支援学級教室訪問
102	東陽中	社会	10月2日(水)	教職3年目研修(要請訪問)
103	東陽中	英語	12月11日(水)	重点教科「中学校英語」(要請訪問)
104	東陽中	道徳	2月5日(水)	教職3年目研修(要請訪問)
105	皆川中	合同研修会	4月24日(水)	小中一貫教育研究
106	皆川中	合同研修会	6月19日(水)	小中一貫教育研究
107	皆川中	合同研修会	8月1日(木)	ビデオリフレクション研修
108	皆川中	理科	10月2日(水)	小中一貫教育研究
109	皆川中	英語	11月6日(水)	重点教科「中学校英語」(小中一貫研究)
110	皆川中	合同研修会	2月5日(水)	
111	吹上中	英語	9月12日(木)	重点教科・領域等研修「中学校英語科」
112	吹上中	道徳	9月30日(月)	
113	吹上中	特支(作業学習)	11月7日(木)	特別支援学級教室訪問
114	吹上中	美術	11月11日(月)	教職3年目研修
115	寺尾中	養護(3年研)	7月4日(木)	教職3年目研修
116	寺尾中	道徳	7月10日(水)	
117	寺尾中	国語	11月20日(水)	
118	寺尾中	保健体育	1月29日(水)	
119	大平中	特支(学活)	6月11日(火)	特別支援教育新任担当教員訪問(要請訪問)
120	大平中	理科	6月24日(月)	
121	大平中	英語	12月10日(火)	重点教科・領域等研修「中学校英語科」
122	大平中	国語	11月12日(火)	教職3年目研修(要請訪問)
123	大平南中	特支(国語)	6月5日(水)	特別支援教育新任担当教員研修
124	大平南中	数学	10月10日(木)	
125	大平南中	理科	10月16日(水)	
126	大平南中	社会・英語	11月14日(木)	重点教科・領域等研修「中学校英語科」
127	藤岡一中	道徳	9月24日(火)	
128	藤岡一中	英語	10月4日(金)	重点教科・領域等研修「中学校英語科」
129	藤岡一中	学活	10月7日(月)	
130	藤岡二中	各教科等	10月30日(水)	共同訪問
131	都賀中	数学	6月20日(木)	
132	都賀中	英語	10月2日(水)	重点教科「中学校英語」(要請訪問)
133	西方中	数学	10月10日(木)	
134	西方中	国語	10月24日(木)	
135	西方中	英語	11月12日(火)	重点教科「中学校英語」

136	西方中	道徳	11月20日(水)	
137	西方なかよしこども園	全教育内容	9月13日(金)	共同訪問

・学校課題 【別表】学校課題・研究主題一覧表参照

(2) 教育研究発表会

市内の幼稚園、保育園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員を対象に、学校や個人等で行ってきた教育実践研究の成果を発表して共有し、教職員の資質と指導力の向上と、市内の園児・児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に行った。

- ・実施日 1月28日(火) 14:00～
- ・発表会場 國學院大學栃木学園教育センター(3会場)
- ・口頭発表者 13件(幼1件、小5件、中2件、小・中4件、高1件)
- ・紙上発表者 7件(小5件、中1件、不登校適応指導教室1件)
- ・参加者 市内幼・保・小・中・高等学校等の教職員等 182人

(3) 人権教育研修

各人権課題に対する人権教育主任としての見識を高め、教職員としての資質向上を図るために小中学校の人権教育主任を対象に人権教育研修会を開催した。

ア 第1回栃木市人権教育研修会

- ・実施日 5月14日(火)
- ・場所 皆川公民館
- ・講話Ⅰ「栃木県の人権教育推進について」
- ・講師 下都賀教育事務所学校支援課指導主事 神宮司 賢一郎氏
- ・講話Ⅱ「人権教育の進め方」
- ・講師 栃木市教育委員会学校教育課副主幹兼指導主事 野尻 正人
- ・参加者 各小中学校の人権教育主任

イ 第2回栃木市人権教育研修会

- ・実施日 8月5日(月)
- ・場所 大平隣保館
- ・講話 「今、同和問題の現状について考える」
- ・講師 部落解放同盟栃木県連合会事務局長 戸田 眞氏
- ・グループ協議 「各校の人権週間の取組について」
- ・参加者 各小中学校の人権教育主任

(4) 外国語指導助手学校派遣

小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手17人を各学校に派遣し、外国語を通じたコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小中ごとに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日のほぼ毎日訪問した。

延べ訪問日数 (単位:日)

中学校	1,396
小学校	2,002
小中学校合計	3,398

(5) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導法や校内支援体制の整備について学び、資質の向上を図るため、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育研修会

- ・実施回数 3回
- ・対象 特別支援教育コーディネーター・通級指導教室担当者 45人
小中学校特別支援学級担任等希望者 47人
中学校特別支援学級担任希望者 2人

イ 学校支援員研修会

- ・実施回数 4回
- ・対象 全支援員

ウ ゆっくり学習会

- ・実施回数 5回
- ・対象 幼稚園・保育園教員等 延べ164人
小学校・中学校教員等 延べ91人

エ 特別支援教育新任担当教員研修

オ 特別支援学級教室訪問支援

カ 臨床心理士や学校教育支援専門員による巡回訪問支援等

(6) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務 (単位：冊)

区 分		冊 数
小学校	前期用	49,252
	前期転学用	190
	後期用	19,917
	後期転学用	169
中学校	前期用	41,001
	前期転学用	49
	後期用	-
	後期転学用	38
合 計		110,616

(7) 教師用教科書及び指導書購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区 分	冊数 (冊)	費用 (円)
教師用教科書 前後期用	808	330,687
教師用指導書 前後期用	129	1,607,760
合 計	937	1,938,447
各教科指導資料集	231	115,500

(8) 立志式

14歳を迎える生徒たちは精神的にも肉体的にも、子どもから大人へ移り変わる時期である。この青春期にさしかかろうとする少年少女に対し、皆でその成長を祝い、併せて生徒一人ひとりに自立への自覚と理想に向かったの確かな歩みを促す契機として「立志式」を開催した。

学 校 名	実 施 日	該 当 者 数 (人)
栃 木 東 中	1月19日 (日)	95
栃 木 西 中	2月 5日 (水)	186
栃 木 南 中	1月23日 (木)	110
東 陽 中	1月22日 (水)	198
皆 川 中	1月29日 (水)	33
吹 上 中	2月 6日 (木)	109
寺 尾 中	2月13日 (木)	16
大 平 中	2月 2日 (日)	132
大 平 南 中	1月31日 (金)	153
藤岡第一中	1月29日 (水)	99
藤岡第二中	1月22日 (水)	24
都 賀 中	2月 9日 (日)	118
西 方 中	2月 5日 (水)	62
計		1,335

(9) 幼・保・小連絡協議会

ア 代表者会議 (年2回)

イ 全体研修会 (講話)

・参加者 幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校教職員 計76人

ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

区 分	参加者 (人)	期間 (日)
幼稚園・保育園から小学校へ	23	29.5
小学校から幼稚園・保育園へ	24	36

エ 地域別研修会 (栃木・都賀・西方地域、大平・藤岡地域、各2回)

・参加者：第1回61名、第2回63名

・年長担当者と小学校低学年担当者の情報交換

・アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの作成開始

(10) 地域ぐるみ児童生徒指導

ア 13中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

・実施期間 6月～2月

イ 栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換やスクールガードリーダー、人権擁護委員及び保護司との合同研究会を開催

・実施期間 4月～3月

ウ 各部会

部会名	実施回数、実施日
小学校部会	6月20日（木）、2月21日（金）
中学校部会	毎月1回
小・中部会	6月20日（木）、10月7日（月）
小・中・高部会	12月3日（火）

(11) 適応指導教室運営に関する事務

適応指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への適応を図るための指導・支援及び保護者に対する教育相談を行った。

・適応指導教室通級人数 34人（学校復帰人数24人）

（単位：件）

来所相談	759
電話相談	1,144
学校訪問	68
家庭訪問	211
合計	2,182

保健給食担当

1 学校保健管理

(1) 結核健康診断（学校保健安全法施行規則に基づき4月～6月実施）

ア 小中学校

（単位：人）

区分	検診対象者	検診者数	検討対象者数	精密検査不要者	要精検
小学校	7,553	7,547	29	29	-
中学校	4,136	4,132	7	7	-
合計	11,689	11,679	36	36	-

※中学校には国学院中学も含む。

イ 教職員（全教職員 胸部レントゲン間接撮影）

（単位：人）

区分	教職員数	受診者	未受診者	未受診者理由	結核有所見者
小学校	652	630	22	妊娠中・妊娠疑い 28	-
中学校	387	380	7	傷病休暇（育休・休職含む） 1	
計	1,039	1,010	29	29	-

(2) 小中学校腎臓検診（4月～6月）

一次・二次検査結果及び三次検査対象者

(単位：人)

区分	検査対象者	検査実施者	一次検査	二次検査	三次検査		
			有所見者	要精検者	新規対象者	継続管理者	計
小学校	7,553	7,543	215	84	92	109	201
中学校	3,974	3,954	230	90	103	151	254
合計	11,527	11,497	445	174	195	260	455

(3) 学校心臓検診 (検診5月～6月、4年生のみ9月)

(単位：人)

区分	在籍者数	一次検診		二次検診		二次検診	精密検査
		受診者数	一次有所見者	二次受診者数	要精検者数	省略者数	精検受診者数
小学校一年生	1,153	1,153	93 (8.1%)	51	22 (1.9%)	42	39 (3.4%)
中学校一年生	1,310	1,310	107 (8.2%)	57	27 (2.1%)	50	50 (3.8%)
合計	2,463	2,463	200 (8.1%)	108	49 (2.0%)	92	89 (3.6%)
小学校四年生	1,293	1,293	57 (4.4%)				24 (1.9%)

※ () は有所見率

(4) むし歯ゼロ学校事業「学校巡回指導」

- ・実施期間 5月31日(金)～7月12日(金)までの19日間
- ・実施校 市内小学校27校
- ・参加者 小学1年生1,161人
保護者多数(自由参加)
- ・実施内容 児童指導 歯科衛生士による講話、染めだし、歯みがき指導
保護者指導 児童指導の参観、学校歯科医・歯科衛生士による講話

(5) 定期健康診断(生活習慣病検診)

- ・実施時期 8月～10月
- ・対象 学校教職員(県職)

	受診者数(人)	要精検者数(人)	要精検率(%)
小学校	230 (56)	51 (2)	22.2 (3.6)
中学校	149 (34)	37 (1)	24.8 (2.9)
合計	379 (90)	88 (3)	23.2 (3.3)

※ () 内は胃部X線検査受診者再掲

※血圧、尿検査、血液検査、心電図検査、視力検査及び聴力検査は全員対象

(6) 就学時健康診断

- ・実施時期 9月～10月
- ・対象 平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれの児童
- ・被検査者数 1,182人

・検査状況

(単位：人)

項目		人数	合計
栄養 状態	栄養不良		1
	肥満傾向		1
脊椎異常のある者			1
胸郭異常のある者			3
視力0.7未満			158
眼 疾患	結膜炎		14
	その他		18
耳鼻 咽頭 疾患	中耳炎		7
	扁桃腺肥大		3
	その他		74
皮膚 疾患	伝染性		1
	その他		30
歯	むし歯なし		643
	〃 処置者		255
	〃 未処置者		318
その他歯疾病			4
口腔疾病及び異常			12
その他 疾病及 び異常	ぜんそく		130
	アレルギー		101
	心臓疾患		14
	腎臓疾患		4
	川崎病既往		19
	てんかん		6
	その他		146

(7) 出席停止

伝染病及び感染症による欠席児童生徒

(単位：人)

学校	月											
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	計
小学校	60	66	42	21	16	16	25	52	466	847	390	2,001
中学校	11	7	5	1	6	3	3	12	114	168	174	504
合計	71	73	47	22	22	19	28	64	580	1,015	564	2,505

※8月は夏休みのため実績なし

(8) 日本スポーツ振興センター災害給付金給付状況

学校名	児童・生徒数(人)	給付件数(件)	初回発生件数(件)	給付額(円)
栃木中央小	537	55	33	392,630
栃木第三小	405	20	19	75,868
栃木第四小	183	8	5	24,912
栃木第五小	550	43	31	289,018
南小	299	35	26	182,788
大宮南小	56	2	1	3,700
大宮北小	821	44	24	305,895
皆川城東小	176	17	8	68,486
吹上小	339	18	11	95,648
千塚小	185	19	12	74,403
寺尾中央小	85	2	2	9,472
寺尾南小	24	2	2	8,784
国府南小	48	11	9	38,551
国府北小	312	37	21	269,828
大平東小	316	20	15	118,570
大平南小	346	31	23	167,002
大平西小	383	33	24	129,376
大平中央小	677	58	34	356,872
藤岡小	247	23	14	152,522
部屋小	136	6	6	35,838
赤麻小	186	11	6	56,076
三鴨小	182	4	2	17,408
合戦場小	362	1	1	6,156
家中小	196	8	7	27,452
赤津小	148	9	6	20,628
西方小	284	13	6	38,428
真名子小	54	3	1	34,832
小学校計	7,537	533	349	3,001,143
栃木東中	312	56	21	940,096
栃木西中	490	56	33	563,644
栃木南中	299	50	34	283,452
東陽中	605	157	83	761,573

皆川中	109	20	12	116,884
吹上中	273	47	35	201,366
寺尾中	78	23	12	119,022
大平中	352	62	29	286,309
大平南中	492	117	48	624,536
藤岡第一中	314	72	39	492,459
藤岡第二中	73	17	10	66,878
都賀中	380	121	59	607,636
西方中	190	42	24	409,557
中学校計	3,967	840	439	5,473,412
合 計	11,504	1,373	788	8,474,555

2 学校環境衛生管理

区 分	検査日	検査項目	備 考
飲料水 水質検査	5月8日（水）	理化学・細菌検査10項目	水道水、地下水
	12月2日（月）	理化学・細菌・重金属等 検査51項目	地下水 (地下水使用校)
飲料水 放射能検査	6月7日（金）	放射性ヨウ素1項目、 放射性セシウム2項目	地下水 (地下水使用校)
プール水水質検査 プール施設調査	6月12日（水）	水質6項目、施設安全管理調査	2点測定
	6月17日（月）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	6月18日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	6月25日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月 8日（月）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月16日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
教室内揮発性有 機化合物検査	9月 3日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	8月27日（火）	6項目（ホルムアルデヒド他）	中学校1校
	9月 2日（月）	6項目（ホルムアルデヒド他）	小学校1校
照度検査	11月～12月	照度測定	
一・二酸化炭素検査	1月～3月	一・二酸化炭素濃度検査	

※ 地下水使用校5校の飲料水水質検査は毎月1回実施（1校は8月末から水道水使用）

3 学校給食実施状況

(1) 栃木地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校のカルシウム摂取量が不足してい

る。今後これらの点を考慮して献立を作成し、目標量の摂取に努めたい。

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミ ン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640	24.0	21.3	350	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	643	25.6	21.3	349	2.9	324	0.62	0.60	33.0
中学校栄養摂取目標量	820	30.0	27.3	450	4.0	300.0	0.40	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	782	30.5	24.6	382	4.0	363	0.78	0.68	39.0

※小学校14校、中学校7校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造																																																																																																													
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)																																																																																																												
1	栃木中央小学校 給食共同調理場	栃木中央小	537	21	栄養教諭 1	5(1)	鉄筋コンク リート造	618																																																																																																												
		南小	299	13					2	栃木第三小学校 給食共同調理場	栃木第三小	407	14	栄養職員 1	委託	"	195	栃木東中	313	13	3	栃木第四小学校 給食共同調理場	栃木第四小	183	10	栄養職員 1	4(1)	"	331	大宮南小	55	6	栃木南中	299	11	4	栃木第五小学校 給食共同調理場	栃木第五小	550	19	栄養職員 1	委託	"	349	栃木西中	493	18	5	大宮北小学校 給食共同調理場	大宮北小	827	26	栄養職員 1	委託	"	175	国府南小	48	6	6	吹上小学校 給食共同調理場	吹上小	339	13	栄養職員 1	委託	"	155	吹上中	274	11	7	千塚小学校 給食共同調理場	千塚小	186	8	栄養職員 1	5(3)	"	310	皆川城東小	176	7	皆川中	110	6	8	寺尾中央小学校 給食共同調理場	寺尾中央小	85	6	栄養職員 1	3(1)	"	252	寺尾南小	24	5	寺尾中	78	4	9	国府北小学校 給食共同調理場	国府北小	312	14	栄養職員 1	委託	"	194	東陽中	605	20	計	9調理場	21校
2	栃木第三小学校 給食共同調理場	栃木第三小	407	14	栄養職員 1	委託	"	195																																																																																																												
		栃木東中	313	13					3	栃木第四小学校 給食共同調理場	栃木第四小	183	10	栄養職員 1	4(1)	"	331	大宮南小	55	6			栃木南中	299	11					4	栃木第五小学校 給食共同調理場	栃木第五小	550	19	栄養職員 1	委託	"	349	栃木西中	493	18	5	大宮北小学校 給食共同調理場	大宮北小	827	26	栄養職員 1	委託	"	175	国府南小	48	6	6	吹上小学校 給食共同調理場	吹上小	339	13	栄養職員 1	委託	"	155	吹上中	274	11	7	千塚小学校 給食共同調理場	千塚小	186	8	栄養職員 1			5(3)	"	310					皆川城東小	176	7	皆川中	110	6			8	寺尾中央小学校 給食共同調理場	寺尾中央小					85	6	栄養職員 1	3(1)	"	252	寺尾南小	24	5	寺尾中	78	4	9	国府北小学校 給食共同調理場	国府北小	312	14	栄養職員 1	委託	"	194
3	栃木第四小学校 給食共同調理場	栃木第四小	183	10	栄養職員 1	4(1)	"	331																																																																																																												
		大宮南小	55	6																																																																																																																
		栃木南中	299	11																																																																																																																
4	栃木第五小学校 給食共同調理場	栃木第五小	550	19	栄養職員 1	委託	"	349																																																																																																												
		栃木西中	493	18																																																																																																																
5	大宮北小学校 給食共同調理場	大宮北小	827	26	栄養職員 1	委託	"	175																																																																																																												
		国府南小	48	6																																																																																																																
6	吹上小学校 給食共同調理場	吹上小	339	13	栄養職員 1	委託	"	155																																																																																																												
		吹上中	274	11																																																																																																																
7	千塚小学校 給食共同調理場	千塚小	186	8	栄養職員 1	5(3)	"	310																																																																																																												
		皆川城東小	176	7																																																																																																																
		皆川中	110	6																																																																																																																
8	寺尾中央小学校 給食共同調理場	寺尾中央小	85	6	栄養職員 1	3(1)	"	252																																																																																																												
		寺尾南小	24	5																																																																																																																
		寺尾中	78	4																																																																																																																
9	国府北小学校 給食共同調理場	国府北小	312	14	栄養職員 1	委託	"	194																																																																																																												
		東陽中	605	20																																																																																																																
計	9調理場	21校	6,200	251	9	17(6)																																																																																																														

※()は臨時職員の内数

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員 (人)	1 学期		2 学期		3 学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
栃木中央小	573	70	40,431	77	44,442	49	28,338	196	113,211
栃木第三小	427	70	30,852	76	33,460	49	21,636	195	85,948
栃木第四小	204	68	13,372	76	15,608	49	10,330	193	39,310
栃木第五小	583	71	40,700	76	44,497	49	28,783	196	113,980
南 小	319	69	22,293	77	24,763	49	16,133	195	63,189
大宮南小	65	69	4,830	76	5,228	49	3,580	194	13,638
大宮北小	865	68	52,174	77	66,400	51	44,426	196	163,000
皆川城東小	188	69	14,172	77	14,733	49	9,401	195	38,306
吹上小	365	69	25,676	76	27,566	49	18,203	194	71,445
千塚小	204	69	13,540	77	15,565	49	10,231	195	39,336
寺尾中央小	103	69	7,101	77	7,903	48	4,987	194	19,991
寺尾南小	36	69	2,526	76	2,800	46	1,728	191	7,054
国府南小	58	68	3,559	76	4,595	49	3,160	193	11,314
国府北小	334	70	24,118	76	26,192	49	16,906	195	67,216
栃木東中	344	69	22,941	74	25,186	49	16,047	192	64,174
栃木西中	530	68	35,232	75	38,884	49	23,846	192	97,962
栃木南中	321	68	22,029	75	24,274	49	15,084	192	61,387
東陽中	651	65	42,331	72	47,043	46	28,780	183	118,154
皆川中	127	68	8,397	75	9,472	49	5,782	192	23,651
吹上中	300	66	19,825	75	22,321	49	13,801	190	55,947
寺尾中	93	66	6,271	75	7,142	49	4,386	190	17,799
合計	6,690	—	452,370	—	508,074	—	325,568	—	1,286,012

(2) 大平地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校でカルシウムが不足している。今後、これらの点に十分考慮し、引き続き目標量の摂取に努めたい。

区 分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂 肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640	24.0	21.3	350	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	656	25.2	21.7	358	2.9	270	0.61	0.58	31
中学校栄養摂取目標量	820	30.0	27.3	450	4.0	300.0	0.40	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	817	30.6	26.0	398	3.7	317	0.79	0.66	37

※小学校4校、中学校2校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	大平学校給食 センター	大平東小	311	12	栄養職員1 栄養教諭1	委託	鉄骨造	989
		大平南小	345	12				
		大平西小	382	13				
		大平中央小	676	21				
		大平中	349	12				
		大平南中	490	16				
計	1調理場	6校	2,553	86	2			

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員 (人)	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
大平東小	340	70	23,517	77	25,392	49	16,544	196	65,453
大平南小	370	70	25,674	76	27,463	49	17,793	195	70,930
大平西小	407	70	28,182	77	30,803	49	19,881	196	78,866
大平中央小	714	69	49,396	77	53,733	49	33,647	195	136,776
大平中	380	67	24,789	77	28,669	49	17,477	193	70,935
大平南中	525	69	35,121	77	39,228	49	24,140	195	98,489
センター	23	70	1,708	78	1,919	50	1,220	198	4,847
合計	2,759	—	188,387	—	207,207	—	130,702	—	526,296

(3) 藤岡地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校のエネルギーとカルシウムが不足している。今後不足しないよう献立を作成する際に十分考慮する。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640	24.0	21.3	350	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	624	25.8	21	352	2.9	215	0.56	0.58	33
中学校栄養摂取目標量	820	30.0	27.3	450	4.0	300.0	0.40	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	776	31.4	24.9	390	3.7	254	0.67	0.66	39

※小学校4校、中学校2校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	藤岡学校給食 センター	藤岡小	247	9	栄養職員2 (1)	11 (9)	鉄骨造	961
		部屋小	136	6				
		赤麻小	189	6				
		三鴨小	182	7				
		藤岡第一中	308	10				
		藤岡第二中	73	3				
計	1調理場	6校	1,135	41	2(2)	11(9)		

※()は臨時職員の内数

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員 (人)	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
藤岡小	268	69	18,554	77	20,115	49	13,088	195	51,757
部屋小	151	70	10,403	75	11,218	49	7,261	194	28,882
赤麻小	207	70	14,212	76	15,125	49	9,635	195	38,972
三鴨小	201	70	13,901	75	14,933	49	9,832	194	38,666
藤岡第一中	335	68	22,115	76	25,339	49	15,299	192	62,753
藤岡第二中	88	69	5,993	75	6,552	49	4,074	193	16,619
センター	16	70	1,120	77	1,158	50	724	197	3,002
合計	1,266	—	86,298	—	94,440	—	59,913	—	240,651

(4) 都賀地域

ア 学校給食栄養摂取状況

今後とも、児童生徒の健康状態を考慮しながら、献立を作成し、対象児童生徒にとって望ましい栄養量の摂取ができるように努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640.0	24.0	21.3	350.0	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	670.0	26.7	21.6	342.0	2.7	388.0	0.72	0.57	40.0
中学校栄養摂取目標量	820.0	30.0	27.3	450.0	4.0	300.0	0.40	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	832.0	32.1	25.1	369.0	3.3	463.0	0.90	0.63	46.0

※小学校3校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	都賀学校給食 センター	合戦場小	362	12	栄養職員2 (1)	委託	鉄骨造	1,046
		家中小	200	7				
		赤津小	148	6				
		都賀中	380	12				
計	1調理場	4校	1,090	37	2(1)			

※()は臨時職員の内数

ウ 各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施 人員 (人)	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
合戦場小	388	69	26,930	76	29,103	50	19,631	195	75,664
家中小	219	69	14,873	76	16,396	50	10,922	195	42,191
赤津小	164	70	11,639	76	12,437	50	8,261	196	32,337
都賀中	409	68	26,790	76	30,720	49	18,642	193	76,152
センター	17	70	1,190	78	1,326	50	850	198	3,366
合計	1,197	—	81,422	—	89,982	—	58,306	—	229,710

(5) 西方地域

ア 学校給食栄養摂取状況

小学校は、ほぼ目標を満たしているが、中学校で、カルシウムが不足している。

これらの点に十分考慮し、引き続き基準量の摂取に努めたい。

区分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)
小学校栄養摂取目標量	640.0	24.0	21.3	350.0	3.0	170.0	0.40	0.40	20.0
小学校平均摂取栄養量	651	26.0	21.0	361	2.9	280	0.64	0.60	35
中学校栄養摂取目標量	820.0	30.0	27.3	450.0	4.0	300.0	0.40	0.60	35.0
中学校平均摂取栄養量	781	31.0	24.0	366	3.6	293	0.75	0.69	38

※小学校2校、中学校1校の平均摂取栄養量

イ 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	西方小学校給 食共同調理場	西方小	284	13	栄養教諭1	委託	鉄骨造	569
		真名子小	54	6				

		西方中	190	7				
計	1調理場	3校	528	26	1			

ウ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施 人員 (人)	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
西方小	304	70	22,003	77	24,067	49	15,117	196	61,187
真名子小	67	70	4,921	77	5,431	49	3,430	196	13,782
西方中	208	68	14,224	75	15,811	49	9,677	192	39,712
合計	579	—	41,148	—	45,309	—	28,224	—	114,681

(6) 共同調理場運営協議会の開催

共同調理場運営協議会

- ・開催日 9月5日(木)
- ・場 所 栃木中央小
- ・参加者 委員ほか 24人

(7) 食育研究会の開催

栃木市食育研究会(献立作成会議)

- ・開催日 4月22日(月)、5月16日(木)、7月5日(金)、8月2日(金)、9月20日(金)、11月29日(金)、12月10日(火)、2月17日(月) 計8回
- ・場 所 吹上公民館
- ・参加者 栄養教諭・学校栄養職員

(8) 学校給食関係職員研修事業

NO	実施日	事業名	場 所	参加者(人)
1	5月21日(火)	給食主任・栄養教諭等研修会	大平公民館	給食主任ほか 50
2	7月24日(水)	学校給食調理員研修会(衛生講話・調理実習)	大平健康福祉センター	調理員ほか 30
3	8月 9日(金)	給食主任・栄養教諭等研修会	大平公民館	給食主任ほか 50
4	1月23日(木)	給食主任・栄養教諭等研修会	〃	給食主任ほか 50
5	3月25日(火)	学校給食調理員研修会(衛生講話)	栃木市役所	調理員ほか 20

【別表】 学校課題・研究主題等一覧

学校名	研究主任名	学校課題・研究主題	教科等	備考
栃木中央小	根岸 昭人	かかわり合いの中で、自ら学ぶ子どもの育成 ～かかわり合い 学び合い 自ら考える力 を育てる授業の工夫～	国算社理(生・総) 特別支援	I C T活用研究モデル校 (市指定)
栃木第三小	生澤 通孝	「学び合う児童の育成」 ～考えを認め合い、学び合う学習指導法の工夫～	全教科全領域	人権教育研究学校 I C T活用研究モデル校 (市指定)
栃木第四小	佐々木裕子	自分の思いや考えを互いに伝え合える子どもの育成 ～豊かな思考力・表現力を育む学習指導の在り方～	生活科 理科	I C T活用研究モデル校 (市指定)
栃木第五小	服部 雅弘	自ら学び考え、生き生きと表現し合える児童の育成 ～「活用」の学習活動とおとした読解力の育成を目指して～	国語科	
南小	青木 恭子	一人一人を生かし、「伝え合う力」を高める指導法の研究 ～豊かな表現力の育成をめざして～	国語科	放課後教室研究学校 (市指定)
大宮南小	石川 幸子	生き生きと伝え合うコミュニケーション能力の育成 ～「書く・話し合う・表現する」指導の取組～	全教科 全領域	外国語教育推進学校 放課後教室研究学校 (市指定)
大宮北小	日向野香澄	確かな学力を育てる算数指導 ～算数科における基礎・基本の定着と指導法の工夫～	算数科	外国語教育推進学校 (市指定)
皆川城東小	高木 紀之	「豊かな人間性との確かなコミュニケーション能力の育成を目的 とした、小中一貫教育の教育課程の編成の在り方」(継続：第9 年次) ～言語活動の充実を中核とした「生きる力」の育成を視野に～	全教科及び総合的 な学習の時間(こ とのは、生き方) 、外国語活動	小中一貫教育研究学校 (市指定)
吹上小	谷津 弘美	思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動の工夫 ～自分の考えをもち、生き生きと伝え合える	国語科	放課後教室研究学校 (市指定)

		子どもの育成をめざして～		
千塚小	神澤久美子	言葉の力を高め、自分の思いを表現できる児童の育成 ～ 各教科における言語活動の充実 ～	全教科	
寺尾中央小	落合 和子	生き生きと表現し、学び合う児童の育成 ～ 各教科・学校行事を中心に、言語活動を重視し 読解力・表現力を育む ～	各教科・領域 及び学校行事	
寺尾南小	稲葉かおる	生き生きと伝え、学び合う子どもの育成 ～ 地域（ふるさと）学習の効果的な活用を探りながら～	全教科	
国府南小	小倉友里恵	共にたくましく生きる国府南っ子の育成を目指して ～ 主体的な学び合いを通して～	全教科	外国語教育推進学校 放課後教室研究学校 (市指定)
国府北小	亀田 浩貴	自ら学び、自分の考えを表現できる児童の育成 ～ 算数科における言語活動の充実を目指して～	算数科	外国語教育推進学校 セカンドステップ実践学校 (市指定)
大平東小	竹之内敬子	ともに学び、考えを深め、互いに高め合おうとする 子どもの育成 ～ 伝え合う場の設定の工夫を通して～	国語科 算数科	学力向上研究学校 放課後教室研究学校 (市指定)
大平南小	田上 茂喜	学び考ええる意欲を高めるための算数的な思考力や 表現力の育成 ～ 基礎・基本の定着をふまえた算数的活動の工夫～	算数科	
大平西小	小林 澄江	共に学び自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～ 言語能力の習得とその活用を図って～	全教科 全領域	学力向上研究学校 (市指定)
大平中央小	井上 淳	自ら考え、友達とかかわりながら共に学び合う授業作り ～ ICT機器の効果的な活用を通して～	全教科	ICT活用研究モデル校 放課後教室研究学校 (市指定)

藤岡小	富山 聡	集団の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度の育成 ～特別活動における望ましい集団活動の指導の工夫～	特別活動	放課後教室研究学校 (市指定)
部屋小	杉森 貴子	思考力・表現力を高める指導と評価の工夫 ～(サブテーマは、各自が設定する)～	全教科 全領域	
赤麻小	阿部 啓子	「確かに読み取り、自ら表現できる児童の育成」 ～言語活動の充実を通して～	全教科 全領域	放課後教室研究学校 (市指定)
三嶋小	出井久美子	言葉の力を高め、思いを伝え合える子の育成 ～国語科の指導を中心として～	国語科	
合戦場小	大岡 裕	自他のよさを認め合い、生き生きと活動できる児童の育成 ～温かな人間関係づくりと コミュニケーション能力を高める授業実践を通して～	全教科 全領域	人権教育総合推進地域事業 (文科省指定)
家中小	柳 裕史	自ら学び生き生きと活動できる児童の育成 ～人権意識を伴った言語活動の充実による コミュニケーション力の向上をめざして～	道徳 国語科	人権教育総合推進地域事業 (文科省指定)
赤津小	布川 英子	伝え合う力を高める児童の育成 ～言語活動を通して～	国・社・算・理・ 生	人権教育総合推進地域事業 (文科省指定)
西方小	飯塚 圭子	思考力・判断力・表現力を育成するための学習活動の工夫 ～国語科における文学的な文章を読み取る指導を通して～	国語科 (文学的な文章について)	人権教育総合推進地域事業 (文科省指定) 学業指導の充実に関する調査 研究協力校 (県教委指定)
真名子小	橋本 圭子	人とつながり、たくましく生きる 真名子っ子の育成を目指して ～思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫～	全教科 全領域	人権教育総合推進地域事業 (文科省指定)

栃木東中	安達 昭一	「学び合う力を高める言語活動の工夫」 ～自他の人権を尊重し、共に学び合う生徒の育成を目指して～	全教科 全領域	人権教育研究学校 ICT活用研究モデル校 (市指定)
栃木西中	古橋 奈美	言語活動を充実させ、コミュニケーション力を高める学習指導 のあり方 ～学習習慣の徹底とICTを活用して、 分かって楽しい授業展開を目指して～	全教科 全領域	ICT活用研究モデル校
栃木南中	出井 宏和	学ぶ意欲をはぐくむ指導法の工夫 ～学ぶ楽しさ・充実感を実感できる授業を目指して～	全教科 全領域	ICT活用研究モデル校
東陽中	大島 正悟	主体性と協調性をもって、自分の未来を拓く生徒の育成 ～個が伸びる協同学習の在り方を求めて～	全教科 全領域	外国語教育推進学校 (市指定)
皆川中	新垣 勇一	豊かな人間性との確かなコミュニケーション能力の育成を 目的とした、小中一貫教育の教育課程の編成の在り方について (継続：第9年次) - 言語活動の充実を中核とした「生きる力」の育成を視野に -	全教科及び総合 的な学習の時間	小中一貫教育研究学校 (市指定)
吹上中	齊藤 雄輔	言語活動の充実に向けた指導方法について ～自己の考えを積極的に伝え合える生徒を目指して～	全教科	
寺尾中	江田 訓子	確かな学力の育成を目指した指導法の工夫・改善 ～言語活動の充実を通して学び合う関係づくりを中心に～	全教科 全領域	
大平中	山田 恒夫	「共に学び、高め合う生徒の育成」 ～言語活動の充実を図って～	全教科	学力向上研究学校 (市指定)
大平南中	横田 昇	「表現力を高める指導と評価の工夫」 ～聴く力を高め、自分の考えを表現できる 生徒の育成をめざして～	全教科 全領域	
藤岡第一中	倉持 敬子	「確かな学力を育む指導法の工夫」	全教科	

		～言語活動や学び合い活動の充実を目指して～		
藤岡第二中	田中 範和	確かな学力の向上を付けるための授業力の向上 ～知識・技能を習得し「自ら問える」生徒の育成を目指して～	全教科	
都賀中	増山 克己	共に高め合い、主体的に学習に取り組む生徒の育成 —基礎基本の習得により、確かな学力を身に付けさせる 指導及び評価の工夫—	全教科 全領域	人権教育総合推進地域事業 (文科省指定)
西方中	井寺 聡	確かな学力を育む学習指導の工夫・改善 ～コミュニケーション能力の向上を目指して～	全教科 特別活動	人権教育総合推進地域事業 (文科省指定)

* 表記につきましては、各学校から報告された文言で示してあります。

第3節 生涯学習課

〔総括概要〕

人々がこころ豊かで充実した人生を生きるためには、生涯の各時期に様々な学習内容や方法等を、自らの意思で選択して学ぶ『生涯学習』が必要不可欠である。

栃木市教育計画において「ふるさとの風土で育む人づくり・まちづくり」としてとちぎ未来アシストネット事業をあらゆる施策の基盤に据えているが、本年度は教育計画の具体的な肉付けの指針となる栃木市生涯学習振興計画の策定作業に入り平成26年度中の策定を行うため、策定委員会及びワーキンググループ会議を開催し、市民アンケート調査を行った。

市民学習機会の提供としては、「栃木市民大学」、「発見の森セミナー」、「市職員出前講座」、「市民講師主催の自主講座」を実施した。

また、市が開催している講座情報を分野別、開催日別にホームページに掲載し、より多くの人に講座情報の周知を図った。

さらに各種社会教育関係団体の育成・支援、国際理解教育・青少年教育の充実、コミュニティ活動の推進等に努めた。

とちぎ未来アシストネット事業としては、市全域での事業を開始し、学校とボランティアを結ぶ地域コーディネーターの育成に努めるとともに、中学校区を単位とした地域の情報交換の場となる地域教育協議会並びに市全体の事業を協議する推進委員会を開催し事業の推進と検証を行った。

家庭教育学級開設事業としては、親の子育ての力量や家庭教育力の向上を目指し、今年度からは各小学校において家庭教育学級を1回以上実施することとし、希望する中学校・幼稚園及び保育園においても家庭教育学級を実施した。

人権同和教育事業としては、集会所を拠点に各種学習や交流事業を通して、様々な人権問題に対する理解と認識を深めるとともに、人権が尊重される社会づくりを推進する人材育成に努めた。また、都賀・西方地域を人権教育総合推進地域として指定し、本年度から3か年間、学校・家庭・地域が一体となった人権教育の総合的な取り組みを行い人権意識の高揚を図っている。

公民館事業としては、地域における生涯学習の拠点施設として、住民のニーズを捉え地域の実情に応じた各種講座等を開設することによる学習の場の提供や教育、文化、スポーツ等の活動を行い、生涯学習の振興に努めた。

また、大宮、皆川、吹上、寺尾及び国府の5つの公民館においては、支所・出張所としての事務を行い、行政サービスの向上に努めた。

図書館事業としては、効果的かつ効率的な図書館運営の実現を図るため、市内5つの図書館の企画調整、管理運営機能を集約した。また、5館ある図書館のうち、栃木館・大平館が指定管理者制度を導入していたが、平成25年度で指定期間が終了することから、藤岡館・都賀館及び西方分館の直営館3館を含め、5館一括で管理運営を行う指定管理者の選定を行い指定した。

生涯学習担当

1 生涯学習推進事業

(1) 生涯学習振興計画

栃木市総合計画の教育行政分野の計画である栃木市教育計画の中の生涯学習振興のための基本施策を具体的に推進する行動計画として生涯学習振興計画の策定に着手し、各種会議、アンケート調査等を実施した。

ア 各種会議

開催日	会議名等	内容
10月23日(水)	第1回策定委員会	委嘱状交付 策定方針・スケジュールについて アンケート調査について
10月23日(水)	第1回ワーキンググループ会議	策定方針・スケジュールについて アンケート調査について
11月28日(木)	第2回ワーキンググループ会議	アンケート調査項目について
12月13日(金)	第3回ワーキンググループ会議	アンケート調査項目について
12月19日(木)	第2回策定委員会	アンケート素案の策定について
3月18日(火)	第3回策定委員会	アンケート集計結果(中間報告)について
3月19日(水)	第4回ワーキンググループ会議	アンケート集計結果(中間報告)について

イ アンケート調査

実施期間 1月14日(火)～1月31日(金)

調査項目 35項目

対象者 18歳以上の市民3,000名

回収 1,130人(37.6%)

(2) 生涯学習人材バンク

専門的または多様な人生経験から得た知識や技能等を持ち、自ら市民のために、学習ボランティアとして生涯学習の推進に貢献しようとしている人を『生涯学習人材バンク』に登録していただき、市民の要望に応じていただくほか、自主的に講座を開講していただき、市民に対する学習の機会を提供した。

・登録分野58分野(登録者数48人)

活動分野	登録数(分野)	活動分野	登録数(分野)
語学	1	工芸	7
絵画	7	諸芸	11
音楽	10	室内レクリエーション	2
体操	6	料理	1
パソコン	5	その他	7
育成・サポート	1	合計	58

- ・自主講座開催数 49講座開講
(4月募集21講座、9月募集28講座)

開講講座（分野）	開講数	開講講座（分野）	開講数
語学	2	工芸	5
絵画	2	諸芸	8
音楽	7	室内レクリエーション	-
体操	8	料理	1
パソコン	12	その他	3
育成・サポート	1	合 計	49

(3) 生涯学習情報提供

栃木市における生涯学習情報の周知のため、次のとおりホームページへの掲載及び広報とちぎへの折込みをした。

項 目	掲載日	内 容	備 考
栃木市講座情報	4月1日 随時更新	市及び市教育委員会が主催する講座	ホームページ
市職員出前講座のご案内	5月号	市職員出前講座の紹介、申込方法、メニュー一覧	広報とちぎ折込み

(4) 市職員出前講座

市民に市の仕事や仕組み・制度などを理解していただく機会を提供するため、また市民と職員のパートナーシップを築くことを目的として、市の職員を講師として派遣する市職員出前講座を各課において開設した。

- ・メニュー数 54講座
- ・開催件数 116件（30講座）
- ・受講者数 2,910人
- ・講師となった職員数 延べ117人

(5) 学校開放

ア 特別教室

栃木南中学校・栃木中央小学校の特別教室を地域に開放してグループ活動を支援した。

利用団体数(団体)	利用回数(回)	利用人数(人)		
		児童生徒	一般	合計
11	289	1,658	6,664	8,322

イ 地域交流室

栃木中央小学校の地域交流室を開放して地域の子供と住民との交流活動の促進を図った。

- ・利用団体数 5団体
- ・利用件数 12件

(6) 発見の森セミナー

市民のニーズや時代に合ったテーマを複数回開催することでより深く学べる発見の森セミナーを実施した。

分野	セミナー数	回数(回)	平均定員充足率(%)	平均出席率(%)	受講者数(人)
教養	1	4	135.0	90.0	27

(7) 栃木市民大学

市民の多様化・高度化する学習ニーズに応え、出会い・交流・仲間づくりの場を提供し、市民の生涯学習を支援するとともに、各個人が学習した成果を活用するための環境作りを行うことにより、充実した生涯学習社会の実現を目指すことを目的として、「郷土を学ぶ」、「まちづくりを学ぶ」、「現代社会を学ぶ」、「健康・医療を学ぶ」の4つの分野からテーマを選定し年間プログラムを組んで実施した。

・受講者数125名 ・平均出席率75.0% (敬称略)

開講日	内 容	講 師
8月19日(月)	東山道と下野国府 ～古代の道を探す～	長崎外国語大学教授 木本雅康
9月4日(水)	本当に怖い脳卒中 ～予防と早期発見のポイント～	大門内科医院 大門康寿
9月18日(水)	渡良瀬遊水地の自然 ～日本一大きな遊水地の春夏秋冬～	一般財団法人アクリメーション振興団専務理事 白井勝二
1月29日(水)	創りましょう「自立都市とちぎ！」	栃木市長 鈴木俊美
2月12日(水)	市民協働のまちづくり ～自分らしく、自分を活かす人たち～	とちぎ市民活動推進センター副センター長 中村絹江
2月22日(土)	激動の日本経済、これからどうなる？	獨協大学教授 森永卓郎
3月3日(月)	円仁の生涯	國學院大學栃木短期大学教授 酒寄雅志

社会教育担当

1 社会教育委員関係

(1) 委員の委嘱

小島幸子委員の辞任に伴い、栃木市社会教育委員の定数及び任期に関する条例に基づき、小島幸子委員の残任期間を下記の者に委嘱した。

(期間 平成26年3月31日まで)

氏 名	選出区分	委嘱年月日
石河不砂	社会教育	4月1日

(2) 会議

栃木市教育計画、栃木市生涯学習基本計画及びとちぎ未来アシストネット事業等、栃木市における社会教育の現状を議題として、社会教育委員会議を行った。

なお、今年度においては、日光市において第44回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会が開催されたことから、社会教育に対する見識を高めるため、同大会へ参加した。

開催日	会議名等	場所
6月26日(水)	社会教育委員会議	大平公民館
9月26日(木)	社会教育委員会議	都賀公民館
11月14日(木)	第44回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会	日光市日光総合会館
2月21日(金)	社会教育委員会議	栃木市役所 本庁舎

2 とちぎ未来アシストネット

(1) 研修会

市内小中学校コーディネーター及び地域コーディネーターを対象に研修会を開催し、事業への理解促進やコーディネーターとしての能力の向上に努めた。

実施日	会場	研修内容等	出席者数(人)
6月11日(火)	皆川公民館	講話：学校コーディネーターの役割	40
7月25日(木)	皆川公民館	講話：学校支援ボランティアの意義	12
9月12日(木)	皆川公民館	講話：学校理解に関する知識	12
11月6日(水)	皆川公民館	講話：地域ぐるみの教育によるまちづくりについて	53
12月10日(火)	皆川公民館	実践事例発表・情報交換会	92

(2) 地域教育協議会及び推進委員会

市内を9つのエリア（栃木中央、東陽、皆川、吹上、寺尾、大平、藤岡、都賀、西方）に分け、ボランティアやコーディネーターの交流・連絡調整の場として、各地域の公民館が事務局となり事業運営を行う地域教育協議会と市内全体のアシストネットの方針を協議する推進委員会を年2回開催した。

3 成人教育関係

成人式（栃木会場）

実施日	会場	会議名等	出席者数(人)
8月10日(土)	栃木第四地区コミュニティセンター	第1回 新成人代表者会議	27
9月7日(土)	大平公民館	成人式実行委員会全体会議	8
10月6日(日)	栃木第四地区コミュニティセンター	第2回 新成人代表者会議	27
1月10日(金)	栃木文化会館	成人式リハーサル	33

1月12日(日)	栃木文化会館	平成26年栃木市成人式	716
----------	--------	-------------	-----

4 家庭教育

(1) 家庭教育学級

県教育委員会主催の家庭教育オピニオンリーダー研修修了者が講師となる家庭教育学級及び多様な講師による家庭教育に関する講話を実施し、一定の成果を収めることができた。

ア 幼稚園における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話

(対象地域：栃木地域・対象：幼稚園保護者)

実施日	テーマ	講師	場所	参加人数(人)
6月27日(木)	心がほっとする親子のかかわり	佐藤秋子	藤岡幼稚園	45
7月17日(水)	小学校入学に向けて	栃木地域オピニオンリーダー会	國學院大學二杉幼稚園	22
9月12日(木)	食事って大切だよ	栃木地域オピニオンリーダー会	吹上幼稚園	15
10月30日(水)	子どものほめ方・叱り方	秋山貴子	平川幼稚園	26
11月28日(木)	健康と食育	栃木地域オピニオンリーダー会	おおみや幼稚園	15
2月14日(金)	食事って大切だよ	栃木地域オピニオンリーダー会	アルス南幼稚園	15

イ 保育園における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話

(対象地域：栃木地域・対象：保育園保護者)

実施日	テーマ	講師	場所	参加人数(人)
5月23日(木)	子どものほめ方・叱り方	秋山貴子	大平東保育園	23
6月4日(火)	子どもとの望ましい関わり方	堀江真哉	ひかり保育園	59
6月6日(木)	子どもの心を育てる関わり方	栃木地域オピニオンリーダー会	ぬまわだ保育園	60
6月7日(金)	子どものほめ方・叱り方	栃木地域オピニオンリーダー会	おおつか保育園	59
6月18日(火)	子どもの思い・大人の役割について考えてみましょう	堀江真哉	はこのもり保育園	61
7月2日(火)	こんな光景見かけませんか？ ～けんかも大切なしつけの場～	秋山貴子	都賀よつば保育園	55
8月21日(水)	保護者のための子育て井戸端会議	栃木地域オピニオンリーダー会	そのべ保育園	40
11月8日(金)	今が大切、親子関係	秋山貴子	大平中央保育園	48
11月21日(木)	小学校入学に向けて	栃木地域オピニオンリーダー会	はこのもり保育園	15
12月5日(木)	子どものよいところを伸ばそう	栃木地域オピニオンリーダー会	いりふね保育園	105
1月21日(火)	子どもとの望ましい関わり方	栃木地域オピニオンリーダー会	大平南第一保育園	18

1月22日(水)	小学校入学に向けて	栃木地域オピニオンリーダー会	おおつか保育園	11
1月24日(金)	子どもの生活リズムを考えていますか？	栃木地域オピニオンリーダー会	大平南第二保育園	30
1月29日(水)	いつの間にならっているため親からの脱出	大塚幸一	ひかり保育園	36

ウ 就学時健康診断時における親学習プログラムを活用した親学習会
(対象地域：藤岡地域、都賀地域、西方地域・対象者：就学時健康診断対象児童の保護者)

実施日	テーマ	講師	場所	参加人数(人)
9月25日(水)	早寝・早起き・朝ごはん	栃木地域家庭教育支援チーム	合戦場小学校	57
10月 2日(水)	早寝・早起き・朝ごはん	栃木地域オピニオンリーダー会	部屋小学校	19
10月 8日(火)	早寝・早起き・朝ごはん	栃木地域家庭教育支援チーム	赤津小学校	18
10月 9日(水)	早寝・早起き・朝ごはん	栃木地域オピニオンリーダー会	三鴨小学校	32
10月10日(木)	早寝・早起き・朝ごはん	栃木地域家庭教育支援チーム	家中小学校	30
10月18日(金)	早寝・早起き・朝ごはん	栃木地域オピニオンリーダー会	赤麻小学校	37
10月23日(水)	早寝・早起き・朝ごはん	栃木地域オピニオンリーダー会	藤岡小学校	52
10月25日(金)	早寝・早起き・朝ごはん	親学の会	西方小学校 真名子小学校	54

エ 小学校における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話（各校で1回開催）

実施日	テーマ	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
5月31日(金)	家庭でのコミュニケーションのあり方	佐藤秋子	大平中央小学校	47
6月 5日(水)	子育てに生かす山本有三の想い	大塚幸一	栃木中央小学校	135
6月12日(水)	進んであいさつしていますか？	秋山貴子	大平東小学校	29
6月13日(木)	目覚ましスイッチ入れていますか？ ～早寝・早起き・朝ごはん～	栃木地域オピニオンリーダー会	寺尾南小学校	10
6月19日(水)	人権について親から子へ伝えること	木村信孝	家中小学校	49
6月26日(水)	子どもの気持ち	堀江真哉	三鴨小学校	50
7月 4日(木)	もしかしてどうしてうちの子が？ ～いじめの理解と対応～	佐藤直昭	国府北小学校	35
9月10日(火)	家庭でのコミュニケーションのあり方	秋山貴子	大平南小学校	19
10月11日(金)	心がほっとする親子のかかわり	佐藤秋子	南小学校	16
10月11日(金)	人権について親から子へ伝えること	木村信孝	西方小学校	41
10月23日(水)	キレイな子どもを育てるには	秋山貴子	大平西小学校	61
10月29日(火)	食事って大切だよ ～食育について考えよう～	栃木地域オピニオンリーダー会	栃木中央小学校	150
10月31日(木)	家庭でのコミュニケーションのあり方	佐藤秋子	栃木第三小学校	30

11月 1日(金)	人権について親から子へ伝えること	木村信孝	赤津小学校	21
11月 7日(木)	食事って大切だよ ～食育について考えよう～	栃木地域オピニオン リーダー会	大平中央 小学校	94
11月 9日(土)	キレない子どもを育てるには	佐藤秋子	吹上小学校	36
11月14日(木)	子どもの「生きる力」を育てるために	栃木地域オピニオン リーダー会	栃木第四小学校	48
11月20日(水)	子どものほめ方・叱り方	堀江真哉	国府南小学校	18
11月20日(水)	子どものほめ方・叱り方	佐藤秋子	赤麻小学校	31
11月20日(水)	子どもの生活リズムを考えていますか	石原朋子	栃木第五小学校	46
11月26日(火)	子育てに生かす山本有三の想い	大塚幸一	千塚小学校	52
11月28日(木)	子は正のスパイラルに乗せるに限る	大塚幸一	大宮南小学校	35
11月28日(木)	心がほっとする親子のかかわり	佐藤秋子	大宮北小学校	67
12月 4日(水)	心がほっとする親子のかかわり	佐藤秋子	寺尾中央小学校	13
12月 6日(金)	人権について親から子へ伝えること	木村信孝	真名子小学校	91
2月 7日(金)	子どもの生きる力を育てるための親の 役割	栃木地域オピニオン リーダー会	皆川城東小学校	48
2月12日(水)	子どものほめ方・叱り方	秋山貴子	部屋小学校	30

オ 中学校における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話（各校希望制）

実施日	テーマ	講師（敬称略）	場所	参加人数（人）
6月21日(金)	人権について親から子へ伝えること	木村信孝	都賀中学校	66
7月 1日(月)	我が子の進路とどう向き合っていますか	秋山貴子	寺尾中学校	45
7月 5日(金)	人権について親から子へ伝えること	木村信孝	西方中学校	80

(2) 家庭教育講演会

主に幼稚園及び小学校の保護者を対象とした家庭教育講演会を栃木市PTA連合会と共催で下記のとおり開催した。

演 題	実施日	対象者	参加人数(人)	講師（敬称略）
親も子どももハッピーになる子育て ～家庭の教育力を高めるには～	7月 6日(土)	幼稚園児・小学生保護者、一般市民	202	丸山 隆

5 国際理解教育

栃木ユネスコ協会の実施する事業に対し協力するとともに、会の運営について指導助言を行った。なお、「ユネスコ子ども学校」を下記のとおり開催した。

実施日	演題	講師(敬称略)	対象者	参加人数 (人)
7月23日 (火)	仲間づくり	赤麻小学校教諭 小川三枝子	小学3年生から 小学6年生	31
	国際交流 「カナダについてのお話とゲーム」	A L T クリス・アマンダ		
7月24日 (水)	バス研修(日光方面)	ユネスコ協会会員		
7月25日 (木)	おいしいものをつくろう(料理) 栃木の焼き物「平井焼」	ユネスコ協会会員 田部井茂		

6 青少年教育関係

(1) サイエンススクール

子どもたちが身近な科学に接することで、その原理を理解しようと自ら考える力を養い、科学技術に対する関心を喚起することを目的として、サイエンススクールを実施した。学校の授業ではなかなか体験できない、日常生活における不思議を科学し、観察や体験活動を通して、子どもたちの科学する心を育むため、小学4年生から6年生を対象(一部親子・一般市民対象)として、下記の7回の事業を実施した。

実施日	事業名	会場	参加人数(人)
7月28日(日)～29日(月) (1泊2日)	自然科学のサイエンススクール 7月編	那須町野外研修センター・ 那須どうぶつ王国等	32
8月23日(金)～24日(土) (1泊2日)	自然科学のサイエンススクール 8月編	星ふる学校「くまの 木」・栃木県立博物館等	28
9月28日(土)	サイエンススクール in 栃農	栃木県立栃木農業高等学校	18
10月14日(月・祝)	宇宙科学のスペシャルサイエ ンススクール	栃木文化会館	400
10月19日(土)	サイエンススクール in 栃工	栃木県立栃木工業高等学校	19
11月16日(土)	親子でサイエンススクール in 日 本工業大学	日本工業大学	27
11月30日(土)～ 12月1日(日)(1泊2日)	サイエンススクール in 太平少年自然の家	栃木県立太平少年自然の家	20

7 社会教育関係団体育成

(1) コミュニティ活動の推進

栃木第三地区、栃木第四地区、栃木第五地区及び栃木第六地区の各コミュニティ推進協議会育成のため補助金を交付し、事業実施について援助、協力した。

(単位：円)

団 体 名	補 助 金 額
栃木第三地区コミュニティ推進協議会	200,000
栃木第四地区コミュニティ推進協議会	200,000
栃木第五地区コミュニティ推進協議会	200,000
栃木第六地区コミュニティ推進協議会	200,000

(2) P T A・子ども会育成会・女性会の育成

各団体の事業計画から実施について助言や援助を行い、各団体の自主的活動に協力するとともに補助金を交付した。

(単位：円)

団 体 名	補 助 金 額
栃木市P T A連合会	425,000
手をつなぐ親の会	30,000
栃木ユネスコ協会	20,000
家庭教育オピニオンリーダー会	40,000
「小さな親切」運動栃木支部	50,000
栃木市地域女性会連絡協議会	400,000
栃木地区女性会	20,000
大宮地区女性会	20,000
皆川地区女性会	20,000
吹上地区女性会	20,000
寺尾地区女性会	20,000
栃木市子ども会育成会連絡協議会	300,000
とちぎユースネットワーク	30,000
大平町青年団体連絡会	30,000

8 人権教育

(1) 研修

ア 高齢者教室

(敬称略)

地区名	実 施 日	参加人数(人)	講 師 名
皆川地区	1月15日(水)	13	木村信孝
吹上地区	8月7日(水)	85	九輪草の会
国府地区	11月27日(水)	30	国府公民館職員
計		128	

イ 女性学級

(敬称略)

地区名	実 施 日	参加人数(人)	講 師 名
栃木地区	7月4日(木)	55	木村信孝
大宮地区	6月13日(木)	42	木村信孝

皆川地区	6月12日(水)	16	木村信孝
吹上地区	8月7日(水)	85	九輪草の会
計		198	

ウ その他(講演会) (敬称略)

事業名	実施日	対象者	参加人数(人)	講師
栃木市人権講演会	11月21日(木)	集会所利用者等	250	近藤美智子

(2) 集会所指導事業

ア 皆川城内集会所指導事業 (敬称略)

講座名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
子ども教室	22	44	221	大塚幸一 ほか
成人教室	135	270	808	山田次男 ほか
人権講座	1	2	6	松山利正
計	158	316	1,035	

イ 新栃木コミュニティ会館指導事業 (敬称略)

講座名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
子ども教室	21	42	434	新田陽子 ほか
成人教室	106	212	648	森戸松枝 ほか
高齢者教室	35	70	259	松山利正 ほか
人権講座	1	2	11	松山利正
計	163	326	1,352	

ウ 栃木第四地区コミュニティセンター指導事業 (敬称略)

講座名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
子ども教室	22	44	449	杉山真理 ほか
成人教室	152	304	1,433	大関雅香 ほか
人権講座	1	2	13	松山利正
計	175	350	1,895	

エ 大平榎本集会所指導事業 (敬称略)

講座名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
女性教室	10	20	55	生涯学習課職員ほか
料理教室	10	20	64	武井康子
高齢者教室	19	38	160	社会教育指導員ほか
ダンス教室	20	40	167	藤倉和子
カラオケ教室	20	40	159	金沢ゆき江
計	79	158	605	

オ 大平伯仲集会所指導事業 (敬称略)

講座名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
女性教室	9	18	68	生涯学習課職員ほか
料理教室	10	20	60	大垣延子
ダンス教室	20	40	203	吉野 静
カラオケ教室	20	40	151	田中玲子
子ども仲良し教室	1	2	11	若菜まつ
計	60	120	493	

カ 大平真弓集会所指導事業

(敬称略)

講座名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
女性教室	9	18	115	生涯学習課職員ほか
料理教室	10	20	65	大垣延子
高齢者教室	19	38	90	社会教育指導員ほか
ダンス教室	20	40	168	熊倉晴彦
カラオケ教室	20	40	348	金沢ゆき江
子ども仲良し教室	1	2	8	若菜まつ
計	79	158	794	

キ 大平西水代集会所指導事業

(敬称略)

講座名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
女性教室	10	20	91	生涯学習課職員ほか
料理教室	10	20	103	大垣延子
高齢者教室	20	40	462	社会教育指導員ほか
ダンス教室	20	40	294	吉野 静
カラオケ教室	20	40	245	佐山 孝
民謡教室	20	40	81	伊藤昭男ほか
民舞教室	20	40	100	植木ちよ子
子ども仲良し教室	1	2	11	若菜まつ
計	121	242	1,387	

ク 大平富田集会所指導事業

(敬称略)

講座名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
女性教室	10	20	58	生涯学習課職員ほか
料理教室	10	20	100	武井康子
高齢者教室	20	40	329	社会教育指導員ほか
ダンス教室	20	40	184	稲部照代
カラオケ教室	20	40	181	川田善文

民謡教室	20	40	107	金沢ゆき江ほか
民舞教室	20	40	136	田中シマ
子ども仲良し教室	1	2	17	若菜まつ
計	121	242	1,112	

ケ 藤岡都賀集会所指導事業 (敬称略)

講座名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
子どもの広場	5	11	164	社会教育指導員ほか
ふれあいのつどい(成人)	6	14	114	とちぎ花センター職員ほか
高齢者のつどい	6	14	55	板倉マジッククラブ会員ほか
計	17	39	333	

コ 藤岡富吉集会所指導事業 (敬称略)

講座名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
子どもの広場	4	7	72	社会教育指導員ほか
ふれあいのつどい(成人)	5	10	94	とちぎ花センター職員ほか
高齢者のつどい	5	10	77	板倉マジッククラブ会員ほか
計	14	27	243	

サ 集会所運営委員会 (敬称略)

会議名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	会場
栃木市栃木集会所運営委員会	2	2	15	皆川城内集会所
栃木市大平集会所運営委員会	2	2	31	大平隣保館
栃木市藤岡集会所運営委員会	2	4	22	藤岡都賀集会所 藤岡富吉集会所
栃木市栃木・大平・藤岡集会所運営委員会合同会議	1	2	6	大平隣保館

(3) 人権教育研究推進事業

学校・家庭・地域社会の連携を通じた人権に関する地域の教育力の向上を図るため、平成25年度から3か年間、都賀・西方中学校区を推進地域として指定し、異世代(子ども・大人)交流からの人権感覚の醸成を目指し事業を推進した。

時期	内容	備考
平成25年 4月	「とちぎ未来アシストネット」事業と連携しての人権教育の推進	
4月9日	栃木市新規採用職員対象の人権教育研修 講師：栃木市社会教育主事	参加者 40人
6月7日	公民館人権講座 西方公民館 講師：栃木市社会教育主事	参加者 33人
6月19日	家庭教育支援「ハッピー子育て講座」における人権研修 (家中小学校)	参加者 46人
6月21日	家庭教育支援「ハッピー子育て講座」における人権研修 (都賀中学校)	参加者 50人

7月 5日	家庭教育支援「ハッピー子育て講座」における人権研修 (西方中学校)	参加者 50 人
7月25日	人権教育に関する現職教育 (合戦場小学校) 講師：下都賀教育事務所社会教育主事	参加者 20 人
8月 2日	公民館人権講座 (高齢者向け) 都賀公民館 講師：下都賀教育事務所社会教育主事	参加者 40 人
8月19日	公民館人権講座 (女性向け) 都賀公民館 講師：下都賀教育事務所社会教育主事	参加者 11 人
9月 2日	第 1 回人権教育総合推進会議	参加者 12 人
10月11日	家庭教育支援「ハッピー子育て講座」における人権研修 (西方小学校)	参加者 32 人
10月14日	青少年教育事業「サイエンススクール」運営に関わるボランティア活動	参加者 25 人
11月 1日	家庭教育支援「ハッピー子育て講座」における人権研修 (赤津小学校)	参加者 30 人
11月中旬 ～12月中旬	人権に関するアンケート調査の実施 (対象：推進協力校の児童生徒及び保護者)	配布数 2,895 部 回答者数 2,665 人
11月20日	人権教育に関する現職教育 (西方中) 協力推進校人権週間行事	参加者 15 人
12月 6日	家庭教育支援「ハッピー子育て講座」における人権研修 (真名子小学校)	参加者 32 人
12月18日	人権教育講演会「盲導犬の活動を通して」 (都賀中学校)	参加者 380 人
平成26年		チラシ印刷 8,000 部
1月13日	「じんけんふれあいコンサート」開催 都賀文化会館 講師 佐久間レイ、佐田詠夢 他 7 人 参加者へのアンケート調査実施	参加者 611 人 回答者数 104 人
1月24日	人権教育講演会「盲導犬の活動を通して」 (西方中学校)	参加者65名
2月 (通年・随時)	第 2 回人権教育総合推進会議 「とちぎ未来アシストネット」を活用しての異世代交流 (地域の福祉施設での交流学习、老人クラブとの交流学习など)	

9 青少年行政関係

(1) 青年団体の育成

市内青年団体等の連携と協調を図るとともに、社会参加活動を通し、青年の交流とリーダーの育成に努めた。

ア とちぎユースネットワークの活動

実施日	会 場	内 容	参加人数(人)
通年	栃木勤労青少年ホーム	月1回 定例会開催	-

4月16日(火)	栃木勤労青少年ホーム	平成25年度総会	10
6月 1日(土)	栃木市大平町周辺	大平クリーンアップ作戦	8
8月25日(日)	あゆみ学園	あゆみ学園納涼祭	15
12月23日(月・祝)	栃木地域内の家庭	サンタの宅配便	10
3月9日(日)	市民会館	国際交流協会ふれあいの集い	8

(2) 青少年問題協議会

- ・理事幹事会、総会の開催
- ・青少年健全育成講演会及び非行防止懇談会の開催(各中学校及び子ども会育成会)
- ・「家庭の日」推進事業
- ・青少年対策(心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動の一環として、青少年の非行・被害防止全国強調月間、子ども・若者育成支援強調月間の推進、とちぎの子ども育成憲章の普及・啓発)
- ・児童生徒対策(模範児童・生徒の表彰)
- ・啓発活動(広報とちぎの7月・11月・3月における啓発記事の掲載及び7月に大型店舗前における街頭啓発キャンペーン)

(3) 青少年育成市民会議

次代を担う心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とする栃木市青少年育成市民会議及び栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部の活動支援に努めた。また、活動啓発チラシを作成し、市民に対して周知を図った。

ア 栃木市青少年育成市民会議

実施日	会場	内容	参加人数 (人)
10月11日(金)	都賀公民館	太田市青少年育成推進員連絡協議会との交流会	38
11月 6日(水)	市民会館大会議室	携帯電話講習会	46

イ 栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部

実施日	会場	内容	参加人数 (人)
10月23日(水)	市民会館児童室	青少年育成市民会議について	10

(4) 青少年育成支援施設整備事業

若者が気軽に立ち寄り、自由な発想で活動できる居場所(仮称)わいわい工房及び(仮称)自遊広場の整備について、本年度は、市が策定する整備計画に、利用者となる若者の意見を反映させるため、高校生・大学生を中心とする栃木市青少年育成支援施設整備計画検討会を設置し、整備計画の参考とする提案書を検討会において策定した。

実施日	会 場	内 容	参加人数 (人)
7月28日(日)	市役所2階第2委員会室	大学生へ向けての説明会	14
8月 3日(土)	市役所3階正庁	趣旨説明、市長講話	28
8月26日(月)	小山高専サテライト・キャンパス	高校生にとって、居場所とは？	27
9月12日(木)	小山高専サテライト・キャンパス	居場所での過ごし方って？	28
9月26日(木)	小山高専サテライト・キャンパス	居場所をデザインする①	21
10月28日(月)	國學院大學栃木学園教育センター	居場所をデザインする②	30
11月14日(木)	國學院大學栃木学園教育センター	中間発表について	21
11月18日(月)	市役所3階正庁	中間発表会	26
12月11日(水)	小山高専サテライト・キャンパス	中間発表会の振り返り	27
1月13日(月)	栃木市中心市街地	高校生が企画する「まち歩き」	10
1月30日(木)	小山高専サテライト・キャンパス	「まち歩き」の結果報告	21
2月11日(火)	市役所4階市民スペース	最終発表会に向けた方向性の決定	19
2月28日(金)	小山高専サテライト・キャンパス	提案方法について検討	20
3月 4日(火)	市役所4階市民スペース	提案内容について確認	20
3月11日(火)	小山高専サテライト・キャンパス	最終発表会リハーサル①	14
3月18日(火)	市役所4階市民スペース	最終発表会リハーサル②	19
3月21日(金)	市役所3階正庁	最終発表会	28

10 青少年育成センター

青少年育成センター活動状況

少年の非行防止と健全育成を期するための街頭補導活動、少年相談業務、啓発広報、環境浄化活動等事業の推進に努めた。

(1) 街頭補導の実施

青少年育成センターの街頭補導勤務計画に従い、年間253回、延べ818人の少年補導員が街頭補導に従事し、320人（内女子114人）の少年を不良行為等により補導、青少年の非行防止と健全育成に努めた。

街頭補導実施状況(栃木市全体)

区 分	補導実施状況	
	回数（回）	少年補導員（人）
昼 間	127	417
夜 間	126	401
計	253	818

(2) 少年相談

毎月第2、第4金曜日に、市民生活課で実施している総合相談の一部として実施した。
また、青少年育成センターでは随時、少年相談業務を行い、8件の相談を受理し問題解決を図った。

平成19年2月19日より開設した「いじめ相談電話」は、青少年相談員が担当しており、平成25年度の相談件数は1件であった。

少年相談状況（いじめ相談1件を含む）

・相談者別内訳

（単位：件）

区 分 内 容	相 談 者						計
	少年本人	保護者	その他 親 族	教 師	雇 主	その他	
教育相談	1(1)	6(6)	1(1)	-(-)	-(-)	1(1)	9(9)
児童福祉相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
補導相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
計	1(1)	6(6)	1(1)	-(-)	-(-)	1(1)	9(9)
上記のうち電話	1(1)	5(5)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	7(7)

※（ ）内は、相談者のうち女性の数

・相談対象者別内訳

（単位：件）

内 訳 内 容	対 象 少 年								計
	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	各種学生	有職者	無職者	
教育相談	-(-)	4(1)	2(1)	2(1)	-(-)	-(-)	-(-)	1(-)	9(3)
児童福祉相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
補導相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
計	-(-)	4(1)	2(1)	2(1)	-(-)	-(-)	-(-)	1(-)	9(3)
上記のうち電話	-(-)	4(1)	2(1)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	7(3)

※（ ）内は、相談対象者のうち女性の数

(3) 有害環境浄化活動

ア 自動販売機、書店等の立入調査を実施し、指導を行った。また、平成24年10月1日に施行された栃木県青少年健全育成条例の一部改正に伴い、青少年が利用する携帯電話等へのフィルタリングの定着を図るため、携帯電話販売店の立入調査を実施し、指導を行った。

栃木県青少年健全育成条例に基づく立入調査（単位：箇所）

実施施設	調査箇所
自販機	1
ビデオ、DVD販売・レンタル	-
カラオケ、ボウリング場	-
コンビニ	-
複合カフェ	-
ゲームセンター	-
書店、古本店	2
携帯電話等販売店	16
合 計	19

イ 少年補導員がブロック塀や建屋等に貼られた有害広告物(72枚)の排除を行った。

(4) 広報、啓発等

7月に「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月に「子ども・若者育成支援強調月間」の広報啓発のため、立看板を市役所等13か所に掲出し、周知を図った。

また、広報とちぎへの掲載、ポスターの掲示、啓発用品・チラシ等の配布による広報啓発を行った。チラシは市内小中学校の児童生徒を通じ家庭に配布した。

(5) 少年補導員の補導技術及び知識の向上を図るため、研修会を開催した。

少年補導員研修会

実施日	会 場	内 容
5月16日 (木)	市民会館	講話 「栃木県青少年健全育成条例のあらまし」 講師 栃木県県民生活部男女共同参画課 主幹 佐藤 雅人 氏
7月12日 (金)	市民会館	講話 「管内の少年犯罪の発生状況と少年補導活動について」 講師 栃木警察署生活安全課 課長 平野 功 氏
8月22日 (木)	喜連川社会復帰 促進センター	先進地視察研修及び情報交換会
11月20日 (水)	市民会館	講話 「一人一人の幸せのために」 講師 栃木市教育委員会事務局生涯学習課 副主幹 木村 信孝 氏

(6) 青少年育成センター運営協議会の開催

青少年育成センターの運営について審議するために運営協議会を開催した。

- ・実 施 日 2月20日（木）
- ・会 場 栃木市役所
- ・内 容 平成25年度青少年育成センター運営報告
平成26年度青少年育成センター運営計画
- ・参加人数 7人

公民館担当

1 栃木市公民館運営審議会

市内公民館における事業等について審議した。

実施日	議 題	会 場	参加人数(人)
7月10日(水)	栃木市公民館の減免並びに貸出時間に関する内規について 平成24年度公民館の利用状況について 平成24年度公民館事業の成果及び平成25年度公民館事業計画について 視察研修について	栃木公民館	19
9月20日(金)	栃木市公民館運営審議会委員視察研修	日光市 落合公民館	12

2 公民館業務

(1) 公民館別使用状況

施設名	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
栃木公民館	1,865	28,792	563,125
大宮公民館	1,318	21,693	784,550
皆川公民館	552	15,731	296,800
吹上公民館	969	16,155	374,125
寺尾公民館	275	6,471	36,400
国府公民館	955	19,864	429,975
計	5,934	108,706	2,484,975

(2) 栃木公民館

ア カルチャースクール事業

(敬称略)

実施期間	場 所	参加人数(人)	内 容	講 師 等	備考
春期 5月13日(月)～ 7月1日(月)	栃木公民館 講堂	延べ283	健康ストレッチ 教室	健康運動指導士 落合加代子	8回
	栃木公民館 大会議室	延べ148	さわやかコーラ ス教室	コーラス講師 日景浩美	8回
秋期 9月30日(月)～ 12月2日(月)	栃木公民館 講堂	延べ355	リズム体操教室	リズム体操講師 山下節子	8回
	栃木公民館 児童室	延べ86	楽しい川柳教室	川柳講師 渡辺裕司	8回

イ 成人教育関係(高齢者学級・蔵の街シルバー楽習塾事業)

(敬称略)

回	実施日	場 所	参加人数(人)	内 容	講 師 等	備考
1	6月27日(木)	栃木文化会館	323	講話「栃木市の文化財について」	文化課課長補佐 木村 等	
2	7月18日(木)	栃木文化会館	311	音楽会「ヤマハJet t会員による出前 コンサート」	ヤマハJet t会員 強口圭子 他7人	
3	9月26日(木)	栃木文化会館	291	講話「八重の桜～戊	歴史小説家	

				辰戦争と栃木～」	大森隆司	
4	10月 9日(水)	東京都	160	現地学習 築地場外市場 NHKスタジオパ ーク	公民館職員 社会教育指導員	
5	11月14日(木)	栃木文化会館	229	映画鑑賞「ステッ プ」	公民館職員	

ウ 女性教育関係

(敬称略)

回	実施日	場 所	参加人数(人)	内 容	講 師 等	備考
1	6月 5日(水)	栃木公民館 講堂	58	健康講話&リズム 体操	リズム体操講師 山下節子	
2	7月 4日(木)	栃木公民館 大会議室	55	講話&ワークショ ップ	生涯学習課副主幹 木村信孝	
3	9月19日(木)	市内	55	市内散策 藤岡方面散策	公民館職員 社会教育指導員	
4	10月11日(金)	群馬県 (富岡市他)	58	現地学習 群馬県富岡市方面	公民館職員 社会教育指導員	
5	11月 7日(木)	栃木公民館 講堂	41	AED講習(自動体 外式除細動器)	栃木市消防署員	
6	12月 4日(水)	栃木公民館 大会議室	54	講話「栃木の民俗を めぐって」	國學院大學栃木 短期大学名誉教授 小林吉一	

エ 青少年教育関係

(敬称略)

回	実施日	場 所	参加人数(人)	内 容	講 師 等	備考
1	7月 6日(土)	栃木公民館 講堂	48	友だちづくり	家庭教育オピニオ ンリーダー会カル パ	
2	7月13日(土)	栃木公民館 児童室 料理室	48	おもしろ科学実験	学校教育課課長補 佐 平野 宗	
3	7月20日(土)	栃木公民館 講堂 料理室	44	そば・うどん打ち体 験	栃木地区子ども会 育成会指導部	
4	7月31日(水)	小山市	48	森永製菓(株)小山工 場見学	公民館職員 社会教育指導員	
5	8月 3日(土)	栃木公民館 講堂	46	ビデオ鑑賞&ワー クショップ	公民館職員	

(3) 大宮公民館

ア 成人教育関係

(敬称略)

実施期間	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月24日(月)～ 1月9日(木)	大宮地区シルバー教室	大宮公民館ほか	延べ 417	講師 益子 敏 ほか (7回)
9月18日(水)～ 12月4日(水)	教養講座「男塾」	大宮公民館	延べ 57	講師 杉山敦子 ほか (5回)
11月3日(日)	教養講座(第1回栃木市ウォーキング大会参加)	渡良瀬遊水地	13	
7月31日(水)	ウーマンライフセミナー 「カラダアンチエイジング」	大宮公民館	17	講師 白澤由美
8月21日(水)	ウーマンライフセミナー 「おしゃれな“酒の友”をつくろう」	大宮公民館	14	講師 高岩尚美
8月2日(金)	男ディーライフセミナー 「カラダアンチエイジング」	大宮公民館	10	講師 白澤由美
8月20日(火)	男ディーライフセミナー 「おしゃれな“酒の友”をつくろう」	大宮公民館	9	講師 高岩尚美
12月27日(金)	教養講座「お正月の生け花」	大宮公民館	15	講師 大島つや子

イ 女性教育関係

(敬称略)

実施期間	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月13日(木)～ 1月8日(水)	さわやかレディース学級	大宮公民館ほか	延べ244	講師 須藤恵子 ほか (7回)
11月13日(水) ～14日(木)	女性会研修	山梨県、長野県	22	小淵沢 身曾岐 神社

ウ 青少年教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月22日(土)～ 12月26日(木)	のびのび体験ひろば	大宮地区内	延べ229	講師 武藤亨子 ほか (8回)
11月24日(日)	大宮地区子どもマラソン大会	大宮地区内	130	
1月19日(日)	大宮地区なわとび大会	大宮北小体育館	105	
2月16日(日)	大宮地区スキー教室	日光湯元スキー場	申込み42	悪天候(大雪)のため未実施

エ 社会体育関係

実施日	事業名	会場	参加人数	備考
6月9日(日)	大宮地区ソフトボール大会	大宮運動広場	6チーム	
8月18日(日) 8月24日(土) 8月25日(日) 8月31日(土)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル参加	総合運動公園	約230人	第8支部

9月29日(日)	大宮地区体育祭	大宮運動広場	12チーム	
3月 1日(土)	大宮地区輪投げ大会	大宮公民館	16チーム	

オ 諸会議開催状況

名 称	回数	名 称	回数
大宮地区自治会連合会	5	交通安全協会大宮支部高齢者部会	3
大宮地区公民館連絡協議会	3	大宮地区女性会	13
保健委員連合会大宮支部	10	大宮地区体育部	8
交通安全協会大宮支部	7	大宮運動広場運営委員会	7
交通安全協会大宮支部女性部会	13	大宮地区子ども会育成会	3
		合 計	72

カ その他

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月23日(金)	まちづくり懇談会 ふれあいトーク	国府公民館	31	国府地区と共催
11月24日(日)	大宮地区まつり	大宮公民館	約1,800	

・公民館だよりを発行し、大宮地区内を対象に班内回覧した。

(4) 皆川公民館

ア 成人教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月7日(水) ～2月5日(水)	あじさい学級(高齢者学級)	皆川公民館ほか	延べ90	講師 須藤恵子 ほか(7回)
2月 7日(金) 2月26日(水) 3月 7日(金)	教養講座「書道講座」	皆川公民館	延べ13	講師 大塚幸一

イ 女性教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月12日(水) ～12月11日(水)	リフレッシュ学級(女性学級)	皆川公民館ほか	延べ167	講師 白井千恵美 ほか(8回)
6月30日(日)	女性会視察研修会	東京都方面	35	
2月 1日(土)	女性会応急手当講習会	皆川公民館	14	講師 栃木市消防署
3月 2日(日)	女性会花いっぱい運動	皆川地区内	33	

ウ 青少年教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月8日(土) ～1月25日(土)	地域少年少女サークル活動 『チャレンジキッズ』(7回)	皆川公民館ほか	延べ245	
7月28日(日)	子どもリーダー研修会	皆川公民館	44	
8月18日(日) 8月24日(土)	第1回栃木市民スポーツフェ	総合運動公園	70	第9支部

8月25日(日)	スティバル参加			
8月31日(土)				
2月23日(日)	子ども・高齢者フェスティバル	皆川公民館	約300	

エ 社会体育関係

期 日	事 業 名	会 場	参加人数	備 考
5月19日(日)	第35回ソフトボール大会	皆川城東小学校ほか	12チーム	
6月23日(日)	第37回野球大会	皆川城東小学校ほか	9チーム	
6月23日(日)	第15回ソフトバレーボール大会	皆川中学校	5チーム	
8月18日(日) 8月24日(土) 8月25日(日) 8月31日(土)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル参加	総合運動公園	約220人	第9支部

オ 諸会議開催状況

名 称	回数	名 称	回数
皆川地区自治会連合会	14	皆川地区体育協会	13
皆川地区公民館連絡協議会	7	皆川地区子ども会育成会	6
地域クリーン推進員連合会皆川支部	4	皆川地区遺族会	4
交通安全協会皆川支部	4	皆川地区街づくり協議会	28
交通安全協会皆川支部女性部	6	皆川地域安全パトロール隊	4
交通安全協会高齢者部会皆川支部	3	皆川地区農政協力員連絡協議会	4
皆川地区女性会	11	合 計	108

カ その他

実施日	事 業 名	会 場	参加人数(人)	備 考
4月13日(土)	皆川城址公園春祭り	皆川城址公園	約600	
8月21日(水)	まちづくり懇談会ふれあいトーク	皆川公民館	66	
9月16日(月)	敬老祝賀会	皆川中学校	約400	
9月21日(土)	皆川城址まつり	皆川城址公園	約2,500	

(5) 吹上公民館

ア 成人教育関係

(敬称略)

実施期間	事 業 名	会 場	参加人数(人)	備 考
6月25日(火) ～12月4日(水)	高齢者教室	吹上公民館ほか	延べ430	講師 原美穂子ほか (6回)
7月27日(土) ～11月27日(水)	シニアライフアップ講座	吹上公民館ほか	延べ86	講師 熊倉哲夫ほか (4回)
7月27日(土) ～12月7日(土)	教養講座 「ふるさと新発見！」	吹上公民館ほか	延べ15	講師 吹上地区まち づくり協議会委員 ほか (5回)
11月3日(日)	吹上地区文化祭	千塚小学校	約700	

イ 女性教育関係

(敬称略)

実施期間	事 業 名	会 場	参加人数(人)	備 考
6月24日(月)	ひまわり学級	吹上公民館ほか	延べ151	講師 金久保浩

～12月18日(水)				ほか(10回)
11月17日(日) ～18日(月)	女性会研修	神奈川県箱根町	25	箱根湿生花園ほか

ウ 青少年教育関係

実施日	事業名	会場	参加人数	備考
5月18日(土)	少年野球春季大会	総合運動公園	9チーム	
5月18日(土)	フットベース春季大会	総合運動公園	9チーム	
6月22日(土) ～12月21日(土)	わくわく教室いぶき	吹上公民館ほか	延べ75人	6回
7月13日(土)	吹子連健全育成研修会	吹上公民館	332人	
10月5日(土)	少年野球秋季大会	総合運動公園	9チーム	雨天中止
10月5日(土)	フットベース秋季大会	総合運動公園	9チーム	雨天中止
11月24日(日)	吹上地区一周駅伝大会	地区内一周	15チーム	
2月1日(土)	吹子連年度事業	吹上公民館	288人	

エ 社会体育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
4月7日(日)	吹上地区春季ソフトボール大会	総合運動公園	104	
4月11日(木)	第25回吹上地区 グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	45	
4月11日(木)	第22回吹上地区 女性グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	68	
5月9日(木)	第26回吹上地区 グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	43	
5月9日(木)	第23回吹上地区 女性グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	66	
6月9日(日)	第17回吹上地区春季 ソフトバレーボール大会	千塚小体育館	36	
6月9日(日)	吹上地区春季オープン卓球大会	吹上公民館	14	
6月13日(木)	第41回吹上地区オープン グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	101	
6月23日(日)	吹上地区春季自治会対抗野球大会	総合運動公園	45	
7月4日(木)	第9回市民スポーツフェスティバル 選抜グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	95	
8月8日(木)	第42回吹上地区オープン グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	91	
8月18日(日) 24日(土) 25日(日) 31日(土)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル参加	総合運動公園	250	第10支部
9月8日(日)	第55回吹上地区体育祭	吹上中学校	4,500	
9月12日(木)	第27回吹上地区グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	40	

9月12日(木)	第24回吹上地区女性グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	58	
10月10日(木)	第43回吹上地区オープン(第4回ペア)グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	85	
10月13日(日)	吹上地区秋季オープン卓球大会	吹上公民館	14	
10月20日(日)	第3回吹上地区秋季自治会対抗ソフトバレーボール大会	千塚小体育館	28	
10月20日(日)	吹上地区秋季野球大会	総合運動公園	45	
11月3日(日) 11月17日(日)	吹上地区秋季自治会対抗ソフトボール大会	総合運動公園	135	
11月14日(木)	第8回吹上地区自治会対抗グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	119	
11月24日(日)	第50回吹上地区一周駅伝大会	地区内 主要道路	約450	
12月12日(木)	第44回吹上地区オープン(第5回年忘れ)グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	98	
2月13日(木)	第45回吹上地区オープングラウンドゴルフ大会	総合運動公園	108	
3月13日(木)	第46回吹上地区オープングラウンドゴルフ大会	総合運動公園	106	
毎月第2土曜	卓球教室	吹上公民館	延べ97	

オ 諸会議開催状況

名 称	回数	名 称	回数
吹上地区自治会連合会	9	吹上地区女性会	13
吹上地区公民館連絡協議会	7	吹上地区体育協会	16
クリーン推進員連合会吹上支部	7	吹上地区子ども会育成会連絡協議会	10
交通安全協会吹上支部	8	吹上地区遺族会	4
交通安全協会吹上支部女性部会	8	吹上地区長寿会	13
交通安全協会吹上支部高齢者部会	3	吹上安全・安心な街パトロール隊	8
吹上地区社会福祉協議会	7	文化同好会連絡協議会	4
吹上地区まちづくり協議会	8	合 計	125

カ その他

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
9月25日(水)	まちづくり視察研修	宮城県石巻市	26	
8月9日(金)	まちづくり懇談会ふれあいトーク	吹上公民館	117	寺尾地区と共催

・7月号広報に折り込み、吹上地区内全世帯を対象に公民館だよりを発行した。

(6) 寺尾公民館

ア 成人教育関係

(敬称略)

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
7月11日(木) ～12月5日(木)	高齢者教室	寺尾公民館	延べ693	講師杉山敦子 ほか(8回)

11月2日(土) ～3日(日)	寺尾地区文化祭	寺尾公民館	延べ600	美術展 芸能発表
2月19日(水)	寺尾地区教養講座	寺尾公民館	10	レモンケーキ づくり

イ 女性教育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
7月29日(月) ～12月6日(金)	女性学級	寺尾公民館	延べ221	日本赤十字社 ほか(6回)
11月19日(火)	女性会視察研修会	笠間市方面	31	

ウ 青少年教育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月3日(土)	子どもフェスティバル	寺尾公民館	104	ゲーム、競技等
12月23日(月)	子どもふれあい広場	寺尾公民館	10	クリスマスケーキ づくり

エ 社会体育関係

実施日	事業名	会場	参加人数	備考
5月12日(日) 5月19日(日)	野球大会	寺尾中学校校庭	8チーム	
5月12日(日)	卓球大会	寺尾中央小体育館	7チーム	
5月12日(日)	女子ソフトバレーボール大会	寺尾中学校体育館	6チーム	
6月22日(土)	ゲートボール大会	寺尾公民館	6チーム	
6月23日(日)	バレーボール大会	寺尾中央小体育館 寺尾中学校体育館	10チーム	
7月7日(日)	婦人ミニバレーボール大会	寺尾中学校体育館	6チーム	
7月7日(日)	ソフトボール大会	坂本産業グラウンド 寺尾中学校校庭	9チーム	
7月7日(日)	ソフトテニス大会	寺尾公民館	10チーム	
7月26日(金)	輪投げ大会	寺尾公民館	10チーム	
8月18日(日) 24日(土) 25日(日) 31日(土)	第1回栃木市民スポーツ フェスティバル参加	総合運動公園	約250人	第11支部
10月6日(日)	地区民体育祭	寺尾中学校校庭	延べ1,900人	20種目

オ 諸会議開催状況

名称	回数	名称	回数
財産区議会	4	寺尾地区体育協会	6
寺尾協議会まちづくり協議会	5	寺尾地区子ども会育成会	8
寺尾地区自治会連合会	13	消防団	4
保健委員会連合会寺尾支部	7	寺尾地区遺族会	2

寺尾地区交通安全協会	6	寿クラブ連絡協議会	8
寺尾地区社会福祉協議会	3	文化協会	4
民児委員協議会	12	ゲートボール協会	6
寺尾地区女性会	16	いきいきスポーツクラブ	4
グリーンツーリズム	4	寺尾地区農産物供給会	12
		合 計	124

カ その他

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月14日(水)	サマーフェスティバルイン寺尾	寺尾中学校校庭	1,000	盆踊り

・6月、10月、11月に寺尾地区内全世帯を対象に公民館だよりを発行

(7) 国府公民館

ア 成人教育関係

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	備考
6月19日(水) ～1月29日(水)	高齢者教室	国府公民館ほか	延べ210	講師 金澤林子 ほか(8回)
7月1日(月) ～7月8日(月)	教養講座 「エコクラフト講座」	国府公民館	延べ 29	講師 犬塚歌織 (2回)
11月18日(月)	教養講座 「筆ペン年賀状講座」	国府公民館	17	講師 長芳江
1月24日(金)	教養講座 「消費税増税間近！ どう変わる？私たちの生活」	国府公民館	20	講師 宇賀神律子

イ 女性教育関係

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	備考
6月19日(水) ～1月21日(火)	女性学級	国府公民館ほか	延べ134	講師 野原一恵ほか (8回)

ウ 青少年教育関係

実施日	事業名	場所	参加人数	備考
4月14日(日)	東部地区女子フット ベースボール大会(春)	大塚運動広場	4チーム	
6月15(土) ～2月1日(土)	学校週5日制対応事業	国府公民館ほか	延べ283人	8回
7月20日(土)	夏休み親子お楽しみ会	国府北小体育館	約200人	
11月16日(土)	子どもレクリエーション大会	国府北小校庭	約200人	

エ 社会体育関係

実施日	事業名	場所	参加人数	備考
6月 2日(日)	フットベースボール大会	大塚運動広場	86人	
6月 2日(日)	ソフトボール大会	大光寺グラウンド	148人	

7月10日(水)	体協グランドゴルフ大会	大塚運動広場	46人	
7月14日(日)	体協ターゲットバードゴルフ大会	大皆川ニュースポーツ広場	11人	
8月18日(日) 24日(土) 25日(日) 31日(土)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル参加	総合運動公園ほか	195人	
9月1日(日)	地区民体育祭	大塚運動広場	2,000人	
10月13日(日)	ウォーキング大会	渡良瀬遊水地	33人	
10月15日(火)	体協ゲートボール大会	大塚運動広場	3チーム	
11月3日(日)	大なわとび大会	国府公民館	11チーム	
2月16日(日)	地区民ソフトバレーボール大会	栃木市総合運動公園、総合体育館	15チーム	
3月9日(日)	国庁まつりドッジボール大会	下野国庁跡広場	15チーム	

オ 諸会議開催状況

名 称	回数	名 称	回数
国府地区自治会連合会	6	国府地区体育協会	5
地域クリーン推進員栃木地域第12支部	12	国府地区子ども会育成会	4
国府地区交通安全協会	6	国府地区子どもを守る会	3
国府地区交通安全協会女性部会	5	国府地区遺族会	15
国府地区交通安全協会高齢者部会	3	国府地区長寿会	15
国府地区社会福祉協議会	5		
国府地区まちづくり協議会	5	合 計	84

カ その他

実施日	事業名	場 所	参加人数(人)	備 考
6月5日(水) 8月25日(日)	大塚運動広場運営委員会	大塚運動広場	約 400	運動広場除草
9月15日(日)	地区敬老会	国府南小学校	約 300	
11月3日(日)	公民館まつり	国府公民館	約1,500	ふるさとまつり

・公民館だよりを年6回発行し、国府地区内対象に班内回覧した。

3 支所・出張所業務

(1) 大宮出張所

ア 原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区 分	件 数(件)	
原動機付自転車	第1種	1
	第2種 (甲)	-
	第2種 (乙)	-
小型特殊 (農耕用)	-	

廃車届	7
名義・車体変更届	-
計	8

イ 出納事務取扱状況

区 分	件 数(件)	金 額(円)
市 税	2,275	51,205,448
そ の 他	448	3,680,975
計	2,723	54,886,423

ウ 戸籍関係取扱状況

(7) 戸籍届出受付

区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)
出生届	-	死亡届	-	転籍届	1
婚姻届	-	養子縁組届	-	そ の 他	-
				計	1

(イ) 戸籍謄抄本等交付件数 474件 258,000円

エ 住民基本台帳関係事務取扱状況

(7) 住民基本台帳届出受付

区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)
転入届	4	婚姻届	-
転居届	15	離婚届	-
転出届	11	転籍届	1
世帯主変更届	2	錯 誤	-
世帯分離届	-	国保得喪届	27
世帯合併届	-	国年得喪届	11
出生届	-	そ の 他	-
死亡届	-	合 計	71

(イ) 住民票写し等交付件数 1,536件 307,200円

(ウ) 印鑑証明関係

区 分	件 数(件)	金 額(円)
印鑑登録	72	14,400
印鑑証明	1,398	279,600
印鑑廃止届	24	-
計	1,494	294,000

(エ) 身分証明交付件数 25件 5,000円

(オ) 諸証明交付件数 20件 4,000円

オ 税務諸証明交付件数 688件 76,100円
 (このうち、車検用納税証明 326件)

(2) 皆川出張所

ア 原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区 分		件 数(件)
原動機付自転車	第1種	1
	第2種 (甲)	-
	第2種 (乙)	-
小型特殊 (農耕用)		-
廃 車 届		6
名義・車体変更届		4
計		11

イ 出納事務取扱状況

区 分	件 数(件)	金 額(円)
市 税	1,549	31,606,800
そ の 他	96	655,904
計	1,645	32,262,704

ウ 戸籍関係取扱状況

(7) 戸籍届出受付

区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)
出生届	-	死亡届	-	転籍届	-
婚姻届	-	養子縁組届	-	そ の 他	-
				計	-

(イ) 戸籍謄抄本等交付件数 214件 120,400円

エ 住民基本台帳関係事務取扱状況

(7) 住民基本台帳届出受付

区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)
転 入 届	2	婚 姻 届	-
転 居 届	2	離 婚 届	-
転 出 届	8	転 籍 届	-
世帯主変更届	-	錯 誤	-
世帯分離届	-	国保得喪届	5
世帯合併届	-	国年得喪届	-
出生届	-	そ の 他	4
死亡届	-	合 計	21

(イ) 住民票写し等交付件数 468件 93,600円

(ウ) 印鑑証明関係

区 分	件 数(件)	金 額(円)
印 鑑 登 録	18	3,600
印 鑑 証 明	482	96,400
印 鑑 廃 止 届	11	-
計	511	100,000

(エ) 身分証明交付件数 7件 1,400円

(オ) 諸証明交付件数 -件 -円

オ 税務諸証明交付件数 192件 17,800円 (このうち、車検用納税証明 121件)

(3) 吹上出張所

ア 原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区 分	件 数 (件)	
原動機付自転車	第1種	1
	第2種 (甲)	-
	第2種 (乙)	-
小型特殊 (農耕用)	-	
廃 車 届	7	
名義・車体変更届	-	
計	8	

イ 出納事務取扱状況

区 分	件 数(件)	金 額(円)
市 税	2,777	74,047,580
そ の 他	658	4,768,248
計	3,435	78,815,828

ウ 戸籍関係取扱状況

(7) 戸籍届出受付

区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)	区 分	件 数(件)
出生届	-	死亡届	-	転籍届	5
婚姻届	-	養子縁組届	-	そ の 他	-
				計	5

(イ) 戸籍謄抄本等交付件数 474件 249,400円

エ 住民基本台帳関係事務取扱状況

(7) 住民基本台帳届出受付

区 分	件 数 (件)	区 分	件 数 (件)
転 入 届	11	婚 姻 届	-
転 居 届	3	離 婚 届	-
転 出 届	26	転 籍 届	5
世帯主変更届	1	錯 誤	-
世帯分離届	-	国 保 得 喪 届	15
世帯合併届	-	国 年 得 喪 届	2
出 生 届	-	そ の 他	-
死 亡 届	-	合 計	63

(イ) 住民票写し等交付件数 1,285件 257,000円

(ウ) 印鑑証明関係

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
印 鑑 登 録	71	14,200
印 鑑 証 明	1,155	231,000
印 鑑 廃 止 届	2	-
計	1,228	245,200

(エ) 身分証明交付件数 28件 5,600円

(オ) 諸証明交付件数 -件 -円

オ 税務諸証明交付件数 379件 50,600円

(このうち、車検用納税証明 138件)

(4) 寺尾支所

ア 原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区 分	件 数 (件)
原動機付自転車 第1種	16
原動機付自転車 第2種 (甲)	2
原動機付自転車 第3種 (乙)	-
小 型 特 殊 (農耕用)	-
廃 車 届	23
名 義 車 体 変 更	2
合 計	43

イ 出納事務取扱状況

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
市 税	2,018	39,651,843
そ の 他	81	494,728
合 計	2,099	40,146,571

ウ 戸籍関係事務取扱状況

(7) 戸籍届出受付

区 分	件 数(件)
出 生 届	1
死 亡 届	-
婚 姻 届	-
離 婚 届	1
転 籍 届	-
養 子 縁 組 届	-
そ の 他	1
合 計	3

(イ) 戸籍謄抄本等交付件数 339件 182,850円

エ 住民基本台帳関係事務取扱状況

(7) 住民基本台帳届出受付

区 分	件 数 (件)	区 分	件 数 (件)
転 入 届	10	婚 姻 届	-
転 居 届	8	離 婚 届	1
転 出 届	8	転 籍 届	-
世帯主変更届	-	錯 誤	-
世帯分離届	1	国 保 得 喪 届	22
世帯合併届	1	国 年 得 喪 届	6
出 生 届	1	そ の 他	1
死 亡 届	-	合 計	59

(イ) 住民票写し等交付件数 615件 123,000円

(7) 印鑑証明関係

区 分	件 数(件)	金 額(円)
印 鑑 登 録 届	32	6,400
印 鑑 証 明	509	101,800
印 鑑 廃 止 届	16	-
合 計	557	108,200

(エ) 身分証明書交付件数 10件 2,000円

(オ) 転出証明書交付件数 3件

オ 税務諸証明交付件数 123件 27,500円

(5) 国府支所

ア 原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区	分	件数(件)
原動機付自転車	第1種	4
	第2種(甲)	-
	第2種(乙)	1
小型特殊(農耕用)		7
廃車届		26
名義・車体変更届		4
計		42

イ 出納事務取扱状況

区	分	件数(件)	金額(円)
市	税	3,085	69,788,200
その他		263	1,286,162
計		3,348	71,074,362

ウ 戸籍関係取扱状況

(7) 戸籍届出受付

区分	件数(件)	区分	件数(件)	区分	件数(件)
出生届	2	死亡届	-	転籍届	3
婚姻届	-	養子縁組届	-	計	5

(イ) 戸籍謄抄本等交付件数 692件 380,400円

エ 住民基本台帳関係事務取扱状況

(7) 住民基本台帳届出受付

区分	件数(件)	区分	件数(件)
転入届	39	婚姻届	-
転居届	11	離婚届	-
転出届	42	転籍届	3
世帯主変更届	2	錯誤	-
世帯分離届	1	国保得喪届	69
世帯合併届	1	国年得喪届	33
出生届	2	その他	2
死亡届	-	合計	205

(イ) 住民票写し等交付件数 1,295件 259,000円

(ウ) 印鑑証明関係

区	分	件数(件)	金額(円)
印	鑑 登 録	89	17,800
印	鑑 証 明	1,142	228,400
印	鑑 廃 止 届	42	-
計		1,273	246,200

(エ) 身分証明交付件数 17件 3,400円

オ 税務諸証明交付件数 337件 70,300円

(このうち、車検用納税証明 186件)

図書館担当

1 視聴覚ライブラリー

(1) 財産の取得状況及び保有状況

ア 購入視聴覚教材

No.	タイトル	種類	映写時間(分)
1	いじめと戦おう!小学生編 ～私たちにできること～	D V D	21
2	いじめと戦おう!中学生編 ～もしもあの日に戻れたら～	D V D	23
3	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	D V D	25
4	ほんとの空	D V D	36
5	自他尊重のコミュニケーションと 職場の人権2	D V D	23
6	友達の声が聞こえる? ～本当の思いやり～	D V D	24
7	小学生のためのケータイ・ネット教室	D V D	30
8	どう守る?自分の命 東日本大震災から教えられたこと	D V D	22
9	自転車の交通ルールを覚えよう ～小学生の交通安全～	D V D	15
10	鬼の子と雪うさぎ	D V D	22
11	ディズニーキャラクターズ プルート	D V D	58

イ 視聴覚教材保有状況

- ・16ミリフィルム 481作品
- ・ビデオテープ 745作品
- ・D V D 122作品

(2) 教材作品利用状況

ア 視聴者層別人数

(単位：人)

対象 種別	成人 (男)	成人 (女)	青 年	高 校 生	小 中 学 校	P T A	高 齢 者	そ の 他	計
16ミリフィルム	164	548	-	3	322	45	252	1,067	2,401
ビデオテープ	378	469	-	41	5,124	-	349	53	6,414

DVD	699	1,465	5	482	6,278	163	84	972	10,148
計	1,241	2,482	5	526	11,724	208	685	2,092	18,963

イ 団体別利用回数

(単位:回)

団体 種別	小学校	中学校	高等学校	養護学校等	幼稚園・保育所	子ども会・育成会	児童施設	ボランティア	PTA	家庭教育学級	婦人団体・婦人学級	集会所	高齢者	病院施設等	その他	計
16ミリフィルム	-	-	-	-	17	2	-	-	-	-	-	15	-	-	23	57
ビデオテープ	70	28	-	13	2	-	-	-	-	-	-	13	-	-	13	139
DVD	98	19	6	1	12	1	-	-	-	-	1	21	-	-	31	190
計	168	47	6	14	31	3	-	-	-	-	1	49	-	-	67	386

(3) その他

下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会の事務局として、16ミリ映写機技術者養成講習会を下記のとおり実施した。

実施日	会場	修了者数(人)
8月8日(木)	壬生町壬生中央公民館	10
8月25日(日)	栃木図書館	10

2 図書館関係

(1) 市内全図書館共通

ア 図書館協議会

	開催日	協議内容
第1回	4月16日(火)	平成24年度管理運営状況について 指定管理者制度導入について
第2回	8月9日(金)	任命書の交付(新任委員) 「栃木市図書館」指定管理者公募状況について 視察研修について
第3回	3月13日(木)	平成26年度からの指定管理者制度導入について 平成26年度事業計画(案)について

※視察研修 11月29日(金) 午前8時30分～午後5時

研修内容 図書館資料の最新物流システム(装備・出荷等)の見学
視察先 株式会社 図書館流通センター「新座ブックナリー」

イ 図書館物流事業

図書館利用者の利便性の向上を図る事業として、利用者の要求する図書館資料が迅速に手元に届くよう対応するため、市内全館を週5回巡回し図書館資料を配送・回

収した。

(単位：件)

図書館名	物流件数	月平均
栃木図書館	23,679	1,973
大平図書館	21,395	1,783
藤岡図書館	9,197	767
都賀図書館	9,611	801
西方分館	3,436	286
県立図書館・県内公共図書館等	1,996	166
図書館総務	218	18
合 計	69,532	5,794

(2) 栃木図書館

ア 自主事業

(ア) 幼児・児童向け事業

a おはなし広場

- ・実施日 毎月第2・第4土曜日 午前10時30分～
- ・出演 りんごの会
- ・参加者 179人(大人76人、子ども103人)
- ・よみきかせ 「語り 歯いしゃのチュー先生」ほか

b 特版おはなし広場 「わにさんどきっはいしゃさんどきっ」他

- ・実施日 5月6日(月)
- ・参加者 30人

c 特版おはなし広場 映画「おこりじぞう」他

- ・実施日 8月10日(土)
- ・参加者 11人

d 特版おはなし広場 「わくわくもうすぐお正月」他

- ・実施日 12月23日(月)
- ・参加者 6人

e えほんデビュー

- ・実施日 毎月第3土曜日 午前11時～
- ・出演 図書館職員
- ・参加者 154人

f 親子で楽しむ映画とおはなしの会

- ・実施期間 4月20日(土)～12月21日(土)
- ・出演 図書館職員、下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会
- ・参加者 61人
- ・内 容

4月20日(土)	第1回「春 勇気を持とう」
----------	---------------

7月20日（土）	第2回「夏 冒険しよう」
10月19日（土）	第3回「秋 親切にしよう」
12月21日（土）	第4回「冬 感謝しよう」

g としょかん民話のひろば

- ・実施期間 9月21日（土）～3月15日（土）の第3土曜日
- ・出 演 民話美寿々とちぎ支部
- ・参加者 60人

h その他の幼児・児童向け事業

(a) 子ども読書週間「豆ノート」プレゼント

- ・実施期間 4月23日（火）～5月12日（日）
- ・参加者 206人

(b) こども図書館まつり

- ・内 容 館内スタンプラリー（参加者：136人）
特版おはなし広場（参加者：30人）
折り紙教室（参加者：44名）
バルーンアート&パフォーマンス（2公演）
- ・実施日 5月6日（月）

(c) 七夕 短冊にお願い事を書こう

- ・実施期間 6月下旬～7月7日（日）
- ・参加者 50人

(d) 夏休み工作教室「プラ板ストラップ&スライム作り」

- ・実施日 8月7日（水）
- ・講 師 栃木県立栃木女子高等学校事務長 鈴木和男氏
- ・参加者 21人

(e) 幼児読書感想画展

未就学児童の感想画を読書週間期間内に展示

- ・実施期間 10月26日（土）～11月7日（木）
- ・参加者 167人

(f) 読書週間しおりプレゼント（手作りしおり）

- ・実施期間 10月27日（日）～11月9日（土）
- ・参加者 2,000人

(g) クリスマス・ミニツリープレゼント（手作りミニツリー）

- ・実施期間 12月1日（日）～25日（水）
- ・参加者 300人

(h) 工作教室「水万華鏡作り」

- ・実施日 12月14日（土）
- ・講 師 栃木県立栃木女子高等学校事務長 鈴木和男氏
- ・参加者 21人

(イ) 講座・講演会

a 「朗読サロン」

区分	内容	開催日	出演	参加数(人)
第1回	向田邦子を読む	5月12日(日)	朗読を楽しむ会	58
第2回	夏目漱石を読む	7月14日(日)	朗読を楽しむ会	43

b 「語りの午後」

- ・実施日 7月28日(日)
- ・講師 下野民話館とちぎ 山野上美代子氏
- ・参加者 40人

c 文学講座「恋万葉の下野びと」

- ・実施日 9月8日(日)
- ・講師 国学院短大名誉教授 小林吉一氏
- ・参加者 30人

d 栃木の歴史講演会「とちぎ蔵の街を造りあげた往時の環境」

- ・実施日 11月10日(日)
- ・講師 作家 大森隆司氏
- ・参加者 48人

e 文楽鑑賞講座「文楽へのいざない」

- ・実施日 11月30日(土)
- ・講師 元栃木市教育長 有澤弘一氏
- ・参加者 41人

(ウ) 図書館まつり

- ・実施日 5月6日(月)
- ・講師 昭和の映像や参加者による座談会「栃木の思い出」、特版おはなし広場、こども図書館まつりでの折り紙教室やスタンプラリー、バルーンアートなど

イ その他の事業

(ア) 館内展示企画

a 一般展示企画

- ・「神社企画-遷宮と栃木の古社-」など6企画

b 一般展示企画(時事企画など)

- ・「追悼 佐野 洋」、「柴田トヨ 講演会映画会公開記念」など34企画

c 児童向け展示企画

- ・「お弁当・ピクニック・さんぽ」、「ぽかぽかぬくぬく」など7企画

d その他児童向け展示企画

- ・「第5回MOE絵本屋さん大賞」など11企画

e YA向け展示企画

- ・「主人公は中高生」、「男子力☆女子力」など7企画

f 視聴覚資料関連展示企画

- ・「ヴェルディ&ワーグナー生誕200年」など6企画

(イ) 広報活動

- ・栃木市栃木図書館通信 紫陽花
- ・キッズとしょかんだより
- ・ホームページによる広報
- ・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」(通年)

(ウ) 施設見学 (単位：人)

国府北小学校2年生	38
国府北小学校3年生	46
栃木第三小学校2年生	58
栃木第四小学校2年生	25
栃木第五小学校2年生(3回)	94
千塚小学校2年生	21
皆川城東小学校3年生	39
西方小学校2年生	44
國學院大學	2
合計 11件	367

(エ) 職場体験学習 (単位：人)

栃木東中学校2年生	3
寺尾中学校2年生	1
栃木南中学校2年生	2
東陽中学校2年生	2
大平中学校2年生	2
西方中学校2年生	4
栃木西中学校2年生	2
都賀中学校2年生	2
吹上中学校2年生	2
栃木商業高等学校2年生	3
青藍泰斗高等学校2年生	2
佐野高等学校	1
宇都宮大学3年生	1
合計 13件	27

(オ) 移動図書館

- ・巡回ステーション 26か所

(カ) 宅配の実施

- ・利用者 8人

ウ 資料の状況

(7) 図書資料

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	
増加数(点)	401	249	669	1,098	731	733	
除籍数(点)	-	-	50	5	2	3	
総数(点)	11,753	10,438	27,138	35,011	17,508	18,569	
構成比(%)	3.9	3.4	9.0	11.6	5.8	6.1	
分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計
増加数(点)	327	758	141	2,726	379	781	8,993
除籍数(点)	1	8	-	20	-	4	93
総数(点)	7,690	23,460	5,485	113,775	13,190	18,592	302,609
構成比(%)	2.5	7.8	1.8	37.6	4.4	6.1	100.0

(イ) 視聴覚資料

分類	レコード	カセットテープ	C D	C D-R O M
増減数(点)	-	△6	540	2
総数(点)	513	2,302	8,392	82
構成比(%)	3.2	14.3	51.9	0.5
分類	D V D	D V D-R O M	ビデオ	合計
増減数(点)	208	13	△27	730
総数(点)	2,213	71	2,590	16,163
構成比(%)	13.7	0.4	16.0	100.0

(ウ) 逐次刊行物

(単位：種)

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
11	8	146	86	251

エ 貸出状況

(7) 貸出人数

(単位：人)

月	図書館			うち移動図書館				
	開館日数	貸出人数	一日平均	巡回日数	巡回回数	貸出人数	一日平均	一回平均
4	26	7,462	287	17	97	294	17	3
5	27	7,810	289	17	97	494	29	5
6	26	8,010	308	16	92	389	24	4
7	27	8,219	304	18	103	327	18	3
8	26	8,714	335	17	92	192	11	2
9	26	7,805	300	15	86	403	27	5

10	27	7,873	292	18	103	548	30	5
11	22	6,898	314	12	69	319	27	5
12	26	7,326	282	16	91	399	25	4
1	24	7,127	297	15	86	394	26	5
2	24	6,825	284	15	86	388	26	5
3	25	7,140	286	14	78	235	17	3
計	306	91,209	298	190	1,080	4,382	23	4

(イ) 貸出点数 (単位：点)

月	図書館			うち移動図書館				
	開館日数	貸出点数	一日平均	巡回日数	巡回回数	貸出点数	一日平均	一回平均
4	26	34,084	1,311	17	97	1,191	70	12
5	27	34,655	1,284	17	97	1,872	110	19
6	26	36,958	1,421	16	92	1,594	100	17
7	27	38,132	1,412	18	103	1,399	78	14
8	26	40,584	1,561	17	92	928	55	10
9	26	35,990	1,384	15	86	1,575	105	18
10	27	36,390	1,348	18	103	2,290	127	22
11	22	32,413	1,473	12	69	1,286	107	19
12	26	35,590	1,369	16	91	1,696	106	19
1	24	33,689	1,404	15	86	1,599	107	19
2	24	31,649	1,319	15	86	1,456	97	17
3	25	34,543	1,382	14	78	856	61	11
計	306	424,677	1,388	190	1,080	17,742	93	16

(ウ) 分類別貸出点数 (単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	2,924	623	2,215	1,404	1,293	3,010	791	1,495	216	11,124	8,989	34,084
5	2,764	707	2,153	1,575	1,394	3,014	923	1,542	251	11,156	9,176	34,655
6	3,041	753	2,192	1,614	1,654	3,029	862	1,621	296	11,689	10,207	36,958
7	2,969	752	2,422	1,789	1,808	2,927	728	1,879	272	12,580	10,006	38,132
8	3,052	768	2,562	1,943	1,910	2,903	798	2,100	330	13,570	10,648	40,584
9	2,844	736	2,312	1,649	1,455	2,854	611	1,631	273	11,856	9,769	35,990
10	2,938	704	2,136	1,633	1,432	3,054	735	1,784	233	12,164	9,577	36,390
11	2,686	662	1,849	1,426	1,161	2,750	665	1,511	221	10,585	8,897	32,413

12	2,775	643	1,907	1,626	1,301	3,177	560	1,837	305	11,460	9,999	35,590
1	2,712	661	1,895	1,575	1,362	3,097	585	1,708	242	10,882	8,970	33,689
2	2,634	602	1,722	1,310	1,153	2,835	543	1,596	261	10,638	8,355	31,649
3	2,954	672	1,981	1,322	1,424	2,863	642	1,656	284	11,548	9,197	34,543
計	34,293	8,283	25,346	18,866	17,347	35,513	8,443	20,360	3,184	139,252	113,790	424,677

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

オ 利用者登録状況

(7) 新規登録状況

(単位：人)

月	新規登録者数	うち移動図書館車	登録削除	登録変更	総登録者数	新規団体	団体削除	団体合計	総計
4	94	10	-	-	65,692	-	-	161	65,853
5	77	1	8	-	65,761	-	-	161	65,922
6	102	1	7	-	65,856	1	-	162	66,018
7	141	1	15	-	65,982	-	-	162	66,144
8	133	1	19	-	66,096	-	-	162	66,258
9	101	-	4	-	66,193	-	-	162	66,355
10	111	1	10	-	66,294	-	-	162	66,456
11	126	-	12	-	66,408	1	1	162	66,570
12	67	2	2	-	66,473	2	-	164	66,637
1	82	-	6	-	66,549	-	-	164	66,713
2	64	1	-	-	66,613	-	-	164	66,777
3	52	1	-	3	66,668	-	-	164	66,832
計	1,150	19	83	3	66,668	4	1	164	66,832

※貸出カード統一化による利用者統合のため、登録の削除が実施されている。

(イ) 年齢別利用者登録状況

(単位：人)

年齢	新規登録者数		総数	
	図書館	うち移動図書館車	図書館	うち移動図書館車
～ 6	85	-	245	-
7～12	373	9	1,922	88
13～15	64	3	1,381	52
16～18	50	-	1,585	66
19～22	47	-	2,748	86
23～29	83	-	6,825	220
30～39	166	1	16,288	741
40～49	94	1	14,760	192
50～59	54	1	7,302	289

60～	134	4	13,612	747
合計	1,150	19	66,668	2,481

カ 各種利用状況

(ア) 予約・リクエスト件数

(単位：件)

月	予約件数				リクエスト件数			合計
	図書館	移動図書館車	インターネット	計	図書館	移動図書館車	計	
4	1,046	105	2,503	3,654	165	29	194	3,848
5	995	164	2,521	3,680	182	18	200	3,880
6	1,122	83	2,663	3,868	188	32	220	4,088
7	1,326	122	2,641	4,089	232	29	261	4,350
8	990	84	2,650	3,724	317	23	340	4,064
9	989	176	2,413	3,578	210	30	240	3,818
10	949	144	2,654	3,747	184	16	200	3,947
11	893	91	2,464	3,448	176	13	189	3,637
12	948	115	2,443	3,506	223	22	245	3,751
1	952	115	2,607	3,674	208	13	221	3,895
2	827	92	2,313	3,232	223	7	230	3,462
3	802	56	2,448	3,306	246	12	258	3,564
計	11,839	1,347	30,320	43,506	2,554	244	2,798	46,304

※インターネット予約件数は、館別統計がとれないため、全館共通の数字を記載。

(イ) レファレンス件数 (レファレンス=利用者からの相談や、調査の支援)

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	計
4	1,127	18	-	1,145
5	1,070	18	-	1,088
6	1,277	22	-	1,299
7	1,302	26	-	1,328
8	1,555	17	-	1,572
9	1,052	27	-	1,079
10	982	22	-	1,004
11	953	14	-	967
12	973	11	-	984
1	942	8	-	950
2	832	4	-	836
3	792	5	-	797
計	12,857	192	0	13,049

(ウ) 相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	1,953
借受数	2,006

(エ) 読書室・キャレルデスク・コピー利用件数

（キャレルデスク＝調査研究用個人机）

月	読書室 （件）	キャレルデスク （件）	コピー件数	
			件数（件）	枚数（枚）
4	834	650	152	622
5	1,331	694	111	530
6	1,198	703	128	597
7	1,530	837	145	493
8	2,046	839	155	493
9	1,125	756	160	907
10	1,378	754	170	847
11	1,340	581	128	520
12	1,435	629	110	526
1	1,345	670	129	707
2	1,290	616	140	508
3	774	585	142	532
計	15,626	8,314	1,670	7,282

(3) 大平図書館

ア 自主事業

(ア) 幼児・児童向け事業

- a おはなししゃぼんだまの絵本の読み聞かせ
 - ・実施日 毎月第1土曜日、毎月第2・第4金曜日
 - ・出演 おはなししゃぼんだま
 - ・参加者 459人
- b こわい絵本の読み聞かせ（図書館スタッフ）
 - ・実施日 7月27日（土）、8月10日（土）、17日（土）、24日（土）、31日（土）
 - ・出演 図書館スタッフ
 - ・参加者 35人
- c 読書大好きおおひらっ子“たくさん読んで賞”
 - ・実施期間 4月23日（火）～5月12日（日）
10月15日（火）～11月10日（日）

- ・参加者 512人（春231人、秋281人）
 - d 本と遊ぼう 全国訪問おはなし隊
 - ・実施日 6月23日（日）
 - ・出演 全国訪問おはなし隊&おはなししゃぼんだま
 - ・参加者 104人
 - e こわい本棚テープカット&こわい絵本の読み聞かせ
 - ・実施日 7月20日（土）
 - ・出演 図書館スタッフ
 - ・参加者 37人
 - f マリオネット人形劇団きゃべつ村公演
 - ・実施日 7月28日（日）
 - ・出演 マリオネット人形劇団きゃべつ村
 - ・参加者 47人
 - g ポップアップカードワークショップ
 - ・実施日 9月15日（日）
 - ・講師 田子いづみ氏
 - ・参加者 17人
 - h 親子でLet, Study!! 調べてみよう～楽しい本をさがすには～
 - ・実施日 11月16日（土）
 - ・講師 図書館スタッフ
 - ・参加者 12人
 - i サンタと写真を撮ろう！
 - ・実施日 12月23日（月）
 - ・参加者 28組
 - j サンタのおはなし会
 - ・実施日 12月23日（月）
 - ・参加者 18人
 - k 図書ロボ その名もB i b l i o
 - ・実施日 11月16日（土）
 - ・講師 図書館スタッフ
 - ・参加者 12人
 - l おはなししゃぼんだまの「おはなしプレゼント」
 - ・実施日 3月8日（土）
 - ・出演 おはなししゃぼんだま
 - ・参加者 56人
 - m 大平南小発ミニ・イベント
 - ・実施日 3月21日（金）
 - ・出演 大平南小学校児童
 - ・参加者 35人
- (イ) 講座・講演会

a “対話式”絵本の読み聞かせ講座

- ・実施日 6月7日（金）
- ・講師 柏倉有美子氏
- ・参加者 15組

b 点字体験講座

- ・実施日 9月11日（水）
- ・講師 清水泰子氏
- ・参加者 2人

(ウ) 雑誌リサイクル市

- ・実施日 11月2日（土）～3日（日）
- ・参加者 283人

(エ) 展示

- ・企画展示「調べるっておもしろい」ほか9回
- ・きせつの本「はる」ほか6回
- ・ものしり博士の本棚「ねこ」ほか12回
- ・追悼展示「カニグスバーグさん、やすらかに」ほか4回
- ・その他の展示「はじめよう 新生活の準備」ほか33回

(オ) ミニミニ市民ギャラリー

- ・大平南小学校発！！郷土の偉人「田村律之助」展ほか13回

イ その他の事業

(ア) 広報活動

- ・大平図書館だより 奇数月発行
- ・ホームページによる広報
- ・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」（通年）

(イ) 施設見学

（単位：人）

大平東小学校2年生「まちたんけん」	32
大平西小学校2年生「まちたんけん」	32
大平中学校1年生職場見学	3
大平西保育園	12
大平中央小学校2年生「まちたんけん」	117
大平南小学校3年生	13
部屋小学校2年生「まちたんけん」	28
國學院栃木短期大学1年生	2
合計 8件	239

(ウ) 職場体験学習

（単位：人）

宇都宮大学教育学部附属特別支援学校	1
東陽中学校2年生	1
大平南中学校2年生	3
藤岡第二中学校2年生	1
合計 4件	6

(エ) 本の宅配収集事業

図書館の利用が困難な高齢者、障がい者、妊婦等に対し図書資料等の宅配・収集を行った。また、地域内6か所の公共施設に返却ポストを設置し、利用促進を図った。

- ・宅配登録者数 17人
- ・宅配件数 402件
- ・貸出冊数 3,399冊
- ・返却本回収数 5,840冊

ウ 資料の状況

(7) 図書資料

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	
増加数(点)	142	116	390	615	423	361	
除籍数(点)	222	333	506	1,430	543	758	
総数(点)	3,473	5,823	12,532	18,266	10,881	10,331	
構成比(%)	2.4	4.1	8.8	12.8	7.6	7.3	
分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計
増加数(点)	181	366	86	1,364	136	712	4,892
除籍数(点)	305	1,009	132	2,417	2	447	8,104
総数(点)	4,993	14,458	3,696	41,148	4,908	12,101	142,610
構成比(%)	3.5	10.1	2.6	28.9	3.4	8.5	100.0

(イ) 視聴覚資料

分類	レコード	カセットテープ	C D	C D - R O M
増減数(点)	-	△27	140	1
総数(点)	938	2,470	13,355	15
構成比(%)	4.8	12.7	68.6	0.1
分類	D V D	D V D - R O M	ビデオ	合計
増減数(点)	73	11	△139	59
総数(点)	923	40	1,742	19,483
構成比(%)	4.7	0.2	8.9	100.0

(ウ) 逐次刊行物

(単位：種)

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
8	3	107	6	124

エ 貸出状況

(7) 貸出人数・貸出点数

月	開館日数	貸出人数		貸出点数	
		貸出人数(人)	一日平均(人)	貸出点数(点)	一日平均(点)
4	26	4,063	156	18,046	694

5	28	4,145	148	18,013	643
6	26	4,159	160	18,473	711
7	27	4,581	170	20,071	743
8	27	5,003	185	21,016	778
9	27	4,052	150	18,218	675
10	24	3,723	155	16,846	702
11	27	3,975	147	17,958	665
12	25	3,589	144	16,509	660
1	25	3,949	158	17,511	700
2	24	3,577	149	15,627	651
3	24	3,655	152	16,933	706
計	310	48,471	156	215,221	694

(イ) 分類別貸出点数

(単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	1,760	307	939	672	722	1,318	411	1,898	154	3,919	5,946	18,046
5	1,871	326	947	651	826	1,287	491	1,824	179	4,077	5,534	18,013
6	1,770	356	931	748	904	1,316	510	1,808	183	4,130	5,817	18,473
7	1,702	323	1,064	749	1,153	1,269	418	2,097	257	4,952	6,087	20,071
8	1,813	311	1,103	833	1,263	1,269	366	2,199	229	5,226	6,404	21,016
9	1,834	304	889	838	839	1,196	391	1,919	158	4,513	5,337	18,218
10	1,597	221	742	637	670	1,161	309	2,038	127	4,055	5,289	16,846
11	1,812	223	669	688	775	1,311	339	1,908	154	4,222	5,857	17,958
12	1,652	285	666	682	659	1,288	315	1,660	148	3,930	5,224	16,509
1	1,850	314	713	745	666	1,441	329	1,580	205	4,126	5,542	17,511
2	1,741	297	608	644	590	1,184	280	1,463	132	3,649	5,039	15,627
3	1,928	279	703	639	670	1,346	391	1,804	141	3,929	5,103	16,933
計	21,330	3,546	9,974	8,526	9,737	15,386	4,550	22,198	2,067	50,728	67,179	215,221

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

オ 利用者登録状況

(7) 新規登録状況

(単位：人)

月	新規登録者数	登録削除	登録変更	総登録者数	新規団体	団体合計	総計
4	43	4	-	19,692	-	52	19,744
5	24	-	6	19,722	-	52	19,774
6	106	1	-	19,827	-	52	19,879
7	185	-	10	20,022	-	52	20,074
8	78	-	1	20,101	-	52	20,153

9	40	-	-	20,141	-	52	20,193
10	15	-	1	20,157	-	52	20,209
11	29	-	-	20,186	-	52	20,238
12	25	4	-	20,207	-	52	20,259
1	34	1	-	20,240	-	52	20,292
2	24	-	2	20,266	-	52	20,318
3	18	-	1	20,285	-	52	20,337
計	621	10	21	20,285	-	52	20,337

※貸出カード統一化により、登録の削除や登録館変更が実施されている。

(イ) 年齢別利用者登録状況 (単位：人)

年齢	新規登録者数	総数
～ 6	40	124
7～12	237	1,458
13～15	35	806
16～18	9	787
19～22	8	1,103
23～29	45	2,390
30～39	79	4,111
40～49	63	3,347
50～59	35	2,206
60～	70	3,953
合計	621	20,285

カ 各種利用状況

(ア) 予約・リクエスト件数 (単位：件)

月	予約件数	リクエスト 件数	合計
4	344	23	367
5	332	3	335
6	342	12	354
7	414	9	423
8	419	10	429
9	328	9	337
10	372	6	378
11	344	10	354
12	279	13	292
1	315	10	325
2	256	13	269
3	272	11	283

計	4,017	129	4,146
---	-------	-----	-------

※インターネット予約件数は、館別統計がとれないため、全館共通の数字を栃木図書館に記載。

(イ) レファレンス件数（レファレンス＝利用者からの相談や、調査の支援）（単位：件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	211	231	208	251	300	155	160	216	229	255	220	153	2,589

(ウ) 相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	480
借受数	431

(エ) コピー枚数 (単位：枚)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
枚数	49	104	61	99	77	127	54	81	22	62	56	95	887

(4) 藤岡図書館

ア 自主事業

(ア) 幼児・児童向け事業（親子向けを含む）

a おはなし会、工作教室

紙芝居、絵本の読み聞かせ、簡単に作れる工作（クリスマスリースづくり等）

- ・実施日 毎月第1・3土曜日午後2時から
- ・回数 21回
- ・参加者 172人
- ・協力 ふじおかおはなし会コロポックル

b 子ども映画会

- ・実施日 偶数月第3日曜午前10時から
- ・参加者 100人
- ・協力 ハードル会

c クリスマスコンサート

音楽、人形劇

- ・実施日 12月14日（土）
- ・参加者 10人
- ・協力 ふじおかおはなし会コロポックル

d ひなまつり

人形劇、エプロンシアター、おひなさまになろう

- ・実施日 3月1日（土）
- ・参加者 30人
- ・協力 ふじおかおはなし会コロポックル

イ その他の事業

(ア) 巡回貸出事業

自動車文庫

地域内幼稚園 2 か所、市立保育園 4 か所を巡回し、本の貸出しを行った。

- ・実施期間 6月～2月（8月は除く）
- ・回数 4回
- ・貸出実績 2,480冊

(イ) 子どもの読書活動推進のための支援事業

a 読み聞かせボランティア

藤岡地域内の 4 小学校において、各学年向けの本を選定し、読み聞かせを行った。

- ・登録者数 4 団体 37 人
- ・実施期間 4月～2月
- ・実績

小学校	団体	回数(回)
藤岡小学校	藤	10
部屋小学校	スマイル	8
赤麻小学校	そよかぜ	9
三鴨小学校	かたくり	8

b ブックスタート事業

月 1 回、9 か月児の乳児検診の際に、母親が子どもに絵本を読んであげることの大切さを教えながら、子どもたちに読み聞かせを行った。

(ウ) 広報活動

- ・図書館だより
- ・イベント広報配布
- ・ホームページによる広報
- ・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」（通年）

(エ) 施設見学 (単位：人)

赤麻小学校	28
藤岡小学校	44
合計 2件	72

(オ) 職場体験学習 (単位：人)

藤岡第一中学校2年生	8
合計 1件	8

ウ 資料の状況

(7) 図書資料

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
増加数(点)	40	53	99	146	124	298
除籍数(点)	22	11	39	-	48	23
総数(点)	1,678	1,723	4,973	4,723	3,799	3,303
構成比(%)	2.8	2.9	8.3	7.9	6.3	5.5

分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計
増加数(点)	63	262	17	658	190	450	2,400
除籍数(点)	3	22	-	45	-	6	219
総数(点)	1,459	6,253	1,065	21,055	2,635	7,344	60,010
構成比(%)	2.4	10.4	1.8	35.1	4.4	12.2	100.0

(イ) 視聴覚資料

分類	C D	D V D	ビデオ	合計
増減数(点)	195	48	-	243
総数(点)	3,808	83	7	3,898
構成比(%)	97.7	2.1	0.2	100.0

(ウ) 逐次刊行物

(単位：種)

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
6	-	23	-	29

エ 貸出状況

(ア) 貸出人数・貸出点数

月	開館日数	貸出人数		貸出点数	
		貸出人数(人)	一日平均(人)	貸出点数(点)	一日平均(点)
4	25	865	35	3,978	159
5	27	883	33	4,203	156
6	26	994	38	5,225	201
7	26	944	36	4,324	166
8	27	1,039	38	4,870	180
9	25	867	35	3,918	157
10	27	1,040	39	4,999	185
11	26	1,002	39	5,279	203
12	22	792	36	3,571	162
1	24	955	40	4,257	177
2	24	790	33	4,337	181
3	24	823	34	3,957	165
計	303	10,994	36	52,918	175

(イ) 分類別貸出点数

(単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会 科学	自然 科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	144	43	94	87	114	283	62	698	26	820	1,607	3,978
5	138	57	143	108	114	322	84	696	20	879	1,642	4,203
6	134	71	166	101	151	310	111	826	20	928	2,407	5,225
7	96	81	175	88	115	280	81	785	38	917	1,668	4,324
8	133	82	178	122	218	300	92	871	46	1,187	1,641	4,870
9	141	56	131	105	132	302	69	624	19	819	1,520	3,918
10	151	38	158	93	131	322	81	666	16	980	2,363	4,999
11	172	58	143	93	160	348	97	692	29	1,027	2,460	5,279
12	140	37	131	84	101	241	69	545	20	794	1,409	3,571
1	156	58	153	91	116	314	67	771	19	852	1,660	4,257
2	167	33	141	81	157	296	76	841	28	696	1,821	4,337
3	124	37	153	78	96	290	51	790	28	744	1,566	3,957
計	1,696	651	1,766	1,131	1,605	3,608	940	8,805	309	10,643	21,764	52,918

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

オ 利用者登録状況

(ア) 新規登録状況

(単位：人)

月	新規 登録者数	登録 削除	登録 変更	総登録者数	新規団体	団体 合計	総計
4	76	5	-	7,156	-	66	7,222
5	4	3	-	7,157	-	66	7,223
6	7	2	-	7,162	-	66	7,228
7	16	2	-	7,176	-	66	7,242
8	23	5	-	7,194	-	66	7,260
9	6	-	2	7,202	-	66	7,268
10	16	3	-	7,215	1	67	7,282
11	39	3	-	7,251	1	68	7,319
12	2	1	-	7,252	-	68	7,320
1	10	1	-	7,261	-	68	7,329
2	7	5	-	7,263	-	68	7,331
3	11	2	-	7,272	-	68	7,340
計	217	32	2	7,272	2	68	7,340

※貸出カード統一化による利用者統合のため、登録の削除が実施されている。

(イ) 年齢別利用者登録状況

(単位：人)

年齢	新規登録者数	総数
～ 6	70	117
7～12	46	535
13～15	11	344
16～18	4	390
19～22	6	591
23～29	5	1,148
30～39	29	1,162
40～49	11	925
50～59	9	820
60～	26	1,240
合計	217	7,272

カ 各種利用状況

(ア) 予約・リクエスト件数 (単位：件)

月	予約件数	リクエスト 件数	合計
4	74	15	89
5	81	6	87
6	82	4	86
7	49	4	53
8	58	12	70
9	51	18	69
10	73	17	90
11	166	7	173
12	114	7	121
1	221	4	225
2	83	4	87
3	120	4	124
計	1,172	102	1,274

※インターネット予約件数は、館別統計がとれないため、全館共通の数字を栃木図書館に記載。

(イ) レファレンス件数 (レファレンス＝利用者からの相談や、調査の支援)

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	計
4	82	3	-	85
5	68	-	-	68
6	55	-	-	55
7	54	1	-	55

8	72	5	-	77
9	58	2	-	60
10	64	9	-	73
11	152	3	-	155
12	21	1	-	22
1	74	-	-	74
2	51	1	-	52
3	49	3	-	52
計	800	28	-	828

(ウ) 相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	353
借受数	155

(エ) 読書室・コピー利用件数

月	読書室 (件)	コピー	
		件数(件)	枚数(枚)
4	112	-	-
5	201	1	1
6	179	1	1
7	393	2	19
8	542	-	-
9	263	2	24
10	189	2	3
11	153	5	35
12	134	1	5
1	164	5	10
2	202	3	22
3	93	3	59
計	2,625	25	179

(5) 都賀図書館

ア 自主事業

(ア) 幼児・児童向け事業

a おはなし会

- ・実施日 6月8日（土）、7月30日（火）、10月12日（土）、
11月2日（土）、3月25日（火）

- ・実施場所 都賀図書館視聴覚室

・講 師 おはなしボランティア「たんぼぼ」

・参加者 74人

b 図書館クリスマス会

・実施日 12月1日(日)

・実施場所 都賀図書館・都賀公民館講堂

・講 師 おはなしボランティア「たんぼぼ」・ヴィヴィド

・参加者 98人

イ その他の事業

(ア) リサイクル市

・実施期間 11月15日(金)～12月20日(金)

・実施場所 都賀図書館ロビー

・展示冊数 約7,500冊

・提供冊数 約3,000冊

(イ) 広報活動

・図書館だより

・イベント広報配布(都賀地域内幼稚園・保育園の子ども全員)

・ホームページによる広報

・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」(通年)

(ウ) 施設見学

(単位:人)

合戦場小学校2年生	66
家中小学校2年生	29
家中小学校3年生	28
赤津小学校2年生	22
合計 4件	145

(エ) 職場体験学習

(単位:人)

都賀中学校2年生	3
吹上中学校2年生	2
青藍泰斗高等学校2年生	1
合計 3件	6

ウ 資料の状況

(ア) 図書資料

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	
増加数(点)	61	53	86	227	202	197	
除籍数(点)	55	166	229	551	434	784	
総数(点)	1,857	1,408	4,101	6,550	4,547	3,635	
構成比(%)	2.2	1.7	4.9	7.9	5.5	4.4	
分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計

増加数(点)	74	113	34	128	713	263	2,151
除籍数(点)	130	530	131	564	-	564	4,138
総数(点)	1,436	4,428	947	42,222	3,206	8,803	83,140
構成比(%)	1.7	5.3	1.1	50.8	3.9	10.6	100.0

(イ) 視聴覚資料

分類	C D	CD-ROM	DVD	レーザーディスク	ビデオ	合計
増減数(点)	66	2	16	-	△1	83
総数(点)	1,972	2	228	80	1,073	3,355
構成比(%)	58.7	0.1	6.8	2.4	32.0	100.0

(ウ) 逐次刊行物 (単位：種)

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
6	-	41	5	52

エ 貸出状況

(ア) 貸出人数・貸出点数

月	開館日数	貸出人数		貸出点数	
		貸出人数(人)	一日平均(人)	貸出点数(点)	一日平均(点)
4	25	836	33	3,880	155
5	27	888	33	4,113	152
6	26	890	34	4,306	166
7	26	1,049	40	5,112	197
8	27	1,184	44	5,632	209
9	25	901	36	4,414	177
10	27	951	35	4,347	161
11	26	970	37	4,356	168
12	24	874	36	4,000	167
1	22	890	40	4,187	190
2	24	870	36	3,971	165
3	24	852	36	4,143	173
計	303	11,155	37	52,461	173

(イ) 分類別貸出点数

(単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	345	35	55	116	115	268	53	306	16	1,426	1,145	3,880

5	407	57	42	105	164	335	77	302	12	1,415	1,197	4,113
6	463	58	83	135	162	309	74	214	31	1,481	1,296	4,306
7	431	61	62	164	218	273	80	368	25	1,899	1,531	5,112
8	443	65	83	155	296	269	74	438	35	2,101	1,673	5,632
9	390	35	48	99	178	298	63	337	22	1,607	1,337	4,414
10	358	46	41	94	157	254	62	358	24	1,554	1,399	4,347
11	292	50	59	86	150	307	79	252	34	1,552	1,495	4,356
12	360	40	52	112	108	238	50	305	29	1,418	1,288	4,000
1	342	64	73	158	141	239	57	238	28	1,499	1,348	4,187
2	329	49	81	140	122	339	61	251	27	1,414	1,158	3,971
3	404	53	55	159	88	301	44	284	28	1,564	1,163	4,143
計	4,564	613	734	1,523	1,899	3,430	774	3,653	311	18,930	16,030	52,461

※その他(絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料)

オ 利用者登録状況

(7) 新規登録状況

(単位：人)

月	新規登録者数	登録削除	登録変更	総登録者数	新規団体	団体削除	団体合計	総計
4	15	30	-	5,959	-	-	30	5,989
5	8	7	-	5,960	-	-	30	5,990
6	6	4	-	5,962	-	-	30	5,992
7	16	5	-	5,973	1	-	31	6,004
8	20	6	-	5,987	-	-	31	6,018
9	11	6	-	5,992	-	-	31	6,023
10	15	1	-	6,006	1	1	31	6,037
11	77	-	4	6,087	-	-	31	6,118
12	7	2	-	6,092	-	-	31	6,123
1	8	1	-	6,099	-	-	31	6,130
2	5	4	-	6,100	-	-	31	6,131
3	2	5	-	6,097	-	-	31	6,128
計	190	71	4	6,097	2	1	31	6,128

※貸出カード統一化による利用者統合のため、登録の削除が実施されている。

(イ) 年齢別利用者登録状況

(単位：人)

年齢	新規登録者数	総数
～ 6	11	44
7～12	101	496

13～15	4	334
16～18	2	295
19～22	1	465
23～29	3	1,011
30～39	20	995
40～49	16	917
50～59	8	705
60～	25	835
合計	191	6,097

カ 各種利用件数

(ア) 予約・リクエスト件数 (単位：件)

月	予約件数	リクエスト 件数	合計
4	103	29	132
5	116	40	156
6	132	29	161
7	140	37	177
8	124	32	156
9	123	31	154
10	133	19	152
11	112	31	143
12	93	27	120
1	173	34	207
2	123	25	148
3	146	25	171
計	1,518	359	1,877

※インターネット予約件数は、館別統計がとれないため、全館共通の数字を栃木図書館に記載。

(イ) レファレンス件数 (レファレンス=利用者からの相談や、調査の支援)

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	計
4	81	2	-	83
5	75	4	-	79
6	77	3	-	80
7	114	2	-	116
8	114	5	-	119
9	68	2	-	70
10	65	1	-	66
11	65	1	-	66

12	51	5	-	56
1	85	3	-	88
2	50	2	-	52
3	63	1	-	64
計	908	31	-	939

(ウ) 相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	204
借受数	330

(エ) 読書室・コピー利用件数

月	読書室 （件）	コピー	
		件数（件）	枚数（枚）
4	93	4	10
5	169	4	14
6	162	4	13
7	278	7	17
8	525	7	10
9	195	3	7
10	175	2	7
11	266	5	8
12	233	7	57
1	212	-	-
2	218	8	28
3	182	5	14
計	2,708	56	185

(6) 西方分館

ア 自主事業

(ア) 幼児・児童向け事業

a おはなし会

- ・実施日 毎月第3土曜日 午前11時～
- ・出演 おはなし☆きらら
- ・参加者 75人（大人20人、子ども55人）
- ・読み聞かせ「わくわく楽しい話」 工作 ほか

b 特別版おはなし会

- ・実施日 11月10日（日）
- ・出演 ふじおかおはなし会コロポックル

- ・参加者 20人（大人14人、子ども6人）
- ・大型紙芝居「どうぞのいす」・人形劇「こびとのくつや」

イ その他の事業

(ア) 広報活動

- ・ホームページによる広報
- ・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」（通年）

(イ) 施設見学

西方小学校2年生 44人

(ウ) 職場体験学習

西方中学校2年生 1人

ウ 資料の状況

(ア) 図書資料

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術		
増加数(点)	63	64	244	244	193	179		
除籍数(点)	-	-	-	-	-	-		
総数(点)	386	530	1,419	1,253	953	812		
構成比(%)	2.4	3.2	8.6	7.6	5.8	4.9		
分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計	
増加数(点)	67	154	50	654	3	411	2,326	
除籍数(点)	-	-	-	-	-	-	-	
総数(点)	308	925	227	7,419	155	2,055	16,442	
構成比(%)	1.9	5.6	1.4	45.1	1.0	12.5	100.0	

(イ) 視聴覚資料

分類	CD-ROM	DVD	合計
増減数(点)	1	7	8
総数(点)	1	7	8
構成比(%)	12.5	87.5	100.0

(ウ) 逐次刊行物

(単位：種)

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
3	-	18	1	22

エ 貸出状況

(ア) 貸出人数・貸出点数

月	開館日数	貸出人数		貸出点数	
		貸出人数(人)	一日平均(人)	貸出点数(点)	一回平均(点)
4	25	178	7	509	20

5	27	215	8	632	23
6	26	180	7	571	22
7	26	156	6	489	19
8	27	204	8	623	23
9	25	156	6	475	19
10	27	158	6	497	18
11	26	220	8	691	27
12	24	187	8	581	24
1	24	219	9	676	28
2	24	199	8	669	28
3	24	195	8	582	24
計	305	2,267	7	6,995	23

(イ) 分類別貸出点数

(単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	57	13	39	14	25	55	11	20	6	178	91	509
5	52	12	22	12	19	71	13	22	6	252	151	632
6	64	6	48	16	25	41	5	29	5	169	163	571
7	45	9	20	13	26	36	6	34	4	180	116	489
8	38	10	35	9	39	39	5	27	7	227	187	623
9	68	13	24	11	28	23	5	24	1	159	119	475
10	84	8	33	8	18	40	13	21	2	167	103	497
11	73	9	32	27	48	66	20	30	-	209	177	691
12	75	13	37	32	26	56	17	32	6	203	84	581
1	65	9	45	41	30	61	6	31	6	213	169	676
2	75	10	43	26	34	44	4	24	1	231	177	669
3	73	5	13	21	21	36	8	16	7	235	147	582
計	769	117	391	230	339	568	113	310	51	2,423	1,684	6,995

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

オ 利用者登録状況

(ア) 新規登録状況

(単位：人)

月	新規登録者数	登録削除	登録変更	総登録者数	新規団体	団体合計	総計
4	3	-	-	194	1	2	196
5	3	-	1	198	-	2	200

6	4	-	-	202	-	2	204
7	4	-	1	207	-	2	209
8	9	-	-	216	-	2	218
9	3	-	-	219	-	2	221
10	2	-	-	221	-	2	223
11	3	-	-	224	-	2	226
12	4	-	-	228	-	2	230
1	4	-	-	232	-	2	234
2	2	-	-	234	-	2	236
3	3	-	-	237	-	2	239
計	44	-	2	237	1	2	239

※貸出カードの統一により、登録の削除や登録館変更が実施されている。

(イ) 年齢別利用者登録状況 (単位：人)

年齢	新規登録者数	総数
00～16	4	10
7～12	9	50
13～15	1	13
16～18	-	6
19～22	1	2
23～29	4	7
30～39	9	38
40～49	3	29
50～59	3	18
60～60	10	64
合計	44	237

カ 各種利用件数

(ア) 予約・リクエスト件数 (単位：件)

月	予約件数	リクエスト件数	合計
4	75	-	75
5	90	2	92
6	42	-	42
7	59	1	60
8	38	-	38
9	55	1	56
10	43	-	43

11	68	-	68
12	52	-	52
1	94	-	94
2	29	2	31
3	24	2	26
計	669	8	677

※インターネット予約件数は、館別統計が取れないため、全館共通の数字を栃木図書館に記載。

(イ) レファレンス件数（レファレンス＝利用者からの相談や、調査の支援）

（単位：件）

月	口頭	電話	文書	計
4	19	-	1	20
5	20	-	-	20
6	6	-	-	6
7	4	-	-	4
8	6	-	-	6
9	5	-	-	5
10	13	-	-	13
11	11	-	-	11
12	12	-	-	12
1	9	-	-	9
2	8	-	-	8
3	24	-	-	24
計	137	-	1	138

(ウ) 相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	62
借受数	7

(エ) 読書室・コピー利用件数

月	読書室 （件）	コピー件数	
		件数（件）	枚数（枚）
4	37	2	7
5	23	1	1
6	21	1	1
7	12	-	-
8	29	1	2

9	9	-	-
10	14	-	-
11	7	1	2
12	14	1	2
1	2	1	1
2	11	1	1
3	7	-	-
計	186	9	17

第4節 スポーツ振興課

〔総括概要〕

スポーツ振興課の主な分掌事務は、社会体育施設（運動公園施設を除く）の設置計画及び管理運営、社会体育学校施設の開放、スポーツ振興基金の管理、生涯スポーツの普及振興、生涯スポーツ関係団体の育成及び支援、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員に関することである。

社会体育学校施設の開放については、夜間照明施設の電球交換、配電盤等の改修を行い、利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営に努めた。

生涯スポーツの普及振興については、中高年者が健康で活力に満ちた有意義な日々が送れるように各種大会を開催し、「いつでも、どこでも、だれでも」気軽に参加できるペタンク等ニュースポーツの普及推進を図った。また、小・中学生の健全育成を図るため、少年スキー教室等の開催及びスポーツ少年団活動の普及推進に努めた。

生涯スポーツ関係団体の育成及び支援については、「市民ひとり1スポーツ・スポーツで築く、健康で明るい家庭」を目指す体育協会（5地区37専門部）が実施する事業及び指導者育成を支援、推進することにより市民の競技力の向上を図った。

スポーツ振興担当

1 社会体育施設

(1) 施設の種類

施設名	建設年	面積（㎡）		備考
		敷地	建物	
剣道場	明治44年	437.25	163.70	木造瓦葺平屋
弓道場	昭和28年	102.47	76.00	木造瓦葺平屋
皆川東宮運動場	昭和46年	14,889.23	6.00	
柳原河川敷運動場	昭和52年	12,608.00	6.23	ブロック造WC
大光寺河川敷運動場	昭和52年	13,028.00	6.23	ブロック造WC
尻内河川敷運動場	昭和54年	5,950.00	9.91	木造平屋WC
大塚運動広場	平成2年	15,942.90	7.69	木造平屋WC
大宮運動広場	平成5年	15,257.00	21.00	木造平屋WC
大皆川ニュースポーツ広場	平成16年	11,367.00	-	
城内ニュースポーツ広場	平成18年	7,200.00	-	
屋内運動場	平成4年	3,724.23	1,062.80	鉄骨造鋼板葺平屋

(2) 利用状況

(単位:人)

施設名 月	剣道場	弓道場	大光寺 河川敷 運動場	柳原 河川敷 運動場	大塚 運動広場	大宮 運動広場	大 皆川 ニュー スポーツ 広場	城 内 ニ ュー ス ポ ー ツ 広 場	屋 内 運 動 場	合 計
4月	241	370	670	360	1,037	3,000	382	790	549	7,399
5月	224	311	740	400	1,138	3,083	424	995	649	7,964
6月	272	492	740	450	1,135	3,139	428	935	655	8,246
7月	237	401	695	385	1,060	3,319	453	1,010	634	8,194
8月	215	216	820	360	1,102	3,143	661	1,005	599	8,121
9月	190	385	755	440	1,145	4,132	389	940	746	9,122
10月	222	417	650	360	992	3,491	349	995	733	8,209
11月	299	356	690	400	870	3,860	495	880	683	8,533
12月	189	321	690	360	885	2,661	335	785	627	6,853
1月	193	348	625	360	930	2,792	291	740	459	6,738
2月	167	132	635	360	930	2,813	247	820	979	7,083
3月	218	226	890	330	1,610	3,344	330	975	634	8,557
合計	2,667	3,975	8,600	4,565	12,834	38,777	4,784	10,870	7,947	95,019
平均	222	331	717	380	1,070	3,231	399	906	662	7,918

2 学校屋外運動場夜間照明施設関係

(1) 利用状況

(単位:件)

学校名 月	栃木 中央小	栃木 第三小	栃木 第五小	南 小	皆川 城東小	栃木 東中	東 陽中	吹 上中	寺 尾中	栃木 商業 高校	栃木 高校	合 計
4月	-	14	10	19	-	12	11	3	1	5	2	77
5月	2	16	13	20	-	14	11	7	-	6	4	93
6月	1	14	10	15	1	10	9	0	1	5	4	70
7月	1	13	11	23	1	11	6	5	2	4	1	78
8月	3	8	6	13	5	6	6	7	1	6	1	62
9月	-	13	12	19	-	7	11	1	-	3	2	68

10月	2	12	9	16	-	12	8	2	-	7	2	70
11月	3	10	10	17	-	11	8	-	-	4	3	66
12月	3	7	9	16	-	9	6	-	-	-	3	53
1月	4	7	7	16	-	11	7	-	-	4	3	59
2月	5	5	5	15	-	9	5	-	-	1	3	48
3月	4	10	5	14	-	10	3	1	-	6	2	55
合計	28	129	107	203	7	122	91	26	5	51	30	799
平均	2.3	10.8	8.9	16.9	0.6	10.2	7.6	2.2	0.4	4.3	2.5	66.6

(2) 施設

種別 学校名	被照明面積 (㎡)	平均照度 (ルクス)	照 明 柱	完 成 年 度
栃木中央小	4,500	224	5基 8灯 - 5基	平成24年 8月
栃木第三小	4,556	159	6基 6灯 - 2基 8灯 - 4基	昭和57年 6月
栃木第五小	4,500	107.6	5基 6灯 - 2基 4灯 - 3基	昭和55年10月
南 小	5,142.5	228	7基 6灯 - 3基 8灯 - 4基	昭和59年 8月
皆川城東小	6,375	138	8基 7灯 - 4基 6灯 - 4基	昭和57年 6月
栃木東中	8,500	115	7基 7灯 - 2基 6灯 - 5基	昭和56年10月
東陽中	9,100	120	7基 7灯 - 7基	昭和56年10月
吹上中	4,900	210	6基 6灯 - 2基 8灯 - 4基	昭和56年 8月
寺尾中	3,724	108.3	6基 4灯 - 6基	昭和55年10月

3 県民スポーツ大会中央大会関係

平成25年度栃木県民スポーツ大会

- ・実施日 10月20(日)、27日(日)、11月3日(日)
- ・参加者 266人
- ・会 場 県総合運動公園ほか23会場
- ・結 果 総合第7位

4 県南五市大会関係

開催日	事業名	参加者(人)	会場
6月30日(日) 7月7日(日)	第67回県南五市対抗親善総合競技大会	467	佐野市 ニッコー栃木総合射撃場
1月13日(月)	第64回県南五市対抗親善駅伝競走大会	30	足利市→小山市
2月24日(月)	第61回県南四市対抗親善スキー大会	19	苗場スキー場

5 国民体育大会

(1) 第68回国民体育大会本大会

- ・実施期間 9月11日(水)～9月15日(日)、9月28日(土)～10月8日(火)
- ・開催地 東京都
- ・参加者

No.	種目	氏名	備考
1	ボート	戸田圭一	成年監督
2	ボート	五月女尚宏	成年男子選手
3	陸上(100m)	齋藤仁志	成年男子選手
4	陸上(5000m)	栃木渡	少年男子選手
5	陸上(走高跳・三段跳)	中島大輔	少年男子選手
6	サッカー	瀧澤進吾	成年男子選手
7	サッカー	岩城正明	成年男子選手
8	サッカー	齋藤翔太	成年男子選手
9	サッカー	森本恭介	成年男子選手
10	ボクシング(ライトウェルター級)	坂本拓舞	少年男子選手
11	バレーボール	福田均	少年女子監督
12	バレーボール	中西美森	少年女子選手
13	セーリング	関川祐樹	成年男子選手
14	ウエイトリフティング	須田俊幸	成年男子選手
15	ウエイトリフティング	高際恭平	成年男子選手
16	ウエイトリフティング	飯塚崇亮	成年男子選手
17	ウエイトリフティング	関口さとし	少年男子選手
18	ウエイトリフティング	阿久津晋治	少年男子選手
19	自転車	早乙女貴英	少年男子選手
20	フェンシング	星野貴智	成年男子選手
21	フェンシング	飯塚友亮	成年男子選手
22	柔道	新井隆義	成年男子監督
23	柔道	羽鳥雄介	成年男子選手
24	柔道	葭葉国士	少年男子監督
25	柔道	太田竜聖	少年男子選手
26	柔道	太田彪雅	少年男子選手
27	柔道	山内真子	少年女子選手
28	弓道	小矢島貴皓	成年男子選手

29	剣道	荒川涼次	成年男子選手
30	なぎなた	増山和甫	成年女子選手
31	なぎなた	早乙女美樹	少年女子選手

(1) 第69回国民体育大会本大会

- ・実施期間 1月28日(火)～2月2日(日)、2月21日(金)～2月24日(月)
- ・開催地 栃木県、山形県
- ・参加者

No.	種目	氏名	備考
1	フィギュアスケート	檜山智美	少年女子選手
2	クロスカントリー	佐藤岳史	成年男子選手A

6 第1回栃木市民スポーツフェスティバル

市民一人ひとりが生涯にわたって明るく活力に満ちた生活を送ることは、私たちの願いである。そのために、世代間・地域間の交流を深め、生涯スポーツの推進並びに市民の健康の増進及び体力の増強を図り、連帯感あふれるふるさと栃木をつくることを目的に大会を開催した。

実施日	競技種目	参加者(人)	会場
8月18日(日) 24日(土) 25日(日) 31日(土)	軟式野球(社会人,学童) フットベースボール(一般女子,学童) ソフトボール(壮年男子,一般女子) 卓球(硬式,ラージボール) バレーボール(一般女子)、ゲートボール ソフトテニス、テニス グラウンド・ゴルフ ターゲット・バードゴルフ ソフトバレーボール(一般女子,男女混合) レクリエーション(綱引き,玉入れ,大玉ころがし)	10,143 (観覧者含む)	・総合運動公園 各競技場 ・大皆川ニュースポーツ広場

7 第1回 来て・観て・歩こう あったか栃木市ウォーキング大会

ウォーキングは、日頃、運動をしていない人でも気軽に参加できるスポーツであり、ラムサール条約登録湿地となった渡良瀬遊水地などの豊かな自然と、趣のある街並み、古くから継承されてきた伝統文化に触れながら、ウォーキングを通して楽しく生き生きと健康や体力づくりを行い、交流を深めることを目的とし、栃木市の魅力を市内外に発信するウォーキングイベントとして開催した。

- ・実施日 11月3日(日)
- ・コース 1:栃木市縦断コース(30km)
2:渡良瀬遊水地 谷中湖コース(13km)
3:渡良瀬遊水地 湿地コース(8km)

・参加者 419人

8 生涯スポーツ推進事業

小中学生の健全な育成を図ることを目的とした「少年スポーツ振興事業」と、中高年が健康で豊かな生活を確保することを目的とした「中高年スポーツ振興事業」の2つを生涯スポーツ推進事業として、下記の各種スポーツ教室等を開催した。

(1) 少年スポーツ振興事業

教室名	開催期日	会場	受講者(人)
サッカー	4月13日, 20日, 11月9日, 23日 各日(土)	総合運動公園	延べ280
陸上競技	10月12日, 26日, 11月2日, 16日 各日(土)	陸上競技場	延べ250
ラグビー	11月3日(日), 9日(土), 17日(日), 24日(日) 12月1日(日), 7日(土)	永野川緑地公園	延べ240
スキー	1月18日(土)～19日(日)	たかつえスキー場	97

行事名	開催期日	会場	参加者(人)
第35回栃木市小・中学校 ハンドボール大会	2月8日(土) 9日(日)	総合体育館	335

(2) 中高年スポーツ振興事業

行事名	開催期日	会場	参加者(人)
第34回栃木市教育委員会 ゲートボール大会	5月13日(月)	総合運動公園	115

9 栃木市スポーツリーダーバンク

市民の健康づくり、体力づくりに対する関心の高まりとともに、増大する地域や職域からの指導養成に対応して適切なスポーツ活動指導者を派遣し、「市民の体力増進と地域の連帯感あふれる明るく健康なまちづくり」を推進するため設置されたスポーツリーダーバンクの業務を行った。

スポーツリーダーバンク登録種目及び登録者数 (単位：人)

種目	人数	種目	人数	種目	人数
バレーボール	3	剣道	1	グラウンドゴルフ	8
バスケットボール	2	空手道	4	水泳	3
スキー	2	テニス	4	ターゲットバードゴルフ	1
弓道	2	太極拳	7	山岳	1
ゲートボール	1	陸上競技	4	野外活動	1
サッカー	3	フォークダンス	6	ボールルームダンス	1

10 栃木市体育協会事業

(1) 総合大会

開催期日	行 事 名	参加者(人)	場 所
6月30日(日) 7月7日(日)	第67回県南五市対抗親善総合競技大会	467	佐野市 ニッコー栃木総合射撃場
8月18日(日) 24日(土) 25日(日) 31日(土)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル	10,143	総合運動公園 大皆川ニュースポーツ広場
10月20日,27日 11月3日各日(日)	平成25年度栃木県民スポーツ大会	266	宇都宮市 栃木市

(2) 体育祭

開催期日	行 事 名	参加数(人)	場 所
9月1日(日)	平成25年度国府地区民体育祭	2,000	大塚運動広場
9月8日(日)	第55回吹上地区体育祭	4,500	吹上中
9月28日(土)	平成25年度赤麻地区民体育祭	500	赤麻小
9月28日(土)	平成25年度三鴨地区民体育祭	400	三鴨小
9月29日(日)	平成25年度大宮地区体育祭	1,000	大宮運動広場
10月6日(日)	第64回寺尾地区体育祭	700	寺尾中
10月13日(日)	平成25年度皆川地区体育祭	1,000	皆川城東小
10月13日(日)	第44回第二支部体育祭	80	栃木中央小
10月13日(日)	第56回大平地区体育祭	2,800	大平運動公園
10月13日(日)	西方地区体育祭	2,000	西方中

(3) 野球

開催期日	行 事 名	参加者数	場 所
3月24日(日) ～5月19日(日)	第3回春季栃木市軟式野球大会(A・B・C・Dクラス)	1,880	総合運動公園 大平運動公園 つがスポーツ公園 藤岡渡良瀬運動公園
3月30日(土) ～4月14日(日)	第3回栃木市春季学童軟式野球大会	500	
4月27日(土) ～29日(月)	平成25年度スポーツ少年団軟式野球大会下都賀地区予選	280	
5月11日(土) ～26日(日)	第57回高松宮賜杯全日本軟式野球大会2部	1,040	
5月26日(日) ～6月16日(日)	第3回栃木市春季壮年軟式野球大会	240	
5月26日(日) ～7月7日(日)	第3回栃木市体育協会長杯軟式野球大会1部	580	
5月26日(日) ～7月7日(日)	第3回栃木市体育協会長杯軟式野球大会2部	820	
6月2日(日) ～6月30日(日)	第3回栃木市学童軟式野球大会	460	

7月7日(日) ～8月4日(日)	第10回栃木県議会議長杯軟式野球大会	1,020
8月11日(日) ～15日(木)	第30回マクドナルドカップ町内選抜学童軟式野球大会	1,200
8月18日(日) ～25日(日)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル一般軟式野球	280
8月24日(土) ～25日(日)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル学童軟式野球	240
9月1日(日) ～11月10日(日)	第3回秋季栃木市軟式野球大会(A・B・C・Dクラス)	1,780
9月8日(日) ～23日(月)	第3回栃木市新人学童軟式野球大会	500
10月19日(土) ～11月4日(月)	第10回蔵の街学童軟式野球大会	720
11月3日(日) ～11月17日(日)	第3回栃木市秋季壮年軟式野球大会	240
11月23日(土)	栃木市内高校野球OB親睦野球大会	240
3月8日(土) ～9日(日)	栃木市・新発田市スポーツ少年団交流会	50
3月23日(日) ～3月30日(日)	第4回春季栃木市軟式野球大会(A・B・C・Dクラス)	2,040
3月29日(土) ～3月30日(日)	第4回栃木市春季学童軟式野球大会	500

(4) 剣道

開催期日	行事名	参加者数	場所
8月25日(日)	第33回栃木地区少年剣道錬成大会	280	大平体育館
9月29日(日)	第60回近県剣道大会	1,295	総合体育館
2月2日(日)	栃木市民剣道大会	230	國學院記念館
	隣接支部対抗剣道大会	80	

(5) 柔道

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
10月27日(日)	第33回大平町少年柔道クラブ柔道大会	57	大平武道館
11月23日(土)	第29回栃木市少年柔道大会	90	
3月23日(日)	都賀少年柔道大会	90	大柵コミュニティセンター

(6) バスケットボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月13日(土) ～14日(日)	第1回蔵の街交流会ミニバスケットボール大会	240	西方総合文化体育館
6月1日(土) ～2日(日)	第2回蔵の街交流会ミニバスケットボール大会	240	

6月2日(日) ～6月30日(日)	第15回栃木市バスケットボールリーグ戦	480	栃木南中 ホコミュニティセンター
8月3日(土) ～4日(日)	第6回蔵の街杯ミニバスケットボール大会	360	総合体育館
12月1日(日) ～8日(日)	第39回栃木市民バスケットボール選手権大会	210	

(7) 陸上

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月20日(土) ～21日(日)	第29回全国小学生陸上競技交流大会 陸上教室内選考会	250	陸上競技場
5月11日(土)	第17回下都賀ジュニア陸上大会	200	
6月2日(日)	第1回栃木市民陸上大会	500	
6月16日(日)	第29回全国小学生陸上競技交流大会 栃木県予選会	800	
8月23日(金) ～24日(土)	第29回全国小学生陸上競技交流大会	1,000	横浜日産スタジアム
10月19日(土)	第16回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会 栃木県予選会	200	陸上競技場
12月7日(土)	第4回栃木市長距離走大会	30	
12月7日(土) ～8日(日)	第16回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会	600	
1月1日(水)	第38回栃木市元旦マラソン大会	450	
1月26日(日)	第6回栃木県小学生駅伝大会	300	

(8) 卓球

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月28日(日)	第6回北関東中学生卓球大会	900	総合体育館
5月18日(土)	第56回栃木市卓球選手権大会(小中学生の部)	450	
5月19日(日)	第56回栃木市卓球選手権大会(一般の部)	250	
7月14日(日)	栃木卓球リーグ(前期)	600	
7月21日(日)	第12回とちぎ蔵の街オープンラージボール卓球大会	300	
8月11日(日)	第20回とちぎ蔵の街オープン硬式卓球大会	200	
9月23日(月)	第27回あすなる卓球大会(個人)	800	
11月4日(月)	第15回ラージボール愛好者フェスティバル	110	
12月23日(月)	第27回あすなる卓球大会(団体)	800	
1月12日(日)	第19回栃木オープンラージボール卓球大会	300	
2月15日(土)	栃木卓球リーグ(後期)	600	

(9) ソフトテニス

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月5日(日)	栃木市民ソフトテニス選手権大会(一般男子・シニア男子60・女子)	68	総合運動公園
5月18日(土)	栃木市民ソフトテニス選手権大会(中学生男子・女子)	266	

5月23日(木)	第2回栃木市オープンソフトテニス大会(男子60・女子45, 60, 70)	80
6月20日(木)	第34回家庭婦人ソフトテニス大会(A, Bクラス)	16
10月12日(土)	第39回栃木地区中学新人ソフトテニス大会(男子・女子)	320
11月3日(日) ～4日(月)	第63回近県高校新人ソフトテニス選手権大会(女子・男子)	962

(10) 射撃

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月6日(月)	栃木市長杯大会, 選手権大会	25	ニッコー栃木総合射撃場
6月30日(日)	第67回県南五市対抗親善総合競技大会 射撃	18	
10月20日(日)	県民スポーツ大会ビームライフル	10	県立県北体育館
10月27日(日)	県民スポーツ大会クレール射撃	5	ニッコー栃木総合射撃場

(11) テニス

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月7日(日)	春季シングルステニス大会	52	総合運動公園
5月12日(日)	西方地区春季テニス大会	10	西方テニスコート
5月19日(日)	春季ダブルステニス大会	40	総合運動公園
6月5日(水)	あじさい杯テニス大会	54	
7月7日(日)	第4回つがオープンテニス大会	64	つがスポーツ公園
8月3日(土)	夏季オープンジュニアシングルステニス大会	18	総合運動公園
9月1日(日) ～8日(日)	オープンシングルステニス大会	78	
10月26日(土)	秋季オープンジュニアシングルステニス大会	44	
11月3日(日)	西方地区秋季テニス大会	10	西方テニスコート
11月6日(水)	もみじ杯テニス大会	49	総合運動公園
12月14日(土) ～15日(日)	第17回栃木市藤岡町渡良瀬近県テニストーナメント	60	藤岡渡良瀬運動公園
12月23日(月)	栃木市合併記念ミックスダブルステニス大会	44	総合運動公園

(12) バレーボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月19日(日)	栃木市春季ママさんバレーボール大会	120	大平体育館
5月19日(日)	西方地域春季バレーボール大会	90	西方総合文化体育館
6月9日(日)	栃木市春季ソフトバレーボール大会	264	藤岡総合体育館
6月16日(日)	栃木市長杯争奪バレーボール大会	90	都賀南部コミュニティーセンター
6月30日(日)	栃木市ママさんバレーボール大会	60	大平体育館
7月7日(日)	西方地域七夕杯バレーボール大会	90	西方総合文化体育館
9月15日(日)	栃木市秋季ママさんバレーボール大会	60	大平体育館
9月22日(日)	大平地域自治会対抗バレーボール大会	210	
10月6日(日)	栃木市秋季ソフトバレーボール大会	232	藤岡総合体育館

10月13日(日)	栃木市6人制バレーボール大会	60	都賀南部コミュニティセンター
10月27日(日)	栃木市選手権ママさんバレーボール大会	30	大平体育館
11月2日(土)	栃木市中学生バレーボール選手権大会	288	都賀中体育館ほか
11月10日(日)	栃木市バレーボール選手権大会	90	都賀南部コミュニティセンター
11月24日(日)	西方地域秋季バレーボール大会	90	西方総合文化体育館
12月1日(日)	藤岡わたらせソフトバレーボール大会	300	藤岡総合体育館
3月2日(日)	栃木市小学生バレーボール大会	70	栃木第三小

(13) 相撲

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月2日(日)	第46回栃木市青少年相撲大会	155	栃木東中

(14) 弓道

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
7月21日(日)	第32回栃木市民弓道大会	95	総合運動公園
10月14日(月)	第21回栃木蔵の街県下弓道大会	144	

(15) 山岳

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
8月24日(土) ～25日(日)	第103回市民ハイキング	29	乗鞍岳、上高地

(16) 水泳

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
9月1日(日)	第31回栃木市民水泳大会	145	総合運動公園

(17) スキー

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
12月28日(土) ～30日(月)	苗場スキースクール	70	苗場スキー場
1月7日(火)	都賀町親子スキー・スノーボード教室	50	ハンターマウンテン
2月1日(土) ～2日(日)	スキースクール	70	蔵王スキー場
2月1日(土)	市民スキー祭	80	エーデルワイススキー場
2月24日(月)	第61回県南四市対抗親善スキー大会	30	苗場スキー場

(18) サッカー

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
3月～9月	栃木市社会人サッカーリーグ	120	総合運動公園
5月25日(土)	栃木市少年サッカー春季大会	80	
8月3日(土) ～4日(日)	蔵の街小学生サッカーフェスティバル蔵の街カップ2013	250	
10月27日(日)	第10回J Cカップ少年サッカー大会	140	

11月24日(日) ～12月8日(日)	栃木市社会人サッカー選手権大会	60	
12月1日(日)	栃木市サッカーフェスティバル	90	
12月21日(土) ～28日(土)	蔵の街高校サッカーフェスティバル	800	
1月19日(日) ～2月23日(日)	栃木市社会人サッカートーナメント	60	
3月1日(土) ～9日(日)	第26回栃木ライオンズクラブ旗争奪中学生サッカー大会	300	

(19) ハンドボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
12月7日(土) ～8日(日)	第43回栃木市民選手権ハンドボール大会	250	総合体育館
2月8日(土) ～9日(日)	第35回栃木市小中学校ハンドボール大会	450	

(20) フットベースボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月4日(土) ～5日(日)	第14回栃木市学童春季フットベースボール大会 第18回学童キック大会	245	総合運動公園
5月6日(月)	第3回栃木市春季一般女子フットベースボール大会 第3回一般女子キック大会	130	
5月12日(日) ～26日(日)	第30回栃木市スポーツ少年団フットベースボール大会	130	
7月14日(日) ～21日(日)	第58回栃木市学童フットベースボール大会 第19回学童キック大会	262	
8月18日(日) ～25日(日)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル 学童・一般女子	250	
9月8日(日) ～29日(日)	第17回セントラルライオンズ杯大会	180	
9月22日(日) ～23日(月)	第12回関東フットベースボール大会栃木予選会	150	
9月29日(日)	第24回栃木市一般女子フットベースボール大会 第7回秋季一般女子キック大会	110	
10月13日(日) ～14日(月)	第30回栃木市スポーツ少年団フットベースボール新人大会	98	
11月3日(日) ～4日(月)	第30回栃木市学童フットベースボール新人大会 第20回学童キック大会	175	
11月10日(日)	第12回関東フットベースボール大会	290	

(21) 体操

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
10月14日(月)	第42回市民体操選手権大会	20	東陽中

(22) バドミントン

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月5日(日)	第37回栃木市春季バドミントン大会	130	総合体育館
12月22日(日)	第37回栃木市秋季バドミントン大会	300	
3月2日(日)	第70回栃木市会長杯バドミントン大会	150	

(23) ゴルフ

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
3月2日(日)	第4回市民ゴルフ大会	260	都賀カンツリー倶楽部

(24) 空手道

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
8月23日(金)	第3回栃木市民空手道選手権大会	110	総合体育館
11月3日(日)	第37回関東地区空手道選手権大会	576	

(25) ラグビーフットボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
12月22日(日)	第21回栃木市ラグビー祭	225	総合運動公園
2月2日(日)	第2回栃木カップ大会	200	

(26) ソフトボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月12日(日) ～6月23日(日)	第31回会長杯ソフトボール大会	1,000	総合運動公園
8月18日(日) ～31日(土)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル	400	
9月1日(日) ～10月27日(金)	第32回栃木市長杯ソフトボール大会	1,000	
9月8日(日) ～15日(日)	第15回県南地区親善シニアソフトボール大会	250	
9月14日(土) ～15日(日)	第15回県南地区小学生女子親善ソフトボール大会	150	
9月21日(土)	第2回栃木県スーパーシニアソフトボール大会	75	藤岡渡良瀬運動公園

(27) ゲートボール

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月22日(月)	第30回春のオープンゲートボール大会 第27回交通安全ゲートボール大会	125	総合運動公園
5月13日(月)	第34回栃木市教育委員会ゲートボール大会	115	
5月27日(月)	第49回栃木支部親善ゲートボール大会	120	

7月7日(日)	第67回県南五市対抗ゲートボール大会	120	田沼グリーンスポーツセンター
8月24日(土)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル	110	総合運動公園
10月10日(木)	第11回フラワーホールつかさ杯ゲートボール大会	101	屋内運動場
10月28日(月)	第29回秋のオープンゲートボール大会	130	総合運動公園
12月27日(金)	第50回栃木支部親善ゲートボール大会	120	

(28) 太極拳

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
12月14日(土)	第14回栃木市太極拳交流大会	296	総合体育館

(29) サイクリング

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
5月～9月	おはようサイクリング	344	市内
6月～10月	遠乗りサイクリング	85	壬生町・都賀町

(30) グラウンド・ゴルフ

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月12日(金)	第3回定期総会交歓交流大会	380	大平運動公園GG場
5月7日(火)	第3回栃木市GG交流大会	432	総合運動公園
8月31日(土)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル	204	
9月17日(火)	第3回栃木市GG協会・市長杯大会	471	大平運動公園GG場
10月3日(木)	第3回栃木市レディス交歓西方大会	222	西方総合公園
11月12日(火)	第3回栃木市ペアー交流藤岡大会	356	藤岡渡良瀬運動公園

(31) レクリエーション

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月29日(月)	太平山周辺ハイキング	103	大中寺・晃石山
7月14日(日)	奥日光ハイキング	31	半月山～中禅寺湖
1月18日(土)	小学生ドッチボール大会	116	大平体育館

(32) フォークダンス

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
12月15日(日)	創立50周年記念フォークダンス大会	580	総合体育館

(33) ウェイトリフティング

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月1日(土)	第3回ウェイトリフティング部記録挑戦会	10	大平運動公園
11月2日(土)	第4回ウェイトリフティング部記録挑戦会	8	

(34) ラージボール卓球

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
3月25日(火) ～28日(金)	藤岡ラージボールクラブリーグ戦	30	藤岡総合体育館

(35) リバースポーツ

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月4日(火)	小山市アルカディア・カヌー教室	15	谷中湖
6月22日(土) ～9月23日(月)	カヌー・カヤック体験	136	藤岡小・総合運動公園プール
8月19日(月)	カヌー・カヤック川下り	6	うずま川

(36) 綱引

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月9日(日)	関東綱引選手権大会	10	久喜市総合体育館
8月18日(日)	全日本綱引きフェスティバル	10	東京都中央区総合スポーツセンター
10月13日(日)	関越リーグ	7	埼玉県美里町
1月19日(日)	栃木県綱引選手権大会	12	太田原市体育館
3月1日(土) ～2日(日)	全日本綱引選手権大会	12	駒沢体育館

(37) ターゲット・バードゴルフ

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
6月22日(土)	第41回都賀支部交流T B G大会	83	赤津T B Gコース
7月6日(土)	栃木市T B G協会設立記念大会	94	
8月25日(日)	第1回栃木市民スポーツフェスティバル	82	大皆川ニュースポーツ広場
9月7日(土)	第14回都賀自治区交流T B G大会	65	赤津T B Gコース
10月24日(木)	10月度記録会	39	大皆川ニュースポーツ広場
11月30日(土)	第42回都賀支部交流T B G大会	82	赤津T B Gコース
12月12日(木)	12月度記録会	39	大皆川ニュースポーツ広場
1月18日(土)	栃木市T B G協会初打ち大会	100	赤津T B Gコース

(38) その他

開催期日	行事名	参加者(人)	場所
4月6日(土) ～13日(土)	桜まつり近隣市町村中学校親善野球大会	250	西方総合公園
5月19日(日)	第31回わたらせ市民射撃大会	33	ニッコー栃木総合射撃場
9月21日(土)	ウォータースポーツ教室	16	谷中湖
10月6日(日)	第4回つがスポーツ・レクリエーションフェスティバル	2,863	つがスポーツ公園
11月9日(土) ～10日(日)	第21回わたらせソフトボール大会	200	藤岡渡良瀬運動公園
11月17日(日)	第32回大平地区マラソン大会	414	大平運動公園・日立周辺
12月1日(日)	第15回わたらせバレーボール大会	250	藤岡総合体育館
12月7日(土)	第6回わたらせ招待小学生女子バレーボール大会	200	
12月14日(土) ～15日(日)	第17回わたらせ近県テニストーナメント	100	藤岡渡良瀬運動公園
2月16日(日)	第13回都賀綱引き大会	120	都賀中

11 栃木市スポーツ少年団関係

(1) 事業報告

開催期日	事業名	会場	備考
4月27日(土) 29日(月)	栃木県スポーツ少年団軟式野球交流大会地区予選会	総合運動公園 都賀スポーツ公園	8団参加
5月11日(土) ～12日(日)	栃木県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会市予選大会	睦小(壬生町)・壬生町体育館	4団参加
5月12日(日) ～26日(日)	第30回栃木市スポーツ少年団フットベースボール大会	総合運動公園	6団参加
5月18日(土)	栃木県スポーツ少年団バレーボール交流大会市予選会	栃木第三小	2団参加
6月20日(木)	栃木市スポーツ少年団総会	栃木文化会館	
6月23日(日)	栃木市空手道選手権大会	総合体育館	3団参加
9月16日(月)	栃木県スポーツ少年団剣道交流大会市予選会	蔵の街剣志会白石道場	5団参加
10月13日(日) ～14日(月)	第30回栃木市スポーツ少年団フットベースボール新人大会	総合運動公園	6団参加

(2) 登録人数表

種目	団数 (団体)	指導者数 (人)	団員数(人)		
			男子	女子	合計
フットベースボール	7	35	-	109	109
剣道	5	26	59	20	79
空手道	3	6	31	18	49
卓球	1	3	18	11	29
バレーボール	2	6	-	25	25
柔道	1	4	11	3	14
野球	8	43	124	3	127
ミニバスケットボール	4	9	26	35	61
合計	31	132	269	224	493

第5節 文化課

〔総括概要〕

文化課の主な分掌事務は、文化振興関係事業、文化財保護関係事業及び学芸推進関係事業である。

文化振興関係では、本市の文化芸術の基本的な考えを示し、体系的な施策の展開を図るため文化振興計画の策定を進めるとともに文化振興推進制度を制定した。また、俳句を通して小中学生の豊かな心を育むとともに、本市出身の文豪山本有三の業績を顕彰することを目的として、第23回山本有三記念「路傍の石」俳句大会を実施した。さらに、各種文化団体が開催する展覧会・演奏会等の後援等を行い、その活動を支援した。栃木文化会館については、民間事業者の能力を活用して地域住民に対するサービス向上に努めるとともに、自主事業を開催して市民の教養を高め芸術文化の振興に努めた。また、平成25年度は指定管理者による運営の最終契約年度となり、文化会館のより効率的・効果的な運営を目指すため、市内4館の一括した指定管理者選定を行った。

文化財保護関係では、埋蔵文化財の保護、指定文化財の管理強化、文化財の調査、文化財の資料収集保管、文化財愛護の啓発イベントなどを開催した。また、市内にある文化財保護施設の管理運営等を行った。特に、年々増加する開発に対して調査・回答の充実を図った。

学芸推進関係では、平成21年4月から指定管理者制度を導入したとちぎ蔵の街美術館については、民間事業者の能力を活用して地域住民に対するサービス向上に努めるとともに、各種企画展、展覧会や講演会等の付帯催事、公演、イベント等の事業を開催して市民の知識及び教養の向上に努めた。また、市の芸術文化を市民に紹介するため、市ゆかりの美術工芸作品の購入及び寄附の受け入れを行った。

喜多川歌麿関係では、「吉原の花」の高精細複製画を制作し、その完成を記念したイベントを開催し、市の歌麿を中心とした文化・芸術のまちづくりについて、広く市内外に周知した。また、歌麿と栃木の関わりについて、より多くの方々に知っていただくため、市民団体等と協働で歌麿まつりを開催した。

文化振興担当

1 文化振興関係

(1) 栃木市文化振興計画策定

本市の文化芸術の基本的な考えを示し、体系的な施策の展開を図るためワーキンググループ、策定部会、検討委員会を組織し文化振興計画の策定を進めた。平成25年度は、ワーキンググループで計画の素案を作成し、策定部会、検討委員会において素案の検討を実施した。

ア ワーキンググループ

栃木市の特色があり実効性の高い計画とするため、市民を構成員とするワーキン

グループを設置し、計画の素案を作成した。

- ・開催回数 11回

イ 文化振興計画策定部会

栃木市総合計画に係る教育委員会内関係課等の職員により構成し、計画の素案を検討した。

- ・開催回数 3回

ウ 文化振興計画検討委員会

学識経験者、文化芸術関係団体や社会教育団体の代表者、公募委員等により構成し、計画の素案を検討した。

- ・開催回数 3回

(2) 文化振興推進制度

地域に根ざした個性豊かな文化を継承するとともに、それを更に発展させ、市民協働による「文教・文化都市」を目指すための制度を制定した。

ア 栃木市文化大使の委嘱

市の文人若しくは墨客又は歴史、文化遺産等について造詣が深く専門的な助言や講話ができ、本市と縁のある方を文化大使として委嘱し、本市の文化面の魅力を情報発信するとともに、文化的遺産や文化活動に対して助言、指導をいただくことにより市における文化振興を図る。

- ・委嘱者数 5人（浮世絵研究、文化財保存、建造物保存、国文学・民俗学、埋蔵文化財の学識者）

イ 栃木市文化マイスターの認定

本市の文化面の各分野で調査研究・活動を重ねている団体や個人に申請をいただき、文化マイスターの称号を授与し、自身の活動の励みとしてもらうとともに市や地域の各種事業等へ支援、協力をいただくことにより、栃木市の文化を伝え広め文化振興を図る。

- ・認定者数 団体 12団体
個人 11人

ウ 文化検定の実施

基本書となるガイドブックを作成し市内の文化を広く紹介するとともに、更に詳しく学べる場として分野ごとに市民を対象とした講座を開設し、講座受講生だけでなく受験できる検定試験を実施することにより市民の文化に対する意識高揚を図る。

平成26年度から文化検定を実施するに当たり、平成25年度は、「とちぎガイドブック」を作成した。

(3) 栃木市ふるさと文化振興基金

本市の多くの優れた文化遺産を守り、豊かな芸術文化を育むため、栃木市ふるさと文化振興基金を設置し、市民からの協力をお願いしている。

- ・栃木市ふるさと文化振興基金状況 (単位：円)

個人からの寄附	4人	寄附金額	170,000
団体からの寄附	5団体	寄附金額	129,074

計 (A)	299,074
基金利子	59,350
繰出金 ※	△800,000
計 (B)	△740,650
小計 (A + B)	△441,576
前年度基金額 (C)	50,718,088
基金合計 (A + B + C)	50,276,512

※繰出金内訳：美術作品の購入費（1点）

(4) 第23回山本有三記念「路傍の石」俳句大会

俳句を通して小中学生の豊かな心を育むとともに、本市出身の文豪山本有三の業績を顕彰し、生きる力を身につけさせることを目的として、栃木県内及び友好親善都市である北海道滝川市の小中学校の児童生徒を対象に実施した。

- ・栃木市俳句協会及び特定非営利活動法人山本有三記念会との共催
- ・応募総数 14,649句

期 日	場 所	内 容
7月中旬～9月4日	—	作品募集
8月2日（金）	栃木市市民会館	審査員打合せ会
9月上旬～11月上旬	栃木市市民会館	30人の審査員による審査（第1次、第2次、本選）
11月17日（日）	国府公民館 大交流室ほか	俳句大会表彰式、こども俳句教室

(5) その他の芸術・文化振興関係事業

ア 後援関係

各種文化団体の開催する展覧会、演奏会、発表会等を後援した。

イ 県立博物館等の宣伝等

県立博物館その他の施設からの催物パンフレット・ポスター等の配布・掲示及び広報紙への掲載を行った。

ウ 栃木市文化活動協議会の設立

- ・設 立 日 7月1日（月）
- ・設立目的 加盟する文化活動団体及び個人を支援し、相互の連携強化と親睦融和を図るとともに、市民文化の振興を図る。
- ・活動内容 新春のつどい並びに団体間情報交換会を開催するとともに、各支部で実施する文化祭を支援した。

エ 栃木文化祭

- ・実施期間 9月～12月
- ・場 所 栃木文化会館ほか
- ・内 容 9月27日（金）のオープニングの集いを皮切りに、27の催しが栃木文化会館を主会場に盛大に行われた。

オ 第38回栃木県文化振興大会

第38回栃木県文化振興大会に参加した。

- ・実施日 2月8日(土)
- ・場所 芳賀町民会館
- ・内容 「地域文化の振興を目指して」のテーマのもと、県文化協会や県とともに本市教育委員会及び担当地域の文化協会等が主催者の一員となり、ウェルカムコンサート、記念式典、アトラクション、作品展及び呈茶等を行った。大会は県民・文化行政関係者・各市町文化協会員、出演者・スタッフ等、多くの方が参加・関与して、盛大に行われた。

2 文化会館関係

(1) 文化会館運営委員会会議

実施日	審議事項
6月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度実績報告について ・栃木市文化会館指定管理者募集要項について
1月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度からの文化会館の運営について
3月18日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度自主事業等経過報告 ・平成26年度事業計画について

(2) 栃木文化会館

ア 自主事業関係

事業名	実施日等	入場料	入場者数(人)
住民参加型 ホールの舞台で 〇〇してみませんか	5月3日(金)、4日(土)、 5日(日) 午前10時開演 会場：大ホール	1時間 3,000円	34
住民参加型 マラソンプИАノ in小ホール	7月13日(土) 第一部：午前10時～ 第二部：午後1時10分～ 会場：小ホール	無料	107
住民参加型 夏休み特別企画 親子バックステージツアー	8月10日(土)、11日(日) 午後1時～午後3時30分 【開催時間(90分)】 会場：大ホール	無料	55
共催事業 下野楽遊奏楽塾演奏会	9月29日(日) 午後1時30分開演 会場：大ホール	2,500円	201
住民参加型 マラソンプИАノ in大ホール	3月1日(土) 第一部：午前10時～ 第二部：午後1時10分～ 第三部：午後3時10分～ 会場：大ホール	無料	131

共催事業 「劇団IQ5000が栃木にやってくる」	3月7日（金） 午後6時開演 会場：大ホール	大人2,500円 学生1,000円 (当日200円増し)	72
-----------------------------	------------------------------	------------------------------------	----

イ 貸館事業関係

(単位：人)

月	大ホール	小ホール	展示室 (屋外展示場)	大会議室	会議室	和室	第一練習室	第二練習室	合計
4	5,714	1,910	1,752	921	325	145	485	121	11,373
5	2,144	2,250	2,507	1,132	298	209	452	114	9,106
6	7,173	2,745	1,689	1,791	556	356	918	147	15,375
7	6,750	3,586	1,771	1,254	290	187	863	265	14,966
8	1,183	2,472	1,010	1,024	206	125	631	135	6,786
9	7,660	3,024	2,049	1,642	432	153	998	298	16,256
10	4,138	4,134	2,027	1,946	474	290	674	230	13,913
11	7,221	4,165	2,543	1,989	374	175	653	211	17,331
12	4,790	2,203	445	1,493	259	334	576	272	10,372
1	2,090	1,235	1,164	916	291	182	542	251	6,671
2	5,395	1,279	2,387	763	292	149	450	44	10,759
3	5,566	2,543	2,485	1,693	521	155	706	187	13,856
合計	59,824	31,546	21,829	16,564	4,318	2,460	7,948	2,275	146,764
月平均	4,985	2,629	1,819	1,380	360	205	662	190	12,230

3 文化財保護関係

(1) 市文化財保護審議会関係

開催日	場 所	内 容
3月19日（水）	市役所402会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度主要事業について ・古久磯提灯店見世蔵修理工事について ・城内古墳群1号墳（円通寺境内）の取扱いについて ・栃木市市内文化財一覧について ・平成26年度主要事業計画について

(2) 文化財保護関係

ア 遺跡詳細分布調査（栃木・藤岡地域）補足調査

石碑類 1,600基

中世城館址調査も含む 25城館

イ 埋蔵文化財発掘調査（藤原遺跡、城内古墳群、栃木城）

ウ 埋蔵文化財照会、問い合わせ

・照会件数 791件

・発掘届け出件数 77件

・現地立会件数 51件

・確認調査 4件

・発掘調査 3件

エ 指定文化財説明板の修繕 5件

オ 下野七廻り鏡塚古墳出土品、黒漆塗り弓保存処理

カ おおひら郷土資料館「戸長屋敷」の出入り口壁修繕工事

キ おおひら郷土資料館母屋散水栓工事

ク おおひら歴史民俗資料館外階段手摺設置工事

ケ おおひら歴史民俗資料館AED設置

コ 岡田家所蔵岡田嘉右衛門文書の翻刻

『栃木の在村記録幕末維新期の胎動と展開』第2巻翻刻と校正作業

サ 県指定文化財「古久磯提灯店見世蔵」取得

古久磯提灯店見世蔵修繕工事

(3) 文化財保護施設関係

ア 下野国庁跡資料館

発掘された実物の瓦・漆紙文書、下野国印（推定）、木簡のレプリカ、下野国庁復元模型ほか槍^{やり}鉋^{かん}等の古代の大工道具等を展示している。

また、国庁跡全域を会場に「下野国庁まつり」を3月9日（日）に開催し、下野国庁跡の周知及び、伝統的な郷土芸能の演舞による地域文化の伝承と振興を図り、併せて特産物の販売等を実施した。

・開館日数 253日

・入館者数 2,130人

イ 栃木市郷土参考館

郷土の産業・教育・日常生活資料、文化財等を展示している。

・開館日数 308日

・入館者数 9,881人

ウ 星野遺跡地層たんけん館・憩の森

星野遺跡のEトレンチの地層を展示しているほか、出土した石器等を展示している。

・開館日数 308日

・入館者数 5,240人

エ 藤岡歴史民俗資料館

篠山貝塚、藤岡神社遺跡、山王寺大柵塚古墳出土遺物、田中正造、旧谷中村などの資料を展示している。

・開館日数 306日

・入館者数 2,340人

・調査・回答件数 244件

・団体案内 15件

・資料貸与 8件

・資料受入 4件

・埋蔵文化財照会 2件

喜多川儀久家文書、志鳥正樹氏所蔵かな半旅館文書目録作成を実施した。

オ おおひら歴史民俗資料館・おおひら郷土資料館「戸長屋敷」

国指定重要文化財の下野七廻り鏡塚古墳出土品を中心に大平地域からの出土遺物などを展示している。

・開館日数 304日

・入館者数 10,017人（内、有料入館者 7,794人）

事業名	実施日
県民の日協賛無料開放	6月15日（土）
オリジナルイベント	6月16日（日）
夏休みイベント「昆虫探検隊」	7月27日（土）
戸長屋敷夏休みイベント 「龍吐水と土蔵のからくり探検」	8月24日（土）～25日（日）
邦楽演奏とお茶会	11月10日（日）
紅葉茶会と民話の会	11月23日（土）
クリスマスイベント ・イルミネーション ・クリスマスリース作り ・蓄音機で聴くSP盤クリスマス音響と名曲	12月21日（土）～12月23日（月）
戸長屋敷のひな祭り	2月11日（火）～3月3日（月）
ハレの日の漆器展	2月1日（土）～6月1日（日）
石川常四郎コレクション展示	7月20日（土）～8月18日（日） 8月31日（土）～9月29日（日） 10月12日（土）～11月10日（日） 1月4日（土）～2月2日（日） 3月1日（土）～3月23日（日）

(4) その他の企画

ア 石器づくり・化石さがし体験教室

・実施日 11月23日（土）

・実施場所 星野遺跡憩の森（星野町）葛生化石館（佐野市）

・参加者数 24人

(5) その他

- ・文化財等の調査、保護、活用等
- ・郷土資料の収集管理等
- ・下野国庁跡資料館男子トイレ自動水栓修繕工事
- ・星野遺跡憩の森井水ポンプ修繕工事
- ・星野遺跡憩の森浄化槽修繕工事
- ・星野遺跡憩の森電灯設備工事
- ・藤岡歴史民俗資料館外階段手摺設置工事

- ・藤岡歴史民俗資料館タイル張通路防滑工事
- ・都賀歴史民俗資料館照明器具修繕工事

学芸推進担当

1 とちぎ蔵の街美術館関係

(1) とちぎ蔵の街美術館入館状況

魅力的な多彩な展覧会を開催するため、平成 21 年 4 月 1 日から指定管理者制度を導入し、各展覧会を開催した。

また、栃木市出身で、平成 25 年 1 月に 101 歳で逝去された柴田トヨさんの半生を描いた映画「くじけないで」の公開を記念し、「とちぎが生んだ詩人 柴田トヨ回顧展」を開催した。

- ・開館期間 4 月 13 日（土）～3 月 23 日（日）
- ・展覧会別入館状況

展覧会名	開館日数 (日)	観覧者 総数 (人)	有料観覧者 (人)				無料観覧者 (人)	
			一 般	小中学生	チラシ割等	共 通 券	招 待	減免等
企画展 「近代竹工芸の誕生」展 4 月 13 日(土)～6 月 2 日(日)	44	3,256	1,302	76	225	716	783	154
企画展 「花の美学」展 6 月 15 日(土)～7 月 28 日(日)	38	2,142	715	69	181	354	356	467
企画展 「谷内六郎」展 8 月 10 日(土)～9 月 29 日(日)	44	3,200	1,431	138	216	588	593	234
企画展 レオナルド・ダ・ヴィンチ —知られざる科学技術の世界 10 月 12 日(土)～11 月 10 日(日)	26	1,493	502	32	197	441	238	83
映画「くじけないで」公開記念 とちぎが生んだ詩人 柴田トヨ回顧展 11 月 16 日(土)～12 月 8 日(日)	20	3,820	1,570	40	352	313	1,266	279
企画展 「福徳円満」展 12 月 21 日(土)～1 月 26 日(日)	27	987	306	12	77	226	307	59
企画展 「掌の宇宙に、曼荼羅の花咲く」展 2 月 8 日(土)～3 月 23 日(日)	37	1,355	491	56	51	391	312	54

計	236	16,253	6,317	423	1,299	3,029	3,855	1,330
---	-----	--------	-------	-----	-------	-------	-------	-------

・月別観覧者内訳

月	開館日数 (日)	観覧者総数 (人)	有料観覧者(人)				無料観覧者(人)	
			一 般	小中学生	チラシ割引等	共通券	招 待	減免等
4	15	779	310	45	75	149	168	32
5	27	2,235	894	31	136	538	525	111
6	16	1,272	345	2	105	229	192	399
7	24	1,112	471	67	90	151	254	79
8	19	1,234	567	111	61	199	163	133
9	25	1,966	864	27	155	389	430	101
10	17	891	255	4	120	349	109	54
11	22	2,950	1,227	56	326	325	800	216
12	14	1,655	655	17	132	113	639	99
1	20	804	241	7	67	174	263	52
2	17	401	169	10	7	111	89	15
3	20	954	322	46	44	280	223	39
計	236	16,253	6,320	423	1,318	3,007	3,855	1,330

(2) とちぎ蔵の街美術館運営協議会

美術館の運営を円滑に図るため運営協議会を開催した。

開 催 日	内 容
9月20日(金)	平成24年度展覧会実績報告及び平成25年度の展覧会について
3月26日(水)	平成26年度の展覧会について

(3) とちぎ蔵の街美術館美術資料評価委員会

美術作品購入及び寄附の受け入れにあたっての評価委員会を2回開催した。

- ・開催日 8月23日(金)、1月31日(金)
- ・場 所 榊高崎倉庫(群馬県高崎市)
- ・内 容
 - 第1回(8月23日(金))
 - ・寄附作品 板谷波山「天目茶碗 銘 星月夜」
 - 飯塚琅玕斎「竹茶杓」
 - 飯田清石「花籃 雲海」「花籃 間垣」
 - 田中一村「白梅図」「藤図」
 - 第2回(1月31日(金))
 - ・購入作品 田中一村「武陵桃源図」
 - ・寄附作品 橋本邦助「男沼の秋」外12点
 - 清水保男「第二公園の躑躅」外5点

渡辺達也美術資料一式

(4) 新収蔵品展

市が平成21年度から平成24年度までに購入、寄贈・寄託いただいた喜多川歌麿、歌川広重らの浮世絵版画や飯塚小玗齋の竹工芸品、市ゆかりの作家の作品等、36点を展示する「新収蔵品展」を開催した。

- ・実施日 5月4日（土）～5月7日（火）
- ・場 所 栃木文化会館 展示室
- ・来場者 1,192人

(5) 「とちぎが生んだ詩人 柴田トヨ回顧展」関連イベント

市民が主体となって組織された「詩人柴田トヨ回顧展実行委員会」が中心となり、関連イベントを開催した。

ア トークショー「柴田トヨの思い出を語る」

- ・実施日 11月8日（金）
- ・場 所 栃木文化会館 小ホール
- ・来場者 250人
- ・出演者 押田雅治氏（産経新聞社）
柴田健一氏（柴田トヨさん御子息）
村上ゆき氏（シンガーソングライター）

イ 詩の朗読とハーモニカ演奏でつむぐ柴田トヨの世界

- ・実施日 11月17日（日）、24日（日）、12月1日（日）、8日（日）
①午前11時 ②午後1時30分（各回約30分）
- ・会 場 蔵の街観光館2階多目的ホール
（12月1日のみ蔵の街観光館2階フロア）
- ・来場者 8回合計520人（平均65人）

ウ 路地裏散歩 詩人 柴田トヨの住んだ町を歩く

- ・実施日 11月23日（土）、30日（土）
午前10時～午後12時30分
- ・場 所 新栃木駅集合／とちぎ蔵の街美術館解散
- ・参加者 2回合計36人（平均18人）

エ 映画「くじけないで」上映会

- ・実施日 11月28日（木）
- ・場 所 栃木文化会館 大ホール
- ・来場者 423人
- ・その他 映画「くじけないで」の上映開始前に、深川栄洋氏（映画「くじけないで」監督）による舞台挨拶を行った。

2 喜多川歌麿関係

(1) 「吉原の花」高精細複製画

市では「雪月花」三幅を再び本市に展示したいという思いから、平成24年度にフリーア美術館（アメリカ・ワシントンD.C.）に所蔵されている「月」の高精細複製画を、

平成 25 年度にワズワース・アセーニウム美術館（アメリカ・コネチカット州ハートフォード）に所蔵されている「花」の複製画を制作した。

また、完成を記念して、市の歌麿を中心とした文化・芸術のまちづくりについて、広く周知することを目的としてイベントを開催し、250 人の来場者を集めた。

- ・実施日 10 月 20 日（日）
- ・場 所 栃木文化会館 小ホール
- ・内 容 第 1 部 講演会 浮世絵の魅力―「吉原の花」と錦絵の黄金期
講 師 田辺昌子氏（千葉市美術館学芸課長）
第 2 部 歌麿の描いた「花」の情景をイメージした三味線・小唄・踊り
- ・その他 イベント終了後、「吉原の花」高精細複製画の市内巡回展示を行った。

展示場所	期間（開館日数）	来場者（人）
太田家見世蔵（万町）	10 月 22 日（火）～11 月 11 日（月）（21 日間）	2,551
大平文化会館	11 月 13 日（水）～12 月 1 日（日）（17 日間）	1,411
藤岡公民館	12 月 3 日（火）～12 月 23 日（月・祝）（19 日間）	866
都賀文化会館	12 月 26 日（木）～1 月 13 日（月・祝）（9 日間）	625
西方公民館	1 月 16 日（木）～2 月 4 日（火）（20 日間）	450
	合 計	5,903

(2) 「品川の月」高精細複製画

平成 24 年度に制作した「品川の月」高精細複製画を、平成 24 年から平成 26 年 1 月まで、とちぎ蔵の街観光館で展示した。

- ・展示期間 平成 24 年 12 月 19 日（水）～平成 26 年 1 月 7 日（火）
- ・総観覧者数 31,264 人（平成 25 年度：25,403 人）

(3) 「月」・「花」複製画新庁舎展示

市役所新庁舎の開庁にあわせ、新庁舎 4 階に 2 月 10 日（月）から「月」・「花」両複製画を並べて展示した。また、「NHK 総合 歴史秘話ヒストリア」で両複製画が取り上げられ、放送以降、番組を見て来場される方を対象に、通常は平日のみ公開している両複製画を、3 月中は土・日曜日、祝日も市役所を開庁して両複製画を公開し、9 日間で 1,567 名が来場した。

(4) 歌麿まつり

浮世絵師喜多川歌麿と栃木市の関わりを市内外に広く周知するとともに、文化観光としての街中のにぎわいの創出を目的として、市民団体を中心とした実行委員会を組織し、講演会や歌麿道中のほか、関連イベントを開催した。

- ・実施期間 10 月 20 日（日）～11 月 3 日（日）
- ・場 所 とちぎ蔵の街大通りを中心とした街中周辺
（平成 25 年度は、「第 18 回蔵の街ふるさとまつり」との同日開催）
- ・参加人数 約 15,000 人

第6節 伝建推進室

〔総括概要〕

「蔵の街」の特色ある歴史的町並みを、良好な状態で次世代に引き継いでいくとともに、魅力ある商業地と住み続けられる環境を造るため、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区に関する事業を行った。

嘉右衛門町重要伝統的建造物群保存地区においては、伝統的建造物の修理を行うとともに、建築物等の許可制度により歴史的なまちづくりを行った。

栃木町地区については、引き続き指定のための検討を行った。

伝建推進担当

1 伝統的建造物群保存事業に関すること

(1) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区保存事業について

伝統的建造物の修理に対して、補助金を支出し所有者への支援をした。

ア 伝統的建造物修理補助の実施（平成24年度からの繰越分）

2件 28,800,000円

イ 伝統的建造物修理補助の実施

4件 35,864,000円

(2) 伝統的技術継承事業補助金について

伝統的な技術を支える職人等の人材育成を図るため補助金を支出し対象団体の活動を支援した。

- ・事業主体 とちぎ蔵の街職人塾
- ・補助率 1/2
- ・補助金額 100,000円

(3) 嘉右衛門町地区における現状変更行為許可申請の状況について

嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区における建築物等の新築、増築、改築等の行為については、許可行為により伝統的建造物群保存地区の歴史的風致を守っている。

- ・現状変更行為許可申請数 18 件
- ・許可件数 18 件
- ・不許可件数 - 件

(4) 栃木町伝統的建造物群保存地区について

栃木町地区の指定に向け、保存地区の区域や基準等の案を検討した。

- ・専門部会

実施日	場 所	内 容
10月3日(木)	とちぎ蔵の街観光館 多目的ホール	(1) 栃木町伝統的建造物群保存地区について

(5) 伝統的建造物群保存地区に関する啓発等について

伝建制度の啓発及び連絡事項、説明等を伝建かわら版により行った。

伝建かわら版	配布時期	内 容
伝建かわら版11号 (嘉右衛門町地区)	11月配布	伝統的建造物の修理状況の報告 修理に関するイベントの報告 保存事業の相談受付
伝建かわら版12号 (嘉右衛門町地区)	1月配布	文化財防火デーの周知 防災アンケートの報告会の案内 平成27年度修理事業の案内

(6) J S Tプロジェクト（伝統的建造物群保存地区における総合防災事業の開発）について

小山工業高等専門学校が中心となり、栃木市と桜川市の行政と市民が連携して、伝統的建造物群保存地区における防災に関連した実験や体験活動を行った。

実施日	場 所	内 容
9月14日（土）	岡田記念館	くらづくり応援隊 小学生を対象にした土壁造り体験
10月	嘉右衛門町地区及びその周辺	伝統的建造物群保存地区における防災に関するアンケート
11月30日（土）	市役所正庁	伝統的建造物群保存地区小学生絵画コンテスト 中学生写真コンテスト表彰式
11月30日（土）	市役所正庁	関東都市学会秋季大会 高校生小論文コンクールポスターセッション
12月23日（月）	岡田記念館	くらづくり応援隊ワークショップ
3月 8日（土）	市役所501会議室	町並み防災イベント 防災に関する講和 防災アンケートの結果報告 消火器による消火体験

(7) 栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会について

実施日	場 所	内 容
8月1日（木）	とちぎ蔵の街観光館 多目的ホール	(1) 審議事項 伝統的建造物の修理方法について (2) 報告事項 修理事業について 許可案件について 嘉右衛門町伝建地区まちづくり基本計画の策定について

(8) 全国伝統的建造物群保存地区協議会について

平成25年度から協議会へ参加し、全国の伝建地区のある自治体との連携を図り、総会や研修会において共通の課題などの対策を検討した。

実施日	場 所	内 容
5月22日(水) ～24日(金)	鹿児島県薩摩川内市	・総会 ・研修会

第7節 大平教育支所

〔総括概要〕

大平教育支所の主な分掌事務は、生涯学習の振興、公民館の管理運営、社会教育団体の助言指導、芸術文化団体の育成支援、生涯スポーツの普及振興、社会体育施設の管理運営、学校体育施設の開放、及び大平文化会館の管理運営等である。

学校教育に関する分掌事務は、教育行政に関する相談、奨学資金及び入学資金申請の受付、児童生徒の転出入の受付、就学援助の受付である。

生涯学習担当においては、個人や仲間と楽しく学びながら自分の考え方や生き方を変えるきっかけをつかむことを支援するため、様々な学習機会を提供した。

また、子どもたちが地域における学習に積極的に参加し、のびのびと個性にあふれ、豊かな心を育むことができるよう努めた。

さらに、地域の教育力向上のために、学校・家庭・地域の連携強化を図りながらふれあいの学習を推進するとともに、青少年リーダーの計画的な養成や青少年への体験活動機会の提供を行いながら、青少年の健全育成に努めた。

スポーツ推進においては、社会体育施設の改修・修繕を行い、利用者の安全確保に努めるとともに、地区体育協会の協力を得てスポーツ教室や大平地区体育祭を開催し、市民ひとり1スポーツの推進を図るとともに生涯スポーツの普及に努めた。

大平文化会館においては、大平文化協会等の団体との協力のもと、地域の伝統文化の継承に努めるとともに、文化祭や納涼祭等を催して芸術・文化活動の推進を図った。

また、大平地域の音楽家によるコンサート等を開催し、会館独自の自主事業を展開し文化振興に努めた。

生涯学習担

1 地域教育関係

(1) とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役である地域コーディネーターを配置し、学校支援ボランティアを活用することにより、地域の教育力の向上を目指した。また、学校、家庭及び地域の効果的・効率的な連携・協力を図るため地域教育協議会を開催した。

- ・大平地域教育協議会 2回
- ・地域コーディネーター打合せ会 1回

2 成人教育関係

(1) 成人式関係

実施日	会場	会議名等	出席者数(人)
8月9日(金)	大平公民館	第1回 成人式実行委員会	8

9月 5日 (木)	大平公民館	第2回 成人式実行委員会	8
9月26日 (木)	大平公民館	第3回 成人式実行委員会	10
12月10日 (火)	大平公民館	第4回 成人式実行委員会	8
1月11日 (土)	大平文化会館	成人式リハーサル	10
1月12日 (日)	大平文化会館	平成26年成人式	216

(2) 公民館講座

事業名	場所	参加者(人)	講師(敬称略)	回数(回)
パン作り教室	大平公民館	15	岡 俊恵	5
かぎ針から生まれるアート	大平公民館	12	黒田 恵理子	5
アロマの癒し講座	大平公民館	9	吉田 真紀	2
エコバック入門	大平東地区公民館	14	熊谷 知子	1
エコバック応用編	大平東地区公民館	12	熊谷 知子	1
文明開化ヒストリー	大平公民館ほか	30	伊藤 康行	3
はつらつライフ	大平南地区公民館ほか	14	山川 一二三ほか	6
「なるほど！」孔子の素敵なことのは	大平公民館	14	須永 美知夫	5
我がふるさと知り尽くし	大平公民館	27	栃木市文化課職員	4
ウォーキング入門講座	大平運動公園	12	小宮 剛	5
ビューティフルライン	大平公民館	19	倉持 雅代	5
えがおいっぱい	大平公民館	6	大平レクリエーション協会	3
南の風を受けて	大平公民館	7	陣野 紀美子	5
秋冬健康維持の料理教室	大平公民館	16	隅田 栄子	4
家族が喜ぶ洋菓子作り	大平公民館	20	精華堂パティ	4
その日に合わせて、エコバックもチョイス	大平公民館	24	熊谷 知子	4
かぎ針から生まれるアートⅡ	大平公民館	12	黒田 恵理子	5
ちょっとリッチな“ONLY ONE”～レザークラフト～	大平公民館	18	山川 一二三	3
戦国の世 ヒストリー	大平公民館ほか	30	江田 郁夫	3
生き生きライフ	大平東地区公民館	30	中村 道子ほか	6
グレードアップウォーキング	大平運動公園	13	小宮 剛	5
ラテンのリズムでパーティ!!	大平公民館	14	倉持 雅代	5
すっきりリフレッシュ	大平公民館	15	福田 陽	5
親子でLet's Study!!	大平公民館ほか	16	日立栃木理科クラブほか	5
花粉症に有効な料理	大平公民館	10	隅田 栄子	1
正しく歩いて体の芯から健康に	大平公民館	18	筒 旭人	1

3Dアートシャドウボックス	大平公民館	6	白石 三枝子	1
---------------	-------	---	--------	---

3 社会教育関係団体育成

子ども会育成会・女性会等の育成各団体の事業計画から実施について助言、援助を行い、各団体の自主的活動に協力するとともに補助金を交付した。

4 青少年教育関係

(1) わくわく野外体験事業

子ども達が学校や学年の違う仲間と共に、昔のくらしや物作りの体験を通して、自然の恵みや人々の知恵を学ぶことにより、生きる力を育むことを目的に、小学校4～6年生を対象におおひら郷土資料館を会場に日帰りで野外体験を行った。

・実施日 10月5日（土）

・参加者 12人

(2) リーダー研修の実施

同じ地域に住んでいる高校生及び中学生が、その地域を活動の場として有益な奉仕活動を行うことで、自己発見・課題解決能力及び社会的行動力を習得することを目的としたジュニアリーダーを養成するための研修会を実施した。

・実施期間 8月3日（土）～4日（日）

・場 所 とちぎ海浜自然の家

・参加者 85人

(3) 冒険遊び場（ねずみもちパーク）の設置

「自分の責任で自由に遊ぶ」をテーマに、公民館の西側にプレイパークを整備し様々な活動を行った。

実施日	事業名	参加者(人)
5月11日（土）	パークの看板作り！ペインティングをしよう	50
5月25日（土）	さつまいもの苗を植えよう、飯盒でご飯	30
6月 8日（土）	木工工作、オリジナルトッピングのピザ作り	30
6月22日（土）	ラベンダースティック作り、巨大シャボン玉	40
7月13日（土）	ウォータースライダー、遊ぼうパン作り	40
7月20日（土）	ウォータースライダー、シャボン玉	30
7月27日（土）	ウォータースライダー、ミニプール	40
8月10日（土）	ウォータースライダー、ミニプール	20
8月17日（土）	ウォータースライダー	2
8月24日（土）	【ねずみもち祭り】ウォータースライダー、シャボン玉、ヨーヨー釣り、割りばし鉄砲射的等	80
9月14日（土）	泥だんごを作り	30
10月12日（土）	さつまいも掘り、牛乳パックでホットドック作り	30
11月 2日（土）	【文化祭イベント】ターザンロープ、自由遊び	50
11月23日（土）	産業祭に参加（木の実のクラフト）	30
12月14日（土）	クリスマス会（チョコフォンデュ、パンケーキ）	30

1月11日（土）	お正月遊び	30
1月12日（日）	焼き芋大会、正月遊び	20
3月29日（土）	【春休みイベント】昔遊び	50

(4) 大平少年補導員会活動

少年の非行防止と健全育成を期すため、毎週金曜日、年間43回、延べ134人の少年補導員が街頭補導活動に従事した。また、おおひら桜まつり、なつこい等において特別補導活動を実施した。

(5) 青少年育成市民会議「おおひらっ子ネットワーク」事業

平成24年度に発足したおおひらっ子ネットワークでは、7月の子ども・若者育成支援強調月間に合わせ、駅前朝のあいさつ運動を実施した。また、薬物乱用防止と青少年健全育成条例改正についての講演会を実施した。

5 公民館関係

公民館別使用状況

施設名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
大平公民館	1,353	26,510	680,875
大平西地区公民館	336	3,393	122,250
大平南地区公民館	293	3,641	143,800
大平東地区公民館	191	2,619	162,600
計	2,173	36,163	1,109,525

6 スポーツ振興関係

(1) 社会体育施設

ア 施設の種類の

施設名	建設年	面積（㎡）		備考
		敷地	建物	
大平体育館	昭和49年	7,180.04	1,779.46	鉄筋コンクリート造 ※敷地は公民館等含む
大平南体育館	昭和59年	7,300.14	1,162.31	鉄筋コンクリート造
大平武道館	昭和55年	1,698.97	842.00	鉄筋造（平成元年増築）
大平運動公園野球場	平成7年	40,000.00	285.05	鉄筋コンクリート造
大平運動公園多目的運動広場	平成9年	48,000.00		
大平運動公園第2多目的広場	平成16年	8,600.00		
大平運動公園テニスコート	平成10年	7,000.00		

イ 利用状況

(単位:人)

施設名 月	大平体育館	大平南体育館	大平武道館	野球場 大平運動公園	多目的広場 大平運動公園	場第2 大平運動公園	テニスコート 大平運動公園	合計
4月	1,219	1,341	22	145	45	1,332	1,327	5,431
5月	1,214	1,361	502	12	690	795	2,236	6,810
6月	759	1,403	18	45	150	455	2,557	5,387
7月	737	1,436	536	12,220	265	308	2,501	18,003
8月	1,002	1,243	517	490	412	657	1,817	6,138
9月	713	1,157	240	210	199	1,916	1,699	6,134
10月	1,114	1,370	-	152	3,082	2,200	2,060	9,978
11月	672	1,265	391	232	192	990	1,877	5,619
12月	771	3,162	362	171	-	705	3,648	8,819
1月	1,005	1,105	300	110	-	590	1,918	5,028
2月	1,002	1,324	330	45	-	462	2,113	5,276
3月	744	1,292	780	198	-	630	2,296	5,940
合計	10,952	17,459	3,998	14,030	5,035	11,040	26,049	88,563
平均	913	1,455	333	1,169	420	920	2,171	7,380

(2) 学校開放施設関係

ア 利用状況

(単位:人)

学校名 月	大平東小	大平南小	大平西小	大平中央小	大平中	大平南中	合計
4月	87	-	24	120	296	367	894
5月	216	40	32	63	360	389	1,100
6月	239	40	24	139	377	420	1,239
7月	239	68	20	90	394	352	1,163
8月	239	119	50	76	346	364	1,194
9月	216	127	30	120	377	388	1,258
10月	169	50	-	112	335	413	1,079
11月	177	20	-	120	385	403	1,105
12月	126	20	-	82	275	293	796
1月	108	-	-	44	276	309	737
2月	134	-	-	33	245	424	836
3月	13	-	-	44	178	348	583
合計	1,963	484	180	1,043	3,844	4,470	11,984
平均	164	40	15	87	320	373	999

(3) 大平地区体育祭

「市民ひとり1スポーツ」の推進とともに、市民の健康の増進と体力の増強を図り、心身ともに健やかで明るい家庭を築くことを目的に開催した。

- ・実施日 10月13日（日）
- ・参加者 2,800人
- ・会場 大平運動公園、多目的広場、グラウンド・ゴルフ場
- ・競技種目 ①ザ・障害物リレー
②花咲け三色すみれ
③パスして集中！メディシンボールⅡ
④大平地区記録挑戦
⑤大平ダービー
⑥じゃんけん☆ボーリング
⑦綱引き
⑧○・×クイズ！
⑨目指せ！ホールインワン
⑩ゲッター・ムカデⅡ
⑪少年少女混合リレー
⑫一般男女混合リレー

(4) 生涯スポーツ推進事業

ア 年間各種教室

専門部実施教室	開催曜日	会場	参加者(人)	備考
剣道教室	月・水・金・日	大平武道館	4,071	日曜日は第1・3
柔道教室	月・水・金・土	大平武道館	3,186	土曜日は第2・4
空手教室	火・木・日	大平武道館	1,683	
弓道教室	土・日	大平武道館	1,020	土曜日は昼・夜の部 日曜日は昼の部
サッカー教室	水・土・日	大平運動公園	4,284	水曜日は夜の部、 土・日曜日は昼の部
ソフトテニス教室	火・木・金	大平体育館	612	火・木曜日は昼の部、 金曜日は夜の部
卓球教室	水	大平体育館	765	
バドミントン教室	木・土	大平体育館	612	
ウエイトリフティング教室	月～土	大平運動公園	612	

イ 期間限定各種教室（寒さに負けない体力づくり）

専門部実施教室	開催日	時間	会場	参加者(人)	
卓球教室	2月5日、12日、19日、26日、 3月5日、12日 各日(水)	午後7時30分 ～9時	大平体育館	24	
バドミントン教室	2月1日、8日、15日、22日、 3月1日、8日 各日(土)	午後7時30分 ～9時	大平体育館	21	
ソフト テニス	成人	1月31日、2月7日、14日、21日、 28日、3月7日 各日(金)	午後7時30分 ～9時	大平体育館	7
	小学生	2月1日、8日、15日、22日、 3月1日、8日 各日(土)	午前10時 ～正午	大平運動公園	11

(5) 栃木市大平地区体育協会事業

総合大会

行 事 名	開 催 日	会 場	参加者（人）
第56回大平地区体育祭	10月13日（日）	大平運動公園	2,800
第32回大平地区マラソン大会	11月17日（日）	大平運動公園	414

7 文化会館関係

(1) 文化振興関係

ア 栃木市納涼あじ祭

お囃子や盆踊り等の郷土伝統芸能の発表をメインに、ファミリー向けのイベントや模擬店参加者を募り、幼児から高齢者まで多くの市民が夏の夜のひと時を楽しむとともに、ふるさとの連帯感を深めることを目的に開催した。

また、“なつこい”の翌日に同じ会場を借りることで、経費の節減に努めた。

- ・実施日 7月28日（日）
- ・会 場 大平運動公園（さくら球場）
- ・運 営 栃木市大平文化協会
- ・参加者 約1,000人

イ 栃木市大平文化祭

広く文化への意識高揚と、市民の文化・芸能活動への参加意欲を高めるとともに、生涯学習の成果を発表し、参加者相互の交流発展に貢献することを目的に、各種文化団体の作品展示、芸能発表、菊花展等を開催した。

- ・実施期間 11月2日（土）～11月10日（日）（各週末の土・日曜日開催）
- ・会 場 大平公民館、大平文化会館、大平体育館ほか
- ・運 営 栃木市大平文化協会「文化祭実行委員会」
- ・参加者 約4,000人

(2) 文化施設関係

ア 自主事業関係

親しみのある地域の文化会館を目指し、親子で楽しめる催しをはじめ、小さい頃から舞台芸術を鑑賞することにより社交性や感受性などを養う目的で、未就学児を対象とした各種事業を開催した。

事 業 名	実 施 日 等	入 場 料	入場者数(人)
ふるさとふれあいコンサート 音楽劇「不思議の国のアリス」	5月18日（土） 午後2時開演 会場：ロビー・ホワイエ	全席自由 前 400円（当 500円） 未就学児無料	123
住民参加型 ベーゼンドルファー演奏会 Vol. 40	7月20日（土） 午後1時30分開演 会場：ホール	無料	87
影絵劇「三枚のおふだ」	8月4日（日） 午後2時開演 会場：ホール	全席自由 大人 前1,200円（当200増） こども （前・当800円） 2歳以下無料	222

ハートフル・シネマ 「奇跡のリンゴ」 「東京家族」	12月1日(日) 午後12時20分上映 会場：ホール	全席自由 大人 前1,000円(当1,500円) 中学生以下 前500円(当800円) 未就学児無料	168
ふるさとふれあいクリスマス ポップスコンサート	12月21日(土) 午後2時30分開演 会場：ロビー・ホワイエ	全席自由 前400円(当500円) 未就学児無料	185
住民参加型 ベーゼンドルファー演奏会 Vol. 41	2月15日(土) 大雪のため中止	無料	-
ファミリーコンサート 「オーケストラで聞くジブリ音楽」	2月23日(日) 午後3時開演 会場：ホール	全席指定 S席3,500円 A席2,500円 B席1,500円 高校生以下1000円引 2歳以下無料	623
ふるさとふれあいコンサート 高橋由起フルートリサイタル	3月9日(日) 午後2時開演 会場：ホール	全席自由 1,000円(当200円増) 小中高生 500円 未就学児無料	402

イ 貸館事業関係

(単位：人)

月	ホール	舞台のみ	リハーサル室	展示室
4	540	-	279	-
5	990	-	272	100
6	1,150	150	274	120
7	3,627	355	354	144
8	1,359	433	252	510
9	2,480	38	289	7
10	1,872	-	440	8
11	3,690	-	252	1,578
12	2,960	46	441	323
1	1,967	-	293	-
2	2,381	60	216	-
3	3,229	340	196	-
合計	26,245	1,422	3,558	2,790
月平均	2,187	118	296	232

第8節 藤岡教育支所

〔総括概要〕

藤岡教育支所は1担当3チームの体制で、地域における生涯学習の拠点として、社会教育施設である公民館、体育館、運動公園、文化会館の管理運営を行い、地域の実情に応じた学習の機会を提供し、教育、文化、スポーツ等の活動推進に努めた。

藤岡公民館チームでは、生きがいに満ちた生涯学習の実現に向けて、住民のニーズを捉えた各種講座等を実施し、市民の学習活動への意欲向上を図った。また、渡良瀬遊水地来訪者に対してのボランティア養成を目的とし、「渡良瀬遊水地ボランティア養成講座・初級」を実施した。さらに、学校・家庭・地域の連携強化を図りながら、成人教育・青少年教育に関する事業を実施するとともに、社会教育団体への指導助言を行うことにより生涯学習の振興に努めた。

スポーツ振興チームでは、市民向けのアンケート調査の中でウォーキングへの要望が非常に高かった結果を受け、スポーツ推進委員の協力による渡良瀬遊水地・三轟山でのウォーキング事業や尾瀬ヶ原への市民ハイキング事業、ノルディックウォーキング事業を実施した。また、ラムサール条約登録湿地の渡良瀬遊水地を利用(ワイズユース)する為に、水と親しむ体験学習として9月に地区体育協会と共催で「ウォータースポーツ・フェスタ」を実施した。さらにロードバイクセミナー及び乗馬教室も実施した。渡良瀬バルーン教室を3月に計画したが悪天候のため中止となった。

社会体育施設の管理運営については、平成26年度に向けて各小中学校にキーボックスを設置し、利用者が安全で快適に利用できるよう努めた。

また、公園施設の管理運営については、藤岡スポーツふれあいセンターの機能充実を図るため、引続き2階に展示スペースを設けた。

藤岡文化会館チームでは、文化振興事業として文化祭を開催し、写真、書道、工芸等、活動の発表の場として文化活動の充実を図った。また、多種多様な催しを開催することで、市民の芸術文化に対する教養の向上に努めた。

生涯学習担当

1 生涯学習推進関係

渡良瀬遊水地ボランティア養成講座・初級

渡良瀬遊水地への来訪者に対応するためのガイド等のボランティア養成を目的とした、全13回の連続講座を実施した。

実施日	内 容	会 場	人数(人)	回数
9月21日(土) ～3月22日(土)	渡良瀬遊水地の植物・昆虫・ 魚類・鳥類・歴史・地理等、	体験活動センター わたらせ 他	延べ248	13回

2 地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役である地域コーディネーターを配置し、学校支援ボランティアの活用により地域の教育力の向上を目指した。また、学校と家庭・地域の効果的・効率的な連携・協力を図るため地域教育協議会を組織した。

- ・藤岡地域教育協議会 2回

3 成人教育関係

成人式（藤岡会場）

実施日	会議名等	会場	出席者数(人)
8月10日(土)	成人式実行委員会	藤岡公民館	12
11月16日(土)	成人式実行委員会	藤岡公民館	9
12月21日(土)	成人式実行委員会	藤岡公民館	11
1月11日(土)	成人式リハーサル	藤岡文化会館	13
1月12日(日)	平成26年栃木市成人式(藤岡会場)	藤岡文化会館	128

4 社会教育関係団体育成

(1) 子ども会育成会の育成

子ども会育成会活動について助言・援助を行い、自主的活動の促進、育成のための協力を行った。

- ・子ども会育成会事業「逃走王」

実施日 11月9日(土)

場 所 部屋小学校

参加者 親子約500人

(2) 栃木市PTA連合会藤岡ブロック研修会

PTA活動及び子ども会育成会活動の充実を図るため、栃木市PTA連合会との共催により講演会を開催した。

実施日 12月7日(土)

内 容 PTA活動や保護者会でのあいさつやスピーチの上達法

講師：竹内慶子先生

國學院大學講師・(株)ピナアネックス代表

参加者 64人

5 公民館関係

(1) 公民館使用状況

施設名	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
藤岡公民館	1,778	27,405	328,575
藤岡地区公民館	59	666	17,900

三鴨地区公民館	162	3,427	61,050
部屋地区公民館	185	2,700	39,800
赤麻地区公民館	111	2,418	50,350
計	2,295	36,616	497,675

(2) 成人教育

実施日	講座名等	会場	参加人数(人)	回数
9月20日(金)～ 12月20日(金)	絵手紙講座	藤岡公民館	延べ120	8回
10月30日(水)～ 2月5日(水)	太極拳講座 入門編	藤岡公民館	〃 136	8回
11月30日(土) 12月28日(土)	男の料理講座	藤岡公民館	〃 22	2回
12月14日(土)	キムチづくり講座	藤岡公民館	10	1回
12月21日(土)	韓国料理講座	藤岡公民館	中止	
12月28日(土)	門松づくり講座	藤岡公民館	9	1回

(3) 青少年教育関係

夏休みを利用し、各地域において子どもを対象とした映画会を行った。

実施日	講座名等	会場	参加人数(人)	回数
7月23日(火)～ 7月31日(水)	夏休みこども映画会	藤岡公民館他	延べ90	4回

(4) その他

高齢者がより活動的に過ごし、「生きがいのある」健やかな人生を達成するために年間16回の講座を実施した。

実施日	講座名等	会場	参加人数(人)	回数
7月12日(金)～ 1月30日(木)	高齢者セミナー	藤岡公民館他	延べ283	16回

6 社会体育施設関係

(1) 施設の種類

施設名	建設年	面積 (㎡)		備考
		敷地	建物	
藤岡渡良瀬運動公園	昭和55年	283,249		

藤岡総合体育館	昭和61年	29,149	3,334	鉄筋コンクリート造
藤岡弓道場	平成6年	256	236	鉄骨・コンクリートブロック造
三鴨スポーツ広場	平成14年	5,319		

(2) 利用状況

(単位：人)

施設名 月	運藤 動岡 公渡 園良 瀬	藤岡 総合 体育 館	藤岡 弓道 場	三鴨 スポ ーツ 広場	合 計
4月	5,618	1,651	72	60	7,401
5月	5,506	2,531	118	68	8,223
6月	8,040	3,105	84	55	11,284
7月	4,162	2,057	113	50	6,382
8月	5,565	1,849	108	45	7,567
9月	3,471	1,910	99	65	5,545
10月	4,779	3,899	107	68	8,853
11月	7,643	2,638	68	60	10,409
12月	4,286	2,116	69	45	6,516
1月	3,837	1,996	97	40	5,970
2月	3,866	1,600	61	35	5,562
3月	4,667	2,672	92	50	7,481
合計	61,440	28,024	1,088	641	91,193
平均	5,120	2,335	91	53	7,599

7 学校開放施設関係

利用状況

(単位：人)

学校名 月	藤岡小	部屋小	赤麻小	三鴨小	藤一中	藤二中	合計
4月	425	520	52	317	1,019	238	2,571
5月	262	513	197	250	1,120	292	2,634
6月	288	521	127	320	1,020	227	2,503
7月	433	900	80	228	1,080	268	2,989
8月	335	695	—	420	1,075	289	2,814
9月	479	386	50	344	930	323	2,512

10月	427	918	90	345	1,040	311	3,131
11月	294	1,148	89	687	1,175	298	3,691
12月	406	175	60	200	950	238	2,029
1月	408	56	55	110	1,090	202	1,921
2月	300	42	26	119	960	197	1,644
3月	449	454	130	261	915	83	2,292
合計	4,506	6,328	956	3,601	12,374	2,966	30,731
平均	376	527	80	300	1,031	247	2,561

8 生涯スポーツ推進事業

藤岡地域では、①谷中湖の自然を活用したウォータースポーツ事業、②渡良瀬遊水地や三毳山の自然を活用したウォーキング事業の2つを積極的に推進している。その他、生涯スポーツ推進事業として、下記の各種スポーツ教室等を開催した。

(1) ウォータースポーツ事業

教室名	実施日	会場	受講者数(人)
ウォータースポーツ・フェスタ	9月21日(土)	谷中湖	15

(2) ウォーキング事業

教室名	実施日	会場	受講者数(人)
渡良瀬遊水地ウォーキング	4月7日(日)	渡良瀬遊水地	中止
市民ハイキング	6月2日(日)	尾瀬ヶ原	55
ノルディックウォーキング	10月13日、20日、 27日 各日(日)	藤岡渡良瀬運動公園 三毳山	延べ31
三毳山ウォーキング	10月27日(日)	三毳山	中止

(3) 生涯スポーツ事業

教室名	実施日	会場	受講者数(人)
スポーツひろば	6月15日、22日、29日 11月9日、16日、23日 各日(土)	藤岡総合体育館	延べ37
ロードバイクセミナー	8月3日(土)、4日(日)	藤岡スポーツ ふれあいセンター	延べ20
乗馬教室	12月14日(土)	藤岡渡良瀬運動公園	12
渡良瀬バルーン教室	3月8日(土)	藤岡渡良瀬運動公園	中止

9 藤岡文化会館関係

(1) 文化振興事業関係

広く文化への意識の高揚と、市民の文化・芸能活動への参加意欲を高めるとともに、

生涯学習の成果を発表し、参加者相互の交流発展に貢献することを目的とし、栃木市藤岡文化祭を開催した。

また、「体験コーナー」や「みんなの美術館」のコーナーを設置し、一般参加者を募り、芸術・文化活動の裾野の広がりを期待した。

- ・実施期間 11月2日(土)・3日(日)・10日(日)
- ・運営 栃木市藤岡文化団体連絡協議会
- ・参加者 約2,000人

(2) 自主事業関係

藤岡文化会館の自主事業は、市民参加型事業として、ピアノ開放デーを年2回開催、宗次郎オカリナワークショップでは、宗次郎指導のオカリナ教室参加者が実際にコンサートで共演するなど、癒しの音色を披露した。陸上自衛隊音楽隊によるコンサートは、満席になる盛況ぶり、ミュージカル「人魚姫」、ファミリー映画会「シュガー・ラッシュ」は、家族で楽しめる事業として、また「サーカスコンサート」、「岩崎宏美コンサート」では、生の音楽芸術に触れる機会を提供することを目的に事業を実施した。

開催日	事業名	区分	入場料	内容	入場者(人)
7月7日(日)	共催事業 サーカスコンサート2013	コンサート	3,500円	1回公演、全席指定	238
7月20日(土) 7月21日(日)	ピアノ開放デー	住民参加	無料	会館のピアノを練習したりミニコンサートに利用するなど、ピアノに親しんでもらう企画	69
8月20日(火)	宗次郎 オカリナワークショップ	住民参加	1,000円	宗次郎指導のオカリナ教室	80
8月25日(日)	宗次郎オカリナコンサート	コンサート	2,500円	1回公演、全席自由	404
8月31日(土)	宝くじ文化公演 ミュージカル「人魚姫」	ミュージカル	1,000円 高校生以下500円	1回公演、全席自由	370
11月16日 (土)	陸上自衛隊 第12音楽隊コンサート	コンサート	無料	1回公演、全席自由	1,004
1月18日(土)	ファミリー映画会 「シュガー・ラッシュ」	映画	無料	1回上映、全席自由 DVD	735
3月1日(土)	岩崎宏美コンサート あなたへ～いつまでもいつまでも	コンサート	5,000円	1回公演、全席指定	612
3月8日(土)	共催事業 「しもつかれガール」上映会	映画	500円 高校生以下無料	1回上映、全席自由	60

3月22日(土) 3月23日(日)	ピアノ開放デー	住民参加	無料	会館のピアノを練習したりミニコンサートに利用するなど、ピアノに親しんでもらう企画	43
----------------------	---------	------	----	--	----

年間入場者数 3,615 人

(3) 貸館事業関係

月	利用者数(人)	月	利用者数(人)
4月	628	10月	2,425
5月	286	11月	4,525
6月	100	12月	1,463
7月	407	1月	1,068
8月	994	2月	1,948
9月	1,391	3月	2,295

年間利用者数 17,530 人

第9節 都賀教育支所

〔総括概要〕

生涯学習担当では、生きがいとうるおいに満ちた生涯学習社会の実現に向けて、個人や仲間と楽しく学びながら自分の考え方や生き方を変えるきっかけをつかむことを支援するため、様々な学習機会を提供した。

さらに、生涯学習社会の構築に向けて、住民の自主的な学習活動を支援する指導者の養成・資質向上や社会教育関係団体・サークル活動の充実を図った。

また、子育て支援の充実及び地域の教育力向上のために、学校、家庭及び地域社会の連携強化を図りながらふれあいの学習を推進するとともに、青少年リーダーの計画的な養成や青少年への体験活動機会の提供を行いながら青少年の健全育成に努めた。

適応指導教室（すずかぜ教室）運営事業については、都賀、西方地域の不登校児童生徒の学校への早期復帰を図るため、児童生徒への適応指導や支援を行うとともに保護者等との教育相談も実施した。

スポーツ振興では、社会体育施設の管理運営、地域運動広場の管理、小中学校体育施設の開放を行い、市民の健康保持増進及びスポーツの普及を図った。

さらに、第4回都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバルを開催し、市民が一堂に会し、スポーツを通しての健康づくりや市民の融和と親睦を深めた。また、総合型地域スポーツクラブ“あいあいクラブ都賀”や地区体育協会が実施する事業への支援を行いスポーツの振興を図った。

スポーツ指導者の養成及び派遣については、小学校で実施している課外スポーツ活動に専門的な外部指導者を派遣し、スポーツ活動を通して児童の健全育成、競技力の向上を図った。

都賀文化会館では、芸術文化振興関係事業の推進において、市民参加型事業として、ピアノ、ステージの無料開放や地域の芸術活動団体の協力によるロビーコンサート等の開催や一流芸能人による舞台公演及び話題の映画会など、幅広い事業を展開し、世代を超えた芸術文化の振興に努めた。

生涯学習担当

1 生涯学習推進関係

(1) 生涯学習市民参加型事業

都賀地域の豊かな歴史文化、自然及び特産物などの地域資源や人材を生かした生涯学習事業を展開し、地域に関わる人たちが自ら調査、研究、実践を行うことにより、地域の教育力を高めるとともに、地域の活性化を図ることを目的とする。

ア 都賀満喫ウォーキングまつり

- ・実施日 10月20(日)
- ・内容 市民団体が中心となり、史跡めぐりウォーキング、スタンプラリー、

地産地消料理の試食、芋ほり、焼いも体験事業を実施した。

- ・参加者 大人 139人 子ども 40人

イ 伝承料理教室

- ・実施日 10月28日(月)
- ・内容 伝統料理などの食文化を次世代に伝承していくために、若いお母さんを対象とした「芋の煮っ転がし・きんぴら料理教室」を実施した。
- ・参加者 15人

ウ 都賀音楽フェスティバル

- ・実施日 11月10日(日)
- ・内容 音楽を通じて、地域・世代間交流を深め、地域に根差した生涯学習を実施した。

文化協会加盟音楽団体の発表 ～都賀から^{かな}奏でる音楽の輪～
音楽劇「ごんぎつね」

都賀地域小学校音楽関係クラブ発表

一般公募により結成した混声合唱団による「第九」合唱

- ・構成 生涯学習市民参加型実行委員 20人
企画運営員 13人
混声合唱団 215人
- ・参加者 410人

エ 親子クリスマスケーキづくり教室

- ・実施日 12月23日(月)
- ・内容 地元の方が講師となって、都賀特産のいちご、県立栃木農業高等学校の学生が作ったスポンジケーキなど、地産地消を生かした親子でのケーキづくりを実施した。
- ・参加者 親子40家族(115人)

オ 自然体験教室

- ・実施日 2月15日(土)
- ・内容 地元の方を講師として、身の周りの自然に対する関心を高めるため、親子対象とした「あけびのつるを使ったかごづくり」を実施した。
- ・参加者 10家族(30人)

2 地域教育関係

(1) とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を組織し地域の教育力を高めるため実施した。

- ・都賀地域教育協議会 2回
- ・都賀地域アシストネット本部コーディネーター打合せ会 4回
- ・都賀地域学校支援ボランティア基礎講座 1回

(2) 地域学習事業

地域での自主的活動としての生涯学習を推進することにより、地域の教育力の充実を図るため、自治会や学校などで開催する地域学習に対して支援をした。

地域学習事業	対 象
地域学習文化、スポーツレクリエーション大会	12 自治会 (1,586 人)
自治会公民館子ども育成活動	4 自治会 (379 人)
地域学習講師依頼関係	7 自治会 (122 人)
学校支援ボランティア関係	502 人

(3) 放課後子ども教室事業（地域ふれあい交流事業）

各小学校において、地域住民と児童との交流活動を昼休みに実施し、心のふれあいから児童への心の教育と地域教育力の向上を図った。

実施校	実施期間	実施回数(回)	内 容	参加者数(人)
合戦場小	5月22日(水) ～11月27日(水)	6	高齢者との交流活動 (輪投げ)	724
家中小	11月14日(木) ～12月18日(水)	6	高齢者との交流活動 (輪投げ・ペタンク)	195
赤津小	10月 3日(木) ～11月28日(木)	6	高齢者との交流活動 (輪投げ・グラウンドゴルフ)	148

3 成人教育関係

成人式（都賀会場）

実施日	会 場	会議名等	出席者数(人)
9月 1日(日)	都賀公民館	成人式実行委員会	15
10月13日(日)	都賀公民館	成人式イベント作成打合せ	5
9月 7日(土)	大平公民館	市各実行委員会代表者会議	15
11月16日(土)	都賀公民館	成人式イベント、作成係合同打合せ	6
12月 6日(金)	都賀公民館	成人式イベント作成打合せ	7
12月 7日(土)	都賀公民館	成人式イベント作成打合せ	5
12月14日(土)	都賀公民館	係合同打合せ	6
1月10日(金)	都賀文化会館 (ハートホール)	成人式実行委員会 成人式リハーサル	13
1月11日(土)	都賀公民館	成人式イベント作成打合せ	4
1月12日(日)	都賀文化会館 (ハートホール)	平成26年栃木市成人式	115

4 子育て支援関係

子育て支援として家庭教育の推進を図るため、子育て中の保護者を対象に親学習プログラム等を活用して講座を開催した。

実施日	内容	会場	参加者数
7月31日(水)	親子おりがみ工場見学&親学習	(株)トーヨー 都賀公民館	親子 14 家族 (36 人)
9月25日(水)	就学時健康診断時を活用した 親学習プログラム	合戦場小学校	58 人
10月8日(火)	就学時健康診断時を活用した 親学習プログラム	赤津小学校	20 人
10月10日(木)	就学時健康診断時を活用した 親学習プログラム	家中小学校	27 人
12月23日(月)	ジャンボ紙芝居読み聞かせ (親子クリスマスケーキづくりと共催)	都賀公民館	親子 40 家族 (115 人)

5 社会教育関係団体育成

各団体の事業計画から実施について助言等を行い、各団体の自主的活動の促進、育成のために援助、協力を行った。

- ・対象団体 地域女性会、家庭教育オピニオンリーダー会、都賀町のこどもを育む会、子ども会育成会連絡協議会、ジュニアリーダーズクラブ、青年団

6 公民館関係

(1) 使用状況

施設名	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
都賀公民館	995	16,969	277,050

(2) 成人教育

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
5月13日(月) ~1月23日(木)	ふれあい大学 (高齢者教室)	都賀公民館ほか	延べ333	10回
6月5日(水) ~1月23日(木)	ふれあい大学サークル (カラオケ)	都賀公民館ほか	延べ98	7回
6月5日(水) ~1月23日(木)	ふれあい大学サークル (フォークダンス)	都賀公民館ほか	延べ56	7回

(3) 女性教育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
5月13日(月) ~1月23日(木)	女性セミナー	都賀公民館ほか	延べ246	10回
5月23日(木)	女性会視察研修会	小平記念館(茨城県)	22	女性会主催

6月19日(水) ～1月23日(木)	女性セミナーサークル(コーラス)	都賀公民館ほか	延べ175	7回
8月10日(土)	つが盆踊り大会協力	都賀市民運動場	女性会協力人数 48	
10月20日(日)	都賀満喫ウォーキング協力	都賀公民館	女性会協力人数 16	
11月7日(木) ～17日(日)	まる3ごとつがまつり 福祉バザー販売協力	老人憩いの家 都賀中体育館	女性会協力人数 68	
2月16日(日)	福祉ふれあいのつどい協力	都賀文化会館	女性会協力人数 20	
随時	公民館除草作業	都賀公民館	40～50	女性会主催

(4) 青少年教育関係

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
4月28日(日)	タケノコ堀体験	都賀町木地区 圃場	12	都賀町のこども を育む会主催
5月11日(土)	レクリエーション大会	合戦場小・家中小・ つがの里	約700	子ども会育成会 主催
5月18日(土) ～2月1日(土)	子どもふれあい 楽習教室	都賀公民館ほか	延べ276	12回
6月8日(土)	さつまいも苗付け 体験	都賀町家中地区 圃場	20	都賀町のこども を育む会主催
6月15日(土)	親子ホタルナイト 体験	大柿コミュニテ ィーセンター	12	都賀町のこども を育む会主催
7月6日(土)	ホタルのかご作り ウォーキング	大柿コミュニテ ィーセンター	8	都賀町のこども を育む会主催
7月26日(金) ～8月4日(日)	つが子ども会 リーダー研修会	大柿コミュニテ ィーセンター	59	子ども会育成会 への委託事業
10月20日(日)	さつまいも堀体験	都賀町家中地区 圃場	20	都賀町のこども を育む会主催
12月22日(日)	カルタ大会	西方総合文化体育館	460	子ども会育成会主催
12月24日(火)	サンタの宅配サービス	都賀地域全域	22	ジュニアリー ダースクラブ

(5) その他

実施日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
8月10日(土)	つが盆踊り大会	都賀市民運動場	約5,000	

7 社会体育施設関係

(1) 施設の種類

施設名	建設年	面積 (㎡)		備考
		敷地	建物	
都賀市民運動場	平成11年	15,537.06		
都賀体育センター	昭和50年	2,413	999.91	鉄骨平屋、瓦棒葺
つがスポーツ公園 多目的広場	平成11年	48,500		
つがスポーツ公園 テニスコート	平成4年	4,017		
都賀南部コミュニティセンター	平成8年	9,064.86	935.11	鉄骨造
木コミュニティセンター	平成5年	7,677.31	821.4	鉄骨造
大柿コミュニティセンター	昭和63年	4,013	517.63	鉄骨造

(2) 利用状況

(単位:人)

施設名 月	都賀市民運動場	都賀体育センター	つがスポーツ公園 多目的広場	つがスポーツ公園 テニスコート	都賀南部コミュニティセンター	木コミュニティセンター	大柿コミュニティセンター	合計
4月	1,683	1,296	955	781	1,415	1,466	274	7,870
5月	2,150	898	1,858	1,376	1,174	983	256	8,695
6月	1,529	937	745	1,448	1,375	1,617	197	7,848
7月	1,522	742	612	995	1,985	1,659	396	7,911
8月	766	2,040	600	902	2,494	996	240	8,038
9月	1,971	1,021	165	1,094	1,553	1,092	279	7,175
10月	1,858	1,206	2,160	1,040	2,038	850	287	9,439
11月	1,730	481	1,508	1,157	1,505	815	444	7,640
12月	3,166	789	620	959	1,448	589	308	7,879
1月	867	825	270	1,038	2,191	1,226	337	6,754
2月	318	1,248	455	928	2,102	1,146	439	6,636
3月	1,850	1,202	685	1,324	2,104	1,628	193	8,986
合計	19,410	12,685	10,633	13,042	21,384	14,067	3,650	94,871
平均	1,618	1,057	886	1,087	1,782	1,172	304	7,906

8 学校開放施設関係

利用状況

(単位:人)

学校名 月	合戦場小	家中小	赤津小	都賀中	合計
4月	881	450	836	768	2,935

5月	1,092	280	540	641	2,553
6月	510	217	905	856	2,488
7月	1,636	926	900	579	4,041
8月	1,224	920	1,440	520	4,104
9月	981	250	600	481	2,312
10月	1,318	663	510	599	3,090
11月	938	171	560	418	2,087
12月	397	290	605	368	1,660
1月	478	340	390	458	1,666
2月	1,529	362	410	491	2,792
3月	540	432	760	721	2,453
合計	11,524	5,301	8,456	6,900	32,181
平均	960	442	705	575	2,682

9 第4回都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバル

新種目を加え全自治会が参加し、スポーツを通して健康づくり、地域全体の融和と親睦を深め健康で明るい住みよい地域づくりに寄与しその連帯感を養うことを目的に実施した。

- ・実施日 10月6日（日）
- ・会場 つがスポーツ公園
- ・競技種目
 - ①ぶっ玉げた！！
 - ②10時のおやつ
 - ③綱引き
 - ④備えあれば、嬉し泣き
 - ⑤縄跳び競争
 - ⑥子ども綱引き
 - ⑦今昔玉手カゴ
 - ⑧そんなの白根マラソン
 - ⑨大玉RUNNER
- ・体験種目
 - ①ターゲットバードゴルフ
 - ②カヌー
 - ③テニス
 - ④グラウンドゴルフ（中止）
- ・参加人数 2,863人（延べ人数）

10 生涯スポーツ推進事業

(1) 年間各種教室

専門部実施教室	開催日	会場	備考
剣道教室	水・土	都賀中学校 清心館	毎週実施

柔道教室	火・木・金	大柿コミュニティセンター	毎週実施
空手教室	月・木	木コミュニティセンター	毎週実施
健康ダイエット教室	土	西方総合文化体育館	毎週実施

(2) 親子スポーツ教室

実施教室	開催日	会場	備考
親子スキー教室	1月7日(火)	ハンターマウンテンスキー場	

(3) 総合型地域スポーツクラブ主催教室

実施教室	開催日	時間	会場
カヌー体験教室	4月～7月の土・日	午前10時～午後2時	つがの里
バランスボール教室	毎週金曜日	午後8時～9時	木コミュニティセンター
ジュニアバスケ教室	毎週火曜日	午後5時30分～7時	南部コミュニティセンター
ダイエット教室	毎週土曜日	午後7時30分～8時45分	西方総合文化体育館

11 都賀文化会館関係

(1) 文化振興事業関係

ア 夏休み子どもフェスタ in つが

夏休みの日曜日を家族といっしょに、一日楽しく過ごして親子の絆を深めながら文化的な意識の高揚を図ることを目的として開催した。

- ・実施日 8月25日(日)
- ・内容 映画会、マジックショー、演奏会等、楽器やゲームなどの体験学習
野外模擬店等
- ・運営 夏休み子どもフェスタ in つが実行委員会
- ・参加者 約864人

イ 第37回 栃木市都賀町文化フェスティバル

都賀町地域内で芸術・文化活動を行っている人々が一堂に会し、作品の発表と交流の場を設け、文化・芸術への意識の高揚及び情報の交換を図ることを目的として開催した。

- ・実施期間 10月26日(土)～11月12日(火)
- ・運営 文化フェスティバル実行委員会
- ・参加者 約3,500人

(2) 自主事業関係

地域の身近な文化活動団体が出演発表することにより気軽に入館し楽しくふれあえる手作りの催しや、話題の映画並びに一流人気歌手等による公演など、芸術文化にふれる機会を広く提供することを目的に事業を実施した。

ア 自主事業関係

事業名	実施日等	入場料	入場者数(人)
(共催) 春の映画鑑賞会 「マダガスカル3」	5月26日(日) 1回目: 午前10時 2回目: 午後1時 会場: ホール	全席自由 500円(小学生以上)	118
絵画展 「絵画でたどる栃木路」	6月1日(土)~9日(日) 午前9時~午後5時 会場: 展示室	無料	425
住民参加型 ピアノ・ステージ開放	6月15日(土)、16日(日) 午前10時~午後8時 会場: ホール	無料	28
住民参加型 (共催) 夏休み 子どもフェスタinつが	8月25日(日) 午前9時~午後4時30分 会場: ホールロビー、野外	無料	864
フィルムコンサート 「別れの曲」	9月16日(月) 1回目: 午前10時~ 2回目: 午後2時~ 会場: ホール	全席指定 大人1,000円 小人500円 (中学生以下)	118
歌謡コンサート 「演歌の競演」	10月20日(日) 1回目: 午後2時30分~ 2回目: 午後6時~ 会場: ホール	全席指定 A席4,000円 B席3,500円	695
(共催) コンサート 「カウントダウンオーケストラ・クリスマスコンサート」	12月8日(日) 午後2時~午後4時 会場: ホール	全席自由 大人1,000円 小人500円 (中学生以下)	403
住民参加型 (共催) コンサート 「ミュージックフェスinハートホール」	3月23日(日) 午前9時~ 会場: ロビー	無料	630

イ 貸館事業関係

(単位:人)

月	ホール	リハーサル室	会議室	展示室	合計
4月	426	-	13	-	439
5月	813	100	96	8	1,017
6月	530	2	96	431	1,059
7月	553	174	204	-	931
8月	-	69	61	-	130
9月	470	36	34	-	540
10月	3,085	295	201	740	4,321

11月	1,863	188	207	895	3,153
12月	1,920	210	307	513	2,950
1月	855	26	67	615	1,563
2月	426	43	147	5	621
3月	1,468	225	305	-	1,998
合計	12,409	1,368	1,738	3,207	18,722
月平均	1,034	114	145	267	1,560

第10節 西方教育支所

〔総括概要〕

西方教育支所生涯学習担当は、3 チーム体制により、ふるさとの風土で育む人づくり・まちづくりを目指し、各種事務事業を実施した。

公民館チームにおいては、生涯学習の理念に基づき、住民の心豊かな生きがいづくりのため、地域住民のニーズや社会の要請に対応した学習機会を提供することを目的に「おとなの学校」、「女性セミナー」、「ワクワク親子塾」など、多種多様の講座を開催した。

また、心のふれあう人間関係づくりとして、文化協会西方支部を中心に、西方南部地区コミュニティ推進協議会文化部や、公民館講座受講者並びに西方地内小中学校等による「西方文化祭」の開催、青少年育成を推進する市民会議のにしかた子どもネットワークや各種団体等による「にしかた子ども夏まつり」を開催するなどの他、各社会教育団体等が自主的、主体的に実施する活動を積極的に支援し、文化をとおして人・地域の交流を深めることを図った。

また、地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図るための、とちぎ未来アシストネット事業を推進すると共に、「にしかたアシストネットだより」を創刊し、PRをすることにより、より多くの方の理解を求めることに努め、各学校におけるアシストネット事業の充実を図った。

スポーツ振興チームにおいては、社会体育施設の維持管理を重視し、利用者の安全、安心の確保に努めた。

また、高齢者向けの「健康教室（ぴんぴん体操）」や広範囲の年齢層が参加出来る「ハイキング教室」などの開催や、地域住民の交流と住民スポーツの振興ということで「西方地域体育祭」を開催するなど、軽スポーツへの関心を広め、住民の健康保持増進並びに市民ひとり1スポーツの推進を図った。

さらに、スポーツ推進委員会や体育協会が実施する事業への支援を行いスポーツの振興を図った。

認定西方なかよしこども園チームにおいては、幼保連携型の認定こども園の特徴を活かした園児の教育・指導に努めた。

生涯学習担当

1 生涯学習推進関係

(1) 生涯学習公開事業

全講座受講生及び幅広い市民の方々に参加を募り、公開講座を通して地域・世代間交流を深めるとともに、地域に根ざした生涯学習を行った。

ア ふるさと探訪会

- ・実施日 9月29日(日)
- ・内容 西方地域にある社寺を巡りながら故郷についての興味関心理解を深め

るとともに地域の絆づくりを推進する。

講 師 実相寺住職ほか

・参加者 45人

イ 生涯学習のつどい

・実施日 2月22日(土)

・内 容 地域の生涯学習拠点施設である西方公民館において活動する社会教育団体・講座受講生等が一堂に集い、生涯学習でいきいきと自分自身を輝かせ、夢を実現している事例を見聞きした。

「嶋均三の方言・愛とユーモア」

出演者 嶋 均三

・参加者 91人

2 地域教育関係

(1) とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を組織し地域の教育力を高めるため実施した。

・地域教育協議会の開催：2回実施

・各学校・地域コーディネーターとの打ち合わせ会：3回実施

3 成人教育関係

成人式(西方会場)

実施日	会場	会議名等	出席者数(人)
9月7日(土)	大平公民館	成人式実行委員会(市全体)	5
9月14日(土)・10月6日(日) 11月10日(日)・12月1日(日) 12月7日(土)・12月28日(土)	西方公民館	成人式実行委員会(西方地域) 式典及びイベント企画打合せ	(各回) 5
1月11日(土)	西方総合文化体育館	会場準備 成人式リハーサル	8
1月12日(日)	西方総合文化体育館	平成26年栃木市成人式(西方会場)	47

4 子育て支援関係

小学校の就学時健康診断時に小学校新入学の保護者を対象に親学習プログラム指導者である「親学習の会にしかた」を活用して実施した。

実施日	内 容	場 所	出席者数(人)
10月25日(金)	親学習プログラム 早寝・早起き・朝ごはんで元気でモリモリ 大作戦!!(西方小・真名子小合同)	西方小学校	54

5 社会教育関係団体育成

各団体の事業計画から実施について助言等を行い、団体の自主的活動の促進、育

成のために援助、協力を行った。

- ・対象団体 地域婦人会、家庭教育オピニオンリーダー会、親学習プログラムの会、子ども会育成会連絡協議会、文化協会

6 公民館関係

(1) 使用状況

施設名	使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
西方公民館	423	6,060	79,500

(2) 成人教育

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	回数(回)
6月7日(金)～10月27日(日)	おとなの学校	西方公民館ほか	延べ 80	5
7月26日(金)～12月8日(日)	ぶらっと栃木―歴史編―	西方公民館ほか	〃 80	5
8月22日(木)～11月14日(木)	手工芸講座	西方公民館	〃 103	10
9月10日(火)～11月12日(火)	パソコン教室	西方公民館	〃 85	10

(3) 女性教育関係

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	回数(回)
6月7日(金)～1月30日(木)	女性セミナー	西方公民館ほか	延べ 123	7

(4) 青少年教育関係

実施日	事業名	場所	参加人数(人)	回数(回)
5月25日(土)～1月18日(土)	ワクワク親子塾	西方公民館ほか	延べ 123	7

(5) その他

実施日	事業名	場所	参加人数(人)
8月24日(土)	にしかた子ども夏まつり	西方総合文化体育館	約 2,000
11月16日(土)・17日(日)	西方文化祭	西方総合文化体育館	約 1,000

7 社会体育施設

(1) 施設の種類

施設名	建設年	面積 (㎡)		備考
		敷地	建物	
西方総合文化体育館	平成15年	13,374.52	3,868.65	鉄骨造2階
西方総合公園運動場	昭和59年	20,068	183.53	鉄骨造1階
西方北グラウンド	平成6年	14,878		
西方南グラウンド	昭和58年	11,250		
西方桜グラウンド	昭和40年	8,636		
真名子運動広場	平成1年	11,700		

(2) 利用状況

(単位:人)

施設名 月	西方総合文化体育館	西方総合公園運動場	西方北グラウンド	西方南グラウンド	西方桜グラウンド	真名子運動広場	合計
4月	2,971	690	209	195	755	93	4,913
5月	3,959	1,906	319	180	381	90	6,835
6月	2,757	1,179	251	160	363	90	4,800
7月	4,572	1,749	430	230	627	90	7,698
8月	2,759	936	365	0	213	90	4,363
9月	3,535	763	510	133	308	90	5,339
10月	4,865	847	390	135	405	90	6,732
11月	6,579	776	503	135	363	90	8,446
12月	3,719	717	380	135	328	84	5,363
1月	5,106	364	410	52	324	84	6,340
2月	2,763	368	409	156	324	80	4,100
3月	3,900	470	817	140	354	83	5,764
合計	47,485	10,765	4,993	1,651	4,745	1,054	70,693
平均	3,957	897	416	137	395	87	5,891

8 学校開放施設関係

利用状況

(単位:人)

学校名 月	西方小	真名子小	西方中	合計
4月	944	272	0	1,216
5月	794	0	0	794
6月	886	0	10	896
7月	1,239	0	0	1239
8月	785	0	0	785
9月	1,108	0	0	1,108
10月	943	0	0	943
11月	1,431	0	0	1,431
12月	951	45	0	996
1月	1,030	160	0	1,190
2月	748	170	25	943
3月	520	125	0	645

合計	11,379	772	35	12,186
平均	948	64	2	1,015

9 第2回西方地域体育祭

西方地域の住民が一同に集い、スポーツを通して「健康づくり」・「仲間づくり」・「地域づくり」に寄与し、地域の活性化を図ることを目的に実施した。

- ・実施日 10月13日(日)
- ・会場 西方中学校校庭
- ・競技種目
 - ①「モーニングサービス」
 - ②「力を合わせて(大玉リレー)」
 - ③「逃走中」「あなたと聖火ランナー」
 - ④「〇×クイズ」
 - ⑤「なかよし電車」
 - ⑥「ウェブボール」
 - ⑦「右か?左か?運命の分かれ道」
 - ⑧「みんなでファイト(玉入れ)」
 - ⑨「今日のお弁当なあに」
 - ⑩「スポーツ少年団リレー」
 - ⑪「逃走中」
 - ⑫「血圧測定」
 - ⑬「綱引き」
 - ⑭「大字対抗リレー」
- ・参加人数 2,000人

10 生涯スポーツ推進事業

(1) 各種教室

事業名	実施日	会場	備考
健康教室(ぴんぴん体操)	月2回木曜日	西方総合文化体育館	339人(延べ)
ミニバスケットボール教室	4月27日(土)	西方総合文化体育館	26人
ハイキング教室	6月9日(日)	東京都 高尾山	40人
フットベースボール教室	10月27日(日) 11月9日(土)・16日(土)	西方小学校校庭	12人(延べ)

(2) スポーツ大会開催

事業名	実施日	会場	備考
平成25年度桜まつり近隣市町中学校親善野球大会	4月6日(土)・7日(日)・13日(土)	西方総合公園 北グラウンド	16校参加
キララちゃんミニバスケットボール大会	5月3日(金)・4日(土)	西方総合文化体育館	8チーム参加

11 幼稚園就園奨励費補助金交付事業

西方幼稚園に就園する3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象に経済的負担軽減を目的として保育料の減免措置を行った。

(1) 国庫補助事業交付額

- ・ 交付人数 1人
- ・ 交付金額 35,000円

(2) 市単独幼稚園第三子以降保育料減免事業

- ・ 交付人数 1人
- ・ 交付金額 216,000円

12 幼稚園

(1) 幼稚園入園状況

年齢別園児数 (単位：人)

年齢	3歳	4歳	5歳	計
人数	20	17	18	55

(2) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区分	受診者数(人)	実施日	要精検者数(人)
健康診断	54	5月10日(金)	-
眼科検診	55	5月8日(水)	-
歯科検診	54	6月4日(火)	-

イ 検便等の実施状況

区分	受診者数(人)	実施日	要精検者数(人)
寄生虫卵	54	5月30日(木)	-
検尿検査	50	5月30日(木)	-

ウ 年間行事実施状況

実施日	主な行事
4月8日(月)	入園式・保護者会総会
5月24日(金)	親子遠足
6月7日(金)	保育参観
6月27日(木)	プール開き
7月20日(土)	夏まつり
10月5日(土)	運動会
10月31日(木)	保育参観・食育講演会
11月5日(火)	いもほり

12月 5日(木)	なかよし発表会（短時間児保護者見学日）
12月 6日(金)	なかよし発表会（長児間児保護者見学日）
12月20日(金)	クリスマス会及び高齢者とのふれあい会
2月13日(木)	入園説明会
2月21日(金)	年長児お別れ遠足
3月20日(木)	卒園式

※ その他、毎月誕生児の誕生会を催した。

(3) 特別支援児保育の状況

- ・特別支援児入園数 1人

(4) 防災対策状況

- ・設備、遊具等の整備点検（8月実施）
- ・避難訓練（年12回実施）
- ・安全のための実施訓練（年2回実施）

(5) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定した。

イ 給食構成

- ・主食、副食（完全給食）

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況

区 分	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビ タ ミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
園児栄養摂取値	411	16.0	13.4	191	1.9	425	0.24	0.33	23	1.7
栄養給与目標値	450	17.0	12.0	210	2.0	160	0.30	0.30	16	—

(6) 特別保育科目設定実施事業

世代間の交流を目的に季節的行事（クリスマス会）に地域の高齢者等を招待し、園児とのふれあいを行った。

第 1 6 章 選挙管理委員会事務局

〔総括概要〕

選挙管理委員会事務局の主な分掌事務は、選挙管理委員会の会議に関する事、各種選挙の執行管理、直接請求及び選挙の啓発に関する事である。

選挙は、国民が政治に参加する最も基本的な機会であって、積極的な投票への参加は、民主主義の発展のために欠かすことのできないものである。また、明るく適正な選挙の推進については、国民一人ひとりが政治の基本となる選挙に関心を持ち、有権者としての自覚を持つことが必要である。

この趣旨を踏まえ、小・中学校の児童生徒を対象に明るい選挙啓発ポスターの募集・入選作品展を行い、また、新有権者に対し選挙啓発資料を配付する等、選挙の常時啓発を推進した。

本年度は7月に参議院議員通常選挙が執行されたほか、農業委員会委員選挙、栃木市土地改良区総代選挙をそれぞれ執行した。

選挙担当

1 選挙管理委員会の状況

(1) 委員及び補充員

職名	氏名	就任年月日
委員長	相田 政郎	平成22年6月4日
職務代理者	平戸 和夫	〃
委員	川田 祐章	〃
〃	若林 祐市	〃
補充員	中田 芳宏	〃
〃	熊倉 通也	〃
〃	川島 文雄	〃
〃	飯島 茂雄	〃

(2) 委員会開催状況

開催日	種別	付議件数(件)		開催場所
		議案	報告	
4月3日(水)	定例	3	3	市役所選挙管理委員会事務室
5月2日(木)	定例	4	-	市役所選挙管理委員会事務室
6月2日(日)	定時	13	-	市役所選挙管理委員会事務室
7月3日(水)	選挙時	25	2	市役所
7月4日(木)	選挙時	1	-	市役所選挙管理委員会事務室
7月18日(木)	選挙時	2	-	市役所選挙管理委員会事務室
7月21日(日)	選挙時	2	-	総合運動公園内総合体育館

8月2日(金)	定例	3	-	市役所選挙管理委員会事務室
9月2日(月)	定時	4	-	市役所選挙管理委員会事務室
10月2日(水)	定例	3	-	市役所選挙管理委員会事務室
11月6日(水)	定例	10	-	市役所選挙管理委員会事務室
12月2日(月)	定時	3	-	市役所選挙管理委員会事務室
1月21日(火)	定例	6	-	市役所選挙管理委員会事務室
2月19日(水)	定例	7	-	市役所 401 会議室
3月2日(日)	定時	3	-	市役所 401 会議室

(3) 議案件数 89件

番号	提出日	議案名
1	4月3日	選挙人名簿の抹消について
2	4月3日	在外選挙人名簿の抹消について
3	4月3日	栃木市農業委員会の投票区の一部改正について
4	5月2日	選挙人名簿の抹消について
5	5月2日	在外選挙人名簿の登録について
6	5月2日	選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
7	5月2日	在外選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
8	6月2日	選挙人名簿の抹消について
9	6月2日	選挙人名簿の定時登録について
10	6月2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
11	6月2日	在外選挙人名簿の登録について
12	6月2日	在外選挙人名簿の抹消について
13	6月2日	農業委員会委員選挙における選挙長及びその職務を代理すべき者の選任について
14	6月2日	農業委員会委員選挙における投票所の設置について
15	6月2日	農業委員会委員選挙における投票管理者及びその職務を代理すべき者の選任について
16	6月2日	農業委員会委員選挙における期日前投票所の設置について
17	6月2日	農業委員会委員選挙における期日前投票所の投票管理者及びその職務を代理すべき者の選任について
18	6月2日	農業委員会委員選挙における選挙会の場所及び日時並びに開票事務について
19	6月2日	農業委員会委員選挙における選挙会の場所及び日時の変更について
20	6月2日	公職選挙法第17条第2項の規定による栃木市の投票区の一部を改正する告示
21	7月3日	選挙人名簿の抹消について
22	7月3日	選挙人名簿の選挙時登録について
23	7月3日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
24	7月3日	投票所の場所について
25	7月3日	期日前投票所の場所及び期間について
26	7月3日	指定期日前投票所の場所について
27	7月3日	投票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について(選挙区)

28	7月3日	投票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（比例代表）
29	7月3日	期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について（選挙区）
30	7月3日	期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について（比例代表）
31	7月3日	不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所について
32	7月3日	開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（選挙区）
33	7月3日	開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（比例代表）
34	7月3日	開票の場所及び日時について
35	7月3日	開票立会人のくじを行う場所及び日時について（選挙区）
36	7月3日	開票立会人のくじを行う場所及び日時について（比例代表）
37	7月3日	ポスター掲示場を設置する場所について
38	7月3日	投票所内の候補者の氏名等の掲示の順序のくじを行う場所及び日時について
39	7月3日	投票立会人の選任について（選挙区）
40	7月3日	投票立会人の選任について（比例代表）
41	7月3日	投票立会人の選任について（期日前投票所・選挙区）
42	7月3日	投票立会人の選任について（期日前投票所・比例代表）
43	7月3日	参議院栃木県選出議員選挙及び参議院比例代表選出議員選挙における投票所の閉鎖時刻を繰り上げることにについて
44	7月3日	在外選挙人名簿の登録について
45	7月3日	在外選挙人名簿の抹消について
46	7月4日	参議院栃木県選出議員選挙における投票所内の候補者の氏名等の掲示について
47	7月18日	参議院栃木県選出議員選挙における開票立会人の決定について
48	7月18日	参議院比例代表選出議員選挙における開票立会人の決定について
49	7月21日	選挙人名簿の抹消について
50	7月21日	当日有権者数について
51	8月2日	選挙人名簿の抹消について
52	8月2日	選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
53	8月2日	在外選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
54	9月2日	選挙人名簿の抹消について
55	9月2日	選挙人名簿の定時登録について
56	9月2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
57	9月2日	在外選挙人名簿の抹消について
58	10月2日	選挙人名簿の抹消について
59	10月2日	在外選挙人名簿の登録について
60	10月2日	在外選挙人名簿の抹消について
61	11月6日	選挙人名簿の抹消について
62	11月6日	在外選挙人名簿の抹消について
63	11月6日	選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
64	11月6日	在外選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について

65	11月6日	栃木市選挙人名簿及び在外選挙人名簿の抄本の閲覧状況の公表に関する事務処理要綱の制定について
66	11月6日	栃木市の土地改良区の総代の選挙の投票用紙の様式の一部を改正する告示の制定について
67	11月6日	公職選挙法第17条第2項の規定による栃木市の投票区の一部を改正する告示の制定について
68	11月6日	栃木市農業委員会の投票区の一部を改正する告示の制定について
69	11月6日	栃木市直接請求者署名簿の縦覧に関する規程の制定について
70	11月6日	政治活動のために使用する事務所に係る立札及び看板の類の証票に関する規程の一部を改正する規程の制定について
71	12月2日	選挙人名簿の抹消について
72	12月2日	選挙人名簿の定時登録について
73	12月2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
74	1月21日	選挙人名簿の抹消について
75	1月21日	在外選挙人名簿の抹消について
76	1月21日	選挙人名簿抄本閲覧者の公表について
77	1月21日	在外選挙人名簿抄本閲覧者の公表について
78	1月21日	栃木市土地改良区総代選挙の期日について
79	1月21日	栃木市の土地改良区の総代の選挙の投票用紙の様式の一部を改正する告示の制定について
80	2月19日	選挙人名簿の抹消について
81	2月19日	農業委員会委員選挙人名簿の登録について
82	2月19日	農業委員会委員選挙人名簿に登録した者の縦覧の場所について
83	2月19日	栃木市土地改良区総代選挙の選挙長及び職務を代理すべき者の住所及び氏名について
84	2月19日	栃木市土地改良区総代選挙の選挙立会人の住所及び氏名について
85	2月19日	選挙人名簿に登録する者の縦覧の場所について
86	2月19日	在外選挙人名簿に登録する者の縦覧の場所について
87	3月2日	選挙人名簿の抹消について
88	3月2日	選挙人名簿の定時登録について
89	3月2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について

(4) 告示件数 53件

番号	告示日	告示名
1	4月3日	栃木市農業委員会の投票区の一部を改正する告示
2	5月29日	選挙人名簿縦覧場所の告示
3	5月29日	在外選挙人名簿縦覧場所の告示
4	6月3日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
5	6月3日	農業委員会委員選挙の選挙長及びその職務代理者の選任
6	6月3日	農業委員会委員選挙の投票所の場所
7	6月3日	農業委員会委員選挙の投票管理者及びその職務代理者の選任
8	6月3日	農業委員会委員選挙の期日前投票所の場所及び期間
9	6月3日	農業委員会委員選挙の期日前投票管理者及びその職務代理者の選任
10	6月3日	農業委員会委員選挙の選挙会及び開票の場所及び日時

11	6月3日	農業委員会委員選挙の投票を行わなくなった場合の選挙会の場所及び日時
12	6月3日	栃木市の投票区の一部を改正する告示
13	6月14日	選挙人名簿縦覧場所の告示
14	7月1日	農業委員会委員選挙の当選人について
15	7月3日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
16	7月3日	参議院議員通常選挙の投票所の場所
17	7月3日	参議院議員通常選挙の期日前投票所の場所及び期間
18	7月3日	在外選挙人が投票することができる期日前投票所について
19	7月3日	参議院栃木県選出議員選挙の投票管理者及びその職務代理者の選任
20	7月3日	参議院比例代表選出議員選挙の投票管理者及びその職務代理者の選任
21	7月3日	参議院栃木県選出議員選挙の期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の選任
22	7月3日	参議院比例代表選出議員選挙の期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の選任
23	7月3日	参議院議員通常選挙の不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所
24	7月3日	参議院栃木県選出議員選挙の開票管理者及びその職務代理者の選任
25	7月3日	参議院比例代表選出議員選挙の開票管理者及びその職務代理者の選任
26	7月3日	参議院議員通常選挙の開票の場所及び日時
27	7月3日	参議院栃木県選出議員選挙の開票立会人のくじ
28	7月3日	参議院比例代表選出議員選挙の開票立会人のくじ
29	7月3日	参議院栃木県選出議員選挙のポスター掲示場の設置
30	7月3日	参議院栃木県選出議員選挙の氏名掲示の順序のくじ
31	7月3日	参議院議員通常選挙の投票所の閉鎖時刻の繰り上げについて
32	8月19日	選挙人名簿縦覧場所の告示
33	8月19日	在外選挙人名簿縦覧場所の告示
34	9月2日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
35	11月11日	選挙人名簿の抄本の閲覧状況の公表について
36	11月11日	土地改良区総代選挙の投票用紙の様式の一部を改正する告示
37	11月11日	栃木市の投票区の一部を改正する告示
38	11月11日	農業委員会の投票区の一部を改正する告示
39	11月11日	栃木市直接請求者署名簿の縦覧に関する規程
40	11月11日	政治活動用立札及び看板の証票に関する規程の一部を改正する規程
41	11月18日	選挙人名簿縦覧場所の告示
42	11月18日	在外選挙人名簿縦覧場所の告示
43	12月2日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
44	1月21日	選挙人名簿の抄本の閲覧状況の公表について
45	1月21日	在外選挙人名簿の抄本の閲覧状況の公表について
46	1月21日	土地改良区総代選挙の投票用紙の様式の一部を改正する告示

47	2月10日	栃木市土地改良区総代の一般選挙の日時
48	2月19日	農業委員会委員選挙人名簿縦覧場所
49	2月19日	栃木市土地改良区総代選挙の選挙長及びその職務代理者の選任
50	2月19日	栃木市土地改良区総代選挙の選挙立会人の選任
51	2月19日	選挙人名簿縦覧場所の告示
52	2月19日	在外選挙人名簿縦覧場所の告示
53	3月3日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数

2 選挙人名簿登録者数

3月2日現在

(単位：人)

投票区名	男	女	計
栃木第1投票区	464	498	962
栃木第2投票区	561	634	1,195
栃木第3投票区	721	766	1,487
栃木第4投票区	580	656	1,236
栃木第5投票区	1,118	1,160	2,278
栃木第6投票区	892	1,017	1,909
栃木第7投票区	633	714	1,347
栃木第8投票区	1,857	1,938	3,795
栃木第9投票区	1,473	1,503	2,976
栃木第10投票区	2,123	2,283	4,406
栃木第11投票区	890	945	1,835
栃木第12投票区	1,697	1,821	3,518
栃木第13投票区	1,232	1,359	2,591
栃木第14投票区	1,061	1,098	2,159
栃木第15投票区	650	698	1,348
栃木第16投票区	1,329	1,363	2,692
栃木第17投票区	648	684	1,332
栃木第18投票区	669	704	1,373
栃木第19投票区	194	195	389
栃木第20投票区	439	449	888
栃木第21投票区	570	573	1,143
栃木第22投票区	1,748	1,861	3,609
栃木第23投票区	1,134	1,112	2,246
栃木第24投票区	1,104	1,169	2,273
栃木第25投票区	431	450	881

栃木第 26 投票区	372	416	788
栃木第 27 投票区	480	493	973
栃木第 28 投票区	57	51	108
栃木第 29 投票区	610	720	1,330
栃木第 30 投票区	669	699	1,368
栃木第 31 投票区	1,115	1,141	2,256
栃木第 32 投票区	1,888	1,987	3,875
栃木第 33 投票区	1,397	1,533	2,930
栃木第 34 投票区	1,013	1,134	2,147
合計	31,819	33,824	65,643
大平第 1 投票区	1,584	1,635	3,219
大平第 2 投票区	493	467	960
大平第 3 投票区	449	428	877
大平第 4 投票区	941	990	1,931
大平第 5 投票区	854	906	1,760
大平第 6 投票区	371	366	737
大平第 7 投票区	690	697	1,387
大平第 8 投票区	201	214	415
大平第 9 投票区	699	740	1,439
大平第 10 投票区	1,889	1,826	3,715
大平第 11 投票区	1,228	1,203	2,431
大平第 12 投票区	312	337	649
大平第 13 投票区	1,672	1,660	3,332
大平第 14 投票区	450	387	837
合計	11,833	11,856	23,689
藤岡第 1 投票区	462	463	925
藤岡第 2 投票区	197	193	390
藤岡第 3 投票区	267	269	536
藤岡第 4 投票区	446	502	948
藤岡第 5 投票区	1,350	1,381	2,731
藤岡第 6 投票区	1,133	1,215	2,348
藤岡第 7 投票区	13	14	27
藤岡第 8 投票区	719	750	1,469
藤岡第 9 投票区	826	856	1,682
藤岡第 10 投票区	629	650	1,279
藤岡第 11 投票区	506	470	976
藤岡第 12 投票区	411	415	826

合計	6,959	7,178	14,137
都賀第1投票区	2,046	2,130	4,176
都賀第2投票区	1,195	1,227	2,422
都賀第3投票区	496	519	1,015
都賀第4投票区	521	537	1,058
都賀第5投票区	766	811	1,577
都賀第6投票区	358	368	726
合計	5,382	5,592	10,974
西方第1投票区	659	745	1,404
西方第2投票区	291	289	580
西方第3投票区	348	383	731
西方第4投票区	545	535	1,080
西方第5投票区	313	318	631
西方第6投票区	465	494	959
西方第7投票区	29	23	52
合計	2,650	2,787	5,437
総合計	58,643	61,237	119,880

3 平成26年3月2日現在選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数

- (1) 市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の50分の1 2,398人
(2) 市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の6分の1 19,980人
(3) 市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の3分の1 39,960人

4 在外選挙人名簿登録者数（3月2日現在）（単位：人）

指定在外選挙投票区名	男	女	計
栃木第2投票区	11	18	29
大平第1投票区	12	9	21
西方第1投票区	1	1	2
合計	24	28	52

5 啓発事業

(1) 明るい選挙啓発ポスター募集

小学生	出品総数	247点	うち市入選	24点
中学生	出品総数	203点	うち市入選	25点
高校生	出品総数	4点	うち市入選	1点

市入選作品50点のうち30点を県に出品し、優秀賞に1点、入選に3点、佳作に12点が選ばれた。

(2) 明るい選挙啓発ポスター入選作品展

- ・展示期間 3月3日(月)～3月14日(金)

- ・展示場所 市役所4階 エスカレーター西側スペース
- ・展示方法 入選作品 小学生24点、中学生25点、高校生1点、計50点を展示

(3) 新有権者あて啓発資料を配付

新成人者 1,314人 (3月)

6 選挙結果

(1) 平成 25 年 6 月 30 日執行 農業委員会委員選挙

ア (第1選挙区)

定数 8

候補者氏名	得票数	当落の別
大 出 陽 子	無投票	当
白 沢 栄 幸		
牛 久 秀 一		
日向野 常 男		
柴 賢一郎		
卷 島 勘 一		
木 村 隆 夫		
若 色 昭 松		

イ (第2選挙区)

定数5

候補者氏名	得票数	当落の別
柴 田 光 一	無投票	当
大 島 公 一		
中 島 征 紀		
須 藤 時 夫		
石 川 和 芳		

ウ (第3選挙区)

定数6

候補者氏名	得票数	当落の別
赤 坂 敏 雄	無投票	当
大 山 善 夫		
前 田 克 己		
毛 塚 渡		
加 藤 光 雄		
早乙女 正 司		

エ (第4選挙区)

定数4

候補者氏名	得票数	当落の別
茅 島 淳 二	無投票	当
大 橋 重		
大 塚 幸 八		
黒 川 昌 宏		

オ (第5選挙区)

定数2

候補者氏名	得票数	当落の別
山ノ井 勝	無投票	当
中田 栄伴		

(2) 平成25年7月21日執行 参議院議員通常選挙

ア 参議院栃木県選出議員選挙

候補者氏名	党派	市得票数	県得票数	当落の別
谷 ひろゆき	民主党	9,861	158,577	落
小池 一徳	日本共産党	3,349	41,351	落
沖 ともみ	みんなの党	13,237	201,895	落
杉浦 みつはる	幸福実現党	305	4,371	落
たかはし 克法	自由民主党	27,885	376,553	当

イ 参議院比例代表選出議員選挙

政党名等	市得票数			当選人数
	政党等	個人	合計	
みんなの党	10,008.000	1,117.800	11,125.800	4
民主党	3,975.000	3,127.864	7,102.864	7
新党大地	106.000	44.926	150.926	—
社会民主党	623.000	95.000	718.000	1
生活の党	522.000	925.000	1,447.000	—
みどりの風	193.753	79.403	273.156	—
自由民主党	15,692.000	4,630.089	20,322.089	18
日本共産党	2,715.000	273.318	2,988.318	5
公明党	2,609.000	4,486.374	7,095.374	7
緑の党グリーンズジャパン	170.000	518.000	688.000	—
日本維新の会	2,601.000	576.458	3,177.458	6
幸福実現党	87.000	23.000	110.000	—

(3) 平成26年3月5日執行 栃木市土地改良区総代選挙

ア (第1選挙区)

定数6

候補者氏名	得票数	当落の別
落合 正司	無投票	当
福富 宏之		
中野 治		
大平 昌男		
小久保 好一		
寺内 好一		

イ (第2選挙区)

定数2

候補者氏名	得票数	当落の別
熊 倉 一 郎	無投票	当
高 久 春 男		

ウ (第3選挙区) 定数4

候補者氏名	得票数	当落の別
大 沢 茂 雄	無投票	当
小古山 芳 市		
寺 内 茂		
峯 岸 善 裕		

エ (第4選挙区) 定数8

候補者氏名	得票数	当落の別
日 向 野 清	無投票	当
高 田 正 持		
大 川 文 夫		
野 尻 真 悟		
増 山 英 治		
小 宮 正 利		
白 井 昭 夫		
渡 邊 秀 夫		

オ (第5選挙区) 定数9

候補者氏名	得票数	当落の別
藤 掛 豊 三	無投票	当
寺 内 貞 夫		
猪 野 廣 治		
高 久 充 由		
柴 忠 義		
植 竹 正 一 郎		
寺 内 茂		
男 山 正 明		
高 久 昇		

カ (第6選挙区) 定数2

候補者氏名	得票数	当落の別
新 村 誠 一	無投票	当
長 宏		

キ (第7選挙区) 定数7

候補者氏名	得票数	当落の別
柏 崎 吉 雄	無投票	当
横 塚 博		

伏 木 正 義		
柏 崎 尚 人		
荒 川 憲 一		
長 昌 光		
柏 崎 弘 行		

ク (第8選挙区)

定数2

候補者氏名	得票数	当落の別
長 幸 雄	無投票	当
栃 木 一 郎		

第 1 7 章 監査委員事務局

〔総括概要〕

監査等については、平成25年度監査計画に基づいて、定例監査、例月現金出納検査、決算審査・基金運用状況審査、工事監査、貯蔵品たな卸検査(立会い)、財政援助団体監査及び指定管理者監査を実施した。

監査に当たっては、法令により定められた権限に基づいて、公正で合理的かつ能率的な市の行財政運営確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて実施した。

なお、監査等の結果については、報告を決定し、市議会及び市長等に提出するとともに公表するなどにより、民主的かつ効率的な行財政の執行に資し、もって市民福祉の増進と地方自治の本旨の実現の寄与に努めた。

監査担当

1 監査委員の状況

- ・ 識見を有する者 板倉安秀 平成22年5月18日就任
- ・ 議員選出者 梅澤米満 平成24年6月1日就任 平成25年6月6日退任
- ・ 議員選出者 大出孝幸 平成25年6月7日就任

2 監査等の実施状況

平成25年度監査計画により、次のとおり実施した。

(1) 定例監査

監査結果の報告については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対象部局等	対象課等	実施日
総合政策部	総合政策課、まちなか土地利用推進室、地域まちづくり課、合併推進室、秘書広報課、財政課、地域医療対策室	4月24日(水) 4月25日(木)
総務部	総務課、職員課、情報推進課、契約検査課、危機管理課	5月27日(月)
生活環境部	市民生活課、交通防犯課、保険医療課、環境課、斎場整備室、新エネルギー対策室、人権・男女共同参画課	6月24日(月) 6月25日(火)
消防本部・消防署	消防総務課、予防課、警防課、通信指令課、消防第1課、消防第2課	8月23日(金)
会計課		
寺尾財産区	管財課	

議会事務局 選挙管理委員会事務局 農業委員会事務局	議事課 選挙管理委員会事務局 農業委員会事務局	8月23日(金)
大平総合支所 藤岡総合支所 都賀総合支所 西方総合支所	地域まちづくり課、税務課、生活環境課、 健康福祉課、産業振興課、都市整備課、 都市建設課、産業建設課	9月24日(火) 9月25日(水)
保健福祉部	社会福祉課、生活福祉課、こども課、保育課、 高齢福祉課、介護保険課、健康増進課	10月23日(水) 10月24日(木)
小中学校	栃木中央小学校、栃木第三小学校、 大宮南小学校、大宮北小学校、千塚小学校、 栃木東中学校、東陽中学校	11月1日(金) 11月5日(火)
建設水道部	道路課、河川緑地課、下水道課、水道業務課、 水道工務課	11月25日(月)
理財部 産業振興部	管財課、市民税課、資産税課、収税課 商工観光課、農林課、産業基盤整備課	11月27日(水)
教育委員会事務局	教育総務課、学校教育課、生涯学習課、 スポーツ振興課、文化課、伝建推進室、 大平教育支所、藤岡教育支所、 都賀教育支所、西方教育支所	12月24日(火) 12月25日(水)
都市整備部	都市計画課、建築課、建築指導課	1月24日(金)

(2) 例月現金出納検査

検査結果の報告については、地方自治法第235条の2第3項の規定により、市議会及び市長に提出した。

対 象	実 施 日	対 象	実 施 日
平成24年度 3月分	4月25日(木)	平成25年度 8月分	9月25日(水)
平成24年度 4月分	5月27日(月)	9月分	10月24日(木)
平成25年度 4月分		10月分	11月25日(月)
平成24年度 5月分	6月25日(火)	11月分	12月24日(火)
平成25年度 5月分		12月分	1月24日(金)
平成25年度 6月分	7月26日(金)	1月分	2月21日(金)
7月分	8月23日(金)	2月分	3月25日(火)

(3) 決算審査・基金運用状況審査

市長から審査依頼のあった平成24年度の決算及び基金運用状況について審査を行い、意見書を提出した。

対 象	実 施 日
水道事業会計	6月20日(木)～8月16日(金)

一般会計 国民健康保険特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険特別会計(保険事業勘定) 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定) 下水道特別会計 農業集落排水特別会計 J R 大平下駅前土地区画整理特別会計 医療福祉モール特別会計 中根産業団地特別会計	7月10日(水)～8月16日(金)
寺尾財産区特別会計	〃
土地開発基金 印紙等購買基金 保護費即時払基金 奨学基金	〃

(4) 健全化判断比率及び資金不足比率審査

市長から審査依頼のあった平成24年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について審査を行い、意見書を提出した。

(5) 工事監査

工事監査は、NPO法人地域と行政を支える技術フォーラムに委託をして実施した。なお、監査結果の報告については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対 象 (抽出)	実 施 日
栃木市役所新市庁舎整備工事	8月 5日(月)

(6) 貯蔵品たな卸検査(立会い)

対 象	実 施 日
水道事業貯蔵品たな卸検査(立会い)	5月22日(水)
〃	10月21日(月)

(7) 財政援助団体等監査

平成24年度財政援助団体等監査を次のとおり実施し、監査結果については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対 象 (抽出)	実 施 日
大平町地域協議会研究会	10月 4日(金)
藤岡町地域協議会研究会	
都賀町地域協議会研究会	
西方町地域協議会研究会	
NPO法人 ハートフルふきあげ	10月 4日(金)

(8) 指定管理者監査

平成24年度指定管理者監査を次のとおり実施し、監査結果については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対 象	公 の 施 設	実 施 日
宮本工業所・五輪グループ	栃木市斎場	2月21日(金)
NPO法人 自然と人間の森おおひら	栃木市おおひら歴史民俗資料館・栃木市おおひら郷土資料館	

(9) 行政監査

平成25年度は対象となる案件がなかったため、実施していない。

(10) 要求監査

平成25年度は対象となる案件がなかったため、実施していない。

3 会議、研修会等（委員）

開 催 日	会 議 、 研 修 会 等	開 催 地	参 加 者 数 (人)
5月17日(金)	平成25年度栃木県都市監査委員会役員会・総会	宇都宮市	2
5月23日(木)	平成25年度関東都市監査委員会定期総会	群馬県	2
11月21日(木)	(財)栃木県市町村振興協会主催研修会	宇都宮市	2

第 1 8 章 公平委員会

〔総括概要〕

公平委員会に係る事務を次のとおり処理した。

なお、本年度は、特に審査すべき事件はなかった。

1 公平委員の状況

職名	氏名	生年月日	就任年月日	職業	備考
委員	矢尾板 充	昭和30年 8月10日	平成22年5月18日	司法書士	委員長
〃	羽根田克子	昭和15年 7月 3日	平成22年5月18日	非常勤講師	職務代理者
〃	佐山 潔	昭和22年 7月 2日	平成22年5月18日	保護司	

2 職員団体の登録・抹消

受付	届出者	内容	登録・抹消年月日
6月 4日（火）	栃木市教職員協議会会長	役員の変更	平成25年 6月 4日登録
6月 7日（金）	栃木市職員労働組合執行委員長	役員の変更	平成25年 6月 7日登録

3 会議、研修会等（委員）

開催日	会議、研修会等	開催地	参加者数(人)
5月21日（火）	平成25年度栃木県公平委員会連合会総会	真岡市	2
7月 4日（木）	平成25年度全国公平委員会連合会本部研究会	東京都	1
10月17日（木）	平成25年度全国公平委員会連合会関東支部 第2回研究会	東京都	1

第 19 章 農業委員会事務局

〔総括概要〕

農業委員会は、農業委員会法の制定以来、農業者の利益代表機関として、「優良農地の確保と有効利用」、「担い手の確保と育成」を重要な使命として、農地法の適正な執行や地域の世話役活動に取り組んできた。

平成 21 年 12 月の農地法改正により、農地行政を担う農業委員会の役割が、これまで以上に重要になっており、農地の権利移動の許可等の適正な事務執行はもとより、定期的な農地の利用状況調査の実施や遊休農地解消の制度的措置など新たな役割を担うこととなった。

加えて、平成 25 年の農地法の一部改正により遊休農地対策による農地利用意向調査、農地台帳の法定化による適正管理等、今後ますます農地に関する活動が求められることになる。

こうした中で、農地と担い手を守り活かす取組として、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用した遊休農地解消、中核農家への農地集積の促進や新規就農者に対して適正な助言・指導を行うなど地域農業振興の推進を図った。

また、市町合併により、年間 2,000 件にもものぼる付議案件がある、農地法に基づく許認可等事務を始め、農業者年金への加入推進、各地域での農業青色申告簿記指導会の開催、家族経営協定の啓発推進など、主要事業の推進に努めた。

さらに、7 月に行われた農業委員の改選を機に、今まで以上に活発な取り組みをするため、3 つの専門委員会を設け、農業委員会活動の充実を図った。

農地振興担当

1 農業委員会の構成

(1) 農業委員（平成 26 年 3 月 31 日現在）

農業委員は平成 25 年 7 月 19 日任期満了に伴い、7 月 20 日改選された。

・定数 34 人

・現員 34 人

公選 25 人

（第 1 選挙区 8 人、第 2 選挙区 5 人、第 3 選挙区 6 人、第 4 選挙区 4 人、第 5 選挙区 2 人）

農協 2 人（下都賀・上都賀より各 1 人）、共済 2 人（県南・上都賀より各 1 人）

土地改良 1 人、学識経験（議会推薦）4 人

議席番号	選出区分	氏名	議席番号	選出区分	氏名
1	公選	大橋 重	18	公選	黒川 昌宏
2	〃	大島 公一	19	〃	日向野常男
3	〃	赤坂 敏雄	20	〃	木村 隆夫

4	〃	巻島 勸一	21	〃	大塚 幸八
5	〃	石川 和芳	22	〃	毛塚 渡
6	〃	茅島 淳二	23	〃	牛久 秀一
7	〃	須藤 時夫	24	〃	前田 克己
8	〃	大出 陽子	25	〃	大山 善夫
9	〃	山ノ井 勝	26	農協(下都賀)	糸谷 一郎
10	〃	中田 栄伴	27	農協(上都賀)	宇賀神一夫
11	〃	中島 征紀	28	共済(県南)	横田 文男
12	〃	柴田 光一	29	共済(上都賀)	柏崎 一美
13	〃	若色 昭松	30	土地改良	篠崎 通男
14	〃	柴 賢一郎	31	議会推薦	岸 シヅエ
15	〃	早乙女正司	32	〃	毛塚 玲子
16	〃	加藤 光雄	33	〃	渡辺 計子
17	〃	白沢 栄幸	34	〃	手塚 政子

(2) 農業委員会補助員

補助員は、各農家集落から推薦があった者を、農業委員会会長が委嘱する。任期は1年とし、農業委員会活動を補助する。(再任は妨げない)

地区名	栃木	大宮	皆川	吹上	寺尾	国府	大平	
人数(人)	22	18	20	24	15	21	35	
地区名	部屋	藤岡	赤麻	三鴨	赤津	家中	西方	合計
人数(人)	29	25	30	22	22	22	33	338

(3) 委員会の設置

農業委員会の円滑かつ適正な運営のために運営委員会を設置した。また、活発な活動を展開するため、3つの専門委員会を設けた。

ア 運営委員会

農業委員会全体の運営

- ・ 建議要望書提出
- ・ 農業者との意見交換会

イ 耕作放棄地対策委員会

耕作放棄地の解消

- ・ 耕作放棄地たすけ隊

ウ 農業委員会だより編集委員会

農業委員会の活動を周知するための広報誌を発行

- ・ 12月創刊号発行

エ なでしこ委員会

女性農業委員で組織し、女性の視点を活かした農業振興

- ・ 小学生農業体験学習(田植え、稲刈り)
- ・ 地産地消のイベント

・農業機械安全利用教室

2 総会開催状況

開催日	場所	付議事件数(件)
4月30日(火)	吹上公民館	5
5月31日(金)	吹上公民館	6
6月28日(金)	吹上公民館	8
7月20日(土)	市役所正庁	2
7月31日(水)	吹上公民館	6
8月30日(金)	吹上公民館	6
9月30日(月)	吹上公民館	6
10月31日(木)	吹上公民館	8
11月28日(木)	吹上公民館	6
12月26日(木)	国府公民館	7
1月31日(金)	吹上公民館	6
2月28日(金)	市役所正庁	9
3月28日(金)	市役所正庁	7

3 農業委員会委員選挙人名簿登載申請書の確認状況

選挙区	申請世帯数	男(人)	女(人)	計(人)	面積(ha)
第1(栃木)	2,665	2,700	1,491	4,191	279,559
第2(大平)	1,134	1,326	979	2,305	166,734
第3(藤岡)	1,715	1,736	995	2,731	214,520
第4(都賀)	1,036	1,172	726	1,898	114,016
第5(西方)	588	630	360	990	69,601
合計	7,138	7,564	4,551	12,115	844,430

4 証明書等の発行状況

種別	件数(件)
耕作証明書	403
農家資格証明書	8
諸証明書等	386
計	797

5 委員研修・視察等

県農業会議等の主催で開催される研修会に積極的に参加するとともに、市独自でも自主研修会を開くなど、委員の資質の向上を図った。

先進地を視察訪問し、他市農業委員会との情報交換の中で見聞を広めた。

・実施状況

実施日	研修内容	開催場所
7月29日(月)	第1回栃木県農業委員研修会 栃木市新任農業委員研修会	県教育会館 アグリプラザ
9月6日(金)	とちぎ女性農業委員研修会	県自治会館
10月31日(水)	家族経営協定研修会	吹上公民館
11月7日(木)	第2回栃木県農業委員研修会	県教育会館
11月28日(木)	農業者年金加入推進研修	吹上公民館
12月11日(水)	栃木県女性農業委員の会総会・研修会	県教育会館
12月13日(金)	家族経営協定推進セミナー	下都賀庁舎
12月26日(木)	農業者年金加入推進特別研修会	吹上公民館
2月24日(月)	栃木県農村女性トップリーダー懇談会	コンセーレ
2月26日(水)	農業機械安全利用教室	JA広域農機センター

6 農業者と農業委員との意見交換会

「地域の農地と担い手を守り活かす運動」の一環として、農業者から意見・要望を汲み上げ、農業委員会の持つ「意見の公表」「建議」の機能に基づき、実のある施策として実現させていくため、農業者との意見交換会を開催している。

今年度は、はじめに栃木地域・大平地域・藤岡地域・都賀西方地域の4ブロックに分かれてそれぞれの地域の実情に応じた意見交換の場を設けた後、全体会で発表した。

・開催日 9月30日(月)

・開催場所 吹上公民館

・参加者数 (単位：人)

地域名	農業者	農業委員	市職員
栃木	8	10	5
大平	6	6	4
藤岡	6	8	4
都賀	5	6	4
西方	3	4	2
合計	28	34	19

7 農業青色簿記記帳指導会

栃木市農業青色申告会を組織し、合併前の旧市・町単位を支部として活動している。自立経営農家を志向する経営主に対し、企業的農業経営の確立と、簿記記帳による適正

納税が図られるよう、簿記記帳指導会を開催した。また、農業経営の改善、合理化を図るため、パソコン簿記の研修会を開催した。

(1) 農業青色申告会加入者 (単位：人)

区 分	24年度末	25年度中増減	現加入者数
栃木支部	143	▲ 7	136
大平支部	127	▲ 4	123
藤岡支部	60	-	60
都賀支部	84	▲ 1	83
西方支部	106	▲ 4	102
合 計	520	▲ 16	504

(2) 簿記記帳指導会開催状況

区 分	回数(回)	受講者延べ人数(人)	講 師 (敬称略)
栃木支部	7	212	県農業会議指導協力員 島田喜一、長幸雄、谷中克己、松本トミ、 本澤敏江、久保弘
大平支部	5	328	県農業会議指導協力員 中島英明、山中繁章、杉田禎子、生澤幸雄 青色申告指導員補助 堀江裕之、大山幸夫、板垣貴則、 五十畑利茂
藤岡支部	8	203	県農業会議指導協力員 渡辺正行、飯塚豊、田沼正能
都賀支部	4	155	県農業会議指導協力員 渡辺繁、石川明、茅島美季 青色申告指導員補助 大栗君子
西方支部	5	268	県農業会議指導協力員 坂本光祥、川嶋信元 青色申告指導員補助 高山一郎
合 計	29	1,166	県農業会議指導協力員 18人 青色申告指導員補助 6人

(3) パソコン簿記研修会開催状況

区 分	回数(回)	受講者延べ人数(人)	講 師 (敬称略)
栃木支部	9	94	ソリマチ農業ソフト認定インストラクター 根本壽一
大平支部	3	32	
藤岡支部	11	127	田沼正能

都賀支部	13	190	ソリマチ農業ソフト認定インストラクター 根本壽一
西方支部	4	47	栃木県農業大学校講師ソリマチサポート 長嶋修一
合計	40	490	

8 標準農作業料金の設定

兼業農家における、専業農家や農業協同組合等への農作業の部分又は全面委託等受委託関係が、適正かつ円滑に推進されるよう、農作業の目安となるべき標準料金を作成し、参考としている。

(1) 水稲作業

作業区分		単位	料金（円）
トラクター作業	ロータリー耕起	10a当たり	3,700～5,250
	ロータリー代かき	〃	8,200～14,000
施肥（堆肥代別途）		〃	1,050～1,600
稚苗費（種子代別途）		〃	12,800～17,500
田植（機械植、補植別）		〃	6,500～8,000
除草剤散布（薬剤費別）		〃	1,500～2,500
防除（空散別途）		〃	1,500
刈取・脱穀		〃	15,000～18,000
乾燥・調整（袋代別途）		60kg当たり	1,400～1,785
畦畔つくり		1m当たり	50～70

(2) 麦作業

作業区分		単位	料金（円）
ドリル播	トラクター作業 （耕起・施肥・播種・鎮圧）	10a当たり	4,200～6,500
除草		〃	800
麦踏		〃	600～1,600
刈取・脱穀		〃	12,800～18,000
乾燥・調整 （袋代別途）	小麦	60kg当たり	1,500～1,955
	ビール麦	50kg当たり	1,300～1,955

(3) 労務費（1日当たり8時間）

作業名	料金（円）
一般農作業	6,640～7,000

9 農業者年金事業

担い手の確保、育成、農業経営資源の継承という農業の持続発展に寄与することを目的として、農業者年金事業の推進を図った。

(1) 農業者年金加入推進市内担当者研修会

県農業会議から講師を招き、農業者年金についての講義を受け、農業者年金加入推進について理解を深めた。

実施日	場 所	参加者 (人)
11月28日(木)	吹上公民館	38

・参加者内訳 農業委員32人、事務局職員6人

(2) 加入状況 (2月末日現在)

(単位：人)

通常加入	政策支援加入
75 (内新規加入者8)	12 (内新規加入者なし)

(3) 年金受給者数 (3月末現在)

1,253人

10 農地の権利設定、移転及び転用関係処理状況

(1) 農地法第3条関係

ア 法第3条許可 (所有権の移転関係)

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	6	4,487.91	15.00	4,502.91
5	3	1,388.00	2,220.00	3,608.00
6	3	-	1,139.00	1,139.00
7	3	3,522.00	-	3,522.00
8	5	13,643.00	-	13,643.00
9	1	5,100.00	916.00	6,016.00
10	4	6,368.00	2,141.00	8,509.00
11	8	16,657.00	3,055.00	19,712.00
12	3	8,753.00	2,777.00	11,530.00
1	9	19,039.00	9,091.00	28,130.00
2	2	1,355.00	416.00	1,771.00
3	7	33,072.00	2,586.00	35,658.00
計	54	113,384.91	24,356.00	137,740.91

イ 法第3条許可 (賃借権、使用貸借権、区分地上権の設定・移転関係)

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	-	-	-	-
5	1	7,692.00	-	7,692.00
6	3	8,204.00	272.00	8,476.00
7	1	944.00	-	944.00
8	1	-	722.00	722.00
9	1	-	629.00	629.00

10	-	-	-	-
11	2	-	8,093.00	8,093.00
12	7	3,294.42	-	3,294.42
1	2	6,894.00	-	6,894.00
2	5	49,189.00	1,580.00	50,769.00
3	1	3,274.00	-	3,274.00
計	24	79,491.42	11,296.00	90,787.42

(2) 農地法第4・5条許可

ア 法第4条許可（調整区域内、自己転用）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	1	13.63	-	13.63
5	1	-	861.00	861.00
6	1	413.00	-	413.00
7	1	-	84.41	84.41
8	1	-	931.00	931.00
9	1	163.00	-	163.00
10	3	-	2,564.98	2,564.98
11	2	4,679.00	404.67	5,083.67
12	1	576.00	-	576.00
1	3	569.00	1,588.48	2,157.48
2	4	-	2,641.43	2,641.43
3	2	-	5,314.46	5,314.46
計	21	6,413.63	14,390.43	20,804.06

イ 法第5条許可（調整区域内の権利の設定・移転を伴う転用）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	6	2,365.41	210.00	2,575.41
5	6	1,542.00	979.00	2,521.00
6	10	29,106.08	7,904.00	37,010.08
7	7	1,691.00	1,148.00	2,839.00
8	9	5,302.00	9,011.91	14,313.91
9	8	6,614.10	791.07	7,405.17
10	10	30,313.76	4,562.00	34,875.76
11	12	9,458.00	3,715.00	13,173.00
12	8	6,299.57	3,476.11	9,775.68
1	8	5,616.00	4,662.27	10,278.27
2	7	7,125.00	519.60	7,644.60
3	5	3,207.00	2,244.00	5,451.00
計	96	108,639.92	39,222.96	147,862.88

(3) 農地法第4・5条届出

ア 法第4条届出（市街化区域内、自己転用）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	2	744.00	918.00	1,662.00
5	7	3,515.00	767.00	4,282.00
6	1	938.00	-	938.00
7	4	-	2,418.00	2,418.00
8	9	5,104.00	1,882.00	6,986.00
9	4	1,898.00	946.00	2,844.00
10	4	602.00	1,996.00	2,598.00
11	10	4,437.00	4,895.00	9,332.00
12	1	247.00	-	247.00
1	2	-	2,245.00	2,245.00
2	4	1,314.00	1,037.00	2,351.00
3	7	1,008.00	2,918.75	3,926.75
計	55	19,807.00	20,022.75	39,829.75

イ 法第5条届出（市街化区域内の権利の設定・移転を伴う転用）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	36	20,750.75	4,334.00	25,084.75
5	13	3,995.00	2,833.00	6,828.00
6	15	6,657.00	8,500.00	15,157.00
7	16	4,062.00	3,830.00	7,892.00
8	39	25,536.58	6,949.14	32,485.72
9	11	1,417.00	2,766.00	4,183.00
10	14	8,401.76	3,094.00	11,495.76
11	35	10,481.41	11,828.47	22,309.88
12	18	5,571.00	5,493.00	11,064.00
1	17	8,136.00	8,078.00	16,214.00
2	13	11,024.00	1,896.00	12,920.00
3	53	20,819.00	17,631.61	38,450.61
計	280	126,851.50	77,233.22	204,084.72

(4) 農地法第18条関係（合意解約通知）

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	15	41,684.00	2,650.00	44,334.00
5	28	102,594.00	1,245.00	103,839.00
6	2	1,408.00	-	1,408.00
7	8	40,400.00	13,958.00	54,358.00
8	7	8,239.00	2,525.00	10,764.00

9	11	37,266.00	620.00	37,886.00
10	13	41,374.00	2,143.00	43,517.00
11	32	68,624.00	2,956.00	71,580.00
12	10	44,217.00	198.00	44,415.00
1	36	132,032.91	6,734.00	138,766.91
2	7	17,384.00	722.00	18,106.00
3	16	29,766.00	4,270.00	34,036.00
計	185	564,988.91	38,021.00	603,009.91

(5) 各種証明関係

ア 非農地証明

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	7	1,477.51	1,844.00	3,321.51
5	4	-	2,419.00	2,419.00
6	5	-	1,690.91	1,690.91
7	6	1,045.00	3,015.52	4,060.52
8	5	2,652.00	406.00	3,058.00
9	5	-	877.00	877.00
10	6	576.00	2,351.00	2,927.00
11	9	2,511.00	3,938.30	6,449.30
12	12	1,619.84	4,774.00	6,393.84
1	3	210.00	6,520.00	6,730.00
2	7	2,338.00	1,710.00	4,048.00
3	10	684.00	6,267.00	6,951.00
計	79	13,113.35	35,812.73	48,926.08

イ 相続税・贈与税の納税猶予に関する適格者証明

件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
3	6,436.00	11,210.65	17,646.65

ウ 買受適格者証明

件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
3	9,927.14	1,452.00	11,379.14

(6) 農業振興地域整備計画の変更協議

件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
33	27,776.10	18,553.97	46,330.07

11 農業経営基盤強化促進法に基づく事務処理状況

利用権設定等促進事業に係る農用地利用集積計画を総会で決定し、市に要請した。

(1) 利用権の設定関係

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	95	346,278.00	6,656.00	352,934.00
5	80	326,694.00	11,049.00	337,743.00
6	44	136,381.00	9,518.00	145,899.00
7	14	95,077.00	-	95,077.00
8	21	89,371.00	13,197.00	102,568.00
9	38	143,498.61	14,281.00	157,779.61
10	84	417,096.00	7,131.96	424,227.96
11	121	540,676.61	8,735.00	549,411.61
12	186	714,341.83	25,608.00	739,949.83
1	115	474,377.25	5,608.00	479,985.25
2	126	512,026.09	15,545.91	527,572.00
3	97	331,729.45	12,480.00	344,209.45
計	1,021	4,127,546.84	129,809.87	4,257,356.71

(2) 所有権の移転関係

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	-	-	-	-
5	2	2,382.00	-	2,382.00
6	1	3,581.00	-	3,581.00
7	3	17,173.00	-	17,173.00
8	3	8,961.00	-	8,961.00
9	3	4,055.00	4,083.00	8,138.00
10	1	2,113.00	-	2,113.00
11	6	16,286.00	3,149.00	19,435.00
12	1	1,270.00	-	1,270.00
1	3	4,710.00	4,083.00	8,793.00
2	21	64,030.00	2,155.00	66,185.00
3	-	-	-	-
計	44	124,561.00	13,470.00	138,031.00

(3) 利用権の移転関係

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
11	1	2,255.00	-	2,255.00
計	1	2,255.00	-	2,255.00

国有農地の管理、処分、対価の徴収及び登記事務の推進に努めた。

区 分	件数(件)	筆数(筆)	面積 (㎡)
農耕貸付	10	13	4,705
転用貸付	2	5	2,147
未貸付	17	17	4,245
合 計	29	35	11,097

13 農地銀行活動事業

効率的かつ安定的な「育成すべき農業経営体」への農用地の利用集積を促進するため、農用地の有効利用と流動化等の調整を行った。(通年)

- ・利用権設定に結びつけたもの 1,021件 4,257,356.71㎡

14 耕作放棄地解消対策事業

耕作放棄地解消対策のため、耕作放棄地の実態把握と解消促進に努めた。

- (1) 栃木市耕作放棄地対策協議会総会
 - ・実施日 10月1日(火)
 - ・場 所 市役所
- (2) 農業委員の担当地区ごとに、耕作放棄地実態調査を実施
 - ・実施時期 9月
 - ・耕作放棄地面積 73ha
- (3) 耕作放棄地再生利用緊急対策活用事業
 - ・藤岡地区 10a
 - ・西方地区 20a

15 家族経営協定の啓発推進

農業の意欲ある担い手を育成するとともに、農業経営の体質強化を進める取組の一つとして、農業委員による家族経営協定の普及推進に取り組んでいる。これは地域農業の振興対策の一環としてだけでなく、「地域の農地と担い手を守り活かす運動」を助長することにもつながる。今年度は農業委員会総会日にあわせて、栃木県女性農業士会家族経営協定部会による寸劇を交えての研修会を開催して、とくに女性農業委員を中心に啓発を推進した。

(単位：件)

地 区 名	平成 23 年度末	平成 24 年度末	平成 25 年度末
栃木地区	107	112	113
大平地区	50	54	59
藤岡地区	30	32	35
都賀地区	27	27	28
西方地区	60	62	63
合 計	274	287	298

第 2 0 章 固定資産評価審査委員会

〔総括概要〕

固定資産の価格等は、毎年3月末日までに決定され、固定資産課税台帳に登録され、その後一定期間閲覧・縦覧に供される。

固定資産評価審査委員会は、納税義務者からの不服申出に基づき、固定資産課税台帳に登録されている価格について審査決定している。また、公平・適正な審査を期するため独立した中立的な機関であり、委員定数5名、任期3年により運営している。

審査委員会においては、委員長を選任、評価の概要等の報告及び審査申出に対する審査を行った。

1 固定資産評価審査委員

職名	氏名	生年月日	就任年月日	備考
委員長	諏訪 晃	昭和19年 1月 3日	平成 25年 5月 18日	
委員	町田 郁夫	昭和26年11月 5日	平成 25年 5月 18日	
委員	三柴 力夫	昭和16年 7月17日	平成 25年 5月 18日	
委員	柏倉 喜三久	昭和22年 9月12日	平成 25年 5月 18日	
委員	天海 達雄	昭和24年 7月 4日	平成 23年 11月 25日	

2 委員会開催状況

開催日	内容	場所	備考
5月21日（火）	・委員長選出 ・平成25年度固定資産評価の概要について ・平成25年度固定資産評価資産課税台帳の縦覧・閲覧状況について	正庁	
6月 7日（金）	・固定資産評価審査申出書の形式審査について ・合議体における委員選出について	第5会議室	

3 審査開催状況

開催日	内容	場所	備考
6月 7日（金）	・口頭による意見陳述	第5会議室	
6月27日（木）	・書面審査、意見陳述 ・審査の決定について	正庁	

第 2 1 章 消防本部

第 1 節 消防総務課

〔総括概要〕

組織機構改革の見直しやスリム化により、4月1日から名称を総務課から消防総務課に変更、また係を消防総務係のみとし、新組織体制で業務を行った。

消防総務課の主な分掌事務は、消防職員の人事、研修、福利厚生関係、広報広聴関係、消防事務の企画及び調整関係、消防施設の整備及び維持管理関係である。

消防職員の人事については、昭和46年の広域消防発足時に採用された職員が、平成24年度に大量退職し、更に平成25年度にも大量退職することや岩舟町との合併を考慮して、職員を適正配置し、人材育成、組織の活性化及び業務の継続性を図りながら、消防力の低下を招かぬよう組織づくりに配慮し、異動等を実施した。

職員研修については、複雑多様化する災害や救急業務など、近年の消防を取り巻く環境の変化に対応できるよう各種研修に積極的に参加し、職員の知識及び技能の向上に努めた。

職員福利厚生については、消防職員の健康増進と職場環境の向上を図るため、安全衛生推進者の養成や予防接種等を実施した。

また、消防職員委員会を開催し、職員の意見を積極的に職場に反映し、風通しのよい職場づくりに努めた。

広報業務については、市民に消防行政への理解と関心を高めてもらうため、ホームページの活用、報道機関への情報提供等、きめ細やかな広報活動を展開した。

消防施策の意思決定、その他重要な案件の審議並びに消防本部、消防署及び各消防分署の相互の連絡調整等を行い、消防行政の統一的、効率的な運営を図るため、定期的に定例幹部会議を開催した。

また、災害時の活動拠点としての役割を果たすため、消防本部、消防署及び各消防分署庁舎等の消防施設を適正に管理するとともに修繕工事等を行った。

消防総務係

1 消防職員数

(1) 階級別職員数

(単位:人)

階級 区分	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他	計
定員	階級別定員なし								195
実員	1	8	19	44	16	15	63	1	167

(2) 所属別職員数

(単位:人)

階級 所属	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	そ の 他	計	摘 要
	消防 本部	消防長	1	-	-	-	-	-	-	1
	次長	-	1	-	-	-	-	-	1	
	消防総務課	-	1	1	4	2	1	1	11	県消防防災航空隊へ派遣1 市秘書広報課へ併任1 市危機管理課へ併任1 市危機管理課から併任1
	予防課	-	1	2	2	1	-	2	8	
	警防課	-	1	2	2	-	-	-	5	県消防学校へ派遣1
	通信指令課	-	1	1	6	2	-	-	10	
	計	1	5	6	14	5	1	3	36	
消防 署	署長	-	1	-	-	-	-	-	1	
	副署長	-	2(2)	-	-	-	-	-	2(2)	
	消防第1課	-	-	2	7	1	5	10	25	
	消防第2課	-	-	2	7	1	5	10	25	
	大平分署	-	-	2	4	2	2	7	17	
	藤岡分署	-	-	3	4	3	1	6	17	
	都賀分署	-	-	2	4	2	-	6	14	
	西方分署	-	-	2	4	2	1	5	14	
	計	-	3(2)	13	30	11	14	44	115(2)	
	研修職員	-	-	-	-	-	16	-	16	県消防学校へ入校16
	合計	1	8(2)	19	44	16	15	63	167(2)	

※ () 内数字は兼務者数

(3) 級別職員数

(単位:人)

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	小計
男	1	8	6	13	45	16	31	45	165
女	-	-	-	-	-	-	-	2	2
計	1	8	6	13	45	16	31	47	167

2 消防職員人事

(1) 職員の採用

(単位:人)

職 種	人 員	男	女
消 防	16	15	1

(2) 職員の退職 (単位:人)

消防職	14
-----	----

(3) 消防職員採用試験の実施状況

・試験実施状況

実 施 日	内 容
9月22日(日)	第一次試験(筆記試験)実施
10月23日(水)	第二次試験(体力測定)実施
10月29日(火)・30日(水)	第二次試験(面接試験)実施

・受験状況

区 分	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数(人)			倍率 (倍)
			男	女	計	
消 防	102	85	16	2	18	4.7

3 消防職員研修

(1) 栃木県消防学校教育訓練

期 間	研 修 科 目	参加者数(人)
4月10日(水)～9月20日(金)[113日]	初任教育(第61期)	16
9月25日(水)～10月4日(金)[8日]	特別教育水難救助科	2
9月25日(水)～10月24日(木)[21日]	専科教育救助科	2
10月7日(月)～10月21日(月)[10日]	幹部教育初級幹部科	2
10月28日(月)～12月25日(水)[41日]	専科教育救急科	13
1月14日(火)～1月20日(月)[5日]	専科教育危険物科	2
1月20日(月)～1月31日(金)[10日]	専科教育警防科	2
1月27日(月)～1月31日(金)[5日]	幹部教育中級幹部科	1
2月17日(月)～2月25日(火)[7日]	専科教育特殊災害科	2

(2) 消防大学校教育訓練

期 間	研 修 科 目	参加者数(人)
10月29日(火)～12月13日(金) [33日]	総合教育幹部科(第35期)	1

4 職員厚生

健康診断の実施状況

検 診 名	対 象 者	受診者数(人)
一般健康診断	全職員	123
胃がん検診	〃	90
肺がん検診(胸部X線撮影)	〃	101
大腸がん検診	〃	95
前立腺がん検診	50歳以上	6
人間(脳)ドック	35歳以上	42

5 広報関係

(1) ホームページ

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、消防本部の組織、各種統計、試験・講習会の案内及び応急処置方法等、消防行政に関わる情報を分かりやすく市民に周知を図り、広報活動のより一層の充実に努めた。

(2) 報道機関等への情報提供

人命救助や初期消火等の消防防災業務に対し、功績及び協力のあった方への感謝状贈呈について情報提供を行った。

6 定例幹部会

消防長が主宰し、消防施策の意思決定、その他重要な案件の審議並びに組織内の連絡調整等を行った。

開 催 日	案件数(件)	開 催 日	案件数(件)
4月1日(月)	4	10月1日(火)	4
5月1日(水)	3	11月1日(金)	4
6月3日(月)	3	12月2日(月)	4
7月1日(月)	4	1月6日(月)	5
8月1日(木)	3	2月3日(月)	3
9月2日(月)	5	3月4日(火)	3

7 消防施設の概要

(単位: m²)

区分	所在地	敷地面積	構造	1階 床面積	2階 床面積	3階 床面積	延面積
消防本部	平柳町1-34-5	1,725	鉄骨造陸屋根3階建	467	437	22	926
栃木市消防署	平柳町1-34-5	2,722	鉄筋コンクリート造 3階建	641	330	315	1,286
大平分署	大平町蔵井 2001-2	1,309	鉄筋コンクリート造 2階建	228	65		293
藤岡分署	藤岡町藤岡 81-2	1,312	鉄筋コンクリート造 2階建	266	104		370
都賀分署	都賀町大柿 1529	1,286	鉄筋コンクリート造 2階建	225	65		290
西方分署	西方町金井 293	1,371	鉄筋コンクリート造 2階建	226	63		289

8 消防施設の整備状況

(1) 主な維持補修工事

(単位: 円)

工事名	金額
栃木市消防本部通信指令室空調機修理工事	99,750
栃木市消防本部1階救急室空調機修理工事	47,040

(2) 主な業務委託

(単位: 円)

業務内容	金額
栃木市消防本部自家用電気工作物保安管理業務	143,640
栃木市消防署自家用電気工作物保安管理業務	196,308
栃木市消防本部・消防署・分署消防設備保守点検業務	52,500

第2節 予防課

〔総括概要〕

予防課の主な分掌事務は、火災予防、危険物規制、防火対象物指導事務等である。

火災予防事務については、全国統一の火災予防運動・防火ポスターの展示及び住宅用火災警報器設置の推進を実施し、市民の防災意識の高揚を図った。

危険物規制事務については、全国統一の危険物安全週間等による危険物施設等の立入検査を実施し、危険物施設の保安管理の充実を図った。

防火対象物指導事務については、全国統一の火災予防運動等による防火対象物等への立入検査を実施し、関係者に火災予防の周知を図った。

予防係

1 火災原因及び件数

(単位：件)

原 因	件 数	原 因	件 数
コ ン ロ	5	取 灰	1
た き 火	10	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1
放 火	2	こ た つ	-
放 火 の 疑 い	2	衝 突 の 火 花	1
た ば こ	9	電 灯 電 話 等 の 配 線	3
焼 却 炉	-	内 燃 機 関	-
電 気 装 置	1	火 あ そ び	-
ス ト ー ブ	2	火 入 れ	2
配 線 器 具	4	そ の 他	16
溶 接 機 ・ 切 断 機	-	不 明 、 調 査 中	7
合 計			66

2 消防関係

(1) 予防関係

行事	区分	実 施 日	内 容
危 険 物 安 全 週 間		6 月 2 日 (日) ~ 6 月 8 日 (土)	広 報 活 動 製 造 所 等 の 立 入 検 査
危 険 物 取 扱 者 保 安 講 習 会		9 月 13 日 (金)	危 険 物 取 扱 者 対 象 の 講 習
秋 季 全 国 火 災 予 防 運 動		11 月 9 日 (土) ~ 11 月 15 日 (金)	防 火 対 象 物 立 入 検 査
春 季 全 国 火 災 予 防 運 動		3 月 1 日 (土) ~ 3 月 7 日 (金)	防 火 対 象 物 立 入 検 査

(2) 災害関係

区分	件数 (件)	焼損棟数 (類焼含)		世帯数 (類焼含)		焼損床面 積	死傷者(人)		損害額(千円)	
		全焼		全損			死亡	負傷	建物	
建物火災	34	全焼	27	全損	13	2,063 m ²	4	6	建物	127,591
		半焼	3	半損	1					
		部分焼	21	小損	21					
		ぼや	10							
林野火災	1					37a	-	-	-	
車両火災	10						-	-	3,422	
その他の火災	21						2	-	685	

3 消防同意処理状況

(1) 防火対象物(延面積 150 m²以上) (単位: 件)

用途別			件数
1	イ	劇場等	-
	ロ	公会堂等	1
2	イ	キャバレー等	-
	ロ	遊技場等	-
	ハ	性風俗施設	-
	ニ	カラオケボックス等	-
3	イ	料理店等	-
	ロ	飲食店	6
4		物品販売店舗等	24
5	イ	旅館・ホテル等	-
	ロ	共同住宅	4
6	イ	病院等	4
	ロ	老人短期入所施設等	5
	ハ	老人デイサービスセンター等	4
	ニ	幼稚園等	1
7		学校	10
8		図書館等	-
9	イ	特殊浴場	-
	ロ	公衆浴場	-
10		停車場等	-
11		神社・寺院等	3
12	イ	工場・作業場	10
	ロ	スタジオ	-

13	イ	駐車場等	6
	ロ	航空機格納庫	-
14		倉庫	24
15		事務所等	28
16	イ	特定複合用途	12
	ロ	非特定複合用途	1
17		文化財	-
計			143

(2) (1)以外のもの

住宅	35
その他	93
計	128

4 防火対象物別立入検査実施状況

(単位：件)

用途別		地域別	栃木 地域	大平 地域	藤岡 地域	都賀 地域	西方 地域	計
1	イ	劇場等	-	-	-	-	-	-
	ロ	公会堂等	-	3	-	-	1	4
2	イ	キャバレー等	1	-	-	-	-	1
	ロ	遊技場等	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗施設	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-
3	イ	料理店等	-	-	2	-	-	2
	ロ	飲食店	4	6	-	2	-	12
4		物品販売店舗等	6	2	1	6	1	16
5	イ	旅館・ホテル等	-	-	-	-	-	-
	ロ	共同住宅	-	-	-	-	-	-
6	イ	病院等	15	7	3	2	2	29
	ロ	老人短期入所施設等	-	-	-	-	-	-
	ハ	老人デイサービスセンター等	-	3	1	3	-	7
	ニ	幼稚園等	-	-	4	-	-	4
7		学校	2	2	-	2	-	6
8		図書館等	-	-	-	-	-	-
9	イ	特殊浴場	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-	-
10		停車場等	-	-	-	-	-	-
11		神社・寺院等	1	1	-	-	-	2

12	イ	工場・作業場	2	-	12	11	11	36
	ロ	スタジオ	-	-	-	-	-	-
13	イ	駐車場等	-	-	-	2	-	2
	ロ	航空機格納庫	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	-	-	3	8	-	11
15		事務所等	7	1	-	-	3	11
16	イ	特定複合用途	2	-	-	2	1	5
	ロ	非特定複合用途	1	1	1	-	-	3
17		文化財	2	1	-	1	1	5
独居老人宅防火診断			10	9	6	6	10	41
合 計			53	36	33	45	30	197

危険物係

1 地域別危険物施設設置状況

(単位：件)

区分		地域別					計
		栃木 地域	大平 地域	藤岡 地域	都賀 地域	西方 地域	
製 造 所		-	1	-	-	3	4
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	31	15	13	6	6	71
	屋外タンク貯蔵所	23	9	2	3	15	52
	屋内タンク貯蔵所	5	4	1	2	-	12
	地下タンク貯蔵所	78	17	14	13	16	138
	簡易タンク貯蔵所	1	-	1	-	-	2
	移動タンク貯蔵所	66	30	14	8	16	134
	屋 外 貯 蔵 所	2	4	1	-	-	7
	計	206	79	46	32	53	416
取 扱 所	給 油 取 扱 所	72	20	21	13	8	134
	第1種販売取扱所	3	-	-	-	-	3
	第2種販売取扱所	-	-	-	1	-	1
	一 般 取 扱 所	50	28	15	11	10	114
	計	125	48	36	25	18	252
合 計		331	128	82	57	74	672
事 業 所 数		180	32	28	25	19	284

2 製造所等立入検査実施状況

(単位：件)

区分	地域別	栃木 地域	大平 地域	藤岡 地域	都賀 地域	西方 地域	計
	立入検査実施件数	5	16	14	8	12	55

3 指定数量の倍数別危険物施設設置状況

(単位：件)

区分	倍数別	5 倍以下	1 0 倍以下	5 倍を 超え	5 0 倍以下	1 0 倍を 超え	1 0 0 倍以下	5 0 倍を 超え	1 5 0 倍以下	1 0 0 倍を 超え	2 0 0 倍以下	1 5 0 倍を 超え	1 0 0 0 倍以下	2 0 0 0 倍を 超え	計
製	造	所	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
貯 蔵 所	屋	内	貯	蔵	所	42	16	9	-	1	2	1	1	71	
	屋	外	タンク	貯	蔵	所	9	11	21	9	2	-	-	52	
	屋	内	タンク	貯	蔵	所	10	2	-	-	-	-	-	12	
	地	下	タンク	貯	蔵	所	52	44	29	7	4	-	2	138	
	簡	易	タンク	貯	蔵	所	2	-	-	-	-	-	-	2	
	移	動	タンク	貯	蔵	所	94	6	13	17	4	-	-	134	
	屋	外	貯	蔵	所	2	3	2	-	-	-	-	-	7	
	計		211	82	74	33	11	2	3	416					
取 扱 所	給	油	取	扱	所	28	11	36	19	11	10	19	134		
	第	1	種	販	売	取	扱	所	3	-	-	-	3		
	第	2	種	販	売	取	扱	所	-	-	1	-	-	1	
	一	般	取	扱	所	39	43	26	3	1	-	2	114		
	計		70	54	63	22	12	10	21	252					
合	計	282	136	138	55	25	12	24	672						

第3節 警防課

〔総括概要〕

警防課の主な分掌事務は、火災を警戒、鎮圧し排除するための警防対策、消防計画関係、他の消防機関との相互応援協定関係、消防車両の整備及び配置管理関係、消防水利関係、水防関係、安全運転管理関係、救急事務関係、救急医療情報関係、救急救命士の養成教育関係、メディカルコントロール事務関係、救急車両及び救急資器材の整備・配置管理関係等である。

警防業務では、複雑多様化する各種災害発生時における市民の生命、身体及び財産を守るための消防計画の策定、高度で有効な消防活動が展開できるよう消防車両・消防資器材の維持管理及び更新等を行った。

救急管理業務では、増加傾向にある救急事案に対応するため、プレホスピタルケア（病院前救護）体制の構築、メディカルコントロール（医学的観点から救急隊員が行う応急処置等の質を保証）での事後検証及び救急救命士の養成及び教育を行っているほか、高規格救急自動車及び救急資器材の整備等を行うと共に、救急出動時において、適切な病院選定が可能となる救急医療情報端末を救急車に整備した。

また、心肺停止傷病者の蘇生率向上を目的とした住民に対する応急手当普及啓発活動に力を入れるため、救命講習会に必要な資器材を導入し多くの受講者を受け入れることに努めた。

警防係

1 消防車両現勢

区分 署・種別		車名	年式	備考
消防本部	庁用車	ニッサン	平成 7	
	指令車	〃	平成 9	
	総務連絡車	トヨタ	平成 10	
	査察広報車	〃	平成 20	
	予防広報車	ニッサン	平成 11	
	防火号	ニッサン	平成 24	
	予防連絡車	スズキ	平成 20	
	物資搬送車	マツダ	平成 21	
栃木市消防署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 25	
	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成 10	水槽 2,500 ℓ
	化学車	日野	平成 19	水槽 1,500 ℓ 薬液 500 ℓ
	梯子車	〃	平成 5	30m級
	救助工作車	いすゞ	平成 9	クレーン、ウインチ、照明装置付
	災害支援車	〃	平成 25	
	救急車	トヨタ	平成 24	高規格
	〃	〃	平成 19	〃
	〃	〃	平成 22	〃
	栃木広報車	〃	平成 15	
大平分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 10	
	化学車	日野	平成 22	
	救急車	トヨタ	平成 21	高規格
	大平広報車	〃	平成 21	
藤岡分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 20	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 11	
	救急車	トヨタ	平成 25	高規格
	藤岡広報車	トヨタ	平成 20	
都賀分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 11	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 25	
	救急車	トヨタ	平成 18	高規格
	都賀広報車	〃	平成 23	

西方分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 22	
	水槽付ポンプ車	〃	平成 12	
	救急車	トヨタ	平成 20	高規格
	西方広報車	〃	平成 24	

2 地域別消防水利設置状況 (単位:基)

地域別種別	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	計
消火栓	1,408	435	377	295	148	2,663
防火井戸	239	106	43	4	-	392
防火水槽	562	175	236	103	41	1,117
プール	24	6	6	4	3	43
計	2,233	722	662	406	192	4,215

3 消防資機材 (単位:一式)

種別	所属別	合計	消防本部	消防署				
				栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署
救助器具	救命索発射銃	3	-	3	-	-	-	-
	油圧式救助器具	5	-	3	-	2	-	-
	ワイヤーはしご	1	-	1	-	-	-	-
	可搬式ウインチ	4	-	3	-	1	-	-
	救助マット	3	-	3	-	-	-	-
	排煙機	2	-	1	1	-	-	-
	自動ポンプ式油圧救助器具	2	-	1	-	1	-	-
	マット型空気ジャッキ	1	-	1	-	-	-	-
	耐熱防護服	6	-	6	-	-	-	-
	化学防護服(防毒衣)	14	-	10	2	-	2	-
	放射線防護服	3	-	3	-	-	-	-
	放射線測定器	4	-	4	-	-	-	-
	可燃・有毒ガス測定器	6	-	2	1	1	1	1
	耐電用防護服	3	-	3	-	-	-	-
	潜水器具一式	4	-	4	-	-	-	-
	救命ボート	4	-	2	-	1	-	1
	船外機	1	-	-	-	1	-	-
エアーテント	2	-	2	-	-	-	-	

救急用具	人工呼吸器	7	-	3	1	1	1	1
	陰圧式固定具	8	-	3	1	1	1	2
	バックボード一式	13	-	5	2	2	2	2
	血圧計	24	-	9	3	4	4	4
	血中酸素飽和濃度測定器	17	-	6	3	2	2	4
	血中酸素・一酸化炭素飽和濃度測定器	4	-	3	-	1	-	-
	吸引器	12	-	5	2	2	1	2
	喉頭鏡	24	-	9	5	5	2	3
	半自動体外式除細動器	7	-	3	1	1	1	1
	自動体外式除細動器 (AED)	5	-	1	1	1	1	1
	ベットサイドモニター	7	-	3	1	1	1	1
	輸液用資機材	4	-	1	1	-	1	1
破壊器具	エンジンカッター	5	-	1	1	1	1	1
	エアツール	2	-	1	1	-	-	-
	ガス熔断器	1	-	1	-	-	-	-
	チェーンソー	2	-	2	-	-	-	-
	削岩器	1	-	1	-	-	-	-
	万能斧	10	-	6	2	-	1	1
呼吸保護具	空気充填設備	1	-	1	-	-	-	-
	空気呼吸器	54	-	28	7	7	6	6
	空気ボンベ	162	-	85	22	20	17	18
	酸素呼吸器	5	-	5	-	-	-	-
	簡易呼吸器	3	-	3	-	-	-	-
作業用具	ホースカー	9	-	3	1	2	1	2
	連梯子	12	-	4	2	2	2	2
	かぎ付梯子	2	-	2	-	-	-	-
	照明発電機	15	1	6	2	3	1	2
	拡声装置	29	3	11	4	4	3	4
放水・発砲器具	簡易発泡器	5	-	2	1	1	1	-
	エアフォームノズル	9	-	5	4	-	-	-
	ピックアップノズル	4	-	1	-	1	1	1
	ラインプロポーションナー	4	-	1	1	1	1	-
	消火栓用スタンドパイプ	13	-	5	2	2	2	2
	分岐金具	27	-	15	3	3	3	3
	ホースブリッジ	11	-	3	2	2	2	2
	ロータリー管鎗	3	-	1	-	1	1	-
	フォグガン	13	-	5	2	2	2	2
	山林火災用手動ポンプ	57	-	28	5	10	5	9

	山林火災用可搬式送水装置	6	-	2	1	1	1	1
	ウォーターチャージャー	6	-	2	1	2	-	1
	界面活性剤原液(ℓ)	2,600	-	1,340	380	340	280	260
その他の器具	超音波厚さ計	1	1	-	-	-	-	-
	ピンホール探知機	1	1	-	-	-	-	-
	膜厚計	1	1	-	-	-	-	-
	非接触温度計	4	-	1	1	1	-	1

4 消防相互応援協定関係

- (1) 東北自動車道消防相互応援協定
- (2) 特殊災害消防対策相互応援協定
- (3) 特殊災害消防相互応援協定
- (4) 消防相互応援協定

救急管理係

1 救急救命士養成

救急救命士は国家資格であり、救急救命処置は、医師の具体的指示の基に行われている。現在 38 人が救急救命士として認定されている。

救命率の向上、高度化する救急業務に対応するため、毎年 1～2 人の救急救命士を養成している。

- (1) 救急救命士の編成状況 (単位:人)

消防本部	消 防 署				
	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署
2	16	7	4	4	5

- (2) 救急救命士資格状況 (単位:人)

救急救命士資格別		試験別	合格者数	新試験合格者数	認定者・合格者数合計
			(平成 17 年以前)	(平成 18 年以降)	
救 急 救 命 士 認 定			20	18	38
資 格 内 訳	薬剤投与実施救命士認定		13		13
	薬剤投与連携確認試験合格者		13	16	29
	気管挿管実施救命士認定		16	7	23

2 事後検証会

毎月救急救命士は、地域メディカルコントロール (MC) の基に、心肺停止等救急事案の事後検証を行うことによりプロトコル (確実に救命処置を行うための手順) 厳守の重要性、MC体制の必要性など、救急救命士としての資質向上を図っている。

- ・実施回数 21 回

第4節 通信指令課

〔総括概要〕

通信指令課は指令第1係と指令第2係で組織されており、24時間勤務の2交代制で業務を行っている。

通信指令課の主な分掌事務は、災害通報の受付及び出動指令関係、非常召集及び応援要請関係、通信施設の整備及び維持管理関係、気象観測及び気象通報関係、通信技術の指導関係等である。

災害通報の受付及び出動指令については、高機能消防指令センターで119番を受信すると同時に、発信地表示装置に住所と付近地図が自動的に（一部を除く）に表示されるので、これらの情報を基に車両の台数を決定し出動させた。

非常召集及び応援要請については、災害規模状況等により部隊を編成させ実施した。通信技術の指導については、若手職員に対して知識技能伝承研修会を実施した。

平成26年4月5日の岩舟町の編入に備えて、通信施設の拡張を実施した。

指令係

1 災害等受付回数

(単位：回)

種別 月	火災	救急・救助	その他の 災害	通報訓練	問い合わせ	いたずら まがい	合計
4月	5	426	27	42	76	75	651
	(4)	(103)	(3)	(1)	(32)	(23)	(166)
5月	9	438	46	60	52	86	691
	(6)	(119)	(3)	(0)	(23)	(35)	(186)
6月	3	425	33	50	64	76	651
	(1)	(133)	(5)	(0)	(27)	(35)	(201)
7月	6	479	40	32	78	124	759
	(1)	(137)	(4)	(0)	(33)	(74)	(249)
8月	6	473	23	25	85	117	729
	(3)	(117)	(2)	(0)	(31)	(75)	(228)
9月	5	399	37	54	84	92	671
	(3)	(103)	(2)	(1)	(36)	(54)	(199)
10月	2	397	26	61	47	60	593
	(1)	(111)	(2)	(2)	(22)	(35)	(173)

11月	2	413	23	97	65	70	670
	(1)	(85)	(2)	(2)	(24)	(41)	(155)
12月	5	506	28	46	83	68	736
	(2)	(119)	(2)	(1)	(34)	(30)	(188)
1月	10	468	28	32	93	64	695
	(5)	(118)	(3)	(2)	(42)	(26)	(196)
2月	3	474	40	49	102	75	743
	(1)	(117)	(3)	(2)	(43)	(40)	(206)
3月	14	505	25	63	69	85	761
	(6)	(135)	(3)	(0)	(25)	(42)	(211)
合計	70	5,403	376	611	898	992	8,350
	(34)	(1,397)	(34)	(11)	(372)	(510)	(2,358)

※下段（）内は携帯電話からの受付で内数

2 システム主要機器

機器名		数量	概略仕様
通 信 指 令 課	自動出動指定装置 地図検索装置	3席	Ⅱ型 補助受付機能3席
	音声合成装置	1台	プロジェクタ 70インチ プロジェクタ 70インチ 市町村波・県内共通波・救急波・全国共通3波 栃木署・藤岡分署（藤岡分署は風向風速のみ） メール 119 FAX 119
	指令伝送装置	1台	
	非常用指令設備	1台	
	車両運用表示盤	1面	
	支援情報表示盤	1面	
	多目的情報表示盤	1面	
	無線統制台	1台	
	気象情報収集装置	1式	
	災害状況等自動案内装置	1式	
	順次指令装置	1式	
	発信地表示装置	1式	
	携帯・IP位置情報システム	1式	
	映像伝送装置	1式	
	聴覚障害者用パソコン	1台	
	聴覚障害者用FAX	1台	
	サイレン吹鳴装置	1式	
署 ・ 分 署	署所端末装置	各署1台	
	指令情報出力装置	各署1台	
	監視カメラ	各署2台	
	駆け付け通報装置	各分署2台	

3 無線機台数

(単位:台)

所 属	種 別	所 有 台 数	周 波 数 内 訳 台 数			
			市町村波	県内共通波	救急波	全国共通3波
消防本部	基 地 局	1	1	1	1	1
	陸上移動局	5	5	5	-	1
栃木市消防署	陸上移動局	22	22	22	3	14
大平分署	陸上移動局	11	11	11	1	6
藤岡分署	陸上移動局	11	11	11	1	5
都賀分署	陸上移動局	9	9	9	1	5
西方分署	陸上移動局	9	8	8	1	3

4 気象関係

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均気温(℃)	12.3	18.2	21.9	25.5	27.3	23.1	18.0	9.8	5.0	2.6	2.9	7.8
最高気温(℃)	24.8	29.1	30.2	37.5	37.7	35.4	31.6	21.0	15.4	15.3	18.1	23.2
最低気温(℃)	0.4	3.4	12.9	19.3	19.4	10.8	6.6	-0.9	-3.1	-5.9	-7.8	-4.0
降水量(mm)	135.0	68.5	148.5	159.5	139.5	192.5	214.5	32.5	50.5	12.0	85.0	59.0
1日最高 降水量(mm)	31.5	37.0	32.0	49.0	30.0	77.5	56.0	15.5	23.5	10.5	58.5	20.0
1時間最高 降水量(mm)	11.5	10.5	25.5	22.0	23.5	24.0	13.5	6.0	5.5	3.0	11.0	5.5
降水日数(日)	12	9	13	14	14	10	15	7	7	3	6	6
平均風速(m)	2.2	2.0	1.7	1.5	1.4	1.5	1.6	1.2	1.7	1.6	1.7	2.1
最大瞬間風速(m)	23.4	17.5	17.4	14.3	17.1	18.4	27.3	12.1	18.1	20.5	22.6	22.0
平均湿度(%)	59.8	59.7	73.8	75.4	72.3	73.9	76.7	69.1	61.5	50.8	59.5	53.5
最高湿度(%)	96.4	96.8	96.4	97.3	96.2	96.1	99.2	99.1	95.9	97.4	97.8	97.0
最低湿度(%)	6.9	12.1	17.8	32.4	30.9	20.3	16.7	13.8	16.5	15.6	16.9	12.4

第5節 消防署

〔総括概要〕

消防署の主な分掌事務は、火災、救急、救助並びにその他の災害の防除活動等であり、市民の安全・安心な暮らしの確保のため、1署5分署、計140人の職員が24時間体制で勤務している。

出動件数については、火災 66 件、救急 5,499 件、救助 125 件、その他の災害 610 件であった。

消防署の庁舎見学及び体験学習受入については 48 件、消防訓練出動は 151 件、救命講習会は 121 件を実施した。また、これらの講習会に併せ、火災予防及び救急車の適正利用についての啓発活動を実施した。

消防係

1 救助事故関係

(1) 事故種別救助出動件数及び救助人員

種別 件数 及び人員	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス 酸 欠	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
出動件数(件)	27	46	4	—	—	—	1	—	47	125
活動件数(件)	7	21	3	—	—	—	—	—	17	48
救助人員(人)	3	22	2	—	—	—	—	—	15	42

(2) 地域別救助出動、活動件数 (単位：件)

地域 件数	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	管 外	合 計
出動件数	82	17	7	7	6	6	125
活動件数	34	7	3	2	—	2	48

※ 活動件数とは、出動した件数の中で実際に救助活動を行った件数

2 その他の事故関係

(1) その他の出動件数 (単位：件)

区 分	内 訳	活動内容	件数
危険排除	流出	事故等により、危険物が流出し、緊急を要するもの	70
	倒木	道路等への倒木の排除	6
	土砂崩れ	土砂の排除等	—
特別危険 排除	N災害	核臨界事故等の核汚染による災害	—
	B災害	炭そ菌等の生物汚染による災害	—

	C災害	サリン等の化学物質汚染による災害	—
	ガス臭	明らかにLPG臭とわかるもの	1
	異臭	その他の異臭	—
緊急確認	ベル鳴動	自火報、住警器の異常発報で出動したもの	17
	焚火	火災、怪煙等の通報で緊急出動したが焚火だったもの	11
	誤報	火災、怪煙等の通報で緊急出動し、事実が無かったもの	7
調査	焚火	緊急性を要しない焚火指導	18
	落雷	緊急性を要しない落雷調査	3
	電線のショート	送電線の火花	—
	流出	河川への油膜等の浮遊による調査	3
	その他	上記に掲げる以外の活動	17
水防活動	工法	水防工法活動を行ったもの	1
	巡回	河川増水等の巡回広報活動等を行ったもの	—
支援	救急支援	主に救急活動の支援を行ったもの	82
	高速支援	高速道路に出動した救急支援活動	28
	搬出困難	主に傷病者の搬出活動を行ったもの	124
	航空支援	防災ヘリ、ドクターヘリ要請に伴う出動	137
	PA連携	直近救急隊出動時に消防隊が出動したもの	64
その他	施錠	屋内、車両等の施錠	2
	捜索	行方不明者又は、救急現場等が不明確な場合の捜索活動	3
	動物等	人以外の救出活動等	—
	怪煙等	雲、水蒸気等を煙と錯覚したもの	—
	悪戯	事実がなく、明らかに通報が悪戯ととれるもの	2
	誤報	事実のないもの	7
	その他	上記に掲げる以外の活動	7
合 計			610

(2) 署別その他の出動件数

(単位：件)

区分	内 訳	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	合計
危険排除	流出	32	14	9	9	6	70
	倒木	3	1	—	1	1	6
	土砂崩れ	—	—	—	—	—	—
特別危	N災害	—	—	—	—	—	—
	B災害	—	—	—	—	—	—
	C災害	—	—	—	—	—	—

険排除	ガス臭	—	1	—	—	—	1
	異臭	—	—	—	—	—	—
緊急確認	ベル鳴動	10	2	3	2	—	17
	焚火	5	2	2	1	1	11
	誤報	3	—	1	2	1	7
調査	焚火	10	—	1	3	4	18
	落雷	—	1	2	—	—	3
	電線のショート	—	—	—	—	—	—
	流出	2	—	—	1	—	3
	その他	10	5	2	—	—	17
水防活動	工法	—	—	1	—	—	1
	巡回	—	—	—	—	—	—
支援	救急支援	43	14	20	5	—	82
	高速支援	21	—	—	2	5	28
	搬出困難	96	18	7	1	2	124
	航空支援	89	19	20	3	6	137
	P A連携	26	18	18	2	—	64
その他	施錠	—	1	1	—	—	2
	捜索	3	—	—	—	—	3
	動物等	—	—	—	—	—	—
	怪煙等	—	—	—	—	—	—
	悪戯	2	—	—	—	—	2
	誤報	2	1	1	2	1	7
	その他	4	2	—	—	1	7
合 計							610

3 火災予防条例に基づく届出の受付状況

(単位：件)

条 例 別	署 別						合 計
	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署		
消 防 訓 練 実 施 計 画 書	411	124	92	74	54	755	
消 防 訓 練 結 果 報 告 書	391	114	90	68	53	716	
火災とまぎらわしい煙または、火災を発生のおそれのある行為の届出書	39	26	12	10	3	90	
煙 火 の 届 出 書	27	14	22	33	1	97	
催 物 開 催 届 出 書	16	8	4	4	6	38	
水素ガスを充てんする気球の設置届	—	—	—	—	—	—	
合 計	884	286	220	189	117	1,696	

4 予防査察の実施状況

(1) 防火対象物

(単位：件)

用 途 別	署 別						合 計	
	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署			
1	イ	劇 場 等	—	—	—	—	—	
	ロ	公 会 堂 等	—	4	1	—	1	6
2	イ	キ ャ バ レ ー 等	2	—	—	—	—	2
	ロ	遊 技 場 等	—	—	—	—	—	—
	ハ	性 風 俗 施 設	—	—	—	—	—	—
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	—	—	—	—	—	—
3	イ	料 理 店 等	—	—	1	—	—	1
	ロ	飲 食 店	6	9	2	7	1	25
4		物 品 販 売 店 舗 等	7	2	2	5	8	24
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	—	—	—	—	—	—
	ロ	共 同 住 宅	—	—	—	—	—	—
6	イ	病 院 等	20	4	4	2	2	32
	ロ	社 会 福 祉 施 設 等	—	—	4	—	—	4
	ハ	老 人 デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	5	3	1	2	1	12
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	—	—	2	—	—	2
7		学 校	—	1	—	—	1	2
8		図 書 館 等	—	—	—	—	—	—
9	イ	特 殊 浴 場	—	—	—	—	—	—

	口	公衆浴場	—	—	—	—	—	—
10		停車場等	—	—	—	—	—	—
11		神社・寺院等	1	—	—	—	—	1
12	イ	工場・作業場	1	—	8	—	11	20
	ロ	スタジオ	—	—	—	—	—	—
13	イ	駐車場等	—	—	—	—	—	—
	ロ	航空機格納庫	—	—	—	—	—	—
14		倉庫	—	—	1	—	10	11
15		事務所等	—	4	3	6	3	16
16	イ	特定複合用途	—	3	1	5	2	11
	ロ	非特定複合用途	—	—	—	—	—	—
17		文化財	2	2	—	1	1	6
合計			44	32	30	28	41	175

(2) 危険物施設

(単位：件)

区分		署別	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	合計
		製造所			—	—	—	—
貯蔵所	屋内貯蔵所		—	—	—	—	—	—
	屋外タンク貯蔵所		—	—	—	10	1	11
	屋内タンク貯蔵所		—	—	—	—	—	—
	地下タンク貯蔵所		—	6	6	3	3	18
	簡易タンク貯蔵所		—	—	—	—	—	—
	移動タンク貯蔵所		—	—	—	—	—	—
取扱所	屋外貯蔵所		—	—	1	—	—	1
	給油取扱所		—	—	9	9	2	20
	第1種販売取扱所		—	—	—	—	—	—
	第2種販売取扱所		—	—	—	—	—	—
	一般取扱所		10	13	7	1	4	35
合計			10	19	23	23	11	86

(3) 一人暮らし老人宅防火診断

(単位：件)

署別	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	合計
件数	10	9	6	6	10	41

救急係

1 署別・月別救急活動状況

署別 月別	栃木市消防署		大平分署		藤岡分署		都賀分署		西方分署		合計	
	出動件数 (件)	搬送人員 (人)										
4月	222	200	86	74	52	45	36	31	32	29	428	379
5月	230	216	93	88	51	50	27	27	40	38	441	419
6月	213	196	86	77	59	55	36	36	34	31	428	395
7月	260	233	83	77	69	63	37	33	39	37	488	443
8月	256	237	86	83	60	52	36	32	43	40	481	444
9月	218	203	89	78	49	46	18	14	30	29	404	370
10月	214	195	85	77	42	35	33	29	26	24	400	360
11月	219	198	74	64	52	48	29	27	43	42	417	379
12月	275	249	96	84	55	48	43	41	48	48	517	470
1月	276	260	95	90	55	52	36	30	37	33	499	465
2月	250	225	105	90	54	48	29	27	47	41	485	431
3月	276	254	87	77	63	59	39	34	46	40	511	464
合計	2,909	2,666	1,065	959	661	601	399	361	465	432	5,499	5,019

2 地域別・事故種別救急活動状況

地域別 事故種別	栃木地域		大平地域		藤岡地域		都賀地域		西方地域		管外	
	出動件数 (件)	搬送人員 (人)										
火災	17	3	4	1	2	1	3	1	1	—	2	—
自然災害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水難	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	2	—
交通事故	344	352	118	116	83	88	47	52	22	22	21	17
労働災害	77	74	19	18	23	21	6	6	7	6	1	—
運動競技	20	24	6	8	14	12	3	3	2	2	—	—
一般負傷	414	394	89	84	100	87	40	41	33	31	—	—
加害	12	11	4	4	1	1	2	2	—	—	—	—

自損行為	43	32	17	11	15	8	4	1	1	—	—	—
急病	1,902	1,707	594	521	450	400	283	261	136	123	1	—
その他	341	313	100	95	14	13	11	9	47	42	—	—
合計	3,170	2,910	952	859	702	631	399	376	249	226	27	17

3 事故種別・月別救急活動状況

(単位:件)

区分 月別	出動件数	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
4月	428	3	—	—	57	12	3	56	4	3	251	39
5月	441	3	—	—	55	9	5	50	1	7	273	38
6月	428	1	—	1	59	11	2	45	—	7	267	35
7月	488	4	—	—	67	17	1	59	1	6	287	46
8月	481	3	—	—	47	13	12	43	1	13	315	34
9月	404	1	—	—	47	11	4	40	3	12	250	36
10月	400	—	—	—	42	10	6	57	3	5	236	41
11月	417	1	—	—	45	7	6	68	3	4	250	33
12月	517	2	—	1	56	10	1	74	1	5	309	58
1月	499	4	—	—	54	11	1	56	1	6	315	51
2月	485	1	—	1	51	10	1	69	—	5	298	49
3月	511	6	—	—	55	12	3	59	1	7	315	53
合計	5,499	29	—	3	635	133	45	676	19	80	3,366	513

4 事故種別・曜日別搬送人員状況

(単位:件)

事故種別 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	月	1	—	1	109	15	6	82	3	2	472	65
火	2	—	—	83	21	1	94	5	8	399	77	690
水	—	—	—	102	19	2	92	1	12	404	71	703
木	—	—	—	77	32	—	56	2	7	449	71	694
金	—	—	—	94	16	4	88	1	7	404	81	695

土	—	—	—	106	18	18	100	2	7	437	64	752
日	3	—	—	76	4	18	125	4	9	447	43	729
合計	6	—	1	647	125	49	637	18	52	3,012	472	5,019

5 月別高速道路救急活動状況

月別	東北縦貫自動車道						北関東自動車道						合計	
	交通事故				その他		交通事故				その他			
	上り		下り				東行き		西行き					
	出動件数 (件)	搬送人員 (人)												
4月	2	2	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	4	3
5月	4	4	2	1	1	1	—	—	—	—	—	—	7	6
6月	2	2	1	—	—	—	1	—	1	1	—	—	5	3
7月	1	1	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	3	3
8月	2	3	2	1	1	1	1	1	—	—	—	—	6	6
9月	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
10月	4	2	2	2	1	1	—	—	—	—	—	—	7	5
11月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12月	2	3	2	2	1	1	—	—	1	4	—	—	6	10
1月	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2
2月	1	1	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	3	2
3月	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	1	1
合計	19	20	10	6	9	9	4	1	2	5	—	—	44	41

6 事故種別・年齢別・程度別搬送人員状況

(単位：人)

年齢程度	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
		新生児以内	死	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
重	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
中	—		—	—	—	—	—	—	—	—	1	20	21
軽	—		—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
他	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—		—	—	—	—	—	—	—	—	2	22	24
28	死	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

乳 幼 児	日 か ら 6 歳	重	—	—	—	1	—	—	1	—	—	8	1	11
		中	—	—	—	1	—	—	4	—	—	16	6	27
		軽	—	—	—	25	—	—	28	1	—	105	3	162
		他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		計	—	—	—	27	—	—	33	1	—	129	10	200
少 年	7 歳 か ら 17 歳	死	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		重	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1	—	3
		中	—	—	—	6	—	6	3	—	1	13	5	34
		軽	—	—	—	49	1	23	17	1	—	38	2	131
		他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	55	1	30	21	1	1	52	7	168		
成 人	18 歳 か ら 64 歳	死	—	—	—	1	—	—	—	—	1	15	—	17
		重	1	—	—	18	13	—	8	1	8	91	44	184
		中	1	—	1	56	21	7	43	4	18	247	100	498
		軽	1	—	—	327	74	12	87	8	8	452	11	980
		他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
計	3	—	1	402	108	19	138	13	35	806	155	1,680		
老 人	65 歳 以 上	死	—	—	—	5	1	—	7	—	3	95	1	112
		重	1	—	—	19	1	—	67	—	2	308	88	486
		中	1	—	—	33	7	—	165	1	8	850	169	1,234
		軽	1	—	—	106	7	—	206	2	3	769	20	1,114
		他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
計	3	—	—	163	16	—	445	3	16	2,023	278	2,947		

※程度（死重中軽他）について

略語の意味 内容説明（初診医による重症度評価より）

- ① 死は死亡を示す ： 初診時において、死亡が確認されたもの
- ② 重は重症を示す ： 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- ③ 中は中等症を示す ： 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- ④ 軽は軽症を示す ： 傷病の程度が入院を必要としないもの
- ⑤ 他はその他を示す ： 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの